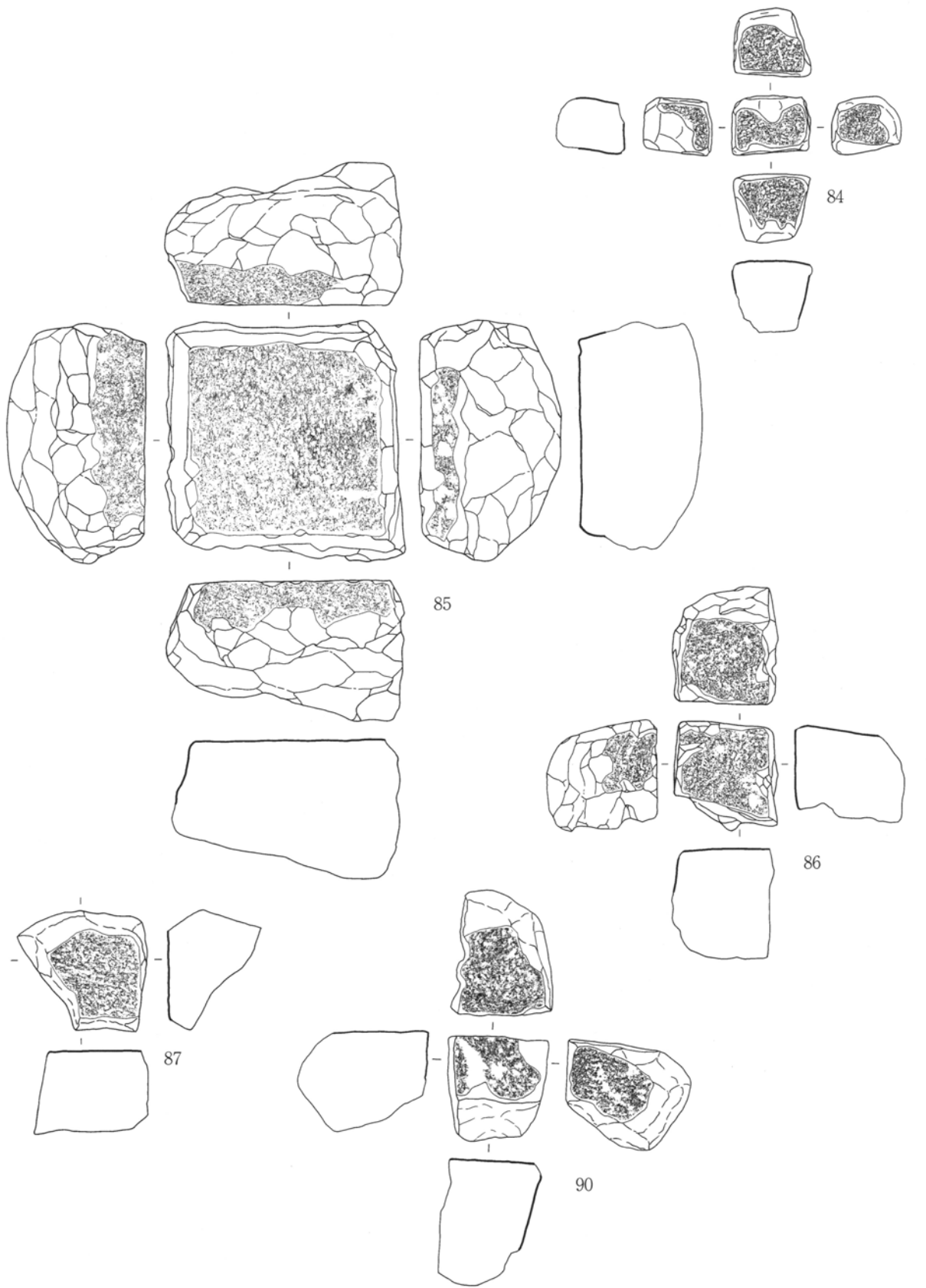


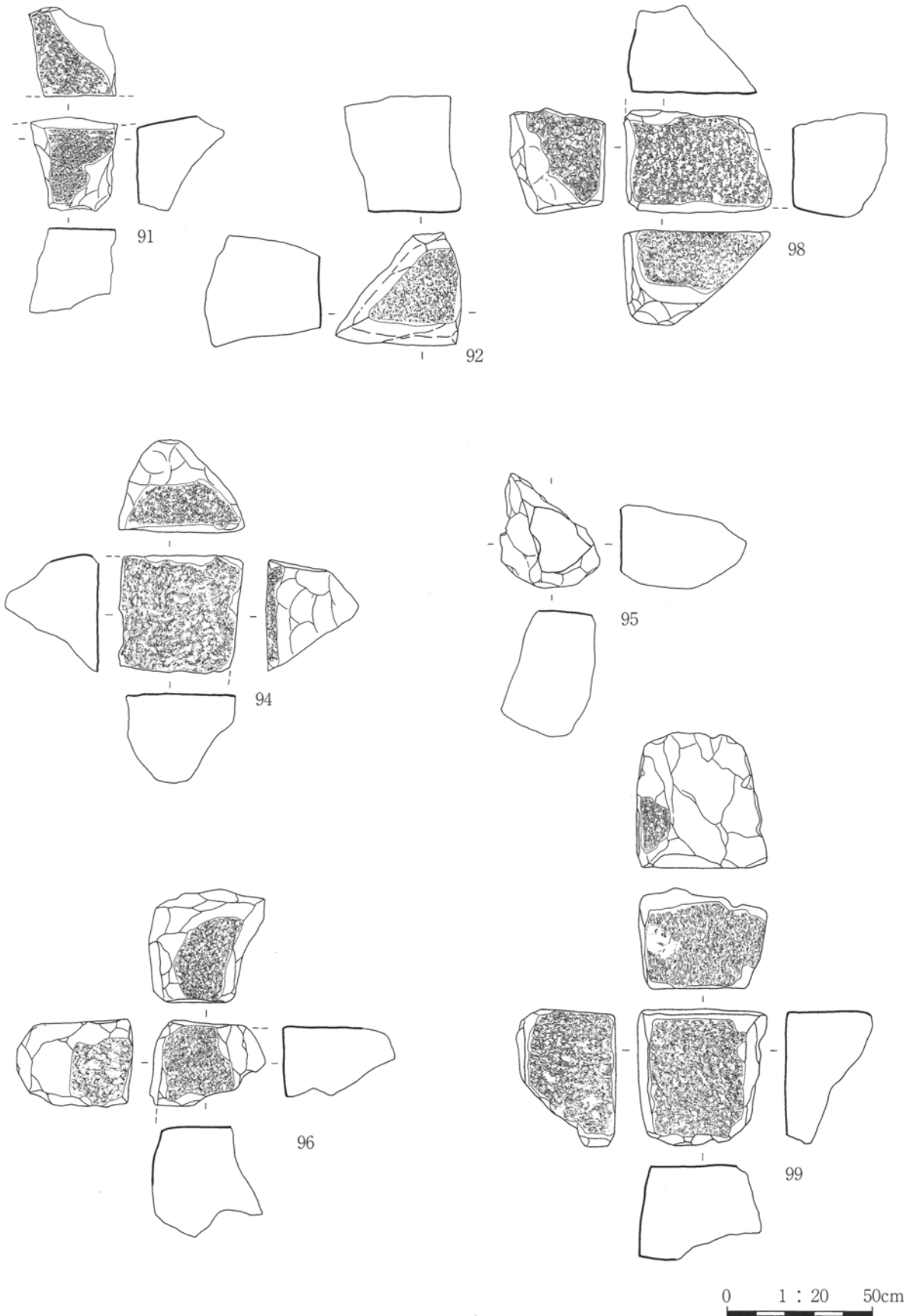
第182图 1号墳石室用石展開図4



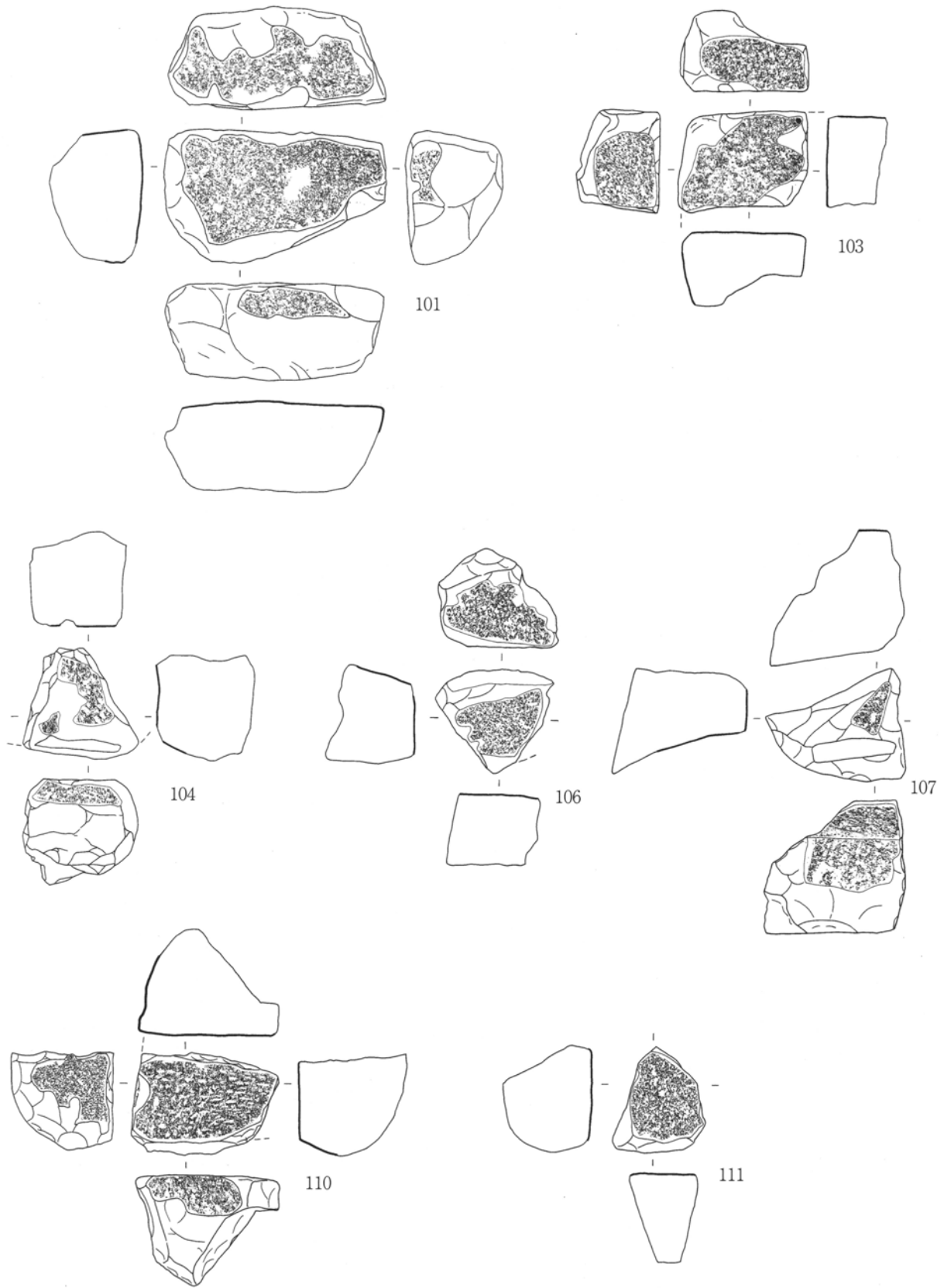
第183図 1号墳石室用石展開図5



第184図 1号墳石室用石展開図6



第185図 1号墳石室用石展開図7

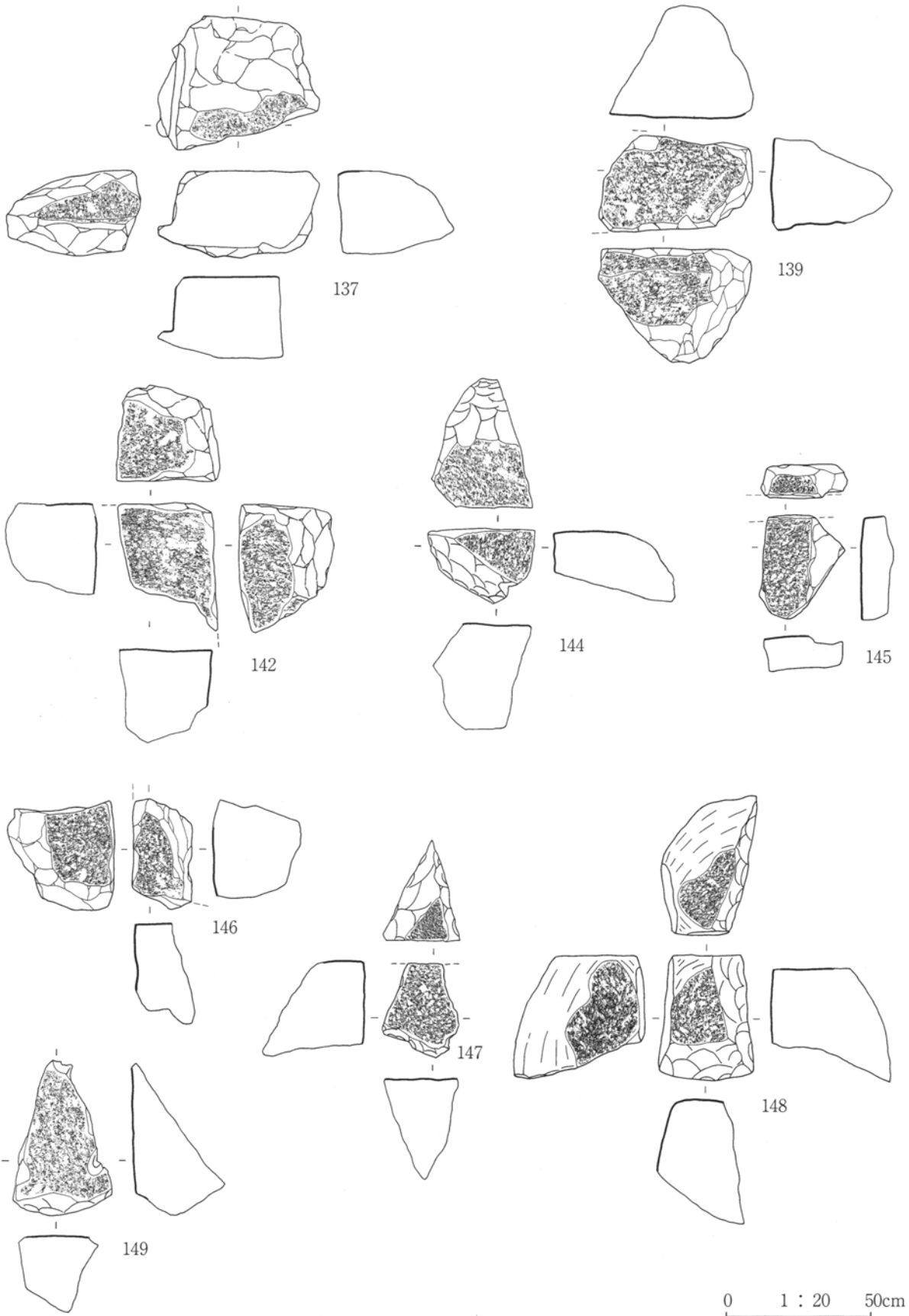


0 1 : 20 50cm

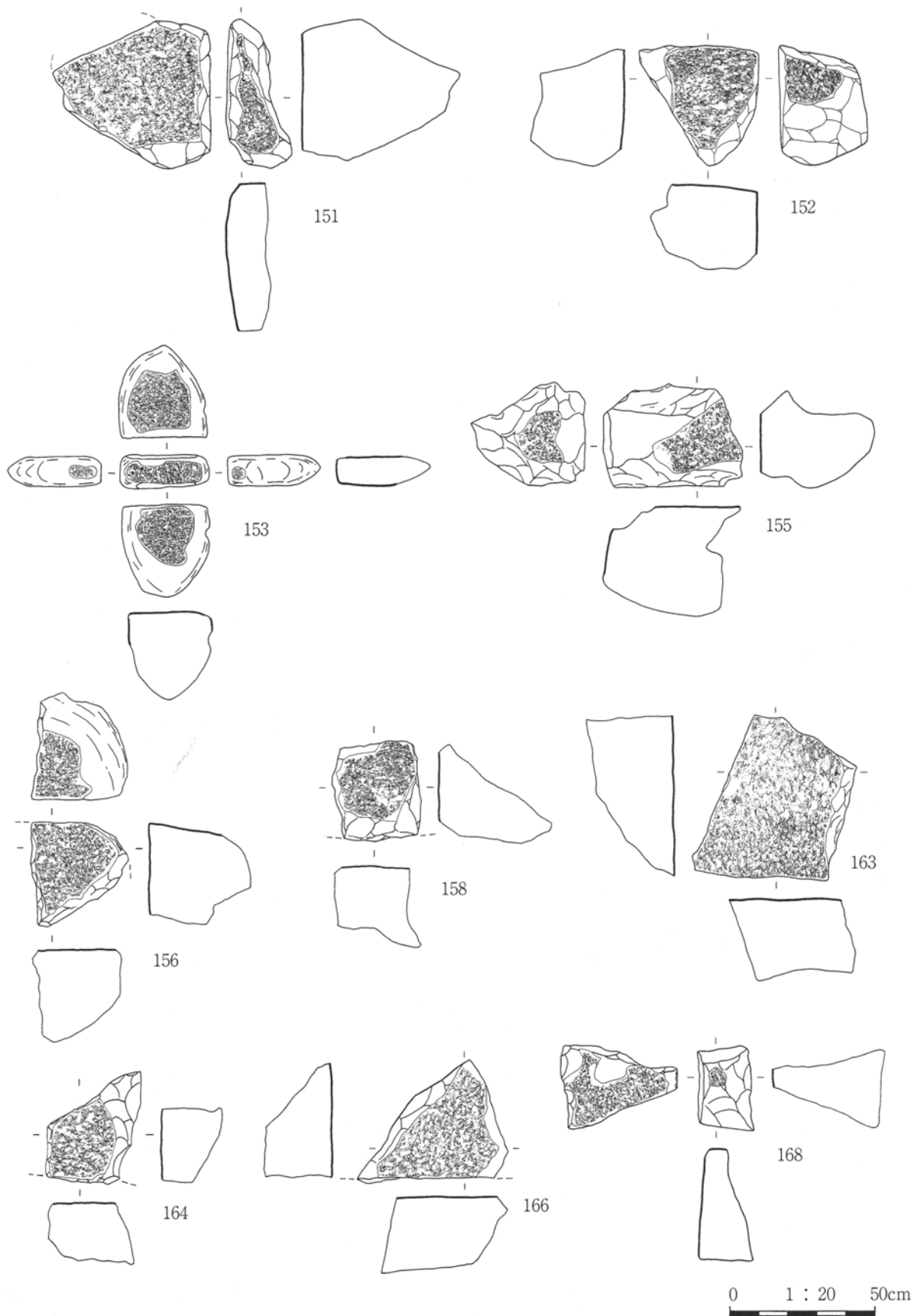
第186图 1号墳石室用石展開図8



第187図 1号墳石室用石展開図9



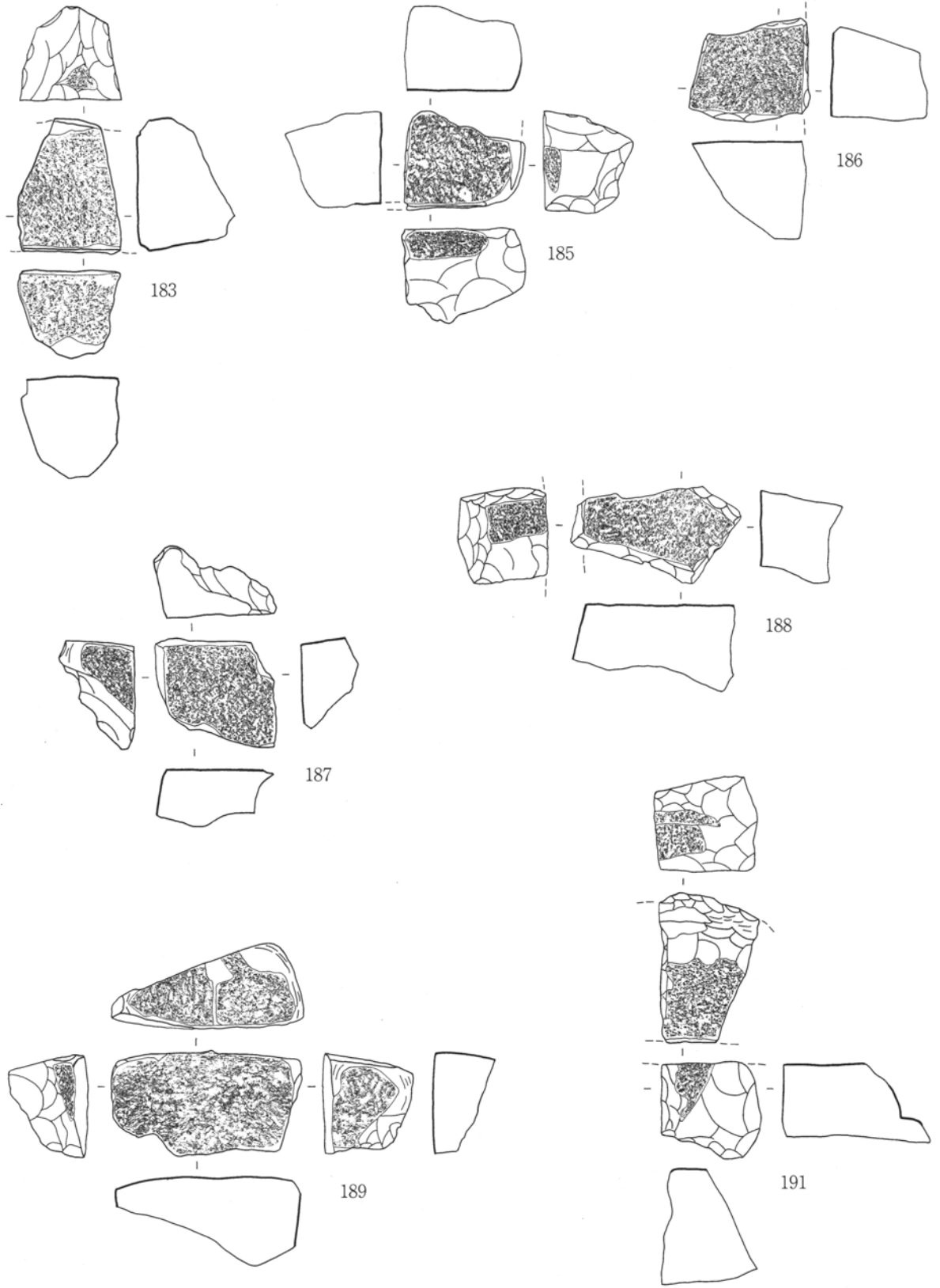
第188図 1号墳石室用石展開図10



第189図 1号墳石室用石展開図11

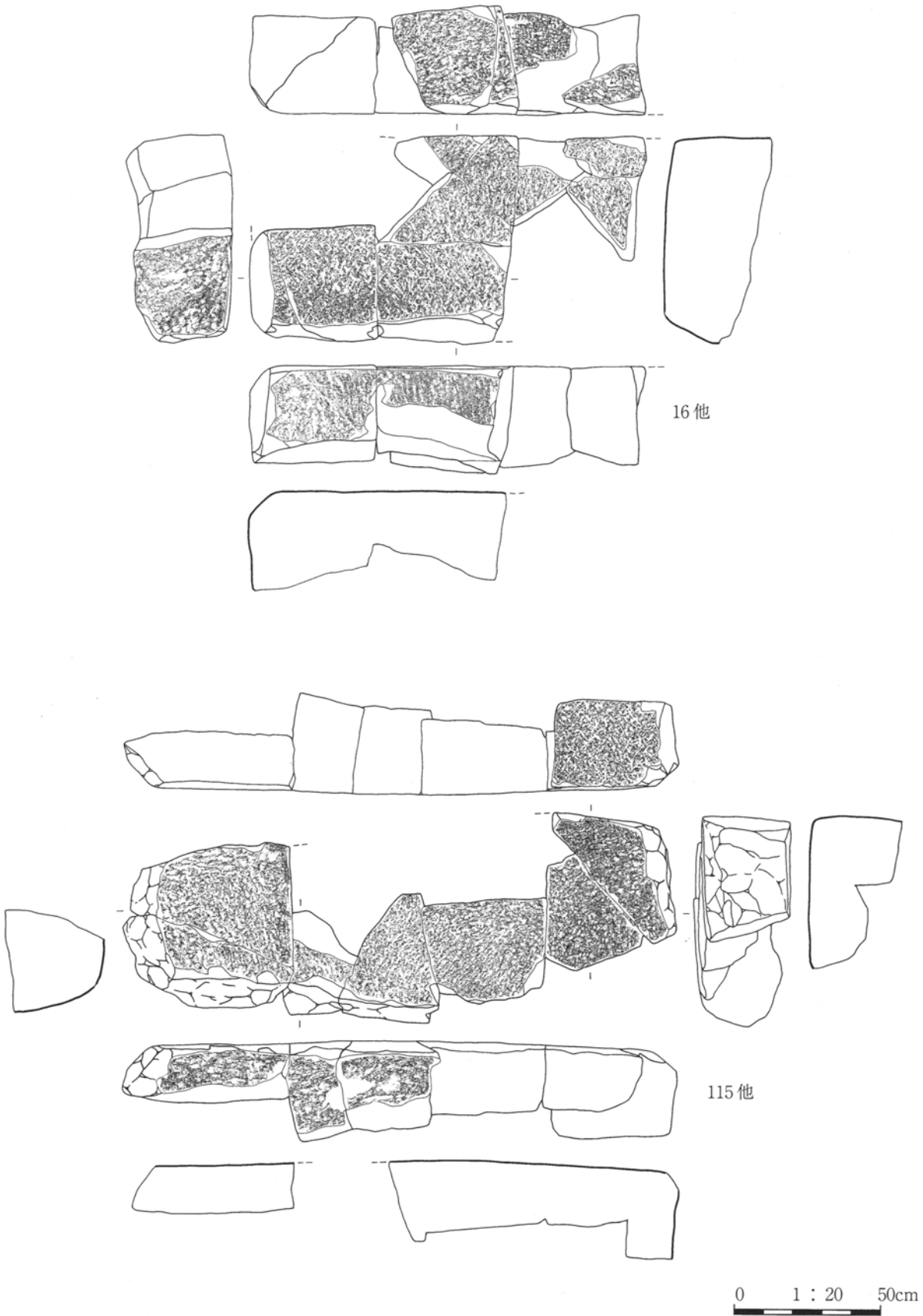


第190图 1号墳石室用石展開図12

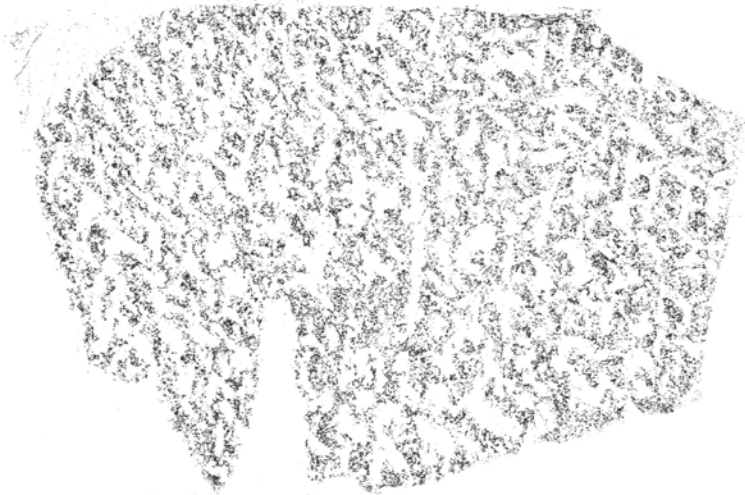


0 1 : 20 50cm

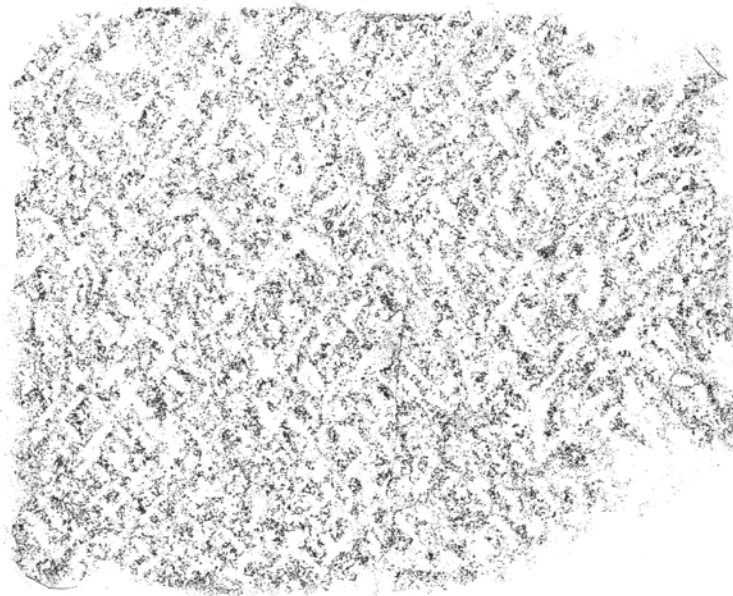
第191図 1号墳石室用石展開図13



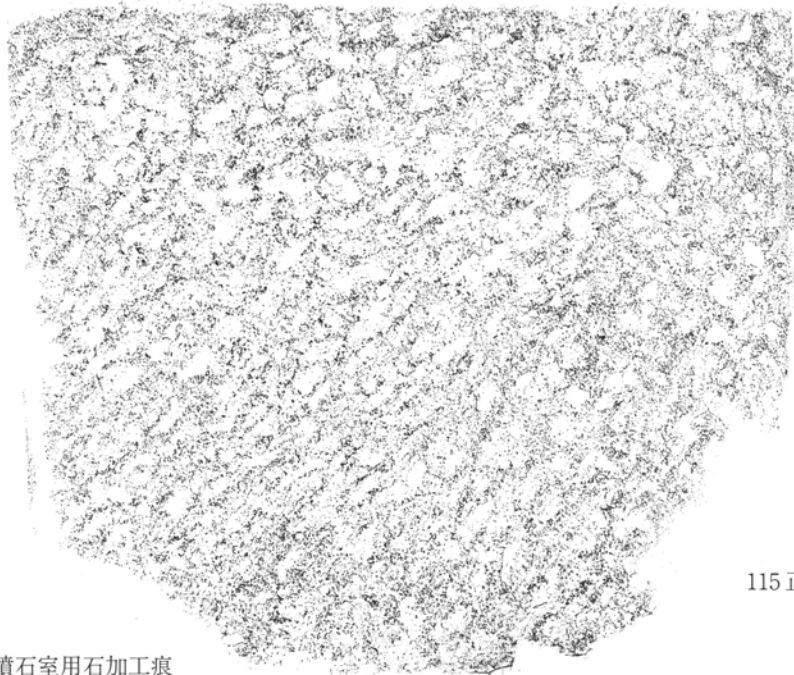
第192図 1号墳石室用石展開図14



122 正面



115 上面



115 正面

第193图 1号墳石室用石加工痕

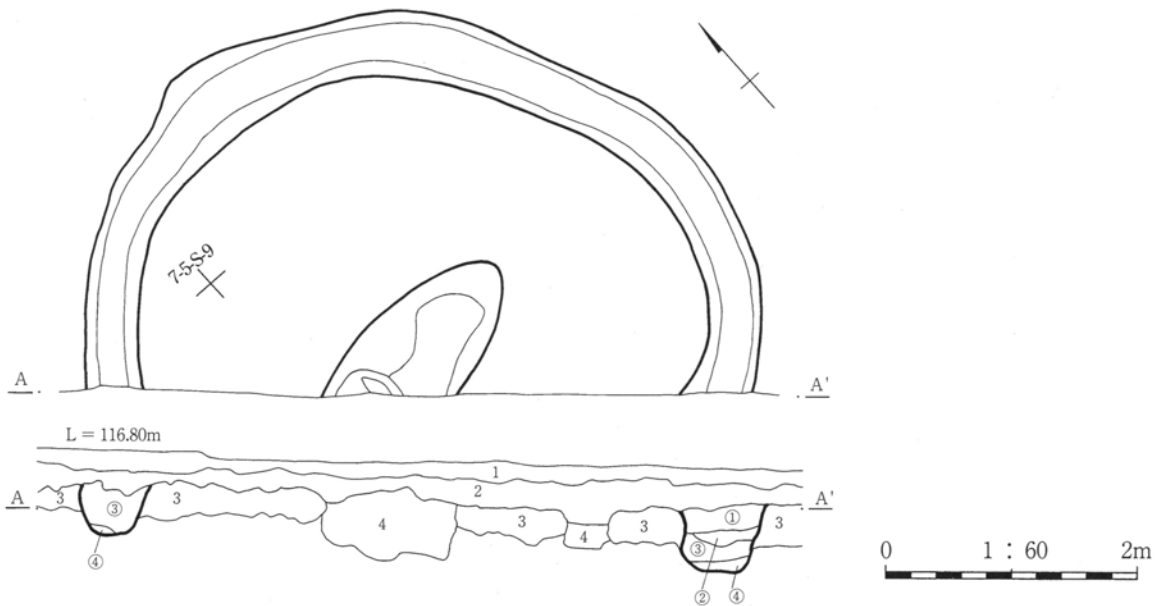
2号墳

1号墳周堀がC字状に開口する西側端部の南に、ほぼ接するように作られている。標高116.4mから116.8mの南向き緩傾斜部にあつて、南部の1/2近くが調査区外となっている。これも1号墳同様、全く地上構造の痕跡は残されておらず、遺構確認面であるローム漸移層の上面の調査において、初めてその存在を認識したものである。

ごく小規模ながら円形の周溝に囲まれており、群集墳内においてみられるごく小規模な埋葬施設と同様の性格を持つものと判断された。

確認面における周堀内側の規模は、南北方向の確認最大長で4.6mほどしかない。やや南北に長くゆがんだ平面形状が想定されるので、これが最大規模を示すことになろう。周堀幅は0.44mから0.5m程度と安定していて、1号墳の周堀形状とは大きく異なる。調査区内ではとぎれない。深さは30cmから45cm程度であるが、壁面はしっかりしており、断面形はU字状から箱形に近い。As-C、Hr-FAおよびローム粒やロームの小ブロックを含む黒褐色ないし暗褐色土で埋没している。ここではAs-Bは見られない。

周辺も含め、この遺構に関連性を持つと思われる遺物は全くなく、年代の決定に資する資料は得られていない。



第194図 2号墳 平面図 土層断面図

2号墳土層断面

- ① 10YR2/2 黒褐色土 As-C又はHr-FAと思われる白色の軽石粒多く含む。
- ② 10YR3/2 黒褐色土 ローム小ブロック、As-C又はHr-FAと思われる白色の軽石粒少量含む。
- ③ ①と同じ。
- ④ 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒多く含む。
- 1 表土
- 2 10YR3/2 黒褐色土 ローム小ブロック(径3cm以下)少量含む。全体にしまりなくボソボソした感じ。
- 3 10YR2/2 黒褐色土 As-C又はHr-FAと思われる白色の軽石粒多く含む。
- 4 10YR3/2 黒褐色土 砂質、全体にしまりなくボソボソした感じ。

第5章 奈良時代・平安時代以後の遺構と遺物

1 竪穴住居

11号住居

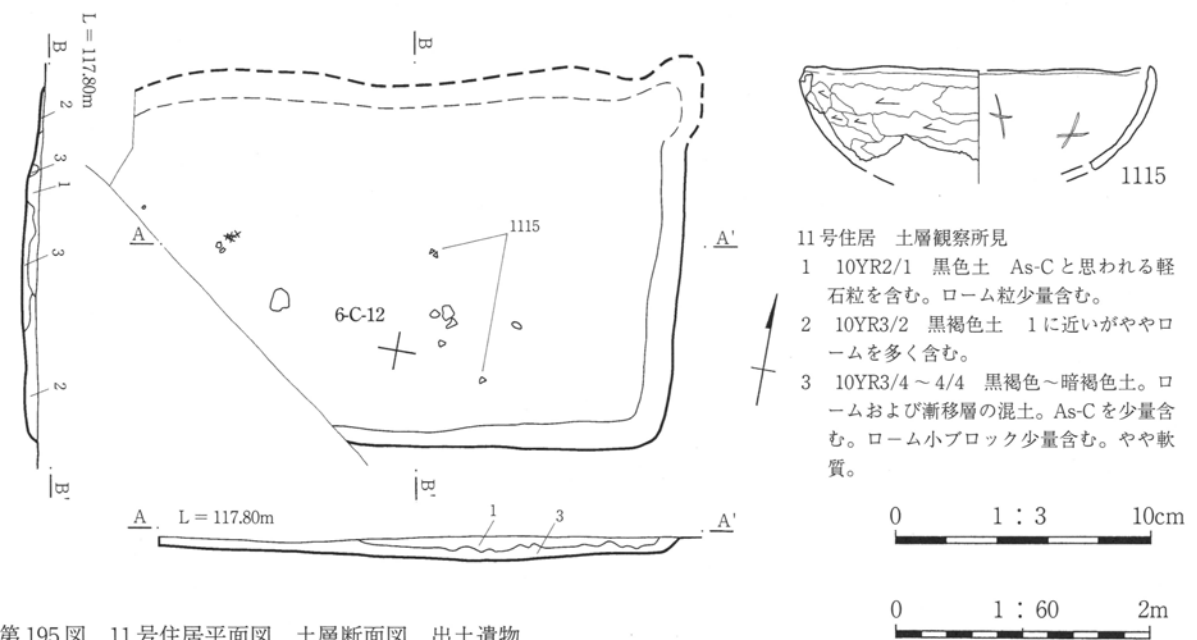
位置 5-B/C-11.12グリッド。標高117.7mから117.8mの緩い南西向き傾斜部に立地する。南東側の12号、13号住居も本遺構と近い時期であるが、東の1号古墳を挟んで、40mから50mほど離れている。南の萱野遺跡から続く住居群の末端に当たるものであろうが、やや孤立的な位置にある。

形態・規模 南西隅部が調査区外となり、北西隅は攪乱に切られる。加えて非常に残りの悪い状態で、特に北壁の立ち上がりははっきりしなかったため、全形を把握することはできなかった。長軸をほぼ東西におく長方形の平面形を呈するものと思われる。北東隅が小さくふくらむように張り出している。北壁残存長4.35m、南北推定長2.6m

掘り方・床・壁 北辺はゆるい立ち上がりではっきりしないが、東壁部および南壁部では10cmほどの立ち上がりは認められた。下位をローム混じりの暗褐色土、上位を黒褐色土が埋めるが、掘削底面も明確ではなかった。覆土中にはAs-C粒が含まれる。硬化面は認められず、使用面としての床面は残っていない。調査時の所見では「作りかけの住居か、あまり使用されなかった住居なのか」とするが、床面下、掘り方まで攪乱された遺構の残痕とみる方が妥当だろう。

竈 調査時には北東隅の張り出し部分でごくわずかながら炭化物片や焼土粒が認められ、ここが竈の残痕である可能性を考えている。他には焼土もほとんどない。ただし、出土土器の年代は8世紀前半を示しており、この時期の住居では隅部に竈を作ることはあまりないため、竈として確定することはできない。

遺物 出土遺物はごく少なく、図化可能な資料としては中央部と南壁近くの覆土から出土した土師器坏1点があるにすぎない。口縁部が内湾する形で、内面に2か所、焼成後に刻まれた「×」状の線が認められる。8世紀前半代に位置づけられる。他に縄文時代の叩き石、打製石斧片などが出土している。



第195図 11号住居平面図 土層断面図 出土遺物

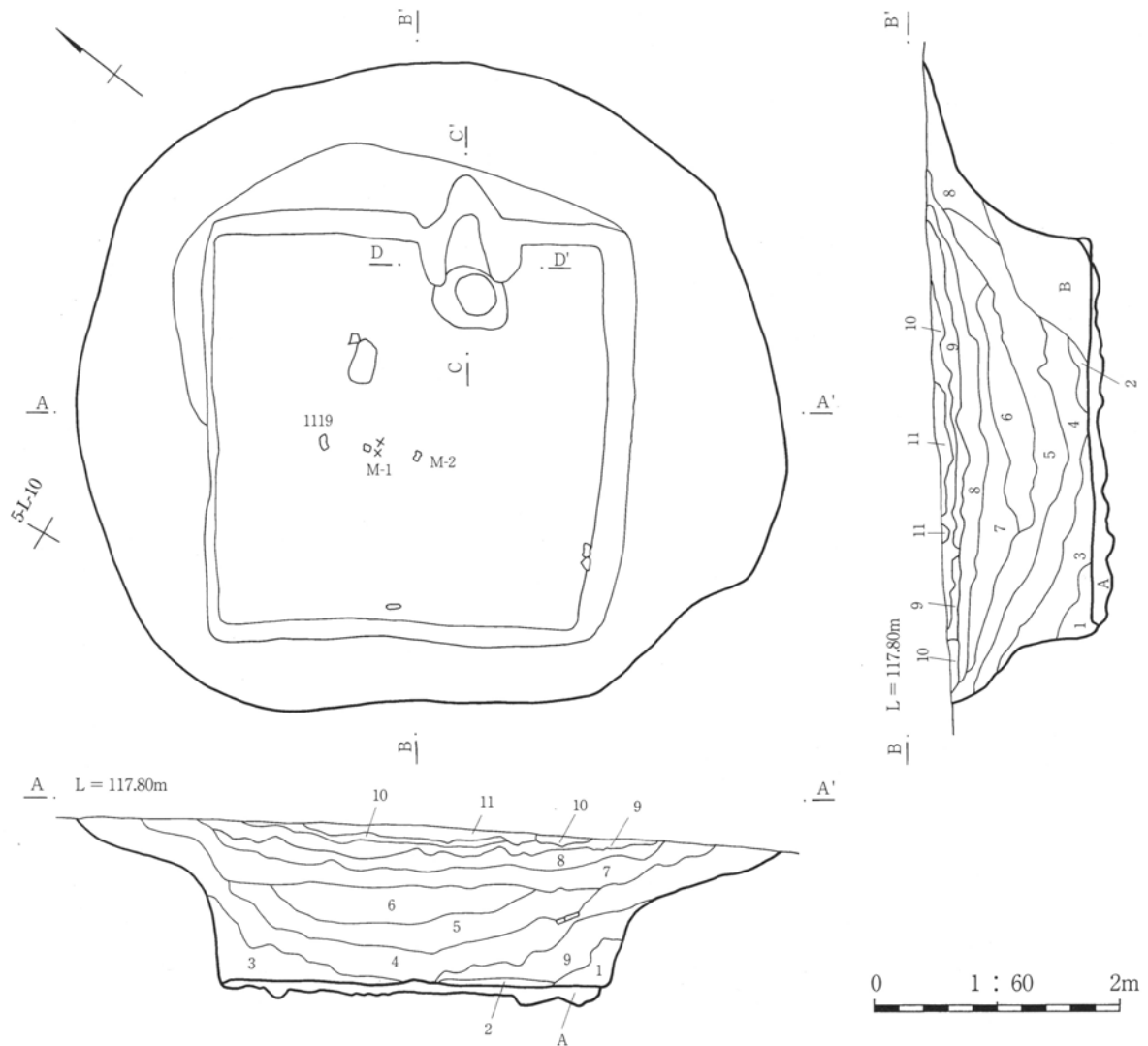
1 竪穴住居

12号住居

位置 5-J/K/L-9.10グリッド。標高117.3mから117.7mの南西向き傾斜部に立地する。北西に1号古墳がある。南西に13号住居があるが、20mほど離れている。萱野遺跡から続く住居群の北東端に近い位置と思われる。

形態・規模 確認面から掘り方・床面までの深さが1.3mほどもあり、「深い」という印象の強い住居である。壁上位は大きく崩れており、断面は上方に大きく開くような形状となる。これに従って、確認面での平面形は南北5.8m、東西5.2mほどの隅丸方形の平面形を呈する。壁中位以下が本来の平面形状を示すものと思われるが、ここでは一辺3.5mほどの整った方形の平面形である。北辺と東西辺は直線的であるが、南辺はわずかにふくらみを持っている。主軸方向はN-60°-Eを示す。

覆土 下位はローム粒やローム小ブロックを含む暗褐色土で埋まり、上位はAs-Cを含む黒褐色土で埋まる。最上位の9層から11層はAs-Bを含み、特に9層にはAs-B上位の火山灰層がブロック状あるいは団子状に残っている。この火山灰層以下は降下堆積時から大きく乱されていないものと見られ、As-B降下時にはこの住居が浅い窪地状をなしていたことが示される。



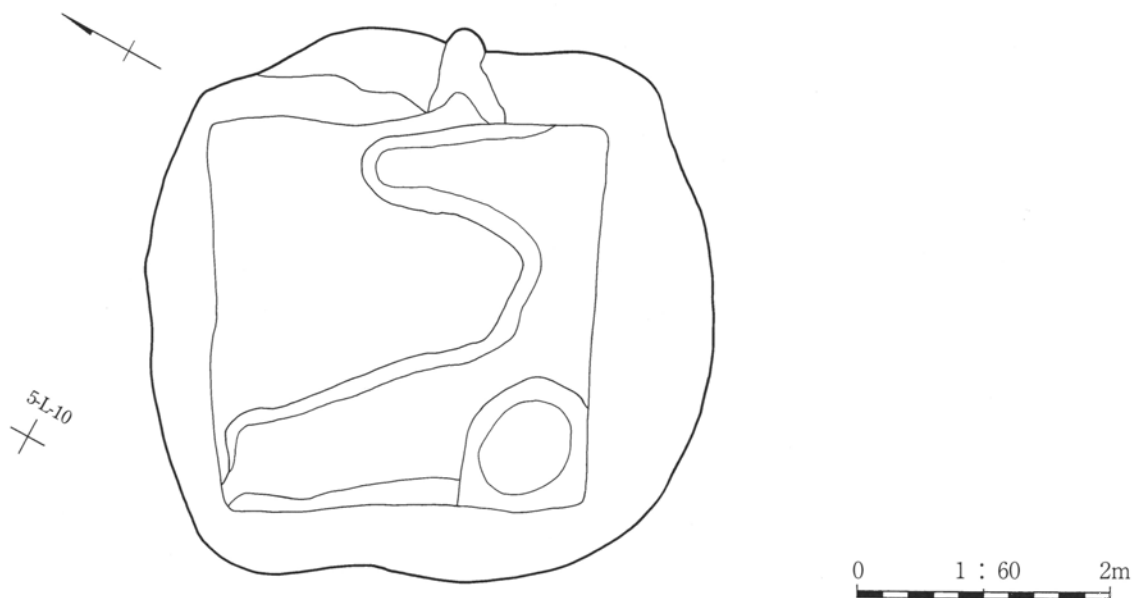
第196図 12号住居平面図 土層断面図

掘り方・床 掘削底面は東壁南半と西壁際がわずかに低く掘り下げられ、南西隅部は浅い土坑状にくぼむ。この掘り方を地山ロームを主体とする褐色土で埋めて床面を構成する。均平で整った床面である。

壁 床面から50cmないし60cmほどの高さまではほぼ垂直に立ち上がり、以上は崩れて大きく上方に開く。壁上部の崩落は全周にわたって1mを超える幅で生じている。単に深いのが故の現象と見るには激しい崩れ方である。

竈 東壁南よりの壁面を掘り込んで作られる。白色粘土で構築され、左袖部には二ツ岳石、右袖には土師器の甑1117が構造材として用いられている。焚き口幅37.5cm、燃烧部長78cm。焚き口手前には径60cm弱のゆがんだ円形の掘り込みが見られる。

遺物 保存のよい住居であるにもかかわらず、出土遺物は比較的少ない。土師器の坏、甕、鉄滓が出土している。土器の多くは竈内およびその周辺から出土する。甕は竈然焼部中央から出土しており、甑は右袖構造材である。坏はいずれも丸底で、口縁部がわずかに内湾する。8世紀前半代のものとする。住居中央やや北よりには床面からわずかに浮いて、長35cm、幅20cm、厚30.5cmの川原石があり、この周辺から土師器坏および椀状滓が出土している。

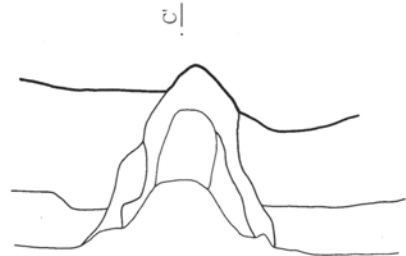
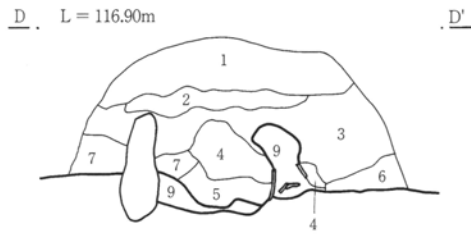
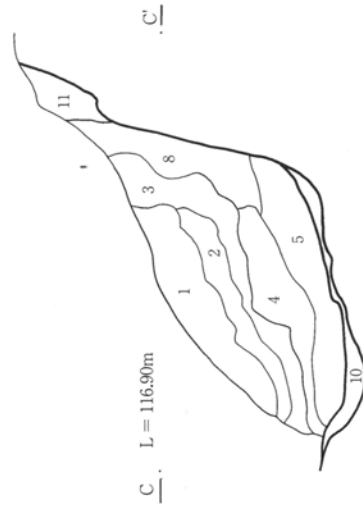
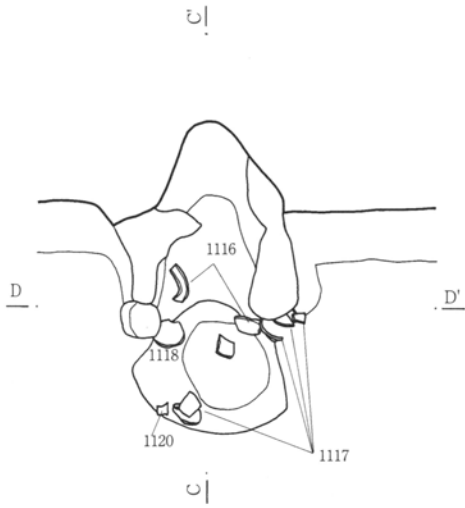


第197図 12号住居掘り方 平面図

12号住居 土層観察所見

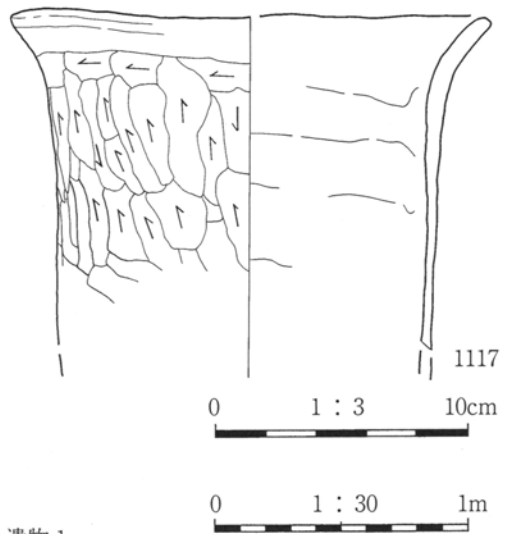
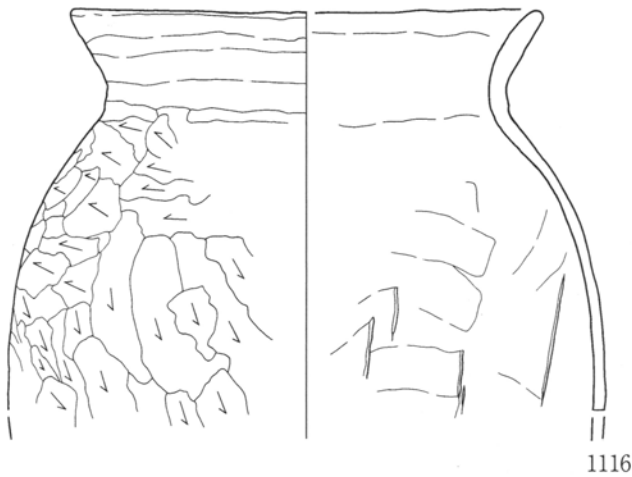
- 1 10YR4/6 褐色土 ロームを主体とし、暗褐色土が混じる。ロームブロックを含む。
 - 2 10YR4/3 暗褐色土 ローム、ロームブロックを含む。炭化物、焼土粒を少量含む。As-Cはほとんど含まない。
 - 3 10YR4/3 暗褐色土 ローム、ロームブロックを含む。As-Cはほとんど含まない。
 - 4 10YR3/3～3/2 暗褐色土～黒褐色土 ローム粒を含む。輪郭のぼやけたロームブロックを少量含む。中央よりに炭化物を少量含む。As-Cを含むが、上位層に比べて少ない。
 - 5 10YR2/2 黒褐色土 As-Cを含む。ローム粒を含み、上位層より明るい。10YR3/3暗褐色土の斑を含む。
 - 6 10YR1.7/1 黒色土 As-Cを含む。黒みが強い。細粒でしっとりした土。
 - 7 10YR2/1 黒色土 As-Cを含む。10YR2/2黒褐色土の斑を含む。
 - 8 10YR2/1 黒色土 As-Cを含む。黒みが強い。
 - 9 10YR2/3 黒褐色土 砂質の軽石層 (As-B) 白っぽい軽石もある。軽石の上位にブロック状あるいは団子状に7.5YR3/2～3/1黒褐色火山灰の部分あり。
 - 10 10YR3/2 黒褐色土 As-Bの軽石、火山灰、黒褐色土の混土。二次堆積のAs-Bか。
 - 11 10YR2/2 黒褐色土 As-B、As-Cと思われる軽石が混じる。やや砂質。
- A 床面構成土 10YR4/6 褐色土 ロームを主体とし、黒色土小ブロックを少量含む。
 B 竈および竈覆土

1 竪穴住居

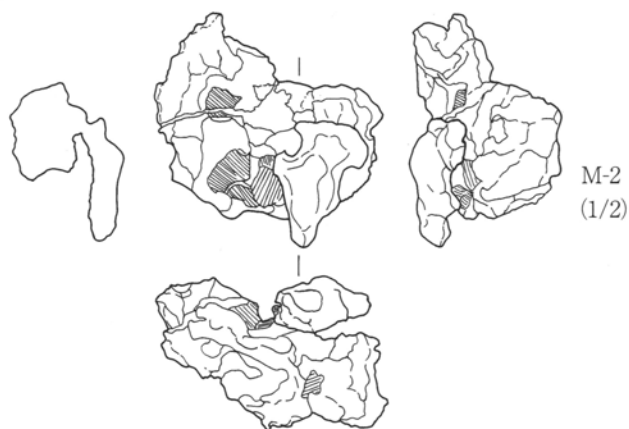
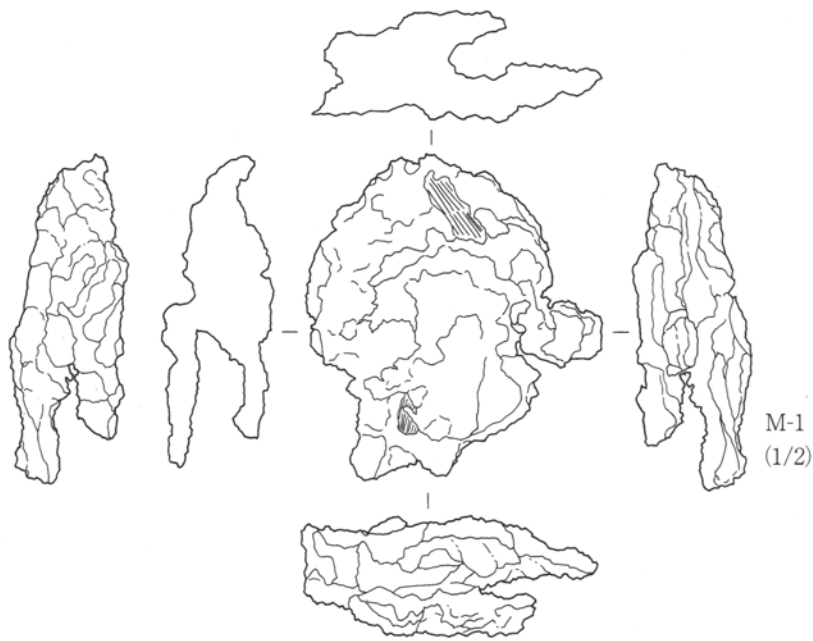
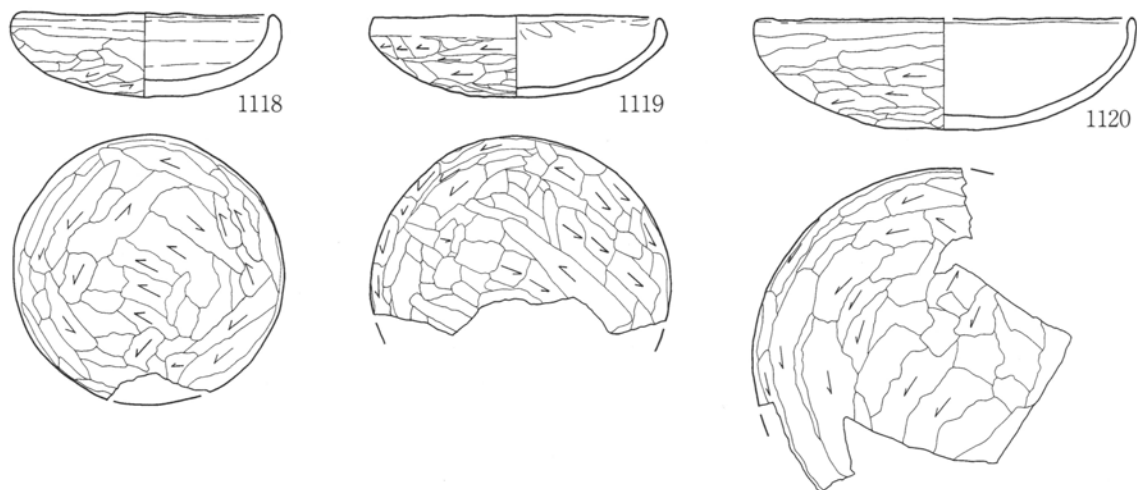


12号住居竈 土層観察所見

- 1 暗褐色土 焼土粒を少量含む。
- 2 黒褐色土 白色粘土小ブロックを多く含む。
- 3 暗褐色土 ローム小ブロック、焼土粒を多く含む。
- 4 暗褐色土 白色粘土小ブロック、ローム小ブロックを多く含む。
- 5 暗褐色土 焼土粒、白色粘土小ブロック、炭化物粒を多く含む。
- 6 黒褐色土 炭化物粒、ローム小ブロックを少量含む。
- 7 暗褐色土 白色粘土小ブロック、ローム小ブロックを少量含む。
- 8 黒褐色土 焼土粒、ローム小ブロックを少量含む。
- 9 暗褐色土 焼土ブロック、白色粘土小ブロックを多く含む。
- 10 暗褐色土 焼土ブロック、ローム粒を多く含む。
- 11 暗褐色土 焼土粒、ローム粒を少量含む。



第198図 12号住居竈 平面図 土層断面図 掘り方平面図 出土遺物1



0 1 : 2 5cm

0 1 : 3 10cm

第199図 12号住居 出土遺物2

1 竪穴住居

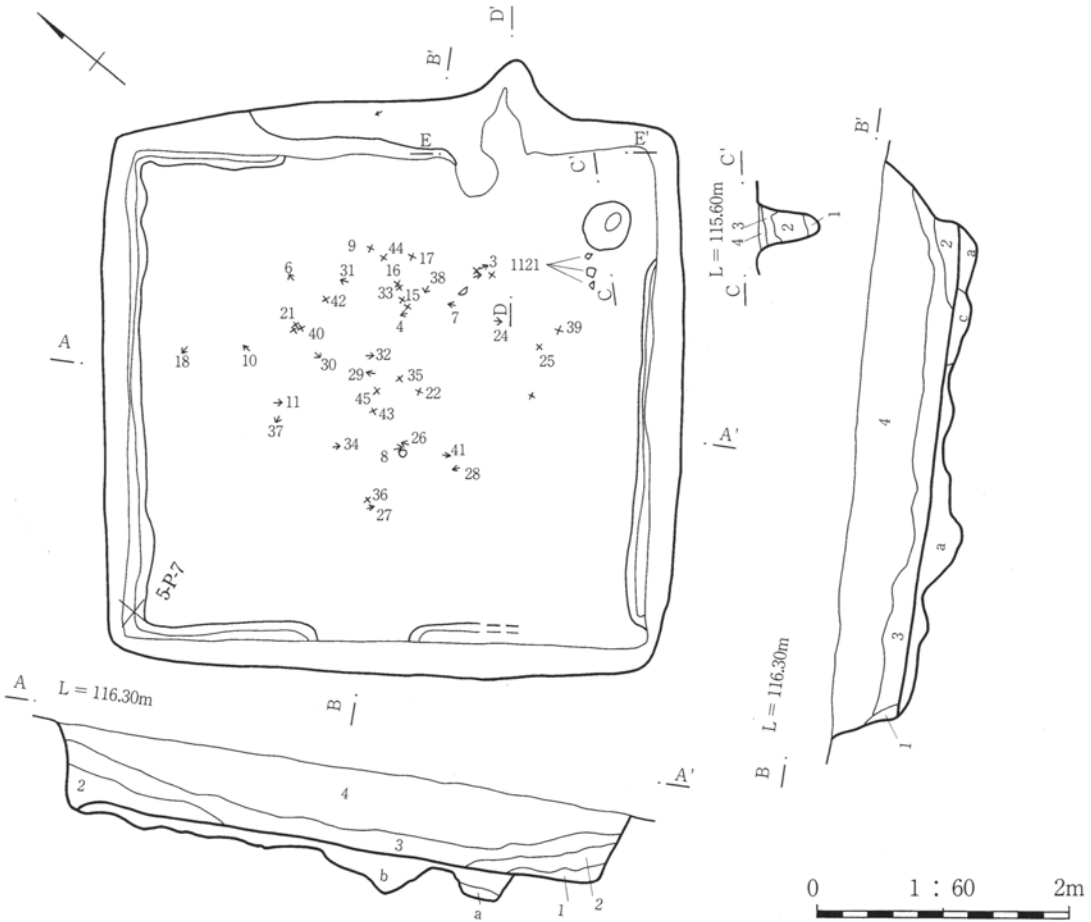
13号住居

位置 5-N/O/P-6.7グリッド。標高116.1mから116.3mの南西向き緩傾斜部に立地する。北に1号古墳がある。北東西に13号住居があるが、20mほど離れている。萱野遺跡から続く住居群の北東端に近い位置と思われる。

形態・規模 東西4.19m、南北3.82mと東西方向がわずかに長いが、ほぼ方形の平面形を示す。四隅は強く屈曲する。

覆土 ローム粒、ローム小ブロックを含む黒褐色から暗褐色土で埋没する。

掘り方・床 掘削底面には不定形の土坑状掘り込みが見られ、これをロームブロックを非常に多く含む褐色



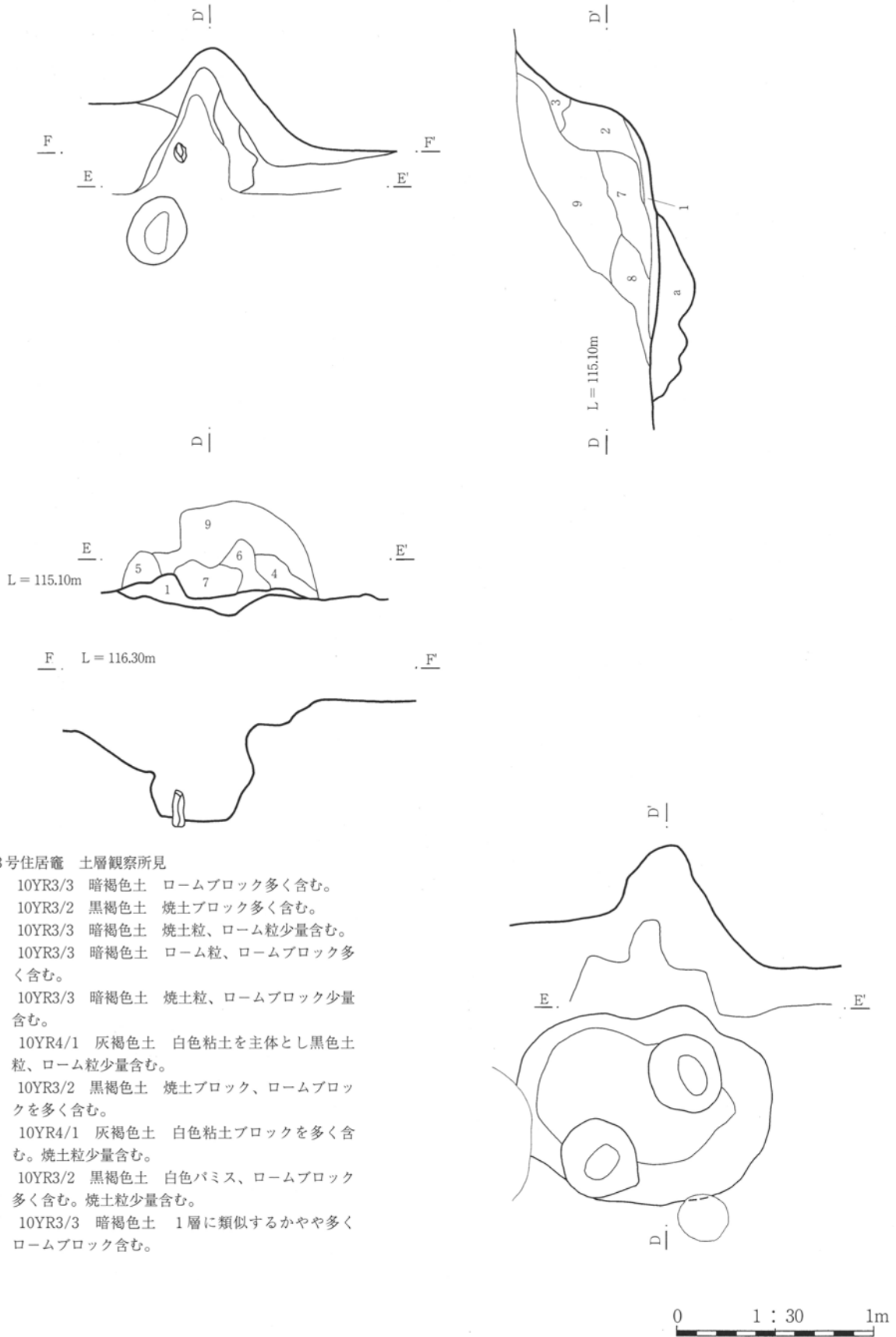
13号住居土層観察所見

- 1 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒を非常に多く含む。
- 2 10YR2/1 黒色土 ローム粒。ローム小ブロックを多く含む。
- 3 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒、ロームブロックを多く含む。
- 4 10YR2/3 黒褐色土 白色パミスを多く含む。
- a 10YR4/6 褐色土 ロームを主体とし、黒色土小ブロックを少量含む。
- b 10YR4/4 褐色土 ロームブロックを非常に多く含む。
- c 床下土坑

13号住居 貯蔵穴土層観察所見

- 1 10YR4/6 褐色土 ロームを主体とし、黒色土粒を少量含む。
- 2 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒、ロームブロックを非常に多く含む。
- 3 10YR4/6 褐色土 ロームを主体とし、黒色土小ブロックを多く含む。
- 4 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒を少量含む。

第200図 13号住居平面図 土層断面図



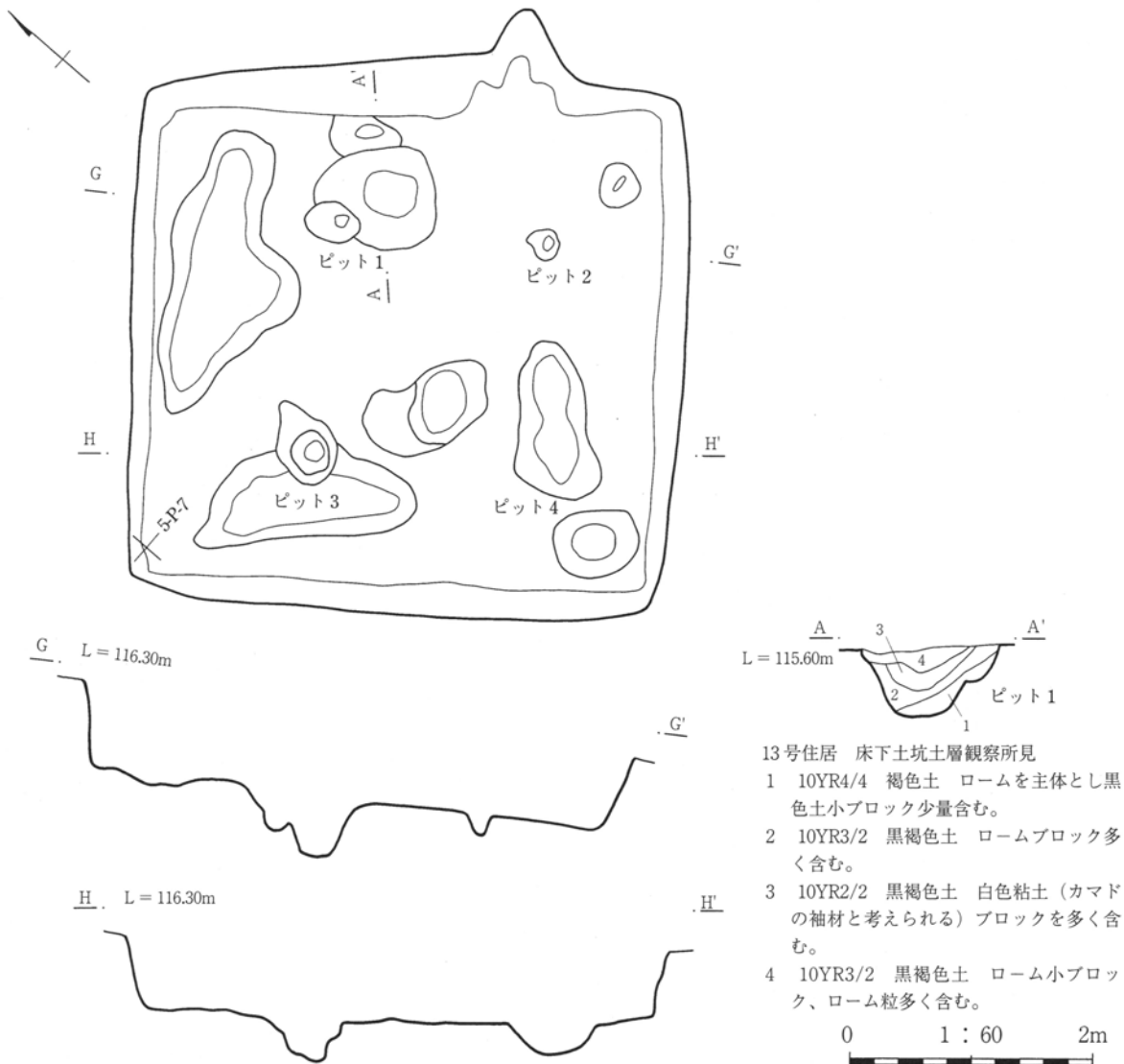
第201図 13号住居竈 平面図 土層断面図 掘り方平面図

1 竖穴住居

土で埋めて床面を構成する。しっかりとした均平な床面である。東壁中央よりやや北寄りに南北1.32m、東西1.04mほどの卵形の平面形で床面からの深さ57cmほどの床下土坑がある。これは下位がロームブロックの多い褐色から黒褐色土で埋まるが、中層上部の覆土には竈構築材に用いられるのと同じ白色粘土のブロックが多く含まれている。

壁 残存壁高は最深部で65cmほどある。やや上方に開き気味だが、ほぼ垂直に近く立ち上がる。東壁は竈部分を中心に上部がやや崩れる。壁周溝は西壁中央部と竈左手から東南隅にかけての部分が途切れる。西壁南隅近くが把握しがたいが、東壁北部から西壁北部にかけてと西壁南部から南壁の東端近くまで巡るものと思われる。幅は最大で18cmほど、深さは5cmほどである。

柱穴 床面では確認できなかったが、掘り方調査時にピット4基を認めた。住居全体からするとやや南東に偏するが、柱穴に相当するものと思われる。ピット1は長径46cm、短径22cmの楕円形の平面形で床面からの深さ38cm、ピット2は径27cmほどのゆがんだ円形の平面形で床面からの深さ22cm、ピット3は土坑状掘り方の中にあって形状が把握しがたいが、一辺40cmほどの隅丸方形の平面形で床面下46cmまで掘り



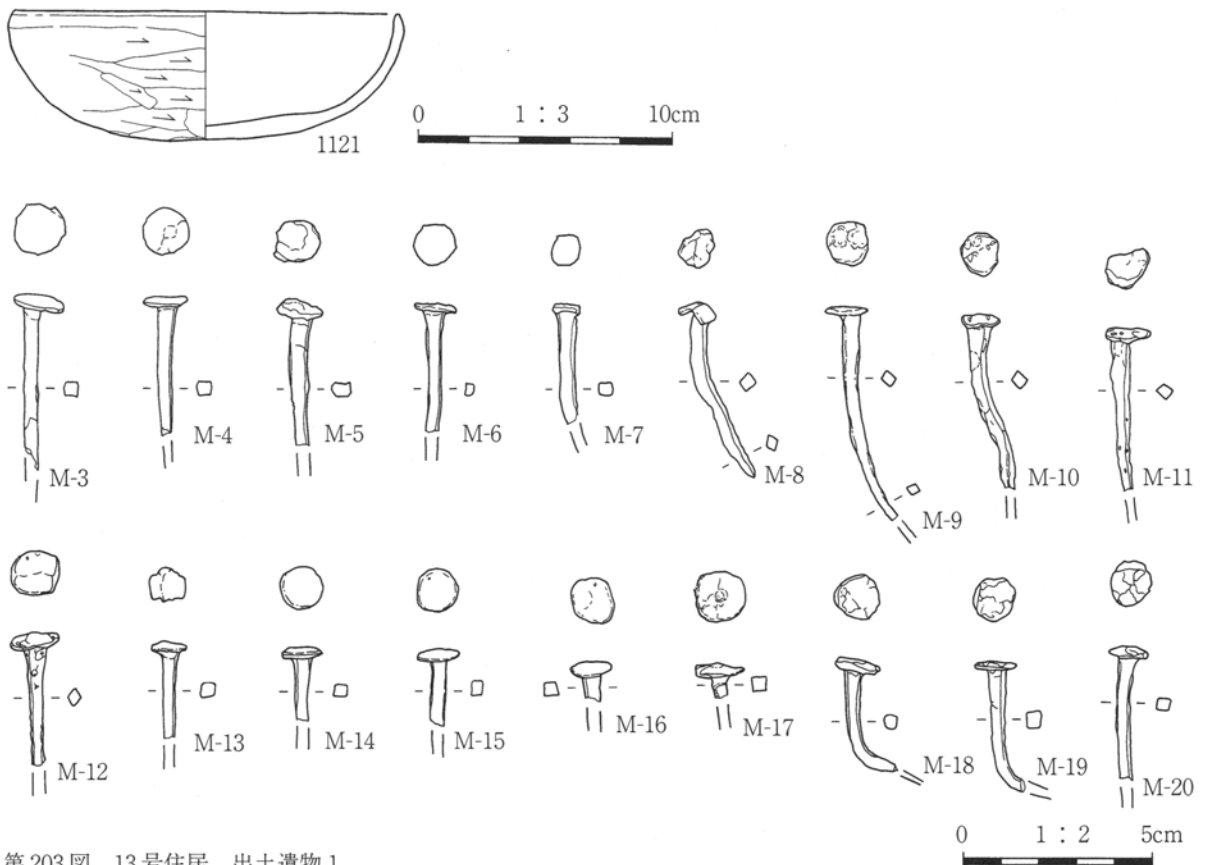
第202図 13号住居 掘り方 平面図 高低図

込まれる。ピット4は掘り方内で一段深くなった部分に当たり、床面下36cmほどまで掘り込まれる。ピット1-2間の芯々距離は1.75m、ピット1-3間は1.9mほどある。

貯蔵穴 東南隅に直径40cm、深さ45cmほどの掘り込みがある。貯蔵穴が作られることが多い位置に当たるが、断面形はU字状で、細く深いピット状を呈する。覆土は表層の黒褐色土以外はローム粒、ロームブロックが主体で、字義通りの「貯蔵穴」に相当するものではないかもしれない。

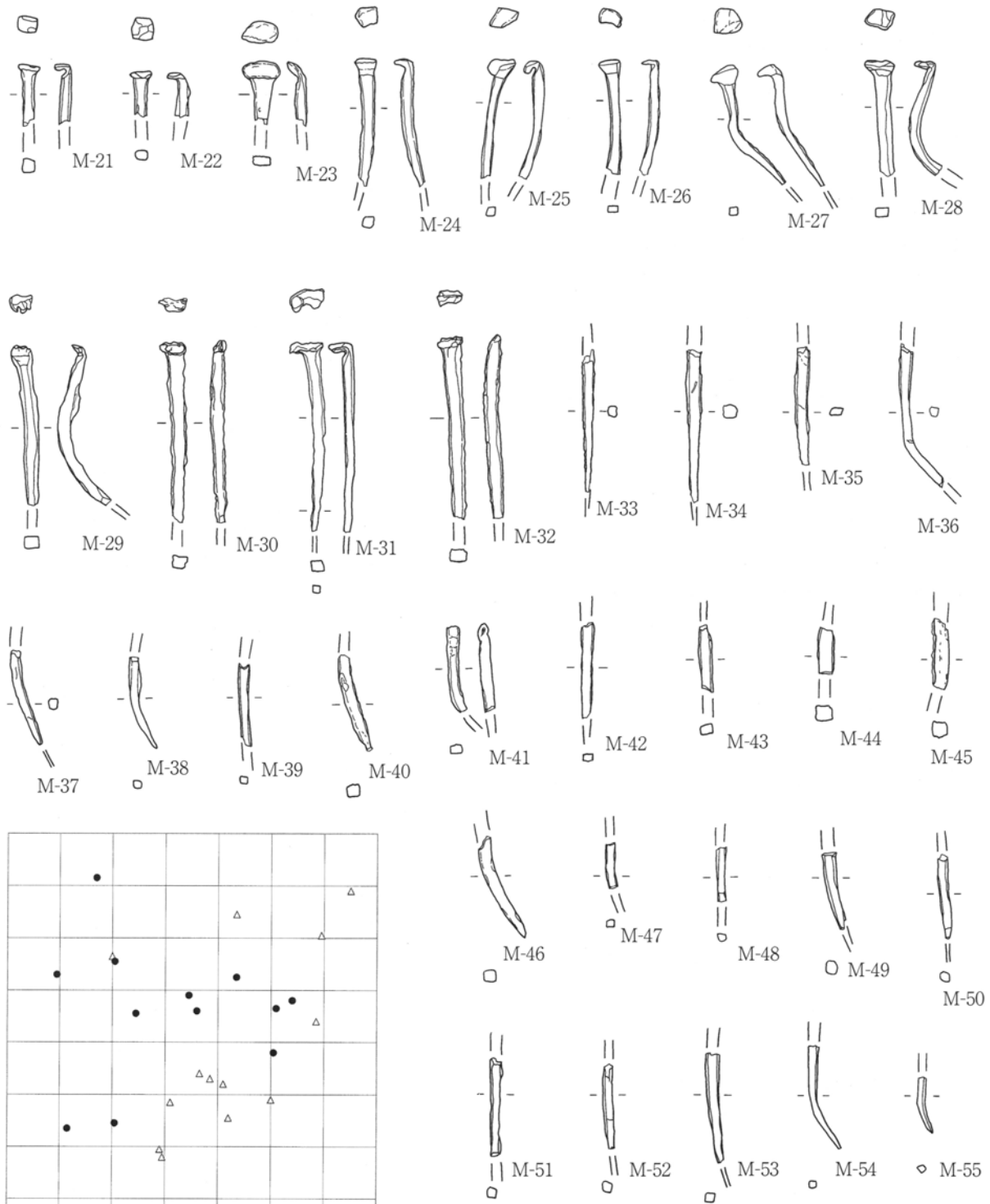
竈 東壁南よりの壁を掘り込んで構築する。構築材は白色粘土で、石などの構造材は認められない。燃烧部幅34cm、袖を欠き、壁端からの長さは50cmある。燃烧部の中心からやや左奥（北）に偏して、支脚に用いられたと思われる棒状の角礫が据えられている。

遺物 1121の土師器の坏は、貯蔵穴周辺の覆土2層ないし3層に属するものと思われる。丸底で体部は丸みを帯び、口縁は内湾する。8世紀前半代のものと見られ、これが住居の年代を示すものと考えても良いだろう。土器は他に細片が少量あるのみである。鉄釘が多数出土している。すべて折損しているが、頭を折り曲げた階折釘に近い形状のものと、平らな円形の頭部を持つ丸頭釘ないし平頭釘に近いものの二者がある。残りの良いものを見ると、いずれも太さは5mm以下、長さ6cm強の二寸釘に相当するものであったらしい。床面からは20cm以上浮いていて、覆土4層に含まれる。このため、住居に伴うものとは考えられない。垂直的な分布では折釘、丸頭釘に大きな差は認められないが、折釘が北西方向から住居中央近くにあり、丸頭釘は北東方向から竈前に分布軸を持つかに見え、さらに北東方向のものがやや高い位置にあって外部から流れ込んだような出土状況を示す。折損品を廃棄したものであろうが、両者が一括廃棄されたのではなく、それぞれまとまりを持って廃棄されているかに思える。



第203図 13号住居 出土遺物1

1 竖穴住居



第204图 13号住居 出土遺物2

0 1 : 2 5cm

△ 丸頭釘
● 折釘

第205图 13号住居 釘出土位置模式图

15号住居

位置 7-17-B11 グリッド。標高116.8mから117.1mの西向き緩傾斜部に立地する。

形態・規模 東西2.7m、南北3.25mのやや横に長い隅丸長方形の平面形を示す。南壁が中央近くでやや屈曲し北へ振れ気味となる。このため、東壁より西壁のほうがやや長い。主軸方向はN-82°-Eを示す。

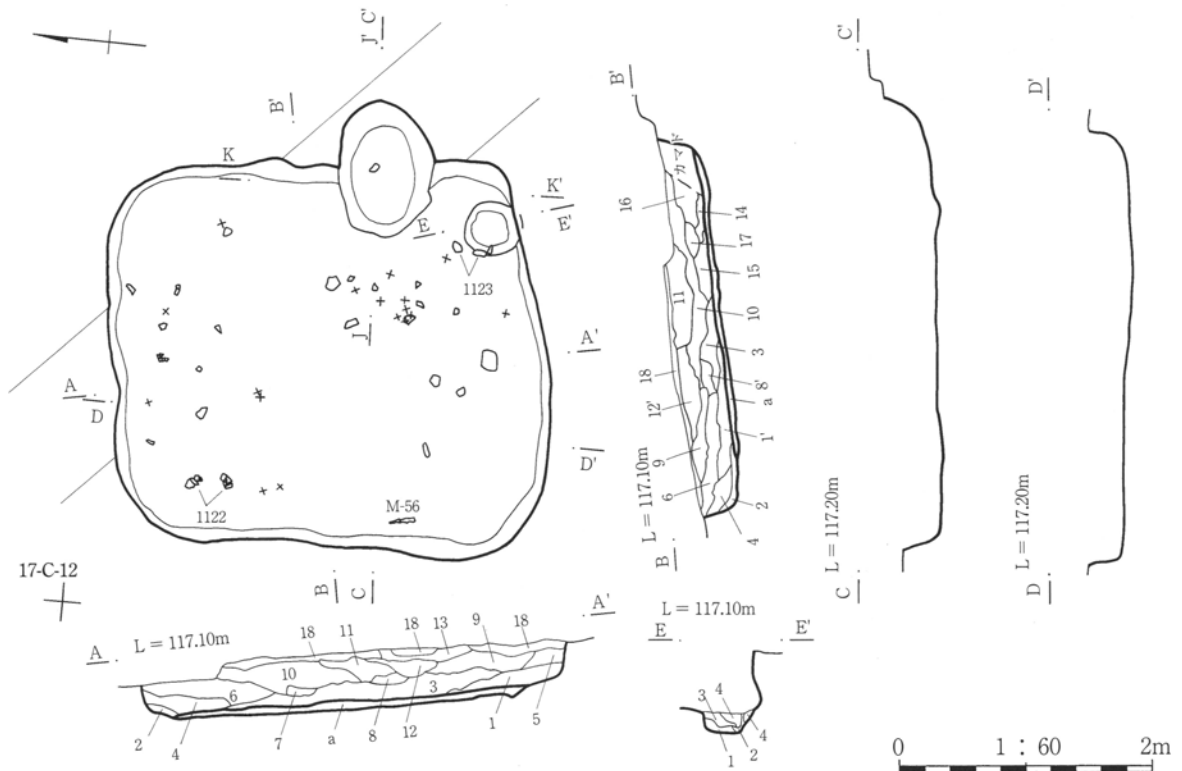
覆土 As-C、Hr-FAを含む暗褐色から黒褐色土で埋没する。

掘り方・床 中央部は平坦に掘削されているが、柱穴に相当すると思われる住居四隅に土坑あるいはピット状の掘り込みを持つ。貯蔵穴周辺の掘り込みは北東-南西方向に長い長円形で、長径1.1m、短径0.72m、深さは5cm程しかない。北西隅のピット1は南北0.44m、東西0.42m、深さ10cmの比較的整った円形の掘り込みである。北東隅には大小2か所の掘り込みがある。北側は直径0.34m、深さ25cmの整った円形平面の小ピット、南側のピット2は南北0.6m、東西0.44m、深さ20cm弱の楕円形平面の掘り込みである。南西隅部のピット3とした部分は長軸長1.06m、短軸長0.64m、深さ30cmの不整長円形の掘り込みである。これらをロームブロックを含む暗褐色土で埋めて床面を構成している。床面表層にはローム分が多く、部分的に炭質物や粘土の薄い層を挟みつつ、ごく堅く締まった床面となっている。

壁 残存壁高は最深部で40cmほどある。わずかに上方に開き気味となるが、ほぼ垂直に立ち上がる壁である。壁周溝は認められなかった。

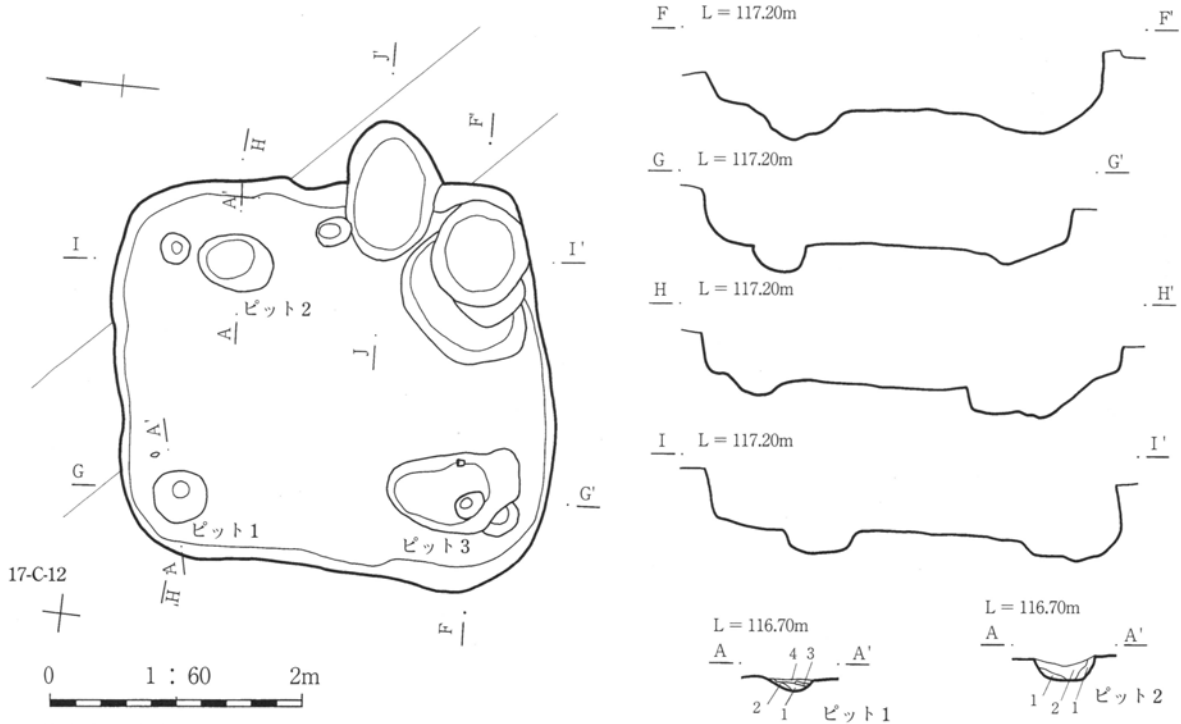
柱穴 床面で明確に柱穴と認識しうるものはなかった。前述の通り床面下には東南隅部の貯蔵穴周辺を含め四隅近くを中心に土坑あるいはピット状の掘り込みが認められたが、これらも積極的に柱穴とする根拠にはかける。

貯蔵穴 竈右手に当たる南東隅部に、一部南壁を掘り込むような形で貯蔵穴が掘られている。直径0.46mの



第206図 15号住居平面図 土層断面図 高低図 貯蔵穴土層断面図

1 竪穴住居



15号住居土層観察所見

- 1 10YR4/6 褐色土 再堆積ロームを主とし、ローム小ブロック。焼土粒を少量含む。しまり弱い。1' 焼土小ブロック含む。
- 2 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA 混。ローム粒を少量含む。
- 3 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA 混。ローム粒、焼土粒を含む。中央より南部ではロームが多くなる。
- 4 10YR3/4 暗褐色土 1層に類似した構成だが全体に汚れている。
- 5 1層と9層の混土。
- 6 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA 含む。ロームブロック含む。壁よりはローム粒子多くなりやや明るい。
- 7 攪乱
- 8 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒多く含む。As-C、Hr-FA 含む。8' 焼土小ブロック含む。
- 9 10YR3/4 暗褐色土 3層に類似したAs-C、Hr-FA 混土と崩れたローム斑との混土。
- 10 10YR3/3 暗褐色土 As-C、Hr-FA 含む。焼土粒含む。炭化物含む。ローム粒全体に含む。
- 11 As-OP1 周辺層を中心とするロームブロックとロームの混土。焼土粒少量含む。
- 12 10YR4/6 As-C、Hr-FA を少量含む。ロームブロック含む。12' 焼土粒含む。
- 13 75YR4/6 褐色土 焼土粒、焼土小ブロックを含む。全体に焼けて変している。
- 14 10YR4/6 褐色土、再堆積ロームブロック主体。一部焼化赤変している。
- 15 10YR3/4 暗褐色土 径1~3cmのロームブロック、ローム斑を多く含む。
- 16 10YR4/6 褐色土 崩れたローム斑を主体とする。As-C、Hr-FA 粒を少量含む。
- 17 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒含む。As-C、Hr-FA 含む。
- 18 表土・攪乱土
- a 掘方埋土 10YR3/4 暗褐色土 ロームブロック混入。表層はロームが多い。部分的に炭や粘土の薄層をはさむ。ごく固くしまっている。

15号住居 貯蔵穴土層観察所見

- 1 10YR3/4 暗褐色土 ローム多く含む。粘質。しまっている。
- 2 10YR3/3 暗褐色土 粘土多く含む。しまっている。
- 3 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒、小ブロック含む。焼土、炭化物少量含む。ややしまっている。
- 4 10YR3/4 暗褐色土 粘土斑含む。やや粘質。しまっている。

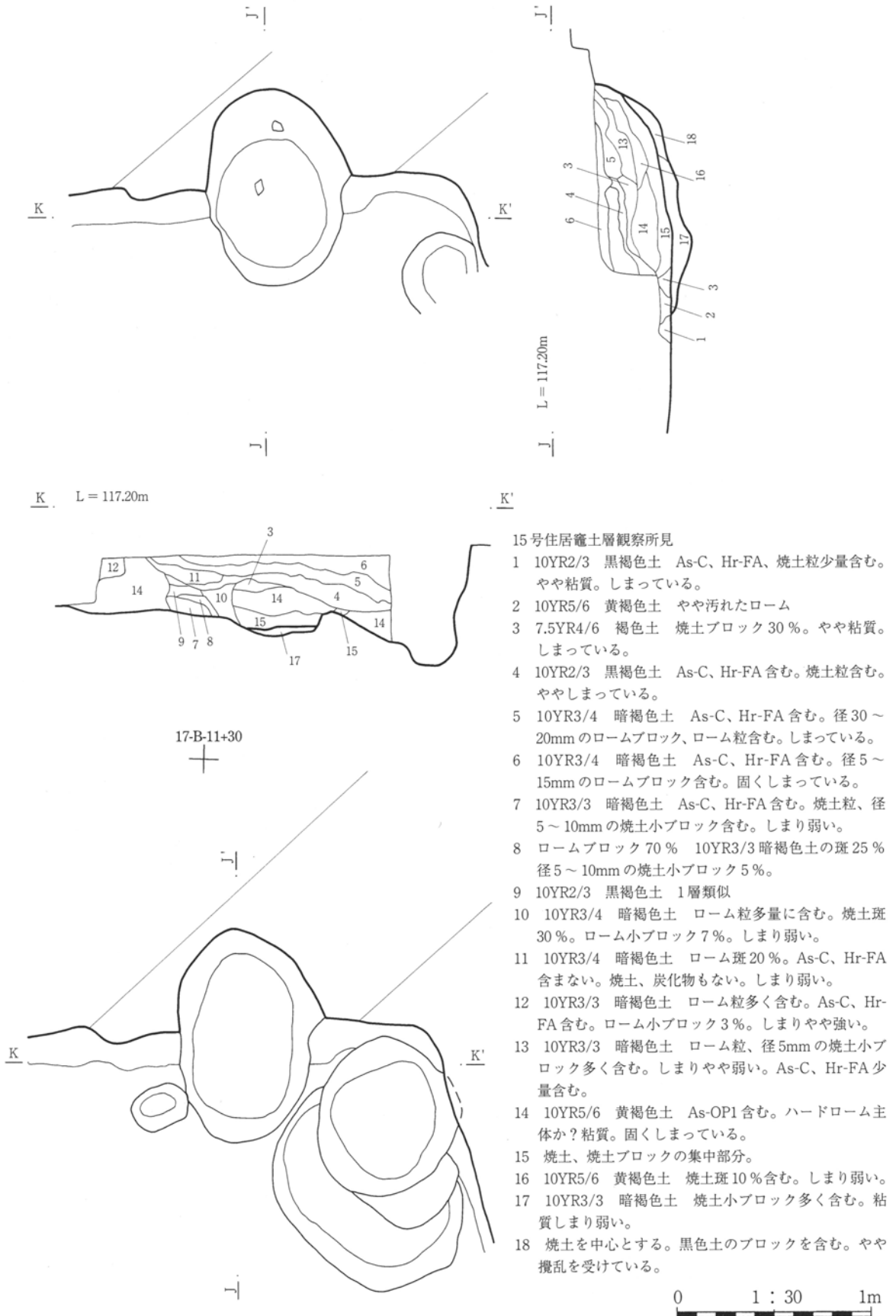
15号住居 ピット1土層観察所見

- 1 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒多く含む。しまり弱い。
- 2 10YR6/4 にぶい黄橙色土 汚れたローム。
- 3 10YR6/4 にぶい黄橙色土 縞状にのびたロームブロック。
- 4 10YR3/4 暗褐色土 ロームブロック3%。焼土少量含む。しまっている。

15号住居 ピット2土層観察所見

- 1 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA 含む。焼土小ブロック、ロームブロック含む。しまり弱い。炭化物少量含む。
- 2 10YR3/4 暗褐色土 ロームブロック、ローム斑を多く含む。しまり弱い。炭化物少量含む。

第207図 15号住居掘り方 平面図 高低図 ピット土層断面図



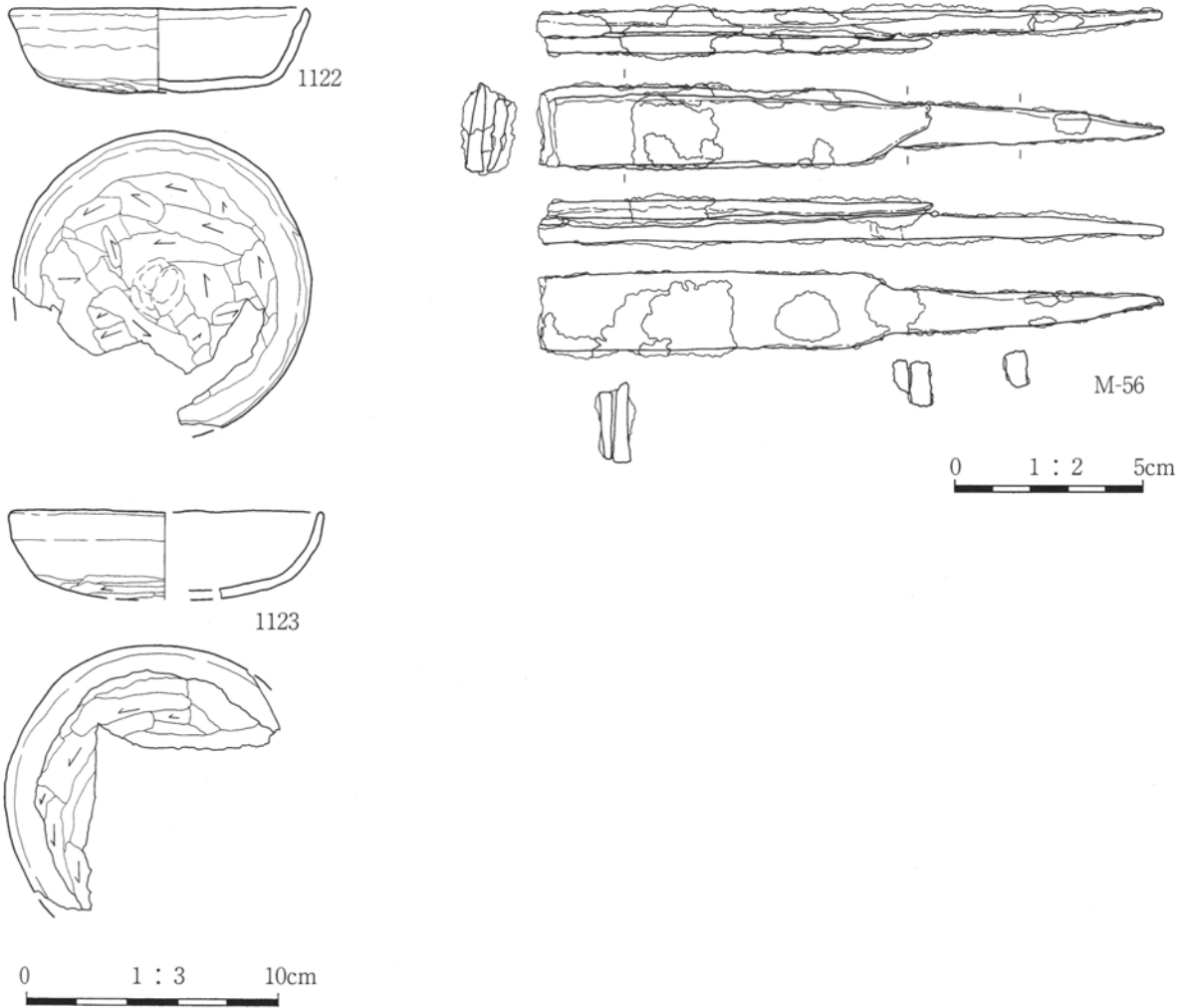
第208図 15号住居竈 平面図 土層断面図 掘り方平面図

1 竪穴住居

円形の平面形で、20cmほどの深さがある。覆土は粘性のある暗褐色土で、柱穴かと思われるほどに全体に締まりが強い。

竈 東壁南よりを壁外に掘り込んで構築している。煙道は失われ、袖も崩れて明確にはとらえられない。燃烧部は長径2.04m、短径1.36mの楕円形の掘り込みとしてとらえられ、半分強が壁外となる。黄褐色ロームを主体的な構築材としている。石などの構造材は認められないが、燃烧部左手前近くには小ピットがあって、袖石の据え方が残ったものかと思われた。燃烧部中央には天井部分が崩落したと思われるほぼローム土のみのブロックが落ち込んでおり、この下位に焼土や灰、炭化物の堆積がある。

遺物 竈前に当たる住居東南四半と北部に土器、石片が散在的に分布する。1122は北西部の床面直上から出土した土師器坏で、平底で、底部は篋削りし、外面中央付近に指頭痕と思われる円形の浅い窪みが見られる。体部は直線的に立ち上がり、無調整帯がある。口縁部は外傾する。1123は南東部の覆土下位から出土した土師器坏。底部は扁平で若干丸みを帯びる。体部は緩やかに立ち上がり、口縁部は僅かに外傾する。底部は篋削りを施し、体部に無調整帯が見られる。体部から口縁部にかけて撫でを施す。いずれも9世紀前半に位置づけられるものであろう。M56の鉄製刀子は西壁南部の床面から出土したもので、刀身がきれいに二つに折りたたまれた状態で出土している。



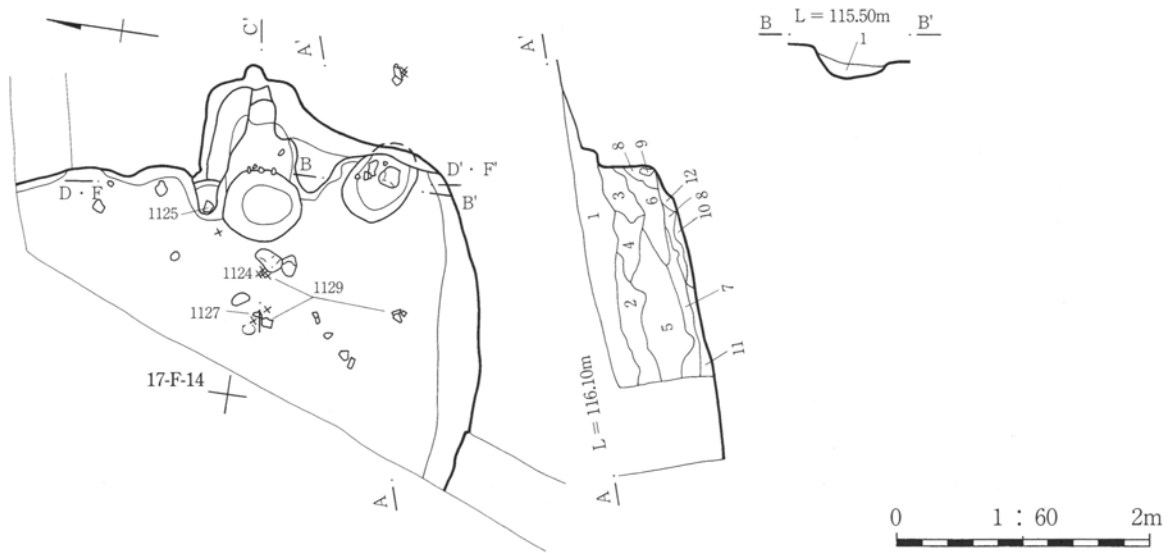
第209図 15号住居 出土遺物

16号住居

位置 7-17-E/F-13/E-14グリッド。標高115.9mから116.1mの南西向き緩傾斜部に立地する。調査区西端にあつて、堤沼上遺跡と本遺跡を画する西の谷地に接する位置に当たる。堤沼が作られたことにより、この地点における地下水位が上がったものと思われるが、掘り方・床面に達する以前に湧水で水没する状態にあつた。

形態・規模 北西部が調査区外となり、東南部のみを調査したため、全体の形状は把握できない。東西確認長2.4m、南北確認長3.44m。方形ないし長方形の平面形を呈するものだろう。南壁はN-84°-E、竈主軸方向はN-75°-Eを示す。

覆土 ローム小ブロックを含む暗褐色から黒褐色土で埋没する。中位にAs-YPを含むロームブロックや黒褐色、暗褐色土が小さなレンズ状堆積をなす部分があつて、埋没過程が幾分かの中断を挟んだものであつたことが示される。



16号住居 土層観察所見

- 1 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA、ローム粒、焼土粒を含む。砂質味強く、固くしまっている。灰色をおびる。戦後の開田時に造成した土壌と思われる。
- 2 6層と7層の間中間的な様相 ロームブロックは6層より少なく、ごく小さな斑や粒子としてロームが多く含まれる。径5mm程の焼土小ブロックを含む。
- 3 10YR2/3 黒褐色土 7層中の黒味の強い部分が卓越する。As-C、Hr-FA、焼土、ローム等の混入は、7層より少ない。しまっている。
- 4 10YR3/2 黒褐色土 As-YP周辺土層の小ブロック、As-YP粒、As-C、Hr-FA粒などを多く含む。焼土粒含む。やや黒味の強い層とロームを多く含んで明るく見える層が不規則な互層をなす。しまっている。
- 5 As-YP混土層周辺のローム、ロームブロック 5層相当土などの混土。小さなレンズ状堆積の累重。しまっている。
- 6 10YR3/3 暗褐色土 径1cm程のローム小ブロック少量含む。As-C、Hr-FA含む。焼土粒含む。やや黒味の強い層とやや明るい層が不規則な互層をなす。しまっている。
- 7 10YR2/3 黒褐色土 径1～4cmのAs-YPを主体とするロームブロックを含む。FA.C粒含む。やや砂質味強く、しまっている。
- 8 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒、FA粒、As-YP粒、焼土粒を含む。しまり弱い。
- 9 攪乱された3層
- 10 10YR2/3 黒褐色土 As-YPを含むロームの崩れた小ブロック、焼土小ブロック含む。FA粒少量含む。
- 11 ロームブロック、焼土ブロックは漸移的に少なくなり、As-C、Hr-FA粒子が多くなる。
- 12 10YR4/6 As-OP1混土相当層が焼土化カマド袖の末端部

16号住居 貯蔵穴 土層観察所見

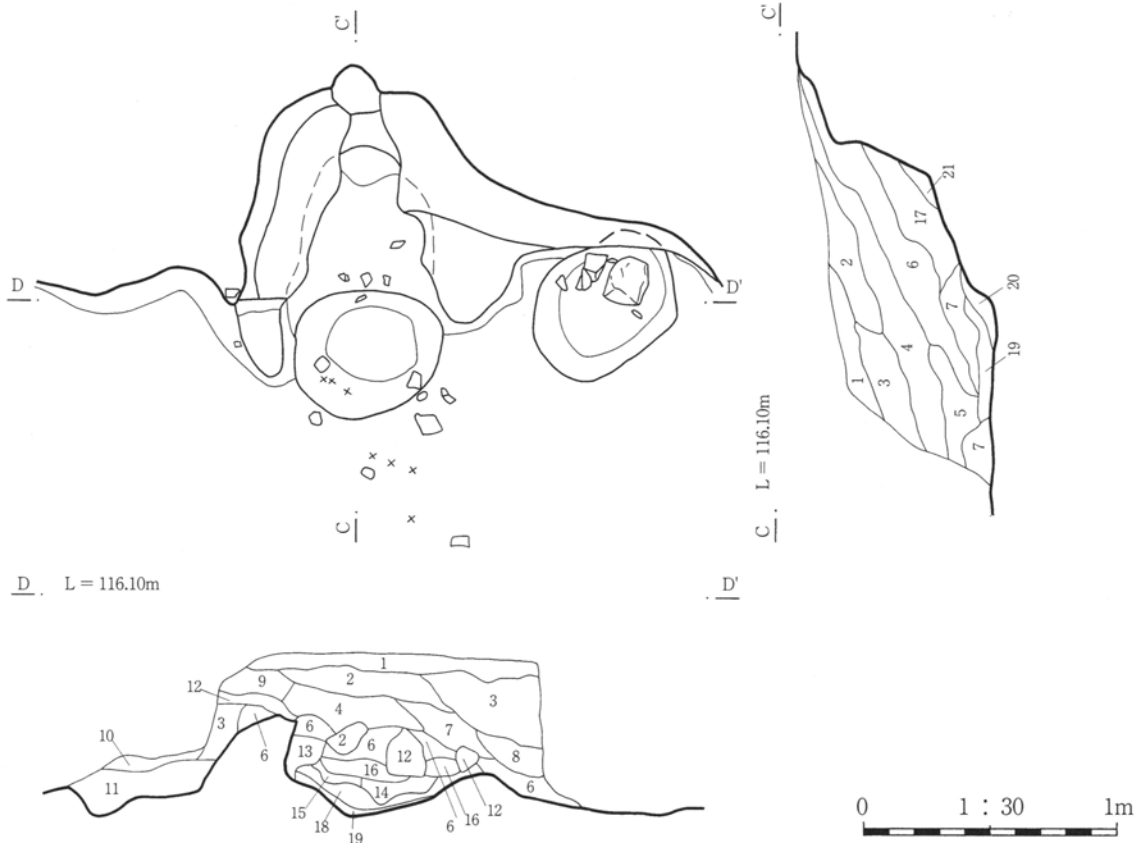
- 1 ローム、焼土、粘土がたしつぶされた縞状の互層をなして堆積。粘質。ややしまっている。

第210図 16号住居 平面図 土層断面図 貯蔵穴土層断面図

1 竪穴住居

掘り方・床 確認時点ではAs-YPを含む崩れたローム小ブロックや焼土小ブロック、炭質物を含んだ、締まった床面が捉えられたが、湧水のため軟弱化し、詳細な観察をすることができなかった。掘り方として認められる状態はなく、掘削底面を固めて床面としたものと思われる。

壁 確認最大深は80cmある。平面図作成時点では湧水のために全体的に崩れた状態を図化せざるを得なかったが、上部に崩れはあるものの、きっちりと垂直に立ち上がる壁である。壁周溝は確認できない。



16号住居 竈 土層観察所見

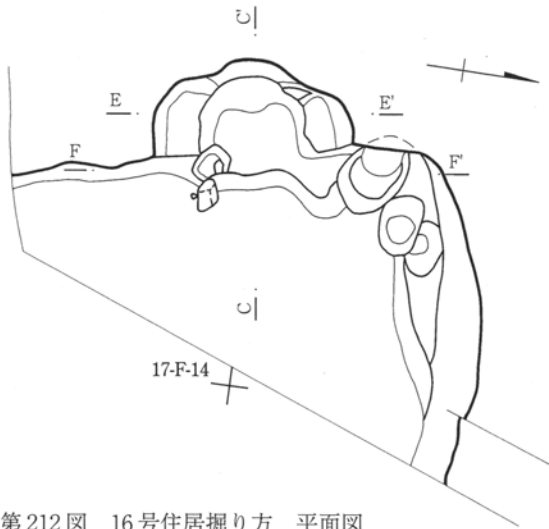
- 1 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒、As-C、Hr-FAを多く含む。焼土粒含む。固くしまっている。
- 2 10YR3/4 暗褐色土 径5～20mmのロームブロック3%。As-C、Hr-FA含む。
- 3 10YR2/3 黒褐色土 径10～50mmのロームブロック7%。As-C、Hr-FA含む。焼土粒少量含む。しまっている。
- 4 10YR3/3 暗褐色土 焼土粒多量に含む。ローム小ブロック多く含む、特に東側に集中する。しまり弱い。
- 5 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA含む。ローム粒含む。焼土小ブロック含む。しまり弱い。
- 6 10YR6/8 明黄褐色土 ロームブロック、焼土粒少量含む。カマド構築土。
- 7 10YR2/3 黒褐色土 20%、10YR3/4 60% 崩れたローム斑20%の斑状混土。径10mmの焼土ブロック多く含む。As-C、Hr-FA含む。
- 8 10YR3/4 暗褐色土 焼土小ブロック、ローム斑 As-C、Hr-FA含む。
- 9 10YR3/4 暗褐色土 焼土粒、ローム粒多く含む。As-C、Hr-FA含む。しまり弱い。
- 10 10YR5/6 黄褐色土 焼土ブロックとロームの混土。
- 11 10YR3/3 暗褐色土 焼土ブロック(径5～10mm)7%、ローム粒多く含む。しまり弱い。
- 12 10YR2/2 黒褐色土 As-C、Hr-FA含む。固まっている。根跡だろう。
- 13 焼土ブロック斑3%、ロームブロック40% 10YR3/4粘質土30%のランダムな混土。しまり弱い。
- 14 10YR2/3 黒褐色土 粘質土中に焼土小ブロック3%。ローム小ブロック3%含む。しまり弱い。
- 15 10YR6/6 明黄褐色土 ローム
- 16 10YR2/2 黒褐色土 焼土小ブロック3%。ローム粒含む。炭化物含む。しまり弱い。
- 17 7.5YR5/6 明褐色土 焼土小ブロック10%。やや粘質。ややしまっている。
- 18 焼土集中層 天井部内面に相当する。
- 19 黒色灰層
- 20 焼土層
- 21 軟質の焼土層

第211図 16号住居竈 平面図 土層断面図

柱穴 認められない。

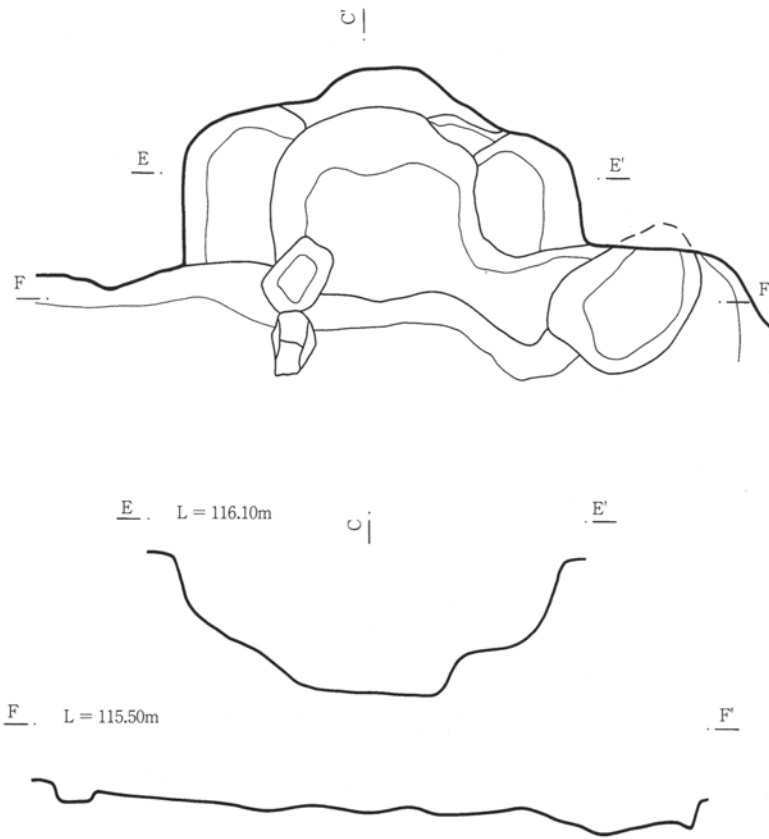
貯蔵穴 竈右手に当たる南東隅にある。東壁の南端部をやや掘り込んで作られている。北西-南東方向に長軸を持つ長円形の平面形で、長軸長0.66m、短軸長45cm、周辺床面からの深さ15cm。ローム、焼土、竈から流れたものと思われる粘土が押しつぶされた縞状の互層をなして内部に堆積している。

竈 東壁南よりを壁外に掘り込んで構築している。当初は1.5m程の幅で、奥行き0.5m程の範囲を浅く掘り込み、その中央部に幅70cmほどの燃烧部を深く掘り込む。ローム主体の明黄褐色粘土を構築材としている。左袖と燃烧部手前、さらに貯蔵穴内に落ち込んだように残された角礫が構造材に用いられていたものと思われる。燃烧部は径1.2m程の範囲で円形に窪むが、ここには天井の残痕と思われる明黄褐色粘土が落ち込み、その下位にブロック化した焼土や灰が堆積している。



第212図 16号住居掘り方 平面図

0 1 : 60 2m

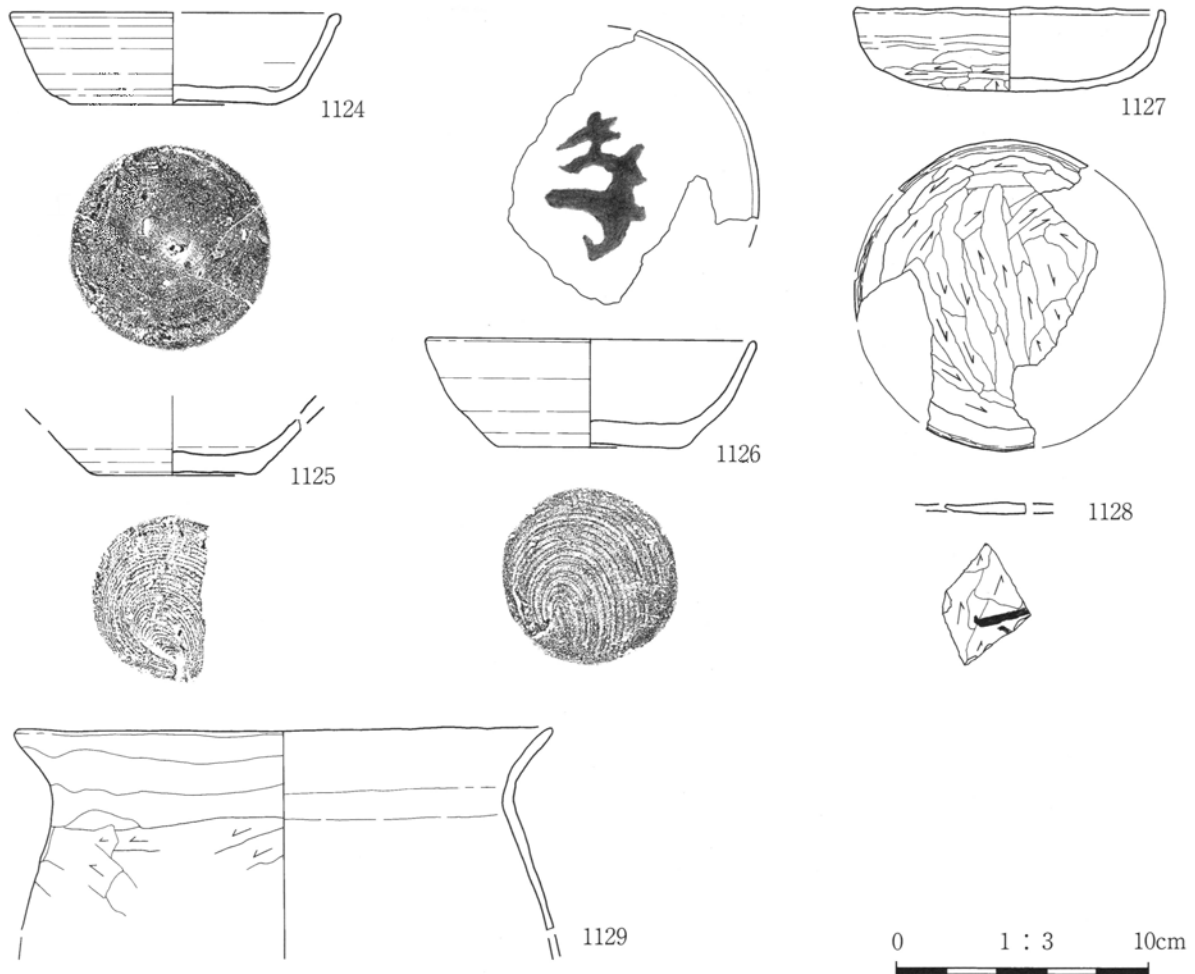


第213図 16号住居竈掘り方 平面図 土層断面図

0 1 : 30 1m

1 竪穴住居

遺物 竈周辺に土器片が散在しているが、特定の使用状況を示さない。1124-1126 は須恵器の坏である。いずれも右回転の轆轤整形で、平底。1124 は竈近くの床面から出土しており、底部回転篋切り、体部は直線的に立ち上がっていて、1125、1126 に比してやや古相を示す。1125、1126 は回転糸切りで、1125 の底部内面には「寺」と読める墨書がある。1127 は土師器の坏で器高が低く、底部は丸底で篋削りを施し、体部は無調整帯を残して緩やかに立ち上がる。口縁部は短く、わずかに外傾する。1128 も土師器坏の底部破片で、判読できないものの明瞭な墨書が残る。1129 は竈内出土の土師器甕で、口縁部はくの字状を呈し、外反する。1124 が8世紀前半のものと思われるが、他は8世紀後半の年代を示す。



第214図 16号住居 出土遺物

17号住居

位置 7-17-D-11/12グリッド。標高116.0mから116.1mの南西向き緩傾斜部に立地する。

形態・規模 北壁長2.7m、南壁長3.1m、南北3.4m。整った長方形の平面形を示すが、東壁が竈を境にやや食い違っており、北壁より南壁のほうがやや長くなる。主軸方向はN-77°-Eを示す。

覆土 南部と北部でやや様相が異なる。北側ではAs-CやHr-FAを混ざる暗褐色から黒褐色土が埋土の主体をなし、南側ではAs-C、Hr-FAに加えてロームブロックやローム粒などローム分の多い暗褐色土が主体となる。

掘り方・床 西壁から南北両壁にかけてやや深く掘り込まれていて、特に北西、南西の隅部が広く、深めに

掘られている。これをAs-C、Hr-FA、ローム小ブロックを含む暗褐色土で埋めて床面を構成する。竈周辺から南壁東部にかけて、北東隅部、西壁中央部には材の形状を止めない炭化物の薄い層が広がっている。

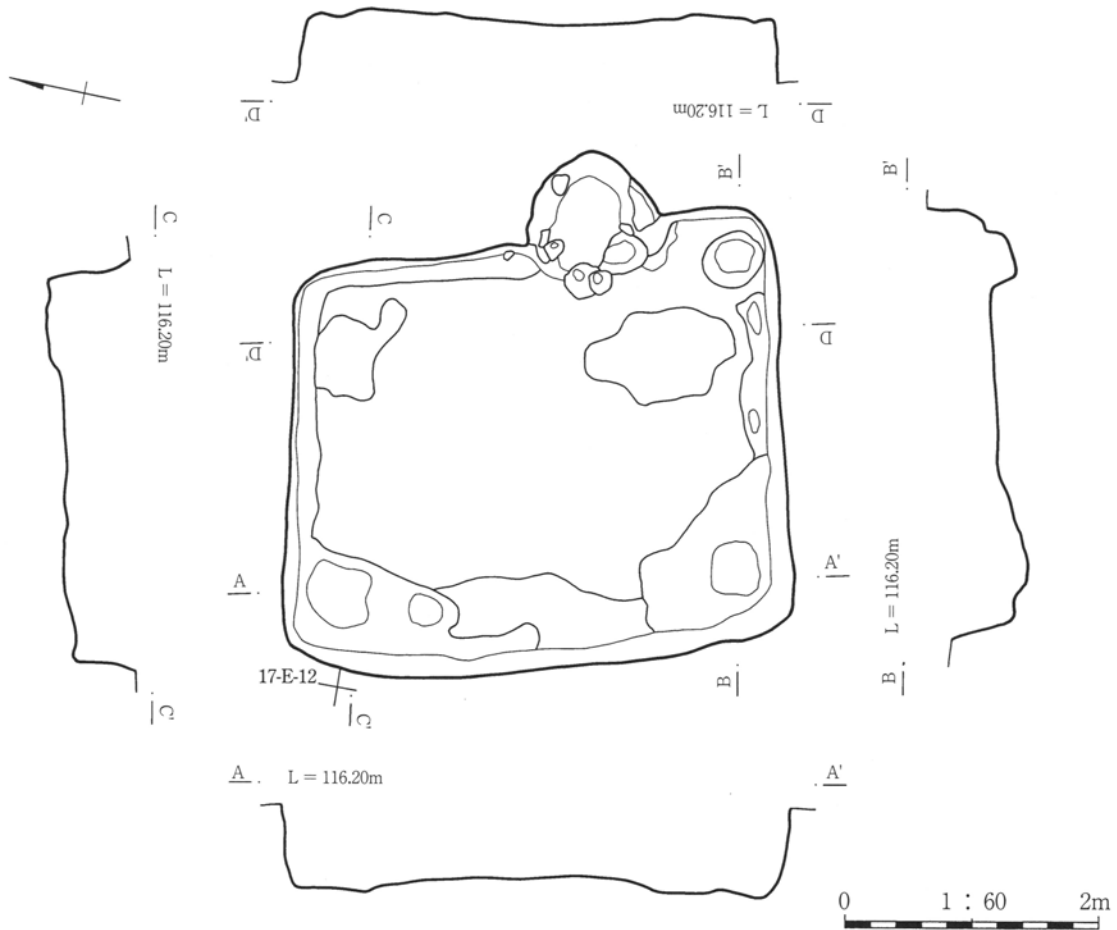
壁 確認最大深は50cmほどで、きっちりと垂直に立ち上がる壁である。壁周溝は東壁南よりの竈から東南隅の貯蔵穴にかけての部分のをぞいて全周する。幅25cmから30cmほどで、深さ8cmから10cm、締まりの弱い暗褐色土や崩れたローム土で埋まっている。

柱穴 認められない。

貯蔵穴 東南隅にある。直径0.45m、深さ30cmほどの円形の平面形を呈するもので、粘土粒や焼土粒を少量含む黒褐色土で埋まっている。

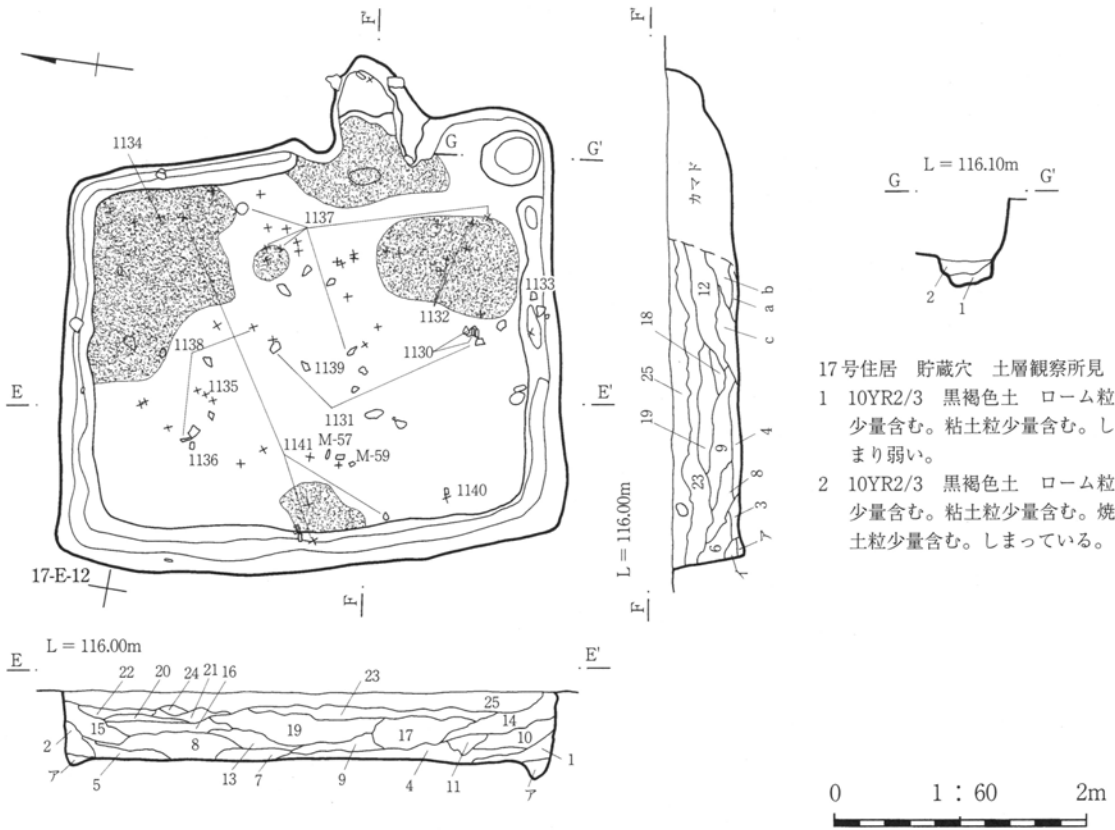
竈 東壁南よりを壁外に掘り込んで構築している。ローム起源の褐色粘土を構築材とする。煙道付近及び右袖部には川原石が認められ、これを構造材に用いていたものと思われる。掘り方でも、壁との接合部に据え方の痕跡と思われる小さなくぼみが見られた。燃烧部は過半が壁内にあつて、幅0.45m、長さ0.64m。煙道端までの長さは1.2mある。燃烧部中央やや右寄りに角柱状の礫があつて、支脚に用いられていたものと考えられる。煙道口部には小礫と土師器甕(1137)が見られる。

遺物 竈部、特に煙道部に土器片の集中があるが、他は住居全体から、特定の分布傾向を示さず、散在的に出土している。土器はいずれも9世紀前半期の様相を示す。1130-33は平底の須恵器坏で、右回転の轆轤整形、回転糸切り。1133の底部外面には「新殿」の墨書がある。1135、1136は須恵器の蓋。1135は摘みのみが出土した。丁寧なつくりで、天井部・摘みともに右回転轆轤成整形。1136は摘みを欠損する。天井部は



第215図 17号住居掘り方 平面図 高低図

1 竪穴住居



17号住居 貯蔵穴 土層観察所見

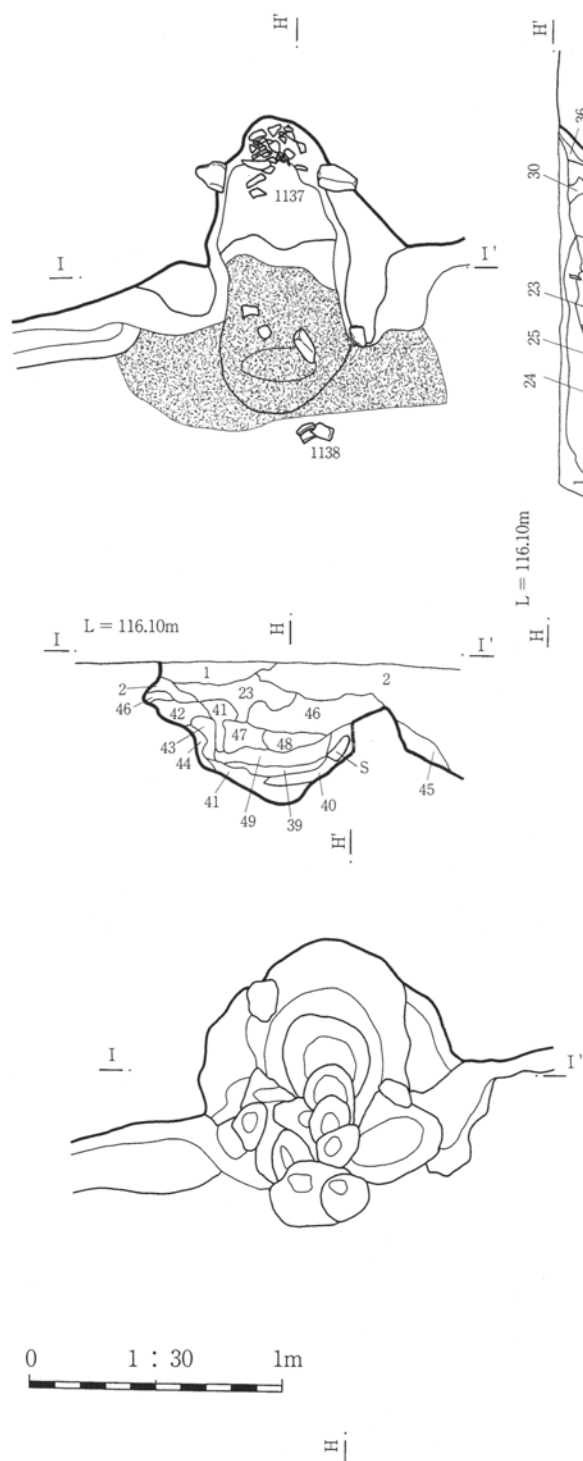
- 1 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒少量含む。粘土粒少量含む。しまり弱い。
- 2 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒少量含む。粘土粒少量含む。焼土粒少量含む。しまっている。

17号住居 土層観察所見

- 1 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒含む。As-C、Hr-FAごく少量含む。やや粘質。粒子そろっている。しまり弱い。
- 2 10YR2/3 黒褐色土 ローム斑、As-C、Hr-FA含む。ローム小ブロック含む。粒子不均一。床近くに炭化物含む。しまり弱い。
- 3 10YR2/3 黒褐色土 ローム斑、As-C、Hr-FA含む。焼土粒含む。やや粘質。ややしまっている。
- 4 10YR3/4 暗褐色土 ローム小ブロック、As-C、Hr-FA含む。10YR2/3黒褐色土の斑を含む。やや粘質。ややしまっている。
- 5 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒多く含む。As-C、Hr-FA含む。粘性弱い。しまり弱い。粒子そろっている。
- 6 10YR3/4 暗褐色土とAs-C、Hr-FAを含む10YR2/3黒褐色土の混土(50:50)。両者が斑状にまじりあう。
- 7 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA含む。やや粘質。ややしまっている。
- 8 10YR2/3 黒褐色土As-C、Hr-FA混と、10YR3/4暗褐色土の混土(60:40)。後者が斑状に入る。
- 9 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。やや粘質。ややしまっている。ローム斑を10%含む。
- 10 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒含む。As-C、Hr-FA少量含む。10YR2/3黒褐色土を斑状に含む。
- 11 10YR2/3 黒褐色土 ロームの大きなブロックを含む。
- 12 10YR3/4 暗褐色土をベースとして、ローム斑5%、10YR2/3黒褐色土斑5%。灰白色粘土(カマド構築土)斑3%含む。As-C、Hr-FA、焼土粒含む。
- 13 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA含む。薄く潰れたようなロームのブロックを含む。焼土粒少量含む。
- 14 10YR4/6 褐色土 As-C、Hr-FA少量含む。ローム小ブロック少量含む。やや粘質。
- 15 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA含む。ローム小ブロック少量含む。As-C、Hr-FAを含む10YR2/3黒褐色土を斑状に含む。
- 16 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA含む。ロームブロック少量含む。10YR3/4暗褐色土を小斑状に含む。焼土粒ごく少量含む。
- 17 10YR4/6 褐色土をベースとして ローム小ブロック As-C、Hr-FA、焼土粒を含む。10YR2/3黒褐色土がばやけた帯状に狭まる。
- 18 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA、ローム粒含む。カマド構築粘土の小ブロックを含む。
- 19 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA、粒含む。ローム粒、ローム小ブロック少量含む。焼土粒ごく少量含む。やや強くしまっている。
- 20 10YR3/2 黒褐色土 As-C、Hr-FAを少量含む。焼土粒少量含む。黒色の灰状物を多く含む。底面はフラット
- 21 10YR3/2 黒褐色土 As-C、Hr-FA含む。焼土粒ごく少量含む。
- 22 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FAごく少量含む。
- 23 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA少量含む。ローム粒含む。焼土粒ごく少量含む。
- 24 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA含む。ローム斑含む。
- 25 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA含む。焼土粒少量含む。固くしまっている。
- ア 10YR4/6 褐色土 崩れたローム
- イ 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒含む。As-C、Hr-FAごく少量含む。粒子均一。しまり弱い。
- a 10YR2/3 黒褐色土、汚れたカマド構築粘土、10YR3/4暗褐色土の混土。しまっている。As-C、Hr-FA含む。
- b 10YR2/3 黒褐色土とローム斑の混土中に粘土斑、焼土粒を含む。As-C、Hr-FA含む。ややしまっている。

第216図 17号住居平面図 土層断面図 貯蔵穴土層断面図

丸みを帯びて緩やかに下降する。端部は折り返し。回転轆轤成形で、天井頂部周縁には右方向の回転篋削りを施す。1134、1139-40は土師器坏で、1134の底部破片では内面に判読できないが墨書がある。1139は平底に近い扁平なつくりで、体部から口縁部にかけて肥厚し、口縁部は外傾する。1140は平底で、体部は緩やかに立ち上がる。口縁部は外傾するが、口唇部で肥厚し、若干内湾する。1137-38、41は土師器甕で、1137が煙道口部にあった。口縁部はコの字に近い形状で外反し、若干肥厚する。M57は鉄製刀子、M58-59は鎌かと思われる。

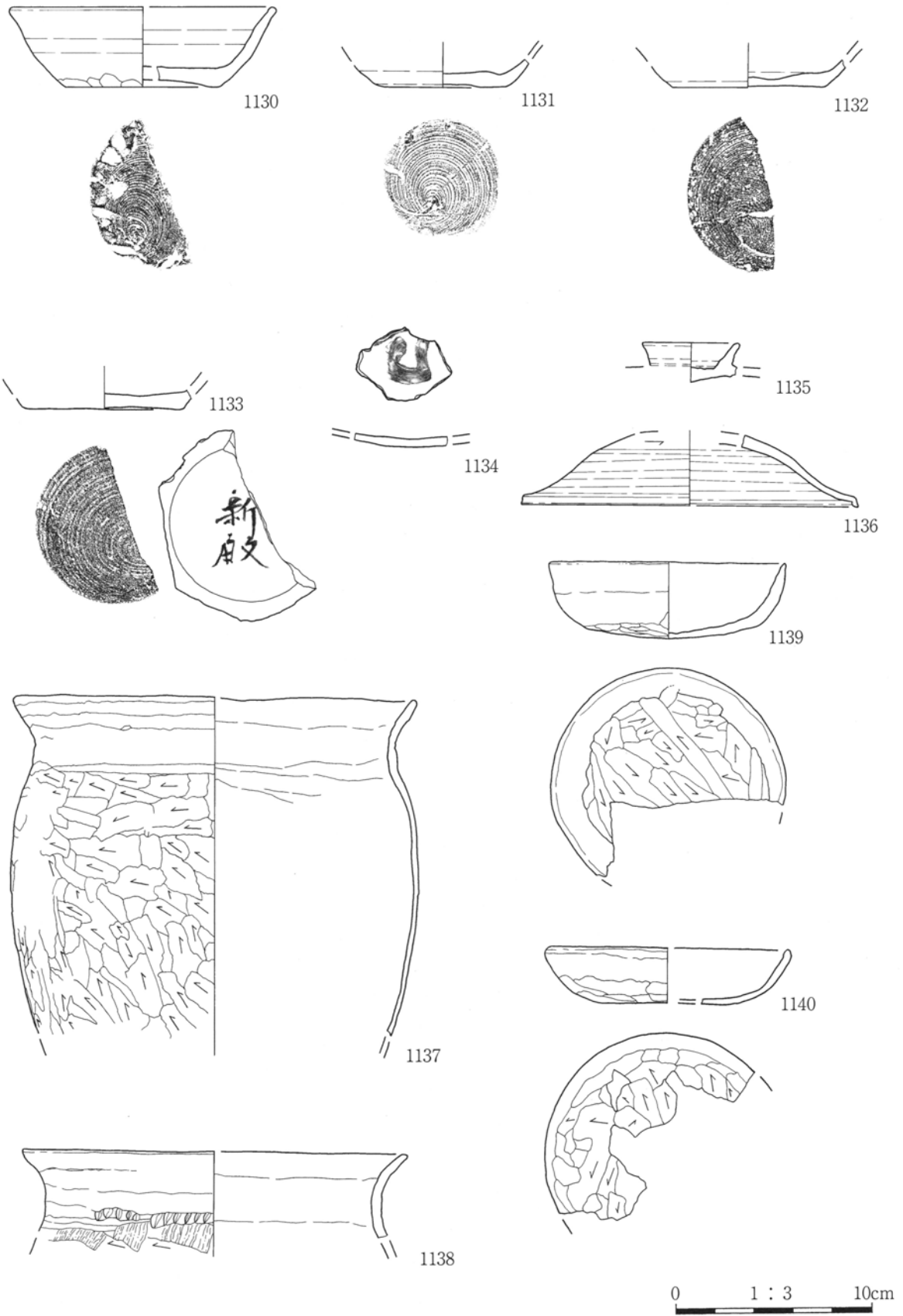


17号住居 竈 土層観察所見

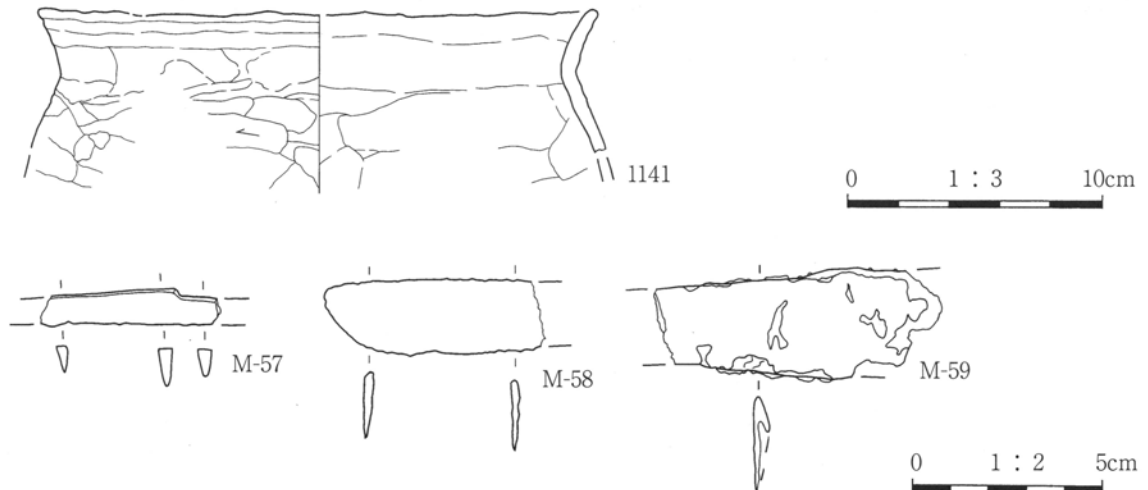
- 1 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA、焼土粒含む。固くしまる。
- 2 10YR3/4 暗褐色土 10YR2/2斑、ローム斑各7%、As-C、Hr-FA、焼土粒含む。
- 3 10YR5/8 ロームブロック粘土斑が付着。
- 8 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA少量含む。粘土斑30%。
- 15 10YR5/3 カマド、構築材粘土ブロック。
- 17 10YR3/4 暗褐色土 粘土斑を多く含む。しまり弱い。
- 26 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA少量含む。ローム斑含む。しまり弱い。
- 27 10YR2/2 黒褐色土 As-C、Hr-FA含む。10YR3/4 暗褐色土斑含む。固くしまる。
- 28 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA含む。構築材粘土斑含む。
- 29 10YR4/6 褐色土 焼土ブロック30%。粘土斑含む。
- 30 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒、As-C、Hr-FA少量含む。焼土斑含む。粘質。しまっている。
- 31 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土、10YR5/6 ローム斑を7%含む。しまっている。
- 32 10YR4/6 褐色土 粘性弱い。焼土粒を多く含む。粘土粒を含む。
- 33 10YR5/6 黄褐色粘質土、しまり弱い。ほやけた円形焼土斑を含む。
- 34 10YR4/4 褐色粘質土、固くしまる。袖基部に相当がローム粒を含む。
- 35 焼土集中
- 36 ローム粘土
- 37 焼土
- 38 10YR7/8 黄橙色粘土ブロック。灰を含む。
- 39 黑色灰層
- 40 10YR6/4 にぶい黄橙色粘土。ローム斑混入。
- 41 灰層 粒子の細かなロームブロック、焼土ブロック混入。
- 42 にぶい黄橙 10YR6/4 粘土
- 43 10YR7/8 黄橙色粘土、一部被熱して焼土化。
- 44 10YR6/4 にぶい黄橙色粘土、灰、焼土が混じる。
- 45 10YR3/4 暗褐色土 粘土斑、灰の斑、焼土粒、ローム斑がランダムに混じる。
- 46 10YR5/3 にぶい黄褐色土 しまっている。ローム小ブロックを少量含む。
- 47 10YR3/4 暗褐色土 40%、10YR4/6 褐色土 60%の混土。焼土小ブロック(径5mm)、粘土斑をランダムに含む。しまっている。
- 48 10YR3/4 暗褐色土 粘土斑、焼土粒を含む。しまり弱い。
- 49 焼土集中、天井崩落土か。

第217図 17号住居竈 平面図 土層断面図 掘り方平面図

1 竖穴住居



第218图 17号住居 出土遺物1



第219図 17号住居 出土遺物2

18号住居

位置 7-16-Q/R-10.11 グリッド。標高117.5mから117.7mの南向き緩傾斜部に立地する。西部を攪乱に大きく切られている。

形態・規模 南北3.2m、東西方向は竈を挟んで大きく食い違っており、見かけ上は竈以北が東に張り出すような形態を示す。北辺長3.46m、南辺長2.5mであるが、後述の通り基本的な平面形は方形を呈するものである。主軸方向はN-106°-Eを示す。

覆土 As-C、Hr-FA、ローム小ブロックを含む暗褐色から黒褐色土で埋没する。覆土中位から上位にも焼土の小ブロックや赤変したローム斑が見られる。

掘り方・床 東壁の南側三分の二ほどがごく浅く掘り込んだのみで残されるために、変則的な印象を受けるが、基本的な掘り方は一辺3.5mほどの方形の平面形を呈する。掘り残し部分中央近くに竈が掘り込まれることになる。床面の掘り方を見ると、竈前と各隅部が不整形に、20cmほど掘り込まれていて、As-YP、As-OP1を含むロームブロックを主体とする褐色・黄褐色土を充填している。住居北西よりの部分は掘削底面がほぼそのまま床となっている。

壁 確認最大深は58cmとやや深い。上方へやや開き気味に立ち上がっている。

柱穴 認められない。

貯蔵穴 竈右手にあたる東南隅部に接して掘られている。径0.5mほどのやや歪んだ円形の平面形で、深さは15cmほどある。ロームブロックや炭化物、焼土を含む、比較的締まった暗褐色土で埋没している。

竈 東壁南よりに作られる。先述の通り、東壁の南部が掘り残されて、その中央近くを掘り込んで構築する。この掘り残し部分は幅2m、奥行き0.7mあって、確認面から12cmほどの深さまで掘り込んだ状態が認められる。特に竈に向かって右側の東南隅部は上面に竈構築材と同じロームが貼られて、棚状の施設として意識的に作られたものと考えられる。竈の左側は幅の広い袖状を呈して、竈焚き口に向かって徐々に低くなるが、上部から土器の大型破片が出土しており、やはり棚状の機能を果たしていたものと考えられるだろう。竈本体は燃焼部を見かけ上壁外に置くが、掘り方線上までを掘り込んで燃焼部としていて、煙道が壁外に延びる。両袖内壁には扁平な礫が置かれており、これにロームを主体とする黄褐色・暗褐色の粘土を巻いて構築する。焚き口幅は50cm、燃焼部の奥行きは80cmある。

1 竖穴住居

遺物 遺物量は多くない。住居中央部には角礫、円礫が集中しているが、住居と直接関わるものではない。1143は土師器の坏である。平底で底部篋削り。体部は直線的に立ち上がる。1144も平底の土師器坏の底部破片で、判読できないものの内面に墨書がある。1142、1145は土師器甕で、器壁は薄く、コ字状口縁を付す。竈内及び左袖部にかけて破片がまとまって出土していたものである。S490は北壁中央近くから出土した石製紡錘車。覆土の上位から出土しており、住居との関連は弱い。M60は南壁下中央近くの覆土下位から出土した鉄製品で、刀子の茎かと思われる。



18号住居 貯蔵穴土層観察所見

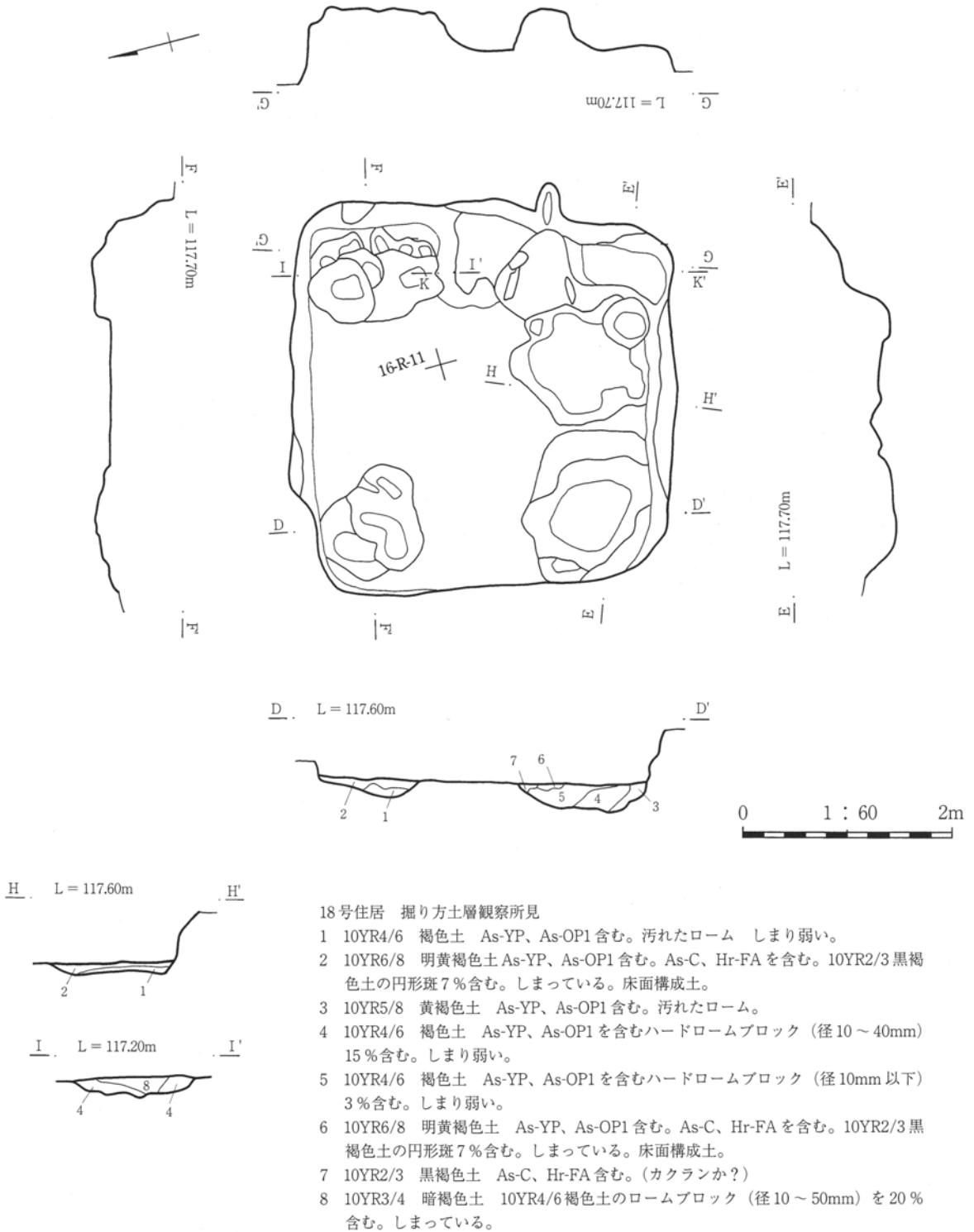
- 1 10YR3/3 暗褐色土 ローム小ブロック3% 炭化物、焼土粒含む。
- 2 10YR3/4 暗褐色土 ロームブロック7% 炭化物含む。しまっている。
- 3 10YR3/4 暗褐色土とロームブロックの50%混土。

18号住居 土層観察所見

- 1 10YR3/2 黒褐色土 As-C、Hr-FA含む。ローム小ブロック(径5~15mm)を少量含む。ローム斑を含む。
- 2 10YR3/2 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。ローム粒、焼土粒を少量含む。
- 3 10YR3/4 暗褐色土 7層に近いが、やや明るくしまっていない。As-C、Hr-FAをほとんど含まない。

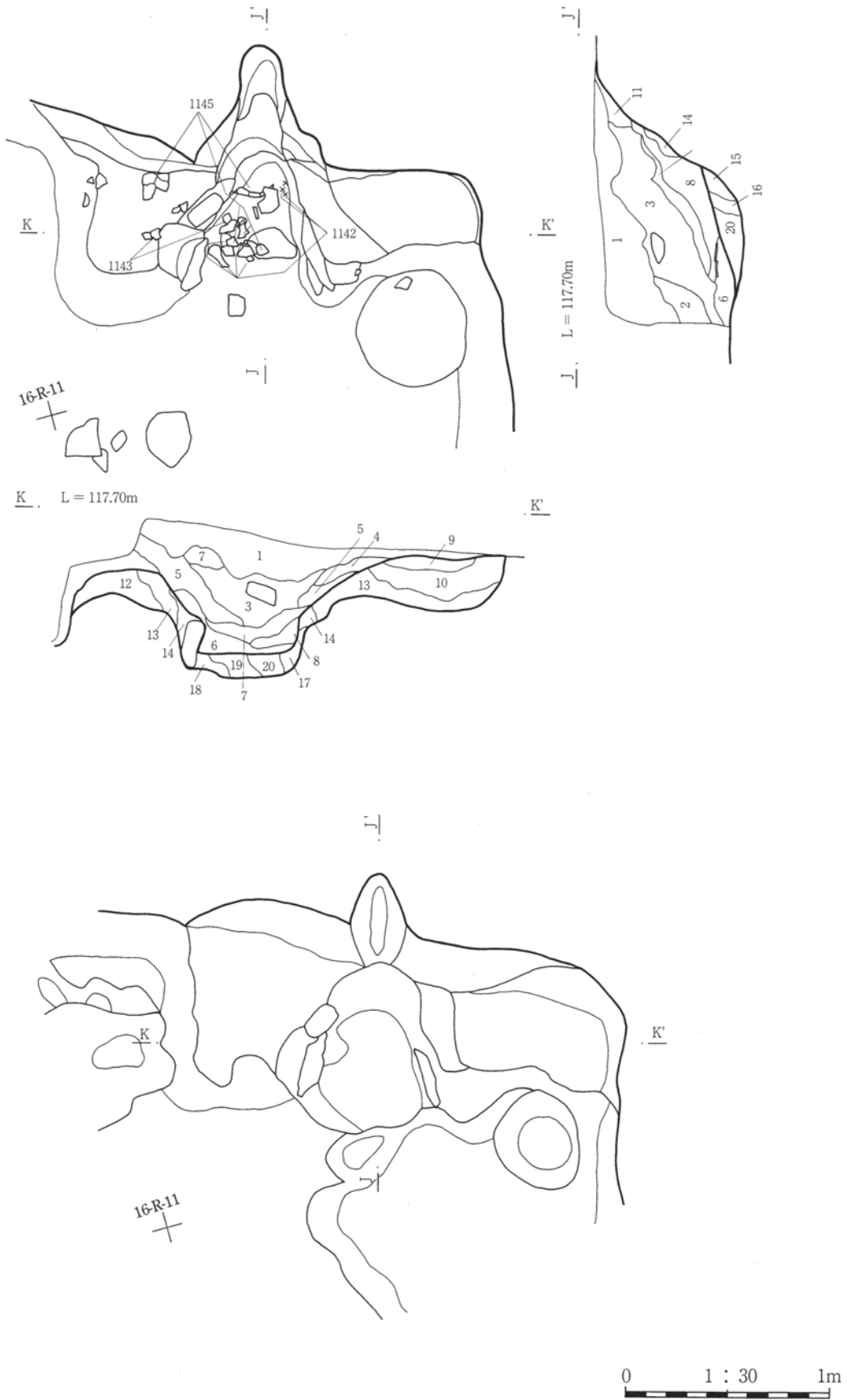
- 4 10YR3/4 暗褐色土 ローム斑、ローム小ブロックを多く含む。As-C、Hr-FA含む。
- 5 10YR3/2 暗褐色土 ローム粒小ブロックを含む。As-C、Hr-FA含む。明瞭な層をなしている。
- 6 10YR3/3 暗褐色土 やや粘性のあるしまった土。As-C、Hr-FA、ローム小ブロックを含む。
- 7 10YR3/2 黒褐色土 崩れたローム斑30%、ローム小ブロックを含む。ロームブロック(径5~40mm)、汚れたローム斑を混じる。As-C、Hr-FA含む。ぼやけた帯状の堆積層が5枚重なっている。
- 8 10YR3/2 黒褐色土 崩れたローム斑70%、ローム小ブロックを含む。ロームブロック(径5~40mm)、汚れたローム斑を混じる。As-C、Hr-FA含む。ぼやけた帯状の堆積層が5枚重なっている。
- 9 10YR3/2 黒褐色土 崩れたローム斑30%、ロームブロックが多い。ロームブロック(径5~40mm)、汚れたローム斑を混じる。As-C、Hr-FA含む。ぼやけた帯状の堆積層が5枚重なっている。
- 10 10YR3/2 黒褐色土 崩れたローム斑60%、焼土粒少量含む。ロームブロック(径5~40mm)、汚れたローム斑を混じる。As-C、Hr-FA含む。ぼやけた帯状の堆積層が5枚重なっている。
- 11 10YR3/6 ロームブロック、焼土ブロックを含む。As-C、Hr-FA含む。焼土ブロックは比較的下位に多い。
- 12 10YR4/6 褐色土 やや汚れた漸移層に見える。
- 13 10YR3/2 黒褐色土 As-C、Hr-FAを多く含む。ローム粒含む。
- 14 10YR2/3黒褐色土10%、10YR3/4暗褐色土40%、10YR4/6汚れた褐色ローム斑40%、10YR5/6黄褐色ローム斑10%の混土。中位に、黒褐色~暗褐色土がぼやけた帯のように堆積、Hr-FA、ローム小ブロック含む。
- 15 10YR2/3 黒褐色土 ローム斑や小ブロック、As-C、Hr-FAを含む黒褐色土斑をランダムに含む。
- 16 10YR4/4 褐色土 1層にAs-C、Hr-FA粒が混入。
- 17 10YR3/4 暗褐色土 ローム斑やローム小ブロック、As-C、Hr-FAをランダムに含む。
- 18 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒を斑状に含む。他は混入物少なく均質な粒子が揃う。しまり弱い。
- 19 10YR5/6 黄褐色土 ソフトローム、再堆積と思われる。カマド崩落土だろう。
- 20 10YR2/3 暗褐色土~黒褐色土多く、ロームブロックを含まない。
- 21 10YR4/4 褐色土 汚れたロームの再堆積。
- 22 竈からの流出土

第220図 18号住居平面図 土層断面図 貯蔵穴土層断面図



第221図 18号住居掘り方 平面図 高低図 土層断面図

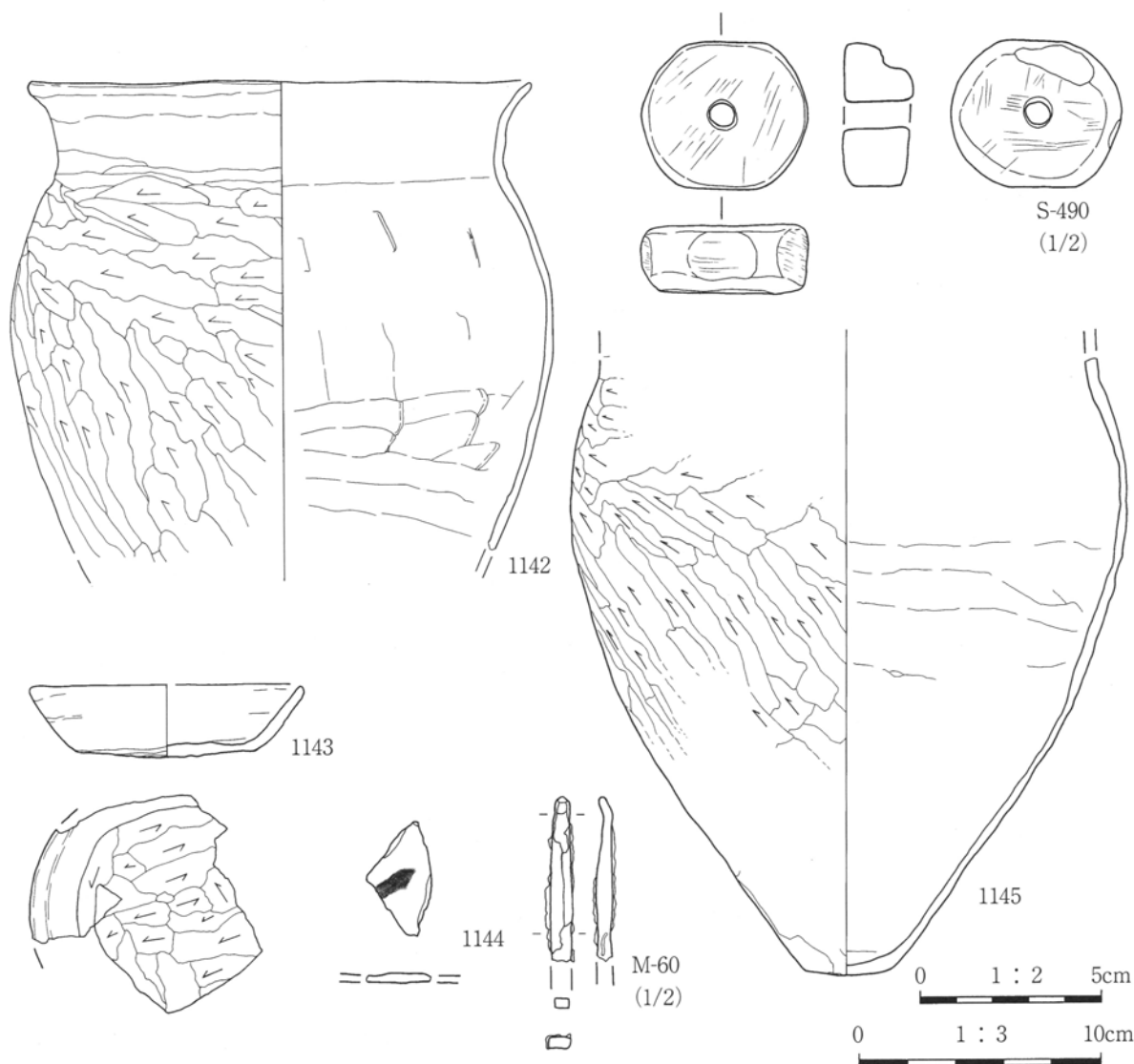
1 竪穴住居



第222図 18号住居竈 平面図 土層断面図 掘り方平面図

18号住居 カマド土層観察所見

- 1 10YR3/4 にぶい黄褐色土 ロームブロック、ローム斑含む。ローム粒多く含む。焼土粒、As-C、Hr-FA少量含む。しまっている。
- 2 10YR3/4 にぶい黄褐色土 As-C、Hr-FA少量含む。ローム粒含む。しまりやや弱い。
- 3 7.5YR3/4 褐色土 As-C、Hr-FA含む。ローム粒含む。粘土粒含む。しまりやや弱い。
- 4 10YR3/4 にぶい黄褐色土 ローム粒多く含む。10YR2/3黒褐色土斑7%含む。しまっている。
- 5 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒多く含む。ややしまっている。
- 6 10YR3/3 暗褐色土 焼土及び一部が焼土赤変したロームブロック10%含む。焼土粒多く含む。しまり弱い。
- 7 7.5YR3/4 褐色土 As-C、Hr-FA、ローム粒、粘土粒含む。しまりやや弱い。粘土斑30%含む。
- 8 10YR5/8 やや汚れたAs-OP1混ロームを主体とする。As-C、Hr-FAを少量含む。しまっている。
- 9 10YR5/8 黄褐色土 As-OP1、As-YP混ハードローム中心。固くしまる。
- 10 10YR4/6 褐色土 As-YP、As-OP1粒含む。炭化物粒少量含む。
- 11 やや赤変した汚れたローム。
- 12 10YR4/6 褐色土 As-OP1、As-YP混ローム主体。細かい炭化物粒を含む。
- 13 10YR5/6 黄褐色土 As-OP1、As-YP混ローム主体。細かい炭化物粒子を全体に含む。
- 14 焼土
- 15 焼土主体。ロームブロック7%
- 16 ロームブロックと焼土ブロックの混土。灰混じる。
- 17 10YR2/3 黒褐色土 焼土小ブロック ローム小ブロックの混土。
- 18 10YR2/3黒褐色土と7.5YR3/4暗褐色土の混土。焼土斑含む。
- 19 7.5YR3/4 褐色土 焼土小ブロック7%。炭化物含む。
- 20 灰 10YR7/4 にぶい黄橙色粘土及び焼土の混土。



第223図 18号住居 出土遺物

1 竪穴住居

19号住居

位置 7-17-B-12.13 グリッド。標高 117.1m から 117.4m の西向き緩傾斜部に立地する。

形態・規模 横長長方形を基本とするが、北東隅が引き延ばされたように張り出す。東辺長 5.1m、西辺長 4.46m、南辺長 2.86m、北辺長 3.5m。竈の主軸方向は N-89° -E を示す。

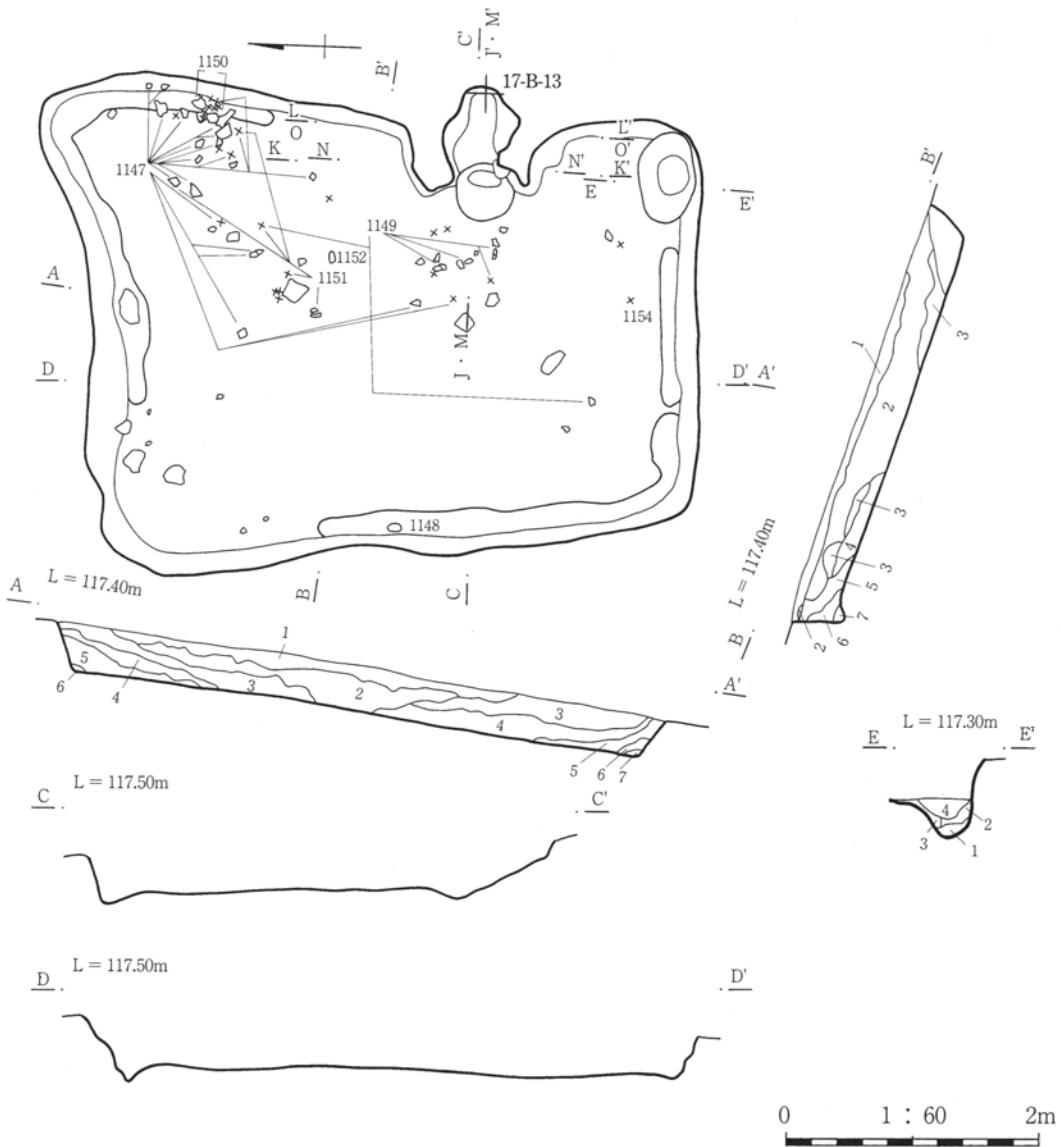
覆土 As-C、Hr-FA、ローム粒を含む暗褐色から黒褐色土で埋没する。

掘り方・床 北西隅部を区切るようにやや深く掘り込んだ部分があり、南壁中央部にも度向上の掘り込みがあるが、おおむね掘削底面を踏み固めて床面としている。東壁南よりの竈から東南隅部の貯蔵穴にかけての部分のをぞいて、浅い壁周溝がめぐる。幅 10cm から 15cm で、深さは 10cm に満たない。

壁 確認最大深は 35cm ほどとやや浅い。上方へ開き気味に立ち上がる。

柱穴 認められない。

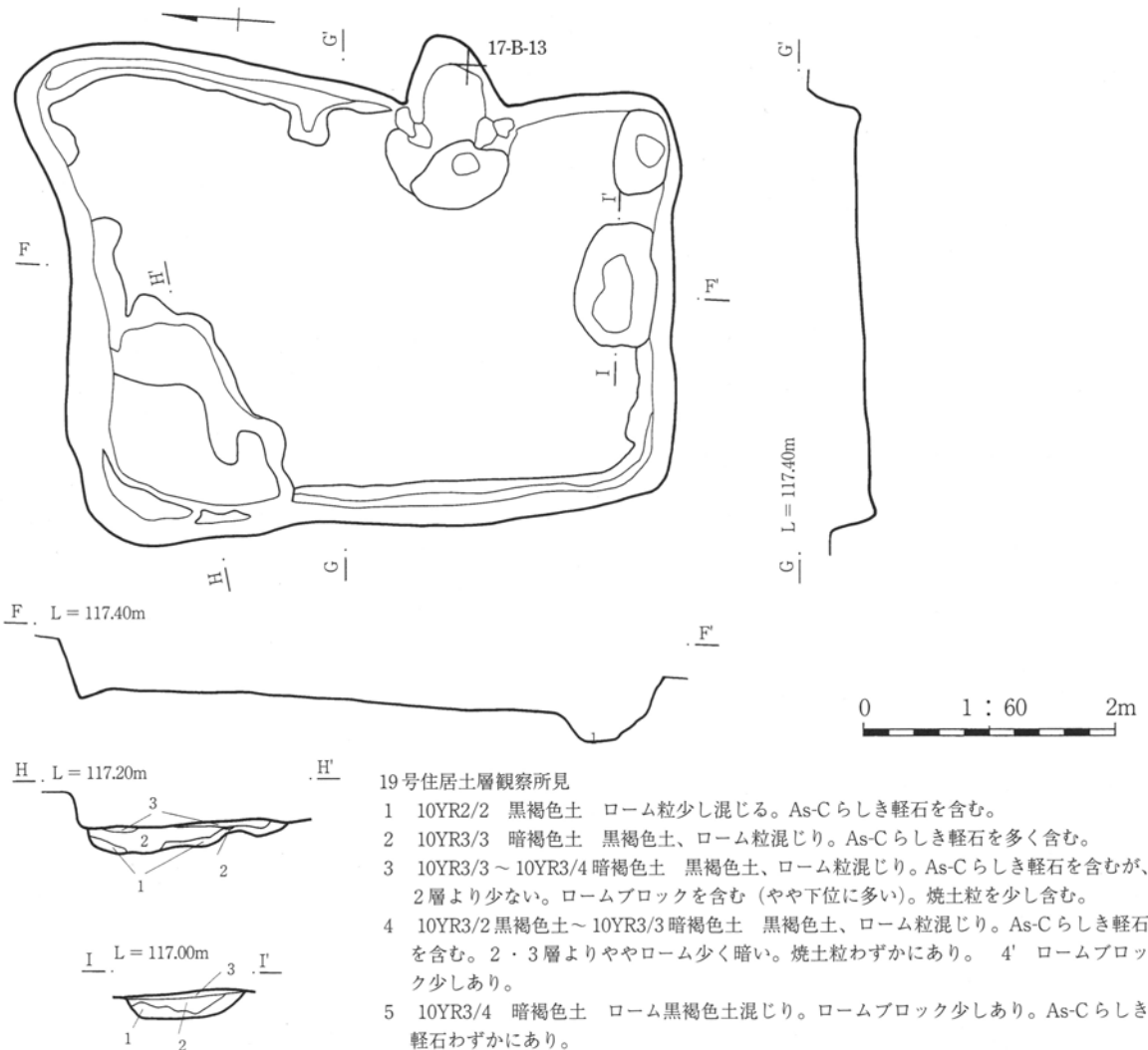
貯蔵穴 東南隅部の壁面に接して掘り込まれている。東西 0.68m、南北 0.44m の楕円形の平面形を呈し、32cm ほどの深さがある。焼土粒や炭化物粒を比較的多く含む暗褐色土で埋まっている。



第224図 19号住居平面図 土層断面図 高低図

竈 東壁南寄りにある。燃烧部を壁外に張り出させる。角礫を焚き口部に据え、これを支えるかのようにもう一つの角礫を袖の芯として、これらに褐色粘土を巻いて構築している。燃烧部の奥行きは約1mで、手前に径40cmほどのくぼみがある。焚き口幅は35cmある。

遺物 竈手前と住居北東部に土器片が集中する。1146・48は須恵器高台付き碗。1146は竈左袖に近い位置、1148は西壁際のそれぞれ床面直上から出土している。1153は須恵器坏の底部破片で内面に墨書が残るが判定できない。1150、52、54は土師器の坏で、1154の底部片には外面に墨書が残る。「大」かと思われるが判定できない。1147、49、51は土師器の甕で、比較的薄手に作られ、コの字に近い口縁形状を示す。1149が竈燃烧部から出土している。土器はいずれも8世紀後半代に位置づけられるものと思われる。その他、角礫が住居中央近くや北壁部に散在しているが、住居に伴うものとは思われない。

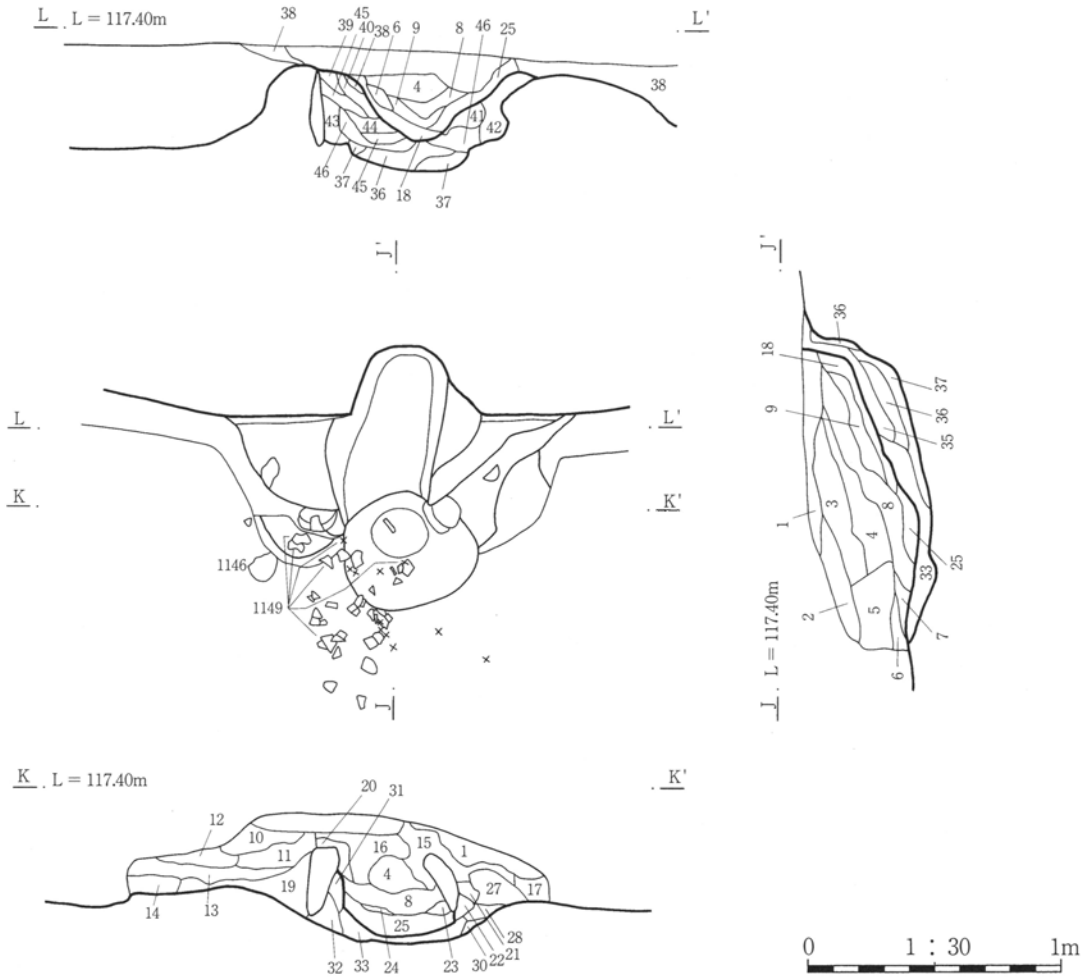


19号住居 掘り方土層観察所見

- 1 10YR3/4 暗褐色土 ロームブロック30%含む。
- 2 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。ローム小ブロック7%含む。2' 焼土ブロック3%含む。
- 3 10YR3/3 暗褐色土 ローム小ブロック7%含む。焼土ブロック含む。固く締まっている。

第225図 19号住居掘り方 平面図 土層断面図 高低図

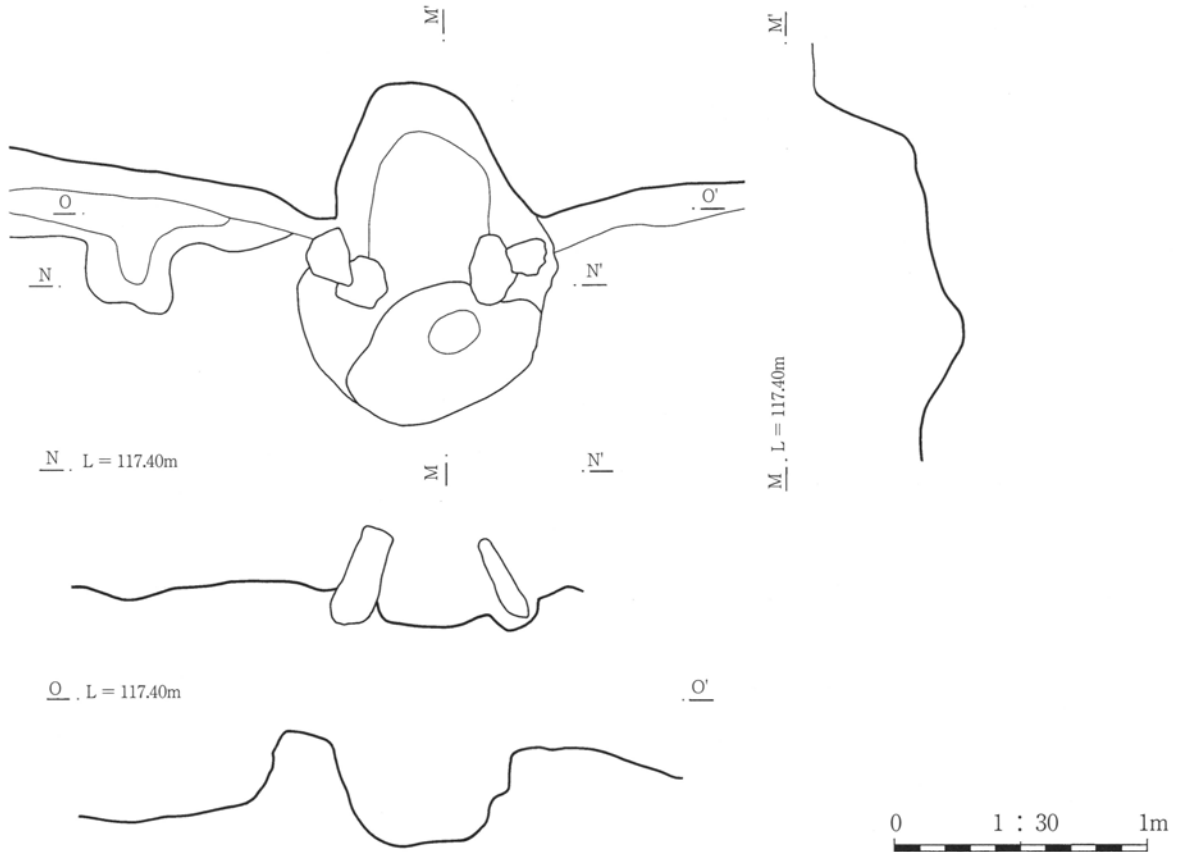
1 竪穴住居



19号住 カマド土層観察所見

- 1 10YR3/3 暗褐色土 焼土粒、As-C、Hr-FAを含む。しまっている。
- 2 7.5YR4/4 褐色土 焼土粒、焼土小ブロック、As-C、Hr-FAを含む。やや焼化赤変している。しまっている。やや粘質。
- 3 7.5YR4/6 褐色土 焼土粒。焼土小ブロックを多く含む。全体に焼化赤変している。As-C、Hr-FAを少量含む。やや粘質。ややしまっている。
- 4 10YR3/4 暗褐色土 焼土粒。径5mm程の焼土小ブロックを含む。しまりやや弱い。
- 5 10YR3/3 暗褐色土 As-C、Hr-FA、焼土粒を含む。
- 6 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA、焼土粒を含む。ややしまっている。
- 7 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA、焼土粒を含む。やや粘質。しまりやや弱い。
- 8 10YR4/6 褐色土 焼土の固いブロックφ5~10mmを含む。粘質。しまり弱い。
- 9 7.5YR4/6 褐色土 焼土小ブロックを含む。As-C、Hr-FAを含む。しまり弱い。
- 10 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒、As-C、Hr-FA、焼土粒を含む。
- 11 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒、As-C、Hr-FA、焼土粒を含む。
- 12 10YR3/4 暗褐色土 ローム斑、ローム粒を含む。As-C、Hr-FAを含む。
- 13 10YR3/4 暗褐色土 15層中にローム粒多く含む。
- 14 10YR5/6 黄褐色土 汚れたローム粒の再堆積層。
- 15 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FAを含む。焼土粒少量含む。
- 16 7.5YR4/6 褐色土 焼土小ブロック多量とAs-C、Hr-FAを含む。全層赤変している。ややしまっている。
- 17 10YR3/4 暗褐色土 粘土斑少量混入。
- 18 焼土層
- 19 7.5YR4/6 褐色土 22層と同相だがやや変色する。
- 20 7.5YR4/6 褐色土 やや粘質。焼土小ブロックを多く含む。しまっている。
- 21 7.5YR4/6 褐色土 しまり弱い。やや攪乱されているか？
- 22 10YR4/6 褐色土 やや粘質。焼土小ブロックを含む。
- 23 7.5YR4/6 褐色土 粒子の細かい土中に焼土小ブロックを多く含む。

第226図 19号住居竈 平面図 土層断面図



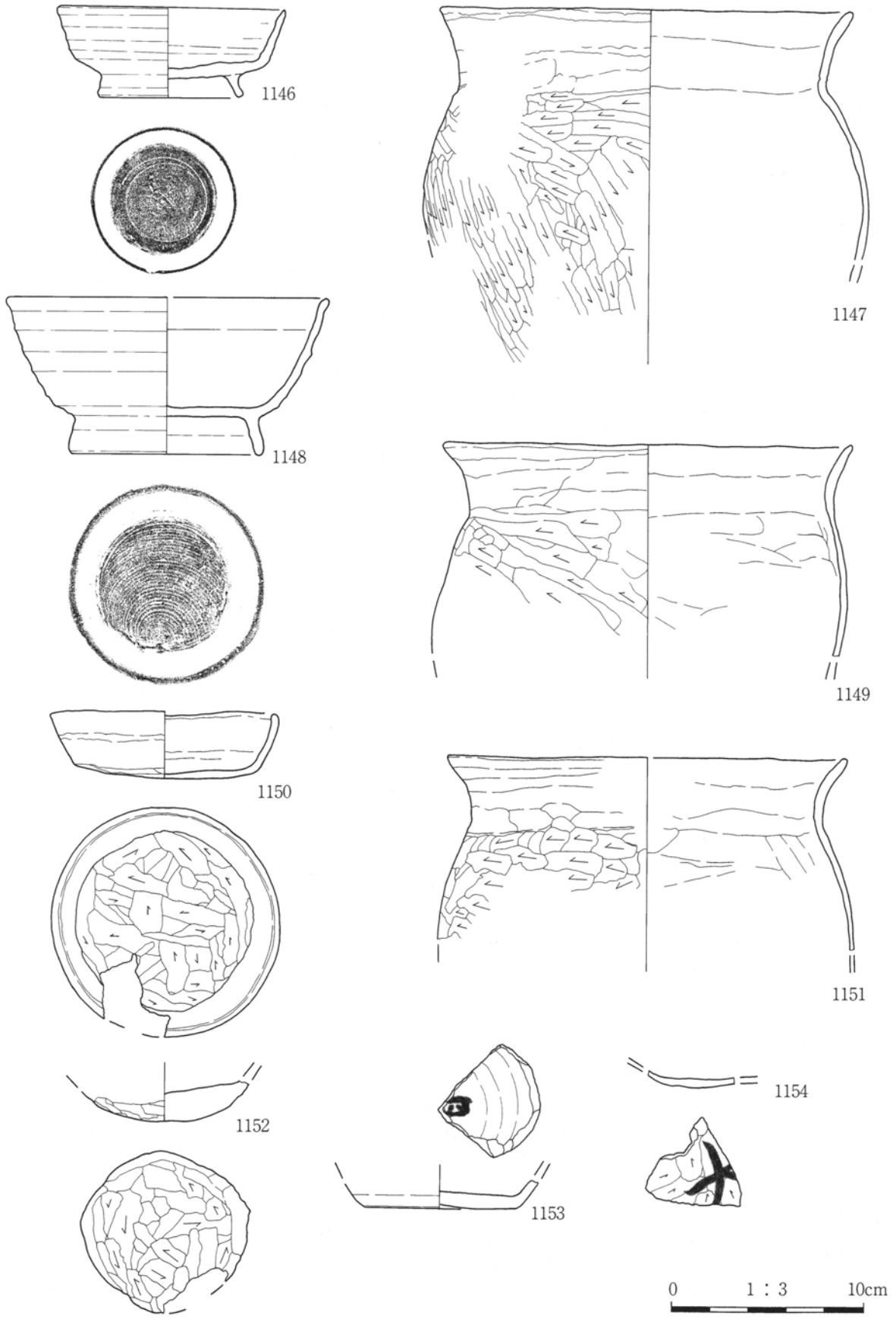
- 24 7.5YR4/6 褐色土 粒子の細かい土中に灰、焼土小ブロックを含む。
- 25 10YR3/4 暗褐色土 粒子の細かい土中に灰、焼土粒を多く含む。
- 26 10YR3/4 暗褐色土 焼土粒を含む。ローム粒を含む。しまり弱い。
- 27 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA、ローム粒を含む。粘土斑含む。固くしまっている。
- 28 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FAを少量含む。焼土斑含む。粘質。しまっている。
- 29 粘土。
- 30 7.5YR4/6 褐色土 焼土粒を全体に含む。しまっている。
- 31 7.5YR4/6 褐色土 崩れたローム。サラサラした感じで、しまり弱い。
- 32 7.5YR4/6 褐色土 焼土小ブロック10%含む。しまり弱い。やや粘質。
- 33 灰層を主体とする。下位には、ローム粒を混じる。
- 34 ロームブロック40%含む。攪乱されたロームで掘りすぎらしい。
- 36 やわらかい焼土の集中。灰の斑3%含む。
- 37 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA混。焼土粒10%含む。しまり弱い。
- 39 10YR3/4 暗褐色土 粘土。焼土粒3%含む。
- 40 10YR7/4 にぶい黄橙色土 粘土。
- 41 焼土中心。ローム斑20%含む。しまっている。
- 42 10YR3/3 暗褐色土 As-C、Hr-FAを含む。粘質土、固くしまっている。
- 43 10YR4/6 褐色土 やや赤変した再堆積ローム。しまり弱い。
- 44 45のブロックと灰のランダムな混層。
- 45 固い焼土のブロック。スサ入り。
- 46 灰を中心とする層。焼土小ブロック3%含む。

19号住居 貯蔵穴土層観察所見

- 1 10YR3/4 暗褐色土 焼土小ブロック含む。締まり弱い
- 2 10YR3/4 暗褐色土 焼土斑少量含む。As-C、Hr-FAを含む。締まり弱い。
- 3 10YR3/4 暗褐色土 焼土粒含む。炭化物少量含む。やや締まっている。
- 4 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FAを含む。炭化物粒少量含む。やや締まっている。

第227図 19号住居竈 平面図 高低図

1 竖穴住居



第228图 19号住居 出土遺物

20号住居

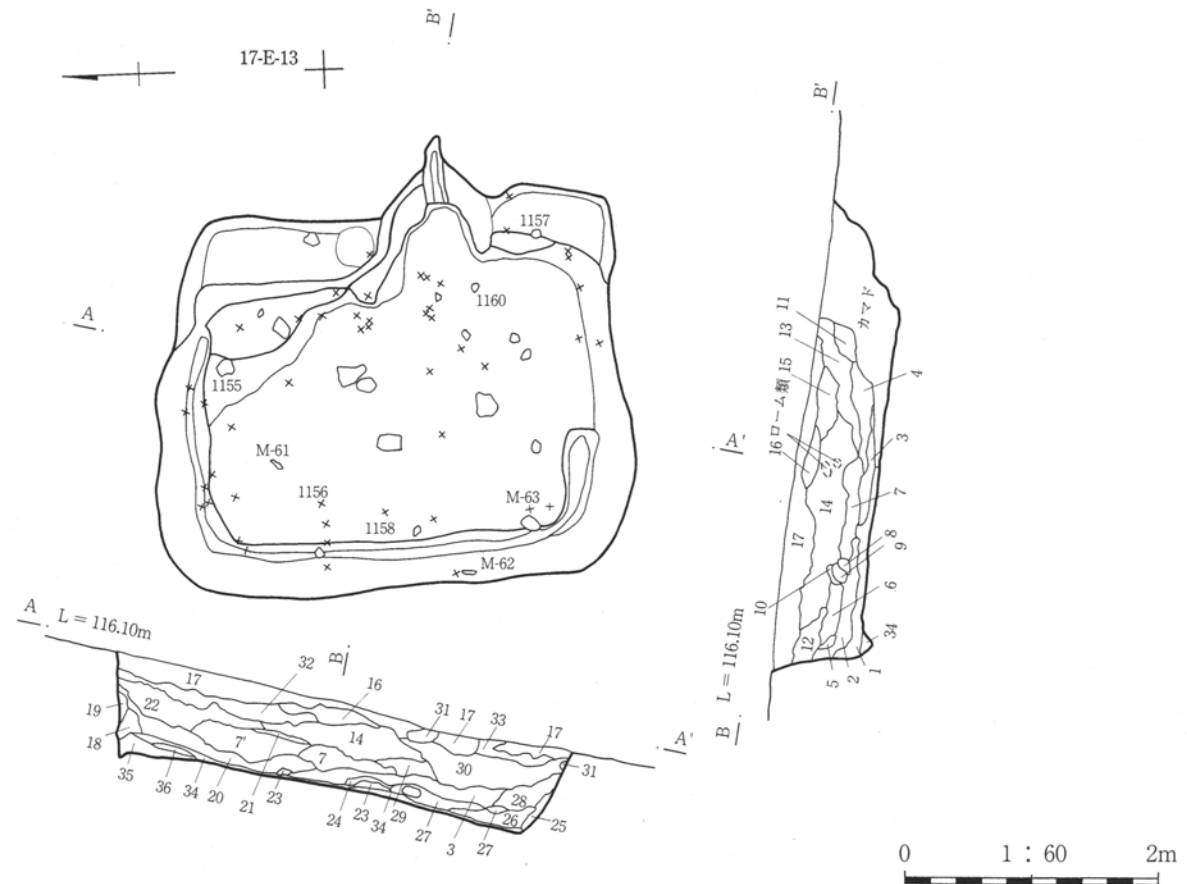
位置 7-17-F-12.13 グリッド。標高 115.9m から 116.0m の西向き緩傾斜部に立地する。16号住居とともに調査区西端にあたり、堤沼上遺跡と本遺跡を画する西の谷地に接する位置に当たる。16号住居よりわずかに高い位置にあるものの、床面に達する以前に湧水で水没する状態にあった。

形態・規模 18号住居では東壁南部のみが棚状を示したが、この住居では東壁全体が棚状となる。西辺長 2.8m、南辺長 2.1m、北辺長 1.94m の横長長方形の平面形を示す本体部分に、東壁の外側に一段浅く、幅 40cm 内外の棚状の部分が張り出す。これにより、確認面での全体的な規模は南北 4m、東西 3.1m から 3.2m の長方形を呈することになる。棚状部は竈を挟んで北側が幅 1.4m、奥行き 0.44m、南側が幅 0.9m、奥行き 0.38m。確認面からは 20cm ほど掘り込まれており、床面からは 30cm ほど高い位置に当たる。

覆土 As-C、Hr-FA、ローム小ブロックとともに、焼土粒、炭化物粒を含む暗褐色から黒褐色土で埋没する。底面近くはやや砂質気味だが、中位以上はやや粘性が勝る。覆土上位に炭化材小片を多く含む部分がある。また床面直上ににぶい黄褐色土が広がる。

掘り方・床 東半がやや低い状態が見られるが、土層断面観察用のベルトを挟んでおり、調査時の土層認識の不均質に起因する掘りすぎが原因となったものかもしれない。部分的に深く掘り込まれることはなく、掘削底面を固めて床面としている。床表面は焼土や粘土、炭質物を挟み込んだ粘質土で、部分的にかなり強く締まった状態が見られた。東壁の竈以北から南壁の中央近くまで壁周溝がめぐる。幅 15cm から 20cm、深さ 10cm 内外で、汚れた、粘性の高いローム土で埋められている。

壁 確認最大深は 70cm ある。わずかに上方に開き気味であるが、壁周溝を介してほぼ垂直に立ち上がる。



第229図 20号住居 平面図 土層断面図

1 竪穴住居

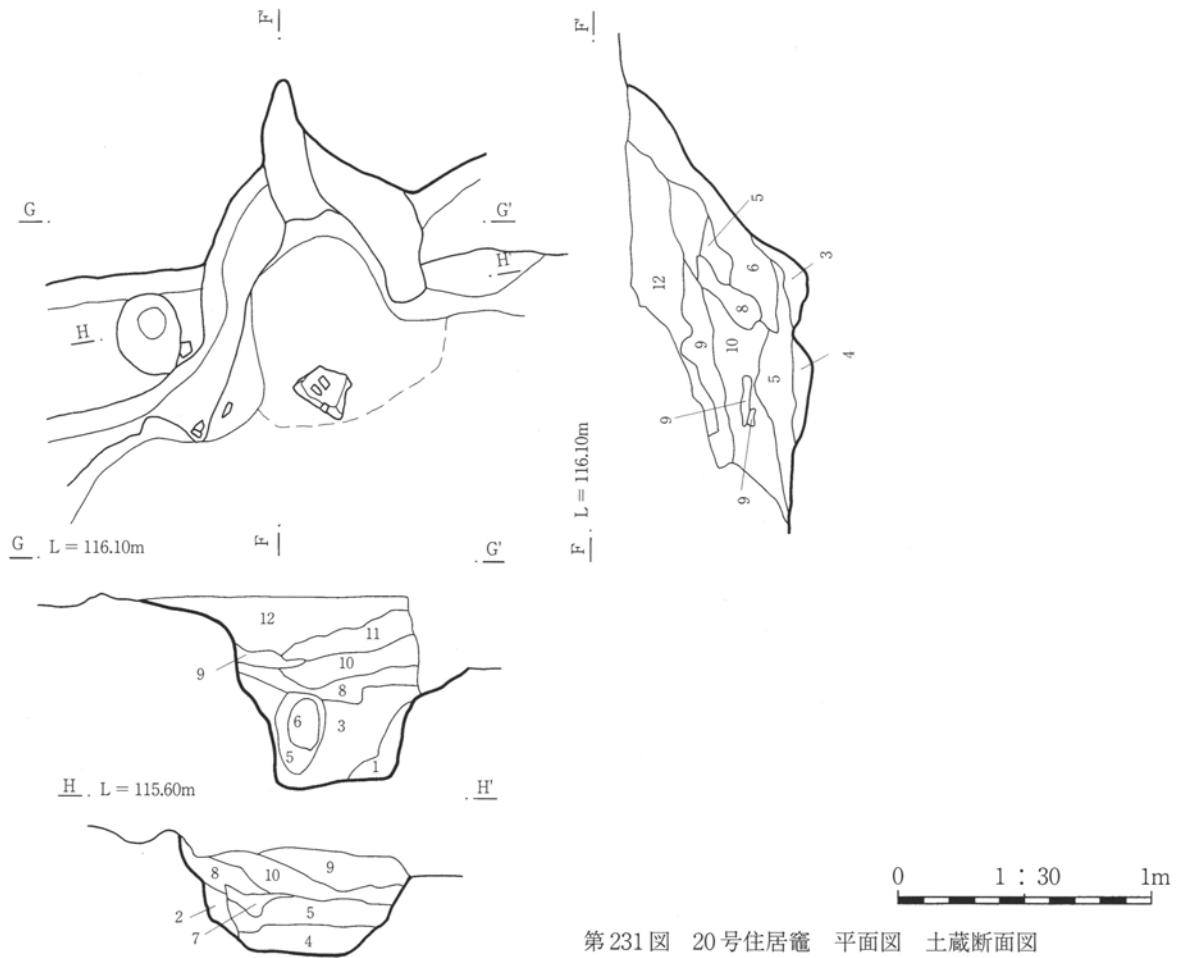
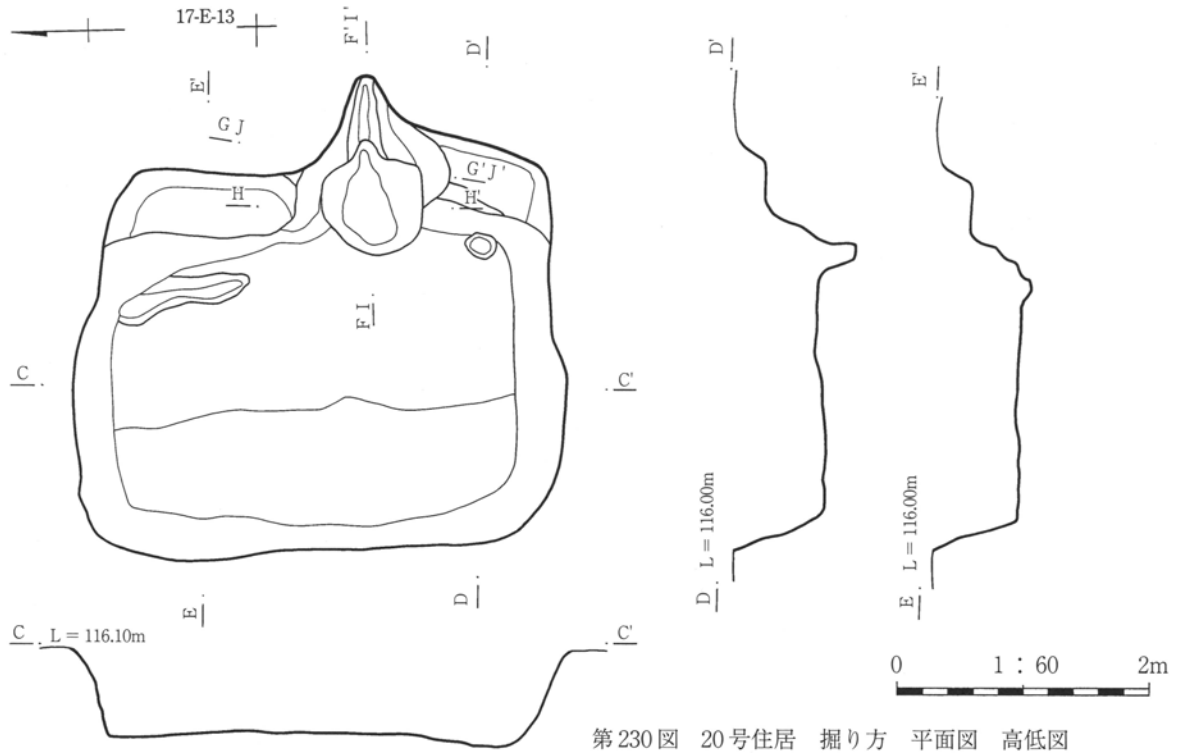
柱穴・貯蔵穴 南東隅に直径20cm、深さ30cmの小ピットがあるが、柱穴とも貯蔵穴とも認められない。

竈 東壁中央よりやや南よりに設けられている。にぶい黄褐色からにぶい黄橙色の粘土を構築材とする。燃焼部が立ち上がる奥壁部分には、上下を長軸として長径20cm、短径12cmほどの楕円形の空洞部分に、焼土粒や砂粒を含む黒褐色土が流れ込んだ部分が見られる。

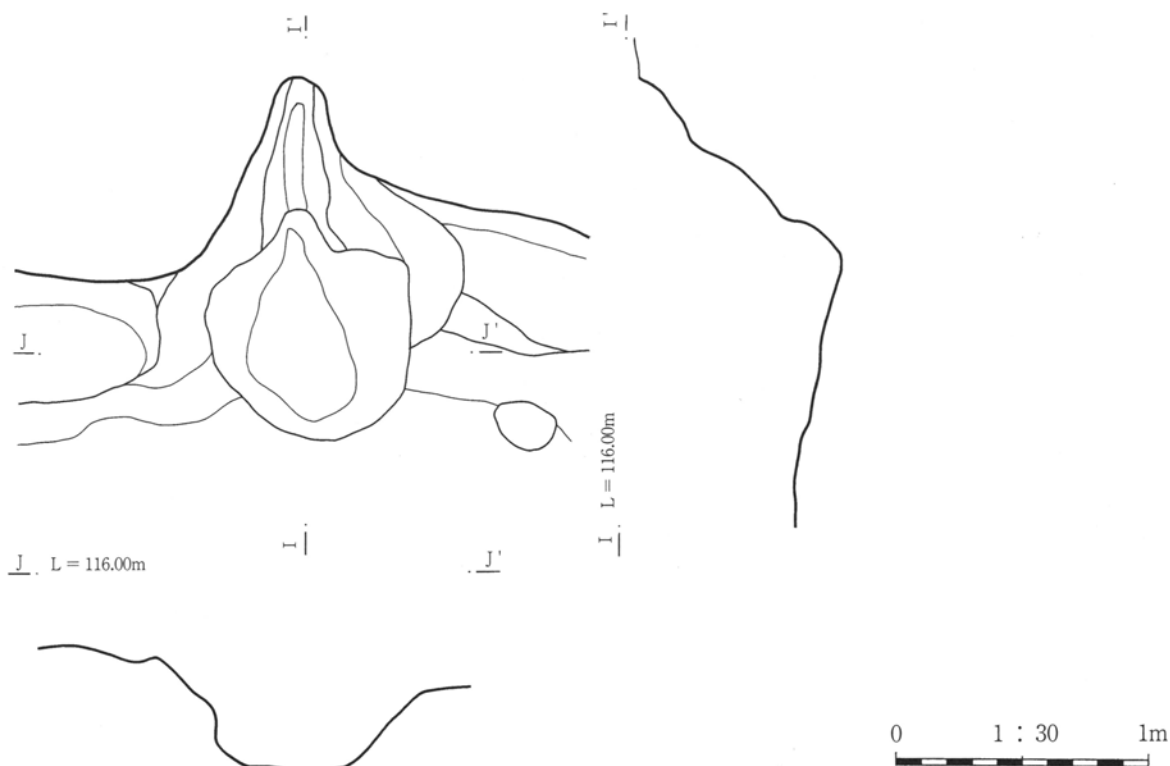
遺物 まばらながら、住居全体に土器片が散在する。1155の須恵器坏は北東隅の覆土下位から出土したもので、右回転轆轤成整形、底部回転糸切り。体部はほとんど無調整。口縁部は横ナデ。底部は平底で体部は膨らみが強い。口縁部は外反する。1156の須恵器坏は西壁北寄りから出土している。成整形は1155とほぼ同様に、体部は直線的に立ち上がり、口縁部は外反する。1157の須恵器高台付き碗は北東部の埋土中から出土したもので、左回転轆轤成整形。底部回転糸切りで、ハの字状に開き、若干外反する高台が付く。1160は須恵器坏の底部を転用した紡錘車と思われるもので、中央に円孔を穿ち、底部割れ口は研磨している。1158は須恵器坏の底部片、1159は須恵器蓋の環状つまみ部の破片である。鉄製品も出土している。M61は大型の鉄鎌、M62は刀子である。M63は工具の破片かとも思われたが、十字を示す焼き印の印面部分と考える。

20号住居 土層観察所見

- 1 10YR2/2 黒褐色土 黒褐色土 やや砂質。ローム粒、焼土粒を含む。粒子がそろっており均質。しまり弱い。
- 2 10YR2/3 黒褐色土 やや砂質。ローム粒、ローム小ブロック、焼土粒を含む。As-C、Hr-FAを少量含む。
- 3 10YR3/4 暗褐色土 やや粘質。径3cm大のロームブロックを含む。焼土粒を少量含む。As-C、Hr-FAを少量含む。しまっている。
- 4 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒、As-C、Hr-FA、焼土粒含む。34層の斑を含む。
- 5 10YR2/2 黒褐色土 カクランと思われる。As-C、Hr-FAを含む。
- 6 10YR3/4 暗褐色土 5層のブロックを7%含む。ローム小ブロック、焼土小ブロックを含む。
- 7 10YR3/4 暗褐色土 焼土粒、ローム粒、As-C、Hr-FA、炭化物粒を含む。 7' 10YR2/3 黒褐色土 7層から漸移的に変化。
- 8 10YR2/2 黒褐色土 カクランと思われる。As-C、Hr-FAを含む。
- 9 10YR2/3 黒褐色土 やや灰色がかかる。As-C、Hr-FAを含む。やや粘質。周辺に類似した土がない。
- 10 10YR4/6 褐色土 崩れたロームブロック。
- 11 10YR2/3 黒褐色土 やや砂質、As-C、Hr-FA粒、焼土粒含む。34層の小ブロックを含む。しまっている。
- 12 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6褐色土を30%含む。10YR2/3黒褐色土の小ブロック、ロームブロックを含む。焼土粒、As-C、Hr-FA粒を含む。
- 13 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを多く含む。焼土粒、炭化物含む。ローム小ブロック少量含む。
- 14 As-C、Hr-FA、焼土粒を含む10YR3/4暗褐色土50%、10YR2/3黒褐色土50%の斑状混土。
- 15 10YR3/4 暗褐色土50%、10YR2/3黒褐色土50%の斑状混土。As-C、Hr-FA、焼土粒含む。
- 16 10YR2/3 黒褐色土 やや粘質。9層に似てやや灰色がかかるが、As-C、Hr-FA、炭化物粒を含む。
- 17 10YR2/3 黒褐色土 やや砂質。As-C、Hr-FA、焼土粒、ローム粒、ローム小ブロックを含む。As-Bかと思われる軽石粒を含む固くしまっている。
- 18 10YR3/4 暗褐色土 汚れたローム小斑、ローム粒を含む。やや粘質。しまり弱い。
- 19 10YR4/6 褐色土 汚れたロームの再堆積。やや粘質。しまりやや弱い。 19' 焼土粒ごく少量含む。やや粘質。しまりやや弱い。
- 20 10YR2/2 黒褐色土 As-C、Hr-FA、ローム粒、焼土粒ともに少量含む。やや粘質。しまっている。
- 21 10YR2/3 黒褐色土 砂粒を多く含む。水性の堆積層だろう。
- 22 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA、焼土粒含む。炭化物を含む。炭化物には5mm角くらいの小さな炭化材片が目立つ。10YR3/4 暗褐色土の円形斑20%含む。
- 23 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘土。床面を広くおおう。しまっている。
- 24 10YR2/2 黒褐色土 粘土斑を少量含む。粘質。
- 25 10YR4/6 褐色土 汚れたロームの再堆積。やや粘質。しまりやや弱い。
- 26 10YR4/6 褐色土 汚れたロームの再堆積。焼土粒ごく少量含む。やや粘質。しまりやや弱い。
- 27 10YR4/6 褐色土 汚れたロームの再堆積。やや粘質。ブロック状。
- 28 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/4褐色土の50%斑状混土。
- 29 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA、ローム粒含む。炭化物粒、焼土粒少量含む。
- 30 10YR4/4 褐色土 10YR3/4暗褐色土の縞状斑40%含む。ローム粒含む。As-C、Hr-FA含む。
- 31 10YR2/2 黒褐色土 As-C、Hr-FA多く含む(根?)
- 32 10YR2/2 黒褐色土 As-C、Hr-FAを多く含む。焼土粒少量含む。
- 33 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを少量含む。不規則なローム斑20%含む。
- 34 10YR5/3 にぶい黄褐色土 カマド構築材と同質の粘土、焼土粒、ローム小ブロックを含む。
- 35 10YR4/6 褐色土 汚れた、粘性の高いローム。
- 36 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。



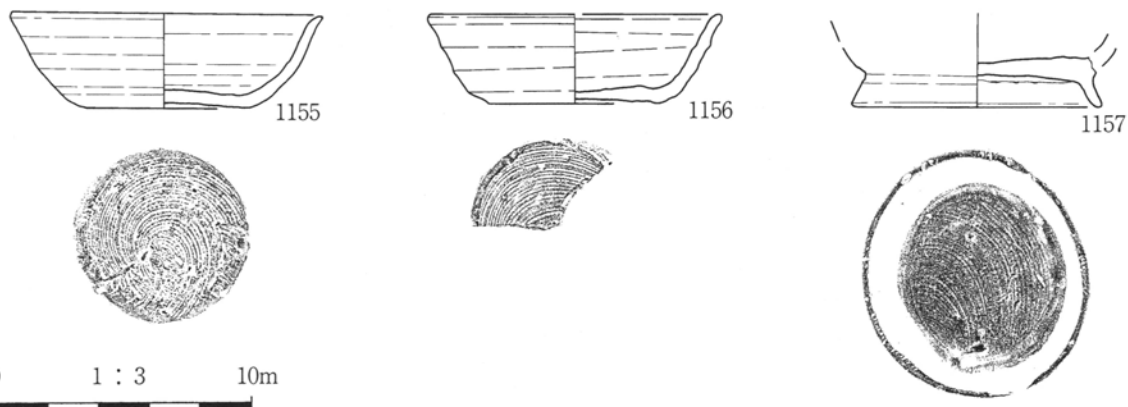
1 竖穴住居



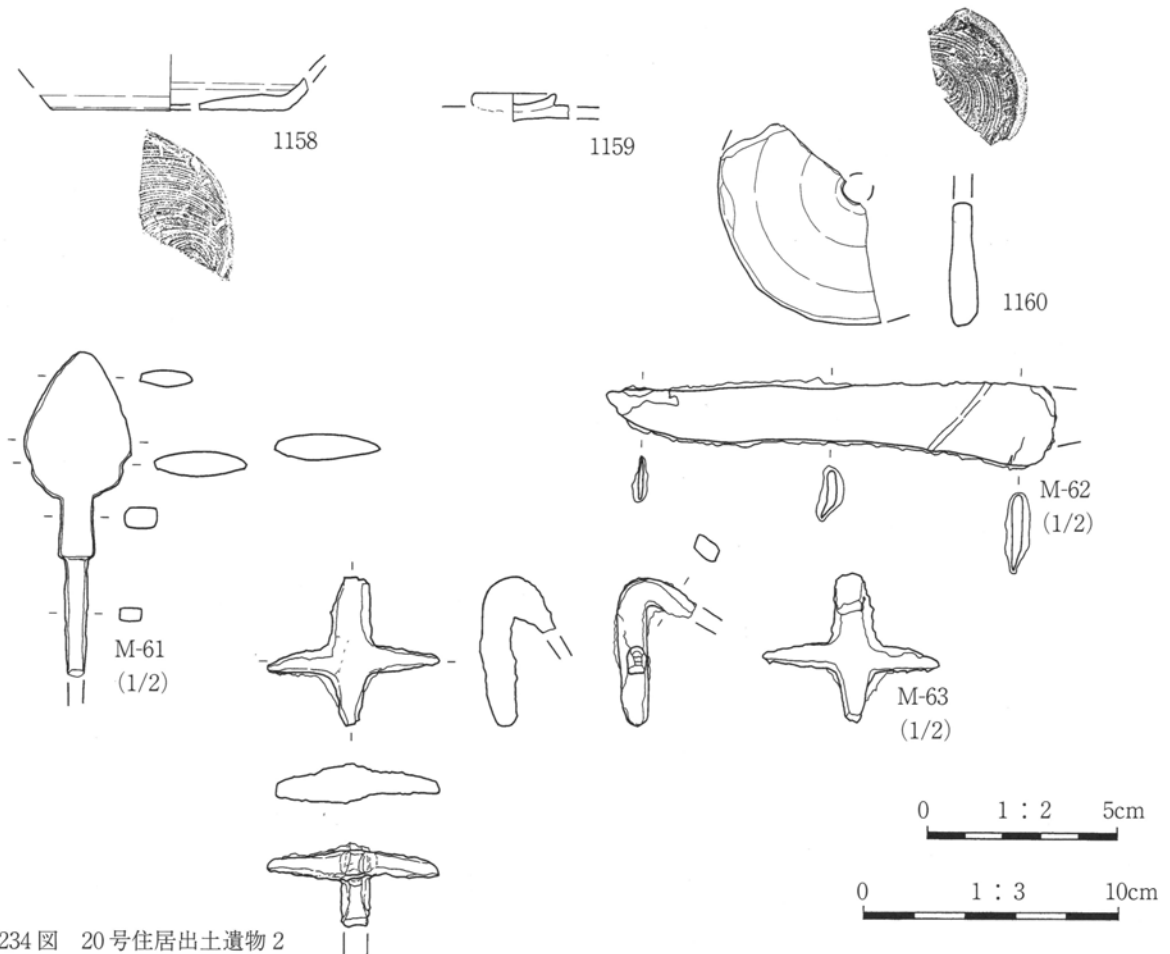
20号住居竈土層観察所見

- 1 10YR4/4 褐色土 締まっている。
- 2 10YR5/4 にぶい黄褐色土 竈構築材の粘土。焼土粒を含む。
- 3 10YR4/4 褐色土 粘土の小ブロックを少量含む。締まり弱い。
- 4 焼土集中層。
- 5 焼土層。
- 6 径5mm以下の焼土粒、焼土小ブロックを3%含む。粘土粒を含む。煙道埋土。
- 7 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘土。焼土粒を含む。
- 8 10YR5/4 にぶい黄褐色土 竈構築材の粘土。
- 9 10YR6/4 にぶい黄橙色土 竈構築材の粘土。焼土粒を含む。
- 10 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。粘土斑を30%含む。焼土小ブロックを3%含む。締まっている。
- 11 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。粘土斑30%含む。焼土小ブロック7%含む。締まりやや弱い。
- 12 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR2/3黒褐色土の円形斑を7%含む。固く締まっている。

第232図 20号住居竈 掘り方平面図 高低図



第233図 20号住居出土遺物1



第234図 20号住居出土遺物2

21号住居

位置 7-16-P.Q-9.10グリッド。標高117.4mから117.7mの南向き緩傾斜部に立地する。西に18号住居、南に22号住居がある。

形態・規模 東西3.2m、南北3.42m。北辺が東側に若干延びるため、歪んだ方形の平面形を示す。

覆土 南側からローム粒やローム小ブロックを含んだ暗褐色から黒褐色土が流入するが、北側からの流入土にはローム分が少ない。全体にAs-C、Hr-FAを含む。床面近くには炭化物、焼土粒が含まれる。

掘り方・床 床は基本的に地山ロームを踏み固めたものである。北壁中央やや東より及び住居中央西寄りには不定形の掘り込みがあって、これをロームブロックを含む暗褐色土で埋めている。

壁 確認最大深は0.62mある。やや上方に開き気味であるが、ほぼ垂直に立ち上がる。北壁から東西両壁にかけて壁周溝が巡る。

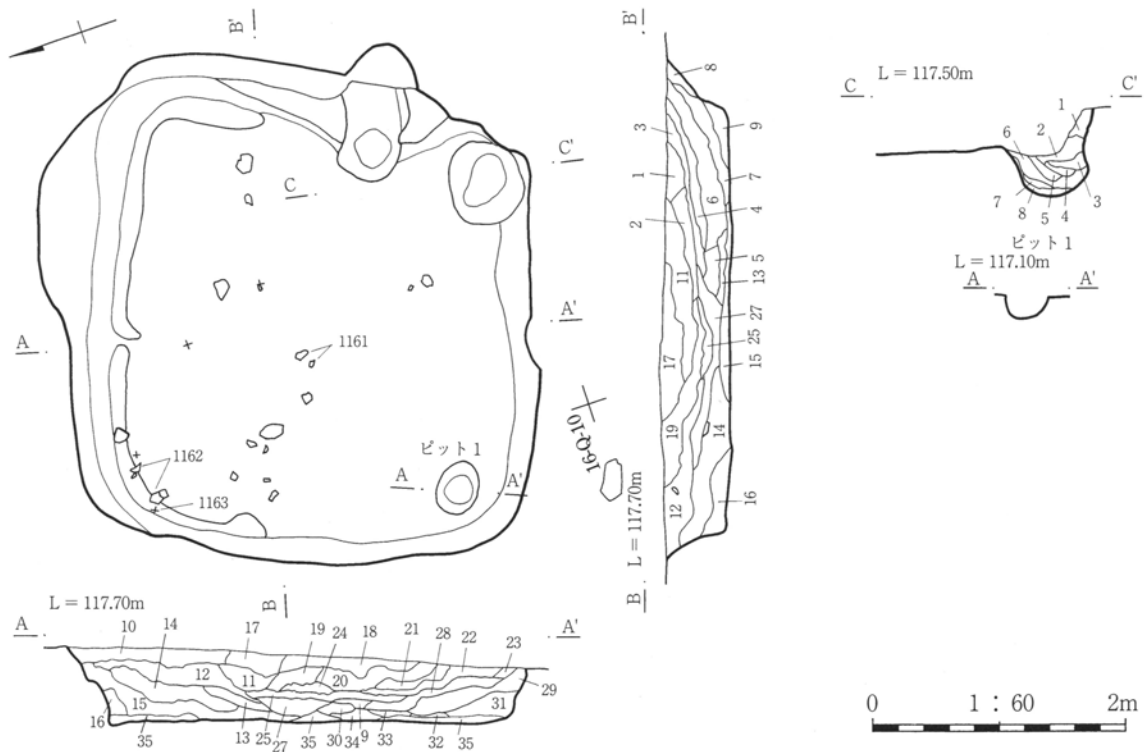
柱穴 南西隅に南北0.38m、東西0.42m、深さ0.14mの小ピットがあるが、柱穴とは断定できない。

貯蔵穴 竈右手に当たる東南隅部にある。南北0.58m、東西0.68m、床面からの深さ0.3mほどで、焼土や炭化物を含む暗褐色土で埋まっている。

竈 東壁南寄りにある。壁を掘り込んで短い袖と燃烧部を作り出し、褐色の粘土で構築している。石などの構造材は見られない。

遺物 住居中央部から北西隅にかけて土器片や礫が散在する。土師器甕、須恵器坏が出土している。1161の坏外底部には判読できないものの墨書がある。

1 竪穴住居



21号住居土層観察所見

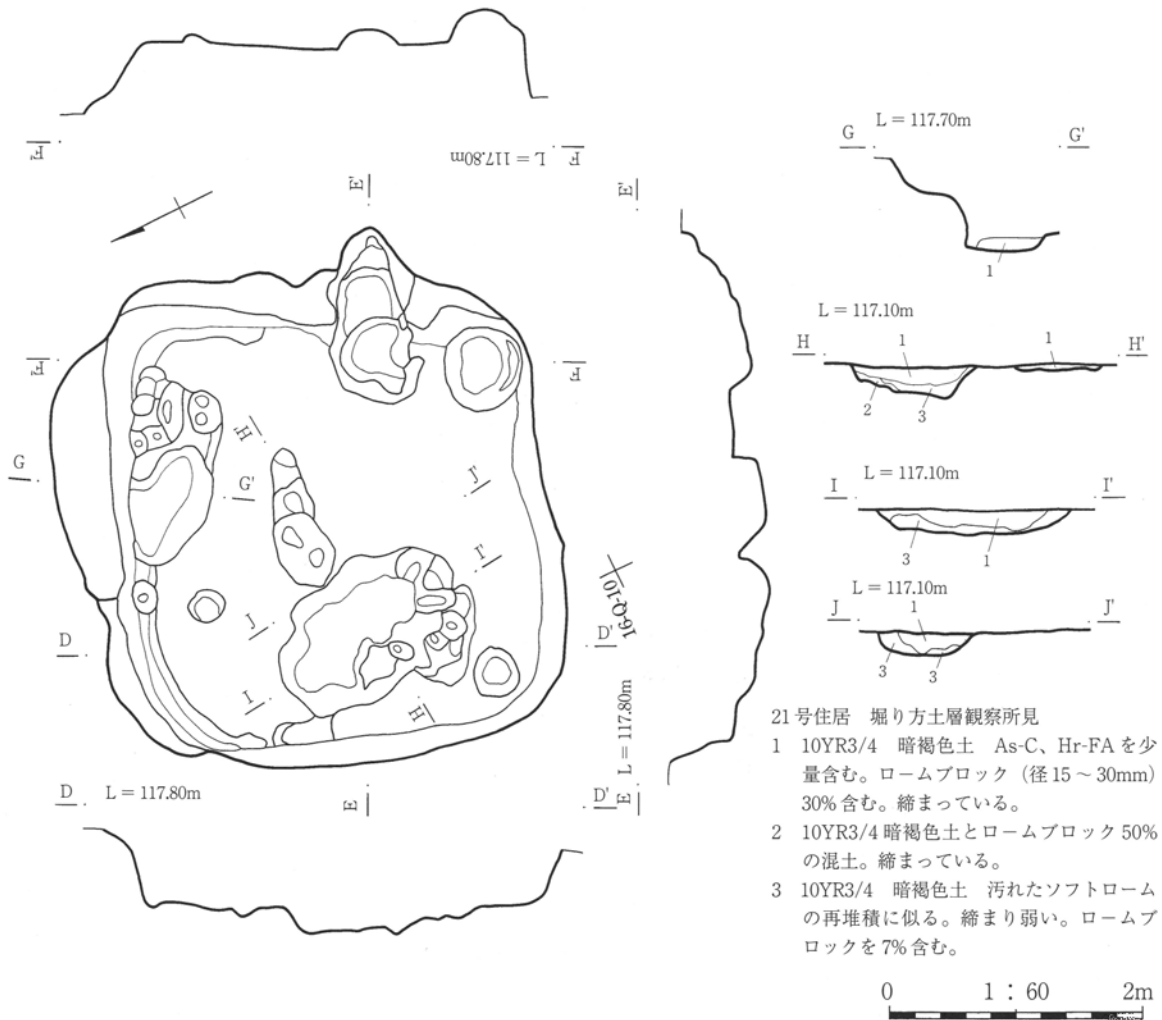
- 1 10YR2/3 黒褐色土 10YR3/4 暗褐色土斑を30%含む。As-C、Hr-FAを含む。炭化物片岩む。
- 2 10YR3/4 暗褐色土 焼土粒を含む。ローム斑を30%含む。As-C、Hr-FAを含む。
- 3 10YR2/3 黒褐色土 10YR3/4 暗褐色土斑を20%含む。焼土粒含む。As-C、Hr-FAを含む。
- 4 10YR3/4 暗褐色土 確認面近くに焼土集中がある。焼土粒を含む。ローム斑を20%含む。As-C、Hr-FAを含む。
- 5 10YR2/3 黒褐色土 焼土粒を含む。ローム斑を20%含む。As-C、Hr-FAを含む。
- 6 10YR3/4 暗褐色土 10YR2/3 黒褐色土斑を20%含む。As-C、Hr-FAを含む。焼土粒少量含む。
- 7 10YR2/3 黒褐色土 10YR3/4 暗褐色土斑を30%含む。As-C、Hr-FAを含む。
- 8 10YR4/4 褐色土 As-C、Hr-FAを少量含む。再堆積ローム。
- 9 10YR4/4 褐色土 再堆積ローム。縮まり弱い。粒子そろっている。
- 10 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR3/4 暗褐色土斑を10%、焼土粒をごく少量含む。
- 11 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR3/4 暗褐色土斑を40%、焼土粒をごく少量含む。
- 12 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR3/4 暗褐色土斑を30%含む。
- 13 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR3/4 暗褐色土斑5%、焼土粒ごく少量を含む。
- 14 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR3/4 暗褐色土斑20%、ローム小ブロックを少量含む。
- 15 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR3/4 暗褐色土斑7%、ローム小ブロックを少量含む。
- 16 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FAをごく少量含む、やや粘質。縮まりやや弱い。
- 17 崩れたロームブロックを主体に10YR3/4 暗褐色土斑20%、10YR2/3 黒褐色土斑10%、As-C、Hr-FA粒を含む。縮まっている。
- 18 10YR3/4 暗褐色土 ローム斑20%、10YR2/3 黒褐色土を10%含む。As-C、Hr-FAを含む。ローム小ブロックを少量含む。部分的に焼土粒を含む。
- 19 10YR2/3 黒褐色土 10YR3/4 暗褐色土斑20%含む。ローム小ブロック、As-C、Hr-FA粒含む。やや縮まっている。
- 20 10YR4/4 褐色土 ローム小ブロック、10YR3/4 暗褐色土、10YR2/3 黒褐色土斑を含む。As-C、Hr-FAを含む。やや縮まっている。
- 21 10YR2/3 黒褐色土 ローム斑、ローム小ブロックを10%含む。As-C、Hr-FAを多く含む。
- 22 10YR3/4 暗褐色土 ローム斑、ロームブロックを30%含む。As-C、Hr-FAを少量含む。やや縮まっている。
- 23 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。ローム粒を含む。縮まり弱い。
- 24 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒、ローム小ブロックを含む。As-C、Hr-FAを少量含む。やや粘質。縮まっている。
- 25 10YR2/3 黒褐色土 10YR3/4 暗褐色土の斑を30%含む。As-C、Hr-FAを含む。やや粘質。縮まっている。
- 26 10YR2/3 黒褐色土 ローム小斑、小ブロックを20%含む。細かい炭化物粒を含む。As-C、Hr-FAを含む。やや縮まっている。

第235図 21号住居平面図 土層断面図 貯蔵穴土層断面 ピット高低図

- 27 10YR2/3 黒褐色土と 10YR3/4 暗褐色土の混土。暗褐色土 20% ローム小ブロックはほとんどなく、小斑状になる。やや締まっている。
- 28 10YR2/3 黒褐色土と 10YR3/4 暗褐色土の混土。暗褐色土 30%。ローム小ブロックを含む。As-C、Hr-FA を少量含む。ややしまっている。
- 29 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒、ローム小ブロックを多く含む。As-C、Hr-FA を少量含む。しまり弱い。
- 30 10YR3/4 暗褐色土とローム斑のランダムな混土。ローム斑 40%、As-C、Hr-FA を少量含む。
- 31 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA を含む。10YR2/3 黒褐色土をブロック状に 10% 含む。ローム粒を多く含む。As-C、Hr-FA を含む。しまり弱い。
- 32 10YR2/3 黒褐色土と 10YR3/4 暗褐色土のランダムな混土。As-C、Hr-FA を含む。しまり弱い。
- 33 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒、ローム小ブロックを 30% 含む。As-C、Hr-FA を含む。
- 34 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒、10YR3/4 暗褐色土斑、焼土粒、ローム小ブロックを含む。As-C、Hr-FA を含む。ややしまっている。
- 35 10YR3/4 暗褐色土 ローム斑、小ブロックを 30% 含む。As-C、Hr-FA を含む。ややしまっている。 1' ローム斑、小ブロックを 40% 含む。As-C、Hr-FA を含む。ややしまっている。

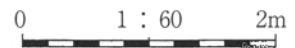
21号住居 貯蔵穴土層観察所見

- 1 10YR3/4 暗褐色土と 10YR2/3 黒褐色土斑の混土。As-C、Hr-FA を含む。炭化物少量含む。
- 2 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA を含む。ローム粒を多く含む。締まり弱い。
- 3 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒少量含む。As-C、Hr-FA を少量含む。焼土粒少量含む。
- 4 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA を少量含む。炭化物粒含む。粒子揃う。締まり弱い。
- 5 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA を含む 10YR2/3 黒褐色土の斑を 30% 含む。
- 6 10YR3/4 暗褐色土 ローム斑 7%、焼土のぼんやりした斑 3%、径 2~5mm の焼土小ブロック、焼土粒を含む。
- 7 10YR3/4 暗褐色土 径 2~5mm の焼土小ブロックを含む。
- 8 10YR3/4 暗褐色土 径 10mm のロームブロック、径 5~10mm の焼土小ブロックを含む。



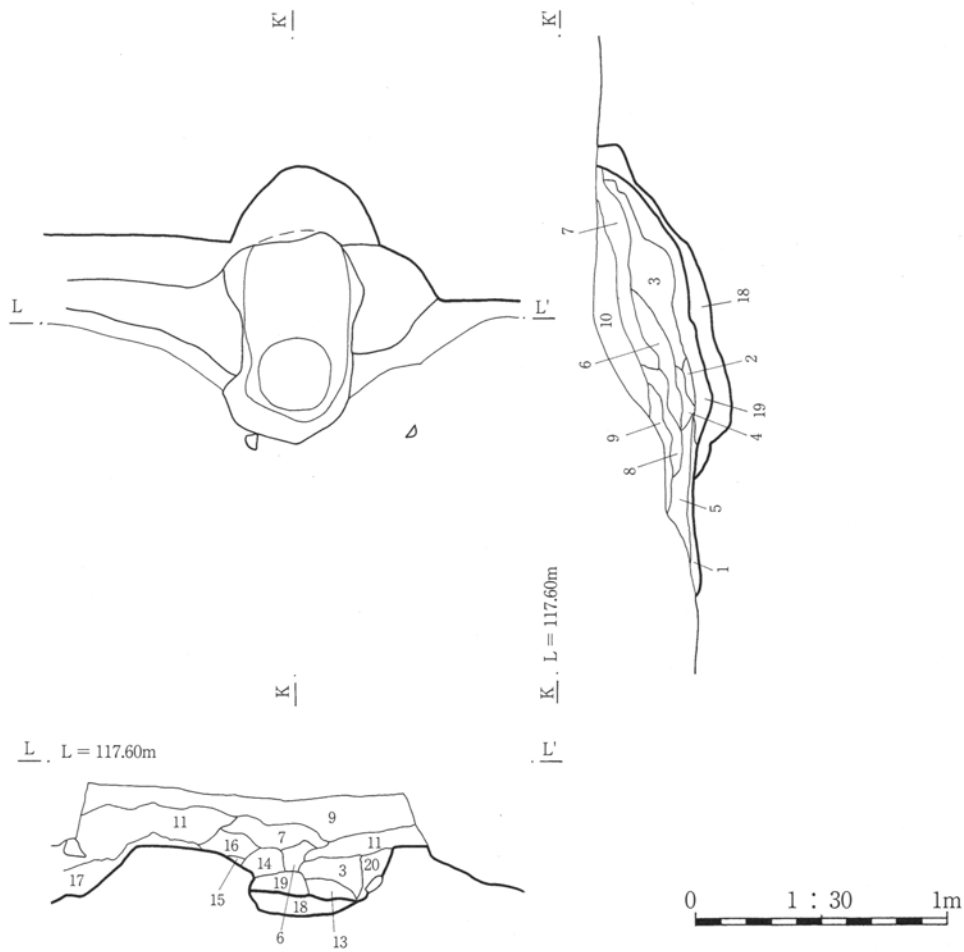
21号住居 掘り方土層観察所見

- 1 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA を少量含む。ロームブロック (径 15~30mm) 30% 含む。締まっている。
- 2 10YR3/4 暗褐色土とロームブロック 50% の混土。締まっている。
- 3 10YR3/4 暗褐色土 汚れたソフトロームの再堆積に似る。締まり弱い。ロームブロックを 7% 含む。



第 236 図 21号住居掘り方 平面図 土層断面図 高低図

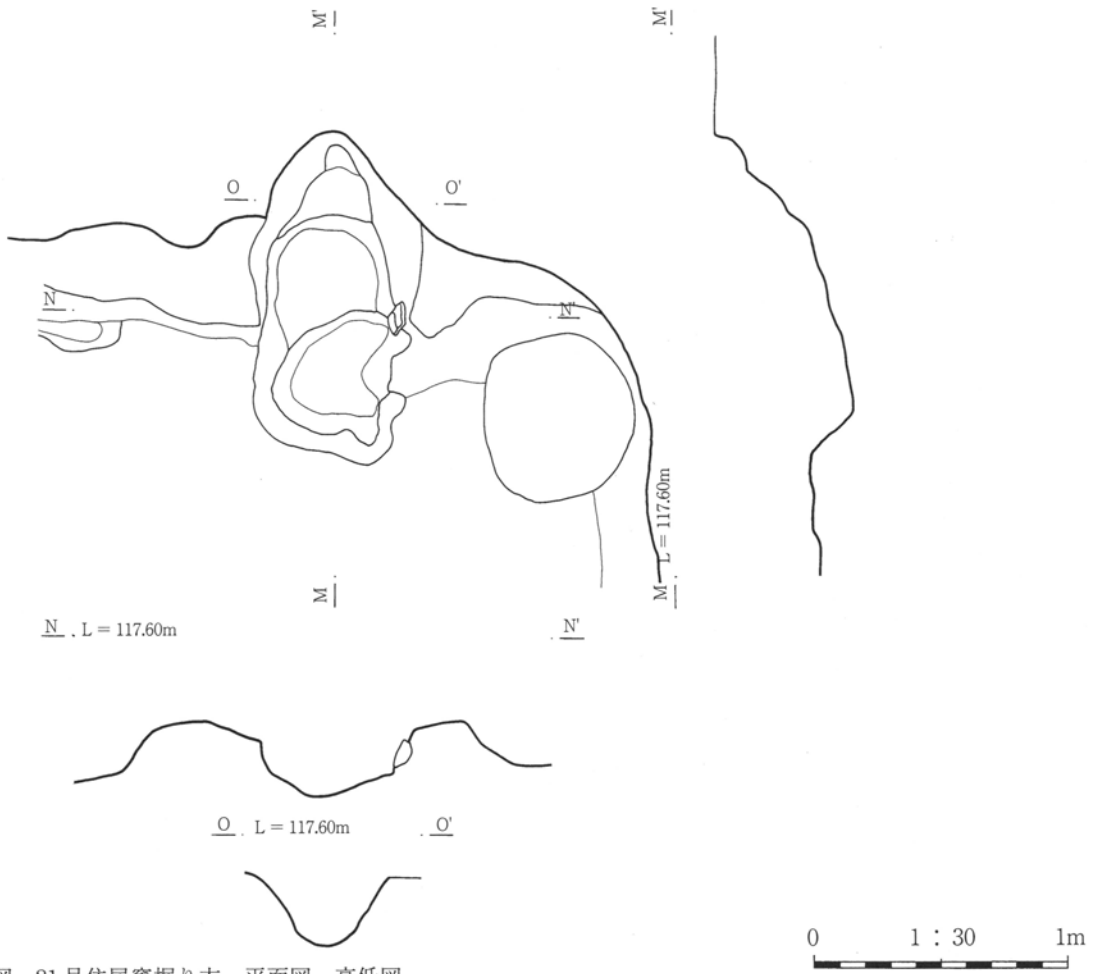
1 竖穴住居



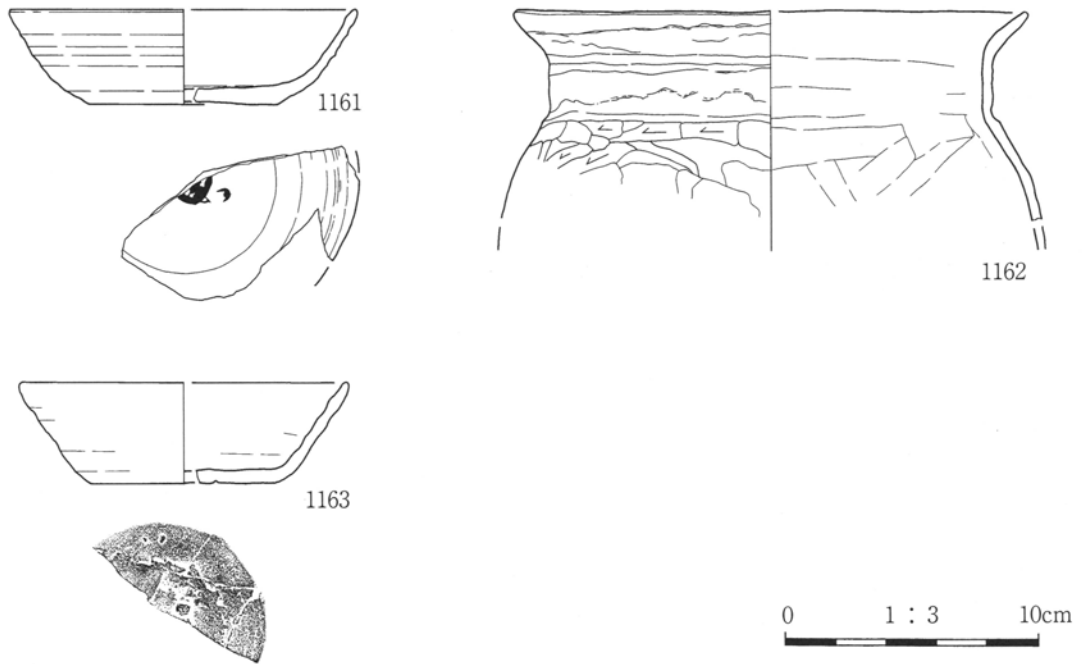
21号住居 竈土層観察所見

- 1 7.5YR3/4 暗褐色土 ローム粒、焼土ブロックを含む。締まっている。
- 2 7.5YR4/6 褐色土 焼土粒、焼土小ブロック、粘土粒を含む。やや締まっている。
- 3 7.5YR3/4 暗褐色土 焼土粒を多く含む。粘土粒を多く含む。締まり弱い。
- 4 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒を含む。締まり弱い。
- 5 10YR3/4 暗褐色土 径5mmのローム小ブロック3%、焼土粒を含む。10YR2/3黒褐色土ブロックを5%含む。締まっている。
- 6 7.5YR3/4 暗褐色土 焼土小ブロック、ローム小ブロックを含む。炭化物を含む。As-C、Hr-FAを含む。
- 6' 10YR3/4 暗褐色土 焼土小ブロック、ローム小ブロックを含む。炭化物を含む。As-C、Hr-FAを含む。
- 7 10YR3/3 暗褐色土 As-C、Hr-FAを含む。ローム粒を含む。締まっている。
- 8 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FAを含む。粘土粒を多く含む。締まっている。
- 9 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。焼土粒を少量含む。締まっている。
- 10 10YR3/3 暗褐色土 As-C、Hr-FAを多く含む。ローム小ブロックを含む。締まっている。
- 11 10YR3/3 暗褐色土 焼土粒、粘土粒を多く含む。12層が攪乱されたもの。
- 12 弱く焼化赤変した粘土。
- 13 10YR3/4 暗褐色土 粘土粒を多く含む。締まり弱い。
- 14 10YR3/4 暗褐色土 粘土粒を多く含む。締まり弱い。焼土粒含む。
- 15 10YR3/4 暗褐色土 粘土粒を多く含む。やや締まっている。焼土粒を含む。ローム粒を多く含む。
- 16 10YR3/4 暗褐色土 焼土粒含む。締まり弱い。

第237図 21号住居竈 平面図 土層断面図



第238図 21号住居竈掘り方 平面図 高低図



第239図 21号住居 出土遺物

1 竪穴住居

22号住居

位置 7-16-P-8グリッド。標高117.1mの南向き緩傾斜部に立地する。北に21号住居がある。

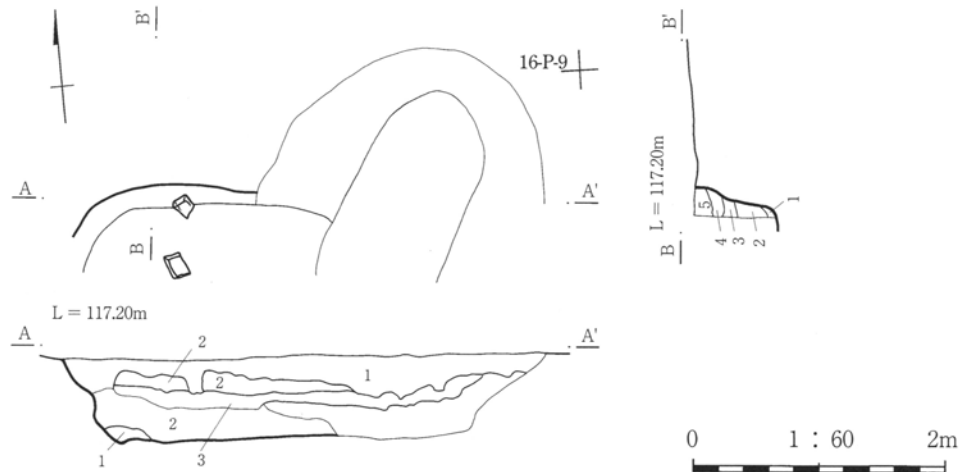
形態・規模 整地により大半を削られ、さらに7号土坑に切られている。北西隅部近くに当たると思われる、東西残存長1.82m、南北残存長0.56mを確認したのみである。

覆土 As-C、Hr-FA、ローム粒を含む黒褐色土で埋没する。As-Bを含まない。

壁 確認最大深は0.62mほどあり、床面からほぼ垂直に立ち上がる。

柱穴・貯蔵穴・竈 認められない。

遺物 覆土中に角礫があるが、人工の関与したものと認められない。



22号住居土層観察所見

- 1 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒多く含む。ローム小ブロック含む。締まり弱い。
- 2 10YR2/3 黒褐色土 10YR3/4 暗褐色土の円形斑30%含む。ローム粒を含む。ローム小ブロックを少量含む。
- 3 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。ローム粒を含む。固く締まっている。
- 4 10YR2/3 黒褐色土 やや砂質。As-C、Hr-FAを含む。ローム粒を含む。締まっている。
- 5 表土

第240図 22号住居平面図 土層断面図

23号住居

位置 7-16-Q-13グリッド。標高118.0mから118.1mの南向き緩傾斜部に立地する。南にやや離れて18号住居、21号住居がある。

形態・規模 大半が調査区外となり、南隅部を確認したのみである。東西確認長1.4m、南北確認長3.0m。方形ないし長方形の平面形を示すものだろう。

覆土 As-C、Hr-FA、ローム粒を含む暗褐色から黒褐色土で埋没する。表土直下に当たる覆土の最上位にはAs-Bが多く含まれる層がある。

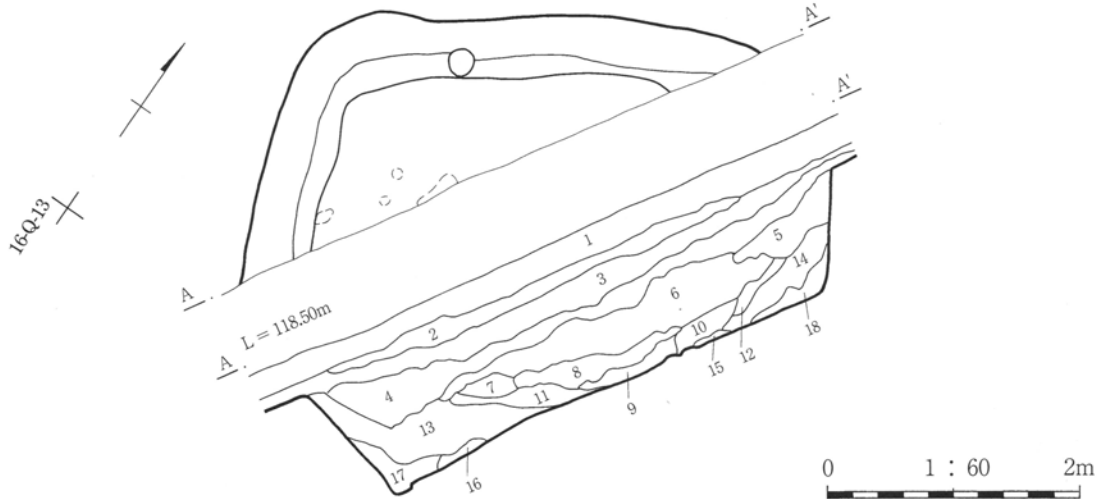
掘り方・床 掘削底面を踏み固めて床としており、貼り床等の構造は認められない。壁下には巾20cm弱、深さ5cm程の浅い周溝が巡る。

壁 確認最大深は0.85mあり、かなり深い住居である。壁はやや上方に開き気味に立ち上がる。

柱穴・貯蔵穴 認められない。

竈 調査範囲内には認められないが、東側の床面近くには竈構築材に用いられることがあるにぶい黄橙色の粘土が分布しており、この近くに竈が作られていたものと思われる。

遺物 この住居に伴う遺物はない。



23号住居土層観察所見

- 1 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒多く含む。ローム小ブロック含む。締まり弱い。
- 2 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒多く含む。ローム小ブロック3%含む。締まり弱い。
- 3 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒含む。径30mm程のロームブロック含む。
- 4 10YR7/4 にぶい黄橙色土 周辺住居のカマド構築材に使われているものと同じ白っぽい粘土。
- 5 10YR2/3As-C、Hr-FA 混土主体。ローム小ブロック含む。ローム粒含む。締まりやや弱い。
- 6 10YR3/3As-C、Hr-FA 含む。炭化物粒含む。やや締まっている。
- 7 10YR3/3As-C、Hr-FA 含む。ローム粒含む。ローム小ブロック含む。締まり弱い。
- 8 10YR3/4 ローム小ブロック3%含む。As-C、Hr-FA、ローム粒少量含む。炭化物多く含む。締まりやや弱い。
- 9 10YR3/4 ローム小ブロック3%4層粘土の円形ブロック含む。As-C、Hr-FA 混土。やや締まっている。
- 10 10YR4/5 ローム粒が主。ローム小ブロック2%、4層粘土の円形円形ブロック含む。締まり弱い。
- 11 10YR2/3As-C、Hr-FA 混土が主。ローム粒、ローム小ブロック含む。
- 12 10YR3/3As-C、Hr-FA 混土が主。ローム粒を多く含む。締まり弱い。
- 13 10YR3/4 ロームブロック5%、ローム斑3%含む。As-C、Hr-FA 少量含む。締まりやや弱い。
- 14 10YR3/4 ローム粒多く含む。As-C、Hr-FA 少量含む。やや締まる。
- 15 10YR3/4 ローム粒多く含む。As-C、Hr-FA 少量含む。やや締まっている。
- 16 10YR2/1As-C、Hr-FA 混土。締まっている。
- 17 10YR2/1B を多く含む。As-C、Hr-FA 含む。締まっている。
- 18 表土。

第241図 23号住居平面図 土層断面図

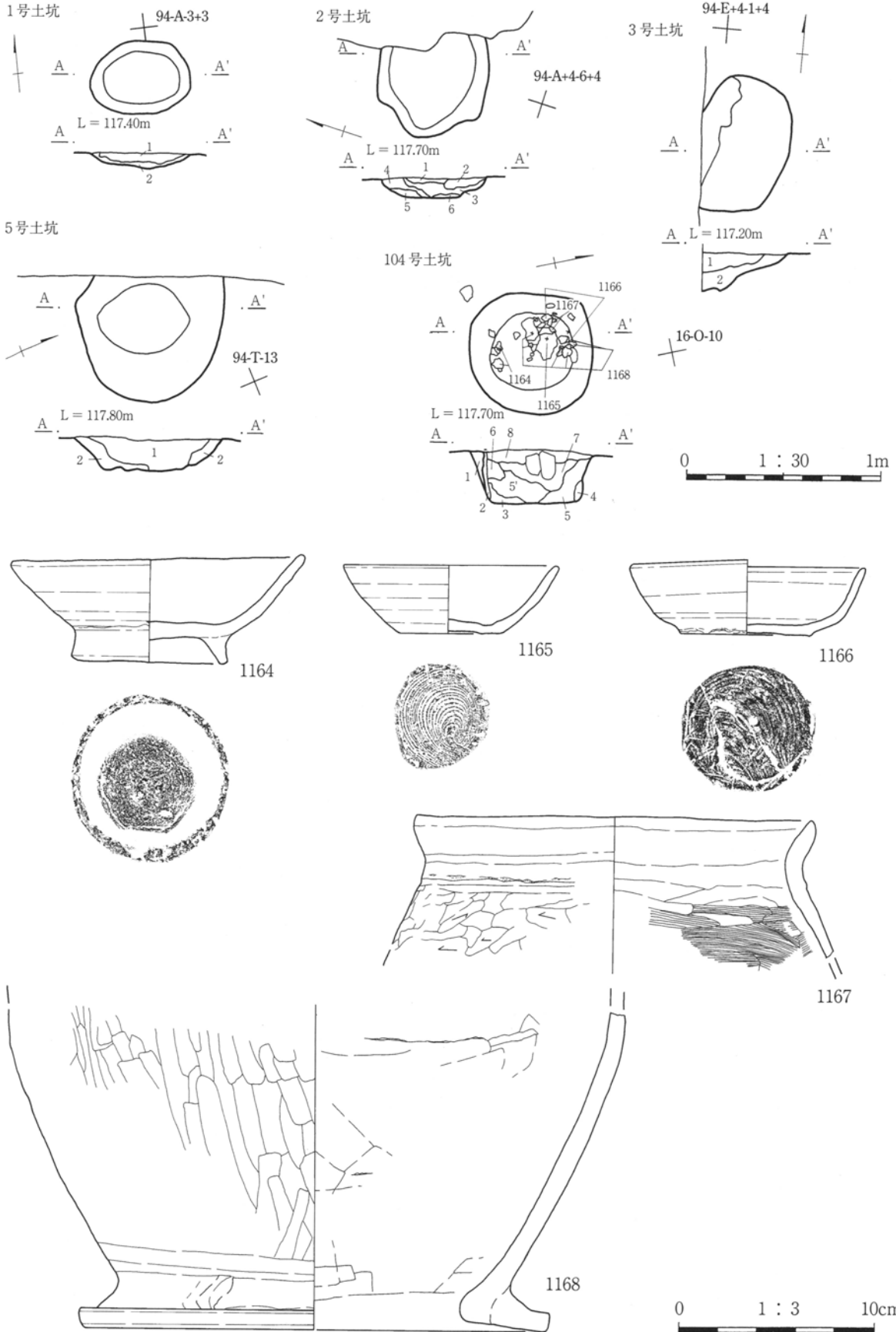
2 土坑・ピット

1号土坑 6-93-T-3/94-A-3グリッド 確認面標高117.3m。東西に長軸を持つ楕円形を呈する。東西長1.01m、南北長0.73m、確認最大深0.13mで、断面形は浅いレンズ状を呈する。覆土上位にはAs-CまたはHr-FA下かと思われる軽石を多く含む。出土遺物はない。

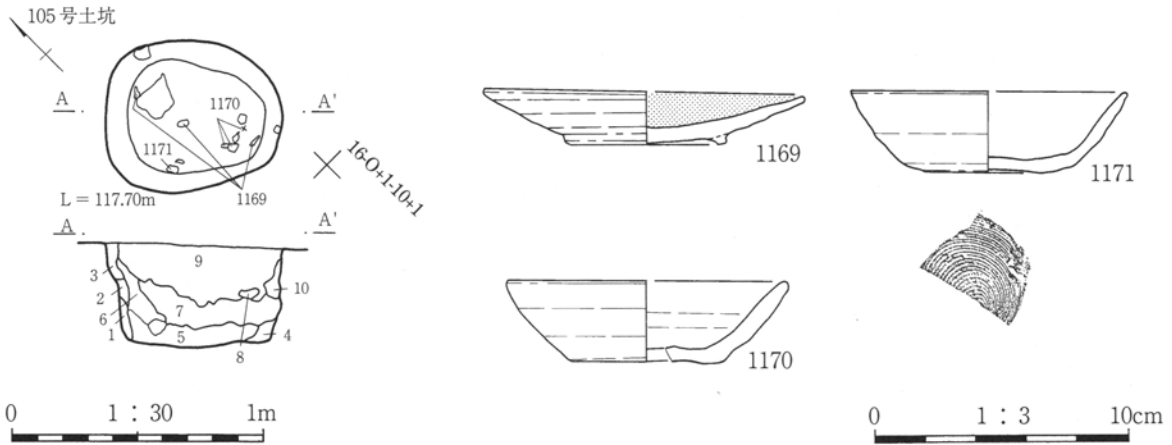
2号土坑 6-94-A-6グリッド 確認面標高117.6m。西半を攪乱に切られる。東西に長軸を持つ楕円形ないし隅丸方形を基本とするものか。東辺中央が突出する。東西確認長1m、南北長1.14m 確認最大深0.24m。覆土からは黒浜式及び加曾利E式深鉢破片、磨石が出土している。覆土全体にAs-CまたはHr-FAと思われる軽石を含む。

3号土坑 6-94-E-1グリッド 確認面標高117.1m。西部過半が調査区外にかかり全形は不明。南北長1.34m、東西確認長0.88m 確認最大深0.6m。出土遺物なし。覆土上位にAs-Cと思われる軽石を含む。

2 土坑・ピット



第242図 土坑1 (1~3・5・104号土坑)



1号土坑

- 1 10YR2/1 黒色土 As-CまたはHr-FAらしき軽石(径4mm以下)を多く含む。ローム粒、小さなロームブロックを少し含む。しまりよし。
- 2 10YR3/2 黒褐色土 1層土と地山のローム混じり。下位ほどローム多い。As-CまたはHr-FAらしき軽石は1層より少なく、小さい。

2号土坑

- 1 10YR2/1 黒色土 As-C含む。軽石の密度は2層土より低く、ローム粒少量含む。硬い土。
- 2 10YR2/2 黒褐色土 As-C含む。炭化物、ロームブロック含む硬い土。
- 3 7.5YR2/1 黒色土 As-C含む。軽石の密度大。炭化物比較的多く含む。ローム少量含む。硬く締まった土。
- 4 7.5YR2/1 黒色土 As-C含む。軽石の密度は3層土より低い(1層土と同類)。炭化物、5層土ブロックを含む。硬い土。
- 5 10YR1.7/1 黒色土 As-C含む。軽石の密度は上層土と同様だが、径が小さい。炭化物が土壌化したような黒味を帯びた土がブロック状に見られる。硬い。
- 6 10YR3/2 黒褐色土 ローム漸移層土、暗褐色土を含む。白色粒含む。表面上As-Cは見られない。

3号土坑

- 1 10YR2/2 黒褐色土 黒みが強い。As-Cらしき軽石を含む。ローム粒僅かにまじる。
- 2 10YR3/2 黒褐色土 1層に比べローム粒を多く含む。小さなロームブロックも下位にあり。やや軟。

5号土坑

- 1 10YR2/2 黒褐色土 As-Cと思われる軽石を含む。ローム粒わずかに含む。炭化物片を少量含む。黒み強い。やや軟質。
- 2 10YR2/3~3/3 黒褐色~暗褐色土 締まったローム粒を多く含む。下位には斑状のローム、ロームブロックもあり。As-Cらしき軽石を含む。締まり少ないがあり。軟質。

104号土坑

- 1 10YR5/6 黄褐色土 汚れたソフトローム。
- 2 10YR4/4 褐色土 ローム粒を多く含み、しまりのない層。土坑の壁にそってつながる。木質のものではないと思われる。
- 3 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒を含む。焼土粒少量含む。
- 4 10YR3/4 暗褐色土 ロームブロック含む。ローム粒含む。As-C、Hr-FA少量含む。しまり弱い。
- 5 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA含む。焼土粒炭化物含む。5' As-C、Hr-FA 5層より少なく、ローム小ブロック含む。
- 6 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FA、焼土粒少量含む。やや粘質。ややしまる。
- 7 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA含む。炭化材片含む(加工材あり)ローム粒、焼土粒含む。しまっている。
- 8 10YR2/2 黒褐色土 As-C、Hr-FA含む。炭化物含む。しまっている。

105号土坑

- 1 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒、ローム斑多く含む。しまり弱い。
- 2 10YR2/3 黒褐色土 ローム斑30%。しまり弱い。
- 3 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒、As-C、Hr-FA少量含む。しまりやや弱い。
- 4 10YR2/3 黒褐色土 ローム斑30%。粘質。しまり弱い。
- 5 10YR2/3 黒褐色土 ローム斑少量含む。炭化物含む。やや粘質。しまり弱い。
- 6 10YR2/1 黒色土 10YR3/4斑10%。As-C、Hr-FA少量含む。しまり弱い。
- 7 10YR2/3 黒褐色土 10YR3/4の円形斑30%。As-C、Hr-FA含む。焼土粒少量含む。
- 8 10YR6/3にぶい黄褐色土の崩れた斑。黒色土に汚染されている。カマドに使われる粘土に近い質感。
- 9 10YR2/1 黒色土 As-C、Hr-FA含む。焼土粒少量含む。しまっている。
- 10 攪乱

第243図 土坑2(105号土坑)

2 土坑・ピット

5号土坑 6-93-T-12.13 グリッド 確認面標高 117.7m。北西部が調査区外となり全形はわからない。径 1.5m ほどの円形を呈するものと思われる。確認最大深 0.38m。出土遺物なし。覆土中に As-C を含む。古墳時代以後。

104号土坑 7-16-N-10 グリッド 標高 117.6m。南に小規模な谷頭を臨む台地の南西向き緩斜面に立地する。平面形はややいびつな円形、断面形は箱形を呈し、底面はほぼ平坦。最大長は 138cm、深さ 55cm。覆土は黒褐色土と暗褐色土を主体とする。黒褐色土は上層にあたり、しまりが強く、焼土粒と炭化材を含む。暗褐色土は下層にあたり、焼土粒と炭化物は同様に含むがしまりは弱い。覆土全体を通して As-C と Hr-FA を含むが上層の 7・8 層における密度が高い。また、覆土中層における焼土内からコムギ、下層からオオムギ、アワ、ヒエ、ホタルイの炭化種実が検出されている。土坑に伴う遺物としては 10 世紀前半の須恵器坏、土師器坏、土師器高台付碗、羽釜形甑が出土している。また、遺物に混在して 30cm 大の礫が出土している。

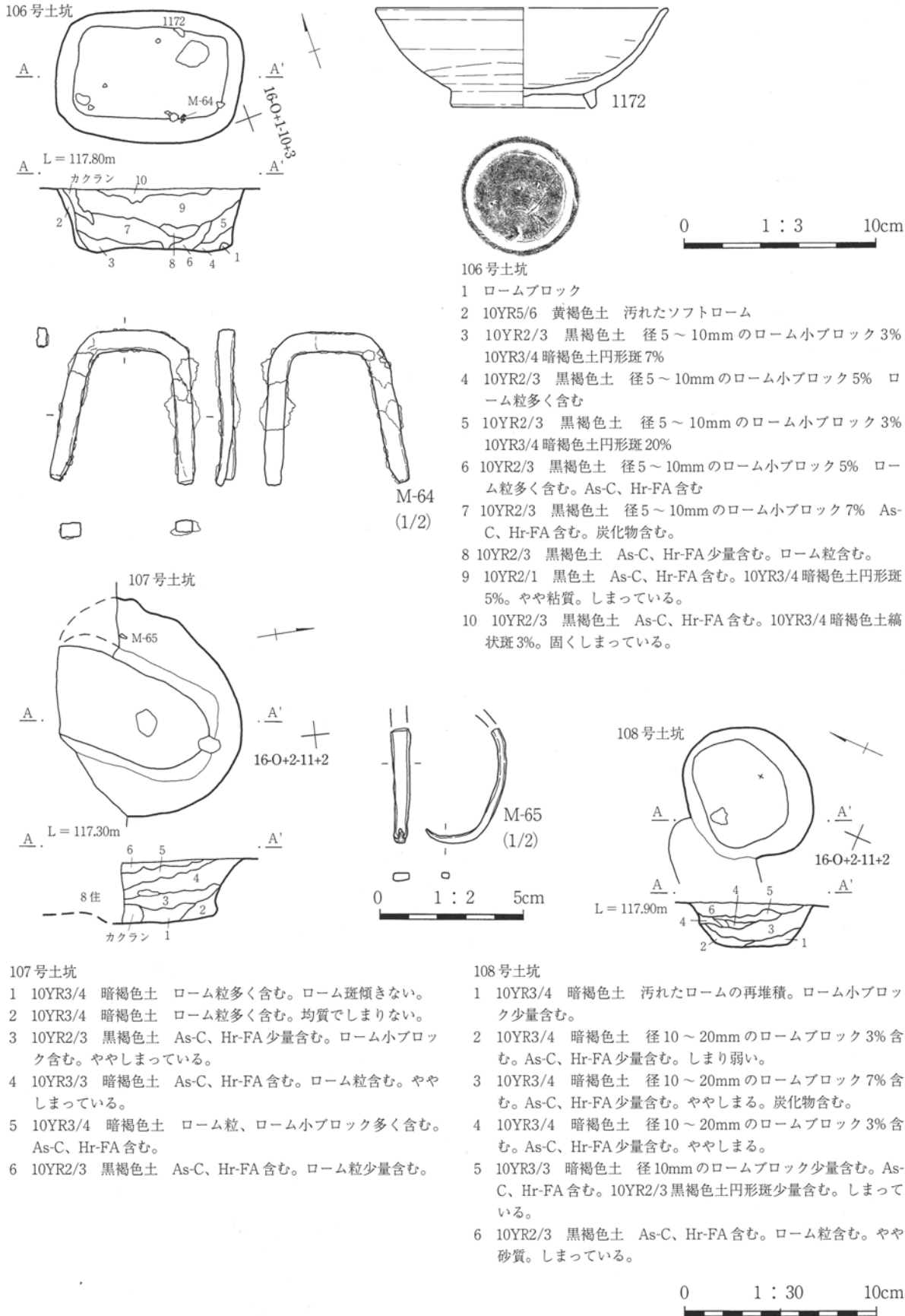
105号土坑 7-16-P-10 グリッド 標高 117.6m。104号土坑と 106号土坑に挟まれるかたちで隣接し、平面形は楕円形、断面形は箱形を呈する。底面は平坦。長軸方向は北西におく。長軸長 140cm、短軸長 120cm、深さ 80cm。覆土は黒色土・黒褐色土を主体とし、中・上層では As-C、Hr-FA が含まれる。下層では As-C、Hr-FA は含まれず、イネ、コムギ、タデの炭化種実が検出されている。また、底面には 5mm ほどの厚さで炭化物が堆積していた。出土遺物は 10 世紀前半の須恵器坏、灰釉陶器皿が出土しており、4号土坑と同様に 30cm 大の礫も検出されている。

106号土坑 7-16-O-10 グリッド 標高 117.7m。105号土坑とは南側で隣接する。長軸方向は 105号土坑と同じ北西におく。長軸長 194cm、短軸長 140cm、深さ 65cm を測り、平面形は隅丸の長方形を呈する。断面形は箱形で、底面は平坦である。覆土は黒色土、黒褐色土、暗褐色土を主体とする。上層はやや粘性があり、しまりの強い黒色土を主体とする。覆土全体に As-C、Hr-FA が含まれるが、下層の 7 層中からは炭化物も検出される。出土遺物は 104、105号土坑同様に 30cm 大の礫、10 世紀前半の灰釉陶器碗、コの字状の鉄製品が出土している。

107号土坑 7-16-Q-9 グリッド 標高 116.0m。南西向き緩斜面に立地し、8号住居を壊すかたちで重複する。南側は現代の水田耕作による削平によって壊されている。平面形は楕円形、断面形は平坦な底面から播鉢状に開いている。長軸方向は北東におき、残存する長軸長は 200cm、短軸長は 180cm、深さ 68cm。覆土は上層の大半が攪乱によって失われているが、暗褐色土を主体とする。下層に As-C、Hr-FA を含む。出土遺物はない。

108号土坑 7-16-O-11 グリッド 標高 117.8m。20号土坑北側の緩斜面に立地する。長軸方向は南北におき、長軸長 150cm、短軸長 126cm、深さ 46cm。平面形はいびつな楕円形、断面形は逆台形を呈する。平面は平坦。覆土は暗褐色土主体で、上層を占める 6 層のみがしまりの強い黒褐色土となる。6 層には As-C、Hr-FA が含まれるが、下層では部分的に Hr-FA が含まれるのみで As-C は含まれない。出土遺物はない。

109号土坑 7-16-N-10 グリッド 標高 117.8m。104、105、106号土坑の東側に位置し、南西向き緩斜面に立地する。平面形は円形、断面形はやや乱れた箱形を呈し、底面は平坦である。最大長は 84cm、深さ 20cm。覆土はしまりの強い黒褐色土を主体とする。As-C、Hr-FA を含む。出土遺物はない。



第244図 土坑3 (106~108号土坑)

2 土坑・ピット

120号土坑 7-17-D-15グリッド 標高117m。調査区内では最北端に位置し、西向き緩斜面に立地する。長軸方向は東西におき、長軸長114cm、短軸長70cm、深さ30cm。平面形は楕円形、断面形は浅いレンズ状を呈する。覆土はしまりの強い黒褐色土を主体とし、焼土粒子、As-C、Hr-FAを含む。出土遺物はない。

11号ピット 7-16-O-10グリッド 確認面標高117.6m。確認面ではやや北東-南西に長い楕円形の平面形を呈する。長軸長0.83m、短軸長0.64m。確認最大深は0.62mと比較的深く、中位まで徐々に狭まって直径0.36mほどの円形平面を呈する。底面は小さな平底で、北西壁はなだらかに傾斜し、南部の壁は中位で屈曲してラッパ状に上方に開く。覆土は最下位に暗褐色土があり、その上位に汚れたロームと暗褐色土が乗る。この層以上にはAs-C、Hr-FAの軽石粒が含まれる。出土遺物はない。

12号ピット 7-16-Q-11グリッド 確認面標高117.8m。わずかに南北に長い楕円形の平面形を呈する。長軸長0.4m、短軸長0.38m。確認最大深0.36m。底面はほぼ平底で、断面形は深い鍋状を呈する。覆土は底面近くにロームを含む暗褐色土が薄く堆積し、その上位はAs-C、Hr-FAを含む黒褐色土である。出土遺物はない。

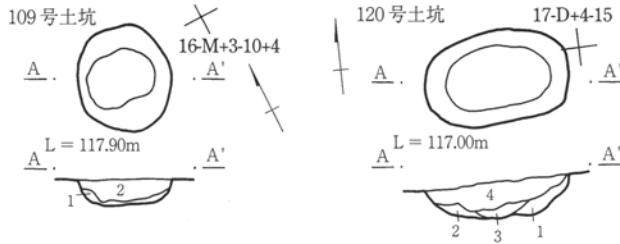
13号ピット 7-16-Q-13グリッド 確認面標高118.0m。ややに東西長い歪んだ円形の平面形を呈する。長軸長0.66m、短軸長0.52m。確認最大深0.18m。底面は緩い丸底で、断面形は鍋状を呈する。覆土は底部近くにロームを含む暗褐色土が薄く堆積し、その上位にAs-C、Hr-FAを含む黒褐色から暗褐色土が乗る。出土遺物はない。

14号ピット 7-16-Q.R-12グリッド 確認面標高117.8m。北西-南東に長い楕円形の平面形を呈する。長軸長0.68m、短軸長0.5m。確認最大深0.34m。底面中央が一段深くなり、断面は口の太いじょうごのような形状を呈する。覆土は最下位がAs-C、Hr-FAを含む暗褐色土で汚れたロームで、上位にAs-C、Hr-FAを含む黒褐色から暗褐色土が乗る。出土遺物はない。

15号ピット 7-16-R-12グリッド 確認面標高117.8m。やや北東-南西に長い、ほぼ円形の平面形を呈する。長軸長0.36m、短軸長0.32m。確認最大深0.36m。底面は丸底で、断面形は深いU字形を呈する。覆土は一部にAs-C、Hr-FAを含む汚れたロームが下位にあり、上位にAs-C、Hr-FAを含む黒褐色から暗褐色土が堆積する。出土遺物はない。

16号ピット 7-16-Q-12グリッド 確認面標高118.0m。ほぼ円形の平面形を呈する。直径0.41m、確認最大深0.39m。底面は小さな丸底で、断面は上方に開き気味のU字からV字に近い形状を呈する。覆土は下位にロームを含む暗褐色土があり、その上位にAs-C、Hr-FAを含む汚れたロームや暗褐色土が乗る。出土遺物はない。

17号ピット 7-16-S-11グリッド 確認面標高117.5m。やや南北に長い歪んだ円形の平面形を呈する。長軸長0.4m、短軸長0.36m。確認最大深0.3m。底面は緩い丸底で、断面形はU字形を呈する。覆土はAs-C、Hr-FAやローム粒を含む暗褐色土である。出土遺物はない。

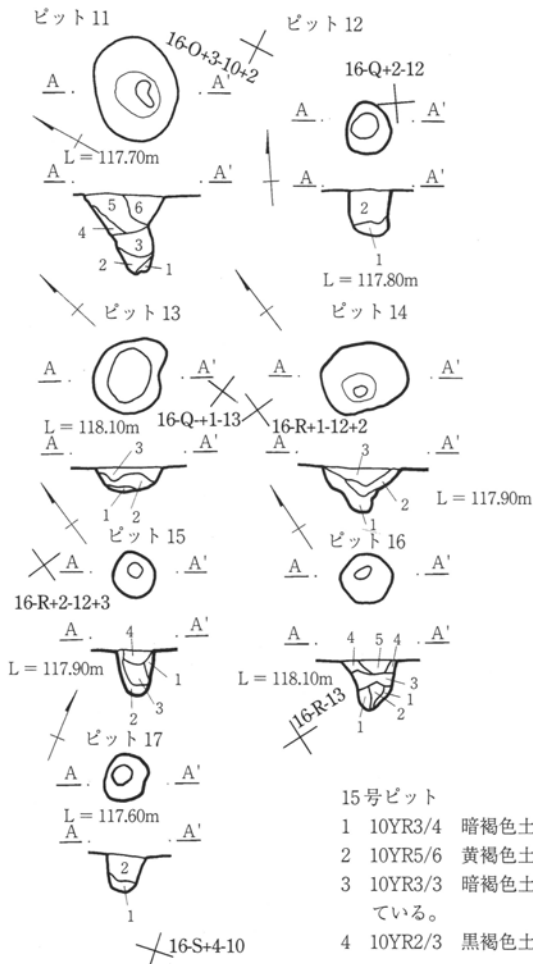


109号土坑

- 1 10YR3/4 暗褐色土 汚れたソフトローム主体。As-C、Hr-FA少量含む。
- 2 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FA含む。しまっている。

120号土坑

- 1 7.5YR3/3 暗褐色土 ローム粒含む。ローム斑3%含む。As-C、Hr-FA粒含む。ややしまる。
- 2 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒含む。ローム斑を含む。As-C、Hr-FA粒少量含む。ややしまる。
- 3 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒含む。ローム斑7%含む。As-C、Hr-FA粒含む。しまりやや弱い。
- 4 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒含む。ローム斑7%含む。As-C、Hr-FA含む。焼土粒少量含む。10YR2/2黒褐色土小ブロック3%含む。しまっている。



11号ピット

- 1 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒含む。締まり弱い。
- 2 10YR5/6 黄褐色土 汚れたロームの再堆積。やや粘質。やや締まる。
- 3 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒、ローム小ブロックを含む。As-C、Hr-FAを少量含む。やや締まっている。
- 4 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FAを含む。やや粘質、やや締まる。
- 5 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FAを少量含む。ローム斑を10%含む。締まりやや弱い。
- 6 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR3/4暗褐色土の斑を20%含む。やや締まっている。

12号ピット

- 1 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒を含む。締まり弱い。
- 2 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR3/4暗褐色土の斑を20%含む。やや締まっている。

13号ピット

- 1 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒を含む。締まり弱い。
- 2 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR3/4暗褐色土の斑を20%含む。やや締まっている。
- 3 10YR3/3 暗褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR3/4暗褐色土の斑を10%含む。やや粘質。やや締まっている。

14号ピット

- 1 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒を含む。締まり弱い。
- 2 10YR3/4 暗褐色土 As-C、Hr-FAを含む。As-YP粒を含む。締まり弱い。
- 3 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。

15号ピット

- 1 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒を含む。締まり弱い。
- 2 10YR5/6 黄褐色土 汚れたロームの再堆積。やや粘質。やや締まっている。
- 3 10YR3/3 暗褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR3/4暗褐色土の斑を10%含む。やや粘質。締まっている。
- 4 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR3/4暗褐色土の斑を20%含む。やや締まっている。

16号ピット

- 1 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒を含む。締まり弱い。
- 2 10YR5/6 黄褐色土 汚れたロームの再堆積。As-C、Hr-FAを含む。締まりごく弱い。
- 3 10YR5/6 黄褐色土 汚れたロームの再堆積。As-C、Hr-FAを含む。締まっている。
- 4 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒、ローム小ブロックを含む。As-C、Hr-FAを少量含む。やや締まる。
- 5 10YR2/3 黒褐色土 As-C、Hr-FAを含む。10YR3/4暗褐色土の斑を20%含む。やや締まる。

0 1 : 30 1m

第245図 土坑4 ピット1 (109・120号土坑 11～17号ピット)

第6章 谷地部分の調査

調査区の東端部、江木下大日遺跡との境界は、比較的深く広い谷地である。本遺跡の調査区内における最高所は、1号墳の北側にあたり、標高119.7mある。谷地は北から南へと下っていて、調査区内で最も低い南端部分では標高107mとなっており、比高は10mを越える。調査以前には水田として耕作されており、河川はない。調査区の上位に当たる北方に谷地新沼、下流側に谷地沼が作られている。ほ場整備による切り盛りが著しく、自然地形は大きく乱されている。

現行の水田耕作土下に部分的ではあるが、良好なAs-Bの一次堆積層を認めることができる。As-Bはところによっては10cmを越える厚さで堆積し、上部にはにぶい赤褐色の火山灰が明瞭に残されている。さらにこの上位に暗紫色の火山灰薄層が認められる部分もある。赤褐色火山灰層との間がほとんどなく、堆積物の認定が困難であったために、As-Bに伴う火山灰の上位部分であるか、浅間-粕川テフラ(As-KK)とされるものであるか判断できないが、いずれにせよAs-Bの堆積構造は降下時点から乱されていないことは明らかであり、As-B降下後すぐにこの谷地の土壌を攪乱するような人工が働く事はなかった、ということが示されるものであろう。

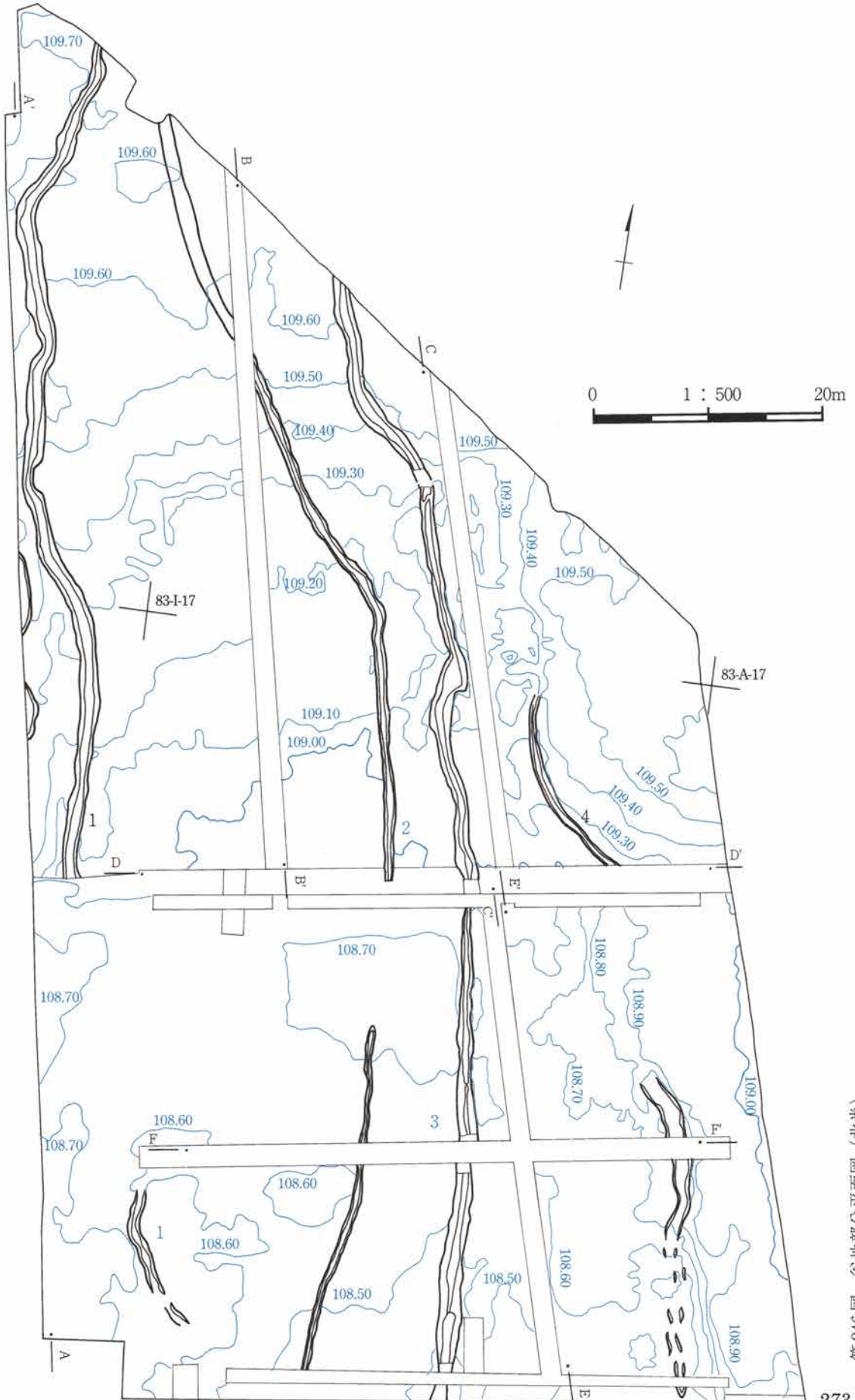
ところで、As-Bの残る部分は、第248図に示すとおりごく部分的であるが、残存部分のAs-Bは上記の通り良好な堆積状況を示す。さらに、残存部分の平面形状は不定形であるが、残存範囲を区画する辺に直線性が認められて、As-Bの残存状況そのものがAs-Bに埋没した水田を示すものかと思われた。しかし、As-Bの残存部分が周囲よりやや高い部分にあることも多く、As-B降下以後に生じた耕作などの土壌攪乱を免れた部分にAs-Bが残り、As-B残存範囲の直線性は周囲の土壌攪乱の直線性を反映したものにすぎないことがわかった。

図示した溝はいずれもAs-Bを切っており、As-B降下以後に作られたものである。現水田の床土とAs-Bの間には黒色から黒褐色の粘質土があって、その中にも何枚かの鉄分集中層を見ることができる。これらのことから、As-B降下以後いずれかの時点からか、継起的に水田として利用されていた場所であったことが想定される。

一方で、As-B分布範囲がAs-B下水田の存在を直接示すものではないことは上記の通りである。ただし、植物珪酸体分析の結果によれば、As-B直下面ではイネの植物珪酸体が多く検出されており、上位がテフラに覆われているという保存環境下を考え合わせると、水田の存在を想定しうると言う所見を得ている。調査範囲内でAs-B直下水田の候補地をあげるとすると、土層断面Fラインの東端近くであろうか。谷の縁辺に狭い水田を開いていた可能性があるかもしれない。

As-Bの下位は黒色から黒褐色の粘質土層で、未分解の草本茎葉部を主体とする腐植を含む。この間に黄灰色のシルトの薄層及び砂層の面的な広がりを部分的に見ることができる。これらは洪水起源の層である。植物珪酸体分析の結果では、この層準で最も多くのイネの植物珪酸体が検出されているが、遺構として水田を捉えることは全くできなかった。As-Bと後述するHr-FAの間という以外には年代決定の資料を得られないが、弘仁9(818)年に起こったとされる地震に伴うものとの想定も可能である。

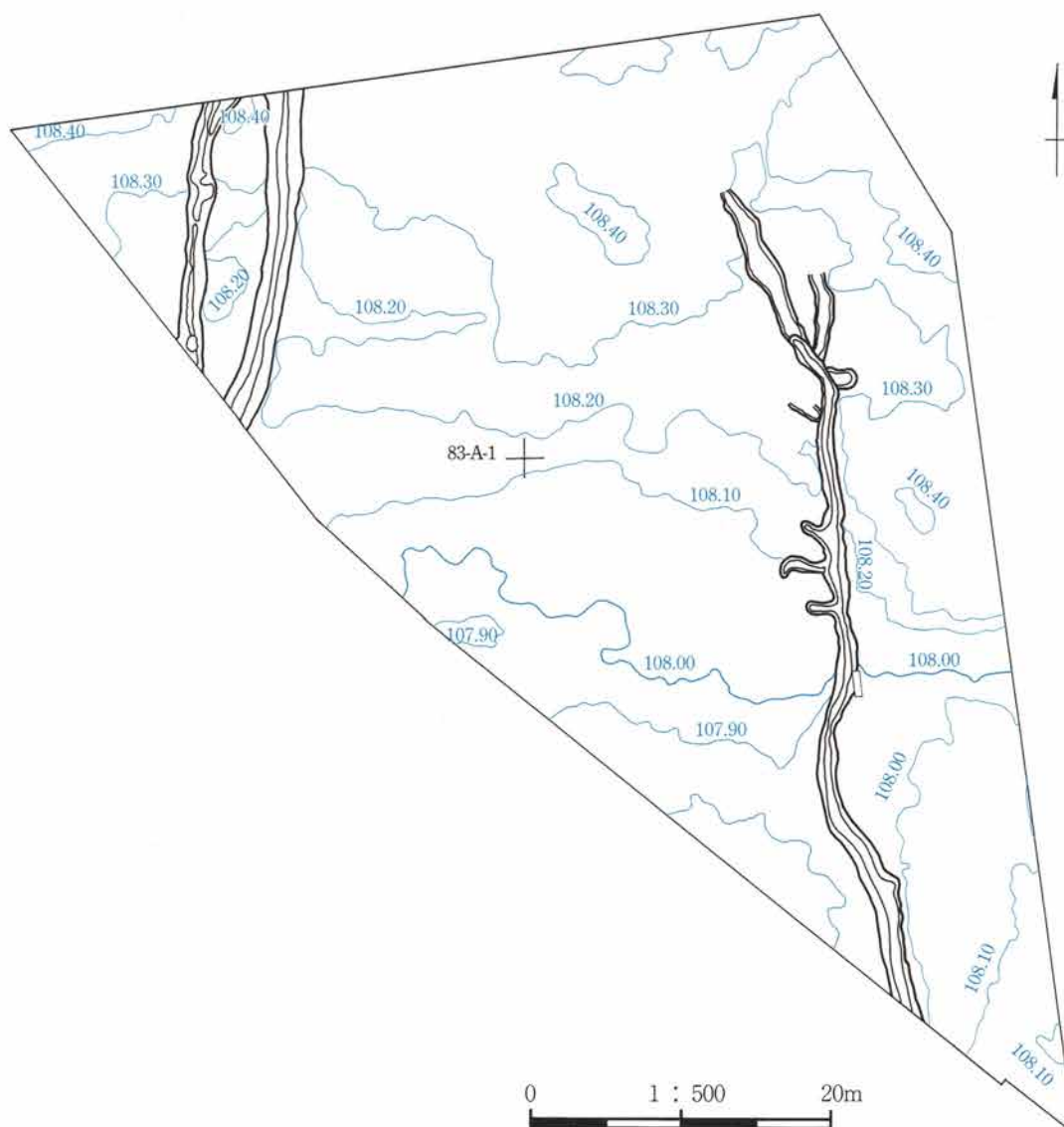
これ以下には泥炭状の腐植を多く含む黒色粘質土が厚く堆積する。茎葉部が直立した状態で埋まったのではないかと思われるような部分もある。水流の乏しい滞水状態の湿地的環境を思わせる。この中にHr-FA及びAs-Cに相当する軽石粒が含まれ、また一時的な流路を形成していたものと思われる砂やシルトのレンズ状堆積層が介在する。



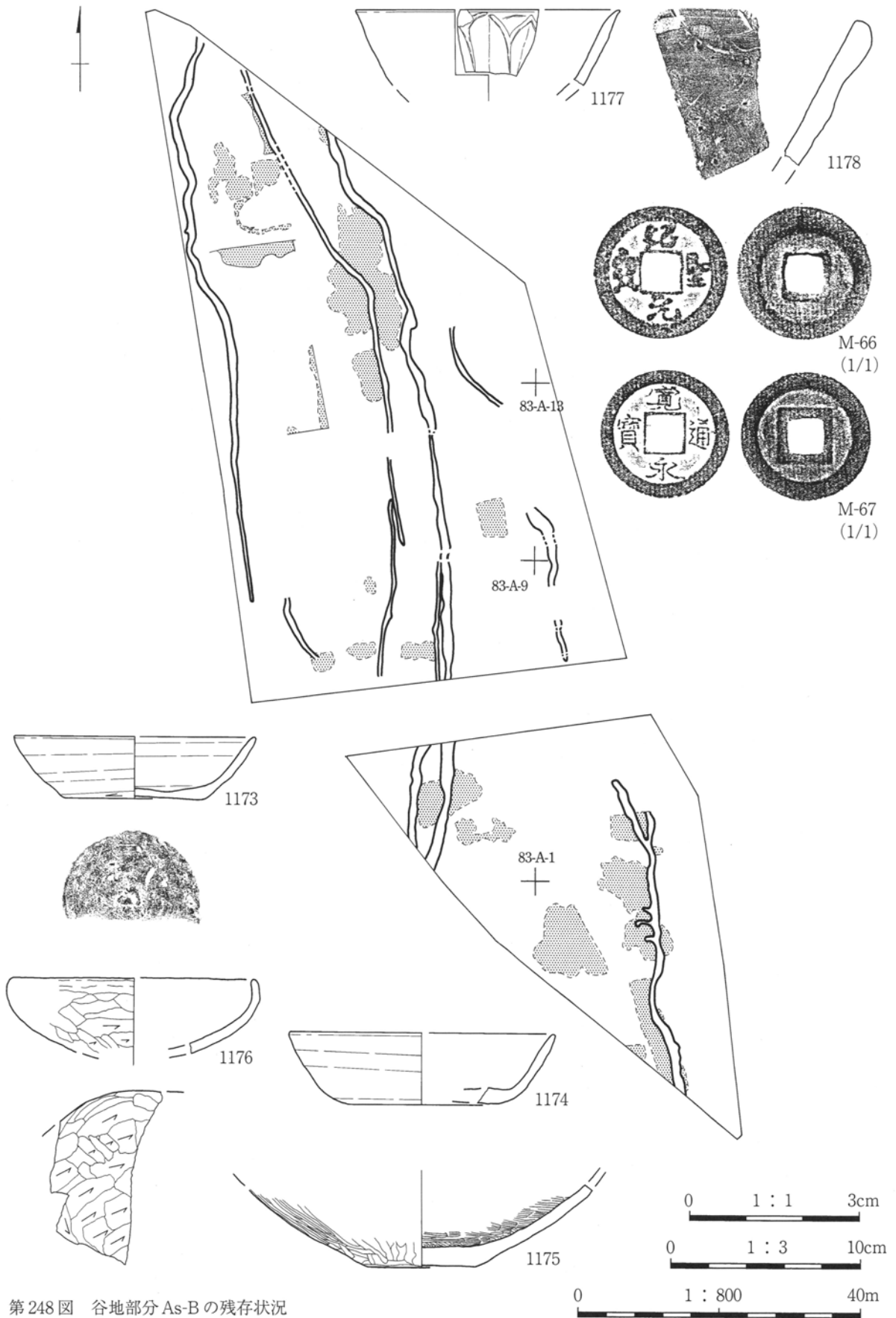
第246図 谷地部分平面図(北半)

Hr-FAは明確な堆積層としては捉えられず、軽石粒が比較的密な、降下層準に相当すると思われる層が識別できるのみである。このため軽石に被覆された面を追うことはできなかった。ただし、ここでもAs-B直下面を上回る量のイネ起源の植物珪酸体が検出されている。

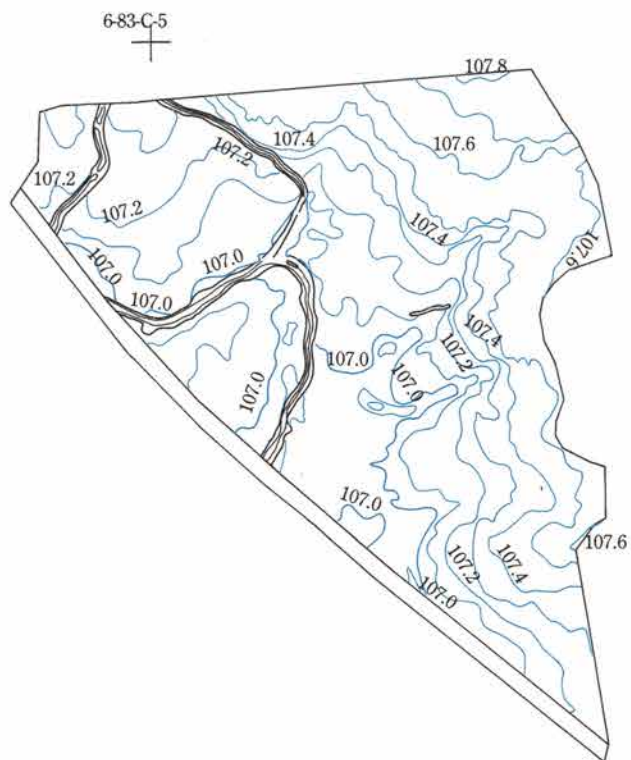
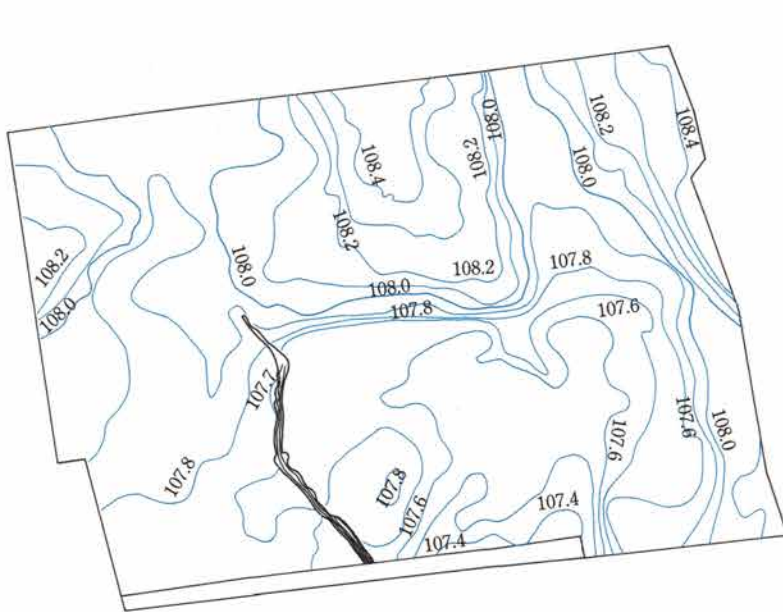
これ以下はHr-FA粒を含まず、As-Cのみを含む黒泥状の粘質土が堆積する。As-Cも明確な堆積層としては認められないが、軽石粒を特に多く含む堆積層が、特に南側調査区で顕著に認められた。この堆積層下には、溝に区画された、1辺12mほどの隅丸方形に近い不整形の領域が連続して2か所見つかっている。旧地表面として安定したものではないため、その性格を確定することはできないが、Hr-FA相当層よりもさらに多量のイネ起源の植物珪酸体がこの層準から検出されていることを考えると、水田の一部分を捉えたものと考えられるかもしれない。



第247図 谷地部分（南半）



第248図 谷地部分As-Bの残存状況



第249図 谷地部分 As-C下の遺構



第250図 谷地部分土層断面Aライン1

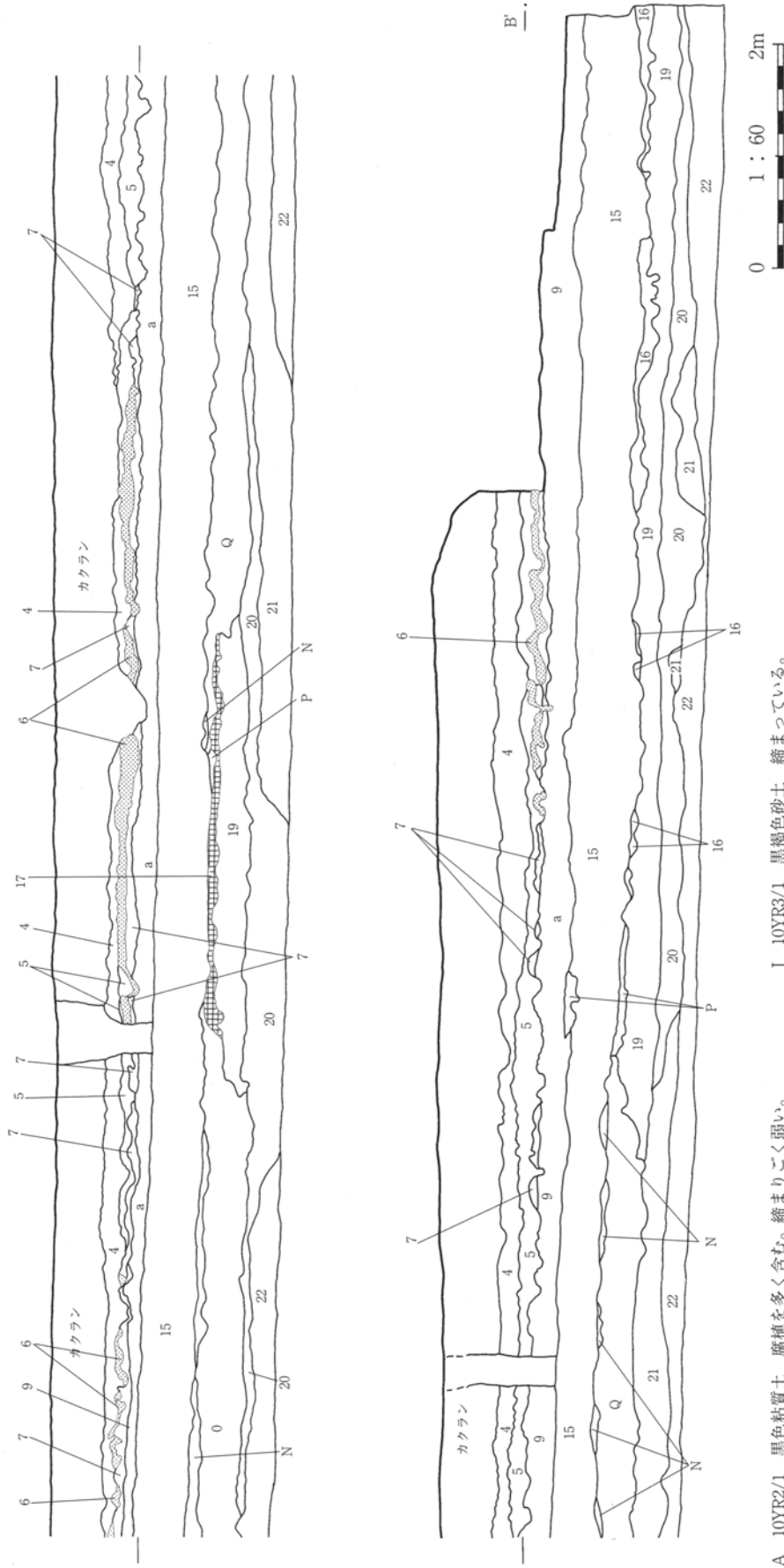


- 0 表土。は場整備時の客土。
- 1 10YR1.7/1 黒色粘質土 7.5YR2/2 黒褐色シルト質土を含む。
- 2 10YR1.7/1 黒色粘質土 灰白色軽石粒を含む。締まっている。
- 3 10YR2/1 黒色粘質土 灰白色軽石粒を含む。締まっている。
- 4 10YR2/1 黒色粘質土 3層よりやや明るい。灰白色軽石粒を含む。締まっている。
- 5 7.5YR3/1 黒褐色シルト質土 明褐色軽石粒を含む。
- 6 As-B堆積層
- 7 7.5YR4/1 褐灰色シルト質土 明褐色軽石粒を含む。
- 8 10YR8/2 灰白色砂質土
- 9 7.5YR3/1 黒褐色シルト質土 固く締まっている。
- 10 7.5YR4/1 褐灰色砂 径2cm前後の7.5YR3/1 黒褐色粘土ブロックを含む。
- 11 5YR4/1 褐灰色粘質土
- 12 7.5YR7/6 橙色砂
- 13 7.5YR5/2 灰褐色粘質土 7.5YR3/2 黒褐色粘質土が斑状に混入。締まり弱い。
- 14 10YR8/4 浅黄橙色砂
- 15 2.5YR1.7/1 暗赤灰色粘質土 未分解の腐植を含む。
- 16 2.5YR1.7/1 暗赤灰色粘質土 上層に未分解の腐植を含む。明褐色軽石粒を含む。締まり弱い。
- 17 10YR2/2 黒褐色粘質土 As-Cを多く含む。またはAs-Cを主体とする。
- 18 10YR6/3 ぶい黄橙色シルト質土 締まり弱い。
- 19 10YR1.7/1 黒色粘質土
- 20 10YR2/1 黒色シルト質土 固く締まっている。
- 21 10YR3/2 黒褐色土
- 22 10YR8/2 灰白色シルト質土 部分的に鉄分に汚染され10YR6/3にぶい黄橙色に近い色調となる。
※トーンは6層 (As-Bの一次堆積層) 上位に暗紫色火山灰層を伴う部分がある。
- a 10YR3/1 黒褐色粘質土 締まり弱い。
- b 10YR2/1 黒色粘質土 締まり弱い。
- c 10YR4/1 灰褐色砂質土 粒子細かく、固く締まっている。
- d 10YR3/1 黒褐色砂質土 As-Bを含む。
- e 6層に黒褐色の細砂が混入する。
- f 4・5・6層のランダムな混土。攪乱。
- g 6層にAs-Bのパミス、アッシュがブロック化して混入する。
- h 10YR3/1 黒褐色砂質土 鉄分が凝集する。もろい。
- i 10YR1.7/1 黒色土 砂粒を多く含む。堅く締まっている。
- j 10YR2/1 黒色粘質土 締まっている。

第251図 谷地部分土層断面Aライン2

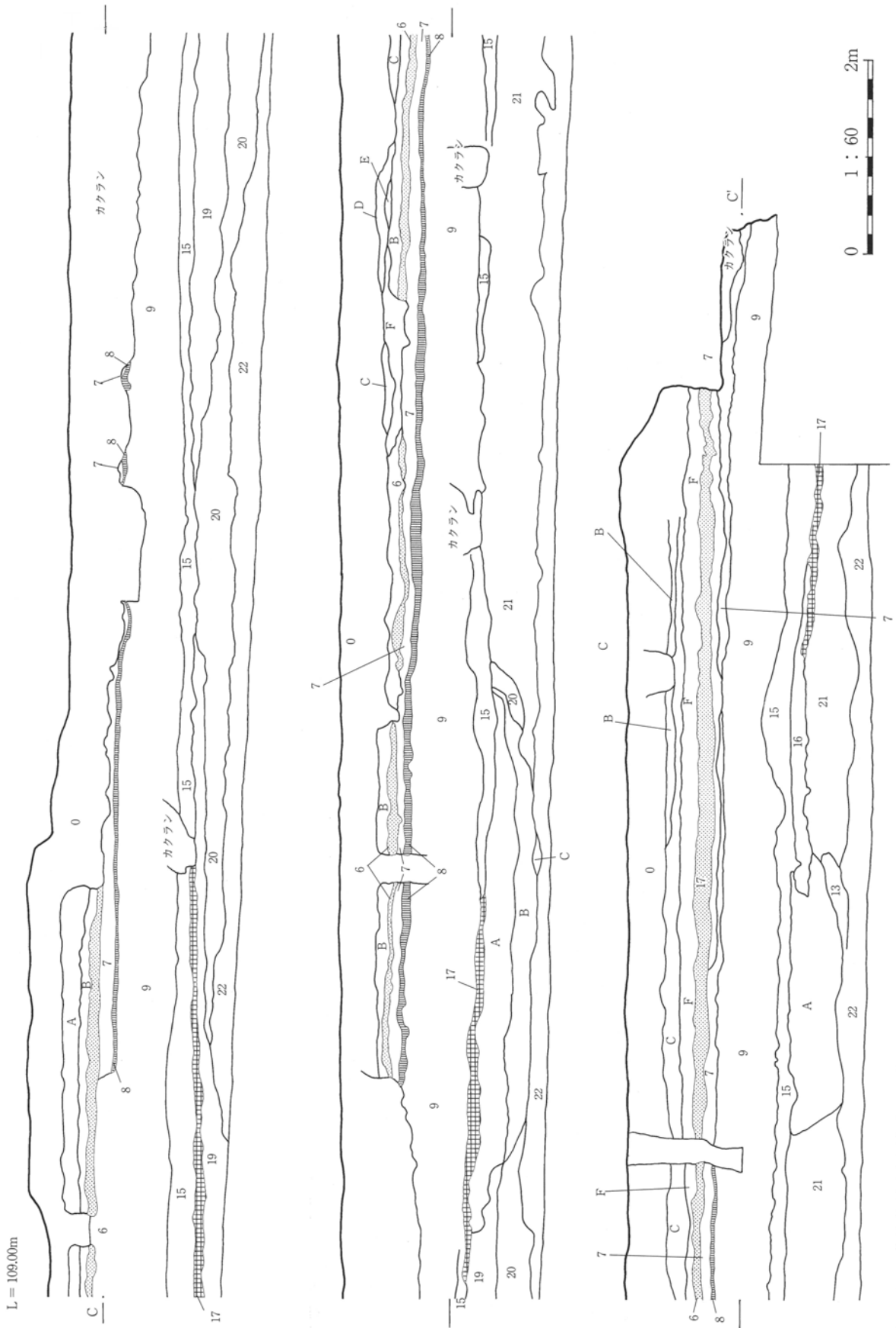


第252図 谷地部分土層断面Bライン1

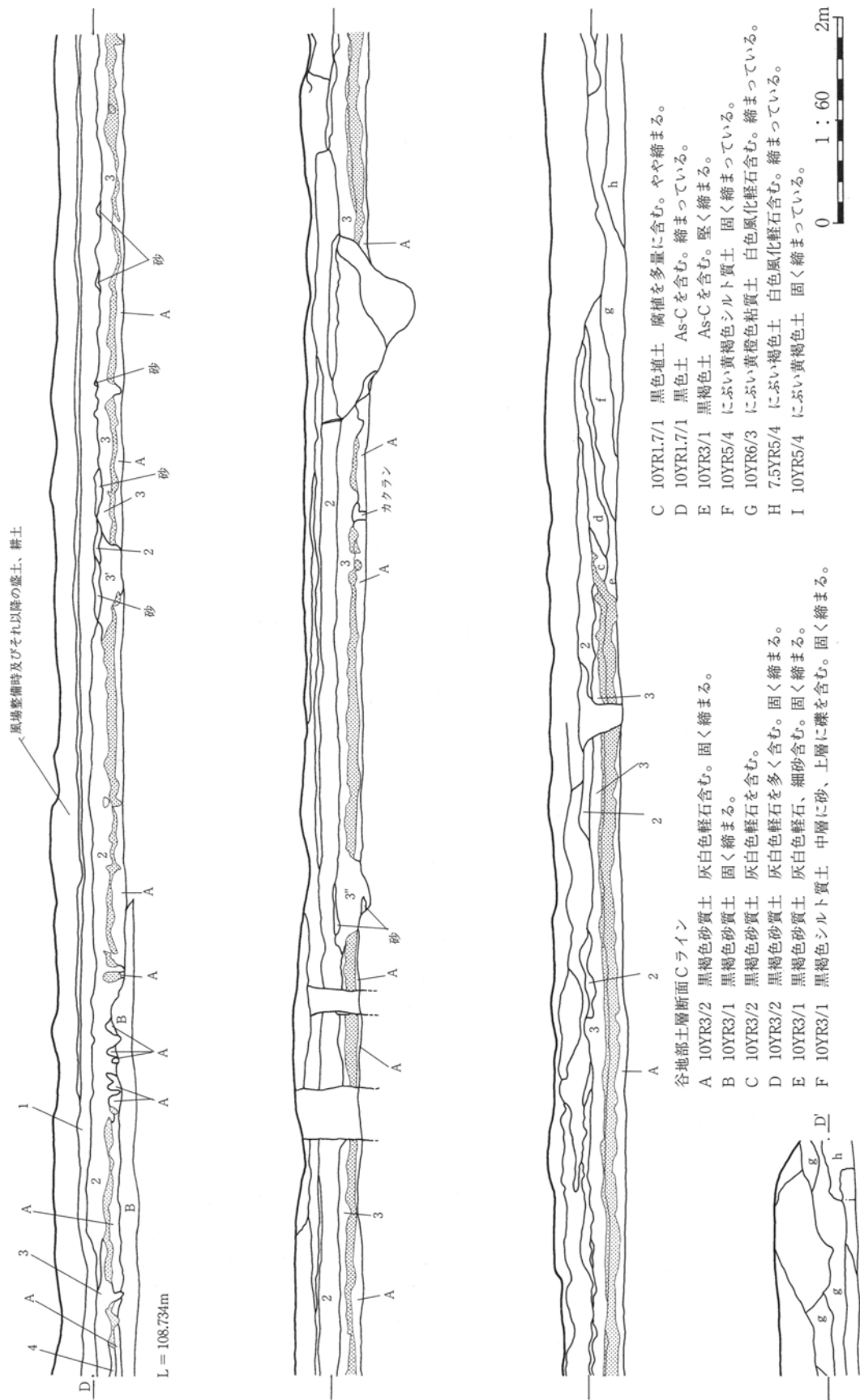


- A 10YR2/1 黒色粘質土 腐植を多く含む。締まりごく弱い。
- B 10YR2/1 黒色粘質土 未分解の腐植を多く含む。締まり弱い。
- C 10YR1.7/1 黒色粘質土 締まり弱い。
- D 10YR2/1 黒色砂質土 締まり弱い。
- E 10YR2/1 黒色粘質土ブロックを含む。締まり弱い。
- F 10YR2/1 黒色砂質土 灰白色砂を含む。締まり弱い。
- G 10YR3/1 黒褐色砂土 締まっている。
- H 10YR2/1 黒色粘質土 腐植、細砂を含む。締まり弱い。
- I 10YR2/1 黒色粘質土 腐植を含む。締まっている。
- J 10YR3/1 黒褐色砂土 締まっている。
- K 10YR3/1 黒褐色シルト質土 腐植、灰白色砂を含む。締まっている。
- L 10YR4/1 灰褐色砂土と10YR3/1黒褐色粘質土の互層。
- M 10YR2/1 黒色砂質土 10YR1.7/1黒褐色粘質土が混ざる。
- O 10YR4/1 灰褐色砂土 10YR3/1黒褐色粘質土が混ざる。締まり弱い。
- P 10YR3/1 黒褐色砂土 腐植を含む。10YR1.7/1黒色粘質土が混ざる。締まり弱い。
- Q 10YR2/1 黒色砂質土 腐植を含む。締まり弱い。

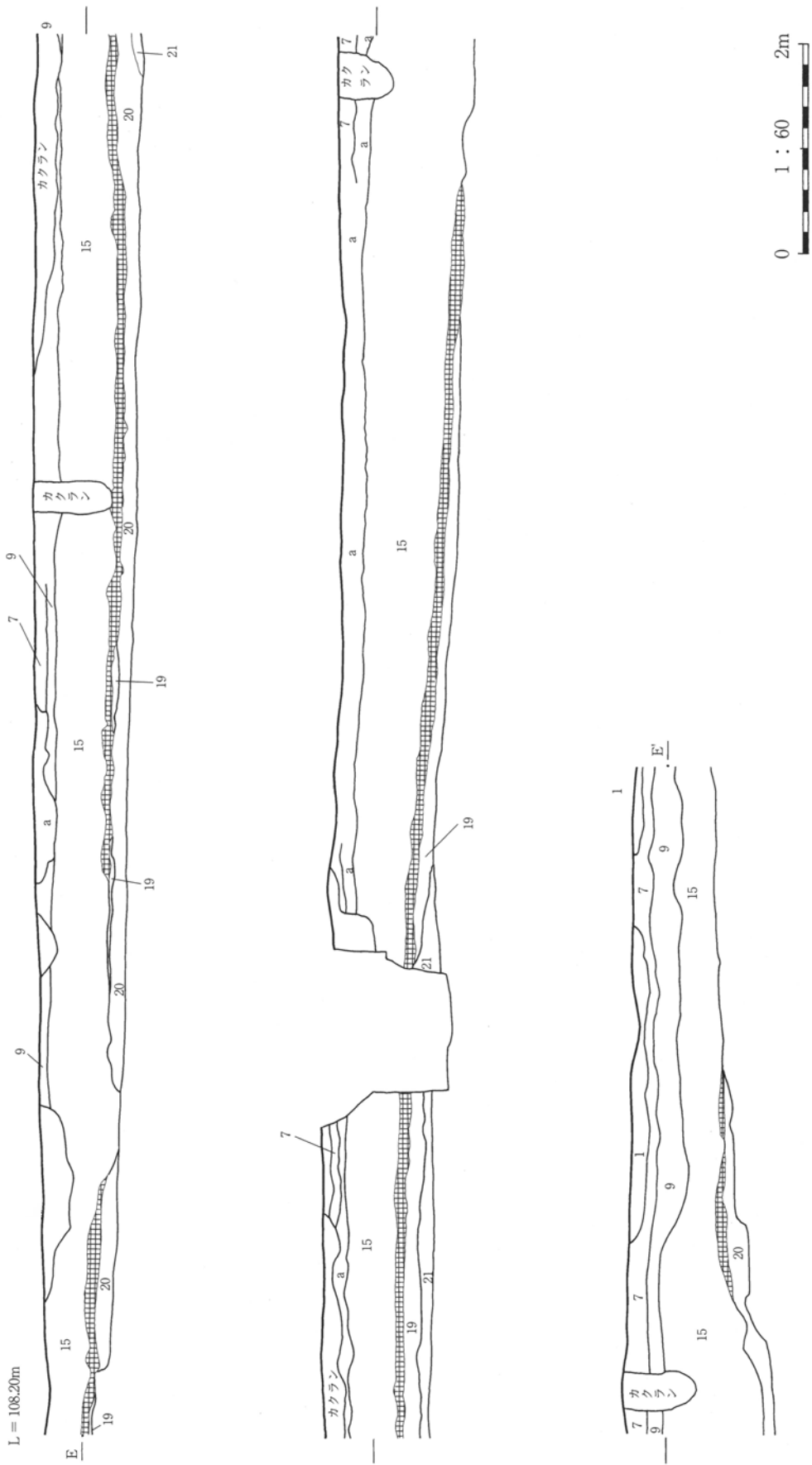
第253図 谷地部分土層断面Bライン2



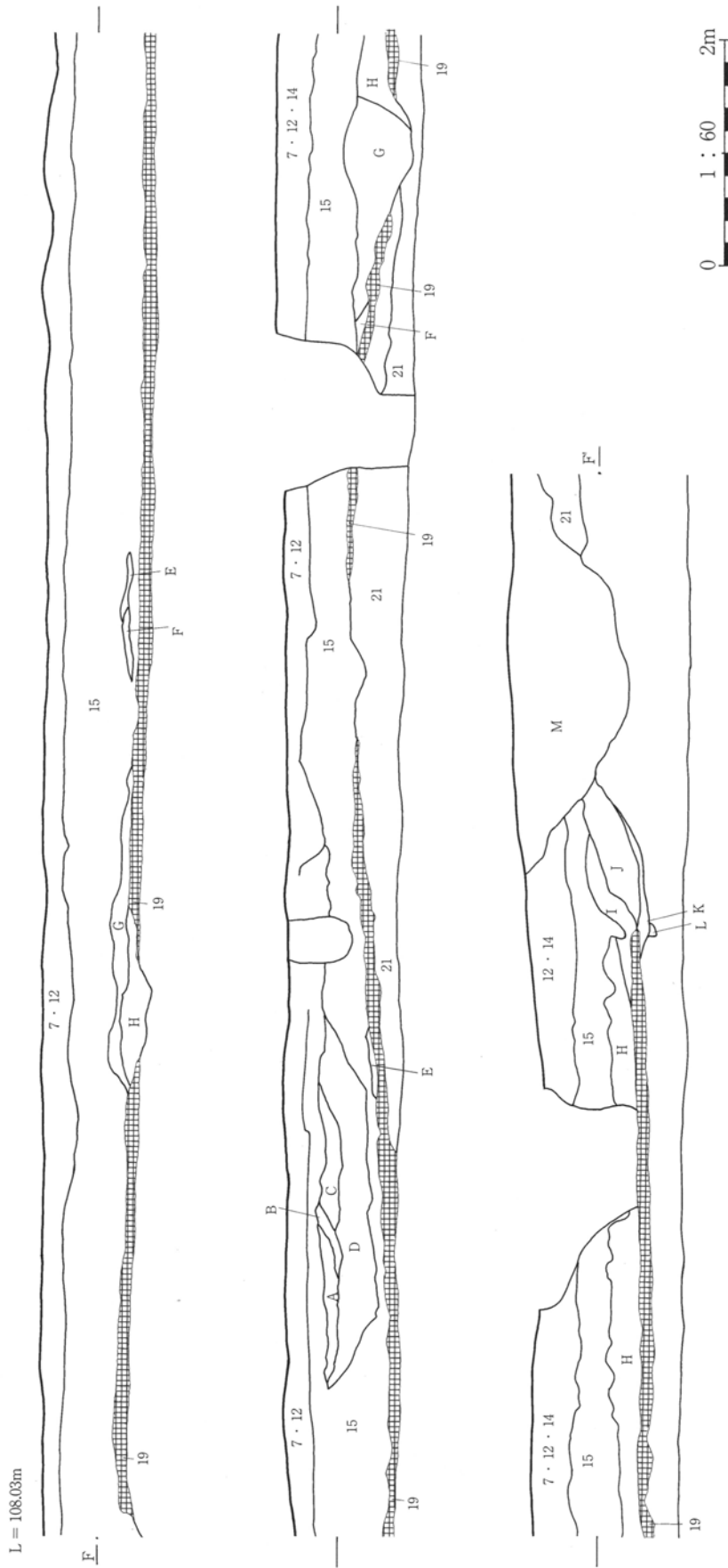
第254図 谷地部分土層断面Cライン



第255図 谷地部分土層断面Dライン



第256図 谷地部分土層断面Eライン



- 谷部土層断面Fライン
- A 10YR2/1 黑色粘質土 腐植を多く含む。締まり弱い。
 - B 10YR2/1 黑色粘質土 腐植を多く含む。
 - C 10YR2/1 黑色シルト質土 腐植をわずかに含む。灰白色軽石を含む。
 - D 10YR2/1 黑色シルト質土 灰白色軽石を多く含む。
 - E 10YR2/1 黑色砂質土 腐植を含む。締まり弱い。
 - F 10YR1.7/1 黑色粘質土 締まり弱い。
 - G 10YR2/1 黑色砂土と10YR3/1黒褐色砂土の混土。下層に礫を含む。
 - H 10YR2/1 黑色シルト質土 腐植を多く含む。締まり弱い。
 - I 10YR2/1 黑色粘質土 締まり弱い。
 - J 10YR2/1 黑色粘質土 非常に締まり弱い。
 - K 10YR3/1 黒褐色砂土 細砂、礫を含む。
 - L 10YR2/1 黑色粘質土 締まり弱い。

第257図 谷地部分土層断面Fライン

第7章 自然科学分析報告

1 萱野Ⅱ遺跡の土層とテフラ

株式会社 古環境研究所

1. はじめに

前橋市域とその周辺に分布する後期更新世以降に形成された地層の中には、赤城、榛名、浅間など北関東地方とその周辺の火山、中部地方や中国地方さらには九州地方などの火山に由来するテフラ（火山碎屑物、いわゆる火山灰）が多く認められる。テフラの中には、噴出年代が明らかにされている示標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡で求めることで、遺構の構築年代や遺物包含層の堆積年代を知ることができるようになっている。

そこで、年代が不明な土層や遺構が検出された萱野Ⅱ遺跡においても、地質調査を行い土層層序を記載するとともに、テフラ検出分析と屈折率測定を行って示標テフラの層位を把握し、土層の年代に関する資料を収集することになった。調査分析の対象となった地点は、第4地点、第5地点、第6地点、第7地点、第8地点、第8地点（東）、第9地点の7地点である。

2. 土層層序

(1) 第4地点

第4地点では、下位より暗灰褐色泥層（層厚14cm）、黄灰色細粒軽石層（層厚6cm、軽石の最大径6mm）、黒灰褐色泥炭層（層厚15cm）、白色軽石混じり暗灰褐色泥層（層厚21cm、軽石の最大径8mm）、白色軽石混じり暗灰褐色泥層（層厚20cm、軽石の最大径4mm）、細かく成層した暗褐色泥炭層（層厚16cm）が認められる。

(2) 第5地点

第5地点では、下位より灰色砂質泥層（層厚5cm以上）、暗灰褐色泥層（層厚20cm）、黄灰色細粒軽石層（層厚8cm、軽石の最大径6mm）、暗灰色泥層（層厚6cm）、成層したテフラ層（層厚5.5cm）、白色軽石混じり黒泥層（層厚22cm、軽石の最大径6mm）、黄灰色粗粒火山灰および白色軽石（最大径3mm）、細かく成層した暗褐色泥炭層（層厚5cm）が認められる。これらのうち、成層したテフラ層は、下位より灰褐色細粒火山灰層（層厚0.5cm）、白色軽石層（層厚2cm、軽石の最大径5mm）、成層した灰色砂質細粒火山灰層（層厚3cm）からなる。この成層したテフラ層は、浅い溝状遺構を埋めて堆積しているらしい。

(3) 第6地点

第6地点では、下位より黒灰色泥層（層厚2cm）、灰色砂層（層厚1cm）、暗灰褐色泥層（層厚3cm）、灰色砂層（層厚1cm）、砂混じり暗灰褐色泥層（層厚8cm）、灰色砂層（層厚2cm）、黒褐色泥炭層（層厚12cm）、白色軽石混じり灰白色砂層（層厚11cm、軽石の最大径19mm）、砂混じり暗灰褐色土（層厚11cm）、白色軽石混じり黒灰色泥層（層厚22cm、軽石の最大径9mm）、暗灰褐色泥層（最大径22mm）が認められる。

1 萱野Ⅱ遺跡の土層とテフラ

(4) 第7地点

第7地点では、下位より黄白色軽石混じり青灰色砂層（層厚20cm以上、軽石の最大径17mm）、黄白色軽石混じり暗灰褐色泥層（層厚8cm、軽石の最大径18mm）、黒灰色泥層（層厚7cm）、灰白色細粒軽石層（層厚7cm、軽石の最大径5mm、石質岩片の最大径2mm）、砂混じり灰色土（層厚15cm）、灰褐色泥層（層厚17cm）が認められる。

(5) 第8地点

第8地点では、下位より暗灰褐色泥層（層厚31cm以上）、黄灰色細粒軽石層（層厚5cm、軽石の最大径4mm、石質岩片の最大径2mm）、黒灰褐色泥炭層（層厚4cm）、成層したテフラ層（層厚5.5cm）、暗灰色泥層（層厚2cm）、灰色砂層（層厚2cm）、黒泥層（層厚2cm以上）が認められる。これらのうち、成層したテフラ層は、下部の褐色細粒火山灰層（層厚0.5cm）と上部の軽石混じり黄白色粗粒火山灰層（層厚5cm、軽石の最大径5mm、石質岩片の最大径2mm）からなる。

(6) 第8地点東

第8地点東では、下位より亜円礫混じり灰色砂層（層厚10cm以上、礫の最大径108mm）、灰色砂層（層厚11cm）、灰褐色砂質泥層（層厚8cm）、暗灰色泥層（層厚31cm）、黄灰色細粒軽石層（層厚6cm、軽石の最大径4mm、石質岩片の最大径2mm）、灰褐色砂質泥層（層厚3cm）、灰色砂層（層厚2cm）、白色軽石混じり暗灰褐色泥層（層厚6cm、軽石の最大径5mm）、白色軽石混じり暗灰褐色泥層（層厚13cm、軽石の最大径18mm）、暗灰褐色泥層（層厚25cm）、成層した暗褐色泥炭層（層厚21cm）が認められる。

(7) 第9地点

第9地点では、下位より灰褐色砂質泥層（層厚15cm以上）、暗灰色泥層（層厚11cm）、暗灰褐色泥炭層（層厚23cm）、黄灰色細粒軽石層（層厚4cm、軽石の最大径5mm、石質岩片の最大径2mm）、砂混じり暗灰褐色泥層（層厚3cm）、黄灰色砂層（層厚2cm）、暗灰褐色泥層（層厚5cm）、成層したテフラ層（層厚3.4cm）、白色軽石混じり暗灰褐色泥層（層厚13cm、軽石の最大径13mm）、暗灰褐色泥層（層厚30cm）、成層した暗褐色泥炭層（層厚23cm）が認められる。これらのうち成層したテフラ層は、下部の褐色細粒火山灰層（層厚0.4cm）と、上部の白色軽石混じり灰白色粗粒火山灰層（層厚3cm）からなる。

3. テフラ検出分析

(1) 分析試料と分析方法

テフラの特徴とその降灰層準を把握するために、上述7地点において採取された試料のうち、39点を対象にテフラ検出分析を行った。分析の手順は、次の通りである。

- 1) 試料10gを秤量。
- 2) 超音波洗浄により泥分を除去。
- 3) 80°Cで恒温乾燥。
- 4) 実体顕微鏡下で観察し、テフラ粒子の量や特徴を把握。

(2) 分析結果

テフラ検出分析の結果を表1に示す。テフラ検出分析では、灰白色軽石と白色軽石の2種類の軽石が検出された。前者はスポンジ状によく発泡しており、班晶に斜方輝石や単斜輝石が認められる。後者は、さほど発泡が良くなく、班晶に角閃石や斜方輝石が認められる。

第4地点では、いずれの試料にも灰白色軽石（最大径6.7mm）が含まれている。とくに試料12に多く含まれており、試料12のテフラ層がこの軽石で特徴づけられるテフラと考えられる。また試料11より上位の試料で、白色軽石（最大径4.3mm）が認められる。とくに試料6にこの軽石が多く含まれており、この軽石で特徴づけられるテフラの降灰層準のある可能性が指摘される。

第5地点では、試料15をのぞく試料17より上位のいずれの試料からも灰白色軽石（最大径6.2mm）が検出される。とくに試料17に多く含まれており、試料17のテフラ層がこの軽石で特徴づけられるテフラと考えられる。また試料15以上の試料で、白色軽石（最大径11.1mm）が認められる。とくに試料15のテフラ層にこの軽石が多く含まれていることから、試料15のテフラ層はこの軽石で特徴づけられると考えられる。

第6地点では、試料13をのぞくいずれの試料からも灰白色軽石（最大径8.1mm）が検出される。量は少ないながらも、最下位の試料21にも含まれていることから、この軽石の降灰層準はさらに下位にある可能性が考えられる。また試料11より上位の試料には、白色軽石（最大径19.6mm）が認められる。とくに試料11に多く含まれているものの、砂層であることや灰白色軽石が含まれていることなどから、二次的に堆積したものと考えられる。ただし、試料11より下位の試料からこの軽石は検出されないことから、この軽石で特徴づけられるテフラの降灰層準は試料11付近にあると考えられる。

第7地点の試料1や第8地点の試料2には、灰白色軽石がとくに多く含まれている。各々の試料に含まれる軽石の最大径は、6.2mmと9.8mmである。第8地点の試料1には、白色軽石（最大径10.2mm）がとくに多く含まれている。第8地点東の試料1には、白色軽石（最大径4.4mm）や灰白色軽石（最大径8.7mm）が含まれている。さらに第9地点では、試料3と試料2に灰白色軽石（最大径9mm）が多く含まれている。また試料1には、白色軽石（最大径8.8mm）が多く含まれている。

4. 考察

テフラ検出分析で検出された2種類の軽石のうち、スポンジ状によく発泡し、班晶に斜方輝石や単斜輝石をもつた灰白色軽石は、その岩相から4世紀中葉^{*1}に浅間火山から噴出した浅間C軽石（As-C，荒牧，1968，新井，1979）に由来すると考えられる。また班晶に斜方輝石や角閃石をもち、さほど発泡の良くない白色軽石については、6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA，新井，1979，坂口，1986，早田，1989，町田・新井，1992）と、6世紀中葉に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳伊香保テフラ（Hr-FP，新井，1962，坂口，1986，早田，1989，町田・新井，1992）に由来する可能性が考えられる。

したがって、本遺跡で2層準に認められるテフラ層のうち、下位の軽石層（第4地点試料12，第5地点試料17-18，第7地点試料1，第8地点試料2，第8地点東の軽石層，第9地点試料3）は、As-Cに同定される。また上位の成層したテフラ層（第5地点試料15，第8地点試料1，第9地点試料1）は、その層相を合わせて考慮すると、Hr-FAに同定される。さらに第4地点の試料7付近および、第6地点の試料11付近、第8地点東の試料1付近に降灰層準があるテフラについては、Hr-FAの可能性が高いと思われる。

以上のことから、第5地点の溝状遺構については、Hr-FA降灰以前と考えられる。またAs-CとHr-FAの間の複数の層準に、洪水起源の砂層が堆積していたこともわかる。

5. 小結

萱野Ⅱ遺跡において、地質調査、テフラ検出分析さらに屈折率測定を行った。その結果、下位より浅間C軽石（As-C, 4世紀中葉*1）と榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA, 6世紀初頭）を検出することができた。またAs-CとHr-FAの間の複数の層準に、洪水起源の砂層の堆積が認められた。

*1 現在では4世紀を遡るとする説が有力になっているようである（たとえば、若狭, 2000）。しかし、具体的な年代観が示された研究報告例はまだない。現段階においては「3世紀後半」あるいは「3世紀終末」と考えておくのが妥当なのかも知れないが、土器をもとにした考古学的な年代観の変更については、考古学研究者による明確な記載を待ちたい。

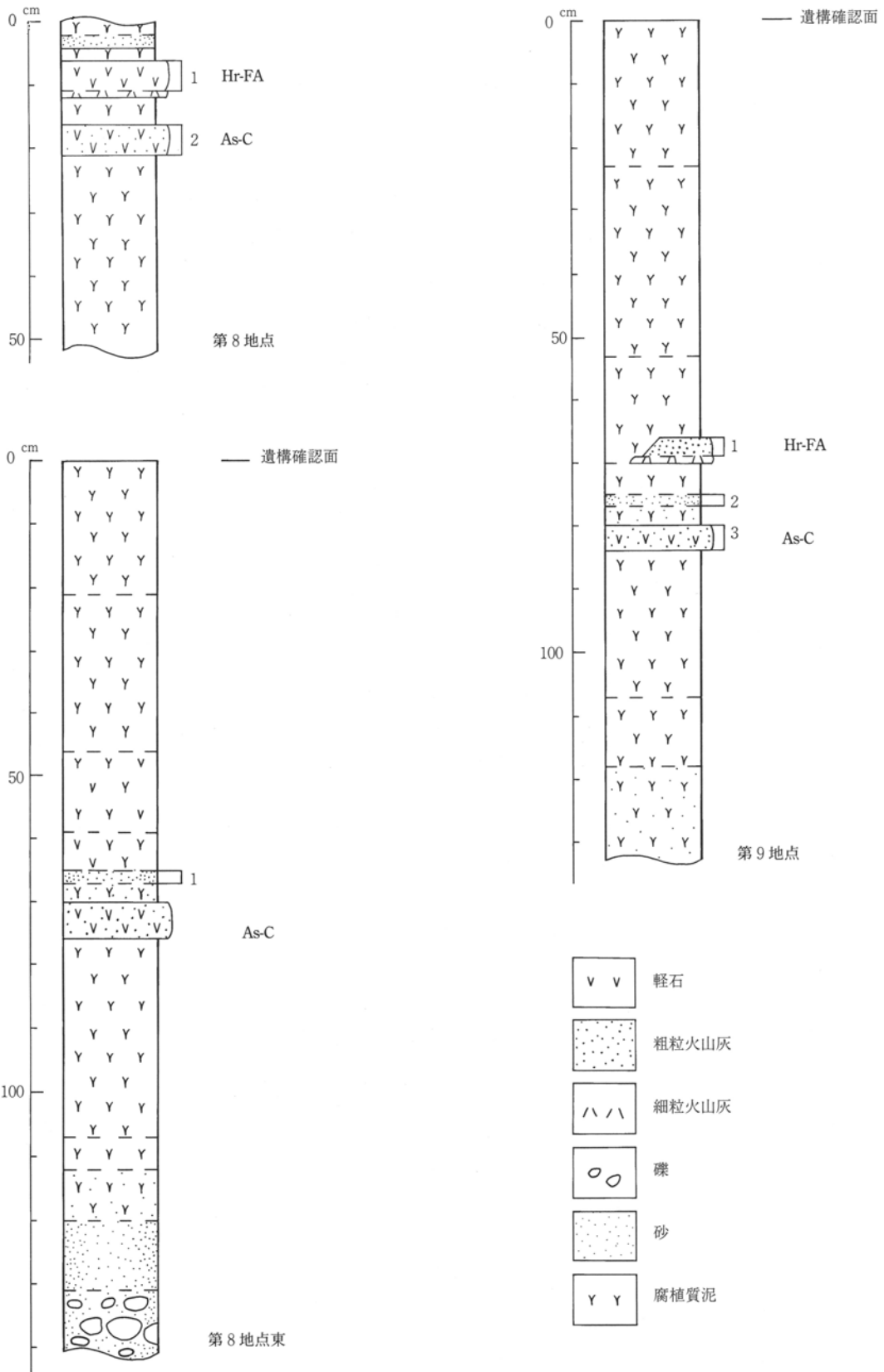
文献

- 新井房夫（1962）関東盆地北西部地域の第四紀編年．群馬大学紀要自然科学編，10、p.1-79.
- 新井房夫（1979）関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層．考古学ジャーナル，no.53、p.41-52.
- 町田 洋・新井房夫（1992）火山灰アトラス．東京大学出版会，276p.
- 坂口 一（1986）榛名二ツ岳起源FA・FP層下の土師器と須恵器．群馬県教育委員会編「荒砥北原遺跡・今井神社古墳群・荒砥青柳遺跡」，p.103-119.
- 早田 勉（1989）6世紀における榛名火山の2回の噴火とその災害．第四紀研究，27，p.297-312.
- 若狭 徹（2000）群馬の弥生土器が終わるとき．かみつけの里博物館編「人が動く・土器も動くー古墳が成立する頃の土器の交流」，p.41-43.

表1 テフラ検出分析結果

地点	試料	軽石の量	軽石の色調	軽石の最大径
55区第4地点	1	++	灰白>白	3.5,2.6
	3	++	灰白>白	5.8,3.5
	5	++	灰白>白	4.6,4.3
	7	++	白, 灰白	3.1,3.1
	9	++	灰白>白	6.7,2.2
	11	++	灰白>白	5.1,2.8
	12	++++	灰白	6.3
	13	+	灰白	2.9
	15	(+)	灰白	1.5
55区第5地点	1	++	灰白>白	4.0,3.4
	3	++	灰白>白	3.1,3.0
	5	++	灰白>白	5.1,5.3
	7	++	灰白>白	5.0,5.2
	9	++	灰白>白	5.1,2.8
	11	++	灰白>白	3.4,5.9
	13	++	白, 灰白	6.1,3.1
	15	+++	白	11.1
	17	+++	灰白	6.2
	19	-	-	-
	21	-	-	-
	23	-	-	-
	55区第6地点	1	++	灰白>白
3		++	灰白>白	3.8,4.1
5		++	灰白>白	3.5,3.4
7		++	灰白>白	5.5,3.0
9		++	灰白>白	5.3,4.1
11		+++	白>灰白	19.6,3.8
13		-	-	-
15		+++	灰白	8.1
17		+++	灰白	5.9
19		+++	灰白	5.1
21		+	灰白	5.3
55区第7地点	1	++++	灰白	6.2
56区第8地点	1	++++	白	10.2
	2	++++	灰白	9.8
56区第8地点(東)	1	++	白, 灰白	4.4,8.7
56区第9地点	1	+++	白	8.8
	2	+++	灰白	3.7
	3	+++	灰白	9.0

++++ : とくに多い, +++ : 多い, ++ : 中程度, + : 少ない, - : 認められない. () はとくに少ないことを示す. 最大径の単位は, mm.



第259図 萱野Ⅱ遺跡の土層柱状図2

2 萱野Ⅱ遺跡におけるプラント・オパール分析

株式会社 古環境研究所

1. はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸（ SiO_2 ）が蓄積したものであり、植物が枯れたあとも微化石（プラント・オパール）となって土壤中に半永久的に残っている。プラント・オパール分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査が可能である（杉山，2000）。

2. 試料

試料は、第4地点、第5地点、第6地点、第7地点、第8地点、第8地点（東）、第9地点の7地点から採取された計23点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

3. 分析法

プラント・オパールの抽出と定量は、プラント・オパール定量分析法（藤原，1976）をもとに、次の手順で行った。

- 1) 試料を105℃で24時間乾燥（絶乾）
- 2) 試料約1gに対し直径約40 μm のガラスビーズを約0.02g添加（電子分析天秤により0.1mgの精度で秤量）
- 3) 電気炉灰化法（550℃・6時間）による脱有機物処理
- 4) 超音波水中照射（300W・42KHz・10分間）による分散
- 5) 沈底法による20 μm 以下の微粒子除去
- 6) 封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
- 7) 検鏡・計数

同定は、イネ科植物の機動細胞に由来するプラント・オパールをおもな対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中のプラント・オパール個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位：10-5g）をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。イネ（赤米）の換算係数は2.94（種実重は1.03）、ヒエ属（ヒエ）は8.40、ヨシ属（ヨシ）は6.31、ススキ属（ススキ）は1.24、タケ亜科（ネザサ節）は0.48である。

4. 分析結果

水田跡（稲作跡）の検討が主目的であることから、同定および定量はイネ、ヒエ属型、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科の主要な5分類群に限定した。これらの分類群について定量を行い、その結果を表および図に示した。写真図版に主要な分類群の顕微鏡写真を示す。

5. 考察

(1) 水田跡の検討

水田跡（稲作跡）の検証や探査を行う場合、一般にイネのプラント・オパールが試料1gあたり5,000個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している（杉山, 2000）。ただし、密度が3,000個/g程度でも水田遺構が検出される事例があることから、ここでは判断の基準を3,000個/gとして検討を行った。

1) 第4地点

As-Bの下層（試料1）からAs-Cの下層（試料4）までの層準について分析を行った。その結果、As-Bの下層（試料1）、Hr-FA混層（試料2）、Hr-FAの下層（試料3）からイネが検出された。このうち、As-Bの下層（試料1）では、密度が4,800個/gと比較的高い値である。したがって、同層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。その他の層では、密度が700～1,400個/gと比較的低い値である。イネの密度が低い原因としては、稲作が行われていた期間が短かったこと、土層の堆積速度が速かったこと、洪水などによって耕作土が流出したこと、採取地点が畦畔など耕作面以外であったこと、および上層や他所からの混入などが考えられる。

2) 第5地点

As-Bの下層（試料1）からAs-C直下層（試料5）までの層準について分析を行った。その結果、As-Bの下層（試料1）とHr-FAの上層（試料3）からイネが検出された。このうち、前者では密度が700個/gと低い値であり、後者でも2,800個/gと比較的低い値である。イネの密度が低い原因としては、前述のようなことが考えられる。

3) 第6地点

試料1から試料7までの層準について分析を行った。その結果、試料1～試料3および試料6からイネが検出された。このうち、試料1では密度が2,900個/gと比較的低い値であり、その他の試料でも700～1,200個/gと低い値である。イネの密度が低い原因としては、前述のようなことが考えられる。

4) 第7地点

As-C直下層（試料1）について分析を行った。その結果、イネは検出されなかった。

5) 第8地点

Hr-FA直下層（試料1）とAs-C直下層（試料2）について分析を行った。その結果、イネは検出されなかった。

6) 第8地点東

As-C直上層（試料1）について分析を行った。その結果、イネが検出された。密度は1,800個/gと比較的低い値である。イネの密度が低い原因としては、前述のようなことが考えられる。

2 萱野Ⅱ遺跡におけるプラント・オパール分析

7) 第9地点

Hr-FA直下層(試料1)、As-C直上層(試料2)、As-C直下層(試料3)について分析を行った。その結果、Hr-FA直下層(試料1)からイネが検出された。密度は700個/gと低い値である。イネの密度が低い原因としては、前述のようなことが考えられる。

(2) 堆積環境の推定

ヨシ属は湿地的なところに生育し、ススキ属やタケ亜科は比較的乾いたところに生育している。このことから、これらの植物の出現状況を検討することによって、堆積当時の環境(乾燥・湿潤)を推定することができる。イネ以外の分類群では、全体的にタケ亜科(おもにネザサ節)が多く検出され、ススキ属も比較的多く検出された。また、下位層準を中心にヨシ属も比較的多く検出された。おもな分類群の推定生産量によると、おおむねタケ亜科が優勢であり、下位層準を中心にヨシ属も多くなっていることが分かる。

以上のことから、稲作が開始される以前の遺跡周辺は、ヨシ属などが生育する湿地的な環境であったと考えられ、そこを利用してAs-Cより上層の時期に水田稲作が開始されたと推定される。また、遺跡の周囲にはネザサ節などのタケ亜科が多く分布していたと考えられ、ススキ属やチガヤ属なども見られたと推定される。なお、稲作の開始以降もヨシ属、タケ亜科、ススキ属などのイネ科植物が多く見られることから、周辺に生育していたこれらの植物が、施肥などの目的で水田内に投入されていた可能性も考えられる。

6. まとめ

プラント・オパール分析の結果、第4地点の浅間Bテフラ(As-B, 1108年)の下層では、イネが多量に検出され、稲作が行われていた可能性が高いと判断された。また、榛名二ツ岳洪川テフラ(Hr-FA, 6世紀初頭)の上下層や浅間C軽石(As-C, 4世紀中葉)の上層などでも、部分的に少量のイネが検出され、稲作が行われていた可能性が認められた。

本遺跡周辺は、稲作が開始される以前はヨシ属などが生育する湿地的な環境であったと考えられ、As-Cより上層の時期にそこを利用して水田稲作が開始されたと推定される。また、遺跡の周囲にはネザサ節などのタケ亜科が多く分布していたと考えられ、ススキ属やチガヤ属なども見られたと推定される。

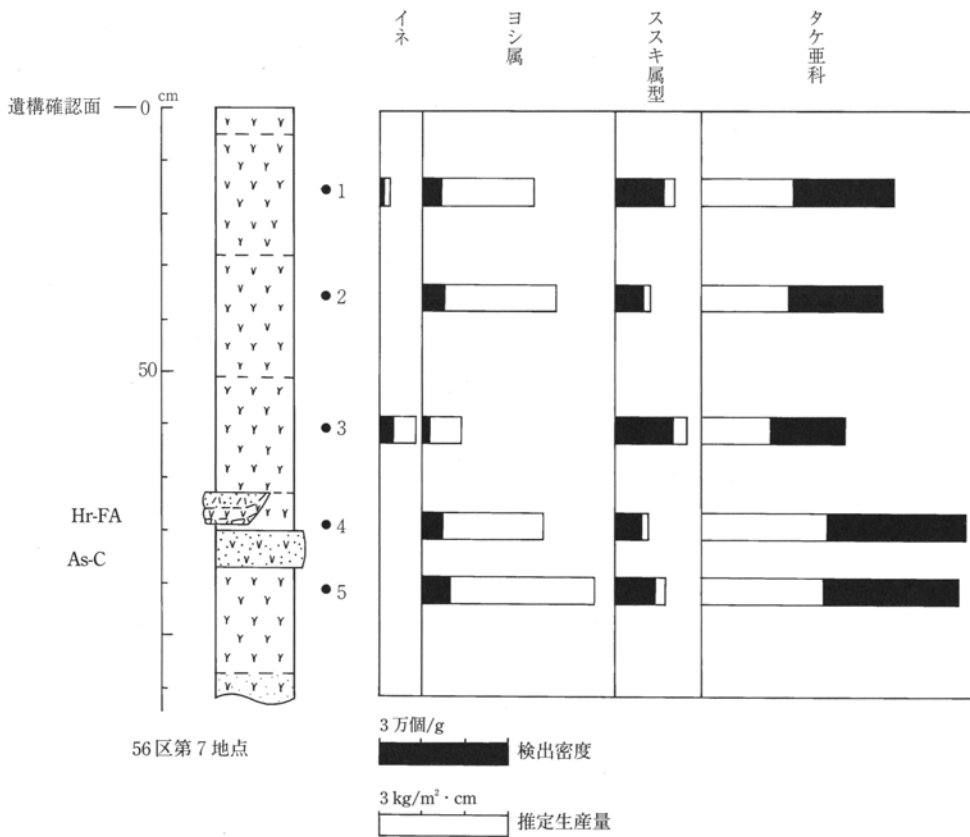
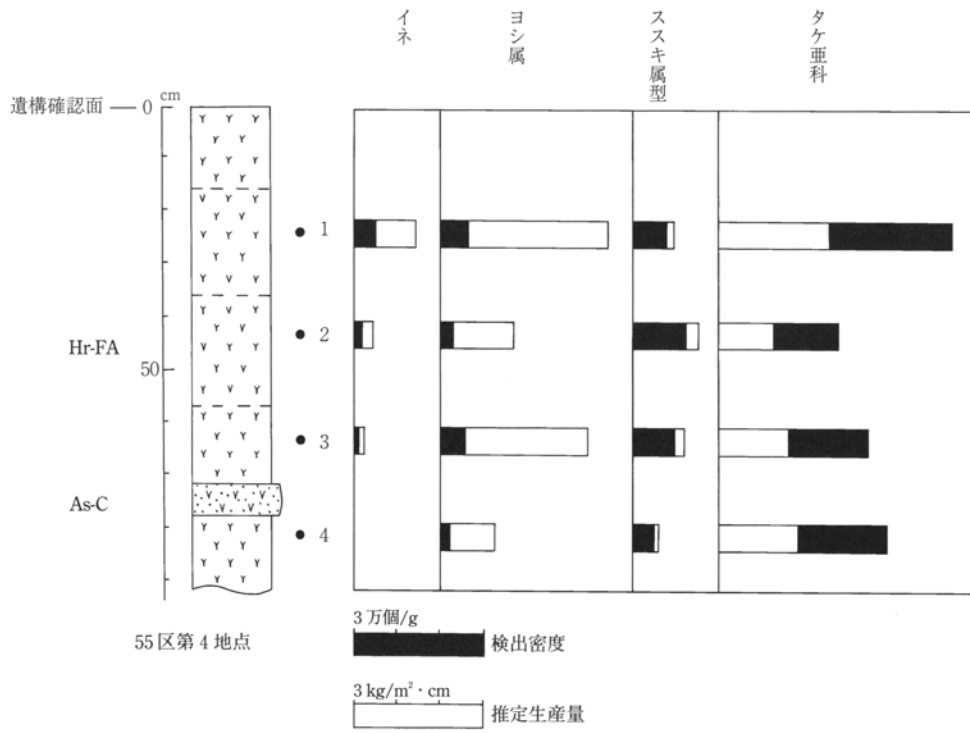
文献

杉山真二(2000)植物珪酸体(プラント・オパール). 考古学と植物学. 同成社, p.189-213.

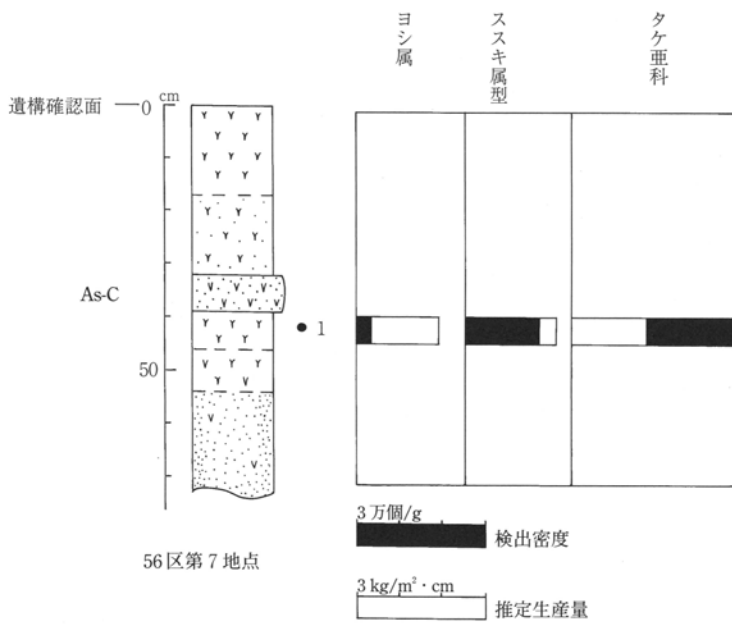
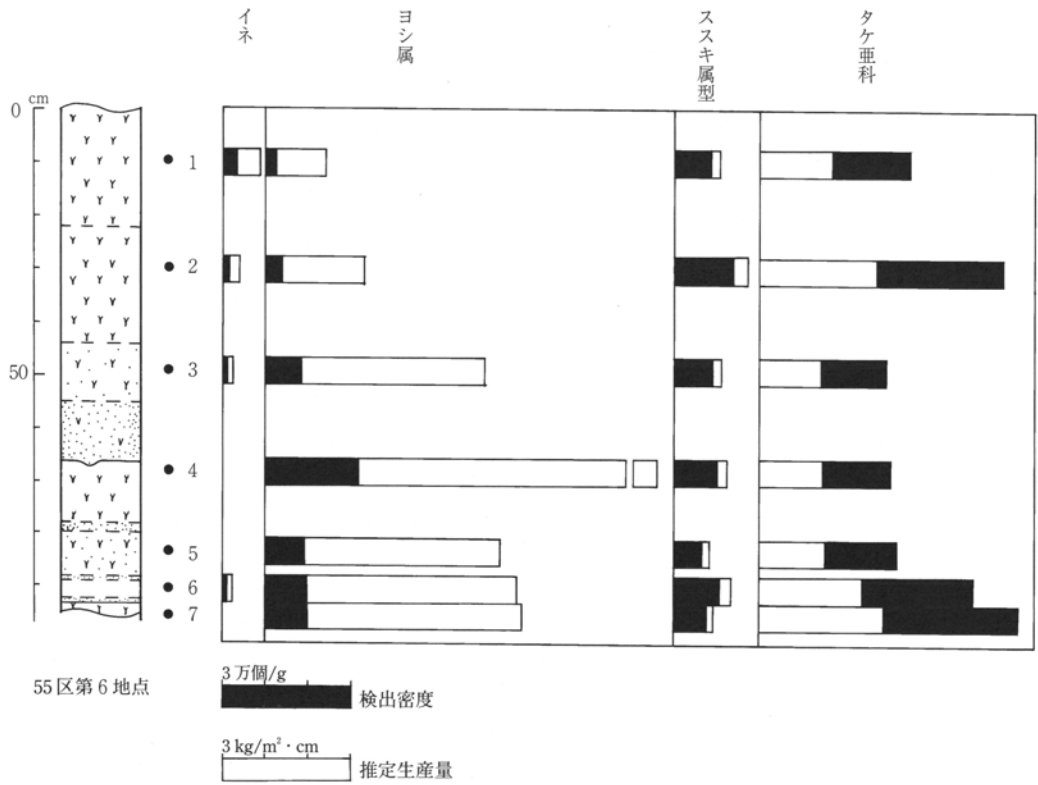
藤原宏志(1976)プラント・オパール分析法の基礎的研究(1) - 数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法-. 考古学と自然科学, 9, p.15-29.

藤原宏志・杉山真二(1984)プラント・オパール分析法の基礎的研究(5) - プラント・オパール分析による水田址の探査-. 考古学と自然科学, 17, p.73-85.

2 萱野Ⅱ遺跡におけるプラント・オパール分析

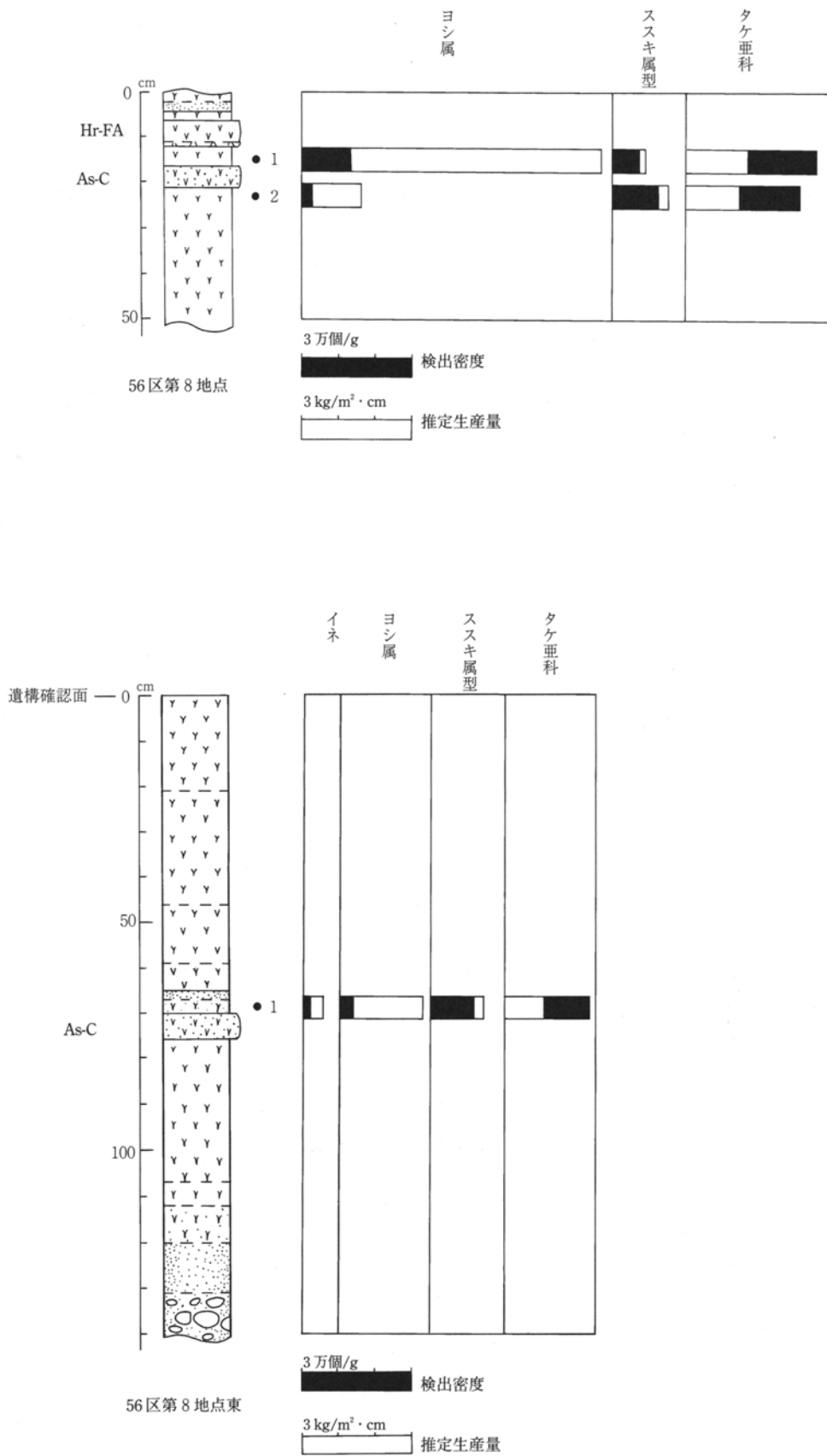


第260図 萱野Ⅱ遺跡におけるプラント・オパール分析結果1

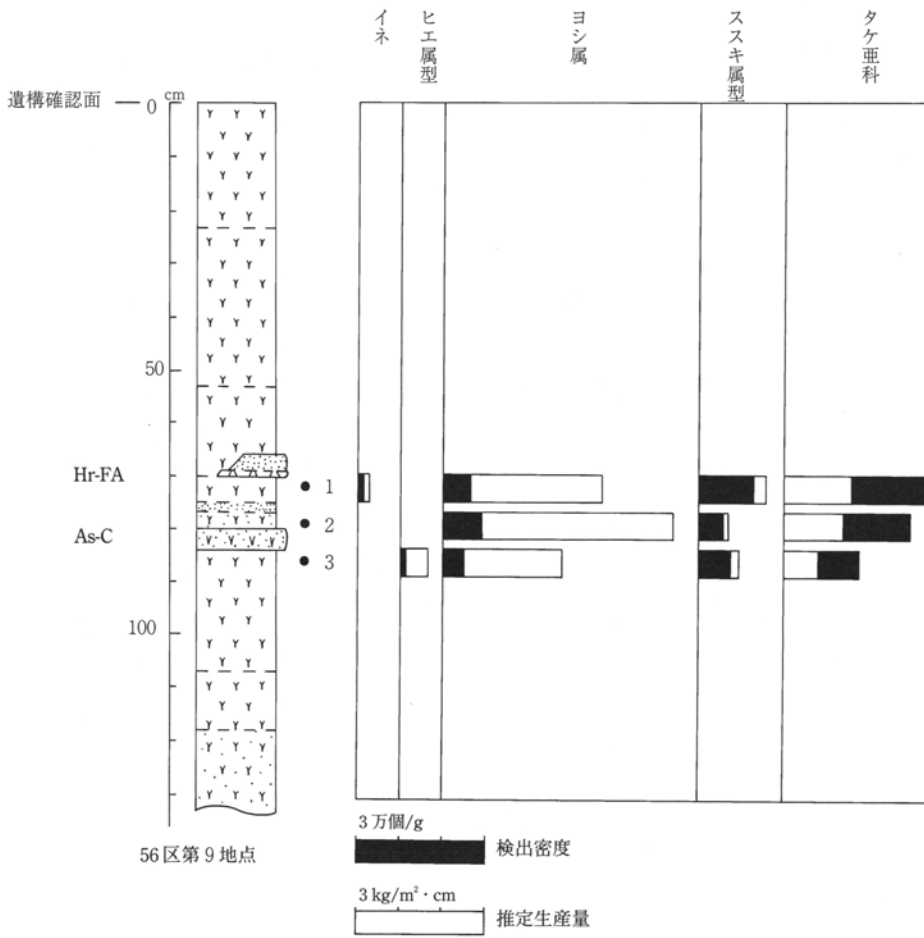


第261図 萱野II遺跡におけるプラント・オパール分析結果2

2 萱野Ⅱ遺跡におけるプラント・オパール分析



第262図 萱野Ⅱ遺跡におけるプラント・オパール分析結果3



第263図 萱野II遺跡におけるプラント・オパール分析結果4

3 萱野II遺跡から出土した炭化種実 1

3 萱野II遺跡から出土した炭化種実 1

新山雅広 (パレオ・ラボ)

1. 試料と方法

炭化種実の検討は、住居址や土坑などから出土した合計7試料について行った。炭化種実の同定・計数は、肉眼および実体顕微鏡下で行った。試料の時代は、いずれも縄文時代である。

2. 結果

同定された分類群は、木本のみ3分類群であり、オニグルミ、コナラ属、クリであった(表1)。オニグルミは、1号住居1号Pit覆土、63号土坑No.14、63号土坑覆土から破片が僅かに得られた。コナラ属は、94-A-4埋設土器の東わきから子葉の破片が1点得られた。クリは、1号住居No.230、2号住居炉内、2号住居炉わきから子葉の破片が1片~数片得られた。

3. 考察

得られたのは、いずれも食用として有用なオニグルミ、コナラ属、クリであった。オニグルミは、細かな核の破片であり、利用後の残滓と言えよう。コナラ属とクリは、食用部分である子葉の破片が出土した。コナラ属は、貯蔵されていたものか、皮むきがなされた段階のものであろうが、いずれにしても利用前のものであろう。クリは、1号住居出土の土器(No.230)内や2号住居の炉内・炉わきから出土した。生の状態か調理済みかはわからないが、土器内にクリが入っていた可能性や炉の付近でクリを利用する作業が行われていたと予想される。

4. 形態記載

オニグルミ *Juglans ailanthifolia* Carr. 炭化核

核壁は緻密で堅く、表面には筋が入り、割れ口の断面には、空隙(穴)が見られることがある。炭化状態が良いと、割れ口にはしばしば光沢が見られる。1号住居1号Pit覆土のものは小片である。63号土坑No.14のものは、小片と1/2片である。1/2片は、上端が欠けており、打撃痕の可能性ある。63号土坑覆土のものは、10×15mm角程度の破片である。

コナラ属 *Quercus* 炭化子葉

2つに割れた子葉の片方が出土したが、下端が欠けている。破片の大きさは、長さ12mm、幅8mm強であるが、元の子葉の長さは15mm前後と推定される。表面には浅い縦皺が密に入る。

クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. 炭化子葉

出土したのは、いずれも破片であるが、クリの子葉は完形であれば、三角状卵形で断面は平凸レンズ状。表面には縦方向のやや深い疎な皺がある。1号住居No.230のものは、径5~14mm程度の破片である。長径14mmの大きな破片は、皺や平凸レンズ状の断面が確認でき、小さな破片にも皺が確認できるものがある。2号住居炉内のものは、長径17mm、短径10mm程度の大きな破片である。おそらく元の長さは20mm前後と予想される。2号住居炉わきのものは、径5~15mm程度の破片が8点であったが、完形に換算しても1個分に満たないと推定される。

4 萱野II遺跡から出土した炭化種実 2

新山雅広 (パレオ・ラボ)

1. 試料と方法

炭化種実の検討は、1号住居(炉、焼土、埋め甕)、3号住居(炉)、2号埋設土器および4号・5号・17号の各土坑から出土した合計28試料について行った。各試料は、土嚢袋に入った堆積物試料であり、水洗およびフローテーションを行った。炭化種実の採集・同定・計数は、肉眼採集および浮遊物の回収により得られた残渣から実体顕微鏡下で行った。

2. 出土した炭化種実

出土した炭化種実、木本3分類群、草本2分類群であった。木本で得られたのは、オニグルミ、キハダ、ミズキであり、草本はイネ、エノキグサであった。その他に、虫えいが得られた。

各試料から出土した炭化種実の一覧は、第1表に示した。ただし、炭化種実(虫えいも含め)として同定し得るものを全く含んでいなかった試料については一覧表から省いた。また、試料中には、未炭化で状態の新鮮な種実類(イヌビエ、ツユクサ属など)が含まれていた。これらは、現代のものとの混入と考えられるので、一覧表中から省いた。以下に、各試料の炭化種実の記載を示す。

1号住居(炉の土、焼土集中、埋め甕)：オニグルミ、イネ、虫えいが得られた。オニグルミは、多くの試料で得られ、特に炉の土(含焼土)で多産した。

3号住居(炉周囲、炉(下位使用面))：炉周囲からエノキグサ、虫えいが得られた。炉(下位使用面)からは炭化種実は得られなかった。

2号埋設土器：オニグルミが僅かに得られ、エノキグサが目立った。虫えいも僅かに得られた。

4号土坑(覆土)：虫えいのみが目立った。

5号土坑(覆土)：イネが僅かに得られ、虫えいが目立った。

17号土坑(3層)：オニグルミ、キハダ、ミズキ、エノキグサ、虫えいが僅かに得られた。

3. 考察

検討した結果、明らかに利用されていたと考えられるのは、オニグルミと栽培植物のイネである。オニグルミは、1号住居、17号土坑(3層)で得られ、特に1号住居の炉から多産した。出土核は、いずれも細かな破片であり、火にくべて割れ易くしたことや、割った後の核が炉に投棄されたことなどが予想され、利用後の残滓が出土したと考えられる。イネは、5号土坑から1個体のみが出土した。発泡が著しく、状態は非常に悪いが、おそらくイネの胚乳と思われる。

他では、ミズキが1号住居の炉、17号土坑(3層)、キハダが17号土坑(3層)から出土した。ミズキは、生食可能な漿果であり、キハダは、内樹皮が薬用や染料に用いられる有用植物である。キハダは、利用後の残滓と考えられるオニグルミ核と共に出土したが、もし種子や

果実といった部位が利用されていたのだとすれば、利用法と何らかの関連があると思われる。なお、乾き気味の場所の雑草と考えられるエノキグサが2号埋設土器などから出土したが、炭化したものが紛らわしかった。試料中には、明らかな現代のものの混入と考えられる種実(イヌビエ、ツルクサ属など)が含まれていることから、エノキグサも混入したものである可能性がある。

4. 主な炭化種実の形態記載

オニグルミ *Juglans ailanthifolia* Carr. 炭化核

核壁は緻密で硬く、表面には筋が入る。割れ口にはしばしば光沢がみられ、断面は、空隙がみられることが多い。1号住居の炉で多産したが、完形に換算して1個分程度と推定される。

キハダ *Phellodendron amurense* Rupr. 炭化種子

出土種子は破片であるが、完形であれば、歪んだ狭倒卵形で一方の側面には細長い臍がある。表面には全体に微細な網目が発達する。

ミズキ *Cornus controversa* Hemsley 炭化核

先端が尖る偏円形。基部に大きな臍があり、表面には浅い縦溝がある。

イネ *Oryza sativa* Linn. 炭化胚乳

下端縁辺部のごく一部を除いて、表面の大半は発泡している。穀物粒であることは間違いないと思われ、イネの可能性が高い。

エノキグサ *Acalypha australis* Linn. 炭化種子

倒卵形で下端は尖る。表面には微細な網目紋がある。

虫えい(虫こぶ)

大きさ・外形は様々であるが、一方の面は角の丸まった台形ないし円柱形で、もう一方の面は中央部に窪みのある円形を呈するものが大半である。欠損したものを見ると、内部は均質で中心部に空洞がある。

5 萱野II遺跡(堤沼上遺跡)から出土した炭化種実 3

新山雅広(パレオ・ラボ)

1. 試料と方法

炭化種実の検討は、住居址(カマドなど)や土坑の覆土(堆積物試料)について行った。炭化物の採集方法は、堆積物試料を水洗洗浄して残渣を回収し、フローテーションを行った。炭化種実の採集・同定は、得られた炭化物から実体顕微鏡下で行った。なお、試料の時代は、縄文時代および平安時代である。

2. 結果

出土した炭化種実の一覧を表1に示した。全試料で同定されたのは、木本がオニグルミ、ミズキの2分類群、草本がイネ、コムギ、オオムギ、ムギ類、ヒエ、アワ、ホタルイ属、タデ属、ヒユ属の9分類群であり、他に、不明炭化核、虫えい、菌核も得られた。以下に、時代別に炭化種実の記載を示す。

(1) 縄文時代の試料から得られた炭化種実

得られるのは、オニグルミ、ミズキ、タデ属、不明炭化核、虫えいである。オニグルミは、多くの試料で得られ、24号住居2層(完形2個分前後)、116号土坑2~3層(完形1~2個分)で比較的多産した。ミズキは、いずれも破片であったが、10号住居2層、11号住居焼土2などの6試料から得られた。タデ属は114号土坑2層、不明炭化核(おそらくオニグルミの類)は26号住居(埋め糞の土)から得られた。虫えいは、24号住居2層、117号土坑2層、118号土坑1,4層など、多くの試料で得られた。

(2) 平安時代の試料から得られた炭化種実

得られたのは、イネ、コムギ、オオムギ、ムギ類、ヒエ、アワ、ホタルイ属、タデ属、ヒユ属、虫えい、菌核である。イネは、多くの試料で得られ、105号土坑下層で多産し、17号住居カマド、18号住居、104号土坑でも若干目立った。コムギは、104号土坑焼土・中層、105号土坑下層のみで得られ、104号土坑で目立った。オオムギ、アワは、104号土坑下層で、ヒエは104号土坑焼土で各1点のみ得られた。ホタルイ属は17号住居カマドC、104号土坑焼土、タデ属は105号土坑下層、ヒユ属は21号住居カマド灰で僅かに得られた。虫えいは、比較的多くの試料で得られ、18号住居床面で目立った。菌核は、15号住居カマドDで1点のみ得られた。

3. 考察

縄文時代の試料では、有用植物のオニグルミが目立った。出土核は、いずれも細かな破片であり、利用後の残滓と考えられる。出土地点は、住居址、土坑であり、土坑はゴミ穴のような性格である可能性が考えられる。オニグルミ以外では、ミズキがやや目立った。ミズキは、有用植物と共にしばしば出土するが、本遺跡でもオニグルミと共に出土した。主食と成り得るようなものではないが、住居址などからオニグルミのような有用植物と共に出土したことから、何らかの形で利用されていた可能性が高いと考えられる。タデ属については、はっきりとしたことは言えないが、雑草が紛れ込んだ可能性が考えられる。虫えいは、昆虫が植物体に産卵寄生した結果でできるものであり、住居や土坑に葉や果実などが存在していたと予想される。

平安時代の試料では、様々な栽培植物が得られた。具体的には、イネ、コムギ、オオムギ、ヒエ、アワといった穀類である。このうちイネは、20号住居址を除く、各住居址や土坑から得られ、当時の主要食糧源であったと予想される。湿地性のホタルイ属やタデ属、ヒユ属は、雑草が紛れ込んだ可能性が考えられる。虫えいは、土坑からは出土しないが、住居址からは比較的多産した。虫えいの付いた植物体がカマドで燃やされたことなどが考えられるのではないだろうか。

4. 形態記載

オニグルミ *Juglans ailanthifolia* Carr. 炭化核

核壁は緻密で堅く、表面には筋が入り、割れ口の断面には、空隙(穴)が見られることがある。炭化状態が良いと、割れ口にはしばしば光沢が見られる。小さいもので径2mm前後、大きなものでも13mm前後の細かい破片である。

ミズキ *Cornus controversa* Hemsley 炭化核

ミズキの核は偏円形で基部に大きな臍があり、表面には浅い縦溝がある。出土核は、いずれも破片であった。

5 萱野Ⅱ遺跡（堤沼上遺跡）から出土した炭化種実 3

イネ *Oryza sativa* Linn. 炭化胚乳

側面観・上面観共に楕円形。両面の表面には、縦方向の2本の筋が入り、3等分される。これの真ん中は隆起し、両端は一段下がる。

コムギ *Triticum aestivum* Linn. 炭化胚乳

丸こく、側面観・上面観共に楕円形から円形。一方の面の中央部には、基部から頂部にかけて一本の溝が走る。

オオムギ *Hordeum vulgare* Linn. 炭化胚乳

細長く、長楕円形で下端はやや尖り気味。一方の面の中央部には、基部から頂部にかけて一本の溝が走る。なお、状態が悪く、コムギともオオムギとも識別し得なかったものをムギ類とした。

ヒエ *Echinochloa crus-galli* P.Beauv. var. *fumentacea* Trin. 炭化胚乳

扁平で長さ約1.4mm、幅約1.1mm。下端は少し欠損している。胚の長さは、果実長の約2/3、臍はうちわ型。

アワ *Setaria italica* Beauv. 炭化胚乳

長さ約1.1mm、幅約1.0mmでやや厚みがあり、先端は平坦をなす。胚の長さは、果長の約2/3。下端は欠損しており、臍はやや不鮮明であるが、幅が狭いと思われる。なお、この標本は、写真撮影時に紛失してしまい、写真を提示することができなかった。

ホタルイ属 *Scirpus* 炭化果実

倒卵形で片凸レンズ形。表面には横方向の皺がある。

タデ属 *Polygonum* 炭化果実

二面の卵円形で先端は尖り気味。長さ1.6mm、幅1.1mm程度。

ヒユ属 *Amaranthus* 炭化種子

偏平な円形で唇状の臍がある。

不明 unknown 炭化核

小さな破片であり、表面の特徴もつかめないが、おそらくオニグルミの類と思われる。

虫えい

大きさや形は様々。内部は中空となっており、断面には果実や種子のような構造は見られない。

菌核

径1mm程度の球形で仁丹状。

6 萱野Ⅱ遺跡から出土した炭化種実 4

新山雅広（パレオ・ラボ）

1. 試料と方法

炭化種実の検討は、住居址や土坑を主体とした遺構の覆土（堆積物試料）について行った。炭化物の採集方法は、堆積物試料を水洗洗浄して残渣を回収し、フローテーションを行った。炭化種実の採集・同定は、得られた炭化物から実体顕微鏡下で行った。なお、試料の時代は、いずれも縄文時代である。

2. 結果

出土した炭化種実の一覧を表1に示した。同定されたのは、木本がオニグルミ、キハダの2分類群、草本がタデ属のみの1分類群であり、その他に、虫えいが得られた。オニグルミは、いずれも破片であったが、多くの試料から得られ、1号埋設土器内部の土では完形1個分以下、10号住居周辺の遺物集中2層では2～3個分前後と比較的多産した。キハダは、果実と種子が得られ、果実は98号土坑5層から破片が3点（完形約1個分）得られた。種子は、34号土坑埋め藪内の土から破片が5点（完形約1個分）、84号土坑3層から破片が16点（完形約5個分）、98号土坑4層から破片が5点（完形約1個分）、98号土坑5層から完形が3点、破片が11点（完形3～4個分）得られた。タデ属は、9号住居2層、98号土坑3層、98号土坑5層から完形ないし破片が1点ずつ得られた。虫えいは、土坑を中心に比較的多くの試料から得られ、85号土坑3層、98号土坑4層で目立った。

3. 考察

検討した結果、有用植物のオニグルミが多くの試料で得られた。いずれも細かな破片であり、利用後の残滓と言えよう。他に、注目される分類群としてキハダが得られた。キハダは、ミズキなどと同様、遺跡からしばしば有用植物と共に炭化して出土する。しかし、84号土坑3層、98号土坑5層のようにまとまった形で出土するのは、珍しいと思われ、特に果実の出土は稀と思われる。利用法については不明であるが、キハダの果実が何らかの形で利用されていたのであろう。タデ属については、利用されていた可能性も否定はできないが、雑草が紛れ込んだとも考えられる。虫えいは、昆虫が植物体に産卵寄生した結果できるものであり、住居や土坑に葉や果実などが存在していたと予想される。

4. 形態記載

オニグルミ *Juglans ailanthifolia* Carr. 炭化核

核壁は緻密で堅く、表面には筋が入り、割れ口の断面には、空隙（穴）が見られることがある。炭化状態が良いと、割れ口にはしばしば光沢が見られる。小さいもので径2mm前後、大きなものでも8mm前後の細かい破片である。

キハダ *Phellodendron amurense* Rupr. 炭化果実、炭化種子

果実は、径7～8mm前後の大きな破片と径3～4mm前後の小さな破片が得られた。大きな破片は、種子が1個残っているのが確認でき、2個の種子が抜けた状態の内果皮も見える。また、小さな破片のうち一方は、種子が割れた状態で残存している。種子は歪んだ狭倒卵形で表面には微細な網目紋がある。

タデ属 *Polygonum* 炭化果実

卵形で三稜形。長さ1.2～1.4mm、幅1.0～1.1mm程度。

虫えい

大きさや形は様々。内部は中空となっており、断面には果実や種子のような構造は見られない。

7 萱野Ⅱ遺跡出土炭化材の樹種同定

植田弥生 (パレオ・ラボ)

1. はじめに

ここでは、縄文時代の住居 (1・7・8) と土坑 (4) から出土した炭化材8試料の、樹種同定結果を報告する。

2. 試料と方法

取上げられていた試料から、形状や大きさの異なる炭化材を選び、樹種同定試料とした。

同定は、炭化材の横断面 (木口) を手で割り実体顕微鏡で予察し、次に材の3方向 (横断面・接線断面・放射断面) の断面を作成し、走査電子顕微鏡で拡大された材組織を観察した。走査電子顕微鏡用の試料は、3断面を5mm角以下の大きさに整え、直径1cmの真鍮製試料台に両面テープで固定し、試料を充分乾燥させた後、金蒸着を施し、走査電子顕微鏡 (日本電子(株)製 JSM-T100型) で観察と写真撮影を行った。

同定した炭化材の残り破片は、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団に保管されている。

3. 結果

3軒の住居から出土した7試料からは、クリ4点、オニグルミ1点、クヌギ節2点が検出された。4土坑の破片はクリであった。検出された炭化種実の分類群と炭化材の分類群は符号していた。

樹種記載

オニグルミ *Juglans mandshurica* Maxim. subsp. *sieboldiana* (Maxim.) Kitamura クルミ科 図版1 2a-2c (1住居炭145)

単独あるいは2~3個が複合した中型の管孔が除々に径を減じながら分布し、接線状の柔組織が顕著な散孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は単穿孔、チロースが顕著である。放射組織はほぼ同性または上下端部に方形細胞がある異性、3細胞幅が多い。

オニグルミは暖帯から温帯のやや湿った所に生育する落葉高木である。種子は食用になり、材は加工しやすく狂いが少ない。

コナラ属コナラ亜属クヌギ節 *Quorums* subgen. *Quorums* sect. *Cerris* ブナ科

年輪の始めに大型の管孔が1~3層配列し、その後は小型で厚壁の管孔が単独で放射方向に配列し広放射組織をもち、接線状・網状の柔組織が顕著な環孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は単穿孔、チロースがある。放射組織は同性、単列のものと集合状のものが有り、道管との壁孔は柵状である。

クヌギ節は落葉性のドングリの仲間でそのうちのクヌギとアベマキが属する。

クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. ブナ科

年輪の始めに中型~大型の管孔が密に配列し除々に径を減じてゆき、晩材では非常に小型の管孔が火炎状に配列し、柔組織が接線状に配列する環孔材。道管の壁孔は小型で交互状、穿孔は単穿孔、内腔にはチロースがある。放射組織は単列同性、道管との壁孔は孔口が大きく交互状である。

クリは北海道西南部以南の暖帯から温帯下部の山野に普通の落葉高木である。果実は食用になり、材は加工はやや困難であるが狂いは少なく粘りがあり耐朽性にすぐれている。縄文時代の遺跡からは全国的に必ずと言っていいほどクリ材が出土する。

遺構	試料名	試料数	オニグルミ	コナラ属	クリ	時代
			炭化核	炭化子葉	炭化子葉	
1号住居	No.230 炭化物	1			(4)	縄文
1号住居	1号ピット覆土	1	(1)			縄文
2号住居	炉内炭化物	1			(1)	縄文
2号住居	炉わき炭化物	2		(1)	(8)	縄文
63号土坑	No.14 炭化物	1	(2)			縄文
63号土坑	覆土	1	(1)			縄文

萱野Ⅱ遺跡出土種実 1

遺構	試料名	オニグルミ	ミズキ	エノキグサ	イネ	キハダ	時代
		炭化核	炭化種子	炭化種子	炭化胚乳	炭化種子	
1号住居	炉の土(含焼土)	(37)					縄文
	炉の土	(4)	(1)				縄文
	焼土集中②	(2)					縄文
	埋め藁1層	(2)					縄文
3号住居	炉周囲(含焼土)			(1)			縄文
1号埋設土器	坑内の土						縄文
2号埋設土器	外側	(1)		11(3)			縄文
	内側						縄文
5号土坑	覆土				1		古墳時代以後
17号土坑	3層	(3)	1	1		(1)	縄文

萱野Ⅱ遺跡出土種実 2

7 萱野Ⅱ遺跡出土炭化材の樹種同定

遺構	試料名	時代	試料数	グルミ	オニ	ミズキ	イネ	コムギ	オオムギ	ムギ類	ヒエ	アワ	ホタルイ	タデ属	ヒユ属
				炭化核			炭化胚乳						炭化果実	炭化種子	
15号住居	竈D	平安	2				(2)								
16号住居	竈Aの灰	平安	3				(1)								
16号住居	竈B	平安	2				1								
17号住居	竈B	平安	1				2								
17号住居	竈C	平安	2				2						1		
18号住居	床面	平安	2				(4)								
18号住居	竈灰A	平安	1				(1)								
18号住居	竈灰D	平安	1				(1)								
18号住居	覆土灰(竈)	平安	1				(2)								
19号住居	竈B	平安	2				(1)								
21号住居	竈灰	平安	1												1
21号住居	掘り方	平安	6				(2)								
24号住居	2層	縄文	1	(69)	(2)										
25号住居	焼土1	縄文	1	(2)											
25号住居	焼土2	縄文	1	(5)	(3)										
104号土坑	焼土	平安	1				4(1)	3		1	1		2		
104号土坑	中層	平安	1				(1)	9(1)							
104号土坑	下層	平安	1				(3)		1			1			
105号土坑	下層	平安	1				20(20)	1						(1)	
111号土坑	2層	縄文	2	(1)	(1)										
114号土坑	2層	縄文	1											1	
115号土坑	2層	縄文	2	(1)											
116号土坑	2～3層	縄文	2	(80)	(1)										
117号土坑	2層	縄文	1	(3)	(1)										
118号土坑	1層	縄文	1	(3)											
118号土坑	8層	縄文	1	(5)											
123号土坑	1層	縄文	1	(24)	(1)										

萱野Ⅱ遺跡出土種実 3

遺構番号	試料名	時代	試料数	オニグルミ	キハダ		タデ属
				炭化核	炭化果実	炭化種子	炭化果実
9号住居	2層	縄文	2	(7)			1
9号住居	焼土1	縄文	1	(1)			
10号住居	炉の土	縄文	1	(10)			
34号土坑	埋壺内	縄文	1	(11)		(5)	
78号土坑	土器内	縄文	1	(10)			
81号土坑	5層	縄文	1	(15)			
84号土坑	3層	縄文	1	(4)		(16)	
98号土坑	3層	縄文	1	(2)			(1)
98号土坑	4層	縄文	1	(2)		(5)	
98号土坑	5層	縄文	1		(3)	3(11)	1
1号埋設土器	土器内	縄文	1	(22)			
遺物集中	2層	縄文	2	(77)			

萱野Ⅱ遺跡出土種実 4

遺構	試料名	樹種	主な破片の横断面サイズ(cm)*	備考	時代
1号住居	炭 144	クリ		節部破片	縄文
1号住居	炭 145	オニグルミ		破片	縄文
7号住居	No 95の炭	クリ		節部破片	縄文
7号住居	No 102の炭	クリ		破片	縄文
7号住居	埋積土中の炭	クリ		破片	縄文
8号住居	炭 J66	クスギ節	2.5×1.3cm	30年輪以上あり	縄文
8号住居	炭 J67	クスギ節	推定直径1.5cm	芯持ち丸木、樹皮付10	縄文
4号土坑	炭 J12	クリ	0.8×0.8cm	破片	縄文

萱野Ⅱ遺跡出土炭化材樹種同定結果一覧表 *放射方向の長さ×接線方向の長さ

第8章 遺物観察表

1 縄文土器観察表

1号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000001	深鉢	胴部中位3/4存。焼成普通。明黄褐色10YR7/6。石英、白色粒子、繊維多く含む。無節Lr、Rlが菱形羽状縄文を構成。胴上部径25.0cm。胴下部径17.6cm。現高22.0cm。有尾式。埋甕炉。	7	14	4
000002	深鉢	口縁～胴部1/2存。焼成普通。赤褐色5YR4/8。石英、角閃石、白色粒子、繊維多い。単節LR、RLで菱形羽状縄文を構成。口縁部に2孔並列で穿孔。復元口径25.0cm。現高19.5cm。黒浜式。	7	14	4
000003	深鉢	胴部下位～底部。焼成普通。橙色5YR6/6。角閃石、白色粒子、石英。繊維を含む。単節LRの斜行縄文。底径7.0cm。現高8.5cm。有尾式。	7	14	4
000004	深鉢	底部。焼成普通。橙色7.5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。単節LR、RLの羽状縄文。紋様は一部不明瞭。現高4.0cm。底径7.0cm。黒浜式。	7	14	4
000005	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色7.5YR5/3。角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節LR、RLの羽状縄文。巾6mmの半截竹管によるコンパス文。現高5.7cm。有尾式。	7	14	4
000006	深鉢	胴～底部。焼成普通。橙色5YR7/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節LRの斜行縄文。底部に磨きを施す。現高6.9cm。復元底径9.7cm。黒浜式。	7	14	4
000007	不明	胴部。焼成普通。明赤褐色5YR5/8。石英、角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維含む。地文単節LR、RLの羽状縄文。巾8mmの半截竹管による半隆起線文、半截竹管による刺突。有尾式。	7	14	4
000008	深鉢	底部。焼成普通。褐色7.5Y4/4。石英、白色、黒色粒、繊維。単節LR、RL羽状縄文。有尾式。	7	14	4
000009	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラつき、崩れやすい。暗赤褐色2.5YR3/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。単節LR、RLの羽状縄文。有尾式。	7	14	4
000010	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラついている。明赤褐色5YR5/8。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。単節LR、RLの羽状縄文。菱形のモチーフを構成。風化が進み不明瞭。有尾式。	7	14	4
000011	深鉢	胴部。焼成普通。若干崩れやすい。赤褐色2.5YR5/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。有尾式。	8	15	4
000012	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色10YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。単節RLの斜行縄文。内面を研磨。波状口縁。有尾式。床直。	8	15	4
000013	深鉢	口縁部。焼成良好。橙色7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。単節LRの斜行縄文。有尾式。	8	15	4
000014	深鉢	口縁部。焼成普通。黒褐色7.5YR2/2。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節RLの斜行縄文。有尾式。	8	15	4
000015	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子。繊維多い。単節LRの斜行縄文。有尾式。	8	15	4
000016	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色5YR5/6。白色、黒色粒子。繊維多い。単節RL斜行縄文。有尾式。	8	15	5
000017	深鉢	口縁部。焼成普通。若干崩れやすい。赤褐色2.5YR4/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節RLの斜行縄文。有尾式。	8	15	4
000018	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい赤褐色5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節RLの斜行縄文。全体的に紋様は不明瞭。有尾式。	8	15	5
000019	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい褐色7.5YR5/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。無節Lrの斜行縄文。有尾式。	8	15	5
000020	不明	口縁部。焼成普通。黒褐色7.5YR2/2。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾6mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。有尾式。	8	15	5
000021	深鉢	口縁部。焼成普通。若干崩れやすい。暗褐色10YR3/3。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節LR、RLの羽状縄文。巾5mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填。黒浜式。	8	15	5
000022	深鉢	胴部。焼成普通。若干崩れやすい。赤褐色2.5YR4/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。単節LR、RLの羽状縄文。巾2mmの半截竹管による平行沈線文、爪形文。黒浜式。	8	15	5
000023	深鉢	胴部。焼成普通。赤褐色5YR4/6。角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節RLの斜行縄文。巾6mmの半截竹管による幅広沈線文。黒浜式。	8	15	5
000024	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維含む。単節LR、RLの羽状縄文。巾8mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填。黒浜式。	8	15	5
000025	深鉢	底部。焼成良好。にぶい褐色7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節LR、RLの羽状縄文。底径5.6cm。現高2.8cm。黒浜式。	8	15	5
000026	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色2.5YR4/4。角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節RLの斜行縄文。巾7mmの幅広平行沈線文。黒浜式。	8	15	5
000027	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色10YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。外面は若干風化が進む。単節LR、RLの羽状縄文。黒浜式。	8	15	5

1 縄文土器観察表

000028	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。口唇部内湾。地文は単節 LR の斜行縄文。巾 7mm の半截竹管による平行沈線文。爪形文。黒浜式。	8	15	5
000029	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を多く含む。単節 LR の斜行縄文。巾 6mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填。黒浜式。	8	15	5
000030	深鉢	口縁部。焼成普通。灰黄褐色 10YR4/2。角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節 LR の斜行縄文。巾 6mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	8	15	5
000031	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、白色粒子、繊維を含む。単節 LR の斜行縄文。巾 6.5mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	8	15	5
000032	深鉢	胴部。焼成普通。黒褐色 7.5YR3/2。角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。巾 7mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	8	15	5
000033	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 2.5YR4/3。角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。巾 7mm の半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	8	15	5
000034	深鉢	口縁部。焼成普通。若干崩れやすい。黒褐色 10YR3/1。石英、角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。単節 RL の斜行縄文。黒浜式床直。	8	15	5
000035	深鉢	口縁部。焼成普通。若干ザラついている。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	8	15	5
000036	深鉢	胴部。焼成普通。灰黄褐色 10YR4/2。白色粒子、繊維を含む。単節 LR の斜行縄文。巾 6mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	8	15	5
000037	深鉢	胴部。焼成普通。赤褐色 5YR4/6。白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。巾 5.5mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	8	15	5
000038	深鉢	胴部。焼成普通。暗褐色 7.5YR3/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。巾 7mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	8	15	5
000039	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	8	15	5
000040	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	8	15	5
000041	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文に単節 RL の斜行縄文。巾 5mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	8	15	5
000042	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。無節 RL の斜行縄文。黒浜式。	8	15	5
000043	深鉢	胴部。焼成普通。赤褐色 5YR4/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	8	15	5
000044	深鉢	底部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。復元底径 7.2cm。現高 2.2cm。単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	8	15	5
000045	深鉢	底部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。復元底径 9.8cm。現高 2.3cm。単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	8	15	5
000046	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。単節 RL の斜行縄文。内面を研磨。黒浜式。	9	16	5
000047	深鉢	口縁部。焼成普通。若干崩れやすい。褐色 7.5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節 LR、RL の斜行縄文。黒浜式。	9	16	5
000048	深鉢	口縁部。焼成普通。赤褐色 2.5YR4/6。白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文に多条縄文。巾 4.5mm の半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	9	16	5
000049	深鉢	口縁～胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。巾 3mm の半截竹管による平行沈線文が格子状に施文される。52 と同一個体か。黒浜式。	9	16	5
000050	深鉢	口縁～胴部。焼成良好。橙色 7.5YR7/6。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾 4mm の半截竹管による平行沈線文。菱形のモチーフを構成。53 と同一個体か。黒浜式。	9	16	5
000051			9	16	5
000052	深鉢	口縁～胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/3。石英、角閃石、黒色粒子、繊維多い。巾 3mm の半截竹管で器面全体に格子状の平行沈線。復元口径 13cm。現高 10.3cm 黒浜式。	9	16	5
000053	深鉢	口縁～胴部。焼成良好。橙色 7.5YR7/6。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾 4mm の半截竹管による平行沈線文。菱形のモチーフを構成。51 と同一個体か。黒浜式。	9	16	5
000054	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維多い。口縁に平行して巾 5mm の半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	9	16	5
000055	深鉢	口縁部。焼成普通。暗褐色 10YR3/3。角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。波状口縁。巾 5mm の半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	9	16	5
000056	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾 4mm の半截竹管による平行沈線文を連続して施文。黒浜式。	9	16	5
000057	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。巾 7mm の半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	9	16	5
000058	深鉢	胴部。焼成普通。暗灰黄 2.5Y4/2。石英、角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。巾 5.5mm の半截竹管による平行沈線文、コンパス文。黒浜式。	9	16	5

第8章 遺物観察表

000059	深鉢	口縁部。焼成普通。灰黄褐色 10YR6/2。角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。巾5mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	9	16	5
000060	深鉢	口縁部。焼成良好。暗赤褐色 2.5YR3/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子。繊維多い。口縁の径10～17mmの穿孔から巾6mmの半截竹管による放射状平行沈線文。爪形文充填。黒浜式。	9	16	5
000061	深鉢	口縁部。焼成普通。明黄褐色 10YR6/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。波状口縁に小突起を有する。巾5.5mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	9	16	5
000062	深鉢	口縁部。焼成普通。暗赤褐色 5YR3/4。石英、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。波状口縁に小突起。巾7mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	9	16	5
000063	深鉢	胴部。焼成普通。黄褐色 10YR5/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾5mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	9	16	5
000064	不明	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。石英、白色粒子、繊維を含む。巾8mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	9	16	5
000065	深鉢	底部。焼成普通。ザラついている。褐色 7.5YR4/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は風化により不明瞭。現高3.4cm。黒浜式。	9	16	5
000066	深鉢	底部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/3。石英、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を多く含む。底径10.4cm。現高1.2cm。黒浜式。	9	16	5
000067	深鉢	底部。焼成普通。浅黄 2.5Y8/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。底径9.1cm。現高1.0cm。黒浜式。	9	16	5
000068	深鉢	底部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。復元底径9.6cm。現高1.1cm。黒浜式。	9	16	6
000069	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。紋様は不明瞭。単節LRの斜行縄文か。黒浜式。	9	16	6
000070	深鉢	底部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。巾5mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	9	16	6
000071	深鉢	底部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。白色粒子、黒色粒子含む。結節縄文。復元底径7.6cm。現高2.0cm。諸磯a式。	9	16	6
000072	深鉢	胴部。焼成普通。ザラついている。明赤褐色 2.5YR5/8。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を僅かに含む。単節RLの羽状縄文、結節縄文。諸磯a式。	9	16	6
000073	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラついている。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。単節RLの斜行・結節縄文。諸磯a式。	9	16	6
000074	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラついている。にぶい褐色 7.5YR6/6。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節RLの斜行・結節縄文。諸磯a式。	9	16	6
000075	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラついている。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節RLの斜行・結節縄文。諸磯a式。	9	16	6
000076	深鉢	胴部。焼成普通。ザラついている。灰黄褐色 10YR4/2。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。単節RLの斜行縄文、結節縄文。諸磯a式。	9	16	6
000077	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を僅かに含む。単節LRの斜行縄文。諸磯a式。	9	16	6
000078	深鉢	胴部。焼成普通。暗赤褐色 5YR3/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節RLの斜行縄文。諸磯a式。	9	16	6
000079	深鉢	口縁部。焼成普通。ザラついている。明赤褐色 2.5Y5/6。岩片多量、白色粒子、黒色粒子を含む。器壁は薄く、器面の風化が進んでいる。地文は単節RLの斜行縄文。諸磯a式。	10	17	6
000080	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節RLの斜行縄文。口縁部に最大径9mmの円孔。諸磯a式。	10	17	6
000081	深鉢	胴部。焼成普通。灰黄褐色 10YR4/2。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。単節RLの斜行縄文。諸磯a式。	10	17	6
000082	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を僅かに含む。単節RLの斜行縄文。諸磯a式。	10	17	6
000083	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。巾4mmの半截竹管による平行沈線の区画内に、附加条縄文を充填。諸磯a式。	10	17	6
000084	深鉢	胴部。焼成良好。褐色 7.5YR4/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を僅かに含む。巾4mmの半截竹管による平行沈線文が鋸歯状に走る。諸磯a式。	10	17	6
000085	深鉢	口縁部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。白色粒子、赤色粒子を含む。繊維を含む。附加条縄文を、巾4mmほどの半截竹管による平行沈線文2条対によって横位に区画する。諸磯a式。	10	17	6
000086	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 5YR6/6。角閃石、岩片、白色粒子。単節RLの斜行縄文。諸磯a式。	10	17	6
000087	深鉢	口縁部。焼成普通。明赤褐色 2.5Y5/6。岩片多い。白色粒子、黒色粒子含む。単節RLの斜行縄文。諸磯a式。	10	17	6
000088 ～ 000098	深鉢	口縁～胴。焼成良好。明褐色 7.5YR5/6。白色粒子、黒色粒子。単節RLの斜行縄文。諸磯式。	10 11	17 18	6 6

1 縄文土器観察表

000099	深鉢	胴部。焼成良好。暗赤褐色 2.5YR3/2。角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。諸磯式。	11	18	6
000100	深鉢	胴下位。焼成普通。橙色 7.5YR7/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。尖底の底部付近片と思われる。0段多糸からなる単節 RL の斜行縄文を縦位に施文する。花積下層式。	11	18	6
000101	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR7/4。石英、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。口縁部に隆帯付加。隆帯には R と L の捺糸圧痕文が、菱形のモチーフを構成。また、原体末端部の結び目と思われる圧痕が認められる。花積下層式。	11	18	6

2号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000102	深鉢	胴部～口縁部。焼成良好。浅黄橙色 7.5YR8/4。角閃石、白色粒子含む。地文は単節 RL の縦位斜行縄文。胴部に巾 6mm の沈線で縦位区画。口縁部文様は巾 11mm の隆線で渦巻文・楕円区画が施される。復元口径 25.5cm。現高 21.1cm。加曾利 E 式埋甕炉。	14	21	9
000103	深鉢	胴部。焼成良好。ザラついている。にぶい黄橙色 10YR7/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文に単節 RL の斜行縄文を縦位で施文する。巾 7mm の沈線が垂下。加曾利 E 式。	14	21	9
000104	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラついている。橙色 7.5YR7/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子。地文に単節 RL の斜行縄文を縦位で施文。巾 5mm の沈線が 2 条垂下。加曾利 E 式。	14	21	9
000105	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。単節 RL の斜行縄文を巾 11mm の隆線で区画。加曾利 E 式。	14	21	9
000106	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR5/4。石英、白色粒子、黒色粒子含む。附加条縄文。巾 4mm の半載竹管による平行沈線文を 2 条対で横位に区画。諸磯 a 式。	14	21	9
000107	深鉢	底部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。加曾利 E 式。	14	21	9
000108	深鉢	口縁部。焼成良好。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。単節 RL の斜行縄文。節内に撚りの繊維が比較的明瞭に見られる。諸磯 a 式。	14	21	9
000109	深鉢	胴部。焼成良好。明赤褐色 2.5YR5/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。単節 RL の斜行縄文。節内に撚りの繊維が比較的明瞭に見られる。諸磯 a 式。	14	21	9
000110	深鉢	口縁部。焼成普通。赤褐色 2.5YR4/8。角閃石、白色粒子。波状口縁。地文は斜行縄文だが、竹管文により判別不能。口縁部に沿って巾 4mm の半載竹管による半隆起線文。諸磯 a 式。	14	21	9

3号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000111	深鉢	胴部上位～中位 1/3。焼成良好。若干ザラつく。橙色 2.5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。口縁部単節 LR、RL 羽状縄文。頸部巾 6mm の半載竹管による平行沈線文 2 条に爪形文を充填。頸部の平行沈線文を境に胴部は単節 RL の斜行縄文。現高 22.3cm。黒浜式埋甕炉。	17	23	10
000112	深鉢	胴部下位 1/3。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。復元底径 13.4cm。現高 17.6cm。黒浜式床直。	17	23	10
000113	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	17	23	11
000114	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	17	23	11

4号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000115 ～ 000123	深鉢	口縁部 1/2。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。口縁部無文。内外面ともに研磨。復元口径 37.6cm。現高 8.6cm。加曾利 E 式。	21	27	13
000124	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR7/3。白色粒子、黒色粒子含む。単節 LR の斜行縄文を縦位に施文する。巾 6mm の沈線が 2 条対で垂下、縄文を区画する。加曾利 E 式。	22	28	13
000125	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR6/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。単節 RL の斜行縄文を縦位を縦位で施文する。口縁部には巾 15mm の隆線が走る。加曾利 E 式。	22	28	13
000126	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。明褐色 7.5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。単節 RL の斜行縄文を縦位で施文する。巾 7mm の沈線が 2 条対で垂下。加曾利 E 式。	22	28	14
000127	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 5YR6/8。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。単節 RL の斜行縄文が、巾 5mm の沈線 2 条対によって区画される。加曾利 E 式。	22	28	13
000128	深鉢	115-123 と同一個体。加曾利 E 式。	22	28	13
000129	深鉢	口縁部。焼成良好。若干ザラつく。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。単節 LR の斜行縄文を縦位に施文する。縄文は巾 8mm の沈線で楕円区画される。口縁部は波状、口縁に沿って棒状工具による刺突文。加曾利 E 式。	22	28	14

000130	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。白色粒子、黒色粒子含む。波状口縁。巾 8mm の沈線によって楕円区画。区画内には単節 RL の斜行縄文を充填する。加曽利 E 式。	22	28	14
000131	深鉢	口縁部。焼成良好。黄褐色 2.5Y5/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。波状口縁。口縁部文様帯に巾 14mm の沈線による楕円区画。区画内は単節 RL の斜行縄文を充填。胴部には単節 RL の斜行縄文が縦位で施文。加曽利 E 式。	22	28	14
000132	深鉢	胴部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/8。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。単節 RL の斜行縄文。巾 4mm の沈線が垂下。加曽利 E 式。	22	28	14

5号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000133	深鉢	胴部下位。焼成普通。橙色 7.5YR7/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。0段多条からなる単節 RL の斜行縄文を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	25	31	15
000134	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。0段多条からなる単節 RL の斜行縄文を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	25	31	15
000135	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR7/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。隆帯には R と L を合わせた矢羽状の捺糸圧痕文。隆帯の直下に沈線状に矢羽状の捺糸圧痕文。胴部に 0段多条縄の単節 RL を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	25	31	15
000136	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 5YR6/1。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL を縦位に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	25	31	15
000137	深鉢	胴部。焼成普通。明黄褐色 10YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。0段多条からなる単節 RL の斜行縄文を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	25	31	15
000138	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維多く含む。0段多条からなる単節 RL の斜行縄文を縦横に施文し縦位羽状縄文。花積下層式。	25	31	15
000139	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい橙色 7.5Y6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維含む。器壁薄く、焼き締まる。0段多条縄からなる単節 LR、RL の羽状縄文。内面研磨。花積下層式。	25	31	15
000140	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維含む。隆帯下の捺糸圧痕文。0段多条からなる単節 RL を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	25	31	15
000141	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。0段多条縄からなる単節 LR、RL を縦位に施文し、菱形羽状縄文を構成。花積下層式。	25	31	15
000142	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子。繊維多い。142 は単節 RL の斜行縄文を縦位、143 は単節 RL の斜行縄文が縦位と斜位、144 は 0段多条の単節 RL の斜行縄文が横位で施文される。花積下層式。	25	31	15
000143		16			
000144		16			
000145	深鉢	胴部下位。焼成普通。橙色 7.5YR7/7。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。1段多条からなる単節 RL の斜行縄文を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	25	31	16
000146	深鉢	口縁部。焼成普通。黄褐色 7.5YR7/8。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維含む。口縁には隆帯が伴い、不明瞭だが隆帯には単節 RL の斜行縄文が施文される。花積下層式。	25	31	16
000147	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR/46。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。0段多条からなる単節 LR の斜行縄文を縦位に施文する。花積下層式。	25	31	16
000148	深鉢	胴部下位。焼成普通。橙色 7.5YR7/7。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。1段多条からなる単節 RL の斜行縄文を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	25	31	16

6号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000149	深鉢	口縁部～胴部下位。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子含む。キャリパー型の深鉢。口縁部に巾 8mm の沈線が走る。器面全体に単節 RL の斜行縄文が縦位に充填される。口径 22.3cm。現高 20.3cm。加曽利 E 式床直。	28	33	18
000150	深鉢	口縁部～胴下位。焼成良好。明黄褐色 2.5Y7/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。巾広い隆線と沈線による渦巻文と楕円区画内に単節 RL 斜行縄文を横位施文。胴部は巾 5mm の沈線 2 条対による縦位区画内に単節 RL 斜行縄文を縦位充填。復元口径 22.6cm。現高 18.5cm。加曽利 E 式。	28	33	18
000151	深鉢	胴部。焼成良好。灰黄褐色 10YR5/2。角閃石、白色粒子含む。巾 4mm の半截竹管による平行沈線文 4 対 8 条でコンパス文が施される。諸磯式。	29	34	18
000152	深鉢	胴部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/6。石英、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節の LR と RL を交互に斜位施文して縦長の菱形を構成。花積下層式。	29	34	18
000153	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄 2.5Y6/3。石英、角閃石、白色粒子含む。巾 7mm の沈線が 2 条垂下。単節 LR の斜行縄文が縦位で施文。加曽利 E 式床直。	29	34	18
000154	深鉢	胴部。焼成良好。浅黄 2.5Y7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。巾 5mm の沈線が 2 条垂下。単節 LR の斜行縄文が縦位で施文。加曽利 E 式床直。	29	34	18

1 縄文土器観察表

7号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000155	深鉢	口縁部～胴部中位。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR5/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。波状口縁をもつ小振りの深鉢。口縁部に2箇所、補修孔と思われる穿孔が見られる。復元口径16.0cm。現高16.7cm。黒浜式床直。	34	39	21
000156	深鉢	口縁部～胴部上位。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。口縁部は緩やかにくの字状に屈曲し、外傾する。地文は無節 Lr、Rl の羽状縄文で菱形のモチーフを構成。復元口径26.0cm。現高15.1cm。黒浜式。	34	39	21
000157	深鉢	口縁部。焼成良好。橙色 7.5YR6/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。単節 LR の斜行縄文。内面はよく研磨される。黒浜式。	34	39	21
000158	深鉢	口縁部。焼成良好。暗褐色 7.5YR3/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 LR、RL の羽状縄文。内面はよく研磨する。黒浜式。	34	39	21
000159	深鉢	口縁部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維多く含む。口縁部く字状に屈曲し、外傾。無節 Lr、Rl の羽状縄文で菱形のモチーフを構成。黒浜式。	34	39	21
000160	深鉢	口縁部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。厚みあり、口縁部肥厚。内面研磨。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	34	39	21
000161	深鉢	口縁部。焼成良好。若干ザラつく。にぶい褐色 7.5YR5/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	34	39	21
000162	深鉢	口縁部。焼成良好。灰黄褐色 10YR4/2。石英、白色粒子、繊維を含む。内面研磨。煤が吸着する。地文は単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	34	39	21
000163	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。無節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	34	39	21
000164	深鉢	口縁部。焼成良好。赤褐色 5YR4/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	34	39	21
000165	深鉢	胴部。焼成普通。明黄褐色 10YR7/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。無節 Lr、Rl の羽状縄文。黒浜式。	34	39	21
000166	深鉢	底部。焼成普通。若干崩れやすい。にぶい黄褐色 10YR7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。底部の接地面のみ。器面は脆く、崩れやすい。黒浜式。床直。	34	39	21
000167	深鉢	底部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 LR の斜行縄文。底部は被熱によるものか赤色化し、崩れやすくなっている。黒浜式。	34	39	21
000168	深鉢	胴部。焼成普通。黒褐色 10YR3/2。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。単節 LR、RL の羽状縄文で菱形のモチーフを構成。黒浜式。	34	39	21
000169	深鉢	胴部。焼成良好。暗灰黄 2.5Y5/2。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾6mmの半截竹管による平行沈線文とコンパス文。黒浜式。	34	39	21
000170	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文で菱形のモチーフを構成。黒浜式。	34	39	21
000171	深鉢	胴部。焼成普通。明黄褐色 10YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。0段多条からなる単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	34	39	21

8号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000172	深鉢	175-179 と同一個体。	39	44	25
000173	深鉢	口縁部～胴部上位。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。波状口縁。口縁はくの字状に屈曲し外傾。口縁部に沿って平行沈線文。口縁屈曲部では平行沈線文が集合し、胴部では平行沈線文と無文区画が交互に表れる。諸磯b式。	39	44	25
000174					
000175 ～ 000179	深鉢	口縁部～胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。半截竹管による集合沈線と単節 LR の斜行縄文で全体を交互に区画。口縁はラッパ状に大きく外反。口縁部にはボタン状の粘土を貼付。復元口径24.6cm。現高12.2cm。諸磯b式。床面直上からの出土。172 と同一個体。	39	44	25
000180	深鉢	胴部。焼成普通。赤褐色 5YR4/8。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文に単節 LR の斜行縄文。巾3.5mmの半截竹管による平行沈線文3～4条で横位区画。諸磯b式。	39	44	25
000181	深鉢	胴部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。胴部は外反しながら立ち上がる。地文は集合沈線が横位、斜位に施文される。諸磯b式。	39	44	25
000182	深鉢	胴部中位。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/3。角閃石、白色岩片、白色粒子、黒色粒子含む。胴部は直線的に立ち上がる。器面全体に横位・縦位・斜位の集合沈線、鋸歯状、木の葉状の沈線文が施文される。諸磯c式。	40	45	25
000183					
000184	深鉢	胴部下位。焼成良好。明褐色 7.5YR5/6。岩片、白色粒子、黒色粒子含む。胴部の最下部には刻みを入れた浮線文2条が施文される。諸磯b式。	40	45	25
000185	深鉢	底部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子含む。胴部には文様等は見られない。復元底径8.0cm。現高2.0cm。諸磯b式。	40	45	25

000186	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/3。角閃石、岩片多量、白色粒子、黒色粒子含む。胴部上位と思われ、くの字状に屈曲し外反しながら立ち上がる。地文には横位の集合沈線を施文。外反部分には巾4mmの半截竹管による平行沈線文で格子状に区画され、区画内には平行沈線文によって×形モチーフが構成される。諸磯b式。	40	45	25
000187	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR5/4。石英、角閃石、岩片多量、白色粒子含む。地文に単節RLの斜行縄文。沈線文。諸磯b式。	40	45	25
000188	深鉢	胴部。焼成良好。明黄褐色 10YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文は巾7mmの半截竹管による集合沈線。沈線は強く、深さ2mmある。諸磯b式。	40	45	25
000189	深鉢	胴部。焼成良好。硬質。にぶい赤褐色 5YR5/4。角閃石、白色粒子含む。器壁薄く、硬く焼き締まる。斜位の集合沈線が単節RLの斜行縄文を区画するが、縄文は押圧が弱く不明瞭。諸磯b式。	40	45	25
000190	深鉢	胴部。焼成普通。明黄褐色 2.5YR5/8。白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。器壁薄く、硬質。地文に単節RLの斜行縄文が施文されるが、押圧が弱く不明瞭。縄文は横位の集合沈線によって区画される。集合沈線は渦巻状のモチーフも構成。諸磯b式。	40	45	25
000191	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。白色粒子、黒色粒子含む。斜行の刻みによる矢羽状の浮線文が施文される。諸磯b式。	40	45	25
000192	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。白色粒子、黒色粒子含む。斜行の刻みが入る浮線文3条。刻みは上段から、右下がり・左下がり・右下がりと交互に施文。諸磯b式。	40	45	25
000193	深鉢	口縁部。焼成良好。明褐色 7.5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。口縁部が内湾するキャリパー形の深鉢。波状口縁の先端には耳状の装飾が付く。地文には縦位と、口縁に沿った横位の集合沈線。諸磯b式。	40	45	25
000194	深鉢	188と同一個体。	40	45	25
000195	深鉢	口縁部。焼成普通。若干ザラつく。赤褐色 5YR4/6。石英、角閃石、岩片多量、白色粒子、黒色粒子含む。口唇部は短く内折する。地文は横位と斜位の集合沈線。諸磯b式。	40	45	25
000196	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文に単節LRの斜行縄文。巾4mmの半截竹管による平行沈線文6条が認められる。諸磯b式。	40	45	25
000197	深鉢	胴部中位。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/3。角閃石、白色岩片、白色粒子、黒色粒子含む。胴部は直線的に立ち上がる。器面全体に横位・縦位・斜位の集合沈線が施文される。諸磯c式。	40	45	25
000198		000199	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。口縁部に貼付文。地文に0段多条の単節LR斜行縄文。諸磯c式。	40	45
000200	浅鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR4/3。角閃石、岩片、白色粒子含む。口縁部は内折する。集合沈線が単節RLの斜行縄文を横位区画。縄文は押圧が弱く不明瞭。諸磯b式。	40	45	26
000201	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/3。角閃石、白色岩片、白色粒子、黒色粒子含む。直線的に立ち上がる。器面全体に縦位・斜位の集合沈線が施文される。諸磯c式。	40	45	26
000202	深鉢	胴部。焼成良好。黄褐色 2.5Y5/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は巾7mmの半截竹管による平行沈線文、コンパス文。黒浜式。	40	45	26
000203	深鉢	胴部。焼成普通。若干崩れやすい。明黄褐色 10YR7/6。岩片多量、白色粒子、黒色粒子含む。厚みがあり、胎土には微細な岩片が目立つ。地文に単節RLの斜行縄文、その上に集合沈線が斜位で施文される。諸磯c式。	40	45	26
000204	深鉢	胴部。焼成良好。硬質にぶい橙色 7.5YR7/6。石英、白色粒子、黒色粒子含む。胴部は外反しながら立ち上がることから、口縁部が外反しながら開く形式と思われる。地文は波状の貝殻圧痕文、不整形の沈線文が施文される。浮島4V式。	40	45	26

9号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000205	深鉢	胴部下位～底部。焼成良好。赤褐色 5YR4/6。角閃石、岩片、白色粒子含む。胴部は外反しながら立ち上がる。地文に横位・斜位の集合沈線。諸磯b式。	44	49	28
000206	深鉢	口縁部。焼成良好。硬質。赤褐色 5YR4/6。石英、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。波状口縁。巾8mmの隆線による貼付渦巻文。地文は巾6mmの半截竹管による平行沈線文、集合沈線。諸磯b式。	44	49	28
000207	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR5/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文に単節RLの斜行縄文を縦位に施文する。また、集合沈線、平行沈線によって横位区画。諸磯b式。	44	49	28
000208	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文は若干不明瞭だが、単節RLの斜行縄文で原体の末端処理痕が確認できる。諸磯b式。	44	49	28
000209	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節RLの斜行縄文。諸磯b式。	44	49	28

10号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000210	深鉢	底部。焼成良好。若干ザラつく。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。底部は厚みがあり2.3cmある。胴部は無文。底径10.5cm。現高5.9cm。加曾利E3式。	48	52	30

1 縄文土器観察表

000211	深鉢	底部。焼成良好。若干ザラつく。にぶい黄橙色 10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子含む。地文は単節 RL の斜行縄文が縦位に施文される。巾4mm の沈線が2条対で縦位区画。内面はよく研磨される。加曽利 E3 式。	48	52	30
000212	深鉢	口縁部～胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR5/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。口縁部はくの字状に屈曲し、外傾。口縁部は幅広の隆線と沈線で渦巻文と楕円区画。楕円区画内には縦位の沈線による条線を充填。胴部の地文は沈線による条線が縦位に施文される。現高 18.0cm。加曽利 E3 式。	48	52	30
000213	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。浅黄 2.5Y7/4。石英、角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子含む。地文は沈線による条線が垂下。加曽利 E3 式埋甕炉。	48	52	30
000214	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。浅黄 2.5Y7/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、岩片。含む。地文は沈線による条線が垂下。加曽利 E3 式埋甕炉。	48	52	30
000215	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。褐色灰 10YR4/1。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子含む。地文は沈線による条線が垂下。加曽利 E3 式。	48	52	30
000216	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。浅黄 2.5Y7/3。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子含む。地文に沈線による条線が縦位に垂下する。加曽利 E3 式。	48	52	30
000217	深鉢	口縁部。焼成良好。ザラついている。暗灰黄 2.5Y5/2。角閃石、白色粒子含む。口縁突出部。串状具による刺突文。加曽利 E3 式。	48	52	30
000218	深鉢	口縁部～胴部。焼成良好。若干ザラつく。黄褐色 2.5Y5/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。器面の風化が進む。口縁部文様帯は巾 1.3cm の隆線による渦巻文。胴部は地文に単節 RL の斜行縄文を縦位に施文、巾 6mm の沈線 3 条対によって縦位区画。加曽利 E3 式。	48	52	30
000219	深鉢	口縁部。焼成良好。浅黄 2.5Y7/4。石英、角閃石、岩片、白色粒子含む。口縁部文様帯は隆線と沈線で区画、区画内には鱗状の圧痕文が充填される。胴部の地文には単節 RL の斜行縄文が縦位に施文され、巾 6mm の沈線によって縦位区画される。内面研磨。加曽利 E3 式。	48	52	30
000220	深鉢	口縁部。焼成良好。黄褐色 2.5Y5/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。口縁部文様帯は隆線と沈線で楕円区画、区画内には鱗状の圧痕文が充填される。加曽利 E3 式。	48	52	30
000221	深鉢	口縁部。焼成良好。浅黄 2.5Y7/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。口縁部は幅広の隆線と沈線で縦位区画。区画内には単節 RL の斜行縄文を縦位に充填。加曽利 E3 式。	48	52	31
000222	深鉢	胴部。焼成良好。浅黄 2.5Y7/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。巾 6mm の沈線 2 条対が垂下し、胴部を縦位区画。区画内には単節 RL の斜行縄文が充填され、縄文の上から巾 5mm の沈線が曲線を描いて下降する。加曽利 E3 式。	48	52	31
000223	深鉢	胴部。焼成普通。ザラついている。明黄褐色 10YR6/6。角閃石、岩片多量、白色粒子含む。地文に単節 RL の斜行縄文。巾 6mm の沈線 3 条対が垂下。加曽利 E3 式。	48	52	31
000224	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10Y R 6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。巾 1cm の隆線を横位に貼付し、下位に浅い沈線で区画された単節 LR の斜行縄文。加曽利 E3 式。	48	52	31
000225	深鉢	胴部上位～底部 1/2。焼成良好。にぶい黄褐色 120YR7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。巾 6mm の沈線 2 条対が垂下し、縦位区画。区画内には胴部上位から中位には単節 RL の斜行縄文を縦位施文。中位から下位にかけては絡条体圧痕文が充填される。加曽利 E3 式。	49	53	31
000226					
000227	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 120YR7/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。巾 6mm の沈線 2 条対が垂下し、胴部を縦位区画。区画内には 2 種類の原体によって単節 RL の斜行縄文が縦位に施文。加曽利 E3 式。	49	53	31
000228 ～ 000231	深鉢	胴部上位～底部 1/2。焼成良好。にぶい黄褐色 120YR7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。巾 6mm の沈線 2 条対が垂下し、縦位区画。区画内には胴部上位から中位には単節 RL の斜行縄文を縦位施文。中位から下位にかけては絡条体圧痕文が充填される。加曽利 E3 式。	49	53	31
000232	深鉢	胴部。焼成良好。ザラついている。明黄褐色 10YR7/6。白色粒子、黒色粒子含む。地文に単節 RL の斜行縄文を縦位に施文。加曽利 E3 式。	49	53	31
000233	深鉢	底部。焼成良好。にぶい黄褐色 10Y R 7/3。白色粒子、黒色粒子含む。沈線が 4 条垂下する。加曽利 E3 式。	50	54	31

14 号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000234	深鉢	胴部 1/3。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子。繊維多い。0 段多条の単節 LR と RL を縦位に施文し羽状縄文とする。現高 27.0cm。花積下層式。	52	55	32
000235	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。0 段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。花積下層式床直。	52	55	32
000236	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。にぶい黄褐色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は縦位の単節 LR、RL で菱形羽状縄文を構成。花積下層式。床直。	52	55	32
000237	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 RL を縦横に施文し縦位の羽状縄文を構成。花積下層式。	52	55	32

000238	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。口縁部には隆帯が伴う。口縁部には R と L を組み合わせた矢羽状の捺糸圧痕文が施文される。圧痕文には繩の閉端の環が見られる。花積下層式。	52	55	33
000239	深鉢	口縁部。焼成普通。若干ザラつく。明黄褐色 10YR7/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。口縁部には隆帯が伴う。口縁部 R と L を組み合わせた矢羽状の捺糸圧痕文。圧痕文には繩の閉端の環が見られる。胴部の地文には単節 RL の斜行縄文を縦位施文。花積下層式。	52	55	33
000240	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文に 0 段多条からなる単節 LR、RL を縦位に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	52	55	33
000241	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、岩片。繊維を含む。地文は全体的に不明瞭。単節 RL の斜行縄文を縦位で施文する。花積下層式。	52	55	33
000242	深鉢	胴部。焼成良好。明黄褐色 10YR7/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文に 0 段多条からなる単節 RL を縦・斜位に施文し、羽状縄文を構成。花積下層式。	52	55	33
000243	深鉢	胴部 1/3。焼成良好。褐色 7.5Y4/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文に 0 段多条の 2 種類の原体を用いる。単節 LR と単節 RL を交互に縦位で施文、縦位の菱形羽状縄文を構成。口縁部には隆帯が伴う。現高 30.8cm。花積下層式床直。	53	56	33
000244	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 5YR6/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文に単節 LR を縦位に施文。花積下層式。	53	56	33
000245	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。0 段多条からなる単節 RL を用いた縦羽状か。花積下層式。	53	56	33
000246	深鉢	底部。焼成良好。若干崩れやすい。にぶい黄褐色 10YR5/3。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。尖底形深鉢の底部。尖底最下部まで単節 LR、RL が縦位施文され、羽状縄文を構成。花積下層式。	53	56	33
000247	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。0 段多条の単節 RL を縦位に施文。花積下層式。	53	56	33
000248	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は 0 段多条からなる単節 RL の斜行縄文を縦位施文。花積下層式。	53	56	33
000249	深鉢	底部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/3。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。尖底形深鉢の底部。尖底最下部まで単節 LR、RL が縦位施文され、羽状縄文を構成。花積下層式。	53	56	33
000250	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。0 段多条からなる単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	53	56	33
000251	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文に 0 段多条の単節 LR と縦位の無節 Lr により羽状縄文を構成。花積下層式。	53	56	33
000252	深鉢	胴部。焼成普通。暗灰黄 2.5Y4/2。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文に単節 LR、RL の羽状縄文を縦位に施文する。花積下層式。	53	56	33
000253	深鉢	胴部。焼成普通。明黄褐色 10YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文に 0 段多条からなる単節 RL の斜行縄文を縦位に施文する。花積下層式。	53	56	33
000254	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。口縁部に単節の捺糸 Lr と RL を合わせて矢羽状の圧痕文を施文する。捺糸圧痕文の下位には 0 段多条からなる単節 LR の斜行縄文。花積下層式。	53	56	33
000255	深鉢	口縁部。焼成良好。明褐色 7.5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。口唇部に巾 1cm の隆帯。0 段多条の単節 LR、RL の羽状縄文。内面研磨。花積下層式。	53	56	33
000256	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。0 段多条からなる単節 LR、RL で縦位の菱形羽状縄文を構成。花積下層式。床直。	53	56	33
000257	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。0 段多条からなる単節 LR、RL を縦位に施文し、縦位の菱形羽状縄文を構成。花積下層式。	53	56	33
000258	深鉢	胴部。焼成普通。灰黄褐色 10YR4/2。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文に 0 段多条からなる単節 RL を縦位に施文し、羽状縄文を構成。花積下層式。	53	56	33
000259	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。底部に近い部分と思われ、単節 LR の斜行縄文が横位、斜位に施文される。花積下層式。	53	56	33
000260	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文に無節 RL と単節 RL が縦位に施文される。花積下層式。	53	56	33
000261	深鉢	胴部。焼成良好。明褐色 7.5YR5/6。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は 0 段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文を縦位に施文する。花積下層式。	53	56	33
000262	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/4。白色粒子、繊維を含む。地文に単節 RL の斜行縄文を縦位施文。花積下層式。	53	56	33
000263	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。0 段多条からなる単節 RL を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	53	56	33
000264	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 7.5YR7/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文に 0 段多条からなる単節 RL を縦横に施文し縦羽状を構成。花積下層式。	53	56	33

1 縄文土器観察表

000265	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/3。角閃石、白色粒子、繊維を含む。0段多条からなる単節 RL を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	53	56	33
000266	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YTR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。0段多条の単節 LR と縦位の無節 Lr を交互に施文し羽状縄文を構成。花積下層式。	53	56	33
000267	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/3。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文に0段多条からなる単節 RL を縦横に施文し縦羽状を構成。花積下層式。	53	56	33
000268	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄 2.5Y6/3。白色粒子、繊維を含む。地文に単節 RL を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	53	56	33
000269	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL を縦横に施文し、羽状縄文を構成。花積下層式。	53	56	33
000270	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR7/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文に単節 LR、RL を縦位に施文し、菱形羽状縄文を構成。花積下層式。	53	56	33
000271	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 5YR6/8。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維。花積下層式。	53	56	33
000272	深鉢	胴部。焼成普通。黄褐色 10YR5/8。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文に0段多条の単節 LR を縦位に施文する。花積下層式。	53	56	33
000273	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 7.5YR7/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文に0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文を施文する。花積下層式。	53	56	33
000274	深鉢	胴部。焼成良好。黒褐色 10YR3/1。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文に0段多条からなる単節 RL を縦横に施文し縦羽状を構成。花積下層式。	53	56	33

24号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000275	深鉢	胴部下位～底部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は無節 Lr、Rl の羽状縄文。復元底径 11.0cm。現高 10.5cm。黒浜式。	59	62	36
000276	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。角閃石、白色岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 LR、RL で菱形羽状縄文を構成。復元口径 29.0cm。現高 7.7cm。黒浜式。	59	62	36
000277	深鉢	口縁部。焼成普通。黒褐色 7.5YR3/1。角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。内面研磨。黒浜式。	59	62	36
000278	深鉢	口縁部。焼成良好。黒褐色 10YR3/1。角閃石、白色岩片、白色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。内面研磨。黒浜式。	59	62	36
000279	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄 2.5Y6/3。白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は0段多条からなる単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	59	62	36
000280					
000281	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR5/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。波状口縁。口唇部は隆帯状に突出。単節 LR の斜行縄文。縄の閉端の環が施文。黒浜式。	59	62	36
000282	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/4。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL による羽状縄文。内面研磨。黒浜式。	59	62	36
000283	深鉢	口縁部。焼成良好。黒褐色 5YR2/1。石英、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。地文に単節 RL の斜行縄文を施文する。口縁に沿って半截竹管による平行沈線 2 条封る。黒浜式。	59	62	36
000284	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文に巾 7.5mm の半截竹管による平行沈線文、コンパス文。黒浜式。	59	62	36
000285	深鉢	口縁部。焼成良好。暗灰黄 2.5Y5/2。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節 LR、RL で菱形羽状縄文を構成。復元口径 37.0cm。現高 17.7cm。黒浜式。	59	62	36
000286					37
000287	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR5/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。波状口縁。口唇部は隆帯状に突出。単節 LR の斜行縄文。縄の閉端の環を施文。281 と同一個体か。黒浜式。	59	62	37
000288					
000289 ～ 000294	深鉢	口縁部・胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。口縁に 2 対の貼付文。地文は巾 4～5mm の半截竹管による平行沈線文、コンパス文。黒浜式。	59	62	37
000295	深鉢	口縁部。焼成良好。暗灰黄 2.5Y5/2。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節 LR、RL による菱形羽状縄文。復元口径 37.0cm。現高 17.7cm。黒浜式。	60	63	37
000296					
000297	深鉢	口縁部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。波状口縁。地文は半截竹管による刺突文。黒浜式。	60	63	37
000298	深鉢	口縁部。焼成普通。崩れやすい。褐色 7.5Y4/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。器壁は薄く仕上げられる。波状口縁と思われる。口縁に沿って、半截竹管の先端を用いたと思われる刺突文が平行して連続する。存部に確認できるのは 3 条のみ。黒浜式。	60	63	37
000299	深鉢	295・296 と同一個体か。黒浜式。	60	63	37
000300	深鉢	口縁部。焼成普通。若干崩れやすい。にぶい赤褐色 5YR4/3。白色粒子、黒色粒子、岩片。繊維を含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	60	63	37
000301	深鉢	口縁部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	60	63	37

000302	深鉢	口縁部。焼成普通。黄褐色 2.54Y5/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	60	63	37
000303	深鉢	口縁部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	60	63	37
000304	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。明褐色 7.5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は附加条 1 種 LR + RI、RL + Lr によって菱形羽状縄文を構成。黒浜式。	60	63	37
000305					
000306					
000307	深鉢	口縁部。焼成普通。若干ザラつく。明褐色 7.5YR5/6。石英多量、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	60	63	37
000308	深鉢	口縁部。焼成良好。褐色 7.5YR4/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は無節 RI の斜行縄文。内面はよく研磨される。黒浜式。	60	63	37
000309 ~ 000314	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。明褐色 7.5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。附加条 1 種 LR + RI、RL + Lr によって菱形羽状縄文を構成。304-306 と同一個体か。黒浜式。	60	63	37
000315	深鉢	胴部。焼成良好。黒褐色 7.5YR3/3。角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。地文は附加条 1 種 RL + Lr の斜行縄文。黒浜式。	60	63	37
000316	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文に単節 RL の斜行縄文を施す。内面には煤が付着。被熱により一部赤色化。黒浜式。	60	63	37
000317	深鉢	胴部。焼成普通。暗褐色 7.5YR3/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は附加条 1 種 RL + Lr の斜行縄文。黒浜式。	60	63	37
000318	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。内面をよく研磨。地文は単節 LR、RL が菱形羽状縄文を構成。黒浜式。	60	63	37
000319	深鉢	胴部。焼成良好。褐色 7.5YR4/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	60	63	37
000320	深鉢	胴部。焼成良好。明褐色 7.5YR5/6。石英多量、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	61	64	37
000321	深鉢	胴部。焼成良好。黒褐色 10YR3/2。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	61	64	37
000322	深鉢	胴部。焼成良好。暗褐色 10YR3/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。0 段多条からなる単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	61	64	37
000323	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。0 段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。内面をよく研磨する。黒浜式床直。	61	64	38
000324					
000325	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 10YR4/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は 0 段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	61	64	38
000326	深鉢	胴部。焼成普通。赤褐色 5YR4/8。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	61	64	38
000327	深鉢	胴部。焼成良好。赤褐色 2.5YR4/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は巾 3mm の沈線文と半截竹管によると思われる刺突文。黒浜式。	61	64	38
000328	深鉢	胴部。焼成普通。暗褐色 7.5YR3/4。石英、角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。巾 5mm の半截竹管によるコンパス文があり、以下に同巾の平行沈線文を連続。黒浜式。	61	64	38
000329	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	61	64	38
000330	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR4/4。角閃石微量、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	61	64	38
000331	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	61	64	38
000332	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石多量、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	61	64	38
000333	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	61	64	38
000334	深鉢	胴部。焼成普通。若干崩れやすい。にぶい黄褐色 10YR5/3。白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	61	64	38
000335	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文は LR、RL に附加条縄文が付され羽状縄文を構成。黒浜式。	61	64	38
000336	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 2.5YR5/7。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文は附加条 1 種 RL + r の斜行縄文。黒浜式。	61	64	38
000337	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。巾 8mm の半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	61	64	38
000338					
000339	深鉢	胴部。焼成普通。赤褐色 5YR4/8。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は 0 段多条からなる単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	61	64	38

1 縄文土器観察表

000340	深鉢	胴部。焼成良好。赤褐色 5YR4/8。石英、角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。内面はよく研磨される。地文は無節 Lr、Rl の羽状縄文。黒浜式。	61	64	38
000341	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	61	64	38
000342	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/8。石英、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の菱形羽状縄文を構成。黒浜式。	61	64	38
000343	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。内面よく研磨する。黒浜式。	61	64	38
000344	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	61	64	38
000345	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は無節 Lr、Rl の羽状縄文。内面はよく研磨される。黒浜式。	61	64	38
000346	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	61	64	38
000347	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石多量、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	62	65	38
000348	深鉢	底部。焼成良好。赤褐色 5YR4/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文はわずかに単節 RL の斜行縄文が。底径 7.4cm。黒浜式。	62	65	38
000349	深鉢	胴部。焼成普通。黒褐色 2.5Y3/2。石英、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL によって菱形羽状縄文を構成。黒浜式。	62	65	38
000350	深鉢	底部。焼成普通。若干崩れやすい。にぶい黄褐色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 LR の斜行縄文が僅かに。黒浜式。	62	65	38
000351	深鉢	底部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/6。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は僅かに胴部に単節 RL の斜行縄文。底部内外面はよく研磨される。黒浜式。	62	65	38
000352	深鉢	胴部下位。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。底部は平底。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	62	65	38
000353	深鉢	胴部。焼成普通。黒褐色 2.5Y3/2。石英、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL によって菱形羽状縄文を構成。黒浜式。	62	65	38
000354	深鉢	胴部下位。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	62	65	38
000355	深鉢	胴部。焼成普通。明黄褐色 2.5Y7/6。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL が菱形羽状縄文を構成。黒浜式。	62	65	38
000356	深鉢	口縁部～胴部中位 1/4。焼成良好。浅黄 2.5Y7/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。内面は被熱によって赤色化。地文は附加条 1 種 LR + Rl、RL + Lr によって菱形羽状縄文を構成。黒浜式。	62	65	38
000357					
000358					
000359	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	62	65	38
000360	深鉢	356-358 と同一個体。	62	65	38
000361	深鉢	口縁部。焼成普通。暗灰黄 2.5Y4/2。石英多量、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は附加条 1 種 LR + Lr、RL + Lr が羽状縄文を構成。黒浜式。	62	65	39
000362	深鉢	口縁部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。石英多量、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は不明瞭だが、それぞれ単節 LR、RL に附加条縄文が付される。黒浜式。	62	65	39
000363	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 10YR4/4。石英多量、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は附加条 1 種 LR + Lr、RL + Lr によって菱形羽状縄文を構成。黒浜式。	62	65	39
000364					
000365	深鉢	胴部中位 1/3。焼成良好。明褐色 7.5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	62	65	39
000366	深鉢	口縁部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。石英多量、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は不明瞭だが、それぞれ単節 LR、RL に附加条縄文が付される。黒浜式。	63	66	39
000367					
000368	深鉢	口縁部。焼成良好。灰黄褐色 10YR4/2。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は附加条 1 種で、単節 RL + Lr の斜行縄文を施文する。黒浜式。	63	66	39
000369	深鉢	頸部。焼成普通。灰黄褐色 10YR4/2。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は附加条 1 種 LR + Lr の斜行縄文を施文する。黒浜式。	63	66	39
000370	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は不明瞭だが、それぞれ単節 LR、RL に附加条縄文が付される。黒浜式。	63	66	39
000371	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。単節 LR、RL が菱形羽状縄文を構成。黒浜式。	63	66	39
000372	深鉢	口縁部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。波状口縁。地文は巾 7mm の半截竹管による平行沈線文。諸磯 a 式。	63	66	39
000373					

第8章 遺物観察表

000374	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。灰黄褐色 10YR4/2。石英、角閃石、白色粒子を含む。地文は平行沈線によって横位に区画され、区画内には単節 RL の斜行縄文、LR、RL の羽状縄文を区画ごとに施文。斜行縄文と羽状縄文では異なる原体が使われる。諸磯b式。	63	66	39
000375	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラつく。浅黄色 2.5Y7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子を含む。地文は巾 7.5mm ほどの半載竹管による押引文内に爪形文(刺突文)を充填。諸磯b式。	63	66	39
000376					
000377	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。灰黄褐色 10YR5/2。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子を含む。巾 5mm 程度の半載竹管による集合沈線、同心円文が施文されている。諸磯b式。	63	66	39
000378	深鉢	374 と同一個体。諸磯b式。	63	66	39
000379					

25号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000380	深鉢	胴部中位 1/3。焼成良好。暗赤褐色 5YR3/3。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。存部上位には巾 5.5mm の半載竹管による集合沈線。単節 LR、RL の羽状縄文。内面はよく研磨される。現高	67	69	41
000381	深鉢	口縁部～胴部中位 1/2。焼成良好。橙色 5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子。繊維多い。胴部歪む。単節 LR の斜行縄文。復元口径 24.0cm。現高 19.0cm。黒浜式。床直。	67	69	41
000382	深鉢	胴部。焼成良好。明黄褐色 10YR6/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾 1cm の半載竹管によって、平行沈線文と鋸歯状文が施文される。有尾式。	67	69	41
000383	深鉢	胴部。焼成良好。褐色 7.5YR4/3。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。有尾式。	67	69	41
000384	深鉢	口縁部。焼成良好。暗灰黄 2.5Y5/2。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。有尾-黒浜式。	67	69	41
000385	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR5/4。石英、岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は巾 8.0mm の半載竹管による平行沈線文、渦巻文。黒浜式。	67	69	41
000386	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は無節 Lr、Rl の羽状縄文。閉端の縄の環が見られる。有尾-黒浜式。	67	69	41
000387	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/4。白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文で、巾 4mm の半載竹管による平行沈線文 2 条対によって横位区画される。黒浜式。	67	69	41
000388	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラついている。にぶい褐色 7.5YR5/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。無節 Rl の斜行縄文を横位及び縦位に施文しているものと思われる。有尾式。	67	69	41
000389	深鉢	底部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。復元底径は 12.0cm。有尾-黒浜式。	67	69	41
000390	深鉢	底部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。底部は径が小さく、器壁も 6mm とかなり薄いつくり。有尾-黒浜式。	67	69	41
000391	深鉢	底部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。上げ底状。僅かになる地文は単節 RL の斜行縄文。底部径 8.0cm。現高 3.8cm。有尾-黒浜式。	67	69	41
000392	深鉢	胴部下位。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/2。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。有尾-黒浜式。	67	69	41
000393	深鉢	胴部。焼成良好。浅黄 2.5Y7/4。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。有尾式床直。	67	69	42
000394	深鉢	胴部。焼成良好。暗灰黄 2.5Y5/2。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。有尾式。	67	69	42
000395	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/3。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は無節 Lr、Rl の羽状縄文。有尾-黒浜式。	67	69	42
000396	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。有尾-黒浜式。	67	69	42
000397	深鉢	口縁部・胴部。焼成普通。浅黄褐色 10YR8/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。文様やや不明瞭。地文は無節 Lr、Rl の羽状縄文。内面はよく研磨される。有尾-黒浜式。	67	69	42
000398					42
000399	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/3。白色粒子、繊維を含む。地文は無節 Lr、Rl の羽状縄文。有尾-黒浜式。	67	69	42
000400	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。有尾-黒浜式。	68	70	42
000401	深鉢	胴部下位～底部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。胴部は緩やかに反単節 RL の斜行縄文。有尾-黒浜式。	68	70	42
000402	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。有尾-黒浜式。	68	70	42

1 縄文土器観察表

000403	深鉢	口縁部～胴部下位 1/2。焼成良好。堅く焼き締まっている。にぶい黄褐色 10YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維含む。全体的に歪む。胴中に最大幅。単節を下地として部分的に0段多条の縄文を施文。単節 LR、RL で菱形の羽状縄文を構成。有尾式。床面直上。	68	70	42
000404	深鉢	口縁部～胴部中位 1/2。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節を下地として部分的に0段多条の縄文を施文し、単節 LR、RL の菱形羽状縄文を構成。有尾式。床面直上からの出土。	68	70	42

26号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000405	深鉢	口縁部。焼成普通。明黄褐色 10YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。波状口縁。波状の頂点に当たる外面に棒状の貼付文。地文は単節 RL の斜行縄文。口縁部に沿って、巾5mm の沈線文が3条平行に走る。黒浜式。	72	73	44
000406	深鉢	口縁部。焼成良好。灰褐色 5YR4/2。石英、白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。巾5mm の半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	72	73	44
000407	深鉢	底部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/3。角閃石、黒色粒子、繊維を含む。接地面はよく研磨される。存部が少ないため不明瞭だが、単節 LR が確認できる。黒浜式。	72	73	44
000408	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。角閃石多量、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	72	73	44
000409					
000410	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。巾1cm の半截竹管による平行沈線文。直径5mm の小さなボタン状貼付文。黒浜式。	72	73	44
000411	深鉢	口縁部～胴下位。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒、繊維含む。無節 Lr、Rl の羽状縄文。口縁部に穿孔。復元口径 25.0cm。現高 21.2cm。有尾-黒浜式。埋甕。	73	74	44

27号住居

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000412 ～ 000415	深鉢	口縁部。焼成良好。堅く焼き締まる。褐色 10YR4/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。波状口縁。無節 Lr、Rl が菱形羽状縄文を構成。黒浜式床直。	76	77	46
000416	深鉢	胴部。焼成普通。暗褐色 10YR3/3。角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	76	77	46
000417	深鉢	胴部。焼成良好。明褐色 7.5YR5/8。石英多量、岩片、白色粒子、繊維を含む。単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	76	77	46
000418	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/4。岩片多量、白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。単節 LR の斜行縄文。巾8mm の半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	76	77	46
000419	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。器面は風化等による摩滅が著しい。附加条による羽状縄文。黒浜式。	76	77	46
000420					
000421	深鉢	口縁部。焼成普通。暗褐色 10YR3/3。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。口縁部に沿って巾6mm の半截竹管によるコンパス文。黒浜式。	76	77	46

4号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000422	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子。繊維多く含む。単節 LR、RL の羽状縄文。口縁に沿って巾8mm の半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	78	79	47
000423					
000424	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。口縁に沿って巾8mm の半截竹管による平行沈線文黒浜式。	78	79	47

6号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000425	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR5/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	78	79	47
000426	深鉢	胴部。焼成良好。褐色 7.5YR4/4。石英、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	78	79	47
000427	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR4/3。白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	78	79	47
000428	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。巾6.5mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填。黒浜式。	78	79	47
000429	深鉢	頸部。焼成良好。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。巾1.2cm と 8mm の隆線が平行に走る。加曾利 E 式。	78	79	47
000430	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラつく。明黄褐色 10YR6/6。角閃石、岩片多量、白色粒子含む。器壁は薄く、内面はよく研磨される。隆線。加曾利 E 式。	78	79	47

第8章 遺物観察表

000431	深鉢	胴部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/6。岩片、黒色粒子、繊維を多く含む。存も少なく、文様は不明瞭。黒浜式。	78	79	47
000432	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	78	79	47
000433	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、白色粒子、繊維を含む。単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	78	79	47

7号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000434	深鉢	口縁部。焼成普通。暗褐色 10YR3/3。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。波状の沈線文。黒浜式。	79	81	48
000435	深鉢	口縁部。焼成良好。橙色 5YR6/8。角閃石微量、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾5mmの半截竹管による平行沈線文の集合によって、菱形モチーフを構成。口縁に穿孔。黒浜式。	79	81	48
000436	深鉢	胴部。焼成良好。暗褐色 7.5YR3/4。石英、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	79	81	48
000437	深鉢	胴部。焼成良好。暗赤褐色 5YR3/6。白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。巾6mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	79	81	48
000438	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR4/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。波状口縁。地文は単節 RL の斜行縄文。巾7mmの半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	79	81	48
000439	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/6。角閃石、岩片多量、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。巾7mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填。黒浜式。	79	81	48
000440	深鉢	胴部。焼成良好。明褐色 7.5YR5/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾5mmの半截竹管による平行沈線文の集合で、菱形モチーフを構成。黒浜式。	79	81	48

9号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000441	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/4。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は無節 Lr、RL の羽状縄文。櫛歯状工具による波状文。花積下層式。	80	82	48
000442	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。石英多量、白色粒子、繊維を多く含む。地文は0段多条からなる単節 LR の斜行縄文を縦位に施文。花積下層式。	80	82	48
000443	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR7/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文を縦位に施文する。花積下層式。	80	82	48

11号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000444	深鉢	胴部下位。焼成普通。明黄褐色 10YR6/6。角閃石多量、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。文様不明瞭。単節 LR、RL の羽状縄文が縦位に施文される。花積下層式。	80	82	48
000445	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR4/4。石英、白色粒子、黒色粒子含む。巾3mmの半截竹管によって、木の葉文が構成される。文様内には RL が施文される。諸磯 a 式。	80	82	48

12号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000446	深鉢	口縁部。焼成良好。堅く焼き締まる。褐色灰 10YR4/1。角閃石、白色粒子含む。波状口縁。口縁部は隆線と沈線によって渦巻文と楕円区画を構成。楕円区画内には単節 RL の斜行縄文が横位に施文される。僅かに胴部には、2条対の沈線が縦位に垂下。加曾利 E3 式。	80	82	49
000447	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 7.5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子含む。巾6.5mmの沈線2条対で縦位区画。区画内は単節 RL の斜行縄文を縦位施文、曲線の沈線を垂下。加曾利 E 式。	80	82	49
000448	深鉢	胴部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。巾5mmの沈線が3条対で垂下する。地文は単節 RL の斜行縄文が縦位に施文される。加曾利 E 式。	81	83	49
000449	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR7/4。石英、角閃石、白色粒子を含む。口縁部の文様帯には隆線と沈線によって渦巻文、楕円形区画を構成。楕円形区画内には単節 RL の斜行縄文が横位に施文され、胴部には、単節 RL が縦位に施文される。加曾利 E 式。	81	83	49

13号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000450	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。口唇部は内折する。波状口縁。地文は単節 RL の斜行縄文で、口縁に沿って集合沈線が走る。ほぼ欠損するが、穿孔が施される。黒浜式。	81	83	49
000451	深鉢	胴部。焼成良好。堅く焼き締まる。褐色灰白 10YR6/1。石英、角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。地文は附加条1種 RL + Lr の斜行縄文。黒浜式。	81	83	49

1 縄文土器観察表

14号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000452	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は不明瞭。単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	81	83	49
000453	深鉢	口縁部。焼成普通。黒褐色 2.5Y3/2。白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	81	83	49
000454	深鉢	口縁部。焼成普通。若干ザラつく。灰黄 2.5Y7/2。角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	81	83	49

15号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000455	深鉢	口縁部～胴部上位。焼成良好。灰黄 2.5Y7/2。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。口縁は隆線と沈線によって楕円区画を構成。区画内無文。文様帯における縄文は単節 RL の斜行縄文。胴部は沈線が2条対で垂下し、単節 RL を縦位施文。加曽利 E 式。	82	85	49
000456	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。にぶい黄 2.5Y6/4。石英、角閃石、白色粒子含む。地文は縦位の単節 RL の斜行縄文。巾5mmの沈線2条対で胴部を縦位区画。加曽利 E 式。	82	85	49

16号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000457	深鉢	胴部。焼成普通。ザラつく。浅黄 2.5Y7/4。石英、角閃石、白色粒子含む。上位の割れ口は摩滅しており、埋甕等の可能性あり。沈線が2条対で垂下する。加曽利 E 式。	82	85	50
000458	深鉢	口縁部。焼成良好。堅く焼き締まる。暗灰黄 2.5Y5/2。角閃石、白色粒子含む。口縁部は肥厚し、若干内湾する。存部は無文。加曽利 E 式。	82	85	50

17号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000459	深鉢	口縁部から胴部。焼成良好。若干ザラつく。黒褐色 10YR3/1。石英、角閃石多量、白色岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL によって菱形羽状縄文を構成。口縁部の内面はよく研磨されている。復元口径33.0cm。現高14.2cm。有尾式。	83	86	50
000460					
000461	深鉢	胴部。焼成普通。暗灰黄 2.5Y4/2。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾5mmの半截竹管による平行沈線文、コンパス文。黒浜式。	83	86	50
000462	深鉢	口縁部。焼成普通。黒褐色 10YR3/1。角閃石、白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を含む。口縁は僅かに内湾している。地文は絡条帯による網目状の捺糸文を施文している。黒浜式。	83	86	50
000463	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/8。角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	83	86	50
000464	深鉢	口縁部。焼成普通。若干ザラつく。明黄褐色 2.5Y7/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。波状口縁。地文は単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	83	86	50

18号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000465	深鉢	口縁部～胴部中位1/2。焼成良好。角閃石、白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を多く含む。波状口縁を有する。口縁部全体に、半截竹管によるコンパス文が充填される。胴部には無節 LR、RL の羽状縄文が施文される。胴部と口縁部の接合部は、擬似口縁状。黒浜式。	84	87	51
000466					
000467					
000468	深鉢	胴部。焼成良好。明褐色 7.5YR5/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	84	87	51
000469	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	84	87	51
000470					

20号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000471	深鉢	口縁部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。口縁部は若干内湾する。口縁に沿って、巾6mmの半截竹管による平行沈線文が2条施され、沈線内には爪形文が充填される。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	85	89	51

22号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000472	深鉢	口縁部。焼成良好。橙色 5YR6/8。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を多く含む。波状口縁をもつ小振りの深鉢。口縁部は若干内湾する。地文は巾5mmの半截竹管による平行沈線文2条対によって横位区画される。波状口縁の突出部においては同じく縦位に区画される。区画内には同巾のコンパス文が横位に施文される。黒浜式。	86	90	52
000473					

第8章 遺物観察表

000474	深鉢	胴部下位。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黑色粒子、繊維を含む。底部との接合部で破損。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。有尾式。	86	90	52
000475	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、黑色粒子を含む。繊維を含む。地文は附加条 1 種で、単節 LR + RI、RL + Lr により、羽状縄文を構成。有尾式。	86	90	52
000476	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/3。石英、角閃石、白色粒子、黑色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。有尾式。	86	90	52

24号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000477	深鉢	胴部。焼成良好。黄褐色 10YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黑色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。有尾式。	87	91	52
000478					
000479					

25号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000480	深鉢	底部。焼成良好。明褐色 7.5YR5/6。角閃石、白色粒子、黑色粒子、繊維を含む。接地面は被熱し硬化。黒浜式。	87	91	53
000481	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR6/4。白色粒子、黑色粒子、繊維を多く含む。単節 LR、RL の羽状縄文に巾 5mm の半截竹管による平行沈線文 3 条を横位に施文。沈線内に爪形文を充填。黒浜式。	87	91	53
000482	深鉢	胴部。焼成良好。赤褐色 5YR4/8。石英、白色粒子、黑色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 RL の斜行縄文。巾 5mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文が充填される。黒浜式。	87	91	53
000483	深鉢	胴部下位。焼成良好。明赤褐色 5YR5/8。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	87	91	53
000484	深鉢	胴部。焼成良好。灰褐色 7.5YR4/2。石英、白色粒子、赤色粒子、繊維を多く含む。単節 RL の斜行縄文。巾 5mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文をやや雑に刺突。黒浜式。	88	93	53
000485	深鉢	口縁部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黑色粒子、繊維を含む。地文は無節 RI の斜行縄文。黒浜式。	88	93	53

26号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000486	深鉢	胴部。焼成普通。黒褐色 5YR3/1。白色粒子、黑色粒子、繊維を多く含む。地文は巾 8mm の半截竹管による沈線文。黒浜式。	88	93	53

29号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000487	深鉢	胴部。焼成良好。明褐色 7.5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黑色粒子、繊維を多く含む。地文には単節 LR、RL の羽状縄文を施文する。巾 5mm 程度の半截竹管による平行沈線文内に爪形文が充填される。爪形文は Lr と RI の境で左右対称に施文されている。黒浜式。	89	94	54
000488 ～ 000496	深鉢	口縁部～胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR4/4。石英、角閃石、白色粒子、黑色粒子、赤色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。巾 5.5mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	89	94	54
000492	深鉢	胴部。焼成普通。黄褐色 2.5Y5/3。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	89	94	54
000493	深鉢	口縁部。焼成普通。暗褐色 10YR3/3。白色粒子、黑色粒子を含む。繊維を含む。地文は巾 4mm ほどの半截竹管による沈線文によって、肋骨文状のモチーフが構成される。黒浜式。	89	94	54
000497	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR4/3。白色粒子、黑色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。内面はよく研磨される。黒浜式。	89	94	54
000498	深鉢	口縁部～胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、黑色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。胴部と口縁の境界、口縁沿いに巾 6mm の半截竹管による平行沈線文を 2 条対で施文。平行沈線間には爪形文を充填。黒浜式。	89	94	54
000499	浅鉢	口縁部～底部。焼成良好。明褐色 7.5YR5/6。角閃石、白色粒子、黑色粒子を含む。繊維を多く含む。波状口縁。口縁と体部の境界に隆線文を一条貼付。復元口径 26cm。現状での高さ 16.1cm。有尾式。	89	94	54

33号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000500	深鉢	口縁部 1/3。焼成普通。若干ザラつく。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、岩片多量、白色粒子、黑色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。有尾式。	91	97	55

1 縄文土器観察表

34号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000501	深鉢	口縁部。焼成良好。堅く焼き締まっている。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石を多量に含む。白色岩片、白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を含む。単節 LR、RL を施文することにより、菱形羽状縄文を構成地文をなす。復元口径 36.4cm。現高 14.2cm。有尾式。	91	97	55
000502	深鉢	胴部。焼成普通。暗褐色 7.5YR3/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子。繊維多い。0 段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。巾 7mm の半截竹管によるコンパス文。黒浜式。	91	97	56
000503	深鉢	底部。焼成良好。ザラついている。にぶい黄褐色 7.5YR7/4。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。平底で器壁は比較的薄い。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。復元底径 12.6cm。現高 6.2cm。黒浜式。	91	97	56
000504	深鉢	口縁部。焼成良好。褐色 7.5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。波状口縁。巾 6～7mm の半截竹管による集合沈線。コンパス文。黒浜式。	91	97	56
000505	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR3/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を多く含む。巾 5mm 程度の半截竹管による平行沈線文及びコンパス文を施文する。黒浜式。	91	97	56
000506	深鉢	底部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR の斜行縄文。有尾式。	91	97	56
000507	深鉢	胴部。焼成普通。暗褐色 10YR3/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は無節 RL の斜行縄文。黒浜式。	92	98	56
000508	深鉢	胴部。焼成普通。赤褐色 5YR4/6。石英、角閃石、白色粒子を含む。繊維を含む。附加条 1 種 RL + r を縦横方向に施文することにより、地文となる羽状縄文を構成している。有尾式。	92	98	56
000509	深鉢	胴部。焼成普通。暗褐色 10YR3/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	92	98	56
000510	深鉢	胴部。焼成良好。褐色 7.5YR4/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	92	98	56
000511	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。器面は風化が進む。有尾式。	92	98	56
000512	深鉢	胴部。焼成普通。灰褐色 7.5YR4/2。角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 RL の斜行縄文。有尾式。	92	98	56
000513	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を多く含む。地文に 0 段多条からなる単節 LR の斜行縄文を施文する。花積下層式。	92	98	56
000514	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。角閃石多量、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。有尾式。	92	98	56
000515	深鉢	胴部。焼成普通。明黄褐色 10YR7/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を多く含む。地文は単節 LR 及び RL を施文することにより羽状縄文を構成している。黒浜式。	92	98	56
000516	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラつく。にぶい黄褐色 10YR5/3。角閃石多量、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。土製円盤か。黒浜式。	92	98	56
000517	深鉢	胴部。焼成良好。褐色 7.5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。口縁部の割れ口に縄文がある。黒浜式。	92	98	56

41号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000518	深鉢	胴部下位。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、岩片少量、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。底部は平底。地文は無節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	94	101	57
000519	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	94	101	57

48号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000520	深鉢	口縁部。焼成普通。若干ザラつく。にぶい黄褐色 10YR6/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文はやや不明瞭だが、単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	96	103	58
000521	深鉢	口縁部。焼成良好。若干ザラつく。灰黄褐色 10YR5/2。白色粒子、繊維を多く含む。口縁部に巾 8mm の穿孔。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	96	103	58
000522	深鉢	口縁部～胴部上位 1/2。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR5/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維含む。4 単位波状口縁。緩やかに内湾するキャリパー形。地文は 0 段多条からなる単節 LR、RL による菱形羽状縄文。波状口縁の単位にあたる部分で縄文が切り替わるが、施文単位の境界には、不明瞭な沈線が垂下。巾 5mm の半截竹管による平行沈線文が口縁に沿って 2 条対、胴部に 1 条施文。沈線内には爪形文を充填。黒浜式。	96	103	58
000523					
000524	深鉢	胴部下位。焼成普通。橙色 5YR6/6。角閃石少量、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	96	103	58
000525					
000526					

000527	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。内面研磨。黒浜式。	96	103	58
000528					
000529	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	96	103	58
000530	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を多く含む。地文は0段多条からなる単節 RL。内面はよく研磨される。黒浜式。	96	103	58
000531	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は0段多条からなる単節 LR。内面はよく研磨される。黒浜式。	96	103	58

49号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000532	深鉢	底部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。角閃石、白色粒子、赤色粒子を含む。繊維を含む。地文は単節 LR と RL による羽状縄文。復元底径 7.0cm。現高 2.8cm。黒浜式。	97	105	59
000533	深鉢	口縁部～胴部。焼成良好。堅く焼き締まる。黒褐色 5YR3/1。角閃石、白色粒子、赤色粒子。繊維多い。口縁緩やかに内湾。単節 LR、RL の羽状縄文。口縁に沿って巾 6mm の半截竹管による平行沈線文 2 条対。沈線内に爪形文を充填。黒浜式。	97	105	59
000534					
000535	深鉢	口縁部～胴部中位 2/3。焼成良好。焼き締まる。暗赤褐色 5YR3/4。角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維含む。小振りの深鉢で、復元口径は 17.4cm ほど。現状での高さ 14.5cm。地文は単節 LR、RL による羽状縄文が器面全体に充填される。黒浜式。	97	105	59

51号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000536	深鉢	胴部。焼成良好。ザラついている。明黄褐色 10YR6/6。角閃石、岩片を多量に含む。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾 4mm ほどの沈線 2 条対が垂下して、胴部を縦位に区画する。区画内には単節 RL の斜行縄文が横位、縦位に施文されている。加曾利 E 式。	97	105	59
000537	深鉢	胴部。焼成良好。灰黄褐色 10YR5/2。角閃石、白色粒子を含む。単節 RL の斜行縄文を縦位に施文。巾 4mm ほどの沈線 2 条対が垂下して胴部を縦位に区画。加曾利 E 式。	97	105	59

53号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000538	深鉢	口縁部。焼成良好。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。波状口縁。地文は無節 LR、RL の羽状縄文。有尾式。	98	107	60
000539	深鉢	胴部。焼成良好。褐色 10YR4/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節 LR の斜行縄文。巾 5.5mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填。有尾式。	98	107	60
000540	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラつく。にぶい黄橙色 10YR5/3。白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。有尾式。	98	107	60

56号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000541	深鉢	胴部中位～底部。焼成良好。にぶい赤褐色 2.5YR4/3。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。底部は平坦で上げ底。全体に若干歪みが見られる。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。胴部で縄文が切り替わる 2 箇所において、破線が 1 条垂下する。施文のための分割線か。底径 11.0cm。現高 16.9cm。黒浜式。	99	108	60
000542	深鉢	胴部。焼成良好。褐色 7.5YR4/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。内面はよく研磨されている。0段多条からなる単節 LR の斜行縄文を地文としている。黒浜式。	99	108	60
000543	深鉢	胴部。焼成良好。赤褐色 5YR4/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。内面はよく研磨される。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	99	108	60
000544	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR4/3。白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。内面はよく研磨される。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	99	108	60
000545	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾 6.5mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填。また集合沈線によって菱形モチーフを構成。黒浜式。	99	108	60
000546	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	99	108	60
000547	深鉢	胴部。焼成良好。堅く焼き締まる。黒褐色 10YR3/2。角閃石、白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を含む。巾 7mm ほどの半截竹管による平行沈線文を施文している。黒浜式。	99	108	60
000548	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/3。角閃石、白色粒子、繊維を含む。巾 6mm の半截竹管による平行沈線文とコンパス文。黒浜式。	99	108	60

1 縄文土器観察表

53号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000549	深鉢	胴部下位から底部にかけてっている。焼成良好。明黄褐色 10YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維含む。底部上げ底気味。胴部は細い円筒形。器壁は薄い。単節 LR、RL の菱形羽状縄文。胴下位に巾2cm で縄文を磨り消し、巾5mm の半截竹管で平行沈線3条を施文。沈線内には爪形文を充填。底径8.0cm。現高12.2cm。黒浜式。	99	108	60
000550	深鉢	胴部中位～底部。焼成良好。堅く焼き締まる。浅黄 2.5Y7/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。底部は平坦。地文は単節 LR、RL が菱形羽状縄文を構成。底径11.5cm。現高18.2cm。有尾式。	99	108	60
000551	深鉢	胴部中位～底部。焼成良好。若干崩れやすい。褐色 7.5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を多く含む。地文は0段多条からなる単節 LR、RL が菱形羽状縄文を構成。底部接地面はよく研磨される。底径15.0cm。現高14.7cm。有尾式。	99	108	60

58号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000552	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR6/4。白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を含む。単節 RL の斜行縄文。巾5mm の半截竹管による平行沈線文が1条施文される。黒浜式。	100	109	61
000553	深鉢	口縁部 3/4。焼成良好。黒褐色 10YR3/1。石英、白色粒子を含む。繊維を含む。口縁部はラップ状に開く。地文は単節 LR、RL により羽状縄文を構成。黒浜式。	100	109	61
000554	深鉢	口縁部。焼成良好。堅く焼き締まる。赤褐色 5YR4/6。白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文を施文。内面はよく研磨される。黒浜式。	100	109	61
000555	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。巾5mm の半截竹管による平行沈線文の横位区画内に鋸歯文が施文される。黒浜式。	100	109	61
000556	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR5/4。角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維含む。巾4mm の半截竹管による斜位の集合沈線と交差して縦位に1条平行沈線文。黒浜式。	100	109	61

63号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000557	深鉢	胴部。焼成普通。若干崩れやすい。暗赤褐色 5YR3/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL が菱形羽状縄文を構成。有尾式。	101	111	62
000558	深鉢	口縁部～胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR5/4。石英、岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	101	111	62
000559					
000560	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。巾5mm の半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	101	111	62

64号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000561	深鉢	底部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。器壁は薄く、底部は平底。黒浜式。	101	111	62

67号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000562	深鉢	胴部。焼成普通。明黄褐色 10YR7/6。角閃石、岩片多量、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。器壁は厚みがある。地文は単節 RL の斜行縄文。縄文の上から櫛歯状具による平行沈線文を施文。諸磯b式。	102	113	62

69号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000563 ～ 000567	深鉢	口縁部～胴部。焼成不良浅黄橙色 10YR8/4。石英多量、角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子含む。地文は0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。有尾式。	102	113	63
000568 000569 000570	深鉢	胴部。焼成良好。浅黄橙色 7.5Y8/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。有尾式。	102	113	63
000571	深鉢	胴部。焼成普通。明黄褐色 10YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR、RL の縦位施文で羽状縄文を構成。花積下層式。	103	115	63
000572 000573 000574	深鉢	胴部下位。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR、RL の縦位施文で羽状縄文を構成。花積下層式。	103	115	63

第8章 遺物観察表

000575	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、石英、岩片多量、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。0段多条からなる単節 RL を縦位文。花積下層式。	103	115	63
--------	----	-------------------------------------------------------------------------------------	-----	-----	----

71号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000576	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子含む。無節 Lr、Rl の羽状縄文。諸磯式。	103	115	63
000577	深鉢	胴部。焼成普通。灰黄色 2.5Y6/2。黒色粒子、白色粒子含む。単節 RL の斜行縄文。諸磯式。	103	115	63

73号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000578	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子含む。単節 LR の斜行縄文。諸磯 b 式。	103	115	64
000579	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子含む。集合沈線。諸磯 b 式。	103	115	64

76号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000580	浅鉢	口縁部～底部 1/2。焼成良好。暗赤褐色 5YR3/3。石英、角閃石、岩片、白色粒子、繊維を含む。内外面研磨。無文。口縁部復元最大幅 38.0cm。現高 12.5cm。有尾式。	104	117	64

77号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000581	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄 2.5Y6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。縦方向の隆帯が貼付される。若干不明瞭だが半截竹管による沈線と、爪形文が施文される。黒浜式。	104	117	64

78号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000582	深鉢	胴部下位 1/2～底部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR7/3。石英、角閃石多量、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。底部は厚みを持つ。全体に被熱の痕跡が見られ、割れ口にも痕跡が見られることから破損後に火を受けたものと思われる。地文は単節 RL の斜行縄文で、底部に近い一部では縦位に施文される。底径 7.7cm。現高 22.6cm。前期後半。	105	118	65

84号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000583	浅鉢	口縁部。焼成普通。褐色灰 10YR4/1。白色岩片、白色粒子、黒色粒子含む。口縁はほぼ水平になるまで内湾し、口縁に沿って径 4mm の穿孔が連続する。諸磯 b 式。	106	119	65
000584					

100号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000585	深鉢	底部～胴部下位。焼成普通。若干崩れやすい。橙色 5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。器壁は厚みがある。地文は 0 段多条からなる単節 LR、RL が羽状縄文を構成。底部接地面にも縄文が施文される。底部径 9.2cm。現高 6.3cm。前期前半。	109	125	68
000586					
000587					

111号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000588	深鉢	胴部。焼成普通。灰黄褐色 10YR4/2。岩片、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。巾 5mm の半截竹管による平行沈線文、コンパス文。黒浜式。	110	126	69
000589	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	110	126	69

112号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000590	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/3。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。胴部に文様の分割線と思われる細い沈線が一条垂下する。沈線から左右対称に巾 5mm の半截竹管による平行沈線文が施文され、沈線内に爪形文を充填する。黒浜式。	110	126	69

117号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000591	深鉢	口縁部。焼成普通。黄褐色 2.5Y5/3。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	111	127	70

1 縄文土器観察表

000592	深鉢	口縁部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は 8.5mm の半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	111	127	70
000593 000594	深鉢	口縁部～胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は 8.5mm の半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	111	127	70

118 号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000595	深鉢	底部。焼成良好。褐色 10YR4/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。尖底の深鉢。存部に文様は見られず、器面はよく研磨される。田戸下層式。	112	129	70

119 号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000596	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。石英多量、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は 5mm の半截竹管による平行沈線文。早期半頃。	112	129	70

123 号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000597	深鉢	胴部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL が羽状縄文を構成。黒浜式。	113	131	71
000598	深鉢	胴部。焼成普通。灰褐色 7.5YR4/2。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	113	131	71
000599	深鉢	胴部。焼成普通。黄灰 2.5Y5/1。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。内面は被熱によって赤色化。地文は単節 RL の斜行縄文。黒浜式。	113	131	71

124 号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000600 000601	深鉢	胴部下位。焼成普通。若干崩れやすい。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子を含む。繊維を含む。地文は単節 LR、RL により菱形羽状縄文を構成。黒浜式。	113	131	71
000602	深鉢	口縁部。焼成良好。黒褐色 10YR3/1。石英、岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾 1cm の半截竹管による平行沈線文。黒浜式。604 と同一個体。	113	131	71
000603	深鉢	口縁部。焼成普通。灰褐色 5YR4/2。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾 6mm の半截竹管による横位、斜位平行沈線文。口唇部は外反し、細かな刻み目がある。黒浜式。	113	131	71
000604	深鉢	602 と同一個体。	113	131	71

136 号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000605	深鉢	胴部。焼成普通。灰褐色 7.5YR4/2。石英、角閃石、岩片、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	115	134	73
000606	深鉢	胴部下位。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR4/3。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	115	134	73
000607	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/4。石英、白色粒子を含む。繊維を含む。波状口縁の深鉢片。地文は 0 段多条からなる単節 LR、RL で羽状縄文を構成。黒浜式。	115	134	73

137 号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000608	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	115	134	73
000609	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は 0 段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。黒浜式。	115	134	73
000610	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子を含む。繊維を含む。地文は附加条 1 種 LR + RL、RL + Lr によって羽状縄文を構成している。黒浜式。	116	135	73
000611	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。附加条 1 種が羽状縄文を構成。施文単位の境には細い沈線が横位に 1 条走る。黒浜式。	116	135	73

139 号土坑

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000612 ～ 000616	深鉢	胴部中位。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は無節 Lr、Rl が菱形羽状縄文を構成。黒浜式。	116	135	74

1号埋設土器

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000617	深鉢	口縁部～胴部中位2/3。焼成良好。焼き締まる。にぶい黄橙色10YR7/4。石英、角閃石、岩片多量、白色粒子含む。口縁部は隆線と沈線で渦巻文、楕円区画を構成。楕円区画内は単節RL横位、一部縦位に施文。胴部巾8mmの沈線が2条対で垂下し縦位区画。区画内に単節RLを縦位施文。内面研磨。口径18.7cm。現高17.6cm。加曾利E式。	117	137	74

2号埋設土器

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000618	深鉢	口縁一部欠損。焼成良好。にぶい橙色7.5YR6/4。石英多量、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。口縁外傾し、頸部、胴部は括れる。底部僅かに上げ底。単節LR、RLの菱形羽状縄文。口縁部1箇所穿孔。口径39.8cm。底径11.9cm。器高42.4cm。有尾式。	117	137	74

遺構外出土縄文土器

遺物番号	器形	存・胎土・色調・観察所見等	図	頁	PL
000619	深鉢	口縁部。焼成普通。浅黄2.5Y7/4。石英、軽石粒、白色粒子、黒色粒子含む。波状口縁。口縁部に沿って刺突文3列。刺突文列間に単節RLの原体を押圧。内面に条痕文。茅山上層式。	124	149	76
000620	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色7.5YR6/3。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000621	深鉢	胴部。焼成普通。橙色7.5Y6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLが羽状縄文を構成。花積下層式。	124	149	76
000622	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色10YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文を縦位に施文。花積下層式。	124	149	76
000623	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色10YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文を縦位に施文する。花積下層式。	124	149	76
000624	深鉢	胴部上位。焼成普通。にぶい黄2.5Y6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文を縦位に施文する。口縁部隆帯の直下に当たると思われ、隆帯に施文される燃糸庄痕文の一部が見られる。花積下層式。	124	149	76
000625	深鉢	胴部。焼成普通。橙色7.5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文を縦位に施文する。花積下層式。	124	149	76
000626	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色10YR6/3。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000627	深鉢	胴部。焼成普通。ザラついている。橙色7.5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000628	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色5YR5/6。角閃石多量、白色粒子、繊維を多く含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000629	深鉢	胴部。焼成普通。橙色7.5YR6/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000630	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色5YR5/6。角閃石微量、白色粒子、赤色粒子、繊維を多く含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000631	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色5YR4/3。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000632	深鉢	胴部。焼成普通。橙色7.5YR7/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000633	深鉢	胴部。焼成普通。ザラついている。にぶい赤褐色5YR5/4。角閃石、岩片、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000634	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色10YR6/4。岩片少量、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000635	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色5YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000636	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色5YR5/8。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000637	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000638	深鉢	胴部。焼成良好。明赤褐色5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000639	深鉢	胴部。焼成普通。橙色5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000640	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄2.5Y6/4。角閃石、白色岩片、白色粒子、繊維を多く含む。地文は0段多条からなる単節LR、RLの羽状縄文。花積下層式。	124	149	76

1 縄文土器観察表

000641	深鉢	胴部。焼成普通。浅黄 2.5Y7/4。石英、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000642	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。花積下層式。	124	149	76
000643	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。0段多条からなる単節 RL を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	124	149	76
000644	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。0段多条からなる単節 RL を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	124	149	76
000645	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。0段多条からなる単節 RL を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	124	149	76
000646	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。0段多条からなる単節 RL を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	124	149	76
000647	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石微量、白色粒子、繊維を多く含む。地文は0段多条からなる単節 RL を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	125	150	76
000648					
000649					
000650	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/3。白色粒子を含む。繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 RL を縦横に施文して、縦方向の羽状縄文を構成。花積下層式。	125	150	76
000651	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR、RL を縦横に施文し、羽状縄文を構成。花積下層式。	125	150	76
000652	深鉢	胴部。焼成普通。若干崩れやすい。橙色 5YR6/6。石英、岩片多量、白色粒子、繊維を多く含む。0段多条からなる単節 LR、RL の縦横施文で羽状縄文を構成。花積下層式。	125	150	76
000653	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/4。角閃石微量、岩片、白色粒子、繊維を含む。口縁は外反。地文は0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。花積下層式。	125	150	76
000654	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラついている。にぶい黄橙色 10YR5/3。角閃石、白色粒子、繊維を含む。器壁厚。0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。花積下層式。	125	150	76
000655	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR5/4。角閃石、白色粒子を含む。繊維を含む。器壁は厚みをもつ。地文は0段多条からなる単節 LR、RL により羽状縄文を構成。花積下層式。	125	150	77
000656	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。器壁厚。0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。花積下層式。	125	150	77
000657	深鉢	口縁部。焼成普通。明黄褐色 10YR7/6。角閃石、白色粒子を含む。繊維を多く含む。平口で隆帯附加。隆帯には R と L を合わせて矢羽根状にした捺糸圧痕文と × 状に交差させた隆線貼付。胴部の地文は0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。口縁部隆帯の直下に径 1.3cm ほどの穿孔。装飾的なものか、補修孔かは不明。花積下層式。	125	150	77
000658	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。角閃石、岩片少量、白色粒子、繊維を含む。器面は若干風化が進む。地文は0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。花積下層式。	125	150	77
000659	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石多量、白色粒子、繊維を含む。器壁厚。0段多条からなる単節 LR の斜行縄文。R と L の矢羽状捺糸圧痕文。花積下層式。	125	150	77
000660	深鉢	胴部上位。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/4。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維含む。口縁部に隆帯。隆帯と胴部の地文は0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文の縦横施文。花積下層式。	125	150	77
000661	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色岩片、白色粒子、繊維を含む。被熱。地文は0段多条からなる単節 LR、RL の羽状縄文。花積下層式。	125	150	77
000662	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。角閃石。繊維を多く含む。地文は0段多条からなる単節 RL の斜行縄文を縦横に施文する。花積下層式。	125	150	77
000663	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	125	150	77
000664	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。石英、岩片少量、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	125	150	77
000665	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラついている。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子を含む。繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 RL の斜行縄文を、縦横に施文。花積下層式。	125	150	77
000666	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR の斜行縄文を縦横に施文する。花積下層式。	125	150	77
000667	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。白色粒子、黒色粒子、赤色粒子を含む。繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR の斜行縄文を縦横に施文。花積下層式。	125	150	77
000668	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR の斜行縄文を縦横に施文する。花積下層式。	125	150	77
000669	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR の斜行縄文。花積下層式。	125	150	77
000670	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 5YR5/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	125	150	77

第8章 遺物観察表

000671	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR の斜行縄文。花積下層式。	125	150	77
000672	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。角閃石、岩片、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	125	150	77
000673	深鉢	胴部下位。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。底部に近い部分と思われ、器壁厚い。0段多条からなる単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	125	150	77
000674	深鉢	胴部。焼成普通。赤褐色 5YR4/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR、RL が菱形羽状縄文を構成。花積下層式。	125	150	77
000675	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文は0段多条の単節 LR と RL を縦・横位に施文。花積下層式。	125	150	77
000676	深鉢	胴部。焼成普通。若干崩れやすい。にぶい黄橙色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維含む。0段多条の単節 LR、RL の縦位施文で菱形羽状縄文を構成。花積下層式。	126	151	77
000677	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR、RL を縦位施文して菱形羽状縄文を構成。花積下層式。	126	151	77
000678	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 LR、RL を縦位施文して菱形羽状縄文を構成。花積下層式。	126	151	77
000679	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 2.5YR5/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。0段多条からなる単節 LR、RL が菱形羽状縄文を構成ものと思われる。花積下層式。	126	151	77
000680	深鉢	胴部上位。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。器壁厚い。口縁部隆帯が僅かに。隆帯には無節 RI の斜行縄文が施文される。胴部地文は0段多条からなる単節 LR、RL が菱形羽状縄文を構成。花積下層式。	126	151	77
000681	深鉢	胴部下位。焼成普通。ザラついている。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。単節 LR、RL の羽状縄文を縦位に施文して地文とする。花積下層式。	126	151	77
000682	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文を縦位に施文する。花積下層式。	126	151	77
000683	深鉢	胴部。焼成普通。ザラついている。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。花積下層式。	126	151	77
000684	深鉢	胴部下位。焼成普通。にぶい橙色 5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文を縦位に施文する。花積下層式。	126	151	77
000685	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 2.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。花積下層式。	126	151	77
000686	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/4。角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。花積下層式。	126	151	77
000687	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文を縦位に施文する。花積下層式。	126	151	77
000688	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。花積下層式。	126	151	77
000689	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL を縦横に施文し、縦羽状を構成。花積下層式。	126	151	77
000690	深鉢	胴部。焼成普通。黒褐色 10YR3/2。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。花積下層式。	126	151	77
000691	深鉢	胴部。焼成普通。ザラついている。明黄褐色 10YR6/6。角閃石、白色粒子を含む。繊維を多く含む。地文は単節 RL を縦横に施文して縦位の羽状縄文を構成。花積下層式。	126	151	77
000692	深鉢	胴部。焼成普通。明黄褐色 10YR6/8。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL を縦横に施文して縦位の羽状縄文を構成。花積下層式。	126	151	77
000693	深鉢	胴部下位。焼成普通。橙色 2.5YR6/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。器面は風化のため、縄文が不明瞭。単節 LR、RL の羽状縄文を縦位に施文して地文とす。花積下層式。	126	151	77
000694	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。角閃石、岩片多量、白色粒子を含む。繊維を含む。地文は単節 LR、RL を横位及び斜位施文して、羽状縄文を構成。花積下層式。	126	151	78
000695	深鉢	口縁部。焼成普通。浅黄褐色 10YR8/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。口縁部に隆帯。隆帯に R と L を矢羽状に合わせた捺糸圧痕文を施文。胴部には単節 RL の斜行縄文を縦位に施文。花積下層式。	126	151	78
000696	深鉢	口縁部。焼成普通。若干ザラついている。暗灰黄 2.5Y5/2。角閃石、白色粒子、繊維を含む。口縁部に単節の捺糸 Lr と Rl を合わせて矢羽状の圧痕文を施文。花積下層式。	126	151	78
000697	深鉢	胴部下位。焼成普通。若干ザラついている。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。器面被熱。単節 LR、RL の羽状縄文が縦位に施文される。花積下層式。	126	151	78
000698	深鉢	胴部。焼成普通。ザラついている。にぶい褐色 7.5YR5/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	126	151	78
000699	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文を縦位に施文。花積下層式。	126	151	78

1 縄文土器観察表

000700	深鉢	胴部下位。焼成普通。橙色 7.5YR7/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文を縦位に施文。花積下層式。	126	151	78
000701	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラついている。にぶい黄橙色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	126	151	78
000702	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	126	151	78
000703	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/8。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	126	151	78
000704	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 LR の斜行縄文を縦位に施文する。花積下層式。	126	151	78
000705	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR7/4。角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	126	151	78
000706	深鉢	胴部。焼成普通。黄褐色 10YR5/8。石英、白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を含む。やや粗い胎土。単節 LR の斜行縄文を縦位に施文して地文としている。花積下層式。	127	152	78
000707	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/8。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文を縦位に施文。花積下層式。	127	152	78
000708	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR7/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文を縦位に施文。花積下層式。	127	152	78
000709	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR7/4。角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 RL の斜行縄文を縦位・斜位に施文する。花積下層式。	127	152	78
000710	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。花積下層式。	127	152	78
000711	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	127	152	78
000712	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	127	152	78
000713	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。花積下層式。	127	152	78
000714	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。花積下層式。	127	152	78
000715	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	127	152	78
000716	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR7/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文を縦位に施文する。花積下層式。	127	152	78
000717	深鉢	底部。焼成普通。若干崩れやすい。浅黄 2.5Y7/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。底部は尖底。地文は単節 LR の斜行縄文を縦位に施文。花積下層式。	127	152	78
000718	深鉢	胴部下位～底部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。底部は平底。地文は単節 LR の斜行縄文を縦位に施文する。花積下層式。	127	152	78
000719	深鉢	底部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR7/4。角閃石、白色粒子、繊維を多く含む。底部は尖底となる。地文は若干不明瞭だが、単節 RL の斜行縄文を縦位に施文。花積下層式。	127	152	78
000720	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。風化のため縄文は若干不明瞭だが、地文は単節 LR の斜行縄文を縦位に施文する。花積下層式。	127	152	78
000721	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR7/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。器面は風化によるものか、縄文は不明瞭。地文は単節 LR の斜行縄文。花積下層式。	127	152	78
000722	深鉢	胴部下位。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。器面は風化が進み、文様は若干不明瞭。地文は単節 RL の斜行縄文を縦位に施文。花積下層式。	127	152	78
000723	深鉢	胴部下位。焼成普通。若干ザラついている。にぶい黄橙色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。花積下層式。	127	152	78
000724	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。口唇外反し、端部に断面三角形の隆帯 2 条を貼りあわせ巾 2.3cm のく字状の隆帯を形成。谷状になった隆帯内側に矢羽根状に沈線を施文。胴部地文は単節 RL の斜行縄文。花積下層式。	127	152	78
000725	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄 2.5Y6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR、RL が菱形羽状縄文を構成。花積下層式。	127	152	78
000726	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 RL を縦横に施文し、縦位の菱形羽状を構成。花積下層式。	127	152	78
000727	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。口縁部に隆帯を伴う。隆帯には R と L を矢羽状に合わせた燃糸圧痕文を施文。花積下層式。	127	152	78
000728	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。口縁部には隆線を貼付し、R と L を合わせて矢羽根状にした燃糸圧痕文を施文。花積下層式。	127	152	78

第8章 遺物観察表

000729	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。隆帯を貼付し、隆帯には原体を斜位に押圧。隆帯の上下に棒状工具による斜位の刺突文を施文。捺糸圧痕文。花積下層式。	127	152	78
000730	深鉢	底部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR7/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。底部は尖底。被熱によって一部赤色化。花積下層式。	127	152	78
000731	深鉢	底部。10YR6/3 にぶい黄橙色。白色岩片、白色粒子、黒色粒子含む。丸底気味の底部片。器面に縄文は確認できない。花積下層式。	127	152	78
000732	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は0段多条からなる単節 Lr、Rl が羽状縄文を構成。黒浜式。	127	152	78
000733	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。岩片、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr、Rl が羽状縄文を構成。巾5mmの半截竹管によって押引文が施文される。黒浜式。	127	152	78
000734	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 5YR6/6。角閃石、岩片、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr、Rl の羽状縄文。巾6mmの半截竹管による平行沈線文、コンパス文。黒浜式。	127	152	78
000735	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。波状口縁。口縁部は若干内湾する。口縁に沿って巾7～9mmの半截竹管によるコンパス文。地文は単節 Lr、Rl の羽状縄文。黒浜式。	127	152	78
000736	深鉢	胴部中位。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr、Rl の羽状縄文。胴部の括れ部分には巾8mmの半截竹管によるコンパス文。黒浜式。	127	152	79
000737	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 2.5YR5/6。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 Lr、Rl の羽状縄文。Lr と Rl の境には弱い沈線を垂下。巾8mm半截竹管による平行沈線文が羽状縄文に沿って斜位に施文される。横位の平行沈線内には半截竹管による爪形文、円形竹管による直角刺突文が施文される。黒浜式。	127	152	79
000738	深鉢	胴部。焼成普通。暗褐色 7.5YR3/4。角閃石、白色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr、Rl の羽状縄文。黒浜式。	127	152	79
000739	深鉢	胴部。焼成普通。黄褐色 10YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr、Rl の羽状縄文。黒浜式。	127	152	79
000740	深鉢	底部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr、Rl の羽状縄文。復元底径10.8cm。黒浜式。	127	152	79
000741	深鉢	口縁部。焼成普通。若干崩れやすい。橙色 7.5YR7/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。波状口縁。口縁部に穿孔。地文は単節 Lr、Rl の羽状縄文。黒浜式。	128	153	79
000742	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr の斜行縄文。巾7mmの半截竹管による平行沈線文に強い刺突で爪形文を充填。黒浜式。	128	153	79
000743	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR5/4。石英、角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr の斜行縄文。巾6mmの半截竹管による平行沈線内に爪形文を充填。黒浜式。	128	153	79
000744	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。巾4mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	128	153	79
000745	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。地文を集合沈線によって横位区画。口唇部は斜めに面取りされ、半截竹管による刺突文を施文。黒浜式。	128	153	79
000746	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。巾6.5mmの半截竹管による平行沈線文にはほぼ直角に近い角度で爪形文が施文される。黒浜式。	128	153	79
000747	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/4。角閃石、岩片、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。地文の上から巾mmの半截竹管による平行沈線文。沈線文内には爪形文を充填。黒浜式。	128	153	79
000748	深鉢	頸部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。岩片、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。頸部に巾5.5mmの半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	128	153	79
000749	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/4。岩片多量、白色粒子、繊維を多く含む。波状口縁。地文は単節 Rl の斜行縄文。巾5mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填。黒浜式。	128	153	79
000750	深鉢	口縁部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr の斜行縄文。地文の上から巾6mmの半截竹管による平行沈線文を横位・斜位に施文。黒浜式。	128	153	79
000751	深鉢	口縁部。焼成良好。赤褐色 5YR4/6。石英、白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を含む。口縁部は若干内湾する。単節 Rl の斜行縄文を地文としており、口縁に沿って6mmほどの巾の半截竹管による2条対の平行沈線文が走る。沈線文の間には爪形文を充填。黒浜式。	128	153	79
000752	深鉢	口縁部～頸部1/2。焼成普通。にぶい橙色 5YR6/4。岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。口縁部は僅かに外反。地文は単節 Rl の斜行縄文。口縁部～頸部にかけて巾7mmの半截竹管による平行沈線文8条を施文。沈線内に爪形文。黒浜式。	128	153	79
000753					

1 縄文土器観察表

000754	深鉢	胴部。焼成普通。浅黄 2.5Y7/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000755	深鉢	胴部。焼成普通。浅黄 2.5Y7/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000756	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR7/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000757	深鉢	胴部下位。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。岩片多量、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000758	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000759	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 5YR6/6。石英、角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000760	深鉢	胴部。焼成普通。黄褐色 10YR5/8。角閃石、白色岩片多量。繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000761	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000762	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色岩片。繊維を含む。地文は単節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000763	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000764	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。石英、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000765	深鉢	底部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000766	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 2.5YR5/6。白色粒子、黒色粒子、赤色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000767	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。結節が見られる。黒浜式。	128	153	79
000768	深鉢	胴部上位。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000769	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000770	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000771	深鉢	底部。焼成良好。明褐色 7.5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000772	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/3。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。黒浜式。	128	153	79
000773	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	129	154	79
000774					
000775	深鉢	口縁部。焼成普通。明黄褐色 10YR7/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。黒浜式。	129	154	79
000776	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/4。角閃石多量、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。口縁部は外反し、径 1cm の穿孔が施される。黒浜式。	129	154	79
000777	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。口縁に沿って、篋状工具による刺突文が連続する。黒浜式。	129	154	79
000778	深鉢	胴部。焼成普通。若干崩れやすい。にぶい黄橙色 10YR6/4。岩片多量、白色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	129	154	80
000779	深鉢	胴部。焼成普通。ザラついている。明黄褐色 10YR6/6。岩片多量、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	129	154	80
000780	深鉢	口縁部。焼成普通。明黄褐色 10YR6/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RI の斜行縄文。巾 4mm の平行沈線文 2 条対によって交互に横位区画。黒浜式。	129	154	80
000781	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。僅かな小片。単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	129	154	80
000782	深鉢	底部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。底部は上げ底。地文は単節 RI の斜行縄文。復元底径 9.2cm。黒浜式。	129	154	80
000783	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。ほぼ欠損するが、口縁部には穿孔が見られる。地文は単節 LR の斜行縄文。黒浜式。	129	154	80
000784	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい赤褐色 2.5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。口縁は若干内湾する。地文は単節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	129	154	80

第8章 遺物観察表

000785	深鉢	底部。焼成普通。明赤褐色 2.5YR5/6。白色粒子、繊維を含む。底部は上げ底。地文はやや不明瞭だが、単節 Rl の斜行縄文。黒浜式。	129	154	80
000786					
000787	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR5/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾7mmの半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	129	154	80
000788	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄 2.5Y6/4。岩片、白色粒子、繊維を多く含む。巾3mmの半截竹管による木葉文。黒浜式。	129	154	80
000789	深鉢	胴部。焼成普通。崩れやすい。明赤褐色 5YR5/6。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾6mmの半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。黒浜式。	129	154	80
000790	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/3。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾6mmの半截竹管による平行沈線文、コンパス文。黒浜式。	129	154	80
000791	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾7mmの半截竹管による平行沈線文、コンパス文。黒浜式。	129	154	80
000792	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR5/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は巾6mmの半截竹管による平行沈線文と鋸歯文の連続。黒浜式。	129	154	80
000793	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/4。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は巾4.5mmの半截竹管による集合沈線が、菱形のモチーフを構成。黒浜式。	129	154	80
000794	深鉢	底部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。岩片多量、白色粒子、繊維を多く含む。底部に沿って、巾5mmの半截竹管による押引文が3条施文される。黒浜式。	129	154	80
000795	深鉢	口縁部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。波状口縁。巾5.5mmの半截竹管による平行沈線文。コンパス文。黒浜式。	129	154	80
000796					
000797					
000798	深鉢	胴部。焼成普通。赤褐色 5YR4/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は不明瞭。はば8mmの半截竹管による平行沈線文。黒浜式。	129	154	80
000799					
000800	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR4/4。角閃石、白色粒子を含む。繊維を多く含む。口縁は若干内湾する。口縁部には集合沈線を施文し、巾5mmほどの半截竹管によるコンパス文を施文する。黒浜式。	129	154	80
000801					
000802	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石。繊維を多く含む。集合沈線とコンパス文を施文。黒浜式。	129	154	80
000803					
000804					
000805	深鉢	胴部上位。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は附加条1種 RL + l の斜行縄文。屈曲部に半截竹管によるコンパス文。黒浜式。	129	154	80
000806	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR5/4。石英、角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維含む。無節 Lr、Rl で羽状縄文を構成。巾5.5mmの半截竹管による平行沈線内に爪形文を充填。黒浜式。	129	154	80
000807	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。黒浜式。	129	154	80
000808	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は無節 Rl の斜行縄文。黒浜式。	129	154	80
000809	深鉢	口縁部。焼成良好。浅黄 2.5Y7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は無節 Lr、Rl が変形羽状縄文を構成。黒浜式。	129	154	80
000810	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子含む。弱い沈線が横位、斜位に施文される。黒浜式。	129	154	80
000811	深鉢	底部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。底部は平底。胴部はほとんど欠損するため、文様は不明。黒浜式。	129	154	80
000812	深鉢	胴部下位～底部。焼成普通。若干崩れやすい。にぶい褐色 7.5YR7/4。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。全体的に被熱の痕跡。復元底径8.7cm。現高7.0cm。黒浜式。	130	155	80
000813	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/3。石英、角閃石、白色岩片多量、白色粒子、繊維を含む。0段多条からなる単節 Lr、Rl が羽状縄文を構成。有尾式。	130	155	80
000814	深鉢	胴部。焼成良好。明黄褐色 10YR6/6。角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子を含む。繊維を含む単節 Lr、Rl により、羽状縄文を構成。原体は太く、粗い。有尾式。	130	155	80
000815	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を多く含む。地文は単節 Lr、Rl による羽状縄文で、地文の上から巾4mmから5mmの平行沈線を数条単位で横位及び斜位に施文。上位には巾7mmの半截竹管による平行沈線文。有尾式。	130	155	80
000816	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。岩片多量、白色粒子、黒色粒子、繊維含む。単節 LR、RL の羽状縄文。巾12mmの半截竹管による平行沈線内に爪形文を充填。有尾式。	130	155	80
000817	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は附加条1種の単節 LR + Rl、RL + Lr が羽状縄文を構成。有尾式。	130	155	80
000818	深鉢	口縁部。焼成良好。褐色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。器壁は厚みがあり、口縁部は外反。地文は単節 Lr、Rl の羽状縄文。有尾式。	130	155	80

1 縄文土器観察表

000819	深鉢	胴部。焼成普通。赤褐色 5YR4/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Lr の斜行縄文。巾 7mm の半截竹管による平行沈線文で地文を三角形に区画。有尾式。	130	155	80
000820	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。石英、岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 Lr、Rl の羽状縄文。有尾式。	130	155	80
000821	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/8。石英、岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。単節 Rl の斜行縄文。有尾式。	130	155	80
000822	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/4。岩片、白色粒子、繊維を多く含む。単節 Rl の斜行縄文。有尾式。	130	155	80
000823	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。有尾式。	130	155	80
000824	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/3。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 LR の斜行縄文。有尾式。	130	155	80
000825	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。岩片、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。有尾式。	130	155	80
000826	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/4。石英、白色粒子、繊維を含む。地文は附加条 1 種の単節 RL + r の斜行縄文。有尾式。	130	155	81
000827					
000828	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。角閃石、白色粒子、繊維を含む。巾 7mm の半截竹管による平行沈線文。有尾式。	130	155	81
000829	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/4。石英、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。地文は単節 Rl を横位、縦位に施文。有尾式。	130	155	81
000830	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR7/3。角閃石、白色粒子、繊維を含む。巾 8mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。有尾式。	130	155	81
000831	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/3。角閃石、白色粒子、繊維を含む。巾 7.5mm の半截竹管による平行沈線文が 1 条縦位に垂下する。縦位に垂下する平行沈線文の左右には、内側に爪形文を充填した平行沈線文が集中する。有尾式。	130	155	81
000832					
000833	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。巾 8.5mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。有尾式。	130	155	81
000834	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR4/6。角閃石、岩片多量、白色粒子、繊維を含む。巾 6.5mm の沈線文。有尾式。	130	155	81
000835	深鉢	胴部。焼成普通。浅黄 2.5Y7/4。石英、白色粒子、繊維を含む。附加条 1 種 LR + r、RL + l が羽状縄文を構成。有尾式。	130	155	81
000836	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR5/6。白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。有尾式。	130	155	81
000837	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色岩片。繊維を含む。地文は附加条 1 種 LR + r の斜行縄文。有尾式。	130	155	81
000838	深鉢	口縁部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子含む。口縁は外反。波状口縁。集合沈線が施文される。諸磯 a 式。	130	155	81
000839 ～ 000843	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。巾 3mm の細い半截竹管によって入組文を構成。入組文には磨消しが伴い、縄文は単節 Rl の斜行縄文。穿孔が施される。諸磯 a 式。	131	156	81
000844	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。単節 Lr の斜行縄文。巾 3.5mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填。肋骨文を施文する。諸磯 a 式。	131	156	81
000845	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。巾 3mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填し、口縁部に沿って鋸歯状のモチーフを構成。諸磯 a 式。	131	156	81
000846			131	156	81
000847	深鉢	胴部。焼成良好。暗赤褐色 5YR3/6。角閃石、白色岩片、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。単節 Lr の斜行縄文。巾 3.5mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填。諸磯 a 式。	131	156	81
000849	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子を含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。巾 3mm の細い半截竹管による平行沈線文の間に、篋状工具による刺突文を充填。平行沈線下位に同様の半截竹管による鋸歯文を施文。諸磯 a 式。	131	156	81
000850	深鉢	口縁部。焼成良好。赤褐色 5YR4/8。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。波状口縁。地文は単節 Lr の斜行縄文。巾 4mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。円形刺突文。肋骨文。諸磯 a 式。	131	156	81
000851					
000852					
000853 ～ 000856	深鉢	口縁部～胴部上位。焼成普通。赤褐色 5YR4/6。角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子を含む。波状口縁の深鉢片。単節 Rl の斜行縄文。口縁に沿って巾 3mm の半截竹管による平行沈線文 3 条対。沈線内には爪形文を充填。胴部に穿孔がある。諸磯 a 式。	131	156	81
000857	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/4。白色粒子、黒色粒子含む。口唇内湾。単節 Lr の斜行縄文。口縁に沿って巾 7mm の半截竹管による 2 条対の平行沈線文。円形刺突文の四隅に半截竹管の爪形文を配置する文様が付されている。諸磯 a 式。	131	156	81

第8章 遺物観察表

000858 ～ 000862	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	131	156	81
000863 000864	深鉢	胴部。焼成普通。赤褐色 5YR5/4。岩片多量、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	131 131	156 156	81 81
000865	深鉢	胴部下位～底部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	131	156	81
000866	深鉢	底部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	131	156	81
000867	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/3。石英、角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	131	156	81
000868	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/6。角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	131	156	82
000869	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	131	156	82
000870	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。橙色 7.5YR7/6。角閃石、白色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	131	156	82
000871	深鉢	底部。焼成普通。ザラついている。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。復元底径 8.2cm。諸磯 a 式。	131	156	82
000872 000873	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	132 132	157 157	82 82
000874	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR4/4。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	132	157	82
000875	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	132	157	82
000876 000877 000878	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR4/4。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	132 132 132	157 157 157	82 82 82
000879 000880	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。磨消しを伴う入組文。諸磯 a 式。	132 132	157 157	82 82
000881	深鉢	胴部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/6。角閃石、白色粒子含む。地文は単節 Lr の斜行縄文を縦位に施文。内面はよく研磨される。諸磯 a 式。	132	157	82
000882 000883	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	132 132	157 157	82 82
000884	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 2.5YR5/6。石英、角閃石、白色粒子、繊維を少量含む。地文は単節 Rl の斜行縄文。諸磯 a 式。	132	157	82
000885	深鉢	胴部中位～底部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。平底で胴部中位まで直線的に立ち上がる。単節 Lr、Rl が菱形羽状縄文を構成。羽状縄文の Rl と Lr がきりかわる部分に弱い沈線が垂下。施文に関わる分割線か。胴部中位に巾 7mm の半截竹管によるコンパス文。底径 12.8cm。現高 17.2cm。諸磯 a 式。	132	157	82
000886 000887	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。竹管による円形刺突文。肋骨文。諸磯 a 式。	132	157	82
000888	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR5/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。肋骨文。巾 3.5mm の半截竹管による平行沈線文の上から篋状工具による刺突文を連続して施文。平行沈線は 2 条対で、間には平行沈線による鋸歯文が施文される。諸磯 a 式。	132	157	82
000889	浅鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。器壁は薄い。巾 6mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。諸磯 a 式。	132	157	82
000890	深鉢	口縁部。焼成良好。灰褐色 5YR4/2。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。波状口縁。口縁に沿って巾 3.5mm の半截竹管による平行沈線文。沈線内に爪形文を充填。穿孔が 2 箇所、縦に並んで確認できる。諸磯 a 式。	132	157	82
000891	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。波状口縁。口縁に沿って巾 4mm の半截竹管による平行沈線文内に爪形文を充填する。波状口縁の頂点から円形刺突文が連続して垂下。左右には肋骨文が施文される。諸磯 a 式。	132	157	82
000892	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。円形刺突文、木葉文が施文される。諸磯 a 式。	132	157	82
000893	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。肋骨文を施文。諸磯 a 式。	132	157	82
000894	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子、赤色粒子を含む。波状口縁。口縁に沿って巾 4mm の半截竹管による平行沈線文。沈線内に爪形文を充填。波状口縁の頂点から円形刺突文が連続して垂下。左右には肋骨文。諸磯 a 式。	132	157	82

1 縄文土器観察表

000895	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR5/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。肋骨文を施文。諸磯 a 式。	132	157	82
000896	深鉢	胴部。焼成普通。若干崩れやすい。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子含む。円形刺突文、肋骨文が施文される。諸磯 a 式。	132	157	82
000897	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。円形刺突文、木葉文が施文される。諸磯 a 式。	132	157	82
000898			132	157	82
000899	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。肋骨文を施文。諸磯 a 式。	132	157	82
000900	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。肋骨文を施文。諸磯 a 式。	132	157	82
000901	深鉢	口縁部。焼成良好。赤褐色 5YR4/8。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。口縁に沿って篋状もしくは串状工具による刺突文 2 条対で施文。肋骨文。諸磯 a 式。	132	157	82
000902			132	157	82
000903	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子を含む。肋骨文を施文する。諸磯 a 式。	132	157	82
000904			133	158	82
000905	深鉢	口縁部。焼成良好。赤褐色 5YR4/8。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。口縁に沿って篋状もしくは串状工具による刺突文が 2 条対で施文される。肋骨文。諸磯 a 式。	133	158	82
000906	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR6/4。白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。肋骨文を施文。諸磯 a 式。	133	158	82
000907	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。無節 Lr の斜行縄文。諸磯 a 式。	133	158	82
000908	深鉢	口縁部。焼成普通。橙色 5YR6/6。角閃石、白色粒子含む。地文は櫛歯状の工具による平行沈線文を縦位・斜位に施文する。諸磯 a 式。	133	158	82
000909	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。諸磯 a 式。	133	158	82
000910	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR5/4。角閃石、白色粒子含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。諸磯 a 式。	133	158	82
000911	深鉢	胴部。焼成良好。赤褐色 5YR4/8。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。諸磯 a 式。	133	158	82
000912	深鉢	胴部。焼成良好。灰褐色 7.5YR4/2。角閃石、白色粒子含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。肋骨文。篋状工具による刺突文の連続によって縄文と肋骨文を区画。諸磯 a 式。	133	158	82
000913	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR5/4。角閃石、白色粒子含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。諸磯 a 式。	133	158	83
000914	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色 2.5YR4/4。角閃石、白色粒子含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。諸磯 a 式。	133	158	83
000915	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/6。角閃石、白色粒子含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。諸磯 a 式。	133	158	83
000916	深鉢	胴部。焼成良好。赤褐色 5YR4/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文は無節 RL の斜行縄文。篋もしくは串状工具による刺突文が連続する。諸磯 a 式。	133	158	83
000917	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/6。角閃石、白色粒子含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。諸磯 a 式。	133	158	83
000918			133	158	83
000919			133	158	83
000920	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/3。角閃石、白色粒子含む。地文は無節 Lr の斜行縄文。諸磯 a 式。	133	158	83
000921	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラついて粗い胎土。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子を含む。地文は無節 Lr による斜行縄文。肋骨文を施文する。諸磯 a 式。	133	158	83
000922	深鉢	口縁部。焼成普通。赤褐色 5YR4/8。角閃石、白色粒子含む。波状口縁。地文は無節 Lr の斜行縄文。諸磯 a 式。	133	158	83
000923	土製円盤	焼成良好。明赤褐色 2.5YR5/6。角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。深鉢底部片を加工したものと思われる。中央が肥厚。諸磯 a 式。	133	158	83
000924	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR6/3。角閃石、白色粒子含む。器壁は薄い。集合沈線を縦位・横位・斜位に交差させて施文。諸磯 b 式。	133	158	83
000925 ～ 000929	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子を含む。単節 LR、RL の羽状縄文。半截竹管による浮線文で胴部を横位区画。浮線文に矢羽状の刻み。諸磯 b 式。	133	158	83
000930	深鉢	胴部。焼成普通。ザラついている。にぶい橙色 7.5YR7/4。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子含む。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。一部分様が摩滅。諸磯 b 式。	133	158	83
000931	深鉢	底部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR7/4。石英、角閃石、白色粒子含む。器壁薄い。地文は単節 LR、RL の羽状縄文。諸磯 b 式。	133	158	83
000932	深鉢	胴部。焼成普通。ザラついている。浅黄 2.5Y7/4。角閃石、白色粒子含む。地文は単節 RL の斜行縄文。粘土貼付による浮線文に、矢羽根状の刻み目が施される。諸磯 b 式。	133	158	83

第8章 遺物観察表

000933	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR4/4。岩片、白色粒子、赤色粒子含む。地文は単節 RL の斜行縄文。巾5mmの半截竹管による平行沈線文が横位区画。さらに粘土貼付ではなく、半截竹管と刻みによる浮線文を施文する。諸磯b式。	133	158	83
000934	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラついている。にぶい黄褐色 10YR5/4。角閃石、岩片多量。含む。地文は単節 RL の斜行縄文。諸磯b式。	133	158	83
000935	深鉢	937・938と同一個体か。	133	158	83
000936	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/3。角閃石、岩片、白色粒子含む。地文は単節 LR の斜行縄文。粘土貼付による浮線文。浮線文には斜めに刻み目が施される。諸磯b式。	133	158	83
000937	深鉢	胴部。焼成普通。明赤褐色 5YR6/6。岩片多量、白色粒子、赤色粒子含む。地文は単節 RL の斜行縄文。粘土貼付による浮線文が2もしくは3条対で水平にて貼付される。浮線文には刻み目が追加される。諸磯b式。	133	158	83
000938			133	158	83
000939	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。単節 LR の斜行縄文の上から櫛歯状工具による沈線文を横位・斜位に施文。諸磯b式。	133	158	83
000940	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい褐色 7.5YR5/4。白色岩片多量、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節 RL の斜行縄文。縄文の上から粘土貼付による浮線文を施し、斜位の刻み目を入れる。諸磯b式。	133	158	83
000941	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラついている。にぶい褐色 7.5YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節 LR の斜行縄文。諸磯b式。	134	159	83
000942	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラついている。褐色 7.5YR6/6。岩片多量、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節 RL の斜行縄文。粘土貼付による浮線文が2もしくは3条対で水平にて貼付される。浮線文には刻み目が追加される。諸磯b式。	134	159	83
000943	深鉢	胴部下位。焼成普通。ザラついている。角閃石、岩片多量、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。諸磯b式。	134	159	83
000944	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/3。岩片、白色粒子、黒色粒子含む。口縁部がくの字に内接する深鉢。地文は僅かに単節 RL の斜行縄文が確認できる。浮線文は粘土貼付で細かな刻み目を施す。諸磯b式。	134	159	83
000945	深鉢	胴部下位。焼成普通。ザラついている。角閃石、岩片多量、白色粒子、繊維を含む。地文は単節 RL の斜行縄文。諸磯b式。	134	159	83
000946	深鉢	口縁部。焼成良好。褐色 5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子含む。口縁は内湾する。地文は単節 RL の斜行縄文。諸磯b式。	134	159	83
000947	深鉢	口縁部。焼成良好。若干ザラついている。にぶい黄褐色 10YR6/3。石英、角閃石、岩片。含む。巾6mmの半截竹管によって平行沈線文を施し、沈線の内側に矢羽状に刻みを入れて浮線文とする。浮線文は口縁部に集中する。諸磯b式。	134	159	83
000948	浅鉢	口縁部 1/4。焼成良好。赤褐色 5YR4/6。岩片、白色粒子含む。波状に4単位が突出していた口縁頂部の一。口唇部は内折してからさらに強く外反。地文に単節 RL を施文し、器面全体に集合沈線を施す。諸磯b式。	134	159	83
000949	深鉢	胴部。焼成普通。赤褐色 5YR4/6。角閃石、岩片、白色粒子含む。巾5mmの半截竹管による集合沈線と鋸歯文が施文される。諸磯b式。	134	159	83
000950	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。4単位の波状口縁と思われ、波状の頂部に装飾が施される。平行沈線の内側に刻みを入れただけの浮線文が口縁部に集中する。諸磯b式。	134	159	83
000951			134	159	83
000952	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR6/6。角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子含む。地文は不明瞭。粘土貼付による浮線文。刻み目を施す。諸磯b式。	134	159	83
000953	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/3。角閃石、岩片、白色粒子含む。粘土貼付による浮線文。浮線文には斜位の刻み目が施される。諸磯b式。	134	159	83
000954	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR6/4。岩片、白色粒子含む。器壁薄い。附加条1種 LR + r の斜行縄文。粘土貼付による浮線文に斜位の刻み目。諸磯b式。	134	159	83
000955	深鉢	胴部下位～底部。焼成普通。ザラついている。にぶい黄褐色 10YR7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。存部に明瞭な文様は見られない。諸磯b式。	134	159	83
000956	深鉢	口縁部。焼成普通。褐色 5YR6/6。白色岩片多量、白色粒子含む。存部は無文。口縁沿って径6mmの穿孔が連続する。諸磯b式有孔浅鉢。	134	159	83
000957	深鉢	胴部。焼成普通。ザラついている。にぶい黄褐色 10YR6/3。角閃石、白色粒子含む。集合沈線が施文される。諸磯c式。	134	159	83
000958			134	159	83
000959	深鉢	胴部。焼成良好。赤褐色 5YR4/6。石英、角閃石多量、白色岩片、白色粒子含む。器面全体に集合沈線を施文する。諸磯c式。	134	159	83
000960			134	159	84
000961			134	159	84
000962	深鉢	胴部。焼成良好。赤褐色 5YR6/2。岩片多量、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。地文は単節 RL の斜行縄文。集合沈線。諸磯c式。	134	159	84
000963	土製円盤	焼成普通。褐色 7.5YR4/6。角閃石、岩片、白色粒子、赤色粒子、繊維を微かに含む。深鉢底部を加工したものと思われる。器壁薄い。諸磯式。	134	159	84

1 縄文土器観察表

000964	浅鉢	口縁部～底部2/3。焼成良好。浅黄2.5Y7/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。平底で胴部から口縁部にかけて緩やかに立ち上がる。口縁僅かに外反。胴部下半に単節RLを横位・斜位に施文。胴部中押付近と口縁部端にそれぞれ巾6mmの半截竹管による平行沈線文を施文し、胴部上半と口縁部を区画。沈線内には爪形文を充填し、区画内には平行沈線と爪形文による木の葉状文様を不規則に配置。復元口径20.0cm。器高11.2cm。底径7.6cm。諸磯式。	134	159	84
000965	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄橙色10YR6/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。地文は単節RLの斜行縄文。櫛歯状の工具による鋸歯文と、鋸歯文の上下に巾3.5mmの半截竹管による平行沈線文を施文。平行沈線文に重なるように、串状具による刺突文が連続。諸磯式。	134	159	84
000966	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄橙色10YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。地文は単節LRの斜行縄文。諸磯式。	134	159	84
000967	土製円盤	焼成普通。灰褐色7.5YR5/2。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、繊維を含む。深鉢胴部片を調整加工。単節LR、RLの羽状縄文。最大幅3.2cm。厚さ1.0cm。前期。	134	159	84
000968	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラついている。浅黄2.5Y7/3。角閃石、白色粒子含む。やや不明瞭だが、絡条体によるまばらな捺糸文。短く弱い沈線の連続。前期後半。	135	160	84
000969			135	160	84
000970			135	160	84
000971	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄橙色10YR6/4。角閃石、白色粒子含む。口縁部は隆帯によって楕円区画を構成。区画内には単節RLの斜行縄文。波状口縁。加曾利E3式。	135	160	84
000972	深鉢	口縁部～胴部上位。焼成普通。にぶい黄橙色10YR7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。器壁薄い。隆線と沈線によって楕円区画を構成。楕円区画内は単節LRの斜行縄文。胴部は巾6mmの沈線2条対で縦位区画。区画内は単節LRを縦位施文。加曾利E3式。	135	160	84
000973	深鉢	胴部上位。焼成良好。灰黄褐色10YR6/2。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。隆線と沈線によって単節RLの斜行縄文が区画される。縄文は輪積みの接合痕の上に施文され、接合痕を消している。加曾利E3式。	135	160	84
000974	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄橙色10YR7/4。角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。巾5mmの沈線3条対で胴部を縦位区画。区画内は単節RL斜行縄文を縦位施文。加曾利E3式。	135	160	84
000975	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい赤褐色5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子。巾6mmの縦位沈線2条で胴部を区画。区画内には単節LRの斜行縄文を縦位施文。加曾利E3式。	135	160	84
000976	深鉢	口縁部。焼成普通。若干ザラついている。にぶい黄橙色10YR7/4。角閃石、白色粒子含む。隆線と沈線による隅丸方形区画。区画内には単節RLの斜行縄文。加曾利E3式。	135	160	84
000977	深鉢	口縁部。焼成良好。浅黄2.5Y7/4。角閃石、岩片、白色粒子含む。口縁部文様帯は隆線と沈線によって楕円区画。区画内には単節RLの斜行縄文を縦位施文。加曾利E3式。	135	160	84
000978	深鉢	胴部。焼成普通。ザラついている。明黄褐色10YR6/6。角閃石、軽石粒、岩片多量、白色粒子、黒色粒子含む。器壁は厚みがある。巾6mmの沈線が胴部を区画。区画内には単節LRの斜行縄文が縦位に施文される。加曾利E3式。	135	160	84
000979					
000980	深鉢	胴部上位。焼成良好。にぶい赤褐色5YR5/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。口縁部文様帯は隆線と沈線によって渦巻文、楕円区画を構成する。区画内には単節RLの斜行縄文。加曾利E3式。	135	160	84
000981	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラついている。橙色7.5YR7/6。角閃石、白色粒子含む。隆線。胴部は巾3mmの沈線2条対で縦位区画。区画内は単節LR縦位施文。加曾利E3式。	135	160	84
000982	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄橙色10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子含む。巾5.5mmの沈線2条対で胴部を縦位区画。区画内は沈線が曲線的に垂下。単節LR斜行縄文縦位施文。加曾利E3式。	135	160	84
000983					
000984	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラついている。浅黄褐色10YR8/3。角閃石、白色粒子含む。器面全体に風化が進む。巾5mmの沈線2条対が垂下し胴部を縦位区画。区画内には沈線が曲線を描いて垂下し、単節RLを縦位施文。加曾利E3式。	135	160	84
000985	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色10YR7/4。角閃石、白色粒子含む。巾5mmの沈線3条対で胴部を縦位区画。区画内には複節RLRの斜行縄文を縦位施文。加曾利E3式。	136	161	84
000986	深鉢	口縁部。焼成良好。若干ザラついている。にぶい赤褐色2.5YR4/3。角閃石、白色岩片、白色粒子含む。口縁は内湾する。口縁部文様帯は、隆線と沈線によって渦巻文と楕円区画を構成。区画内には0段多条からなる単節RLの斜行縄文を充填する。加曾利E式。	136	161	84
000987					
000988	深鉢	胴部。焼成普通。橙色7.5YR6/6。角閃石、岩片、白色粒子を含む。巾4mmの沈線2条対が垂下し、縦位区画する。区画内には単節RLを縦位施文。加曾利E式。	136	161	84
000989	深鉢	頸部。焼成良好。にぶい黄褐色10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子含む。頸部屈曲部に棒状工具による刺突文がめぐる。胴部には集合沈線を斜位に施文。加曾利E式。	136	161	84
000990		胴部。焼成普通。にぶい黄褐色10YR6/3。角閃石、岩片、白色粒子含む。器面には条線が垂下する。加曾利E式。			
000991	深鉢	胴部。焼成良好。明黄褐色10YR7/6。石英、角閃石、軽石粒、白色粒子含む。胴部には条線が垂下する。巾8mmの沈線が横位に走る。加曾利E式。	136	161	85
000992	深鉢	胴部。焼成良好。橙色7.5YR6/6。石英、角閃石、軽石粒、白色粒子、赤色粒子含む。単節RLの斜行縄文を縦位施文。巾6mmの沈線2条対で胴部を縦位区画。加曾利E式。	136	161	85

000993	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、軽石粒。含む。単節 RL の斜行縄文を縦位施文。隆線。加曽利 E 式。	136	161	85
000994	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラついている。黄褐色 10YR5/8。角閃石、軽石粒、岩片、白色粒子含む。巾 7mm の沈線が垂下。単節 LR の斜行縄文を縦位に施文する。加曽利 E 式。	136	161	85
000995	深鉢	胴部。焼成良好。赤褐色 5YR4/6。石英、角閃石、岩片、白色粒子含む。沈線が胴部を垂下し縦位区画。区画内には単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	136	161	85
000996	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/3。角閃石、岩片、白色粒子含む。器壁は厚みがある。口縁は内湾する。単節 RL の斜行縄文の地文を沈線によって区画。加曽利 E 式。	136	161	85
000997	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/4。地文は単節 RL の斜行縄文を縦位に施文。巾 6mm の沈線 2 条対を垂下し胴部を縦位区画する。加曽利 E 式。	136	161	85
000998	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/3。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子含む。口縁部に沿って、沈線が 1 条走る。単節 RL の斜行縄文を縦位に施文。加曽利 E 式。	136	161	85
000999	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。波状口縁。口縁に沿って沈線が 1 条走る。単節 RL の斜行縄文。加曽利 E 式。	136	161	85
001000	深鉢	口縁部。焼成良好。黄灰 2.5Y6/1。石英、角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。口縁部文様帯は隆線と沈線で渦巻文を構成し、単節 RL の斜行縄文を施文する。加曽利 E 式。	136	161	85
001001	深鉢	口縁部。焼成普通。橙色 7.5YR7/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。口縁に沿って巾 1cm の沈線が 1 条走る。地文は単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	136	161	85
001002	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/3。角閃石、白色粒子含む。口縁部は沈線による横位区画内に単節 LR の斜行縄文。胴部は沈線による縦位区画内に単節 LR を縦位施文する。加曽利 E 式。	136	161	85
001003	深鉢	胴部上位。焼成良好。浅黄褐色 10YR8/3。角閃石、軽石粒、白色粒子、赤色粒子含む。隆線と沈線による楕円区画内に単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	136	161	85
001004	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 7.5YR7/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。巾 5mm の沈線 2 条対が垂下し胴部を縦位区画。区画内には単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	136	161	85
001005	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、岩片白色粒子含む。巾 6mm の沈線が垂下し胴部を縦位区画。区画内には単節 RL の斜行縄文。加曽利 E 式。	136	161	85
001006	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/3。白色粒子、黒色粒子含む。巾 7mm の沈線 2 条対が胴部を垂下し縦位区画。区画内には単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	136	161	85
001007	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/3。石英、角閃石、白色粒子含む。隆線と沈線による楕円区画に単節 LR 斜行縄文。胴部は単節 RL 斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	136	161	85
001008	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR5/4。石英、角閃石、岩片、白色粒子含む。隆線と沈線による楕円区画内に単節 RL の斜行縄文が縦位に施文される。加曽利 E 式。	136	161	85
001009	深鉢	口縁部。焼成普通。若干ザラついている。浅黄 2.5Y7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。波状口縁。口縁部に隆線、沈線。単節 LR の斜行縄文を縦位に施文。加曽利 E 式。	136	161	85
001010	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 5YR6/6。角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。胴部は巾 8mm の沈線 2 条対によって縦位区画。区画内には単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	137	162	85
001011	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子含む。巾 4mm の沈線 2 条対で胴部を縦位区画。区画内に単節 RL 斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	137	162	85
001012	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/4。角閃石、白色粒子含む。巾 5mm の沈線 2 条対が垂下し胴部を縦位区画。区画内には単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	137	162	85
001013	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR7/4。石英、角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。巾 4mm の沈線 2 条対で胴部を縦位区画。区画内に単節 RL 斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	137	162	85
001014	深鉢	胴部。焼成良好。赤褐色 5YR4/6。石英、角閃石、軽石粒、白色粒子含む。巾 6mm の沈線 2 条対で胴部を縦位区画。区画内に単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	137	162	85
001015	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 7.5YR7/6。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子含む。巾 4mm の沈線 2 条対で胴部を縦位区画。区画内に単節 LR の斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	137	162	85
001016	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/4。石英、角閃石、軽石粒、白色粒子、黒色粒子含む。巾 5mm の沈線 2 条対による胴部縦位区画内に単節 LR の斜行縄文を縦位施文。上端割れ口に刻み状の工具痕が残される。加曽利 E 式。	137	162	85
001017	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/3。石英、角閃石、白色粒子含む。巾 5mm の沈線 2 条対で胴部を縦位区画。区画内には単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	137	162	85
001018	深鉢	口縁部。焼成良好。明黄褐色 10YR6/6。角閃石、白色粒子含む。器壁は厚みがある。口縁部文様帯は沈線と隆線によって区画。単節 LR の斜行縄文が施文される。加曽利 E 式。	137	162	85
001019	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。胴部巾 5mm の沈線 2 条対が垂下する縦位区画内に単節 RL の斜行縄文を縦位施文。口縁部文様帯の一部が存し、単節 RL の斜行縄文を施文する。加曽利 E 式。	137	162	85
001020	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラついている。にぶい黄褐色 10YR7/4。石英、角閃石、軽石粒、白色粒子、赤色粒子含む。巾 6mm の沈線 2 条対で胴部を縦位区画。区画内は単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	137	162	85

1 縄文土器観察表

001021	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 7.5YR6/6。角閃石、軽石粒多量、岩片。含む。巾 3.5mm の沈線 2 条対が垂下し胴部を縦位区画。区画内に単節 LR の斜行縄文を縦位施文。加曾利 E 式。	137	162	85
001022	深鉢	口縁部。焼成良好。灰黄褐色 10YR5/2。角閃石、白色粒子含む。口縁は内湾する。口縁部文様帯は隆線と沈線によって楕円区画。単節 RL の斜行縄文を施文。加曾利 E 式。	137	162	85
001023	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子含む。巾 4.5mm の沈線 2 条対で胴部を縦位区画。区画内に単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曾利 E 式。	137	162	85
001024	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 7.5YR6/6。角閃石、軽石粒、岩片、白色粒子含む。巾 4.5mm の沈線 2 条対で胴部を縦位区画。区画内に単節 LR 斜行縄文を縦位施文。加曾利 E 式。	137	162	86
001025	深鉢	胴部。焼成普通。明褐色 7.5YR5/6。角閃石、軽石粒、白色粒子含む。巾 5.5mm の沈線 2 条対で胴部を縦位区画。区画内は単節 LR の斜行縄文を縦位に施文。加曾利 E 式。	137	162	86
001026	深鉢	口縁部。焼成普通。若干ザラついている。浅黄褐色 10YR8/3。石英、角閃石、岩片、白色粒子含む。口縁部に隆線と沈線で楕円区画。区画内は単節 LR 斜行縄文。加曾利 E 式。	137	162	86
001027	深鉢	胴部上位。焼成良好。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色岩片、白色粒子含む。隆線と沈線によって区画。区画内には単節 RL の斜行縄文を縦位に施文。加曾利 E 式。	137	162	86
001028	深鉢	胴部上位。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石多量、白色岩片、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。口縁部文様帯には隆線と沈線が施され、胴部には沈線が 2 条垂下する。単節 RL の斜行縄文が縦位に施文される。加曾利 E 式。	137	162	86
001029	深鉢	口縁部。焼成良好。灰黄 2.5Y7/3。角閃石、黒色岩片、白色粒子含む。口縁は内湾する。口縁部は隆線と沈線によって区画。区画内には単節 RL の斜行縄文を施文。加曾利 E 式。	138	163	86
001030	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR5/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。隆線と沈線によって楕円区画を構成。区画内は単節 LR の斜行縄文。加曾利 E 式。	138	163	86
001031	深鉢	胴部。焼成普通。浅黄褐色 10YR8/4。白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。巾 5mm の沈線区画内に沈線が曲線的に垂下し、単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曾利 E 式。	138	163	86
001032	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄褐色 10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。隆線と沈線による楕円区画。区画内は単節 RL の斜行縄文。加曾利 E 式。	138	163	86
001033	深鉢	胴部上位。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/4。角閃石、軽石粒、白色粒子、赤色粒子含む。隆線と沈線によって区画。区画内は単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曾利 E 式。	138	163	86
001034	深鉢	口縁部。焼成良好。浅黄 2.5Y7/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。隆線と沈線によって横長楕円区画を構成。区画内は単節 RL の斜行縄文を施文する。加曾利 E 式。	138	163	86
001035	深鉢	口縁部。10YR4/6 褐色。角閃石、白色岩片、白色粒子、赤色粒子を含む。口縁部文様帯は隆線と沈線で楕円区画を構成。区画内は単節 RL を施文。加曾利 E 式。	138	163	86
001036	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。沈線によって渦巻状のモチーフを構成。単節 RL の斜行縄文。加曾利 E 式。	138	163	86
001037	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。器壁は薄く、堅く焼き締まる。巾 5mm の沈線が縦位と横位に区画する。区画内には単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曾利 E 式。	138	163	86
001038	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子含む。巾 4mm の沈線 2 条対で胴部を縦位区画。区画内には沈線が曲線を描いて垂下、単節 RL の斜行縄文が縦位に施文される。加曾利 E 式。	138	163	86
001039	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR4/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子を含む。隆線と沈線で渦巻文及び楕円区画。区画内は単節 LR の斜行縄文。加曾利 E 式。	138	163	86
001040	深鉢	口縁部。焼成普通。灰黄褐色 10YR6/2。白色粒子、黒色粒子含む。波状口縁片。口縁部は隆線と沈線によって渦巻文及び横長楕円の区画を構成。区画内には単節 RL の斜行縄文が施文され、渦巻文の中央には単節 RL が縦位に施文される。加曾利 E 式。	138	163	86
001041	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子含む。隆線と沈線による渦巻文、楕円区画。区画内は単節 LR の斜行縄文を縦位施文。加曾利 E 式。	138	163	86
001042	深鉢	口縁部。焼成良好。若干ザラついている。橙色 5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。口縁は内湾し、隆線と沈線によって楕円、横長楕円区画を構成。楕円区画内は無文、横長楕円区画内には単節 LR の斜行縄文を施文する。加曾利 E 式。	138	163	86
001043	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR6/4。石英、角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子含む。波状口縁。口縁部文様帯は隆線と沈線によって渦巻文、楕円区画を構成。区画内には単節 LR の斜行縄文を縦位に施文する。加曾利 E 式。	138	163	86
001044	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/3。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子、黒色粒子含む。口縁部に隆線と沈線で渦巻状の突起をつくる。口縁部文様帯は楕円区画を構成し、区画内には単節 RL の斜行縄文を充填する。加曾利 E 式。	138	163	86
001045	深鉢	口縁部。焼成普通。若干ザラついている。にぶい黄褐色 10YR6/4。角閃石、白色粒子含む。波状口縁。口縁部文様帯は隆線と沈線によって渦巻文、楕円区画を構成。区画内には単節 RL の斜行縄文を施文。加曾利 E 式。	138	163	86
001046	深鉢	口縁部。焼成良好。橙色 7.5YR6/8。白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。隆線と沈線による楕円区画。隆線は欠損。楕円区画内は単節 RL の斜行縄文を縦位施文。加曾利 E 式。	138	163	86

001047	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/4。角閃石、白色粒子含む。口縁部との境は横位の沈線によって区画。胴部には巾7mmの沈線が垂下し縦位区画。区画内には単節 RL の斜行縄文が縦位に施文。巾8mmの沈線が曲線を描いて垂下する。加曽利 E 式。	138	163	86
001048	深鉢	口縁部。焼成良好。若干ザラついている。橙色 5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。隆線と沈線によって楕円、横長楕円区画を構成。楕円区画内は無文、横長楕円区画内には単節 LR の斜行縄文を施文する。加曽利 E 式。	138	163	86
001049	深鉢	胴部。焼成普通。角閃石、白色粒子を含む。灰黄色 2.5Y7/2。隆線と沈線によって渦巻文、楕円区画を構成。区画内には単節 RL の斜行縄文を施文。加曽利 E 式。	138	163	86
001050	深鉢	口縁部。焼成良好。浅黄橙色 10YR8/3。石英多量、角閃石、白色粒子、赤色粒子を含む。器壁厚い。隆線と沈線によって渦巻文が付される。胴部には沈線2条対が垂下して縦位に区画する。区画内には単節 RL の斜行縄文が縦位に施文される。加曽利 E 式。	139	164	86
001051	深鉢	口縁部。焼成良好。若干ザラついている。橙色 5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。口縁は内湾する。隆線と沈線によって楕円、横長楕円区画を構成。楕円区画内は無文、横長楕円区画内には単節 LR の斜行縄文を施文する。加曽利 E 式。	139	164	86
001052	深鉢	口縁部～胴部 1/4。焼成良好。若干ザラつく。にぶい橙色 7.5YR6/4。石英、角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子含む。隆線と沈線によって若干崩れた渦巻文と楕円区画を構成。区画内には単節 RL、わずかに Lr。胴部は巾6mmの沈線2条対で縦位区画。区画内には単節 RL の斜行縄文が縦位に施文される。加曽利 E 式。	139	164	86
001053	深鉢	口縁部。焼成良好。灰黄褐色 10YR4/2。角閃石、白色粒子含む。波状口縁。波状口縁の頂点は、粘土紐をアーチ状に貼付して形成する。口縁部文様帯は隆線と沈線によって楕円区画を構成。区画内には単節 RL の斜行縄文を縦位に施文する。加曽利 E 式。	139	164	86
001054	深鉢	胴部上位。焼成良好。にぶい黄 2.5Y6/3。石英、角閃石、白色粒子含む。口縁部文様帯の一部が見られ、隆線と沈線で区画する。区画内には単節 LR、RL を交互に施文。胴部は沈線によって区画され、区画内に単節 LR の斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	139	164	86
001055	深鉢	底部。焼成良好。橙色 5YR6/6。角閃石、軽石粒、白色粒子含む。巾3.5mmの沈線2条対による胴部縦位区画内に単節 RL 斜行縄文を縦位施文。復元底径4.6cm。加曽利 E 式。	139	164	87
001056	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラついている。橙色 7.5YR7/6。角閃石、岩片、白色粒子含む。器壁は厚みがある。単節 LR の斜行縄文を縦位に施文する。加曽利 E 式。	139	164	87
001057	深鉢	胴部上位。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/4。角閃石、白色粒子含む。胴部は大きく内湾し、胴部でも口縁部に近い部位に当たると思われる。沈線が胴部を縦位区画し、磨消しは幅広く発達する。区画内には単節 RL の斜行縄文が縦位に施文される。加曽利 E 式。	139	164	87
001058	深鉢	口縁部。焼成良好。赤褐色 5YR4/8。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。口縁部文様帯には単節 RL の斜行縄文が縦位に施文される。加曽利 E 式。	139	164	87
001059	深鉢	胴部。焼成普通。浅黄褐色 7.5Y8/6。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子含む。胴部に巾6mmの沈線2条対が垂下し縦位区画。区画内には単節 LR の斜行縄文を縦位に施文する。加曽利 E 式。	139	164	87
001060	深鉢	口縁部。焼成良好。若干ザラついている。橙色 7.5YR6/6。角閃石を多量に含む。石英、岩片、白色粒子、赤色粒子を含む。口縁部は若干反しながらかち上がり、端部で直立する。地文は単節 RL の斜行縄文を縦位施文し、巾5mmの沈線が垂下。加曽利 E 式。	139	164	87
001061	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR6/4。角閃石、軽石粒、白色粒子、黒色粒子含む。口縁は大きく内湾し、隆線によって肥厚する。キャリバー形の深鉢と思われる。隆線の下位には単節 RL の斜行縄文を縦位、LR を横位に施文する。加曽利 E 式。	139	164	87
001062	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/3。石英、角閃石、軽石粒、白色粒子、赤色粒子含む。巾5mmの沈線による胴部縦位区画内に単節 RL 斜行縄文を縦位施文。磨消しは幅広く発達。加曽利 E 式。	139	164	87
001063	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR6/4。石英、角閃石、軽石粒、白色粒子含む。幅5mmの沈線2条対による胴部を縦位区画内に単節 RL 斜行縄文縦・斜位施文。磨消しは幅広く発達する。加曽利 E 式。	139	164	87
001064	深鉢	胴部上位。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/4。角閃石、白色粒子含む。胴部上位から肩周辺。外側に膨らみながら大きく内湾する。沈線2条対が上位で弧を描きながら垂下し、胴部を区画。磨消しの幅は広い。区画内は単節 LR の斜行縄文を縦位施文。加曽利 E 式。	139	164	87
001065	深鉢	胴部。焼成良好。灰黄色 2.5Y7/2。角閃石、石英、白色岩片を含む。巾1cmの沈線が胴部を区画。区画ごとに単節 RL、LR を縦位施文。磨り消しも見られる。加曽利 E 式。	139	164	87
001066	深鉢	胴部下位。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/4。角閃石、白色粒子を含む。器面全体に条線を垂下し、部分的に単節 LR を条線の上から縦位施文する。加曽利 E 式。	140	165	87
001067	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR7/3。角閃石、黒色粒子、白色粒子含む。隆線と沈線で楕円区画を構成。区画内は単節 RL を縦位に施文。加曽利 E 式。	140	165	87
001068	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄橙色。石英、角閃石、軽石粒、白色粒子含む。器壁厚い。巾1cmの沈線が胴部を区画。単節 RL と LR が区画ごとに縦位に施文される。加曽利 E 式。	140	165	87

1 縄文土器観察表

001069	深鉢	口縁部。焼成普通。器面風化橙色 7.5Y7/6。角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。隆線と沈線によって楕円区画を構成。区画内は単節 RL を縦位に施文する。加曽利 E 式。	140	165	87
001070	深鉢	胴部 1/2。焼成良好。若干ザラついている。にぶい黄橙色 10YR7/4。角閃石、白色粒子含む。巾 7mm の沈線 2 条対で胴部を縦位区画。区画内には沈線が曲線を描いて垂下し、単節 RL を縦位に施文する。加曽利 E 式。	140	165	87
001071	深鉢	口縁部。焼成良好。若干ザラつく。にぶい黄橙色 10YR7/3。角閃石を多量に含む。白色粒子を含む。巾 1.2cm の浅い沈線。沈線以下には条線が縦方向に垂下。加曽利 E 式。	140	165	87
001072	深鉢	胴部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR6/4。角閃石、軽石粒、白色粒子含む。巾 4mm の沈線 2 条対で胴部を縦位区画。磨消しは幅広く発達する。区画内には単節 RL を縦・横交互に施文する。加曽利 E 式。	140	165	87
001073	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR6/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。口縁はない湾する。口縁部文様帯は隆線と沈線によって楕円区画を構成。区画内には単節 LR を縦位、一部に横位の RL を施文する。加曽利 E 式。	140	165	87
001074	深鉢	口縁部。焼成普通。黄橙色 7.5YR7/8。石英、角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。波状口縁。沈線。加曽利 E 式。	140	165	87
001075	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/4。角閃石、岩片、白色粒子含む。口縁に沿って巾 1.1cm の沈線がめぐる。沈線以下には条線が垂下する。加曽利 E 式。	140	165	87
001076	深鉢	頸部。焼成良好。淡黄 2.5Y8/3。石英、角閃石、軽石粒、白色粒子含む。頸部屈曲部には棒状工具による刺突文がめぐる。胴部に巾 6mm の沈線が連続して垂下。加曽利 E 式。	140	165	87
001077	深鉢	底部。焼成普通。にぶい黄 2.5Y6/3。石英、角閃石、軽石粒、白色粒子含む。沈線 2 条対が胴部を垂下する。加曽利 E 式。	140	165	88
001078	深鉢	底部。焼成良好。若干ザラつく。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子。底部器壁は厚みがあり、器面は被熱によって赤色化。還元底径 4.0cm。加曽利 E 式。	140	165	88
001079	深鉢	底部。焼成普通。ザラついている。にぶい黄 2.5Y6/3。石英、角閃石多量、白色粒子含む。底部器壁は厚みがあり、全体的に風化が進む。底径 7.6cm。加曽利 E 式。	140	165	88
001080	深鉢	口縁部。焼成良好。橙色 7.5YR6/6。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。口縁部に平行して 2 条、胴部に向かって斜位に 2 条の弱い沈線。沈線によって区画された内側に斜位の条線が充填される。加曽利 E 式。	140	165	88
001081			140	165	88
001082	深鉢	胴部。焼成普通。橙色 7.5YR7/6。角閃石、白色粒子含む。器面は風化が進み、文様は不明瞭。加曽利 E 式。	140	165	88
001083	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい赤褐色 5YR5/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。器壁は薄手。口縁部に橋状把手が付く。加曽利 E 式。	141	166	88
001084	深鉢	胴部。焼成良好。若干ザラつく。にぶい黄橙色 10YR6/3。石英、角閃石、白色粒子含む。隆線。沈線が 5 条、縦位に垂下する。加曽利 E 式。	141	166	88
001085	深鉢	口縁部。焼成良好。若干ザラついている。にぶい橙色 7.5YR6/4。角閃石、白色岩片、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。波状口縁。隆線と沈線による渦巻文。加曽利 E 式。	141	166	88
001086	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR6/4。角閃石、白色粒子含む。波状口縁。隆線と沈線。加曽利 E 式。	141	166	88
001087	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい褐色 7.5Y5/4。角閃石、白色粒子含む。口縁部文様帯は隆線と沈線で渦巻文、楕円区画を構成。区画内には縄文が施文されるが不明瞭。加曽利 E 式。	141	166	88
001088	深鉢	口縁部。焼成良好。暗赤褐色 5YR3/4。石英、角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。隆線と沈線による渦巻文、楕円区画。区画内には涙滴状の刺突文が施文される。加曽利 E 式。	141	166	88
001089	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR7/3。角閃石、白色粒子含む。波状口縁。沈線と隆線。加曽利 E 式。	141	166	88
001090	深鉢	口縁部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。波状口縁。口縁部に隆線と沈線が見られる。加曽利 E 式。	141	166	88
001091	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい橙色 7.5YR7/4。石英、角閃石、軽石粒、白色粒子含む。波状口縁の一部。隆線と沈線によって渦巻文を構成。加曽利 E 式。	141	166	88
001092	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR6/3。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。隆線と沈線によって楕円区画を構成。区画内には歯状工具による波状文を施文。加曽利 E 式。	141	166	88
001093	深鉢	胴部上位。焼成普通。橙色 7.5YR。角閃石、白色粒子含む。口縁部文様帯の一部で隆線と沈線によって渦巻文を構成。加曽利 E 式。	141	166	88
001094	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR6/3。角閃石、白色岩片、白色粒子含む。波状口縁。隆線と沈線で楕円区画。区画内には波状に屈曲する条線を縦位施文。加曽利 E 式。	141	166	88
001095	深鉢	口縁部。焼成普通。にぶい黄橙色 10YR7/4。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子含む。波状口縁。口縁部文様帯は隆線と沈線によって渦巻文を構成。加曽利 E 式。	141	166	88
001096	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/4。石英、角閃石、白色粒子含む。隆線と沈線によって楕円区画、区画内には隆線が楕円状のモチーフを構成。加曽利 E 式。	141	166	88
001097	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/4。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。口縁部は若干内湾する。口縁部には隆線を貼付。加曽利 E 式。	141	166	88

001098	深鉢	胴部。焼成良好。明黄褐色 10YR7/6。石英、角閃石、軽石粒、白色粒子、黒色粒子含む。棒状工具による押圧文を連続して施文した隆線が垂下し胴部を縦位区画。区画内には巾2~4mmの幅広い条線が垂下する。加曽利E式。	141	166	88
001099	深鉢	胴部上位。焼成良好。褐色 7.5YR4/4。角閃石、軽石粒、白色粒子含む。器壁は薄く、堅く焼き締まる。口縁部文様帯は隆線と沈線によって渦巻文を構成。加曽利E式。	141	166	88
001100	深鉢	口縁部。焼成良好。浅黄 2.56Y7/3。角閃石、白色粒子含む。波状口縁。器壁厚い。口縁部文様帯には隆線と沈線。加曽利E式。	141	166	88
001101			141	166	88
001102	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR6/3。角閃石、白色岩片、白色粒子含む。口縁部に渦巻状の突起。隆線と沈線によって渦巻文を構成。加曽利E式。	141	166	88
001103	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄橙色 10YR7/4。石英、角閃石、岩片、白色粒子含む。器壁厚い。口縁緩やかに内湾。巾6mmの沈線が連続して垂下。口唇部内面には隆線が口縁に沿って1条貼付される。加曽利E式。	141	166	88
001104					
001105	深鉢	口縁部。焼成良好。明赤褐色 5YR5/4。石英、角閃石、白色岩片、白色粒子。厚みあり、口縁若干内湾。口縁部文様帯は隆線と沈線による渦巻文。加曽利E式。	141	166	88
001106	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい黄褐色 10YR7/3。角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。波状口縁。口縁部に隆帯と沈線が見られる。加曽利E式。	142	167	88
001107	深鉢	胴部。焼成普通。若干ザラついている。橙色 7.5YR6/6。白色粒子、黒色粒子含む。隆線と沈線が施され、条線が垂下する。加曽利式。	142	167	88
001108	深鉢	口縁部。焼成普通。橙色 7.5YR7/6。角閃石、白色粒子含む。隆線と沈線。加曽利式。	142	167	88
001109	深鉢	口縁部。焼成良好。にぶい褐色 7.5YR5/4。角閃石、白色粒子含む。波状口縁。口縁部文様帯は隆線と沈線によって渦巻文を構成。加曽利式。	142	167	88
001110	深鉢	口縁部。焼成普通。橙色 5YR6/6。角閃石、白色粒子、赤色粒子含む。口縁部は内湾する。口縁部文様帯は、隆線と沈線によって渦巻文を構成。加曽利式。	142	167	88
001111	深鉢	胴部。焼成普通。褐色 7.5YR4/3。石英、角閃石、岩片、白色粒子、黒色粒子、赤色粒子含む。胴部文様は条線が器面全体に垂下する。中期。	142	167	88
001112	深鉢	胴部。焼成良好。暗赤褐色 5YR3/3。角閃石、岩片、白色粒子含む。胴部に櫛歯状工具による条線が縦位に充填される。中期。	142	167	88
001113	深鉢	胴部。焼成良好。橙色 7.5YR6/6。角閃石、白色粒子、黒色粒子含む。篋状工具による斜位方向の細沈線。上位では格子目状に施文される。時期不明。	142	167	88
001114	深鉢	胴部。焼成普通。にぶい赤褐色 5YR5/4。角閃石、岩片、白色粒子。巾6mmの沈線2条対が垂下し、胴部を縦位区画。区画内には単節LRの斜行縄文を縦位に施文。中期。	142	167	88

2 石器観察表

1号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000001	打製石斧	砂岩	7.8 × 5.1 × 1.55 (cm) ・ 73.8g			11	18	7
S000002	打製石斧	黒色頁岩	5.8 × 4.1 × 1.3 (cm) ・ 24.6g			11	18	7
S000003	打製石斧	黒色頁岩	4.6 × 2.4 × 0.7 (cm) ・ 7.0g			11	18	7
S000004	石匙	黒色頁岩	5.0 × 2.3 × 0.7 (cm) ・ 7.07g			11	18	7
S000005	石匙	黒曜石	7.5 × 3.5 × 1.3 (cm) ・ 3.87g			11	18	7
S000006	磨石	粗粒輝石安山岩	8.6 × 7.7 × 5.1 (cm) ・ 420g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面1、裏面2。	11	18	7
S000007	磨石	粗粒輝石安山岩	15.6 × 7.5 × 4.9 (cm) ・ 911g	長楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面2。	11	18	7
S000008	磨石	粗粒輝石安山岩	11.6 × 8.7 × 4.0 (cm) ・ 516g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面2、裏面2。	11	18	7
S000009	磨石	粗粒輝石安山岩	8.3+ × 8.5 × 4.5 (cm) ・ 364g	楕円形	割れた後でも擦っている 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面2、裏面2。	11	18	7
S000010	磨石	粗粒輝石安山岩	9.3+ × 8.6 × 4.3 (cm) ・ 477g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面。割れた後でも擦っている。	12	19	7
S000011	敲石・台石	粗粒輝石安山岩	11.4+ × 8.5+ × 4.2 (cm) ・ 346g		擦痕表裏上。敲打痕表裏右側面。	12	19	7
S000012	スクレイパー	黒色頁岩	5.1 × 9.4 × 1.7 (cm) ・ 76.3g			12	19	7
S000013	石鏃	黒色安山岩	2.0 × 1.4 × 0.4 (cm) ・ 0.79g			12	19	7
S000014	石匙	黒色頁岩	8.1 × 5.8 × 1.2 (cm) ・ 32.1g			12	19	7
S000015	くさび形石器	チャート	2.5 × 2.0 × 0.6 (cm) ・ 2.64g			12	19	7
S000016	模造品	軽石	2.9 × 4.7 × 1.1 (cm) ・ 10.2g			12	19	7

2 石器観察表

2号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000017	石皿	粗粒輝石安山岩	22.9+ × 17.3+ × 5.2 (cm) ・ 2797g	楕円形	擦痕表、裏側面。敲打痕表裏側面。	14	21	9

3号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000018	磨石	粗粒輝石安山岩	9.4 × 7.1+ × 3.6 (cm) ・ 241g	楕円形	擦痕裏。敲打痕表裏下、	18	24	11
S000019	磨石	粗粒輝石安山岩	10.4 × 8.2 × 4.2 (cm) ・ 492g	楕円形、割れた後でも擦っている。	擦痕表裏。敲打痕表裏側	18	24	11
S000020	磨石	粗粒輝石安山岩	9.9+ × 9.8 × 4.4 (cm) ・ 611g	楕円形	擦痕表裏左側面。敲打痕表裏。	18	24	11
S000021	スクレイパー	珪質頁岩	10.3 × 11.5 × 2.3 (cm) ・ 32.2g		3点接合。	18	24	11
S000022	打製石斧	黒色頁岩	7.4 × 4.9 × 1.4 (cm) ・ 51.2g			18	24	11
S000023	打製石斧	黒色頁岩	5.7 × 4.5 × 1.3 (cm) ・ 28.7g		刃広	18	24	11
S000024	打製石斧	黒色頁岩	5.3 × 3.3 × 1.3 (cm) ・ 20.5g		短冊	18	24	11
S000025	スクレイパー	黒色頁岩	7.0 × 4.6 × 1.25 (cm) ・ 35.7g			18	24	11
S000026	石鏃	珪質頁岩	2.7 × (1.2) × 0.35 (cm) ・ 0.86g			18	24	11

4号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000027	多孔石	粗粒輝石安山岩	16.5 × 20.9 × 8.3 (cm) ・ 2469g		擦痕表。漏斗状穴表面1、裏面1。	22	28	14
S000028	石皿	粗粒輝石安山岩	16.4+ × 16.6+ × 6.1 (cm) ・ 1553g		擦痕表。敲打痕なし。漏斗状穴裏面1。	23	29	14
S000029	凹石	粗粒輝石安山岩	17.8 × 16.9 × 8.3 (cm) ・ 2737g		敲打痕少し。漏斗状穴表面2。	23	29	14
S000030	打製石斧	砂岩	13.8 × 5.7 × 2.85 (cm) ・ 162.9g			23	29	14
S000031	磨製石斧	変玄武岩	12.4 × 5.6 × 3.4 (cm) ・ 475.7g			23	29	14
S000032	打製石斧	灰色安山岩	12.9 × 6.1 × 2.5 (cm) ・ 224.9g			23	29	14
S000033	打製石斧	細粒輝石安山岩	6.1 × 4.7 × 0.8 (cm) ・ 22.5g			23	29	14
S000034	石鏃?	黒色安山岩	7.2 × (4.5) × 1.3 (cm) ・ 4.40g			23	29	14

5号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000035	磨石	粗粒輝石安山岩	12.6 × 10.3 × 4.8 (cm) ・ 796g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	25	31	16
S000036	磨石	粗粒輝石安山岩	10.7 × 9.8 × 4.2 (cm) ・ 652g	円形	擦痕表裏。敲打痕裏、側面。	25	31	16
S000037	磨石	ひん岩	12.3 × 6.5 × 5.1 (cm) ・ 575g	棒状	擦痕裏、右2、左2。敲打痕全面(意図的にはつる?)。裏は少ない。	26	32	16
S000038	磨石	石英閃緑岩	17.1 × 5.2 × 5.1 (cm) ・ 770g	棒状	擦痕裏右左。敲打痕上下。	26	32	16
S000039	打製石斧	灰色安山岩	11.0 × 7.0 × 2.6 (cm) ・ 178.8g			26	32	16
S000040	尖頭器	黒色安山岩	6.7 × 5.4 × 1.7 (cm) ・ 7.56g			26	32	16

7号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000041	台石	粗粒輝石安山岩	18.2 × 25.1 × 17.2 (cm) ・ 9581g		擦痕表。敲打痕表、漏斗状穴表1。	34	39	21
S000042	石皿	粗粒輝石安山岩	28.5+ × 20.4+ × 10.5 (cm) ・ 5484g		裏凹石、擦痕表中央、裏。敲打痕表、周囲はつた感じ。漏斗状穴裏面1。	35	40	21
S000043	磨石	粗粒輝石安山岩	8.1+ × 8.2+ × 4.2 (cm) ・ 288g	不定形	割れた石皿か台石の転用。擦痕表裏。敲打痕表裏。漏斗状穴表面1裏面1。	35	40	21
S000044	石皿	粗粒輝石安山岩	27.0 × 17.0 × 6.5 (cm) ・ 2522g		擦痕表(砥石的)、裏。敲打痕表。	35	40	21
S000045	磨石	粗粒輝石安山岩	8.3 × 8.0 × 4.7 (cm) ・ 406g	円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面1、裏面1。	35	40	22
S000046	磨石	粗粒輝石安山岩	11.4 × 8.9 × 4.4 (cm) ・ 691g	楕円形、両端割れ	擦痕表裏左右。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面2、裏面2。	36	41	22
S000047	磨石	粗粒輝石安山岩	11.1 × 8.2 × 2.9 (cm) ・ 409g	楕円形(平坦)	擦痕裏下。敲打痕左。	36	41	22
S000048	磨石	粗粒輝石安山岩	9.5 × 7.4 × 4.4 (cm) ・ 425g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面2、裏面1。	36	41	22
S000049	磨石	花崗岩	9.8 × 6.4 × 5.1 (cm) ・ 441g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	36	41	22
S000050	磨石	石英閃緑岩	10.0 × 6.4+ × 4.6 (cm) ・ 348g	楕円形(6割)	擦痕表裏右。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面2、裏面2。	36	41	22
S000051	磨石	珪質頁岩	9.3 × 3.1 × 1.9 (cm) ・ 95g	棒状	擦痕表裏右。敲打痕下。	36	41	22
S000052	磨石	輝緑岩	11.9 × 5.1 × 5.0 (cm) ・ 450g	棒状	擦痕なし。敲打痕下面。	36	41	22
S000053	敲石	粗粒輝石安山岩	8.2+ × 4.2 × 3.5 (cm) ・ 194g	棒状	擦痕はつきりしない。敲打痕下	36	41	22

第8章 遺物観察表

S000054	磨石	石英閃緑岩	10.2×7.1×4.2 (cm) ・ 453g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏下側面。漏斗状穴表面未完成状のもの1	36	41	23
S000055	磨石	粗粒輝石安山岩	11.4+×6.9×3.6 (cm) ・ 374g 楕円形 擦痕表裏側面。敲打痕表(漏斗に近いもの)裏、側面は敲いて擦る。	37	42	23
S000056	スクレイパー	黒色頁岩	6.8×5.3×1.1 (cm) ・ 26.7g	37	42	23
S000057	スクレイパー	黒色頁岩	6.8×8.4×1.9 (cm) ・ 71.3g	37	42	23
S000058	微細剥離痕のある剥片	黒色頁岩	7.4×8.7×0.9 (cm) ・ 50.6g	37	42	23
S000059	微細剥離痕のある剥片	黒色頁岩	4.4×9.8×1.5 (cm) ・ 42.1g	37	42	23
S000060	微細剥離痕のある剥片	黒色頁岩	8.75×5.6×2.15 (cm) ・ 87.0g	37	42	23
S000061	二次加工のある剥片	黒色頁岩	4.5×8.0×1.0 (cm) ・ 36.0g	37	42	23
S000062	石鏃	チャート	(4.5)×1.8×0.5 (cm) ・ 2.49g	37	42	23
S000063	くさび形石器	チャート	2.6×1.8×0.8 (cm) ・ 3.56g	37	42	23
S000064	砥石	緑色片岩	8.7×5.0×2.9 (cm) ・ 80g 不定形 擦痕表裏左下。敲打痕なし。	37	42	23
S000065	砥石	牛伏砂岩	4.0+×5.5×2.0 (cm) ・ 41g 不定形 擦痕表左右。敲打痕なし。	37	42	23
S000066	二次加工のある剥片	黒色頁岩	10.2×4.5×1.6 (cm) ・ 53.1g	37	42	23
S000067	打製石斧	砂岩	7.8×4.0×1.9 (cm) ・ 67.8g 3点接合	37	42	23

8号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状 観察所見等	図	頁	PL
S000068	石鏃	粗粒輝石安山岩	2.7×1.2×0.4 (cm) ・ 1.01g		40	45	26
S000069	石鏃	黒色頁岩	3.1×(1.7)×0.3 (cm) ・ 1.75g		40	45	26
S000070	石製品	蛇紋岩	1.3×1.7×0.3 (cm) ・ 0.52g		40	45	26
S000071	スクレイパー	黒色頁岩	4.6×6.7×1.0 (cm) ・ 35.9g		40	45	26
S000072	磨石	粗粒輝石安山岩	11.0×9.2×4.7 (cm) ・ 716g	楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	41	46	26
S000073	磨石	変質安山岩	13.0×5.1×4.2 (cm) ・ 451g	棒状 擦痕裏。敲打痕表裏上下。	41	46	26
S000074	磨石	粗粒輝石安山岩	7.8×6.2×5.1 (cm) ・ 343g	楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	41	46	26
S000075	打製石斧	黒色頁岩	7.4×(5.5)×1.3 (cm) ・ 50.5g		41	46	26
S000076	石鏃	黒色頁岩	5.2×3.7×1.1 (cm) ・ 19.9g		41	46	26
S000077	微細剥離痕のある剥片	黒色頁岩	4.7×8.6×1.1 (cm) ・ 46.1g		41	46	26
S000078	スクレイパー	黒色頁岩	5.2×7.0×1.35 (cm) ・ 40.4g		41	46	27
S000079	微細剥離痕のある剥片	黒色頁岩	6.3×9.6×1.1 (cm) ・ 78.3g		41	46	27
S000080	スクレイパー	黒色頁岩	6.0×8.2×2.05 (cm) ・ 84.0g		41	46	27

9号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状 観察所見等	図	頁	PL
S000081	磨石	粗粒輝石安山岩	9.6×8.6×5.1 (cm) ・ 625g	楕円形 擦痕表裏左側面。敲打痕表裏側面。漏斗状穴裏面1(浅い)	44	49	28
S000082	磨石	粗粒輝石安山岩	8.5+×7.2×4.7 (cm) ・ 348g	楕円形 割れた後でも擦っている。擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面3	44	49	28
S000083	磨石	変質安山岩	9.7×6.7×4.3 (cm) ・ 356g	不定形 擦痕裏。敲打痕表裏。漏斗状穴裏面2(側縁近く)。	44	49	29
S000084	石鏃	黒色頁岩	2.1×1.5×0.5 (cm) ・ 1.47g		44	49	29
S000085	石鏃	黒色頁岩	2.4×(1.7)×0.3 (cm) ・ 0.79g		44	49	29
S000086	スクレイパー	黒色頁岩	5.5×6.7×0.6 (cm) ・ 28.9g		44	49	29
S000087	スクレイパー	黒色頁岩	4.85×6.6×8.5 (cm) ・ 27.4g		44	49	29
S000088	打製石斧	黒色頁岩	9.3×6.1×2.0 (cm) ・ 116.3g		45	50	29
S000089	敲石	粗粒輝石安山岩	7.9×7.8×6.0 (cm) ・ 338g	不定形 擦痕なし。敲打痕表裏周囲全面、漏斗状穴裏面1。	45	50	29
S000090	打製石斧	黒色頁岩	8.6×6.0×2.2 (cm) ・ 72.1g		45	50	29
S000091	スクレイパー	黒色頁岩	6.8×9.75×1.35 (cm) ・ 79.5g		45	50	29
S000092	打製石斧	砂岩	12.2×6.8×1.9 (cm) ・ 177.6g		45	50	29
S000093	石鏃	黒色頁岩	7.0×7.0×1.4 (cm) ・ 37.5g		45	50	29

10号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状 観察所見等	図	頁	PL
S000094	砥石	粗粒輝石安山岩	5.6×4.5×3.7 (cm) ・ 65g	方形に近い 擦痕表、右、上。敲打痕なし。	50	54	31
S000095	二次加工のある剥片	黒色頁岩	5.7×6.6×1.2 (cm) ・ 47.9g		50	54	31
S000096	打製石斧	黒色頁岩	7.5×5.2×1.4 (cm) ・ 56.1g		50	54	31
S000097	打製石斧	黒色頁岩	(8.6)×3.7×1.2 (cm) ・ 42.9g		50	54	31
S000098	打製石斧	黒色頁岩	10.2×5.1×1.8 (cm) ・ 97.2g		50	54	31

2 石器観察表

14号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000099	石皿	粗粒輝石安山岩	24.3×19.6×6.4 (cm) ・ 4681g	擦痕表、側面。	敲打痕表、側面。	54	57	33
S000100	磨石	変質安山岩	9.2+×5.1×3.0 (cm) ・ 159g	棒状	擦痕表裏。はつるような敲打痕。	54	57	33
S000101	磨石	粗粒輝石安山岩	5.6×5.8×3.0 (cm) ・ 172g	楕円～円形	擦痕表裏。敲打痕裏側面。	54	57	34
S000102	磨石	粗粒輝石安山岩	8.5×8.7×5.2 (cm) ・ 542g	円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	54	57	34
S000103	磨石	粗粒輝石安山岩	11.3×10.8×4.1 (cm) ・ 602g	円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	54	57	34
S000104	磨石	粗粒輝石安山岩	10.4+×8.1×4.0 (cm) ・ 444g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	54	57	34
S000105	磨石	粗粒輝石安山岩	11.3×6.4×3.0 (cm) ・ 297g	楕円形	擦痕表裏左。敲打痕表裏側面。	54	57	34
S000106	砥石	牛伏砂岩	7.6+×8.1+×3.2 (cm) ・ 219g	(方形に近い)	擦痕表裏。敲打痕裏。	54	57	34
S000107	磨石	砂岩	10.5+×9.1×4.3 (cm) ・ 546g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	55	58	34
S000108	磨石	粗粒輝石安山岩	12.4×6.7×4.1 (cm) ・ 523g	棒～楕円	擦痕表裏左。敲打痕上下。	55	58	34
S000109	磨石	粗粒輝石安山岩	10.8×9.7×4.8 (cm) ・ 650g	円に近い	擦痕表裏。敲打痕表裏下。	55	58	34
S000110	磨石	粗粒輝石安山岩	9.6×6.3×4.2 (cm) ・ 325g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏上下。	55	58	34
S000111	磨石	粗粒輝石安山岩	8.3×6.3×3.7 (cm) ・ 259g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。 漏斗状穴裏面1。	55	58	35
S000112	磨石	粗粒輝石安山岩	9.9×8.7×4.4 (cm) ・ 527g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	55	58	35
S000113	磨石	変質安山岩	10.3×9.2×5.0 (cm) ・ 651g	円形	擦痕表裏右。敲打痕表裏側面。	55	58	35
S000114	磨石	粗粒輝石安山岩	10.8×8.3×4.9 (cm) ・ 669g	楕円形	擦痕表少し、裏。敲打痕表裏。 側面は敲打痕と擦痕。	56	59	35
S000115	石匙	チャート	3.1×1.4×0.5 (cm) ・ 1.91g			56	59	35
S000116	打製石斧	硬質泥岩	17.2×8.5×4.4 (cm) ・ 700.6g			56	59	35
S000117	打製石斧	黒色頁岩	10.5×5.6×2.6 (cm) ・ 140.2g			56	59	35
S000118	スクレイパー?	黒色頁岩	5.8×7.6×1.2 (cm) ・ 57.8g			56	59	35
S000119	打製石斧	黒色頁岩	12.5×5.5×1.7 (cm) ・ 120g			56	59	35
S000120	打製石斧	変質玄武岩	13.0×8.0×3.5 (cm) ・ 467g			56	59	35
S000121	打製石斧	黒色頁岩	10.6×6.1×2.1 (cm) ・ 131.4g			56	59	35
S000122	石鏃	黒色頁岩	2.2×1.9×0.5 (cm) ・ 1.74g			57	60	35
S000123	石鏃	黒曜石	1.8×(1.5)×0.35 (cm) ・ 0.64g			57	60	35
S000124	石鏃	チャート	1.7×1.7×0.5 (cm) ・ 1.33g			57	60	35
S000125	スクレイパー	黒色頁岩	5.0×10.0×0.8 (cm) ・ 46.7g	楕円形		57	60	36
S000126	スクレイパー	黒色頁岩	6.0×8.9×1.5 (cm) ・ 81.7g	四角っぽい。		57	60	36
S000127	二次加工のある剥片	黒色頁岩	6.7×9.5×1.7 (cm) ・ 122.8g			57	60	36
S000128	耳飾り	蛇紋岩	4.65×2.95×9.5 (cm) ・ 11.38g	3点接合		57	60	36

24号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000129	石皿	粗粒輝石安山岩	7.0×11.0×2.6 (cm) ・ 237g	半円形	擦痕表。敲打痕表裏。漏斗状穴表。	63	66	39
S000130	凹石	粗粒輝石安山岩	8.2×6.7×3.9 (cm) ・ 205g	不定形	裏の割れ面にも擦痕あり。敲打痕なし。漏斗状穴表面3。	63	66	39
S000131	磨石	粗粒輝石安山岩	9.5×7.2+×4.4 (cm) ・ 310g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。 漏斗状穴表面2	63	66	39
S000132	砥石	牛伏砂岩	7.2+×6.6×2.2 (cm) ・ 86g	不定形	擦痕表裏上。敲打痕なし。	63	66	39
S000133	打製石斧	黒色頁岩	6.1×4.6×1.3 (cm) ・ 32.1g			63	66	40
S000134	打製石斧	砂岩	6.7×5.9×1.5 (cm) ・ 64.4g			63	66	40
S000135	砥石台石	粗粒輝石安山岩	21.3×11.4×5.1 (cm) ・ 1912g		擦痕左側面。敲打痕表裏。	64	67	40
S000136	スクレイパー	珪質頁岩	6.9×6.0×1.3 (cm) ・ 51.7g			64	67	40
S000137	スクレイパー	黒色頁岩	3.3×7.0×0.9 (cm) ・ 15.9g			64	67	40
S000138	スクレイパー	黒色頁岩	6.2×7.8×1.1 (cm) ・ 83.9g			64	67	40

25号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000139	石皿	粗粒輝石安山岩	23.2+×15.7+×4.8 (cm) ・ 1946g		擦痕表、裏は側面も。敲打痕表。	68	70	42
S000140	磨石	石英斑岩	17.7×8.4×5.3 (cm) ・ 1145g	棒状	擦痕裏右側面。敲打痕裏、右側面上下。	69	71	42
S000141	磨石	石英閃緑岩	10.6×5.7×3.9 (cm) ・ 356g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。 漏斗状穴裏面2。	69	71	42

第8章 遺物観察表

S000142	磨石	石英閃緑岩	6.3×6.0×5.1 (cm) ・ 253g 円形 擦痕全面にあり。敲打痕全面にあり。下部にやや集中。	69	71	42
S000143	磨石	粗粒輝石安山岩	11.0×8.4×5.4 (cm) ・ 690g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。右側面は敲いて擦る。漏斗状穴表面2、裏面2。	69	71	42
S000144	打製石斧	黒色頁岩	(8.6)×5.1×1.4 (cm) ・ 75.8g	69	71	42
S000145	スクレイパー	黒色頁岩	4.8×7.5×1.6 (cm) ・ 51.4g	69	71	42
S000146	敲石	粗粒輝石安山岩	13.4×11.4×6.9 (cm) ・ 1056g 不定形 擦痕裏。敲打痕表裏。漏斗状穴表面2。	69	71	42

26号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状 観察所見等	図	頁	PL
S000147	磨石	粗粒輝石安山岩	10.6×8.2×4.3 (cm) ・ 488g	楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面3、裏面2。	73	74	44
S000148	スクレイパー	黒色頁岩	4.4×8.0×1.2 (cm) ・ 36.9g		73	74	44
S000149	磨石	粗粒輝石安山岩	7.2×3.9×2.6 (cm) ・ 85g	楕円形 擦痕(表右)、裏。敲打痕表裏上。	73	74	44

27号住居

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状 観察所見等	図	頁	PL
S000150	磨石	石英閃緑岩	9.4×8.1×5.7 (cm) ・ 660g	楕円形 擦痕表裏側面。敲打痕表裏。	76	77	46
S000151	磨石	粗粒輝石安山岩	9.8×7.8×4.1 (cm) ・ 403g	楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面2。	76	77	46
S000152	磨石	粗粒輝石安山岩	11.4×7.7×4.9 (cm) ・ 476g	楕円形 擦痕表裏。裏は弱い。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面1、裏面2。	76	77	46
S000153	打製石斧	砂岩	14.8×9.3×4.1 (cm) ・ 508.2g		77	78	46
S000154	磨製石斧	変玄武岩	9.7×3.4×1.85 (cm) ・ 81.4g		77	78	46
S000155	スクレイパー	黒色頁岩	4.3×9.9×1.3 (cm) ・ 65.7g		77	78	46
S000156	石匙	黒色頁岩	7.6×6.6×1.6 (cm) ・ 71.5g		77	78	46
S000157	スクレイパー	黒色頁岩	5.7×6.7×1.7 (cm) ・ 116.9g		77	78	47
S000158	石匙	黒色頁岩	6.0×5.5×2.3 (cm) ・ 53.8g		77	78	47

7号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状 観察所見等	図	頁	PL
S000159	打製石斧	黒色頁岩	7.4×5.1×1.7 (cm) ・ 73.6g		79	81	48
S000160	スクレイパー	黒色頁岩	3.9×6.3×1.2 (cm) ・ 45.8g		79	81	48

12号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状 観察所見等	図	頁	PL
S000161	敲石	粗粒輝石安山岩	9.8×9.7×6.3 (cm) ・ 575g	不定形 擦痕表裏。敲打痕裏側面、	81	83	49

14号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状 観察所見等	図	頁	PL
S000162	スクレイパー	黒色頁岩	3.2×7.35×0.7(cm) ・ 17.4g		81	83	49
S000163	スクレイパー	黒色頁岩	5.7×6.1×1.4(cm) ・ 42.2g		81	83	49

17号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状 観察所見等	図	頁	PL
S000164	敲石	粗粒輝石安山岩	9.5×6.2×4.5 (cm) ・ 257g	不定形 擦痕表裏。敲打痕表裏下、漏斗状穴裏面1。	83	86	50

18号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状 観察所見等	図	頁	PL
S000165	磨石	粗粒輝石安山岩	11.2×9.1×5.3(cm) ・ 653g	擦痕表裏。敲打痕表裏 被熱し一部黒化、赤変。	84	87	51

24号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状 観察所見等	図	頁	PL
S000166	磨石	粗粒輝石安山岩	13.2×9.0×4.6 (cm) ・ 872g	楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面3、裏面2。	87	91	52
S000167	石匙	珪質頁岩	5.7×5.9×1.3 (cm) ・ 28.1g		87	91	52

2 石器観察表

25号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000168	打製石斧	珪質頁岩	16.3×7.5×2.6 (cm) ・ 338.5g			88	93	53

27号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000169	スクレイパー	黒色頁岩	6.9×5.2×1.2 (cm) ・ 39.3g			88	93	53

29号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000170	尖頭器	チャート	(5.2)×3.9×1.5 (cm) ・ 3.82g			89	94	54
S000171	くさび形石器	チャート	3.4×2.6×1.05 (cm) ・ 9.86g			89	94	54

31号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000172	打製石斧	黒色安山岩	8.1×8.1×3.2 (cm) ・ 304g			90	95	54

32号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000173	磨石	粗粒輝石安山岩	16.7×6.9×3.8 (cm) ・ 727g	棒状	擦痕表裏。右左側面敲打の後擦る。上下側縁は擦→敲打。敲打痕側縁。右左ははつるような敲打。	90	95	55

34号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000174	不定形石器	黒色頁岩	11.4×2.5×2.1 (cm) ・ 70g			92	98	56

44号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000175	石鏃	珪質頁岩	1.6×1.3×0.5 (cm) ・ 0.78g			95	102	57
S000176	スクレイパー	黒色頁岩	6.5×5.1×1.4 (cm) ・ 37.4g			95	102	57

51号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000177	打製石斧	黒色頁岩	13.4×5.4×2.0 (cm) ・ 114.4g			97	105	59

52号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000178	磨石	粗粒輝石安山岩	10.5×9.0×4.7 (cm) ・ 651g	楕円形	割れた後でも擦っている。擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面2。	98	107	59

53号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000179	スクレイパー	黒色頁岩	5.3×8.6×1.8 (cm) ・ 59.3g			98	107	60
S000180	磨石	粗粒輝石安山岩	11.8×8.6×5.5 (cm) ・ 747g	楕円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴裏面上よりに2。	98	107	60

63号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000181	スクレイパー	黒色頁岩	5.3×7.0×1.7 (cm) ・ 48.3g			101	111	62

64号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000182	石鏃	チャート	2.3×1.7×0.45 (cm) ・ 1.17g			101	111	62

66号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000183	石匙	黒色頁岩	1.8×4.5×0.4 (cm) ・ 3.40g			101	111	62

76号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000184	磨石	粗粒輝石安山岩	9.2×8.0×6 (cm) ・ 615g	円に近い	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	104	117	64
S000185	くさび形石器	チャート	2.8×1.5×0.95 (cm) ・ 3.42g			104	117	64

90号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000186	石錐	黒色頁岩	6.5×4.3×1.3 (cm) ・ 25.6g			107	121	66

98号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000187	磨石	粗粒輝石安山岩	8.5×8.1×4.7 (cm) ・ 423g	円形	擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	108	123	67

100号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000188	磨石	粗粒輝石安山岩	10.0×7.0×4.1 (cm) ・ 315g	楕円形	擦痕表少し、裏少し。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面2、裏面2。	109	125	68

118号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000189	磨石	石英閃緑岩	9.2×7.3×3.6 (cm) ・ 352g	楕円～(不定形)	擦痕表、裏2、左側面。敲打は左側から右側方向。敲打痕と擦痕。	112	129	70

132号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000190	石匙	黒色頁岩	5.5×1.7×0.4 (cm) ・ 4.62g			114	133	72

136号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000191	スクレイパー	黒色頁岩	6.6×2.3×0.8 (cm) ・ 12.5g			115	134	73

137号土坑

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000192	石匙	黒色頁岩	4.4×5.4×1.1 (cm) ・ 23.3g			116	135	73

遺構外出土石器

遺物番号	器形	石材	法量(重さ・最大長・最大幅・厚)	形状	観察所見等	図	頁	PL
S000193	尖頭器	黒色頁岩	9.9×3.3×1.3(cm) ・ 5.06g			144	169	89
S000194	尖頭器	黒色頁岩	10.4×3.3×1.4(cm) ・ 5.64g			144	169	89
S000195	石鏃	黒曜石	1.5×1.2×0.3(cm) ・ 0.32g			144	169	89
S000196	石鏃	黒色安山岩	(1.6)×1.5×0.4(cm) ・ 0.87g			144	169	89
S000197	石鏃	チャート	1.8×1.4×0.4(cm) ・ 0.71g			144	169	89
S000198	石鏃	珪質頁岩	3.7×1.6×0.5(cm) ・ 1.89g			144	169	89
S000199	石鏃	黒色安山岩	(1.9)×1.9×0.4(cm) ・ 1.35g			144	169	89
S000200	石鏃	チャート	1.8×1.7×0.65(cm) ・ 1.34g			144	169	89
S000201	石鏃	珪質頁岩	2.8×1.5×0.55(cm) ・ 1.56g			144	169	89
S000202	石鏃	黒色頁岩	2.1×2.1×0.4(cm) ・ 1.07g			144	169	89
S000203	石鏃	黒色安山岩	(2.0)×1.8×0.4(cm) ・ 1.00g			144	169	89
S000204	石鏃	黒色頁岩	2.5×1.5×0.55(cm) ・ 1.73g			144	169	89
S000205	石鏃	チャート	3.5×2.1×0.9(cm) ・ 4.27g			144	169	89
S000206	石鏃	黒色安山岩	2.2×1.5×0.5(cm) ・ 1.00g			144	169	89
S000207	石鏃	黒色安山岩	1.7×(1.2)×0.35(cm) ・ 0.47g			144	169	89
S000208	石鏃	黒色安山岩	(1.08)×1.7×0.4(cm) ・ 1.04g			144	169	89
S000209	石鏃	珪質頁岩	2.4×1.5×0.5(cm) ・ 1.51g			144	169	89
S000210	石鏃	チャート	3.1×(1.7)×0.3(cm) ・ 1.12g			144	169	89
S000211	石鏃	チャート	2.3×(1.5)×0.65(cm) ・ 1.49g			144	169	89
S000212	石鏃	チャート	2.2×1.3×0.45(cm) ・ 0.96g			144	169	89
S000213	石鏃	黒色安山岩	2.4×(1.9)×0.4(cm) ・ 1.28g			144	169	89

2 石器観察表

S000214	石鏃	チャート	3.5 × 1.5 × 0.6(cm) · 2.35g	145	170	90
S000215	石鏃	珪質頁岩	3.0 × (1.7) × 0.5(cm) · 1.98g	145	170	90
S000216	石鏃	黒色安山岩	(2.8) × 2.2 × 0.45(cm) · 2.50g	145	170	90
S000217	石鏃	黒色安山岩	1.8 × (1.3) × 0.35(cm) · 0.42g	145	170	90
S000218	石鏃	黒曜石	1.6 × (1.0) × 0.25(cm) · 0.20g	145	170	90
S000219	石鏃	黒曜石	1.3 × 1.2 × 0.3(cm) · 0.26g	145	170	90
S000220	石鏃	チャート	1.9 × 1.4 × 0.5(cm) · 0.70g	145	170	90
S000221	石鏃	チャート	(2.0) × 1.5 × 0.7(cm) · 1.75g	145	170	90
S000222	石鏃	黒色安山岩	2.9 × (2.2) × 0.45(cm) · 1.96g	145	170	90
S000223	石鏃	黒色頁岩	2.3 × 1.5 × 0.4(cm) · 1.16g	145	170	90
S000224	石鏃	黒曜石	2.9 × (1.4) × 0.5(cm) · 0.92g	145	170	90
S000225	石鏃	チャート	2.6 × 1.5 × 0.3(cm) · 0.69g	145	170	90
S000226	石鏃	チャート	2.2 × 1.7 × 0.3(cm) · 0.59g	145	170	90
S000227	石鏃	黒色頁岩	3.4 × 1.5 × 0.7(cm) · 2.22g	145	170	90
S000228	石鏃	黒色安山岩	2.9 × 1.5 × 0.4(cm) · 1.46g	145	170	90
S000229	石鏃	黒色頁岩	2.5 × 1.9 × 0.35(cm) · 1.43g	145	170	90
S000230	石鏃	チャート	2.4 × 1.5 × 0.55(cm) · 1.54g	145	170	90
S000231	石鏃	珪質頁岩	1.9 × 1.4 × 0.45(cm) · 0.85g	145	170	90
S000232	石鏃	チャート	2.5 × 1.7 × 0.35(cm) · 0.87g	145	170	90
S000233	石鏃	黒色安山岩	(2.5) × 1.2 × 0.3(cm) · 0.89g	145	170	90
S000234	石鏃	黒色安山岩	3.1 × 2.2 × 0.35(cm) · 1.44g	145	170	90
S000235	石鏃	黒色安山岩	1.8 × 1.7 × 0.45(cm) · 0.92g	145	170	90
S000236	石鏃	チャート	1.9 × (1.3) × 0.4(cm) · 0.87g	146	171	91
S000237	石鏃	黒曜石	1.4 × (1.6) × 0.3(cm) · 0.37g	146	171	91
S000238	スクレイパー	黒色頁岩	6.4 × 4.8 × 1.0(cm) · 28.1g	146	171	91
S000239	石鏃	黒色頁岩	2.6 × 1.9 × 0.4(cm) · 1.82g	146	171	91
S000240	石鏃	黒曜石	(1.7) × (1.4) × 0.4(cm) · 0.57g	146	171	91
S000241	スクレイパー	黒色頁岩	5.1 × 3.15 × 8.5(cm) · 13.2g	146	171	91
S000242	石鏃	チャート	1.6 × 1.1 × 0.3(cm) · 0.45g	146	171	91
S000243	スクレイパー	黒色頁岩	3.8 × 7.2 × 0.9(cm) · 24.3g	146	171	91
S000244	スクレイパー	黒色頁岩	11.4 × 4.4 × 0.8(cm) · 38.1g	146	171	91
S000245	スクレイパー	黒色頁岩	8.3 × 4.3 × 8.5(cm) · 41.0g	146	171	91
S000246	スクレイパー	黒色頁岩	5.1 × 7.35 × 1.6(cm) · 54.8g	146	171	91
S000247	スクレイパー	黒色頁岩	7.7 × 3.85 × 1.5(cm) · 46.6g	146	171	91
S000248	スクレイパー	黒色頁岩	8.6 × 3.8 × 0.9(cm) · 39.8g	146	171	91
S000249	スクレイパー	チャート	5.1 × 4.6 × 1.3(cm) · 36.2g	146	171	91
S000250	スクレイパー	黒色頁岩	6.8 × 8.0 × 1.1(cm) · 56.5g	146	171	91
S000251	スクレイパー	黒色頁岩	5.0 × 10.2 × 1.2(cm) · 77.5g	146	171	91
S000252	スクレイパー	黒色頁岩	7.5 × 6.4 × 1.8(cm) · 58.0g	146	171	91
S000253	スクレイパー	黒色頁岩	5.9 × 8.5 × 1.2(cm) · 52.3g	146	171	91
S000254	スクレイパー	黒色頁岩	5.6 × 8.3 × 0.9(cm) · 35.2g	146	171	91
S000255	スクレイパー	黒色頁岩	3.5 × 7.1 × 0.7(cm) · 16.7g	146	171	91
S000256	スクレイパー	黒色頁岩	4.3 × 7.05 × 2.05(cm) · 48.4g	147	172	92
S000257	スクレイパー	黒色頁岩	7.5 × 4.6 × 1.1(cm) · 45.1g	147	172	92
S000258	スクレイパー	黒色頁岩	10.1 × 11.4 × 1.6(cm) · 165.0g	147	172	92
S000259	スクレイパー	黒色頁岩	4.6 × 9.0 × 1.0(cm) · 48.8g	147	172	92
S000260	スクレイパー	黒色頁岩	4.2 × 3.7 × 0.6(cm) · 11.5g	147	172	92
S000261	スクレイパー	黒色頁岩	3.7 × 5.0 × 7.0(cm) · 13.7g	147	172	92
S000262	スクレイパー	黒色頁岩	6.0 × 12.1 × 2.2(cm) · 161.0g	147	172	92
S000263	スクレイパー	ホルンフェルス	4.7 × 7.5 × 0.6(cm) · 22.6g	147	172	92
S000264	スクレイパー	チャート	3.6 × 4.3 × 0.8(cm) · 12.0g	147	172	92
S000265	スクレイパー	黒色頁岩	5.2 × 4.9 × 1.45(cm) · 34.6g	147	172	92
S000266	スクレイパー	黒色頁岩	7.0 × 3.9 × 1.0(cm) · 20.8g	147	172	92
S000267	スクレイパー	黒色頁岩	6.4 × 3.7 × 1.1(cm) · 30.9g	147	172	92
S000268	くさび形石器	チャート	1.8 × 1.4 × 0.8(cm) · 1.43g	147	172	92
S000269	くさび形石器	チャート	4.0 × 1.9 × 1.2(cm) · 10.29g	147	172	92
S000270	くさび形石器	チャート	3.2 × 1.8 × 0.7(cm) · 3.27g	147	172	92
S000271	くさび形石器	チャート	2.6 × 2.4 × 0.75(cm) · 4.80g	147	172	92
S000272	くさび形石器	チャート	3.6 × 2.2 × 1.2(cm) · 10.98g	147	172	92

第8章 遺物観察表

S000273	くさび形石器	黒色安山岩	3.2 × 3.4 × 0.7(cm) · 7.65g	148	173	93
S000274	くさび形石器	チャート	2.4 × 1.9 × 0.7(cm) · 3.75g	148	173	93
S000275	石匙	黒色頁岩	7.0 × 1.9 × 1.0(cm) · 9.80g	148	173	93
S000276	くさび形石器	チャート	3.1 × 2.3 × 0.7(cm) · 6.02g	148	173	93
S000277	石匙	珪質頁岩	(4.2) × 2.4 × 1.1(cm) · 1.10g	148	173	93
S000278	石匙	黒色頁岩	6.7 × 1.8 × 0.9(cm) · 9.14g	148	173	93
S000279	石匙	黒色頁岩	3.3 × 3.5 × 0.8(cm) · 8.99g	148	173	93
S000280	石匙	黒色頁岩	6.5 × 4.2 × 1.1(cm) · 25.90g	148	173	93
S000281	石匙	黒色頁岩	2.9 × 2.7 × 0.8(cm) · 5.87g	148	173	93
S000282	石匙	黒色頁岩	6.3 × 2.9 × 0.7(cm) · 15.32g	148	173	93
S000283	石錐	黒色頁岩	3.3 × 1.8 × 0.7(cm) · 3.51g	148	173	93
S000284	石錐	黒色頁岩	3.0 × 2.1 × 0.5(cm) · 2.56g	148	173	93
S000285	石錐	黒色頁岩	4.6 × 1.4 × 0.8(cm) · 3.73g	148	173	93
S000286	石錐	黒色頁岩	8.3 × 6.9 × 1.6(cm) · 46.2g	148	173	93
S000287	石錐	黒色頁岩	4.1 × 4.1 × 1.2(cm) · 15.4g	148	173	93
S000288	不定形石器	黒色頁岩	12.0 × 2.9 × 2.8(cm) · 81.2g	148	173	93
S000289	不定形石器	黒色頁岩	8.9 × 2.9 × 1.6(cm) · 46.5g	148	173	93
S000290	不定形石器	細粒輝石安山岩	8.8 × 3.0 × 2.1(cm) · 54.4g	148	173	93
S000291	不定形石器	黒色頁岩	10.6 × 10.3 × 2.4(cm) · 312.8g	149	174	94
S000292	不定形石器	ホルンフェルス	6.8 × 7.7 × 2.5(cm) · 130.2g	149	174	94
S000293	不定形石器	黒色頁岩	5.2 × 18.6 × 2.7(cm) · 156.0g	149	174	94
S000294	不定形石器	黒色頁岩	13.7 × 4.1 × 2.1(cm) · 112.0g	149	174	94
S000295	打製石斧	細粒輝石安山岩	12.1 × 5.4 × 1.5(cm) · 74.5g	149	174	94
S000296	打製石斧	黒色頁岩	12.2 × 4.2 × 1.6(cm) · 105.5g	149	174	94
S000297	不定形石器	黒色頁岩	(7.1) × 3.4 × 1.7(cm) · 40.1g	149	174	94
S000298	打製石斧	ホルンフェルス	11.0 × 6.5 × 1.8(cm) · 117.2g	149	174	94
S000299	打製石斧	灰色安山岩	(10.1) × 5.5 × 2.0(cm) · 117.6g	149	174	94
S000300	打製石斧	黒色頁岩	11.3 × 4.5 × 2.0(cm) · 142.9g	149	174	94
S000301	打製石斧	細粒輝石安山岩	(9.8) × 4.7 × 2.0(cm) · 86.5g	149	174	94
S000302	打製石斧	黒色頁岩	(8.3) × 3.9 × 1.3(cm) · 64.3g	149	174	94
S000303	打製石斧	灰色安山岩	(6.3) × 3.6 × 1.1(cm) · 35.8g	150	175	95
S000304	打製石斧	黒色頁岩	6.4 × 5.6 × 1.8(cm) · 56.3g	150	175	95
S000305	打製石斧	黒色頁岩	7.0 × 6.2 × 1.6(cm) · 55.3g	150	175	95
S000306	打製石斧	黒色頁岩	10.4 × 6.9 × 2.3(cm) · 147.4g	150	175	95
S000307	打製石斧	頁岩	(10.4) × 5.1 × 1.6(cm) · 99.8g	150	175	95
S000308	打製石斧	珪質頁岩	9.4 × 3.9 × 1.35(cm) · 49.3g	150	175	95
S000309	打製石斧	砂岩	(13.1) × 5.9 × 2.55(cm) · 221.5g	150	175	95
S000310	打製石斧	珪質頁岩	(11.0) × 4.7 × 2.1(cm) · 109.2g	150	175	95
S000311	打製石斧	細粒輝石安山岩	9.0 × 5.1 × 1.1(cm) · 56.9g	150	175	95
S000312	打製石斧	黒色頁岩	(7.8) × 4.2 × 1.4(cm) · 49.8g	150	175	95
S000313	打製石斧	黒色頁岩	(9.6) × 4.0 × 1.1(cm) · 44.4g	150	175	95
S000314	打製石斧	黒色頁岩	7.8 × 6.6 × 2.5(cm) · 121.0g	150	175	95
S000315	打製石斧	灰色安山岩	12.0 × 4.8 × 2.0(cm) · 117.6g	150	175	95
S000316	打製石斧	細粒輝石安山岩	12.0 × 4.8 × 1.5(cm) · 89.1g	150	175	95
S000317	打製石斧	灰色安山岩	10.4 × 5.4 × 1.5(cm) · 111.9g	150	175	95
S000318	打製石斧	灰色安山岩	24.0 × 8.4 × 2.3(cm) · 398.9g	151	176	96
S000319	打製石斧	灰色安山岩	14.0 × 7.4 × 2.05(cm) · 206.6g	151	176	96
S000320	打製石斧	細粒輝石安山岩	8.6 × 5.6 × 2.7(cm) · 139.9g	151	176	96
S000321	打製石斧	細粒輝石安山岩	10.0 × 3.9 × 1.3(cm) · 55.8g	151	176	96
S000322	打製石斧	変はんれい岩	7.5 × 5.0 × 2.9(cm) · 130.4g	151	176	96
S000323	打製石斧	灰色安山岩	(6.9) × 4.1 × 1.4(cm) · 50.7g	151	176	96
S000324	打製石斧	灰色安山岩	(8.2) × 4.7 × 1.5(cm) · 99.2g	151	176	96
S000325	打製石斧	変質玄武岩	8.6 × 5.8 × 2.1(cm) · 104.2g	151	176	96
S000326	打製石斧	細粒輝石安山岩	12.1 × 4.5 × 2.0(cm) · 117.9g	151	176	96
S000327	打製石斧	砂質頁岩	13.4 × 5.3 × 2.25(cm) · 159.2g	151	176	96
S000328	打製石斧	黒色頁岩	10.5 × 4.8 × 1.7(cm) · 80.9g	151	176	96
S000329	打製石斧	黒色頁岩	12.5 × 6.4 × 2.6(cm) · 236.8g	152	177	97
S000330	打製石斧	変質玄武岩	10.7 × 4.8 × 1.15(cm) · 58.9g	152	177	97
S000331	打製石斧	細粒輝石安山岩	10.6 × 4.1 × 1.4(cm) · 84.1g	152	177	97

2 石器観察表

S000332	打製石斧	珪質頁岩	(7.1)×5.7×1.35(cm)・68.4g	152	177	97
S000333	打製石斧	黒色頁岩	11.0×5.6×1.8(cm)・122.5g	152	177	97
S000334	打製石斧	黒色頁岩	9.7×5.0×1.4(cm)・77.6g	152	177	97
S000335	打製石斧	黒色頁岩	11.6×4.8×1.35(cm)・82.6g	152	177	97
S000336	打製石斧	黒色頁岩	12.7×4.0×1.25(cm)・78.3g	152	177	97
S000337	打製石斧	細粒輝石安山岩	14.4×6.8×2.0(cm)・176.1g	152	177	97
S000338	打製石斧	細粒輝石安山岩	(6.3)×4.9×1.7(cm)・59.9g	152	177	97
S000339	打製石斧	黒色頁岩	9.3×5.4×2.0(cm)・111.4g	152	177	97
S000340	打製石斧	黒色頁岩	9.8×5.9×2.2(cm)・135.3g	152	177	97
S000341	打製石斧	黒色頁岩	10.9×4.2×2.0(cm)・86.0g	152	177	97
S000342	打製石斧	砂質頁岩	(7.1)×5.4×2.2(cm)・94.5g	152	177	97
S000343	打製石斧	黒色頁岩	(4.6)×5.0×1.1(cm)・28.3g	152	177	97
S000344	打製石斧	黒色頁岩	(11.1)×4.6×1.9(cm)・90.9g	153	178	98
S000345	打製石斧	黒色頁岩	14.5×6.2×2.7(cm)・275.9g	153	178	98
S000346	打製石斧	黒色頁岩	12.0×4.9×2.1(cm)・127.0g	153	178	98
S000347	打製石斧	黒色頁岩	8.3×5.8×1.35(cm)・76.9g	153	178	98
S000348	打製石斧	黒色頁岩	8.1×5.2×1.9(cm)・78.2g	153	178	98
S000349	打製石斧	黒色頁岩	(6.6)×5.3×1.9(cm)・56.3g	153	178	98
S000350	打製石斧	黒色頁岩	9.5×4.8×1.0(cm)・61.0g	153	178	98
S000351	打製石斧	黒色頁岩	9.5×5.4×3.4(cm)・138.6g	153	178	98
S000352	打製石斧	黒色頁岩	8.4×4.7×1.55(cm)・73.4g	153	178	98
S000353	打製石斧	細粒輝石安山岩	14.6×8.2×2.3(cm)・296.2g	153	178	98
S000354	打製石斧	黒色頁岩	(8.3)×4.8×2.2(cm)・96.7g	153	178	98
S000355	打製石斧	黒色頁岩	(6.6)×3.3×1.5(cm)・40.6g	153	178	98
S000356	打製石斧	変質玄武岩	8.2×5.6×1.2(cm)・68.2g	153	178	98
S000357	打製石斧	黒色頁岩	8.5×4.8×1.7(cm)・79.4g	154	179	99
S000358	打製石斧	黒色頁岩	6.8×6.1×1.85(cm)・72.5g	154	179	99
S000359	打製石斧	黒色頁岩	8.9×6.4×1.5(cm)・116.0g	154	179	99
S000360	打製石斧	細粒輝石安山岩	13.2×7.9×3.15(cm)・356.7g	154	179	99
S000361	打製石斧	細粒輝石安山岩	15.5×9.2×3.4(cm)・491.9g	154	179	99
S000362	打製石斧	黒色頁岩	6.4×4.9×1.7(cm)・50.1g	154	179	99
S000363	打製石斧	黒色頁岩	8.0×4.4×1.5(cm)・58.6g	154	179	99
S000364	打製石斧	黒色頁岩	6.1×7.5×1.35(cm)・92.6g	154	179	99
S000365	打製石斧	黒色頁岩	11.5×5.5×2.6(cm)・177.9g	154	179	99
S000366	打製石斧	黒色頁岩	10.6×4.2×1.4(cm)・65.7g	154	179	99
S000367	打製石斧	黒色頁岩	11.6×5.2×2.6(cm)・160.7g	154	179	99
S000368	打製石斧	黒色頁岩	6.8×5.5×1.5(cm)・52.9g	154	179	99
S000369	打製石斧	黒色頁岩	7.3×4.0×1.7(cm)・40.7g	154	179	99
S000370	打製石斧	珪質頁岩	10.2×7.2×2.55(cm)・169.2g	155	180	100
S000371	打製石斧	黒色頁岩	11.0×5.5×1.4(cm)・86.1g	155	180	100
S000372	打製石斧	黒色頁岩	7.6×5.5×2.0(cm)・77.8g	155	180	100
S000373	打製石斧	珪質頁岩	6.2×4.8×1.55(cm)・40.0g	155	180	100
S000374	打製石斧	頁岩	6.4×5.9×1.4(cm)・45.3g	155	180	100
S000375	打製石斧	珪質頁岩	6.6×5.1×1.6(cm)・42.7g	155	180	100
S000376	打製石斧	黒色頁岩	6.3×5.5×2.2(cm)・65.1g	155	180	100
S000377	打製石斧	黒色頁岩	9.2×4.5×1.45(cm)・64.2g	155	180	100
S000378	打製石斧	ホルンフェルス	10.6×8.0×2.7(cm)・248.0g	155	180	100
S000379	打製石斧	黒色頁岩	8.2×6.2×3.0(cm)・163.6g	155	180	100
S000380	打製石斧	黒色頁岩	9.7×7.4×3.05(cm)・186.8g	155	180	100
S000381	打製石斧	黒色頁岩	6.1×4.6×1.3(cm)・27.7g	155	180	100
S000382	打製石斧	黒色頁岩	7.7×5.4×10.3(cm)・56.4g	155	180	100
S000383	打製石斧	黒色頁岩	11.9×5.8×2.0(cm)・148.8g	156	181	101
S000384	打製石斧	細粒輝石安山岩	11.6×5.5×2.15(cm)・122.1g	156	181	101
S000385	磨製石斧	蛇紋岩	6.15×3.6×1.35(cm)・47.1g	156	181	101
S000386	磨製石斧	変玄武岩	12.1×4.9×2.7(cm)・293.2g	156	181	101
S000387	凹石	粗粒輝石安山岩	7.5+×7.4×4.9(cm)・251g	156	181	101
S000388	石皿	粗粒輝石安山岩	31.4×19.4×9.3(cm)・4049g	156	181	101
S000389	石皿	雲母石英片岩	9.3+×22.6×4.9(cm)・1190g	156	181	101

第8章 遺物観察表

S000390	石皿	粗粒輝石安山岩	41.1×25.6×8.4(cm)・11975g 完形 擦痕表、側面。敲打痕表、側面。擦った後に敲打。	157	182	102
S000391	台石	石英閃緑岩	15.9×15.0×3.9(cm)・1517g 擦痕表裏。敲打痕表裏。	157	182	102
S000392	石皿	粗粒輝石安山岩	25.6×15.4×9.4(cm)・3714g 刃部摩耗。	158	183	102
S000393	石皿	粗粒輝石安山岩	10.4+×7.0+×5.1(cm)・373g 擦痕表面に少し。表面を整形するように敲く。	158	183	102
S000394	凹石	緑色片岩	10.6+×7.5×3.0(cm)・202g 擦痕表(石皿状) 漏斗状穴裏面6。	158	183	102
S000395	凹石	粗粒輝石安山岩	11.6×11.3×5.8(cm)・681g	159	184	102
S000396	凹石	粗粒輝石安山岩	14.8+×12.6×4.6(cm)・607g 不定形 漏斗状穴表面3、裏面1。	159	184	102
S000397	凹石	粗粒輝石安山岩	11.0×9.8×6.2(cm)・598g 不定形(方形に近い) 敲打痕裏 漏斗状穴表面1、裏面2。	159	184	102
S000398	凹石	粗粒輝石安山岩	9.6×9.3×5.5(cm)・409g 不定形。敲打痕表、裏 漏斗状穴表面1。	159	184	102
S000399	凹石	粗粒輝石安山岩	7.8×9.1×3.9(cm)・401g 不定形 方形日会 擦痕表。漏斗状穴表面1、裏面3。	160	185	103
S000400	凹石	粗粒輝石安山岩	14.9×12.6×7.5(cm)・1454g 擦痕表。棒状。敲打痕表、漏斗状穴表面8、裏面7。	160	185	103
S000401	凹石	粗粒輝石安山岩	16.6×14.5×8.5(cm)・2185g 敲打痕表裏。漏斗状穴表面1、裏面1。	160	185	103
S000402	凹石	緑色片岩	19.7+×14.4+×3.8(cm)・1431g 擦痕裏。石皿の一部。漏斗状穴表面7。	160	185	103
S000403	敲石	溶結凝灰岩	10.6×7.5×3.9(cm)・410g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏左。	161	186	103
S000404	敲石	黒色片岩	11.8×3.8×1.9(cm)・123g 棒状 敲打痕下面に斜め方向で。	161	186	103
S000405	敲石	粗粒輝石安山岩	9.1×7.7×4.9(cm)・342g	161	186	103
S000406	敲石	粗粒輝石安山岩	9.8×8.3×4.6(cm)・431g 不定形(三角状) 擦痕表。敲打痕表裏下、漏斗状穴裏面1。	161	186	103
S000407	磨石	溶結凝灰岩	5.0×4.1×2.8(cm)・71g 楕円形 擦痕裏。敲打痕表裏側面。	161	186	103
S000408	磨石	花崗岩	8.2+×7.2×4.4(cm)・321g 棒状 擦痕表裏右。裏面右側下部に、はつたような敲打混。	161	186	103
S000409	磨石	粗粒輝石安山岩	6.3+×7.7×6.3(cm)・306g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏。裏面ははつたような敲打痕。	161	186	104
S000410	磨石	石英閃緑岩	7.0×6.6×3.4(cm)・212g 円形 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	161	186	104
S000411	磨石	石英閃緑岩	8.1+×7.8×5.6(cm)・441g 棒状 擦痕表裏左。裏面ははつたような。敲打痕。	162	187	104
S000412	磨石	変質安山岩	6.5+×4.1×2.9(cm)・125g 棒状 敲打痕下、側	162	187	104
S000413	磨石	石英閃緑岩	8.4×7.6×4.4(cm)・404g 円形 擦痕表裏左。敲打痕表裏側面。	162	187	104
S000414	磨石	粗粒輝石安山岩	16.8×8.4×6.6(cm)・1355g 楕円形~棒状 擦痕裏。敲打痕上下。	162	187	104
S000415	磨石	粗粒輝石安山岩	6.4×6.0×4.6(cm)・230g 円形 擦痕表少し、裏。敲打痕表、下、上。	162	187	104
S000416	磨石	石英閃緑岩	13.3×10.7×5.2(cm)・1112g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏。表面は少ない。	162	187	104
S000417	磨石	溶結凝灰岩	9.9+×7.6+×3.3(cm)・273g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕裏、側面。	163	188	104
S000418	磨石	粗粒輝石安山岩	10.1+×6.2+×4.3(cm)・341g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面3、裏面3。	163	188	104
S000419	磨石	粗粒輝石安山岩	9.3×8.0×5.0(cm)・498g 楕円状 擦痕表裏。敲打痕表裏側全て、漏斗状穴表面2(3)、裏面2。	163	188	104
S000420	磨石	粗粒輝石安山岩	8.8×7.8×3.4(cm)・339g 円形 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	163	188	104
S000421	磨石	粗粒輝石安山岩	10.7×6.5×3.4(cm)・337g 楕円形 擦痕表裏。	163	188	105
S000422	磨石	変質安山岩	16.8×6.0×3.9(cm)・593g 棒状 擦痕表裏上。右側面は擦痕と。敲打痕。敲打痕裏面と下面にあり。	163	188	105
S000423	磨石	溶結凝灰岩	10.5×8.7×4.1(cm)・559g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏。漏斗状穴裏面1。	164	189	105
S000424	磨石	粗粒輝石安山岩	9.5×8.3×5.4(cm)・524g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏。漏斗状穴表面2、裏面2。	164	189	105
S000425	磨石	粗粒輝石安山岩	12.8×7.9×5.7(cm)・907g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表右側縁。	164	189	105
S000426	磨石	粗粒輝石安山岩	6.5×5.3×3.0(cm)・154g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕裏。	164	189	105
S000427	磨石	粗粒輝石安山岩	7.0×6.1×4.2(cm)・266g 楕円形 擦痕裏。敲打痕表裏。側面は。敲打痕と擦痕。	164	189	105
S000428	磨石	粗粒輝石安山岩	5.9+×6.5×4.0(cm)・230g 楕円形(5割) 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面1、裏面1。	164	189	105
S000429	磨石	粗粒輝石安山岩	8.0+×6.7×3.8(cm)・224g 楕円形(6割) 擦痕表裏。敲打痕表裏側面下部。漏斗状穴表面表2が裏までつながる。	164	189	105

2 石器観察表

S000430	磨石	粗粒輝石安山岩	11.9 × 9.8 × 4.0(cm) · 612g 楕円形、平たい 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	165	190	105
S000431	磨石	石英閃緑岩	10.8 × 9.9 × 4.8(cm) · 727g	165	190	105
S000432	磨石	粗粒輝石安山岩	10.2+ × 8.2 × 4.2(cm) · 557g 角棒状 擦痕表裏左右側面。裏は弱い。敲打痕表裏左右側縁。上面は敲いて擦る。漏斗状穴裏面1。	165	190	105
S000433	磨石	粗粒輝石安山岩	10.6 × 5.5 × 3.7(cm) · 257g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏上下。	165	190	105
S000434	磨石	粗粒輝石安山岩	11.2+ × 7.0 × 4.8(cm) · 493g 楕円形 (平たい) 擦痕表裏。敲打痕表裏。漏斗状穴表面2。	165	190	106
S000435	磨石	粗粒輝石安山岩	6.3 × 2.4 × 4.6(cm) · 76g 不定形 擦痕裏。敲打痕裏。	165	190	106
S000436	磨石	粗粒輝石安山岩	5.6 × 4.9 × 2.3(cm) · 80g	165	190	106
S000437	磨石	溶結凝灰岩	5.7+ × 6.8 × 2.3(cm) · 113g 刃部摩耗	165	190	106
S000438	磨石	変質安山岩	15.5 × 6.5 × 5.1(cm) · 764g 棒状 擦痕表裏左側2。敲打痕裏上下。	166	191	106
S000439	磨石	石英閃緑岩	7.4+ × 5.8 × 4.3(cm) · 272g 棒状 擦痕表 (右面は打痕なし。)、裏。敲打痕表、裏はつり?、	166	191	106
S000440	磨石	変質安山岩	6.1 × 4.1 × 1.9(cm) · 78g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕は側面に少し。	166	191	106
S000441	磨石	粗粒輝石安山岩	10.3 × 8.5 × 3.3(cm) · 385g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	166	191	106
S000442	磨石	ひん岩	10.6+ × 6.1+ × 4.3(cm) · 325g 棒状 擦痕表裏左側面。敲打痕裏。漏斗状穴表面1、側面1。	166	191	106
S000443	磨石	石英閃緑岩	11.0 × 6.6 × 4.3(cm) · 438g 楕円形 擦痕表裏左側面。敲打痕表裏。漏斗状穴表面2 (浅い)。	166	191	106
S000444	磨石	溶結凝灰岩	10.9 × 9.0 × 7.4(cm) · 908g 円 (球に近い) 擦痕表、裏 (全面)。敲打痕表裏。漏斗状穴表面2。	166	191	106
S000445	磨石	粗粒輝石安山岩	10.8 × 6.3 × 3.2(cm) · 265g	166	191	106
S000446	磨石	石英閃緑岩	16.5 × 5.1 × 4.0(cm) · 590g 棒状 擦痕表裏。敲打痕表裏。側面に多い。裏面と側面ははつったものか。	167	192	106
S000447	磨石	デイサイト	14.2 × 5.3 × 3.9(cm) · 300g	167	192	107
S000448	磨石	デイサイト	11.9+ × 7.0 × 5.3(cm) · 662g 棒状 擦痕表裏左右。敲打痕裏。	167	192	107
S000449	磨石	変質安山岩	6.3 × 4.1 × 2.9(cm) · 96g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕上下、側面。	167	192	107
S000450	磨石	石英閃緑岩	6.0 × 4.9 × 4.1(cm) · 178g 楕円形 擦痕裏。	167	192	107
S000451	磨石	閃緑岩	12.0+ × 7.1 × 5.6(cm) · 719g 棒状6割擦痕表裏。	167	192	107
S000452	磨石	粗粒輝石安山岩	10.3 × 5.3 × 3.6(cm) · 311g	167	192	107
S000453	磨石	粗粒輝石安山岩	8.1+ × 6.6 × 4.8(cm) · 342g 1号墳周堀	168	193	107
S000454	磨石	石英閃緑岩	11.6 × 9.7 × 4.1(cm) · 694g 楕円形 擦痕表裏側面。敲打痕表裏側面。	168	193	107
S000455	磨石	粗粒輝石安山岩	12.6 × 9.4 × 3.9(cm) · 579g 2 小灰。	168	193	107
S000456	磨石	粗粒輝石安山岩	11.0 × 7.3 × 4.7(cm) · 465g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏。漏斗状穴表面2、裏面2。	168	193	107
S000457	磨石	粗粒輝石安山岩	12.2 × 8.5 × 4.1(cm) · 597g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏。	168	193	107
S000458	磨石	粗粒輝石安山岩	11.8 × 9.3 × 5.0(cm) · 701g 楕円形 擦痕裏左側。敲打痕表裏側面。	169	194	107
S000459	磨石	溶結凝灰岩	13.1+ × 5.8 × 3.7(cm) · 373g 棒状 擦痕表裏 (左側)。敲打痕表裏上。	169	194	107
S000460	磨石	ひん岩	18.7 × 6.6 × 4.9(cm) · 997g 棒状 擦痕表裏。敲打痕下右側面。	169	194	108
S000461	磨石	閃緑岩	6.1+ × 8.0 × 4.8(cm) · 262g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表。	169	194	108
S000462	磨石	石英閃緑岩	10.8 × 3.4 × 3.5(cm) · 212g 棒状 小 擦痕表裏左右。敲打痕下面。	169	194	108
S000463	磨石	溶結凝灰岩	11.6+ × 6.0 × 3.6(cm) · 379g 棒状~楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏。	169	194	108
S000464	磨石	石英閃緑岩	11.1 × 5.3 × 2.9(cm) · 286g 棒状。中央くびれ。擦痕表裏。敲打痕上下。	170	195	108
S000465	磨石	粗粒輝石安山岩	13.3 × 10.6 × 2.8(cm) · 548g 楕円形平たい擦痕表裏。敲打痕側面。	170	195	108
S000466	磨石	粗粒輝石安山岩	9.6 × 8.9 × 3.7(cm) · 465g 円形 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。	170	195	108
S000467	磨石	石英閃緑岩	10.9+ × 8 × 4.1(cm) · 542g 楕円形 擦痕表裏割れ面。敲打痕表裏側面。	170	195	108
S000468	磨石	石英閃緑岩	10.1 × 9.5 × 4.4(cm) · 616g 楕円形 平坦 擦痕表裏側面。敲打痕裏、側面。漏斗状穴表面2、裏面2。	170	195	108
S000469	磨石	石英閃緑岩	7.1+ × 6.4 × 3.8(cm) · 286g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴裏面2。	171	196	108
S000470	磨石	粗粒輝石安山岩	9.9+ × 8.5 × 4.0(cm) · 503g 楕円形 擦痕表裏右側面。敲打痕表裏側面。	171	196	108
S000471	磨石	粗粒輝石安山岩	9.4 × 7.4 × 4.6(cm) · 483g 楕円形 擦痕表裏。敲打痕表裏側面。漏斗状穴表面1+1、裏面2、	171	196	108
S000472	磨石	粗粒輝石安山岩	12.8 × 7.8 × 4.6(cm) · 484g	171	196	108
S000473	磨石	粗粒輝石安山岩	8.5 × 7.3 × 4.9(cm) · 429g	171	196	109

S000474	磨石	粗粒輝石安山岩	5.7+ × 7.3 × 4.0(cm) · 150g	楕円 擦痕表裏。敲打痕裏。漏斗状穴2。	172	197	109
S000475	砥石	牛伏砂岩	5.0+ × 4.4 × 1.1(cm) · 29g	小判状(半分) 擦痕表裏右。	172	197	109
S000476	磨石	二ツ岳軽石	6.5 × 4.8 × 4.6(cm) · 78g		172	197	109
S000477	砥石	砂岩	6.0 × 4.5 × 2.3(cm) · 49g	片擦痕裏。	172	197	109
S000478	磨石	石英閃緑岩	11.9 × 8.7 × 3.6(cm) · 520g	はつってから擦る。擦痕表、左側面。	172	197	109
S000479	砥石	牛伏砂岩	6.7+ × 4.6 × 1.5(cm) · 39g	不定形 擦痕表裏。	172	197	109
S000480	砥石	粗粒輝石安山岩	10.2 × 6.2 × 4.0(cm) · 289g	楕円形 擦痕表3本裏3本。	172	197	109
S000481	砥石	牛伏砂岩	4.6+ × 4.5 × 1.2(cm) · 29g		172	197	109
S000482	砥石	牛伏砂岩	3.2+ × 6.4 × 2.4(cm) · 52g	不定形 擦痕表裏。	172	197	109
S000483	砥石	粗粒輝石安山岩	9.3 × 4.9 × 2.6(cm) · 181g	不定形 擦痕表裏側面。	172	197	109
S000484	砥石	粗粒輝石安山岩	11.4 × 7.6 × 4.4(cm) · 367g	不定形 擦痕裏。敲打痕裏。	172	197	109
S000485	砥石? 台石?	粗粒輝石安山岩	12.9+ × 15.7+ × 3.7+(cm) · 856g		173	198	109
S000486	垂れ飾り	蛇紋岩	8.6 × 25 × 0.7(cm) · 25.64g		173	198	109
S000487	管玉	滑石	2.25 × 0.9 × 0.6(cm) · 1.28g		173	198	109
S000488	耳飾り	蛇紋岩	3.6 × (3.5) × 7.5(cm) · 9.79g		173	198	109
S000489	耳飾り	蛇紋岩	3.5 × 1.65 × 0.55(cm) · 5.66g		173	198	109

3 古代土器観察表

11号住居

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001115	土師器坏	口:(14.0) 高:(4.0) 残:口縁部破片。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。明褐色。体部緩やかに立ち上がる。口縁部僅かに内湾。体部篋削り。口縁部撫で。内面2箇所に十字の線刻。篋記号か。8世紀前半。	195	223	113

12号住居

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001116	土師器甕	口:(18.6) 高:(15.8) 残:胴部中位~口縁部。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。橙色。全体的に厚みがあり、最大幅は胴部中位。口縁く字状。外反し肥厚。胴部外面に上位横・斜め、中位以下では縦篋削り。口縁部に撫で。胴部内面に篋撫でを施す。8世紀前半。	198	226	114
001117	土師器甕	口:19.0 高:(13.4) 残:胴部中位~口縁部。黒色粒子、白色粒子、石英、角閃石、粗砂を含む。酸化炎焼成。にぶい黄橙色。口縁緩やかに外反し若干肥厚。胴部外面の口縁部境界付近に横方向の篋削り、以下に縦方向の篋削り、口縁部撫で。胴部内面篋撫で。8世紀前半。	198	226	115
001118	土師器坏	口:10.4 高:3.4 残:ほぼ完存。白色粒子、黒色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。にぶい橙色。器高が低く、小振りなつくり。底部は丸底で体部は緩やかに立ち上がる。口縁部は若干内湾し、口唇部でやや肥厚する。底部は篋削り、口縁部撫で。8世紀前半。	199	227	116
001119	土師器坏	口:11.3 高:3.2 残:1/2。黒色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。橙色。器高低い。丸底。体部緩やかに立ち上がる。口縁部短く、若干内湾。底部篋削り、口縁部撫で。8世紀前半。	199	227	117
001120	土師器坏	口:(15.0) 高:4.4 残:1/2。黒色粒子を含む。酸化炎焼成。にぶい橙色。丸底でやや大振り。体部緩やかに立ち上がり、口縁僅かに内湾。底部篋削り、体部と口縁部撫で。8世紀前半。	199	227	118

13号住居

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001121	土師器坏	口:(15.2) 高:5.1 残:1/4。白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。橙色。丸底。体部は丸みを帯びて緩やかに立ち上がる。口縁部は若干内湾。底部篋削り。口縁部撫で。8世紀前半。	203	231	115

15号住居

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001122	土師器坏	口:(12.0) 高:3.2 残:3/4。黒色粒子を含む。酸化炎焼成。明褐色。平底で外面中央に円形の浅い窪み。体部は直線的に立ち上がり口縁部は外傾。底部篋削り。体部に無調整帯。口縁部撫で。9世紀前半。	209	236	117
001123	土師器坏	口:(12.2) 高:(3.4) 残:1/3。黒色粒子を含む。酸化炎焼成。にぶい橙色。底部は扁平で若干丸みを帯びる。体部緩やかに立ち上がり、口縁僅かに外傾。底部篋削り、体部に無調整帯が見られる。体部から口縁部撫で。9世紀前半。	209	236	117

16号住居

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001124	須恵器坏	口:13.1 高:3.6 底:8.2 残:口縁部1/3欠損。黒色粒子、微量の赤色粒子を含む。還元炎焼成。黄灰色。底部は平底で体部は直線的に立ち上がる。口縁部は僅かに外反し、口唇部で肥厚する。右回転軸成整形。底部は回転篋削り離して底部周縁に強く撫でを施す。8世紀前半。	214	240	118

3 古代土器観察表

001125	須恵器坏	高：〈2.5〉底：6.4 残：底部破片。黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。浅黄色。体部は直線的に立ち上がる。右回転轆成整形。底部は回転糸切り。8世紀後半。	214	240	118
001126	須恵器坏	口：13.2 高：4.3 底：6.0 残：2/3。黒色粒子を含む。還元炎焼成。灰白色。底部は平底で体部は緩やかに膨らみながら立ち上がる。口縁部は外傾する。右回転轆成整形。底部は回転糸切り。体部から口縁部にかけて撫でを施す。底部内面に墨書「寺」8世紀後半。	214	240	118
001127	土師器坏	口：12.2 高：3.2 残：2/3。黒色粒子を含む。酸化炎焼成。にぶい褐色。器高低く、丸底。口縁短く、僅かに外傾。底部寛削り。体部に無調整帯。体部と口縁部撫で。8世紀後半。	214	240	118
001128	土師器坏	残：底部破片。白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。にぶい褐色。底部は平底。底部に寛削り。底部外面に墨書。字体不明。	214	240	118
001129	土師器甕	口：(21.2) 高：〈9.2〉残：胴部上位～口縁部1/3。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。灰黄褐色。口縁部はく字状で外反。胴部外面寛削り。口縁部撫で。8世紀後半。	214	240	118

17号住居

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001130	須恵器坏	口：(13.6) 高：4.0 底：8.0 残：1/4。黒色粒子を含む。還元炎焼成。灰白色。口縁外反。回転轆成整形。底部回転糸切り。底部周縁粗雑な窠状の工具痕が残る。9世紀前半。	218	244	119
001131	須恵器坏	高：〈1.5〉底：6.0 残：底部破片。黒色粒子を含む。還元炎焼成。灰黄色。底部破片。体部緩やかに立ち上がる。右回転轆成整形。底部回転糸切り。底部周縁に強い撫で。9世紀前半。	218	244	119
001132	須恵器坏	底：(7.8) 残：底部破片。黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。灰白色。底部は平底。回転轆成整形。底部回転糸切り。	218	244	119
001133	須恵器坏	底：8.0 残：底部破片。白色粒子、赤色粒子、角閃石を含む。還元炎焼成。灰黄色。底部は平底。回転轆成整形。底部は回転糸切り。底部外面に墨書「新殿」。	218	244	119
001134	土師器坏	残：底部破片。白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。にぶい赤褐色。底部は平底に近い扁平なつくりと思われる。底部寛削り。底部内面に墨書。字体は不明。	218	244	119
001135	須恵器蓋	摘み径：5.0 高：〈2.0〉残：摘み破片。黒色粒子、白色粒子、赤色粒子を含む。酸化炎焼成。明赤褐色。摘み端部外反。丁寧なつくり。右回転轆成整形。畿内搬入品か。	218	244	119
001136	須恵器蓋	口：(17.2) 高：〈3.65〉残：1/4。白色粒子、岩片を含む。還元炎焼成。黄灰色。摘みは欠損する。天井部は丸みを帯び、緩やかに下降。端部は折り返し。回転轆成整形。天井頂部周縁に右方向の回転寛削りを施す。9世紀前半。	218	244	119
001137	土師器甕	口：(20.7) 高：〈20.3〉残：1/2。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。橙色。胴部最大幅は上位に位置する。口縁コ字に近い形状。口縁外反し、若干肥厚。胴部外面、上位に横もしくは斜め、中位以降は縦方向の寛削り。口縁部には撫でを施す。9世紀前半。	218	244	119
001138	土師器甕	口：(20.0) 高：〈5.5〉残：胴部上位～口縁部1/4。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。明赤褐色。口縁コ字に近い形状。口縁外反。胴部外面の上位に横方向の寛削りを施すが、寛痕が櫛歯状に残る。9世紀前半。	218	244	119
001139	土師器坏	口：(12.0) 高：4.0 残：3/4。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。にぶい赤褐色。底部は平底に近く、扁平なつくり。体部から口縁部にかけて肥厚し、口縁外傾する。底部に寛削り。体部に無調整帯。体部と口縁部撫で。9世紀前半。	218	244	119
001140	土師器坏	口：(12.6) 高：3.0 残：1/3。黒色粒子を含む。酸化炎焼成。にぶい橙色。底部は平底で体部は緩やかに立ち上がる。口縁外傾するが、口唇部で肥厚し、若干内湾する。底部に寛削り。体部に無調整帯。体部と口縁部撫で。9世紀前半。	218	244	119
001141	土師器甕	口：(22.0) 高：〈9.3〉残：胴部上位～口縁部1/4。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。にぶい橙色。口縁コ字に近い形状を呈する。口縁外反し若干肥厚する。胴部外面、上位に横もしくは斜め方向の寛削り。口縁部には指押さえ、撫でを施す。9世紀前半。	219	245	119

18号住居

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001142	土師器甕	口：(21.0) 高：〈19.5〉残：1/4。精緻、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。にぶい橙色。胴部最大幅は上位。器壁薄く、口縁コ字状。胴部上位横、斜め、中位以下縦方向寛削り。口縁部撫で。9世紀後半。	223	249	120
001143	土師器坏	口：(11.4) 高：3.0 底：7.3 残：1/2。黒色粒子、白色粒子を含む。酸化炎焼成。橙色。平底。口縁外傾する。底部寛削り。体部に無調整帯。体部と口縁部撫で。9世紀後半。	223	249	120
001144	土師器坏	残：底部破片。白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。にぶい赤褐色。底部は平底と思われる。器壁は薄い。底部に寛削り。底部内面に墨書。字体は不明。	223	249	
001145	土師器甕	高：〈25.6〉底：3.3 残：1/3。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。橙色。胴部最大幅は上位。器壁薄い。胴部外面上位横、中位以下斜め、縦方向寛削り。9世紀後半。	223	249	120

19号住居

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001146	須恵器高台碗	口：12.0高：4.75底：7.3残：口縁部1/3欠損。黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。灰色。全体的に丁寧なつくり。付け高台は八字状に開き、端部で肥厚。体部はく字状に屈曲し、直線的に立ち上がる。口縁外傾する。右回転轆轤成整形。全体に丁寧な撫で。8世紀後半。	228	254	121
001147	須恵器高台碗	口：(16.9)高：8.1底：10.0残：1/3。黒色粒子、白色粒子、石英を含む。還元炎焼成。灰色。高台はハの字状に開き、高い。体部は緩やかに立ち上がり、口縁僅かに外反。口唇部で肥厚する。右回転轆轤成整形。付け高台。底部は回転糸切り。8世紀後半。	228	254	121
001148	土師器坏	口：12.0高：3.5残：ほぼ完存。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。橙色。平底で体部は緩やかに立ち上がる。口縁外傾し、口唇部は若干肥厚する。底部寛削り。体部に無調整帯。体部と口縁部撫で。8世紀後半。	228	254	121
001149	土師器坏	高：〈3.1〉残：底部破片。黒色粒子、角閃石、石英を含む。酸化炎焼成。橙色。底部は丸底で、器壁は他の坏に比較しても非常に厚い。底部に寛削り。寛削り周縁に横撫で。	228	254	121
001150	須恵器坏	残：底部破片。黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。灰色。底部は平底。回転轆轤成整形。底部は回転寛削り離し。底部外面に墨書。字体不明。	228	254	121
001151	土師器坏	残：底部破片。白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。にぶい褐色。器壁は薄く、底部は扁平につくられる。底部に寛削り。底部外面に墨書。字体不明。	228	254	121
001152	土師器甕	口：21.6高：〈20.2〉残：1/2。黒色粒子、白色粒子を含む。酸化炎焼成。橙色。胴部最大幅は上位に位置する。口縁コの字に近い。口縁外反し、若干肥厚。胴部上位に横方向、中位から下位にかけて縦もしくは斜め方向寛削り。8世紀後半。	228	254	121
001153	土師器甕	口：(21.4)高：〈11.0〉残：胴部ほぼ欠損、口縁部1/2。黒色粒子、白色粒子を含む。酸化炎焼成。橙色。胴部最大幅は上位。口縁コの字に近い。口縁外反し、若干肥厚。胴部上位に斜め方向の寛削り、口縁部撫で。胴部内面に寛撫で。8世紀後半。	228	254	121
001154	土師器甕	口：21.5高：〈10.0〉残：胴部ほぼ欠損。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。橙色。胴部最大幅は上位。口縁コの字に近い。口縁外反し、若干肥厚。胴部上位に横方向の寛削り。8世紀後半。	228	254	121

20号住居

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001155	須恵器坏	口：12.3高：3.7底：6.6残：ほぼ完存、口縁部の一部欠損。黒色粒子、白色粒子、石英を含む。還元炎焼成。灰色。平底で体部は膨らみが強い。口縁外反。右回転轆轤成整形。底部は回転糸切り。体部への調整は殆ど認められず、口縁部撫で。9世紀後半。	233	258	122
001156	須恵器坏	口：(11.5)高：4.5底：(6.8)残：1/2。黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。灰色口縁外反。回転轆轤成整形。底部回転糸切り。体部調整は殆ど認められず、口縁部撫で。9世紀後半。	233	258	122
001157	須恵器高台碗	高：〈2.1〉底：9.6残：高台・底部破片。黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。灰白色。高台ハ字状に開き外反。左回転轆轤成整形。底部は回転糸切り。高台接合部撫で。9世紀。	233	258	122
001158	須恵器坏	高：〈2.4〉底：(9.4)残：底部破片。黒色粒子を含む。還元炎焼成。灰白色。底部破片。回転轆轤成整形。底部は回転糸切り。9世紀。	234	259	122
001159	須恵器蓋	摘み径：3.5高：〈1.1〉残：破片。黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。灰白色。摘み径は小さく、天井部の器壁も薄い。回転轆轤成整形。摘みは貼付。9世紀。	234	259	122
001160	土製品紡錘車	厚：0.75残：1/2。黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。灰色。須恵器坏底部の転用。中央に円孔。坏底部は回転糸切り。底部割れ口は研磨されている。	234	259	122

21号住居

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001161	須恵器坏	口：(13.75)高：3.7底：(7.6)残：1/3。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。還元炎焼成。浅黄色。口縁外傾。回転轆轤成整形。底部は回転寛削り。口縁撫で。底部外面に不明墨書。	239	263	124
001162	須恵器坏	口：(12.9)高：4.0底：(7.5)残：1/4。黒色粒子を含む。還元炎焼成。灰白色。平底で体部は直線的に立ち上がる。口縁外傾。回転轆轤成整形。底部回転寛削り。口縁部撫で。9世紀。	239	263	124
001163	土師器甕	口：(20.2)高：〈9.6〉残：胴部上位～口縁部1/3。黒色粒子、白色粒子、角閃石(多)を含む。酸化炎焼成。にぶい橙色。胴部最大幅は上位。口縁外反し、若干肥厚。コの字状口縁。胴部上位に横方向の寛削り。口縁部に撫で。内面に寛撫でを施す。9世紀後半。	239	263	124

104号土坑

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001164	須恵器高台碗	口：15.3高：5.2底：8.0残：2/3。黒色粒子、白色粒子、石英、角閃石を含む。酸化炎焼成。浅黄橙色。高台は厚く、いびつな形状。口縁直線的に立ち上がり、外傾する。全体的に強い歪みとひび割れが目立つ。左方向回転轆轤成整形。口縁部撫で。10世紀前半。	242	266	125
001165	須恵器坏	口：11.0高：3.5底：5.3残：2/3。黒色粒子、白色粒子を含む。酸化炎焼成。にぶい橙色。口縁外傾。左方向回転轆轤成整形。底部は回転糸切り。口縁部撫で。10世紀前半。	242	266	125

3 古代土器観察表

001166	土師器坏	口：12.0 高：3.8 底：6.5 残：完。黒色粒子含む。酸化炎焼成。浅黄橙色。平底で体部膨らみ強い。口縁外傾。右回転轆轤成整形。底部回転糸切り。底部周縁と口縁撫で。10世紀前半。	242	266	125
001167	土師器甕	口：(20.8) 高：〈7.0〉 残：胴部上位～口縁部1/2。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。黒褐色。胴部最大幅は上位。厚みがあり、口縁部でさらに肥厚。口縁外反。胴部上位に横方向篋削り。口縁部撫で。胴部内面には刷毛状の調製痕残る。10世紀前半。	242	266	125
001168	土師器甌	孔：(15.0) 高：〈16.2〉 残：底部～胴部中位1/3。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。にぶい黄橙色。底部孔周縁の鏝は、長方形の粘土板4枚を底部孔周縁で繋ぎ合わせる。底部下位に縦方向篋削り。内面篋撫で。10世紀前半。	242	266	125

105号土坑

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001169	灰 釉陶器皿	口：12.8 高：2.1 底：6.4 残：完存。黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。灰白色。付け高台低く、直線的に下降する。口縁緩やかに外傾。口縁やや歪むが、丁寧なつくり。右回転轆轤成整形。底部回転糸切り。高台接合部と口縁撫で。釉は漬け掛け。9世紀末～10世紀。	243	267	126
001170	須恵器坏	口：(11.2) 高：3.2 底：(6.0) 残：1/2。黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。にぶい黄橙色。平底で体部は直線的に立ち上がる。口縁外傾。全体的に厚みを持ち、小振り。回転轆轤成整形。底部回転糸切り。口縁部撫で。10世紀。	243	267	126
001171	須恵器坏	口：(10.9) 高：3.2 底：(5.6) 残：1/4。石英、角閃石、白色粒子を含む。酸化炎焼成。にぶい黄橙色。回転轆轤成整形。底部回転糸切り。10世紀。底部内面に漆付着。	243	267	126

106号土坑

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001172	灰 釉陶器碗	口：15.2 高：5.2 底：3.7 残：2/3。黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。灰白色。高台は八字状に開き、直線的に下降。体部は膨らみが強く、口縁外反。左回転轆轤成整形。底部回転篋切。高台接合部と口縁部撫で。釉は漬け掛け。10世紀（大原-2～虎溪山-1）。	244	269	126

谷地部出土土器

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001173	須恵器坏	口：(12.8) 高：3.3 底：7.4 残：1/2。黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。灰色。器高低く、平底。体部は丸みを帯び、口縁緩やかに外傾。右回転轆轤成整形。底部は回転篋切り後、周縁篋削り。8世紀前半。	248	275	129
001174	須恵器坏	口：(14.3) 高：3.7 底：(7.5) 残：1/3。黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。明紫灰色。器高は低く平底。口縁緩やかに外傾。口唇部は若干肥厚。回転轆轤成整形。8世紀前半。	248	275	129
001175	土師器壺	底：5.9 高：〈4.3〉 残：底部破片。黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。明紫灰色。平底で、胴部は大きく膨らみながら立ち上がる。胴部外面は縦方向の篋削りを施した後研磨。内面は櫛歯状工具によるハケメ。	248	275	129
001176	土師器坏	口：(6.5) 高：〈4.2〉 残：1/3。黒色粒子、白色粒子を含む。酸化炎焼成。にぶい褐色。丸底で体部は緩やかに立ち上がる。口縁若干内湾する。底部は篋削り、口縁部撫で。8世紀前半。	248	275	129
001177	青磁碗	残：口縁部破片。青緑色。口縁僅かに外反。釉葉には貫入が見られ、蓮弁文を施す。12世紀。	248	275	129
001178	土器鉢	残：口縁部破片。白色粒子を含む。灰色。口縁外傾し、口唇部で肥厚する。	248	275	129

遺構に伴わない土器

遺物番号	器種	観察所見	図	頁	PL
001179	灰 釉陶器瓶	高：〈5.2〉 底：8.3 残：高台～胴部下位。5-L-12-1グリッド 黒色粒子を含む。還元炎焼成。灰白色。高台は厚みがあり扁平。胴部は鋭角に立ち上がるころから、壺か瓶類と思われる。右回転轆轤成整形。胴部外面の一部に漆が付着。9世紀。			129
001180	須恵器坏	高：〈1.5〉 底：7.5 残：底部破片。16-Q-12グリッド 黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。灰白色。底部の破片。平底。左回転轆轤成整形。底部は回転糸切り。9世紀。			129
001181	須恵器坏	残：底部破片。黒色粒子、白色粒子、赤色粒子を含む。還元炎焼成。灰黄褐色。回転轆轤成整形。内面に不明墨書。			129
001182	須恵器蓋	摘み径：3.7 高：〈1.2〉 残：摘み破片。17-D-13グリッド 黒色粒子、白色粒子を含む。還元炎焼成。灰白色。摘みは後付で天井部、摘みともに回転轆轤成整形。			129
001183	須恵器坏	残：体部破片。17-E-11グリッド 角閃石、白色粒子、赤色粒子を含む。還元炎焼成。浅黄色。坏もしくは_の体部破片。回転轆轤成整形。内面に墨書。			129
001184	土師器坏	口：(12.4) 高：3.5 残：1/2。17-E-13グリッド 黒色粒子、白色粒子、角閃石を含む。酸化炎焼成。明褐色。平底に近い扁平なつくり。体部は緩やかに立ち上がり、口縁僅かに外反。底部は篋削り。体部に無調整帯。口縁部撫で。墨書内面「山」外面「乙」。			129

4 金属製品等観察表

12号住居

遺物番号	種類	観察所見	図	頁	PL
1	鉄滓	梲形鍛冶滓、2段に付着している。最大長8.6cm、巾7.8cm、厚3.3cm、重さ158.71g	199	227	114
2	鉄滓	梲形鍛冶滓、1/2る。最大長6.2cm、巾6.0cm、厚4.0cm、重さ70.44g。	199	227	114

13号住居

遺物番号	種類	観察所見	図	頁	PL
3	鉄釘	丸頭釘。残存長4.65cm、身巾0.3cm、頭部巾1.3cm、重さ2.54g。	203	231	115
4	鉄釘	丸頭釘。残存長3.75cm、身巾0.3cm、頭部巾1.15cm、重さ1.96g。	203	231	115
5	鉄釘	丸頭釘。残存長3.9cm、身巾0.4cm、頭部巾1.2cm、重さ2.5g。	203	231	115
6	鉄釘	丸頭釘。残存長3.4cm、身巾0.3cm、頭部巾1.1cm、重さ1.33g。	203	231	115
7	鉄釘	丸頭釘。残存長3.2cm、身巾0.4cm、頭部巾1.25cm、重さ1.63g。	203	231	115
8	鉄釘	丸頭釘。残存長4.6cm、身巾0.5cm、頭部巾1.0cm、重さ1.66g。	203	231	115
9	鉄釘	丸頭釘。残存長5.6cm、身巾0.3cm、頭部巾1.1cm、重さ1.73g。	203	231	115
10	鉄釘	丸頭釘。残存長4.6cm、身巾0.4cm、頭部巾1.0cm、重さ2.83g。	203	231	115
11	鉄釘	丸頭釘。残存長4.3cm、身巾0.4cm、頭部巾1.2cm、重さ1.51g。	203	231	115
12	鉄釘	丸頭釘。残存長3.5cm、身巾0.3cm、頭部巾1.3cm、重さ1.89g。	203	231	115
13	鉄釘	丸頭釘。残存長2.6cm、身巾0.35cm、頭部巾0.9cm、重さ0.89g。	203	231	115
14	鉄釘	丸頭釘。残存長2.0cm、身巾0.3cm、頭部巾1.0cm、重さ1.09g。	203	231	115
15	鉄釘	丸頭釘。残存長2.0cm、身巾0.4cm、頭部巾1.1cm、重さ0.85g。	203	231	115
16	鉄釘	丸頭釘。残存長1.0cm、身巾0.4cm、頭部巾1.1cm、重さ0.74g。	203	231	115
17	鉄釘	丸頭釘。残存長0.9cm、身巾0.4cm、頭部巾1.2cm、重さ0.84g。	203	231	115
18	鉄釘	丸頭釘。残存長3.1cm、身巾0.35cm、頭部巾1.2cm、重さ1.64g。	203	231	115
19	鉄釘	丸頭釘。残存長3.5cm、身巾0.35cm、頭部巾1.1cm、重さ1.77g。	203	231	115
20	鉄釘	丸頭釘。残存長3.5cm、身巾0.3cm、頭部巾1.0cm、重さ1.74g。	203	231	115
21	鉄釘	折れ釘。残存長2.0cm、身巾0.4cm、頭部巾0.55cm、重さ0.76g。	204	232	115
22	鉄釘	折れ釘。頭部のみ存。残存長1.45cm、身巾0.35cm、頭部巾0.65cm、重さ0.56g。	204	232	115
23	鉄釘	折れ釘。頭部のみ存。残存長2.1cm、身巾0.5cm、頭部巾1.2cm、重さ1g。	204	232	115
24	鉄釘	折れ釘。残存長4.1cm、身巾0.4cm、頭部巾0.7cm、重さ1.5g。	204	232	115
25	鉄釘	折れ釘。残存長3.9cm、身巾0.3cm、頭部巾0.8cm、重さ0.96g。	204	232	115
26	鉄釘	折れ釘。残存長3.7cm、身巾0.3cm、頭部巾0.7cm、重さ1.14g。	204	232	115
27	鉄釘	折れ釘。残存長3.8cm、身巾0.3cm、頭部巾0.8cm、重さ1.25g。	204	232	115
28	鉄釘	折れ釘。残存長3.8cm、身巾0.5cm、頭部巾1.0cm、重さ1.92g。	204	232	115
29	鉄釘	折れ釘。残存長5.2cm、身巾0.6cm、頭部巾0.7cm、重さ2.27g。	204	232	115
30	鉄釘	折れ釘。残存長5.8cm、身巾0.5cm、頭部巾0.9cm、重さ2.76g。	204	232	115
31	鉄釘	折れ釘。残存長6.1cm、身巾0.5cm、頭部巾1.1cm、重さ1.38g。	204	232	115
32	鉄釘	折れ釘。残存長5.9cm、身巾0.6cm、頭部巾0.8cm、重さ3.52g。	204	232	115
33	鉄釘	形状不明。残存長4.6cm、身巾0.1cm、頭部巾0.4cm、重さ1.22g。	204	232	116
34	鉄釘	形状不明。残存長4.9cm、身巾0.2cm、頭部巾0.5cm、重さ1.8g。	204	232	116
35	鉄釘	形状不明。残存長3.8cm、身巾0.35cm、重さ1.17g。	204	232	116
36	鉄釘	形状不明。残存長4.8cm、身巾0.45cm、重さ1.15g。	204	232	116
37	鉄釘	形状不明。残存長3.2cm、身巾0.4cm、重さ0.82g。	204	232	116
38	鉄釘	形状不明。残存長3.0cm、身巾0.4cm、重さ0.59g。	204	232	116
39	鉄釘	形状不明。残存長2.7cm、身巾0.4cm、重さ0.36g。	204	232	116
40	鉄釘	形状不明。残存長3.1cm、身巾0.4cm、重さ0.85g。	204	232	116
41	鉄釘	折れ釘。残存長2.8cm、身巾0.4cm、重さ0.65g。	204	232	116
42	鉄釘	形状不明。残存長3.0cm、身巾0.4cm、重さ1.01g。	204	232	116
43	鉄釘	形状不明。残存長2.1cm、身巾0.4cm、重さ0.68g。	204	232	116
44	鉄釘	形状不明。残存長1.5cm、身巾0.5cm、重さ0.5g。	204	232	116
45	鉄釘	形状不明。残存長2.2cm、身巾0.5cm、重さ0.95g。	204	232	116
46	鉄釘	形状不明。曲がっている。残存長3.2cm、身巾0.4cm、重さ0.91g。	204	232	116
47	鉄釘	形状不明。小片。残存長1.4cm、身巾0.3cm、重さ0.42g。	204	232	116
48	鉄釘	形状不明。小片。残存長1.8cm、身巾0.2cm、重さ0.44g。	204	232	116
49	鉄釘	形状不明。小片。残存長2.5cm、身巾0.35cm、重さ0.85g。	204	232	116
50	鉄釘	形状不明。小片。残存長2.7cm、身巾2.5cm、重さ0.46g。	204	232	116
51	鉄釘	形状不明。小片。残存長3.2cm、身巾0.25cm、重さ0.71g。	204	232	116
52	鉄釘	形状不明。先端部小片。残存長2.7cm、身巾0.3cm、重さ0.55g。	204	232	116

3 古代土器観察表

53	鉄釘	形状不明。先端部小片。残存長3.6cm、身巾0.4cm、重さ0.81g。	204	232	116
54	鉄釘	形状不明。先端部小片。残存長3.3cm、身巾0.3cm、重さ0.6g。	204	232	116
55	鉄釘	形状不明。先端部小片。残存長1.7cm、身巾0.3cm、重さ0.21g。	204	232	116

15号住居

遺物番号	種類	観察所見	図	頁	PL
56	刀子	大刀子。残存長16.5cm、身巾2.0cm、重さ74.78g。	209	236	117

17号住居

遺物番号	種類	観察所見	図	頁	PL
57	刀子	刃区消耗。残存長4.8cm、身巾0.9cm、重さ2.82g。	219	245	119
58	鎌か	切先。残存長5.85cm、身巾1.85cm、重さ5.73g。	219	245	119
59	鎌	板状。残存長7.6cm、身巾3.0cm、重さ9.99g。	219	245	119

18号住居

遺物番号	種類	観察所見	図	頁	PL
60	不明	残存長4.6cm、身巾0.8cm、重さ3.17g。	223	249	120

20号住居

遺物番号	種類	観察所見	図	頁	PL
61	鉄鏃	完存、大型。残存長8.6cm、身巾2.8cm、重さ10.98g。	234	259	122
62	焼き印	あるいは工具か。残存長3.95cm、身巾4.55cm、重さ10.11g。	234	259	122
63	刀子	若干湾曲する。残存長11.9cm、身巾2.2cm、重さ19.99g。	234	259	122

106号住居

遺物番号	種類	観察所見	図	頁	PL
64	不明	コ字状の鉄製品。帯金具か。残存長5.3cm、身巾5.0cm、重さ15.19g。	244	269	126

107号住居

遺物番号	種類	観察所見	図	頁	PL
65	不明	鈎状鉄製品。残存長4.1cm、巾0.45-0.75cm、厚さ0.25cm、重さ1.79g。	244	269	126

谷地部分

遺物番号	種類	観察所見	図	頁	PL
66	古銭	紹聖元宝 径2.4cm、厚さ0.1cm、重さ3.31g	248	275	129
67	古銭	寛永通宝 径2.3cm、厚さ0.1cm、重さ2.84g	248	275	129

第9章 調査のまとめ

縄文時代

萱野Ⅱ遺跡では、縄文時代早期の土坑2期が最も古い段階の遺構である。主体となるのは縄文時代前期花積下層式から諸磯b式にかけての時期で、住居11棟と、土坑、ピットがある。掘立柱建物もこの時期の物であろうか。また、中期加曾利E式の住居4棟も見つかっている。台地の中央尾根部分に空白地帯があり、東西両縁辺近くに前期の住居があり、中期の住居は東側に見られた。

縄文時代前期の住居は、花積下層式2棟、黒浜-有尾式7棟、諸磯b式2棟があった。ローム漸移層を掘り込んで作られていて、これが同質の土で埋まるという、遺構の確認が難しい状態であったが、掘り込みが比較的深く、壁や床も整った状態で調査することができたものも多い。特に7号住居では複数回の建て替えが認められ、安定的な居住地であったことがわかる。

住居に近接して土坑が掘られている。34号土坑をはじめとして、さほど規模は大きくないものの、底部が大きく広がった典型的な袋状土坑も見られる。

土坑覆土にクルミの炭化核片やクリの炭化子葉片が含まれる例が見られ、2号住居のコナラ属炭化子葉片を含め、この時期にこれらの木の实が利用されていたことがわかる。石皿や磨り石、凹み石が多く出土していることもこれを示すものであろう。26号住居に据え置かれた大型石皿も注目される。

その他、帰属遺構を突き止めることはできなかったが、けつ状耳飾りや垂飾なども出土している。

中期の住居はごく小型の6号住居をのぞくと、掘り込みが浅いのであろうか、遺構としての把握が非常に困難で、炉や埋甕が見つかることによりはじめて住居であることがわかるというものであった。今回も、そして萱野遺跡調査時にも多くの縄文中期土器片が出土しており、すでに破壊されてしまった住居も多かったのではないかと思われる。

掘立柱建物は柱穴覆土の状況から縄文時代のものと判断した。堅穴住居、土坑とともに集落の構成を構成していたものであろう。

古墳時代

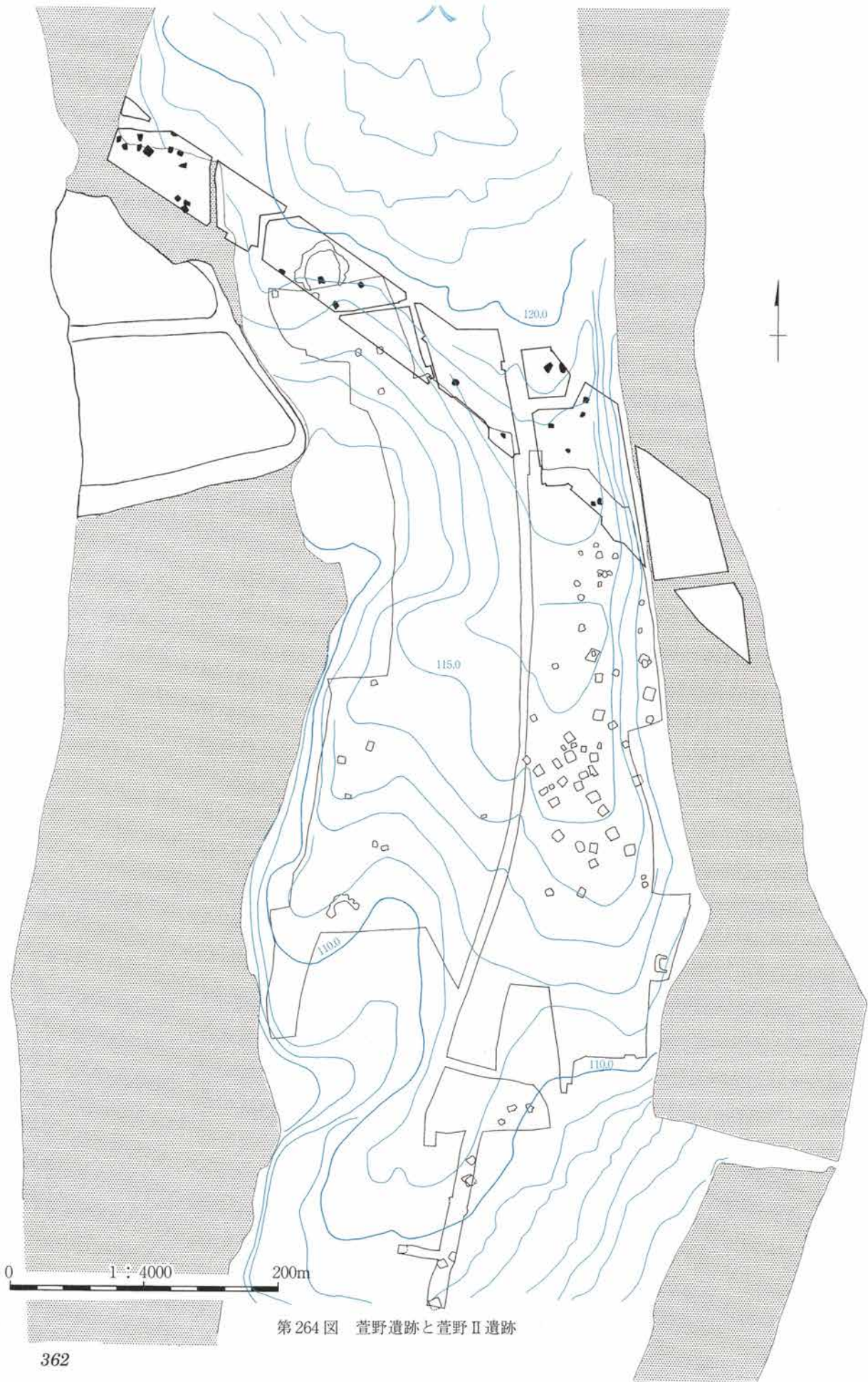
萱野Ⅱ遺跡では古墳時代の堅穴住居が見つからなかった。萱野遺跡にあった古墳時代前期や中期の集落は萱野Ⅱ遺跡には及んでいない。また、江木下大日遺跡、堤沼上遺跡で見つかっている古墳時代後期の住居も今回の調査範囲では見いだせなかった。

古墳時代の遺構は、調査区中央にある1号墳、2号墳と、谷地部分で調査したHr-FA下の溝である。Hr-FA下の溝が水田を直接示すものかどうかは保留しなくてはならないが、植物珪酸体分析ではAs-C上及びHr-FA上下に水田が想定されている。しかし、狭い谷であり、さらに未分解の腐植が堆積する環境を考えると、さほどの生産力を期待できる耕地ではない。

1号墳は、周堀をのぞいてほぼ完全に破壊されていたが、粗輝石粒安山岩の削り石を切り組んだ横穴式石室を有する古墳であることがわかった。

この遺跡周辺では、前橋市(旧大胡町)の堀越古墳が同様の安山岩を切り組んだ横穴式石室を有するものとして著名である。墳丘径25mほどの円墳で、石室は玄室長3.2m、玄室奥幅1.9m、羨道長3.4m、羨道幅0.8m。玄門および羨門を備えた精巧な横穴式石室である。石室前には台形状の前庭を付している。

1号墳とは墳丘規模もほぼ相同であり、前庭を有すること、おそらく羨門に当たるであろう位置にピット



第264図 萱野遺跡と萱野Ⅱ遺跡

があることなどからも、よく似た形態のものであった可能性がある。

古代

古代の遺構は8世紀代の竪穴住居4棟、9世紀代の竪穴住居5棟、時期が確定できない竪穴住居2棟及び土坑、As-B下に想定される水田などがある。

8世紀代の住居のうち3棟は萱野遺跡の集落から連続するであろうものである。残りの8世紀代住居1棟と9世紀代の住居は台地の西側にある。台地中央は空白域となるため、萱野遺跡にある集落と連続するものではないだろう。

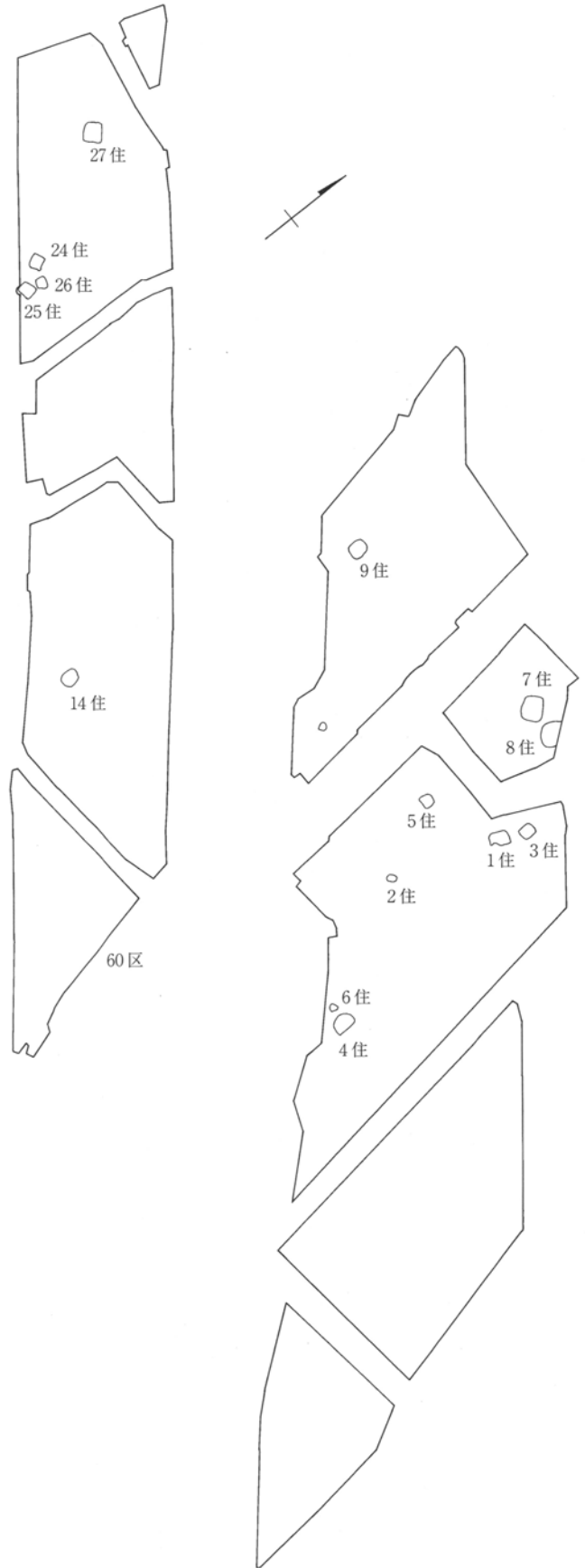
西側の集落は、堤沼へ続く谷の谷頭近くに位置する。縄文時代の住居も含め、調査時には水没するような状態にあったが、これはおそらく、堤沼が築かれた事により谷の形状、水位が大きく変化したためであろう。小川に依った台地上の集落であったはずである。住居の分布を見ると、集落の中心は今回の調査区から北へ展開する可能性がある。

遺物としては「新殿」の墨書や折りたたまれた状態の刀子などが注目される。また、13号住居覆土からは、多量の鉄釘が出土している。

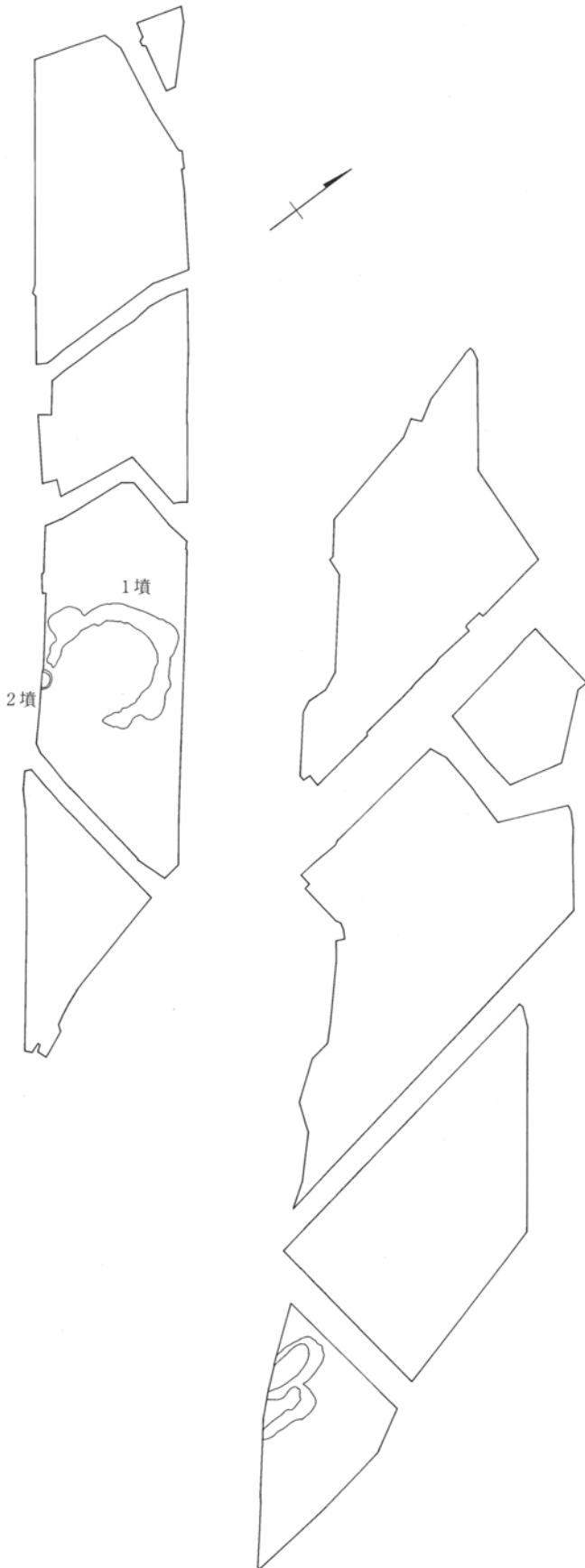
萱野Ⅱ遺跡・萱野遺跡の調査から

今回の調査は南北に延びる台地を南東-北西方向に斜めに横切るような形で発掘したものである。一方、今回の調査区域の南側を、台地の長軸に沿った南北方向に広く発掘したのが、1985年に前橋萱野住宅団地造成に伴って行われた萱野遺跡の調査であった。萱野遺跡の調査では、縄文時代および古墳時代から平安時代の集落、後期古墳などが見つかった。

縄文時代では竪穴住居が2棟調査されたほか、多数の土器片を得ている。縄文時代の遺構は、いずれも縄文時代中期加曾利E式のもので、萱野遺跡の調査区の中では北よりの、萱野Ⅱ遺跡に近



第265図 縄文時代の遺構分布



第266図 古墳時代の遺構分布

い部分にある。萱野Ⅱ遺跡の縄文時代中期住居と一連のものとしてとらえられるものであろう。

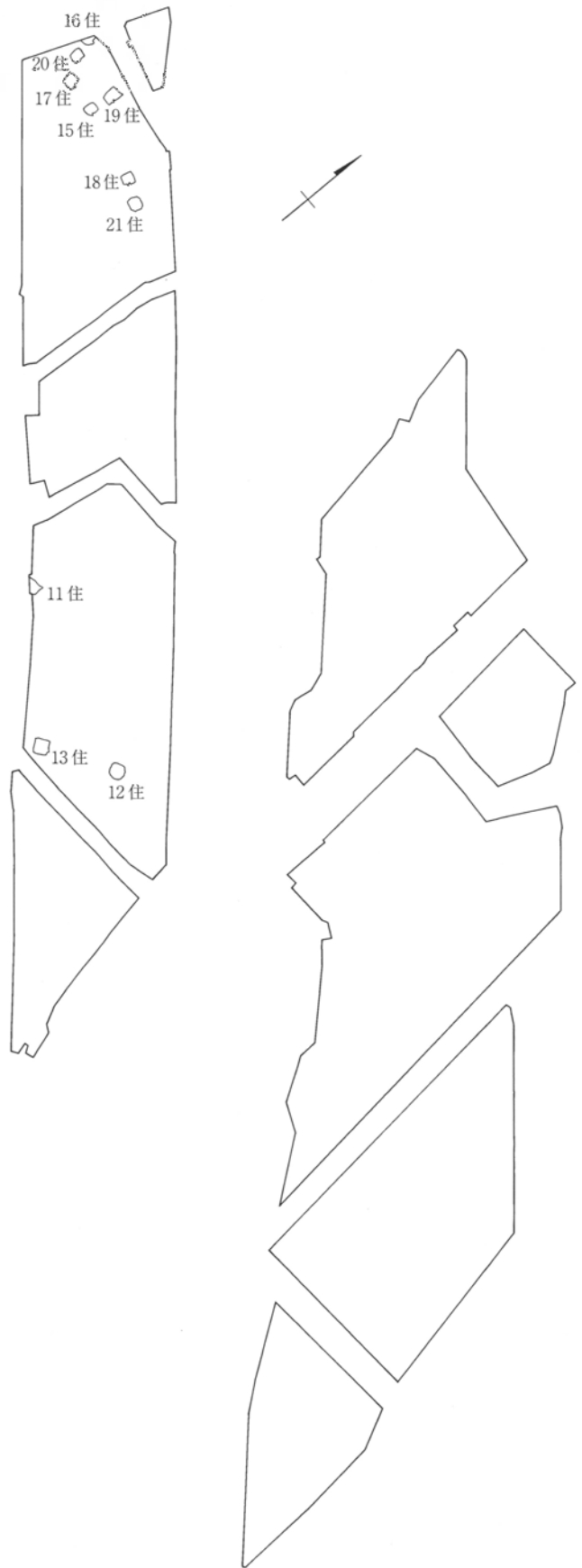
古墳時代では前期4棟、中期43棟の竪穴住居が見つまっているが、特に注目を集めたのが古墳時代中期の集落であった。台地の東南向きの傾斜部分に40棟が密集しており、良好な土器の一括資料が出土し、鋸など類例の少ない鉄器類も見られる。土器の検討からは、比較的短い期間に集中的に作られた竪穴住居群との所見が得られている。この集落は、萱野遺跡調査区の中でほぼ完結するものと見られ、萱野Ⅱ遺跡の調査では古墳時代の全期間を通じて、竪穴住居は1棟もなかった。古墳は横穴式石室を有するもので、台地の中央部近くに孤立的に存在する。また、古墳とは断定されない周溝状遺構も調査されていて、萱野Ⅱ遺跡とごく近い様相を示す。奈良時代から平安時代にかけての集落も調査されている。これは比較的北よりの萱野Ⅱ遺跡に近い部分に多く見られたのだが、古墳時代集落と同様に萱野遺跡の調査区内でほぼ完結するものらしく、萱野Ⅱ遺跡部分では8世紀前半の3棟が見いだされたにすぎない。

上武道路関連遺跡の調査においては、冒頭で述べたとおり、台地と、その東側にある低地を一連の「遺跡」としてとらえることを基本とした。台地上の集落と低地の水田の組み合わせによる集落景観を想定したものであるが、台地上の集落が東西どちら側の低地を耕地としていたかはわからない。萱野Ⅱ遺跡の東側にある谷は、比較的深く、急傾斜で落ち込んでいて、台地上の遺跡との連続性をとらえるよりは、東側の台地にある江木下大日遺跡との間を隔絶する性格のほうが強いような印象を受ける。しかし、江木下大日遺跡側では西傾斜部に遺構が希薄であり、特に古墳時代以後の集落は東傾斜部に展開する。さらに、谷地部分の調査では、確実な遺構としてとらえることはできなかったものの、Hr-FA下における水田区画を思わせる溝があり、植物珪酸体分析でもAs-C上及びHr-FAの上下でイネのプラントオパールが

一定量得られており、水田の存在が示唆される。As-C上からHr-FA下にかけての時期には、江木下大日遺跡側には遺構が全く残されておらず、出土遺物も得られていない。一方萱野遺跡の調査においては、古墳時代前期でもやや新しい時期の住居、また古墳時代中期の大集落が見つかった。これから見ると、谷地に想定されるAs-C上やHr-FA上下の水田は、西側の台地上にある萱野遺跡の集落に帰属するものと考えて良いだろう。

おなじく存在が想定されるAs-B下面の水田が帰属すべき集落についてはどうだろうか。江木下大日遺跡では、8世紀から10世紀初頭にかかるころまで集落が継続するが、谷の反対側に当たる東向き傾斜部に中心を持っていて、水田耕地を求めるならば東側の谷を考えることになる。萱野遺跡ではこの谷に面した東向き傾斜部に奈良時代から平安時代の集落がある。この時代にも、東側の谷は萱野の集落に属したものと考えて良いのではないだろうか。

1877（明治10）年に編纂された『上野國郡村誌』所載の「上野国勢多郡江木村」の項では、「地勢 北ハ赤城山麓南ハ平坦ニシテ田野遠ク開ケ水路不便ナリ北部ハ谷田少ク樹林多シ水上ハ寺沢末ニシテ年々干損ス畑等足り因テ桑薪等不足ナシ」「税地 更正田反別四十町四歩 更正畑反別六十六町四反六畝歩 更正宅地反別七町二反六畝歩 更正林反別八十五町八畝二歩」とあって、畑が田を上回り、林地が四割を占めるといふ、この地域農村の典型を示しているのだが、この遺跡がある「北六所」については「林而已」という場所であった。ごく一部がかかる「堤村」の「沼上」についても「皆林ニシテ耕宅地ナシ…」とあって、今回の調査対象地が、明治ころには積極的な土地利用に乏しい土地柄であったことが記されている。しかし、発掘調査によって明らかとなったように、縄文時代や古墳時代から古代にかけては、ここにおいても活発な人間活動が展開されていたのである。



第267図 古代の遺構分布

写真図版



萱野Ⅱ遺跡全景→

↓赤城山南麓と萱野Ⅱ遺跡



PL.2 萱野II遺跡



1号・2号住居



1~3号掘立柱建物・5号住居・
土坑群



1号・2号墳・11・12号住居

縄文時代の遺構と建物



1号住居 土層断面



1号住居 遺物出土状況



1号住居 全景



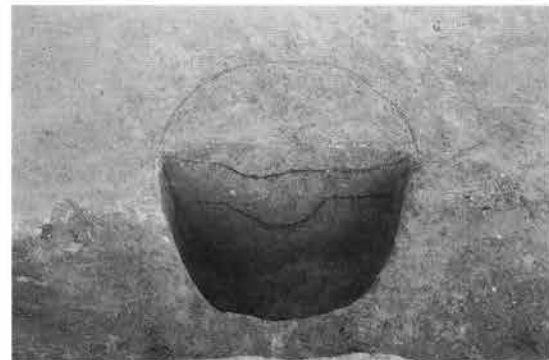
1号住居 遺物出土状況部分



1号住居 埋甕



1号住居 炉

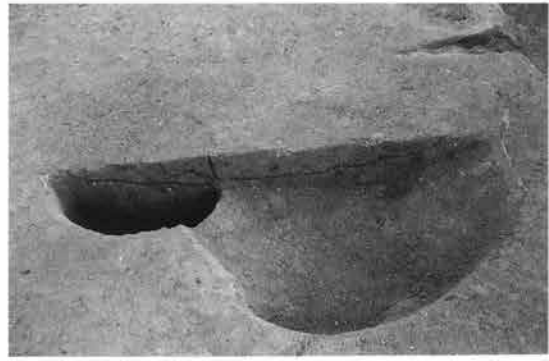


1号住居 ピット

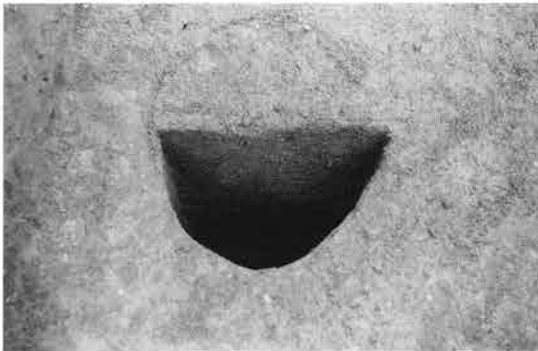
PL.4 1号住居出土遺物



1号住居 ピット2



1号住居 ピット3



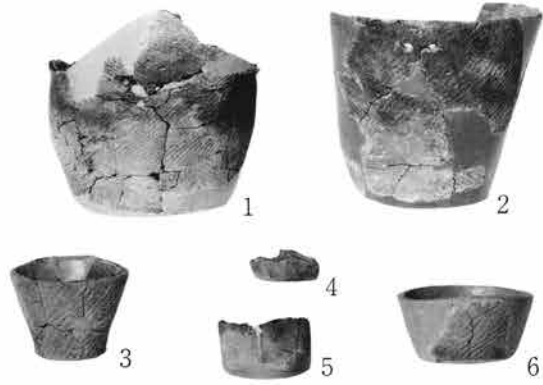
1号住居 ピット4



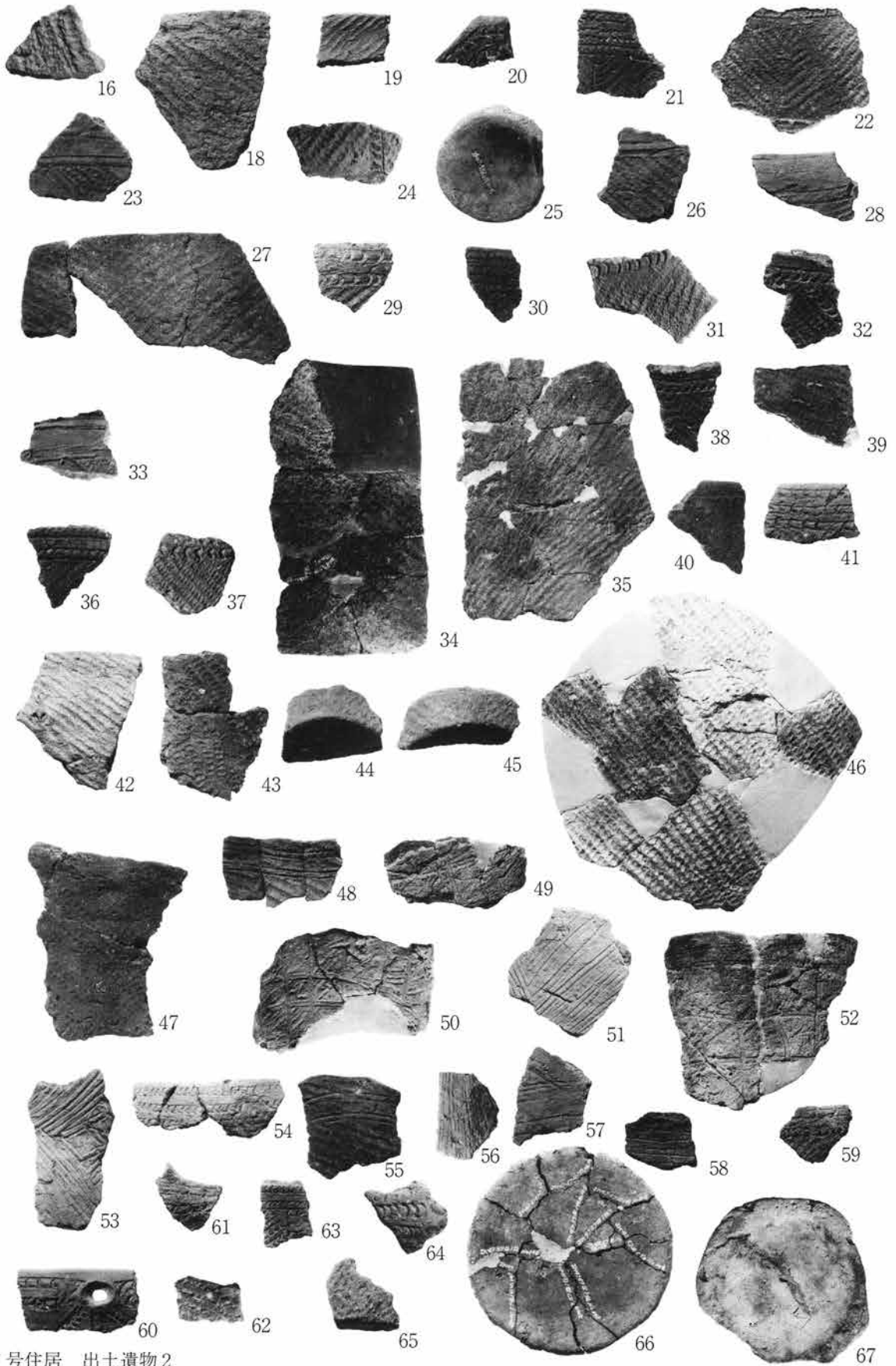
1号住居 ピット5



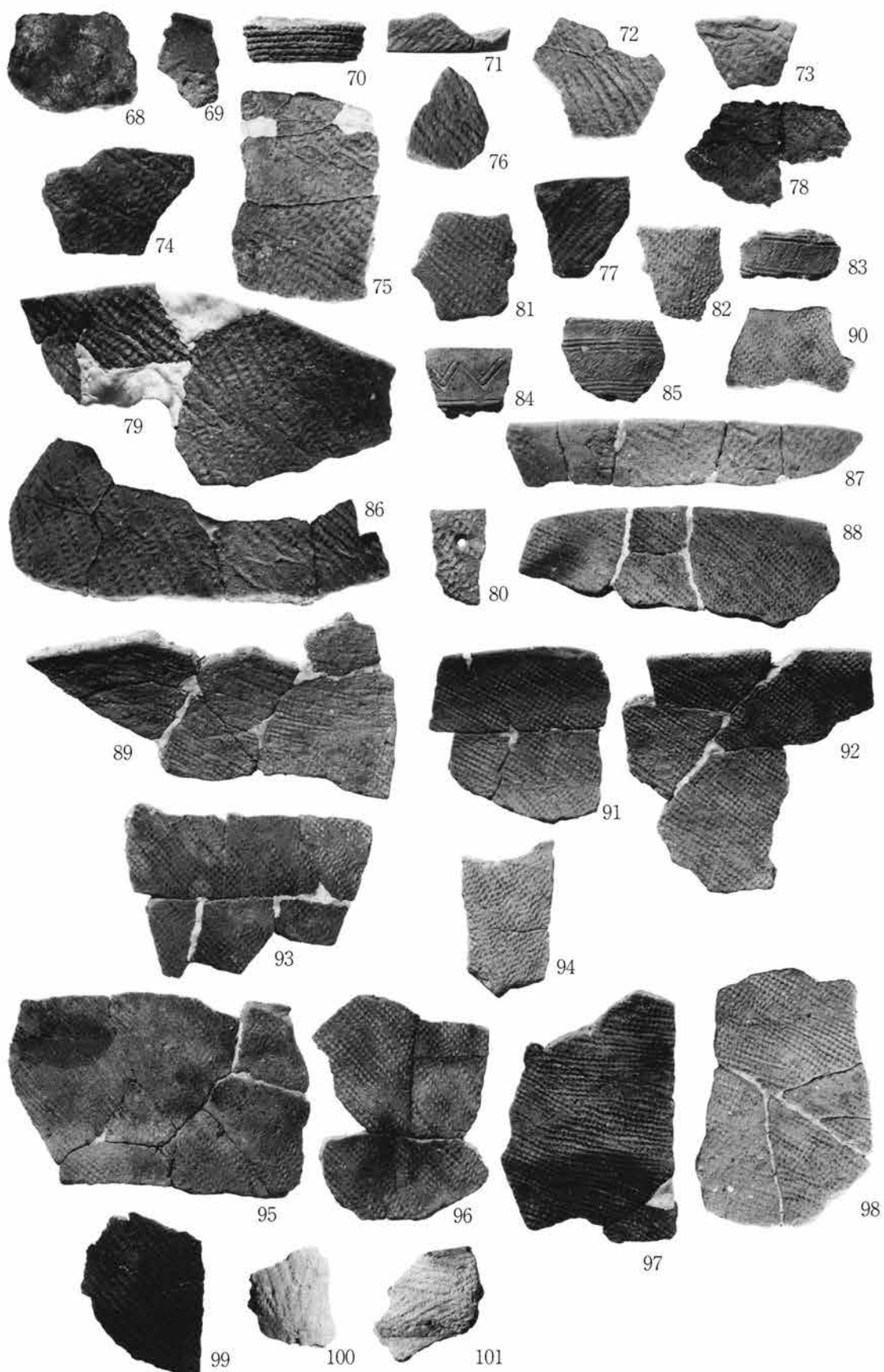
1号住居 ピット6



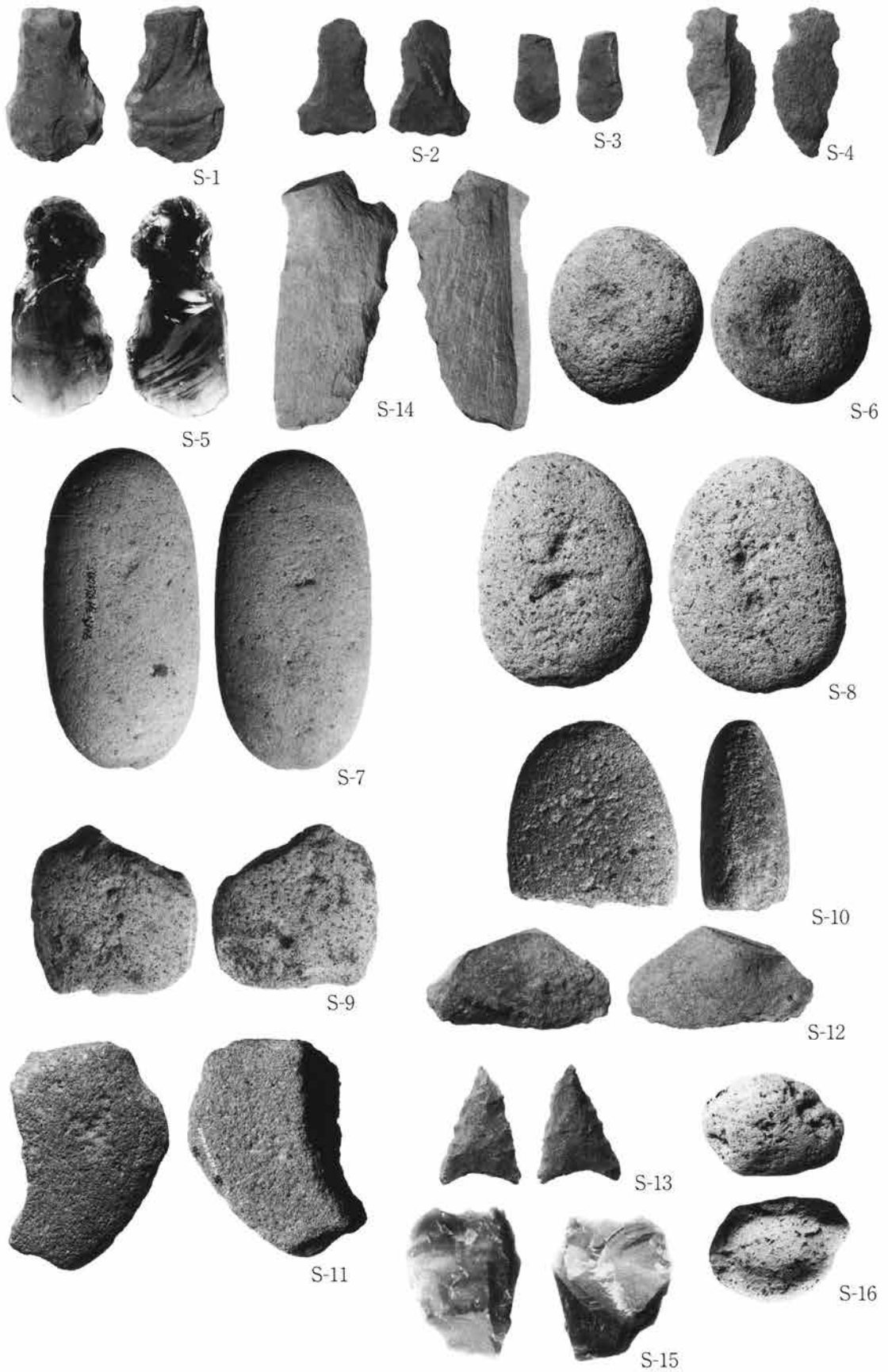
1号住居 出土遺物 1



PL.6 1号住居出土遺物



1号住居 出土遺物 3



PL.8 2号住居



2号住居 遺物出土状況



2号住居 全景



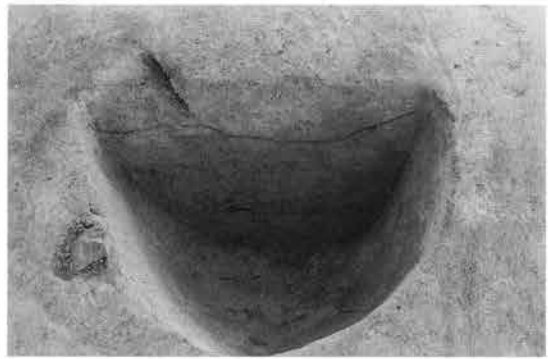
2号住居 埋甕炉



2号住居 ピット1



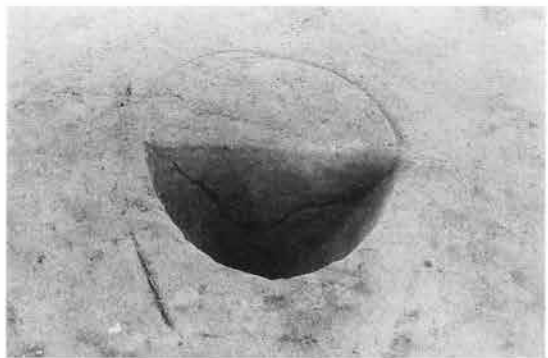
2号住居 ピット2



2号住居 ピット3



2号住居 ピット4



2号住居 ピット5



2号住居 ピット6



2号住居 ピット7



102



103



104



105



106



107



108



109



110



S-17

2号住居 出土遺物



3号住居 全景



3号住居 全景



3号住居 土層断面



3号住居 埋甕



3号住居 炉



3号住居 炉土層断面



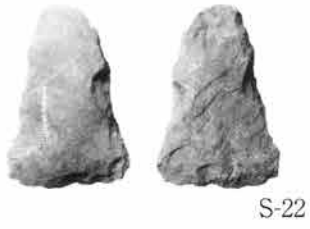
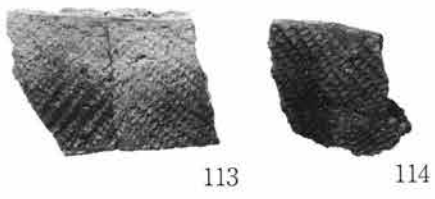
3号住居 炉内遺物出土状況



3号住居ピットセクション



3号住居 出土遺物1



3号住居 出土遺物 2



4号住居 全景



4号住居 土層断面



4号住居 炉



4号住居 S-31 出土状況



4号住居 ピット1



4号住居 ピット2



4号住居 ピット3



4号住居 ピット4



4号住居 ピット5



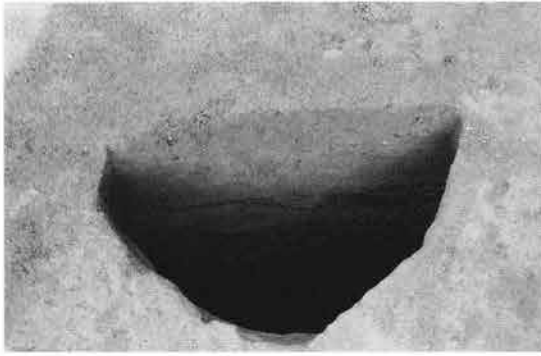
4号住居 ピット6



4号住居 ピット7



4号住居 ピット8



4号住居 ピット9



115



116



117



119



118



124



128



120



122



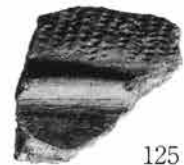
121



123



127



125

4号住居 出土遺物1

PL.14 4号住居出土遺物





5号住居 遺物出土状況



5号住居 土層断面



5号住居 土層断面



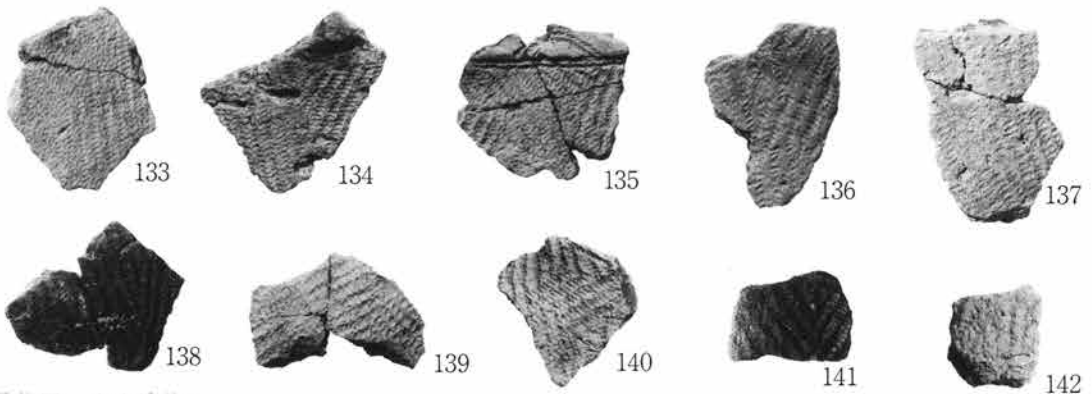
5号住居 全景



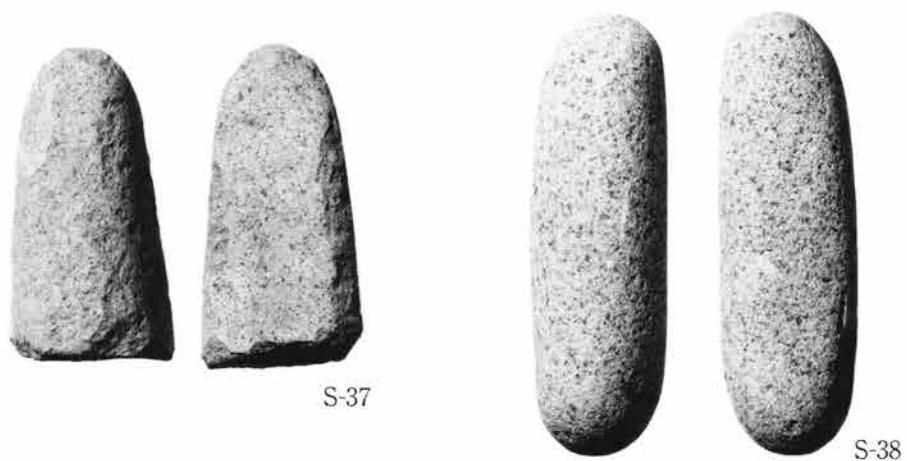
5号住居 ピット1



5号住居 ピット2



5号住居 出土遺物1





6号住居 全景



6号住居 土層断面



6号住居 土層断面



6号住居 遺物出土状況



6号住居 遺物出土状況



6号住居 150出土状況



6号住居 149出土状況



6号住居 掘り方全景



6号住居 ピット1



6号住居 ピット2



149



150

6号住居 出土遺物



151



152



153



154



7号住居 遺物出土状況



7号住居 土層断面



7号住居 土層断面



7号住居 全景



7号住居 掘り方全景



7号住居 掘り方部分



7号住居 炉



7号住居 炉土層断面



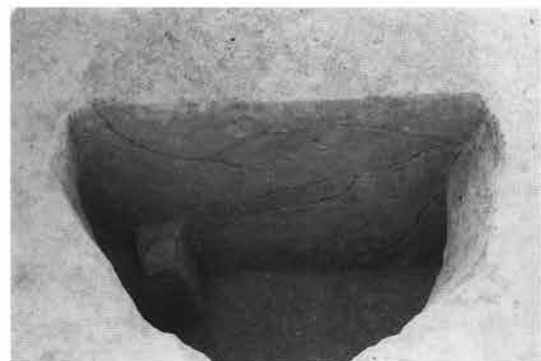
7号住居 古い炉



7号住居 古い炉土層断面



7号住居 土坑2 遺物出土状況



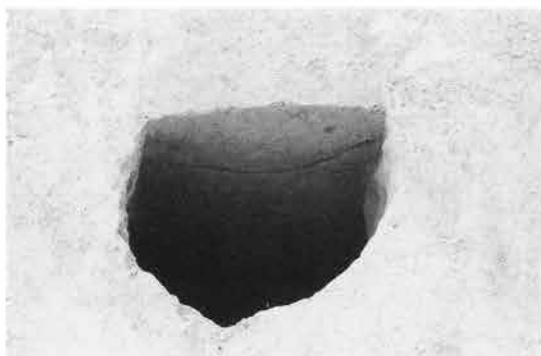
7号住居 土坑2 土層断面



7号住居 土坑1



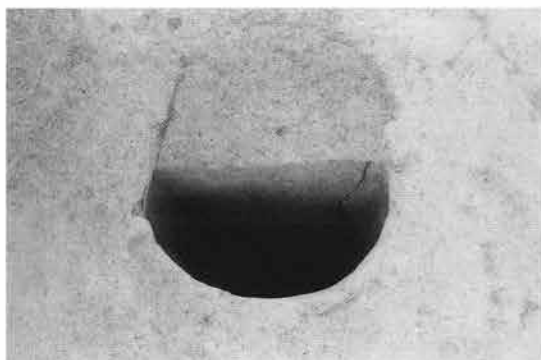
7号住居 ピット1



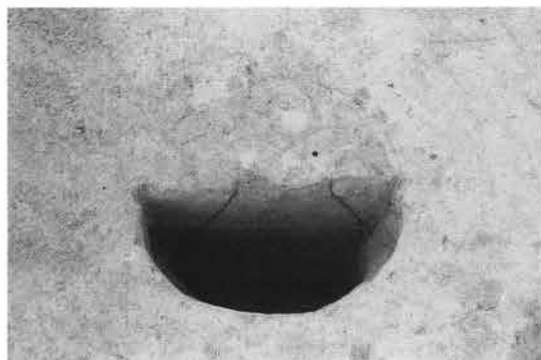
7号住居 ピット2



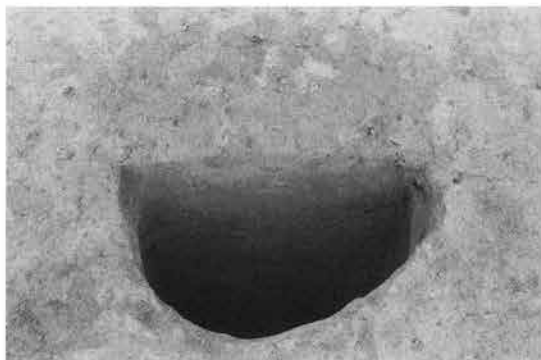
7号住居 ピット3



7号住居 ピット4



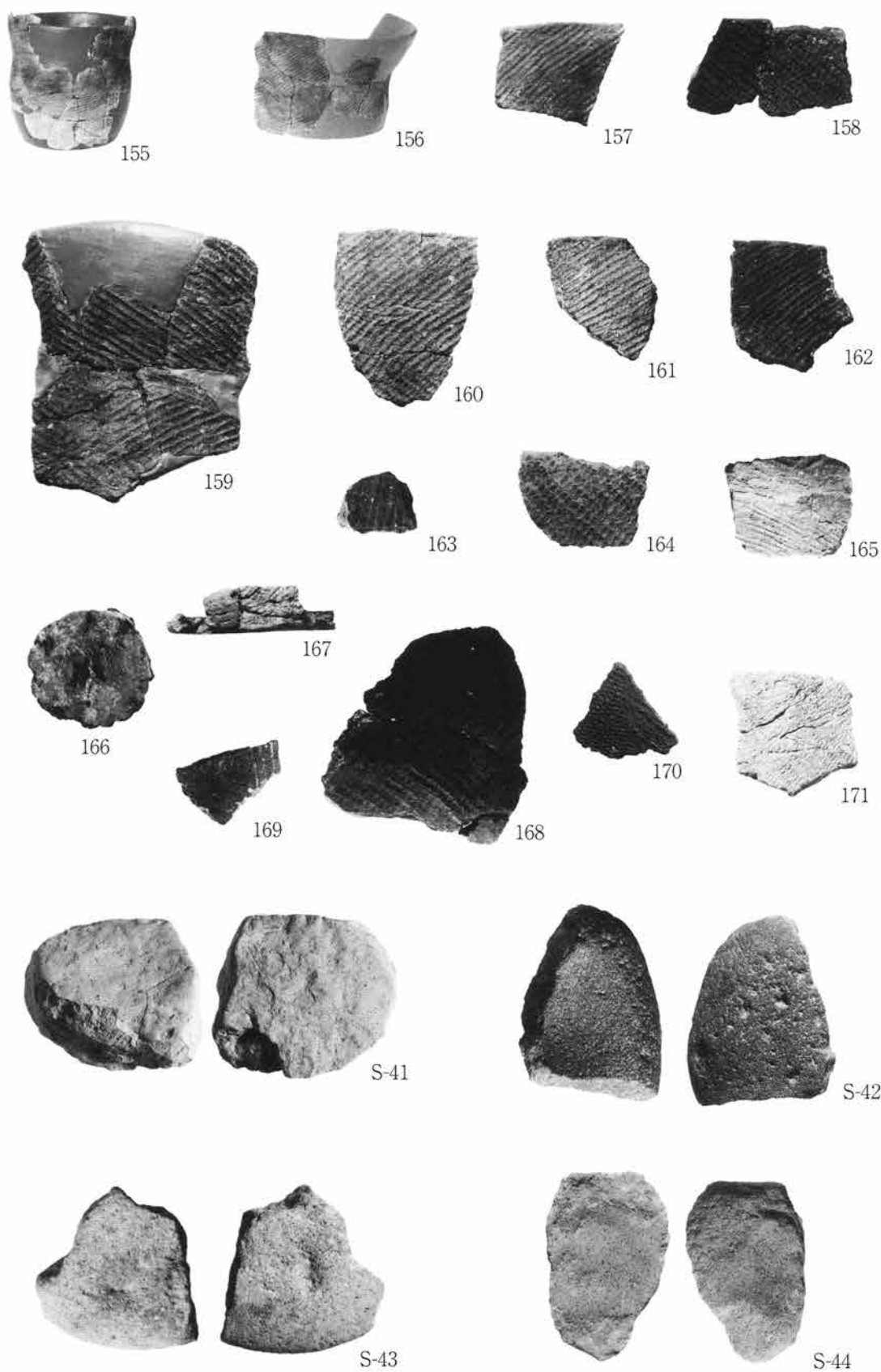
7号住居 ピット5



7号住居 ピット6



7号住居 壁周溝2・3





S-45



S-46



S-51



S-52



S-53



S-47



S-48



S-50



S-49



PL.24 8号住居



8号住居 遺物出土状況



8号住居 遺物出土状況部分



8号住居 全景



8号住居 土層断面



8号住居 炉



8号住居 炉土層断面図



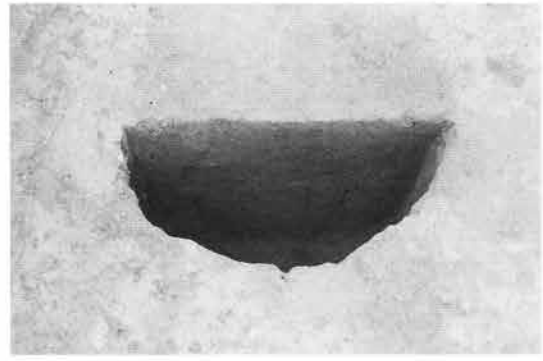
8号住居 土坑1



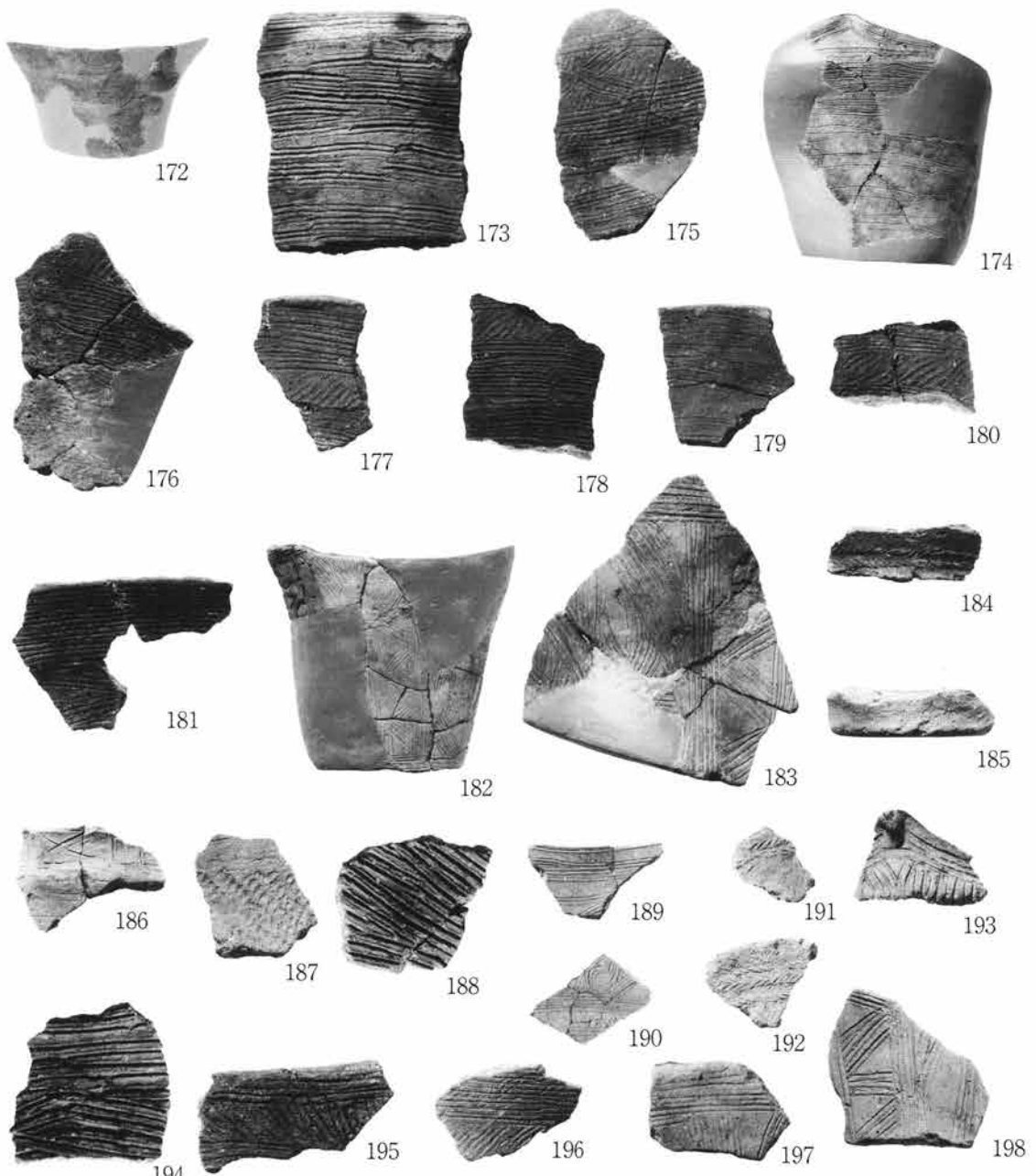
8号住居土坑1土層断面



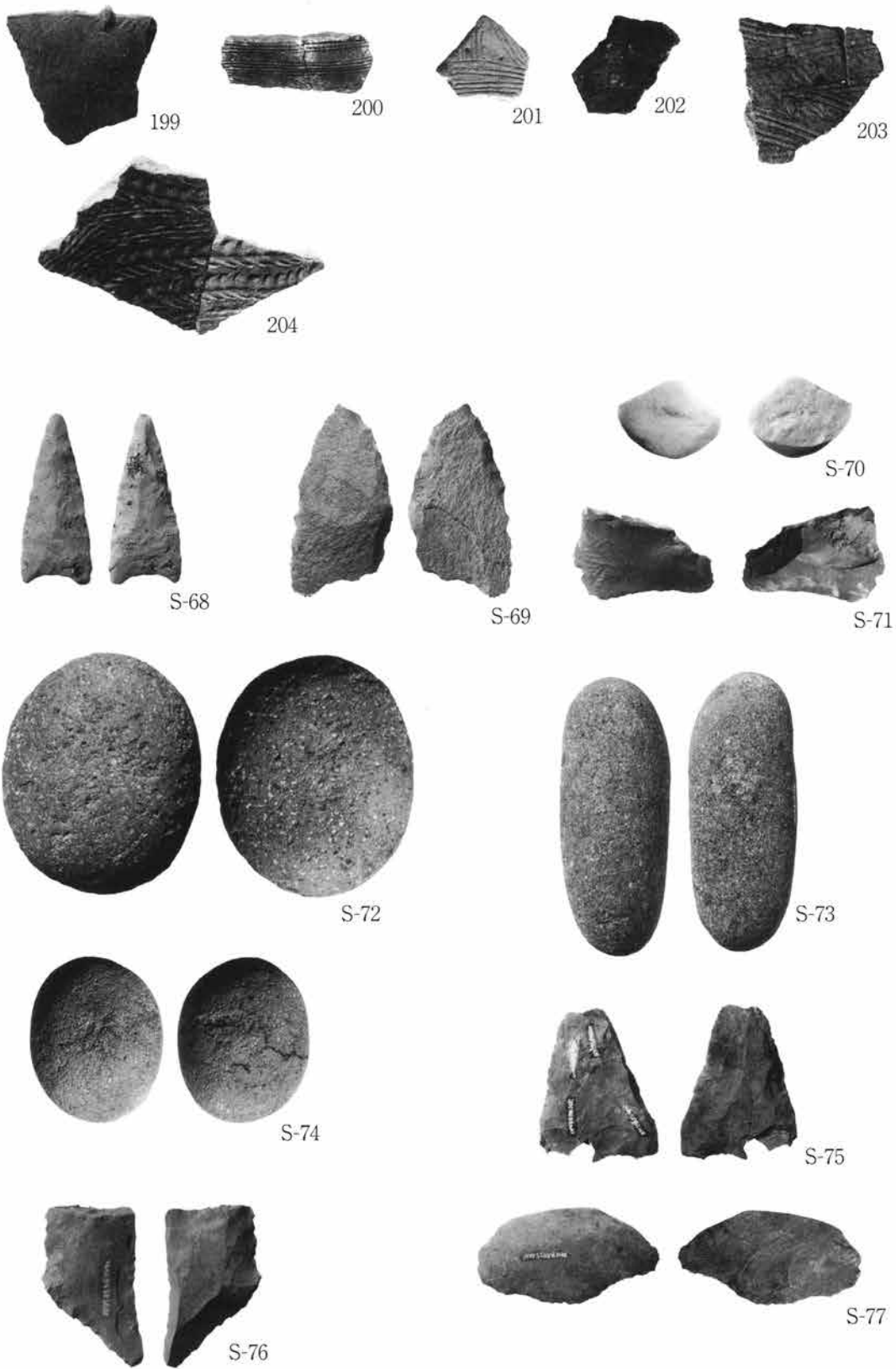
8号住居 土坑2



8号住居 ピット

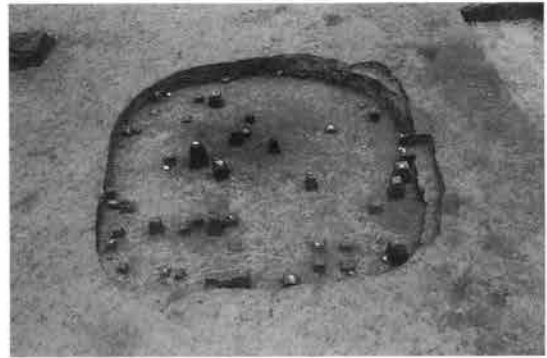


8号住居 出土遺物 1





9号住居 土層断面



9号住居 遺物出土状況



9号住居 全景



9号住居 焼土1



9号住居 焼土2



9号住居 掘り方土層断面図



9号住居 掘り方全景



9号住居 ピット1



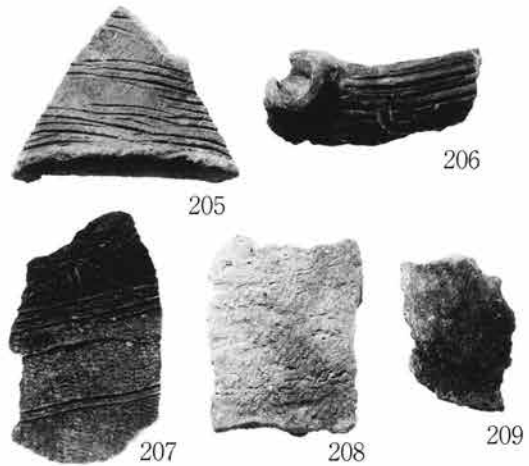
9号住居 ピット2



9号住居 ピット3



9号住居 ピット4

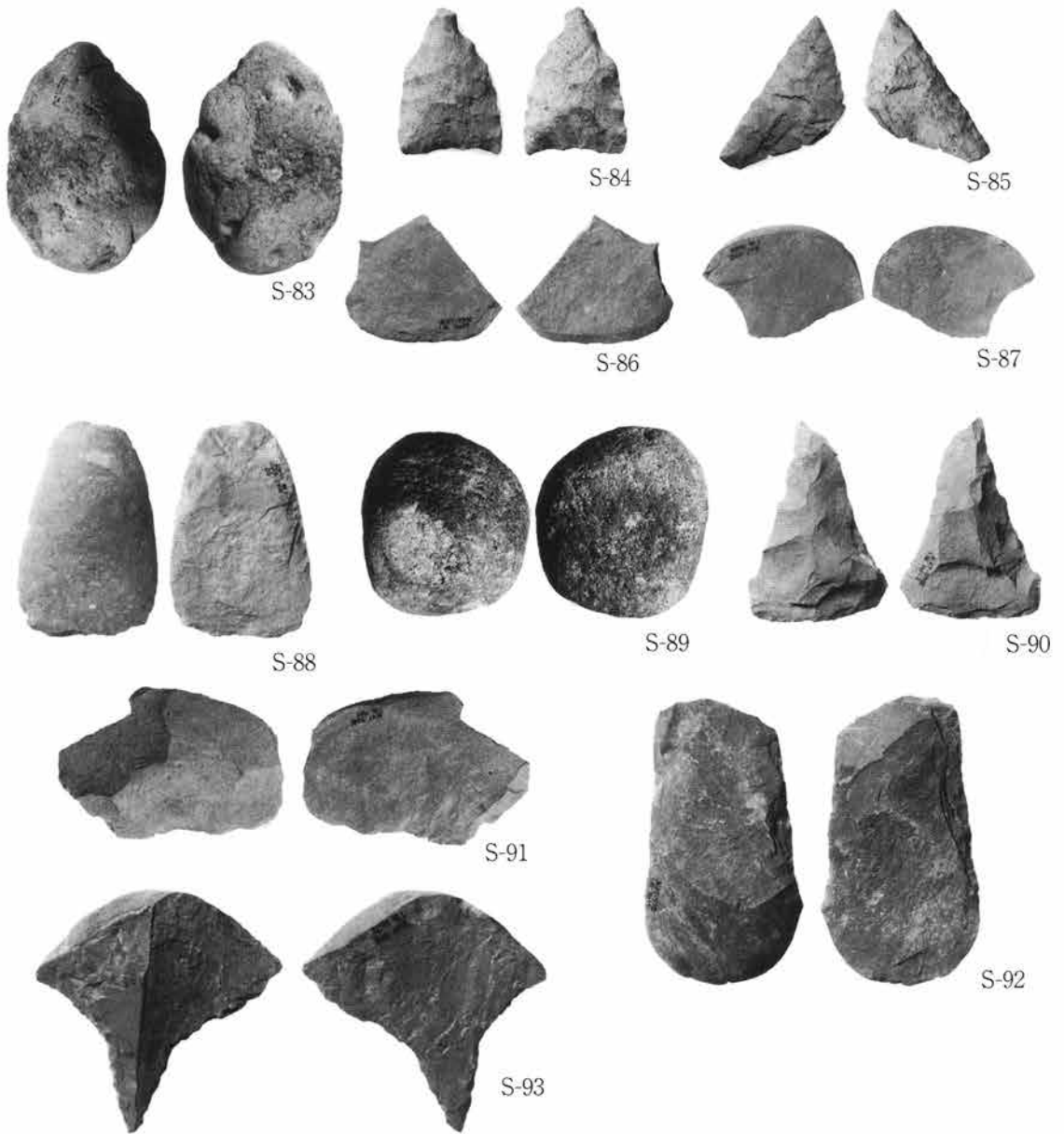


S-81



S-82

9号住居 出土遺物 1



9号住居 出土遺物2



10号住居 確認状況



10号住居 土層断面



10号住居 遺物出土状況



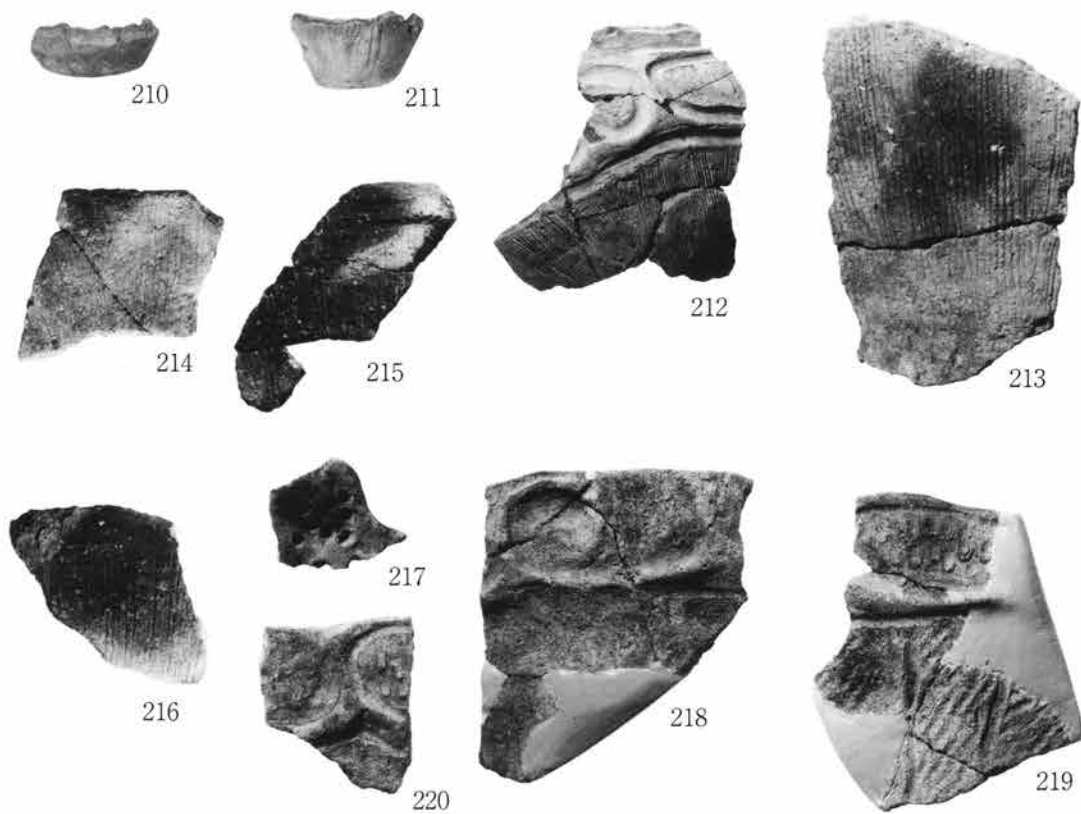
10号住居 211 出土状況



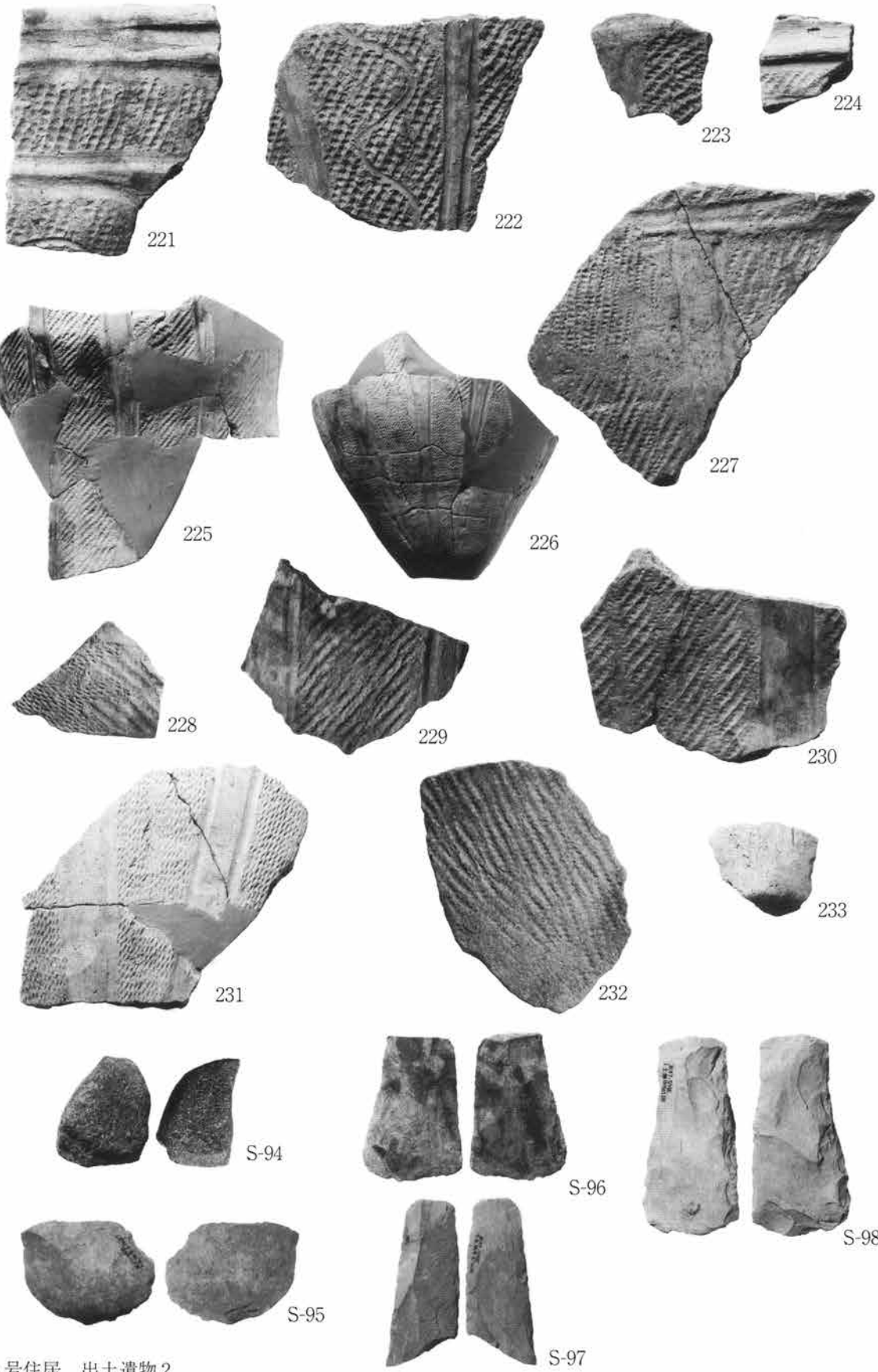
10号住居 炉



10号住居 全景



10号住居 出土遺物1





14号住居 遺物出土状況



14号住居 全景



14号住居 炉



14号住居 炉土層断面



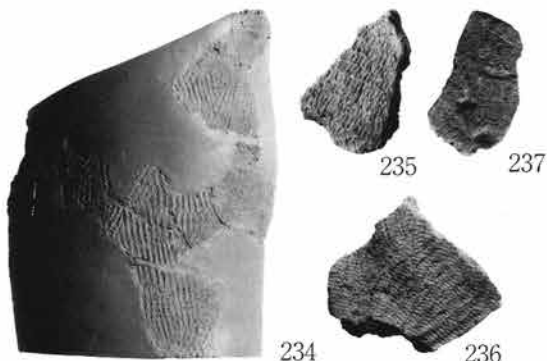
14号住居 ピット1



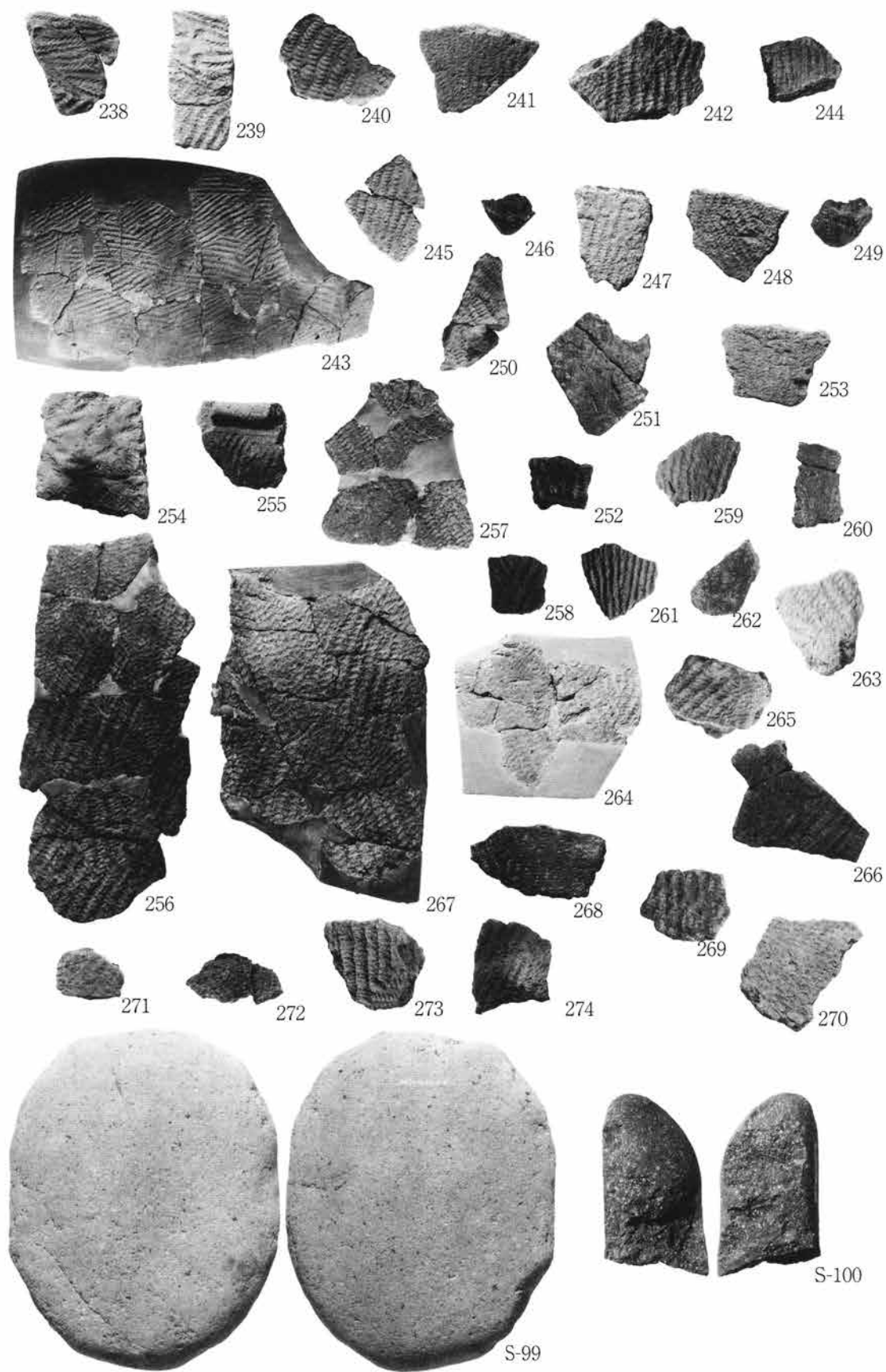
14号住居 ピット2



14号住居 ピット3・4



14号住居 出土遺物1

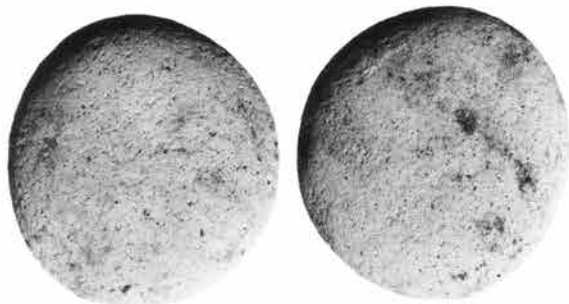




S-101



S-102



S-103



S-104



S-105



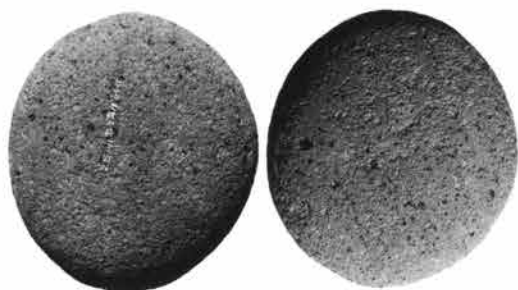
S-106



S-107



S-108



S-109



S-110



S-111



S-112



S-113



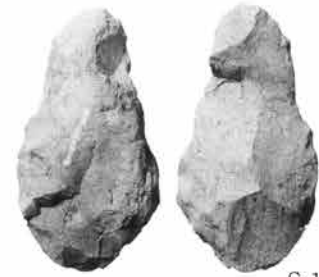
S-114



S-115



S-116



S-117



S-119



S-118



S-120



S-121



S-123



S-122



S-124



S-125



S-127



S-126

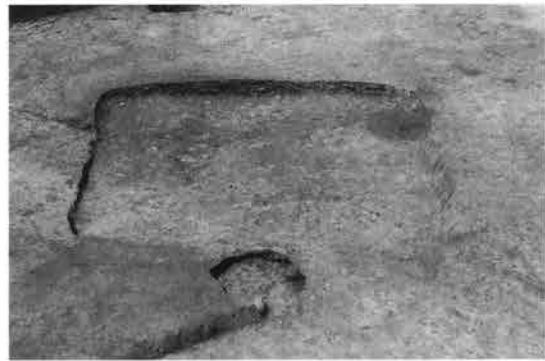


S-128

14号住居 出土遺物5



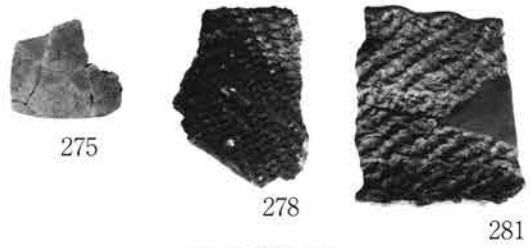
24号住居 土層断面



24号住居 全景



24号住居 掘り方全景



275

278

281



276



279



285



282



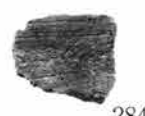
277



280

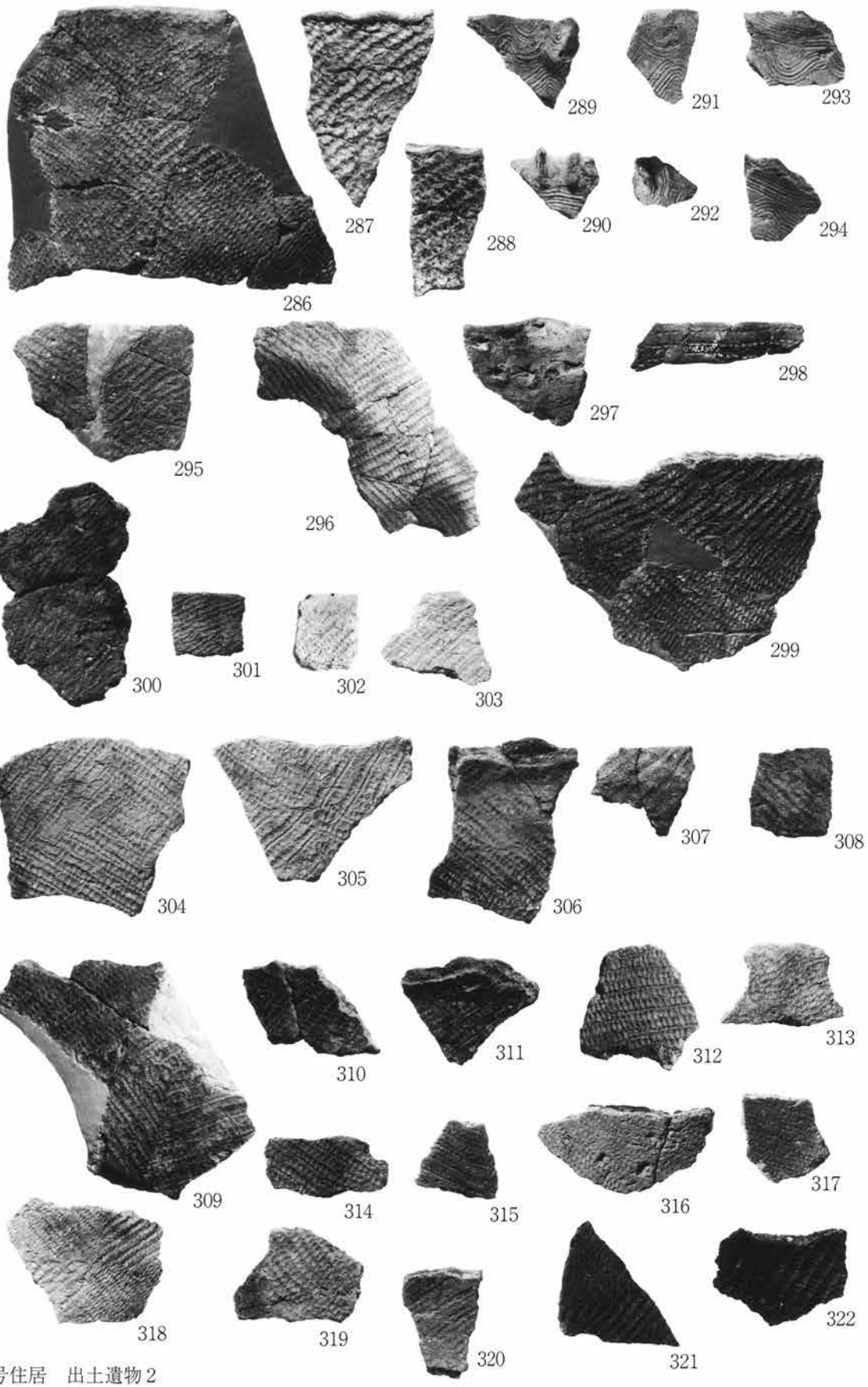


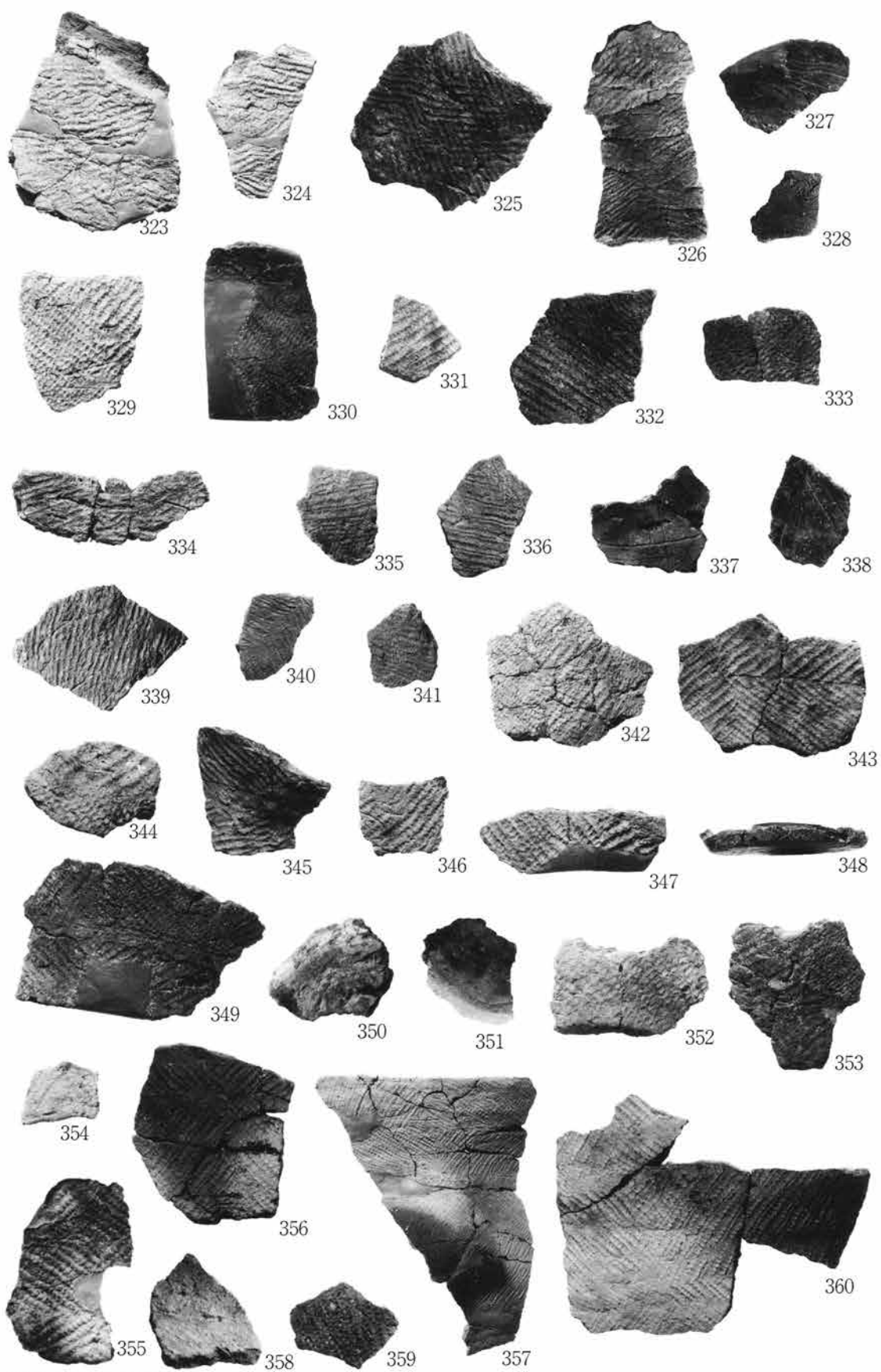
283

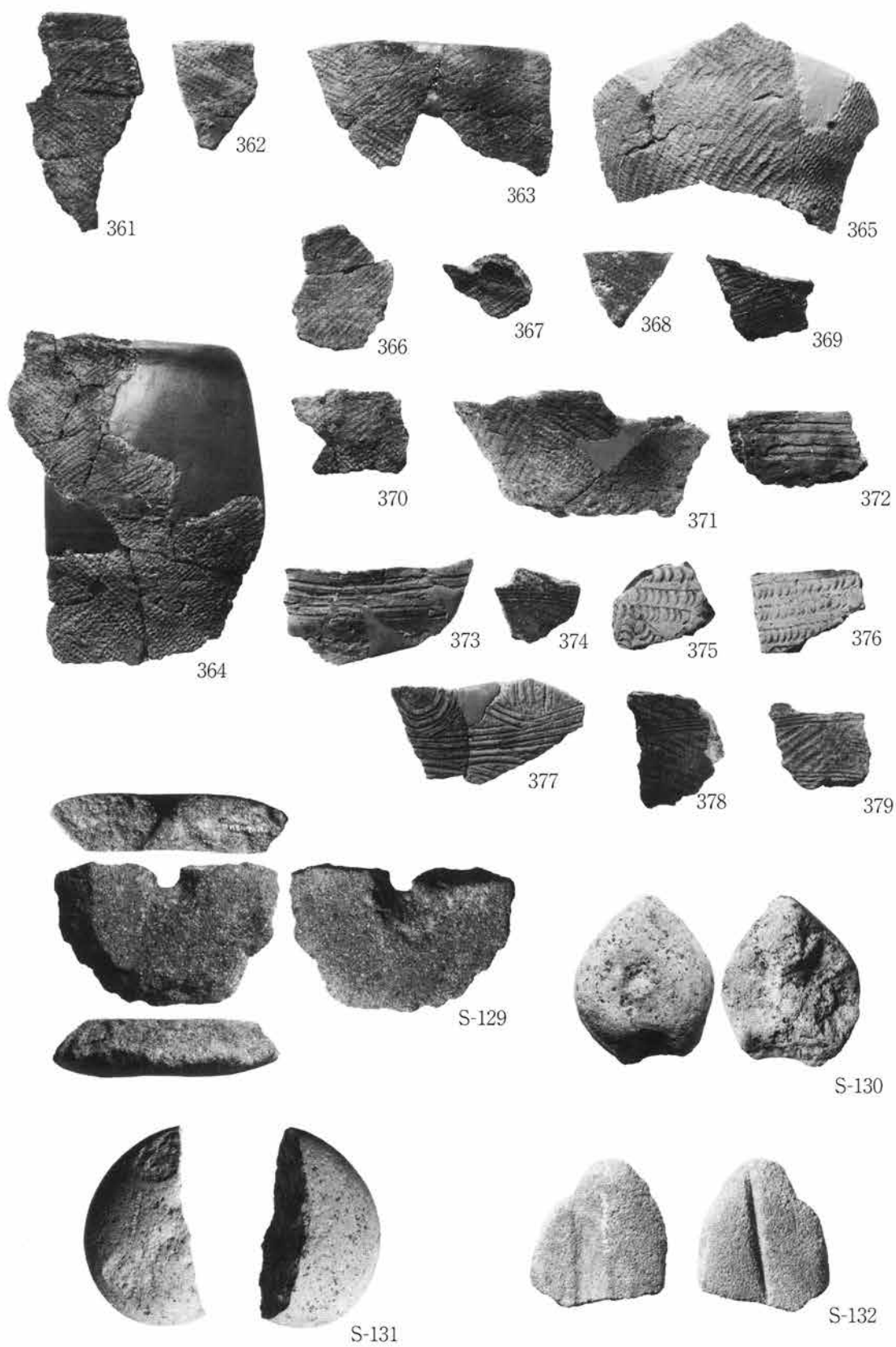


284

24号住居 出土遺物1









S-133



S-134



S-135



S-136



S-137



S-138

24号住居 出土遺物 5



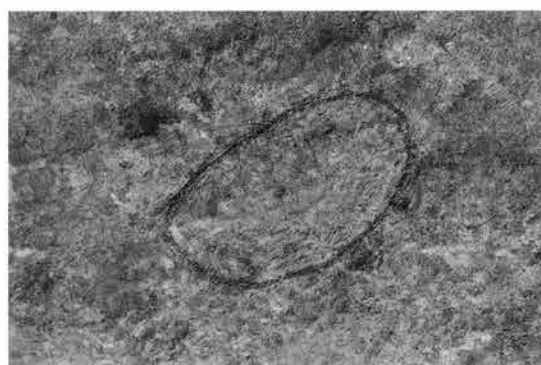
25号住居 遺物出土状況



25号住居 全景



25号住居 中央部遺物出土状況



25号住居 焼土 1



25号住居 焼土2



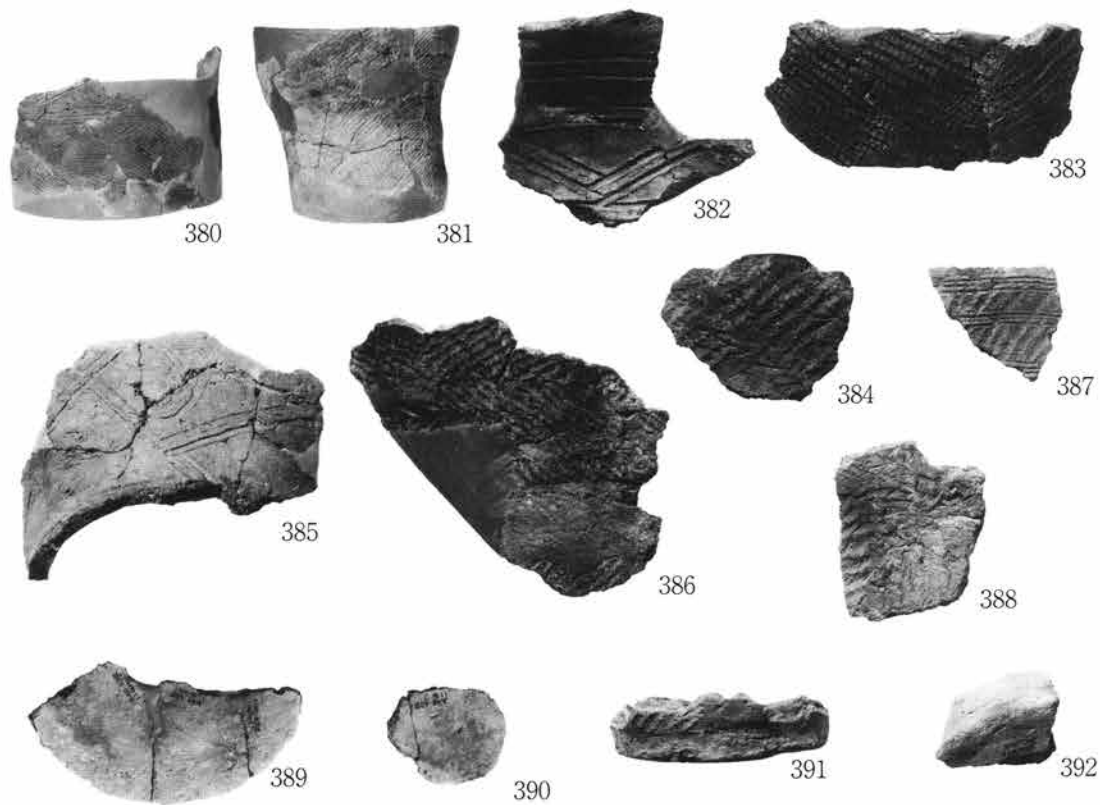
25号住居 ピット3



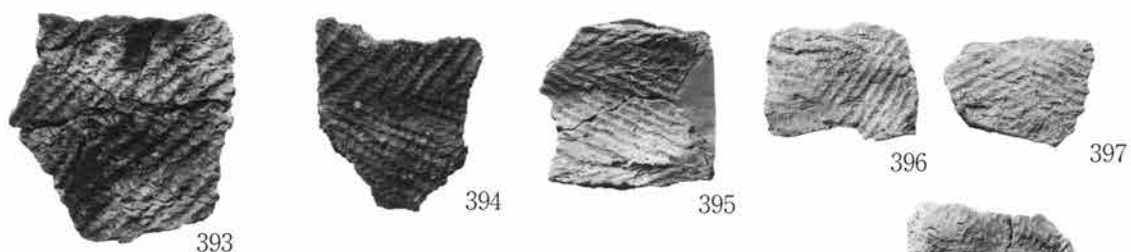
25号住居 ピット4



25号住居 掘り方全景



25号住居 出土遺物1





26号住居 遺物出土状況



26号住居 全景



26号住居 大型石皿



26号住居 大型石皿据え方



26号住居 炉



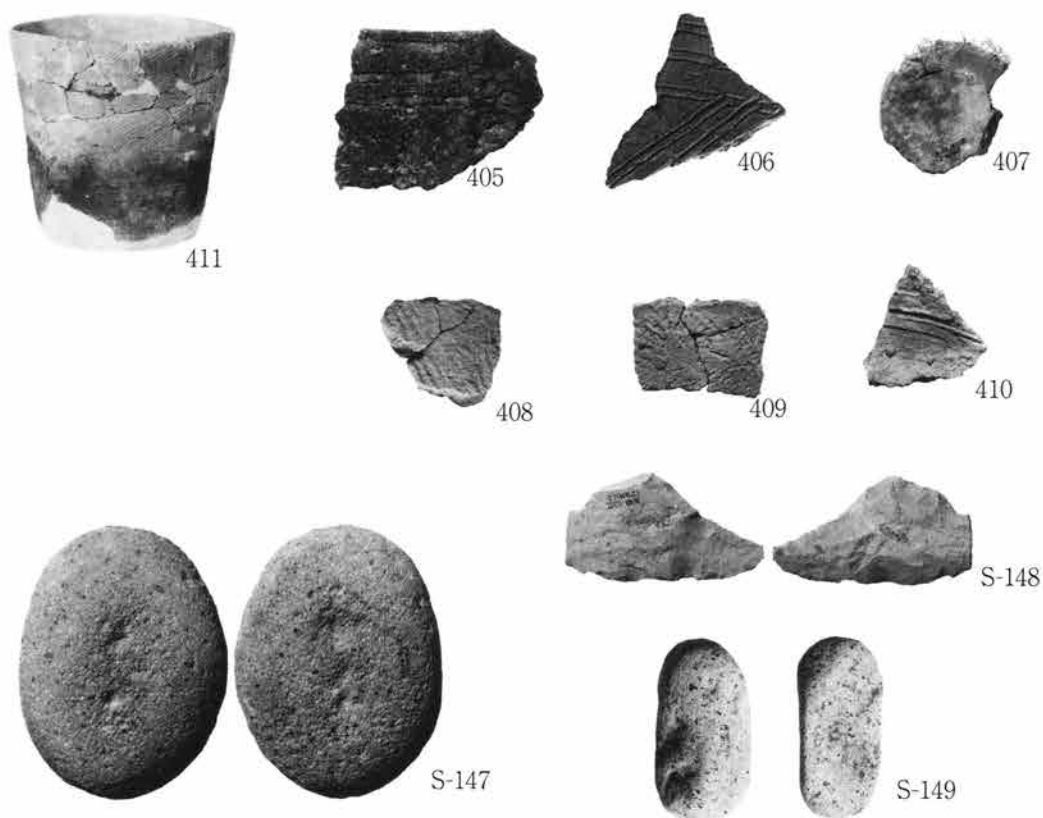
26号住居 焼土2



26号住居 床下土坑



26号住居 掘り方全景



26号住居 出土遺物



27号住居 全景



27号住居 遺物出土狀況



27号住居 埋甕土層断面



27号住居 1・2号土坑



27号住居 3号土坑



27号住居 ピット1



27号住居 ピット2



27号住居 ピット3



27号住居 ピット4



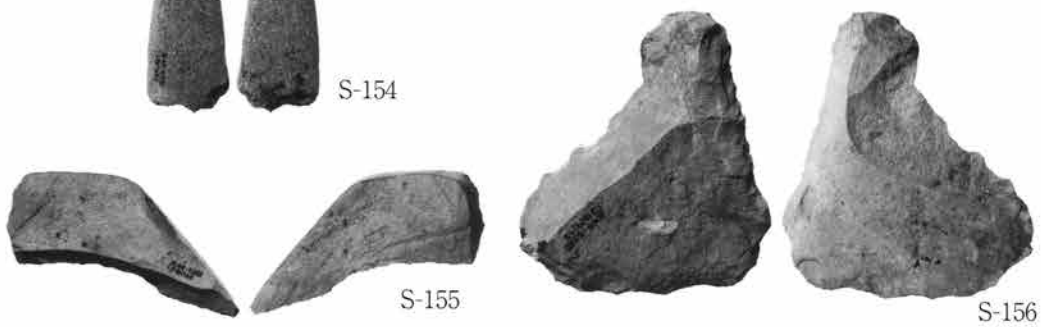
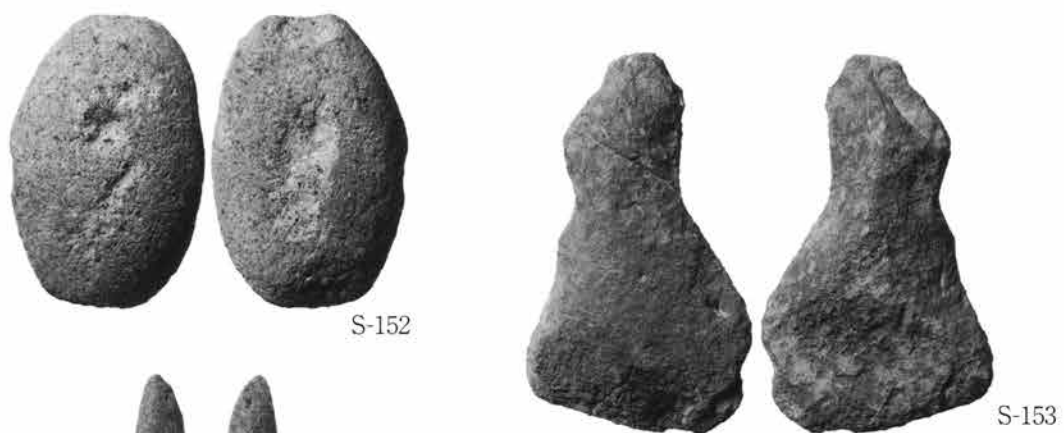
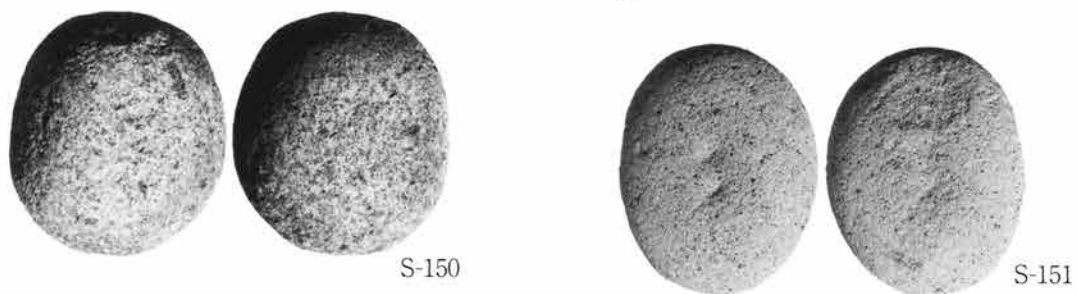
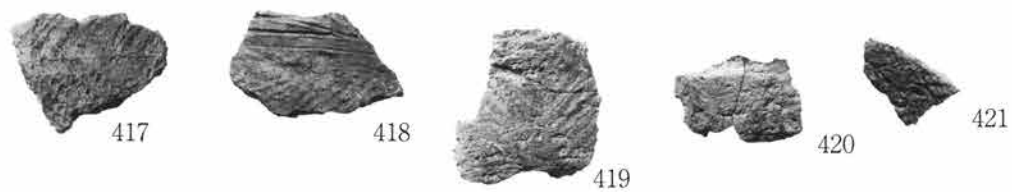
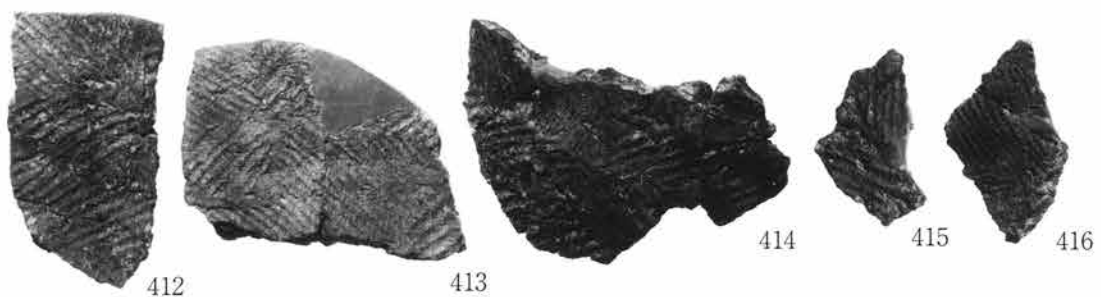
27号住居 ピット5



27号住居 ピット6



27号住居 掘り方全景





27号住居 出土遺物2



4号土坑



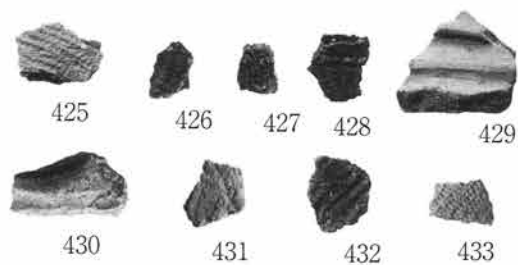
4号土坑 出土遺物



6号土坑 土層断面



6号土坑

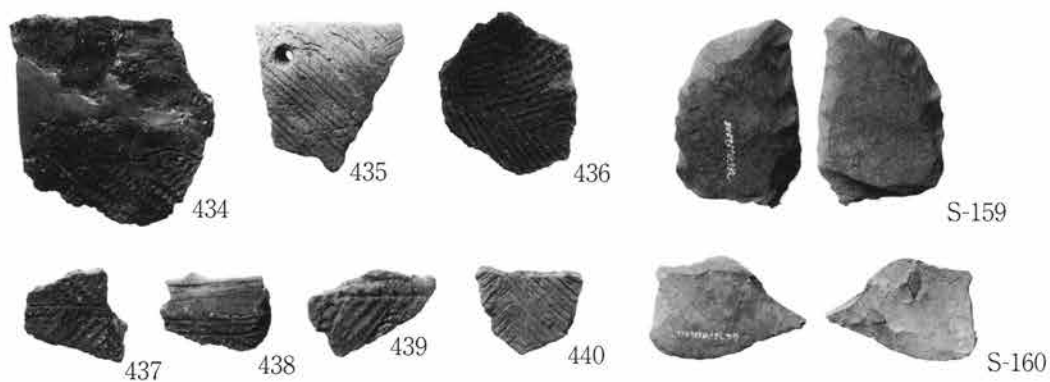


6号土坑 出土遺物



7号・10号土坑

PL.48 土坑2 (7~9・11号土坑)



7号土坑 出土遺物



8号土坑 土層断面



8号土坑 全景



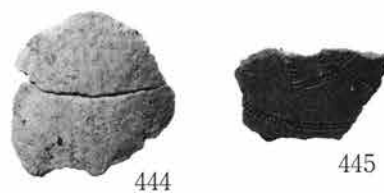
9号土坑 全景



9号土坑 出土遺物



11号土坑 全景



11号土坑 出土遺物



446



447



448



449



13号土坑 全景



S-161

12号土坑 出土遺物



451

13号土坑 出土遺物



450



14号土坑 全景



452



453



S-162

454

454



S-163



455

14号土坑 出土遺物



15号土坑 全景



455

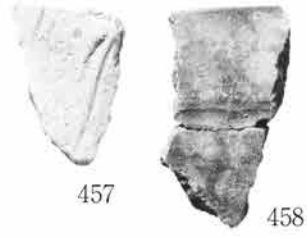


456

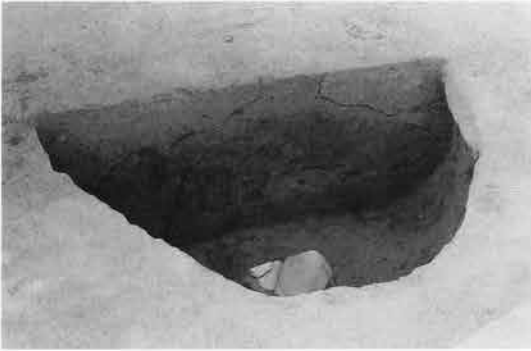
15号土坑 出土遺物



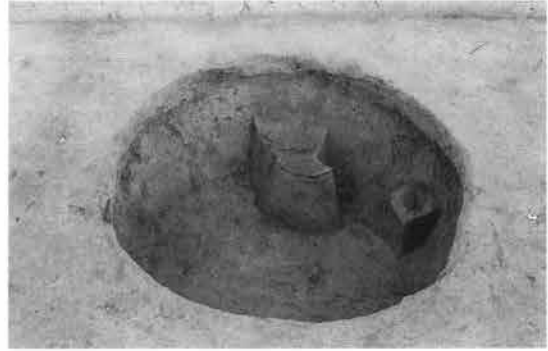
16号土坑 全景



16号土坑 出土遺物



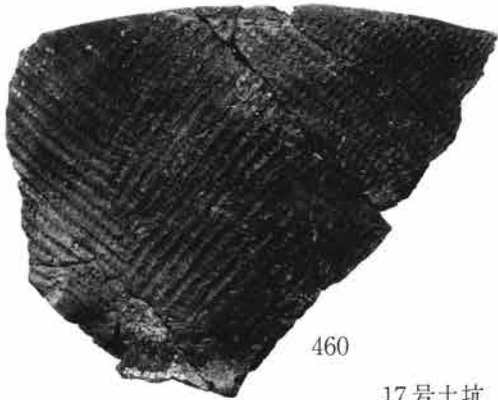
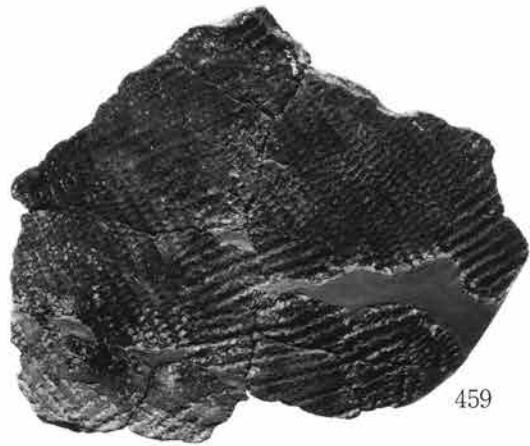
17号土坑 土層断面



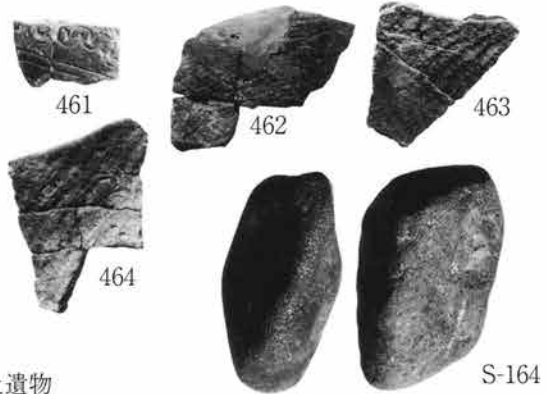
17号土坑 全景



17号土坑 遺物出土狀況



17号土坑 出土遺物





18号土坑 全景



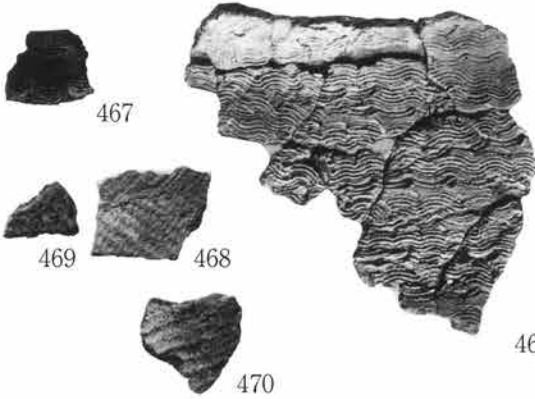
18号土坑 遺物出土狀況



465



S-165



467

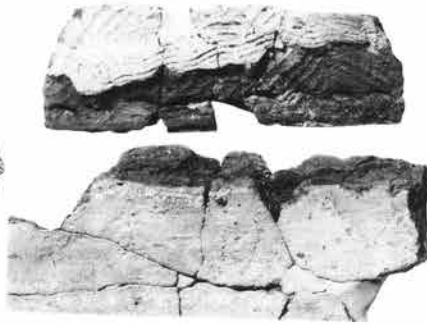
469

468

470

466

18号土坑 出土遺物



471

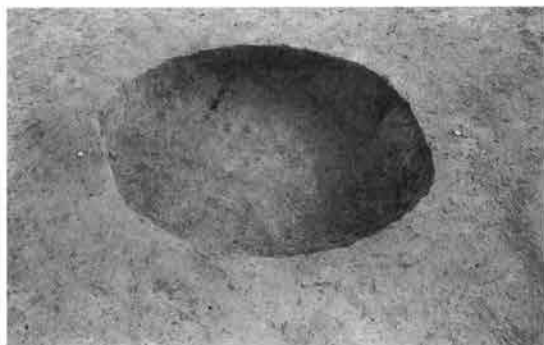


19号土坑 全景



20号土坑 全景・出土狀況

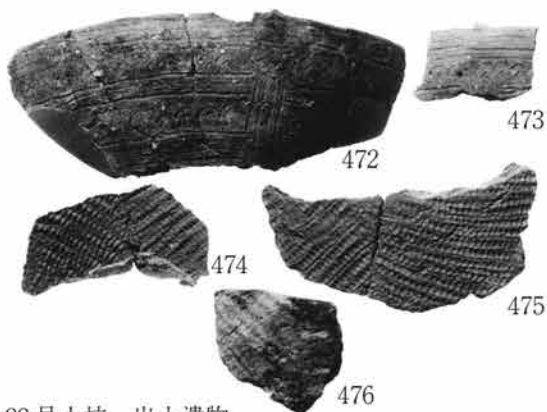
PL.52 土坑6 (21~25号土坑)



21号土坑 全景



22号土坑 全景



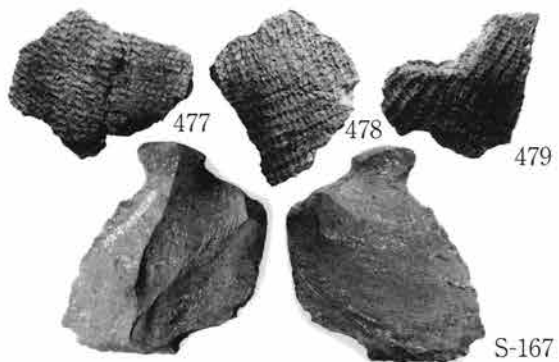
22号土坑 出土遺物



23号土坑 全景



23号土坑 全景



23·24号土坑 出土遺物



24号土坑 出土遺物



25号土坑 全景



25号土坑 遺物出土状況



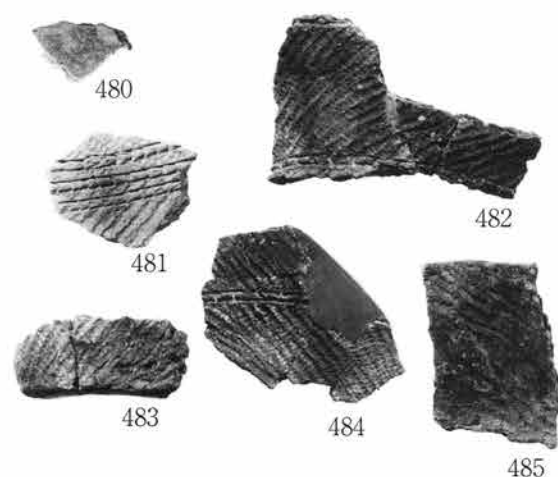
26号土坑 全景



27号土坑 全景



28号土坑 全景



26号土坑
出土遺物

25号土坑 出土遺物 S-168

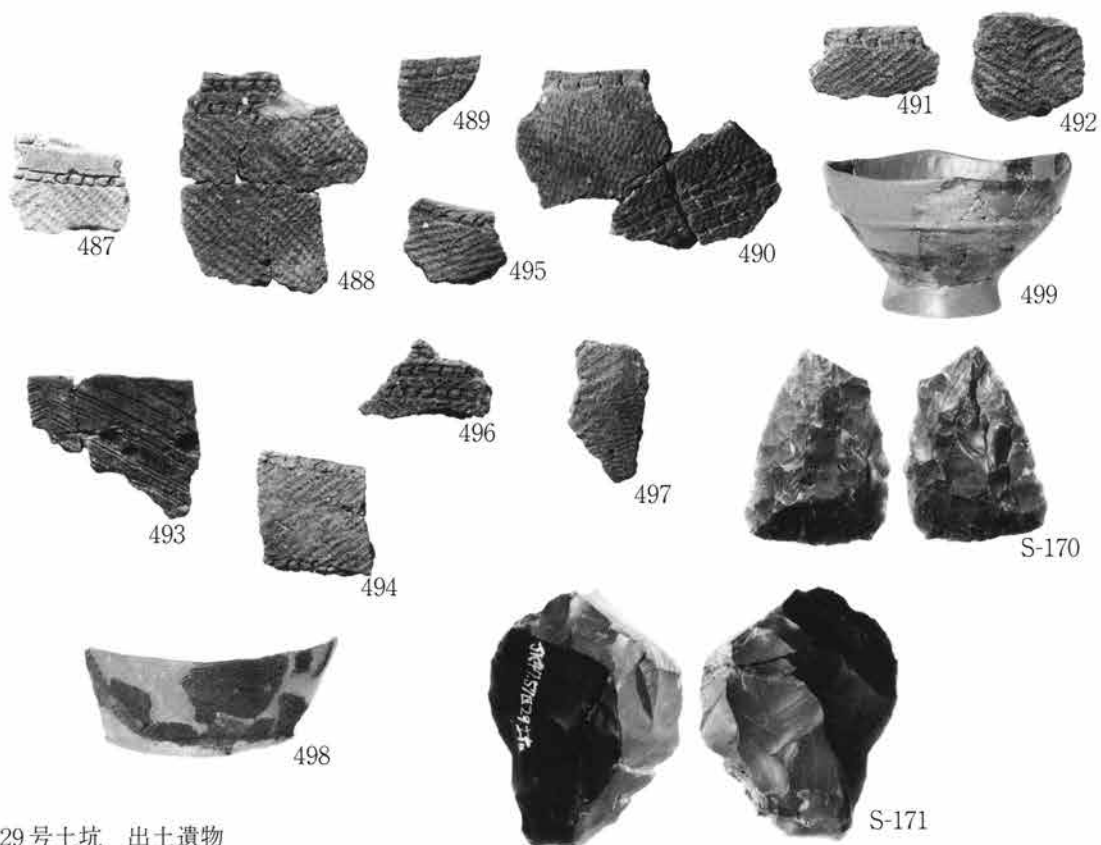


27号土坑 出土遺物 S-169



29号土坑 全景

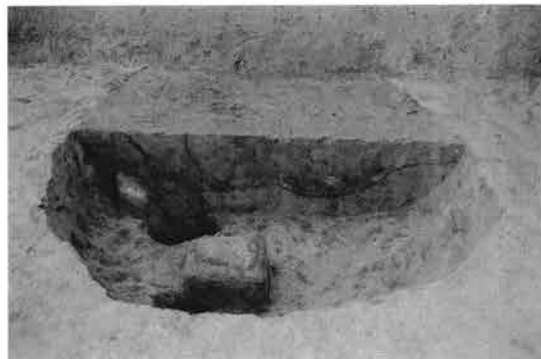
PL.54 土坑8 (29~31号土坑)



29号土坑 出土遺物



30号土坑 全景



31号土坑 土層断面



31号土坑 全景



31号土坑 出土遺物



32号土坑 全景

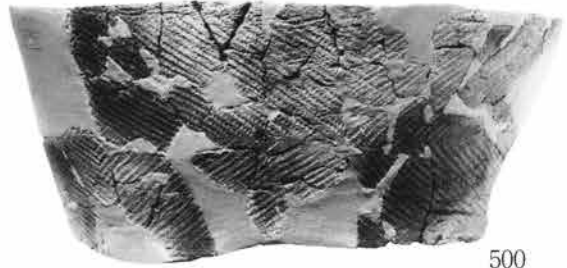


S-173

32号土坑 出土遺物



33号土坑 全景



500

33号土坑 出土遺物



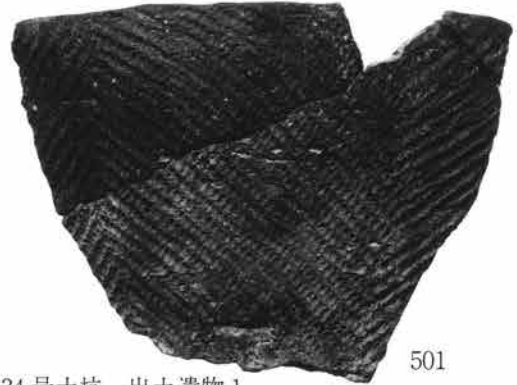
34号土坑 土層断面



34号土坑 遺物出土狀況

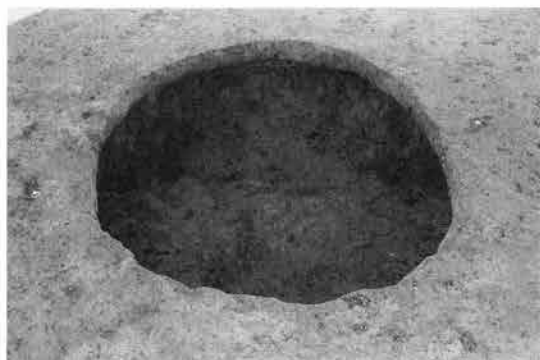
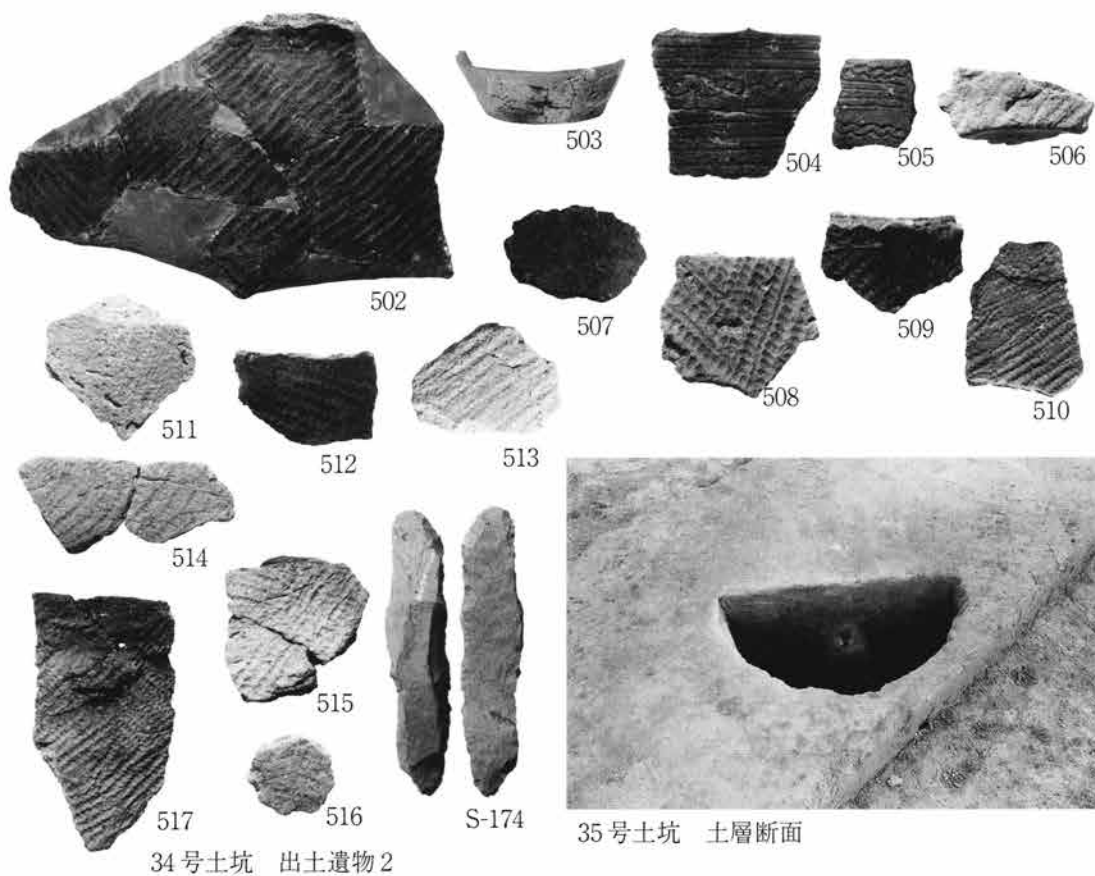


34号土坑 全景



501

34号土坑 出土遺物1

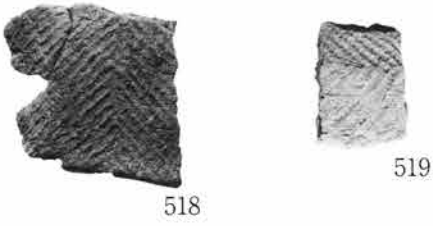




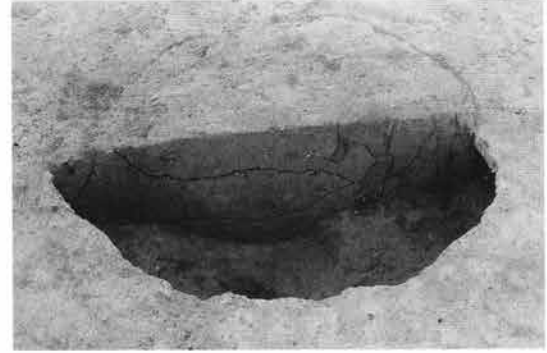
40号土坑 全景



41号土坑 全景



41号土坑 出土遺物



42号土坑 土层断面



42号土坑 全景



43号土坑 全景



44号土坑 全景



44号土坑 出土遺物

PL.58 土坑 12 (45～48号土坑)



45号土坑 全景



46号土坑 全景



47号土坑 全景



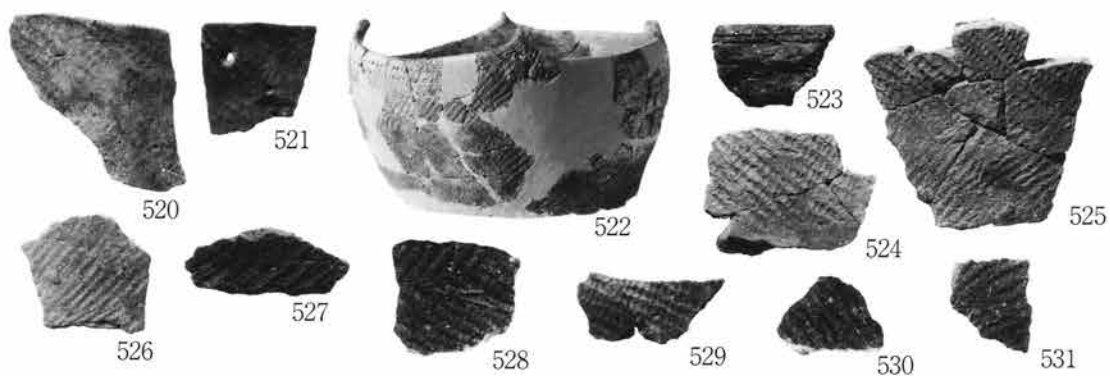
48号土坑 遺物出土状況



48号土坑 1段目全景



48号土坑 2段目全景



48号土坑 出土遺物



49号土坑 全景



532



534



533



535

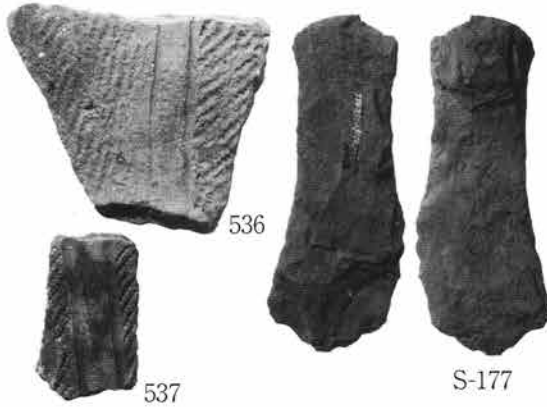
49号土坑 出土遺物



50号土坑 全景



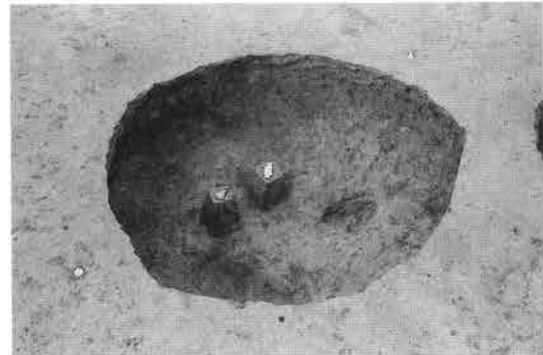
51号土坑 全景



536

537

S-177

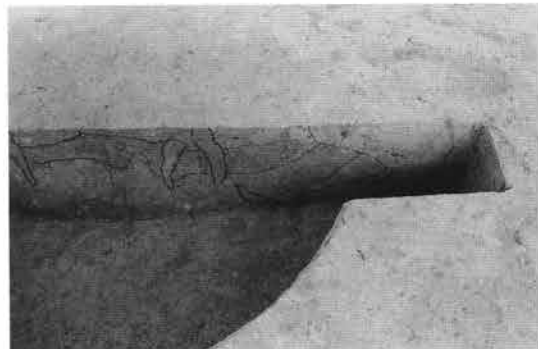


52号土坑 全景



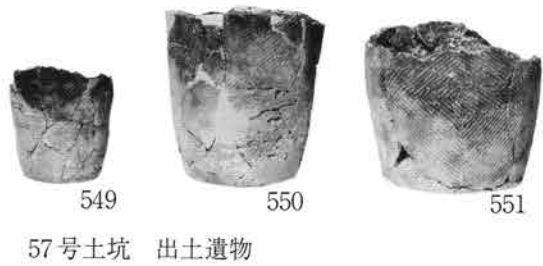
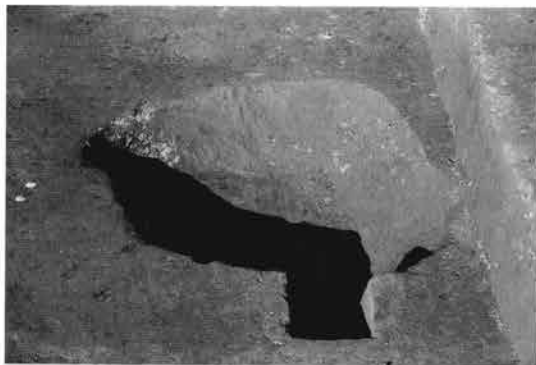
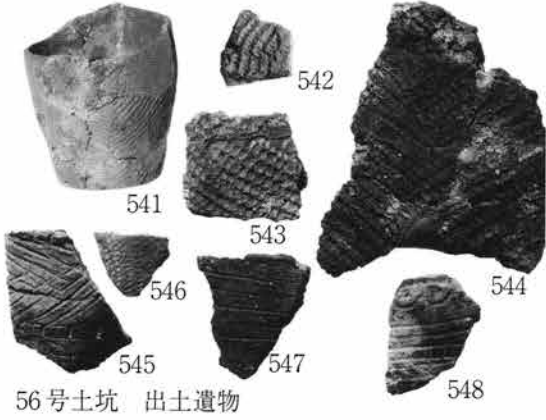
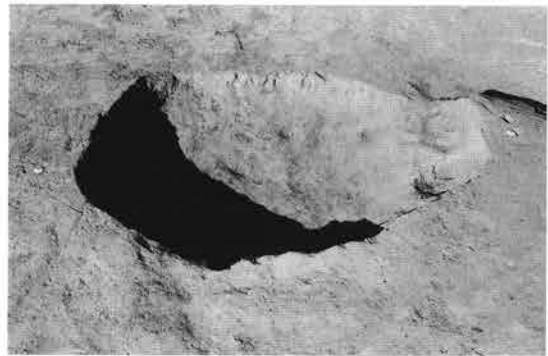
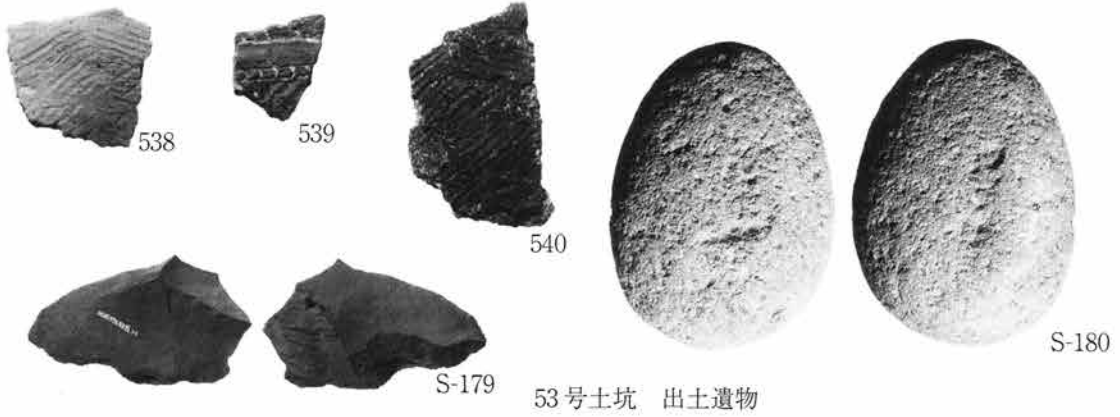
S-178

52号土坑 出土遺物



53号土坑 土層断面

PL.60 土坑 14 (53・55～57号土坑)



PL.61 土坑 15 (58 ~ 64 号土坑)



58号土坑 全景



58号土坑 出土遺物



59号土坑 全景



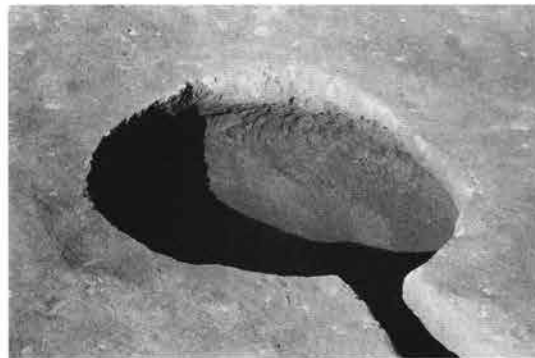
60号土坑 土層断面



61号土坑 全景



62・63・64号土坑 遺構確認状況

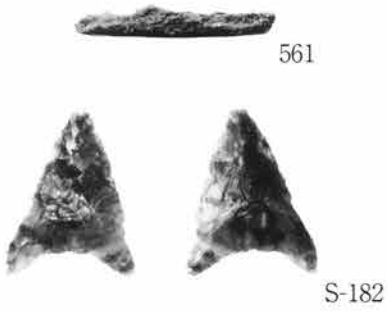
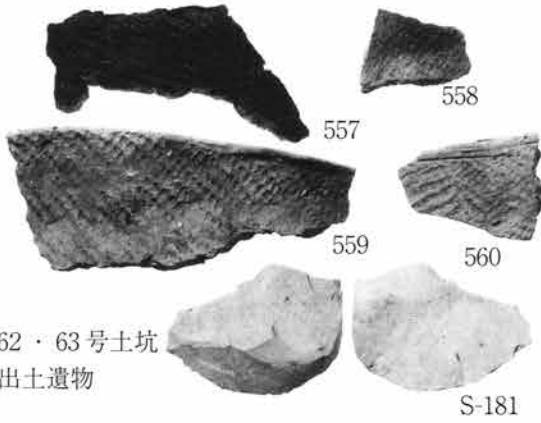


62号土坑 全景



63号土坑 全景

PL.62 土坑 16 (62~67号土坑)



64号土坑 出土遺物



66号土坑 出土遺物



67号土坑 出土遺物



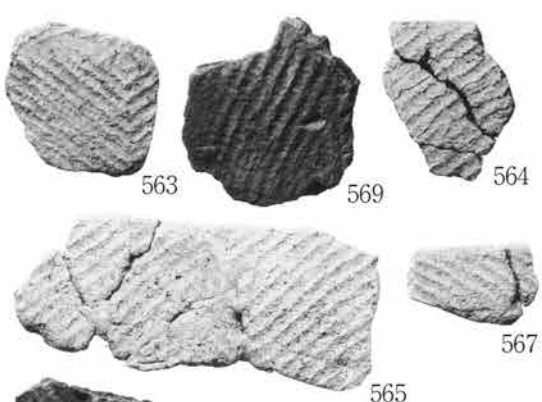
68号土坑 全景



69号土坑 遺物出土狀況



69号土坑 全景



69号土坑 出土遺物



70号土坑 全景

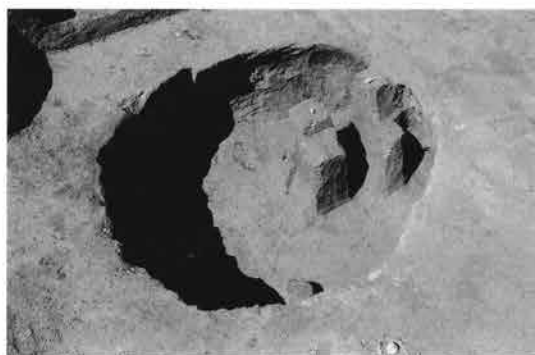


71号土坑 全景

PL.64 土坑 18 (73 ~ 78 号土坑)



73 号土坑 出土遺物



75 号土坑 出土遺物



76 号土坑 全景



76 号土坑 遺物出土狀況



77 号土坑 出土遺物



76 号土坑 出土遺物



78 号土坑 全景



78 号土坑 遺物出土狀況



78号土坑 出土遺物



79号土坑 全景



80号土坑 全景



81号土坑 全景



82号土坑 全景



83号土坑 全景



84号土坑 全景



84号土坑 出土遺物



85号土坑 全景



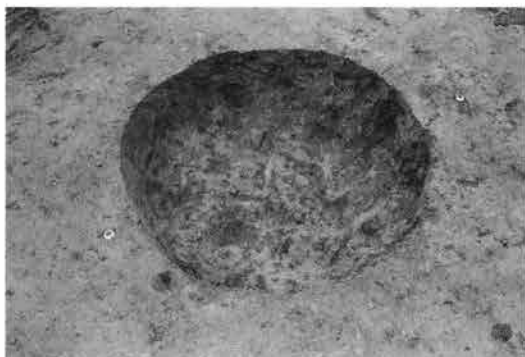
86号土坑 全景



87号土坑 全景



88号土坑 全景



89号土坑 全景



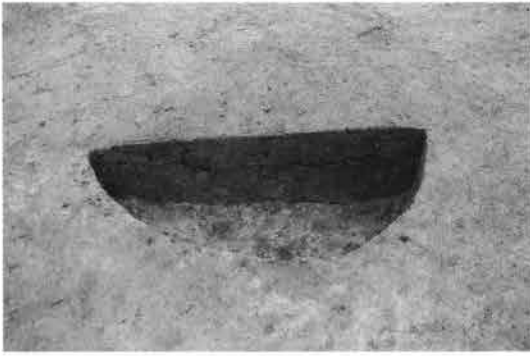
90号土坑 全景



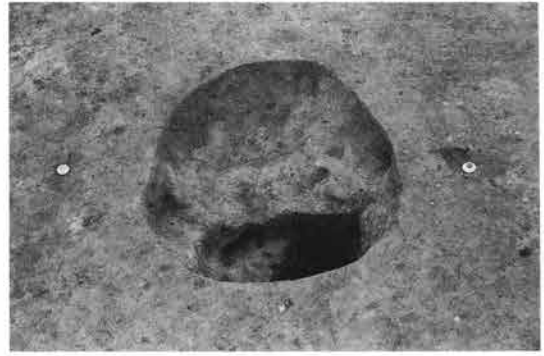
90号土坑 出土遺物



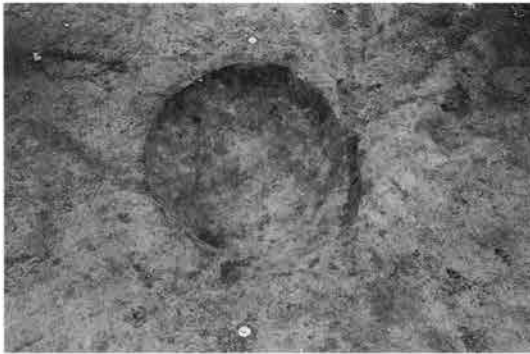
92号土坑 全景



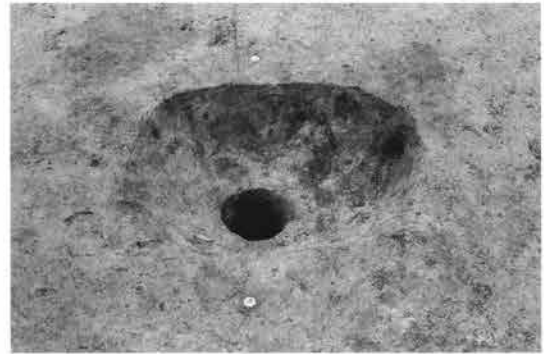
93号土坑 土層断面



94号土坑 全景



95号土坑 全景



96号土坑 全景



97号土坑 全景



98号土坑 全景

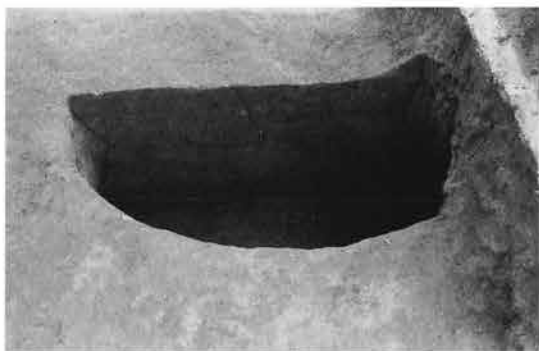


98号土坑 遺物出土狀況



S-187

98号土坑 出土遺物



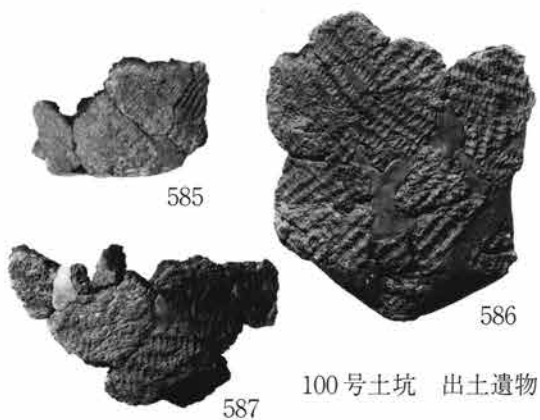
99号土坑 土層断面



100号土坑 土層断面



100号土坑 遺物出土状況

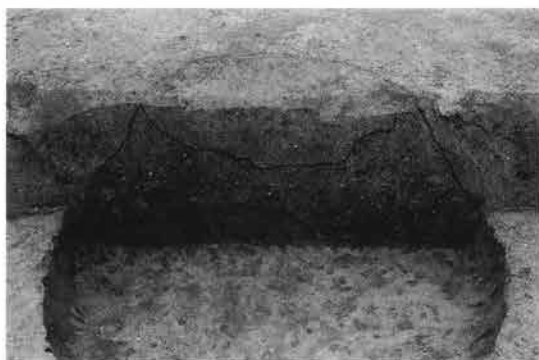


100号土坑 出土遺物



S-188

100号土坑 出土遺物



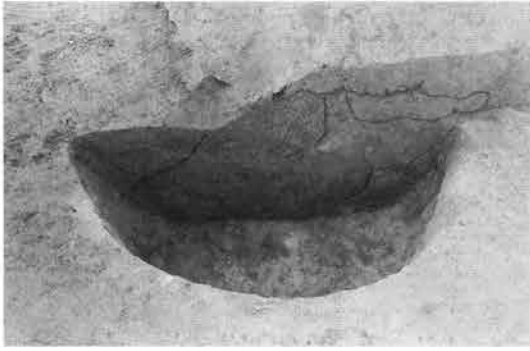
101号土坑 土層断面



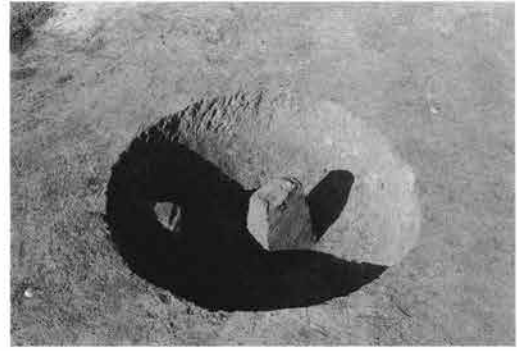
101号土坑 全景



102号土坑 全景



110号土坑 土層断面



110号土坑 全景



111号土坑 全景



111号土坑 出土遺物



112号土坑 出土遺物



112号土坑 全景



113号土坑 全景



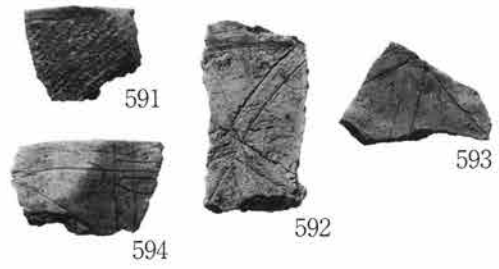
114号土坑 全景



116号土坑 全景



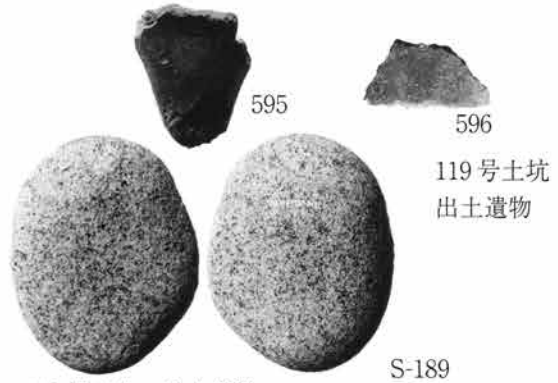
117号土坑 全景



117号土坑 出土遺物



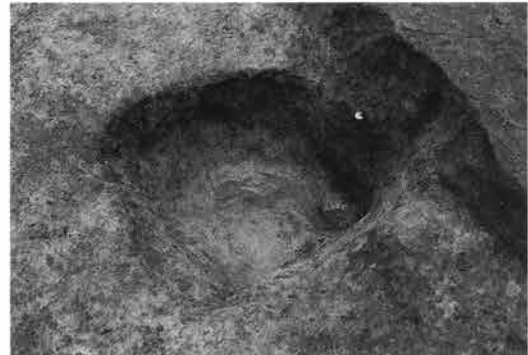
118号土坑 全景



118号土坑 出土遺物



119号土坑 土層断面



119号土坑 全景



120号土坑 全景



121号土坑 全景



122号土坑 土層断面



122号土坑 全景



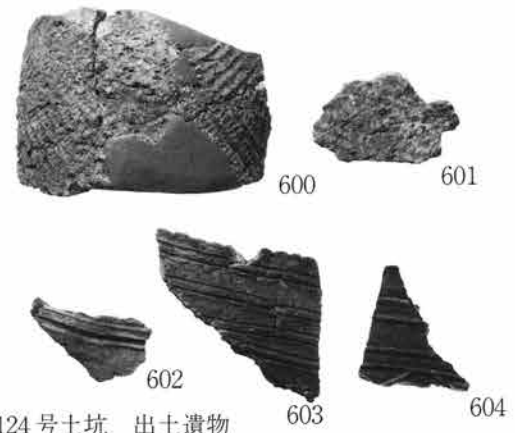
123号土坑 全景



123号土坑 出土遺物



124号土坑 全景



124号土坑 出土遺物



125号土坑 全景



126号土坑 全景

PL.72 土坑 26 (127 ~ 132 号土坑)



127号土坑 全景



128号土坑 全景



129号土坑 全景



130号土坑 全景



131号土坑 全景



132号土坑 土层断面



132号土坑 全景



132号土坑 出土遺物



133号土坑 全景



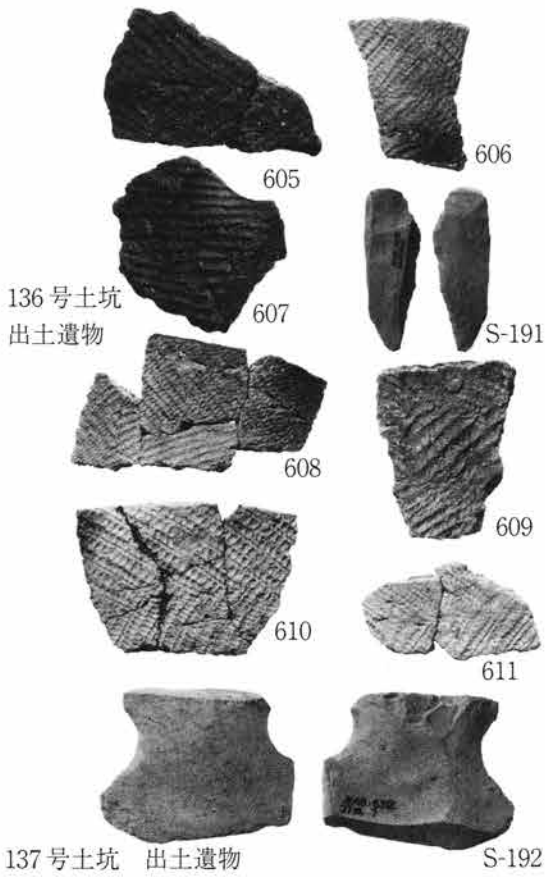
134号土坑 全景



135号土坑 全景



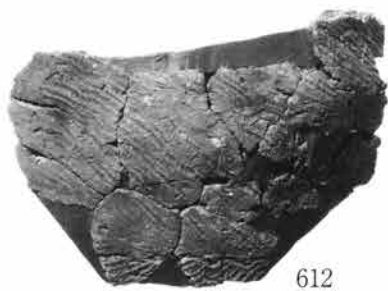
136号土坑 全景



137号土坑 全景



138号土坑 全景



612



613



614



615



616

139号土坑 出土遺物



1号埋設土器 出土状況



617

1号埋設土器



2号埋設土器 出土状況

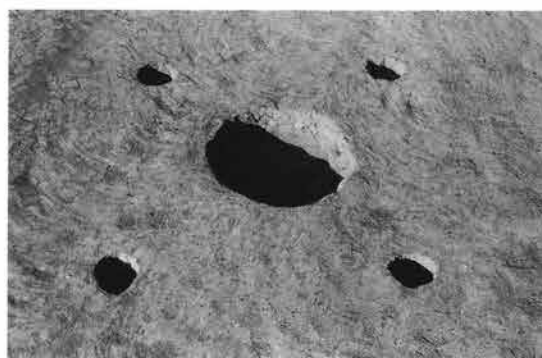


618

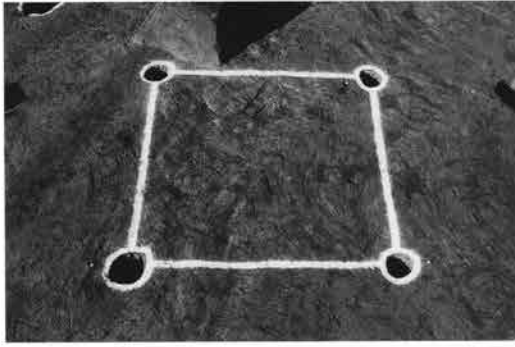
2号埋設土器



1号掘立柱建物 全景



2号掘立柱建物 全景



3号埋設土器 出土状況



6-94-D-8グリッド 遺物出土状況



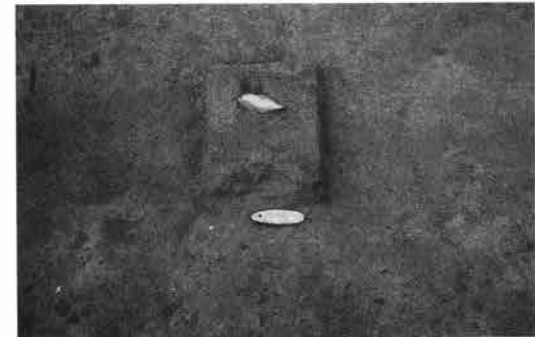
6-94-E-6グリッド 遺物出土状況



6-94-K.L-6.7.8グリッド 遺物出土状況



6-94-D-9グリッド けつ状耳飾り出土状況



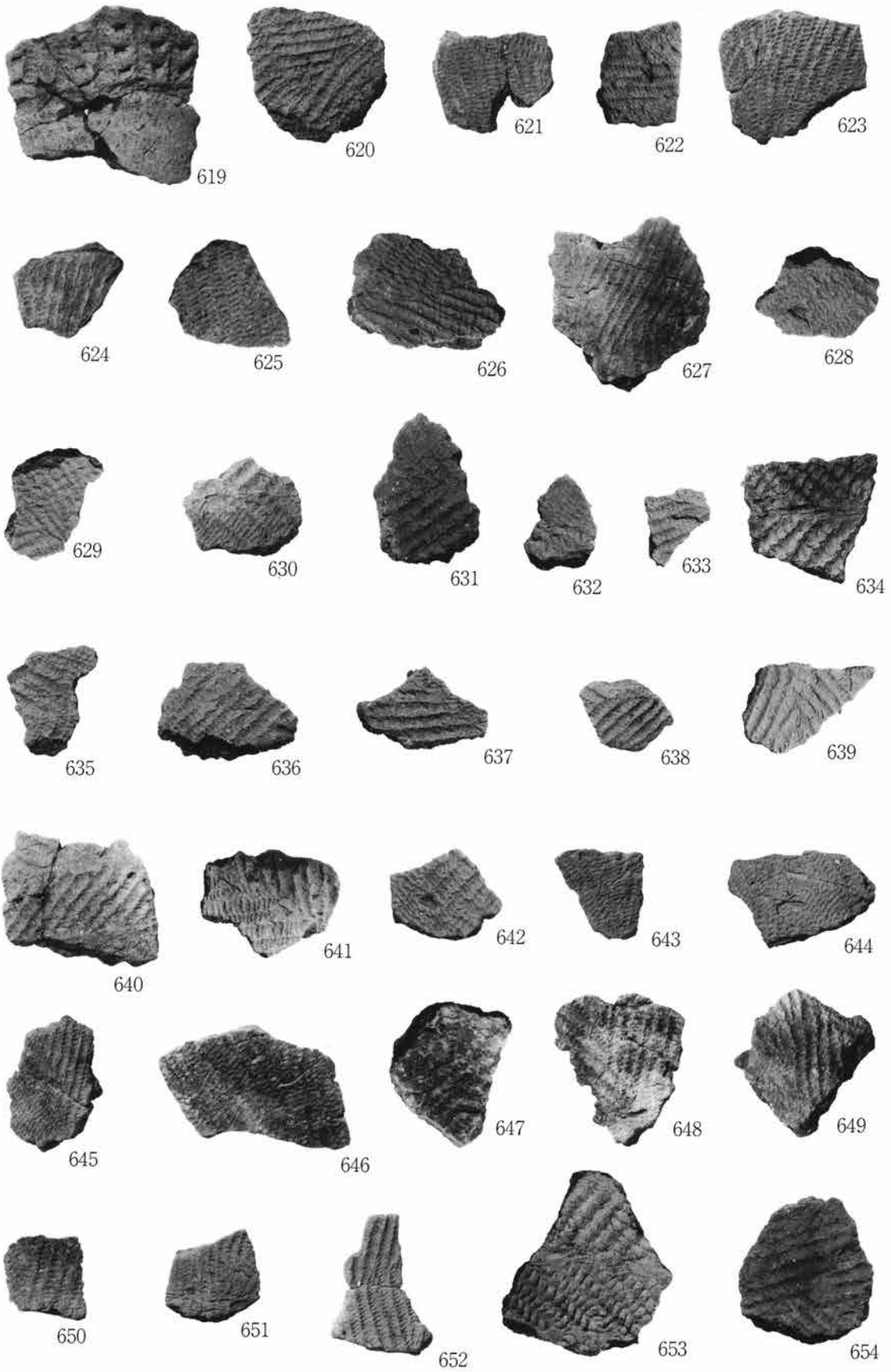
6-94-E-8グリッド 垂飾出土状況

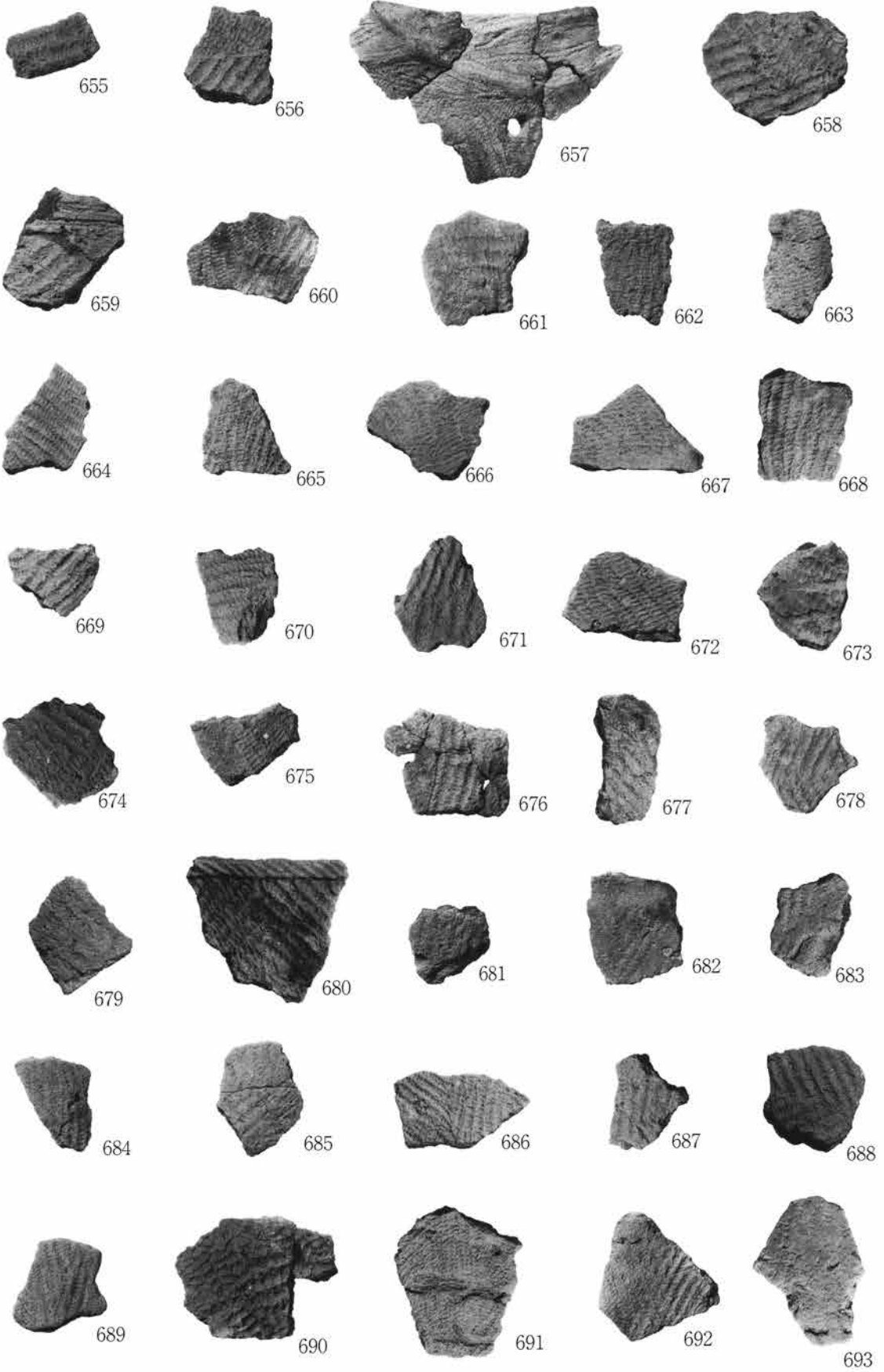


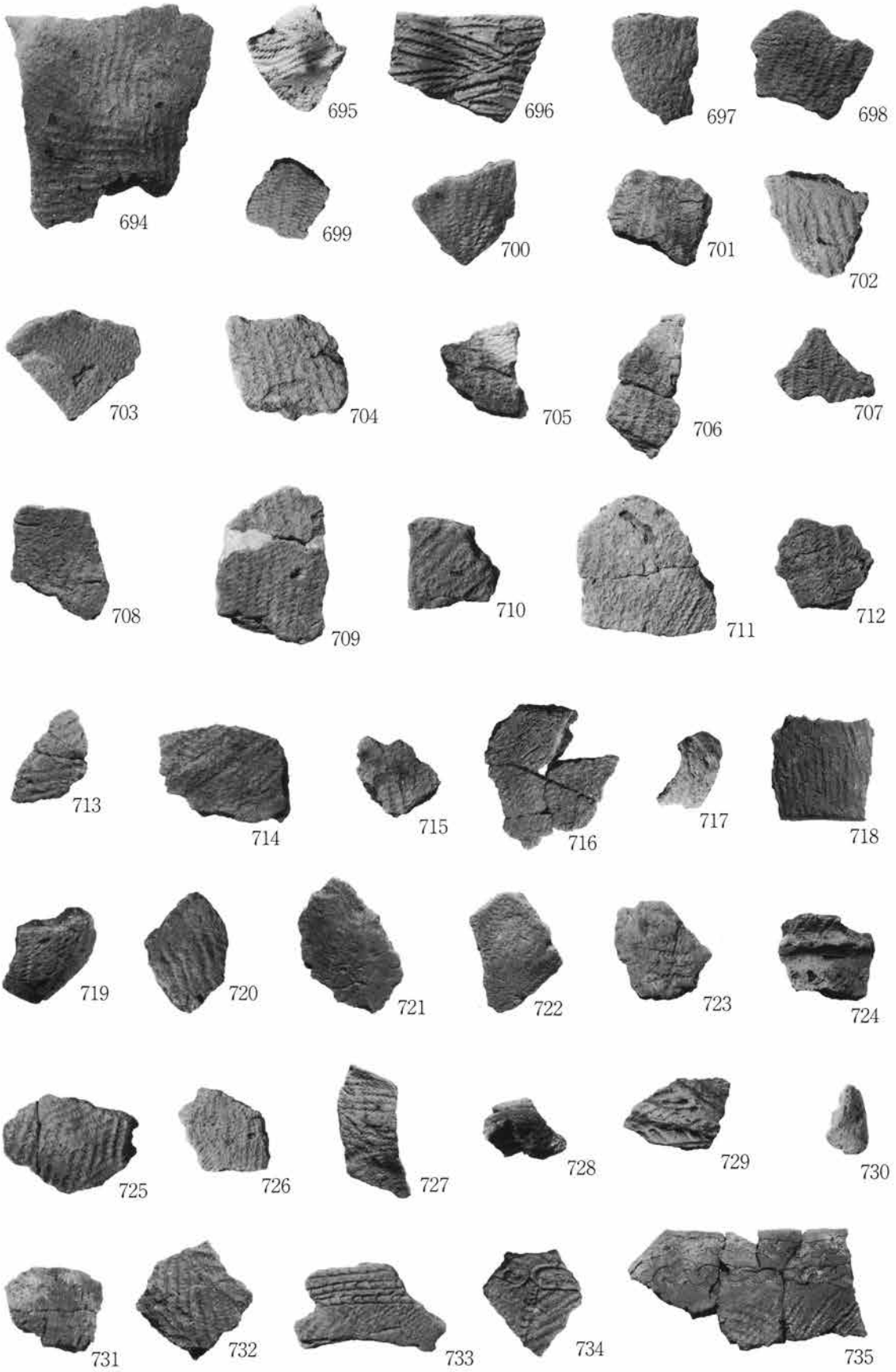
6-94-K.L-6.7.8グリッド 石斧出土状況

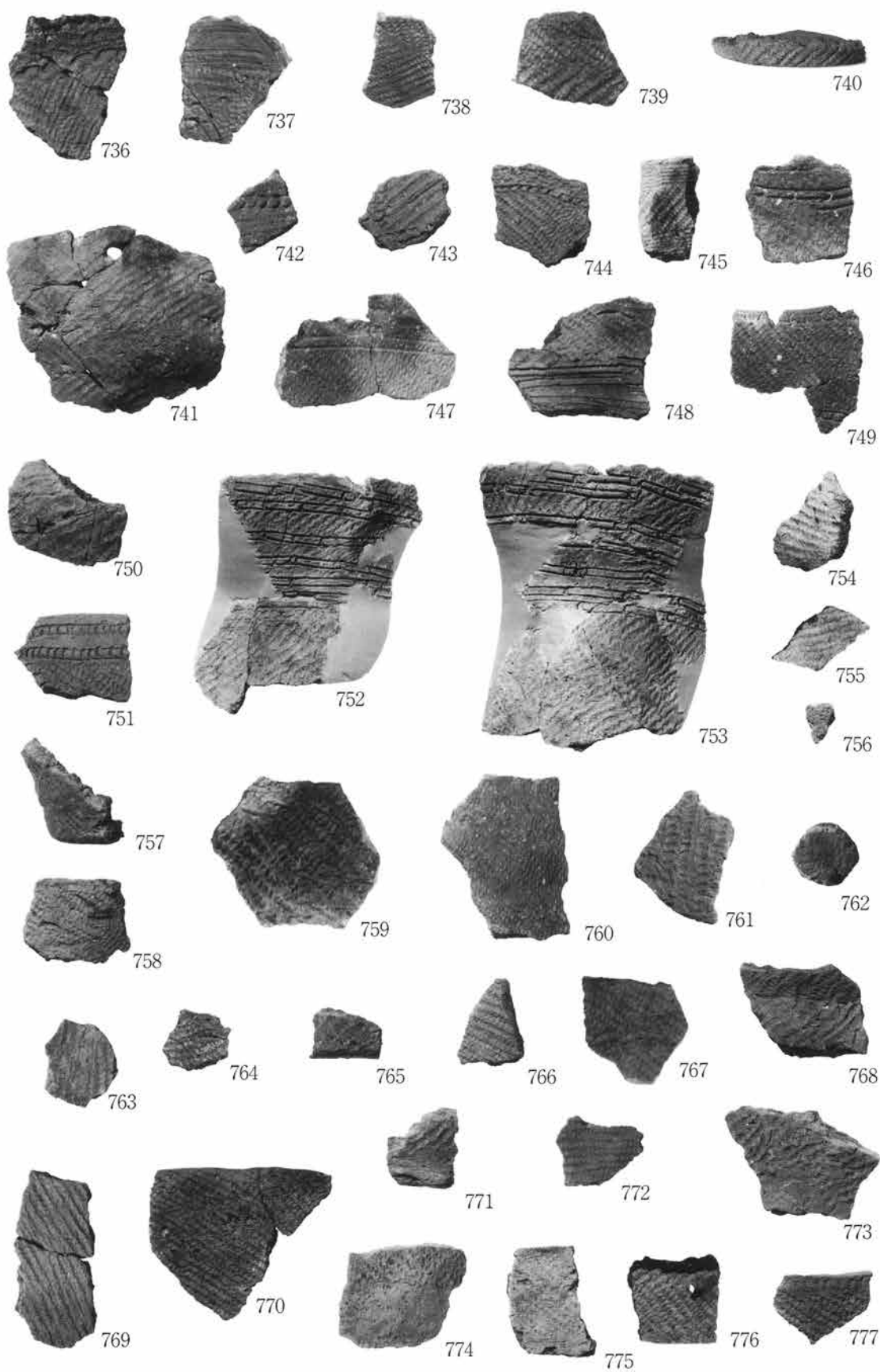


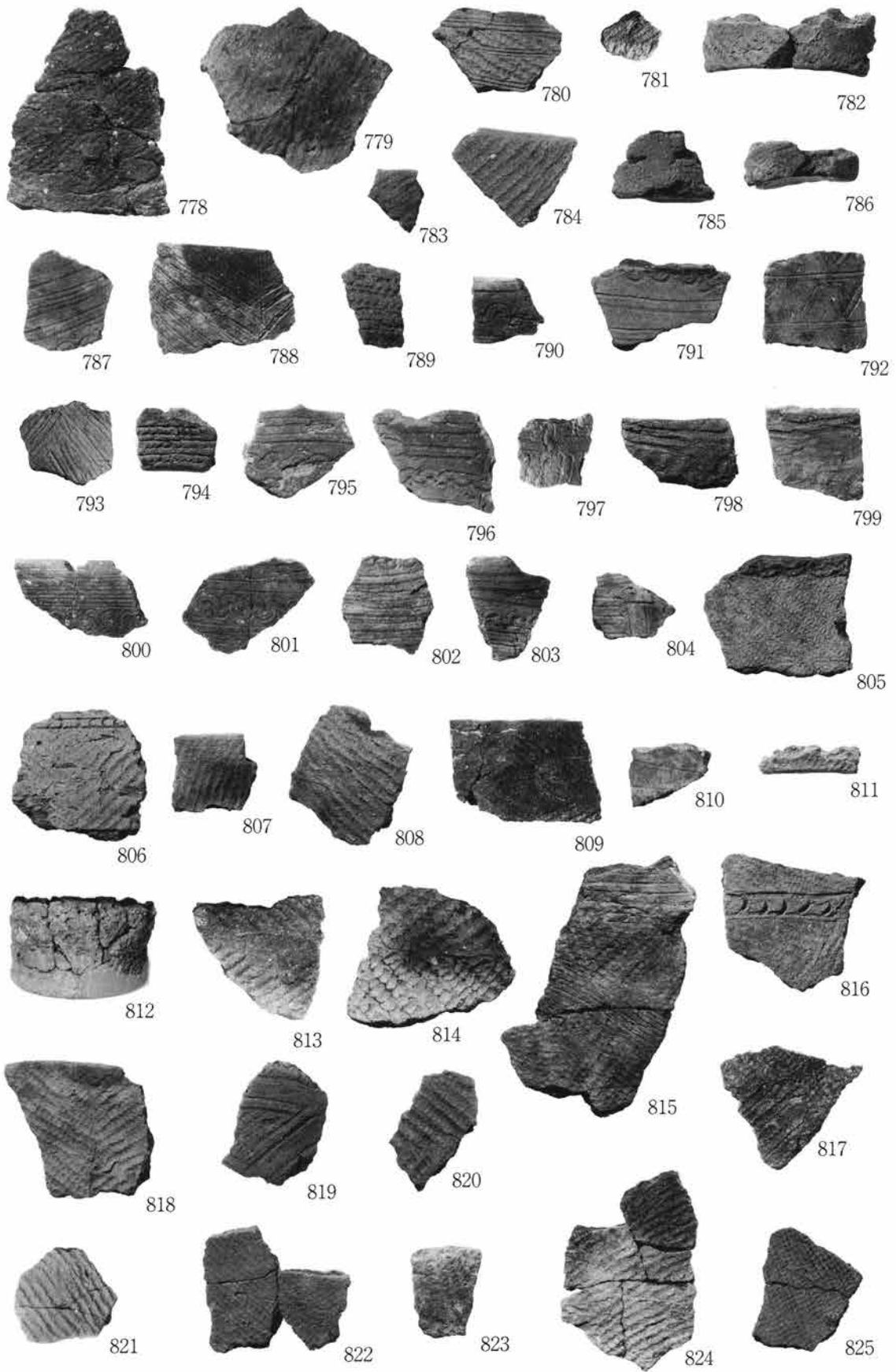
7-6-N-20グリッド 石皿出土状況

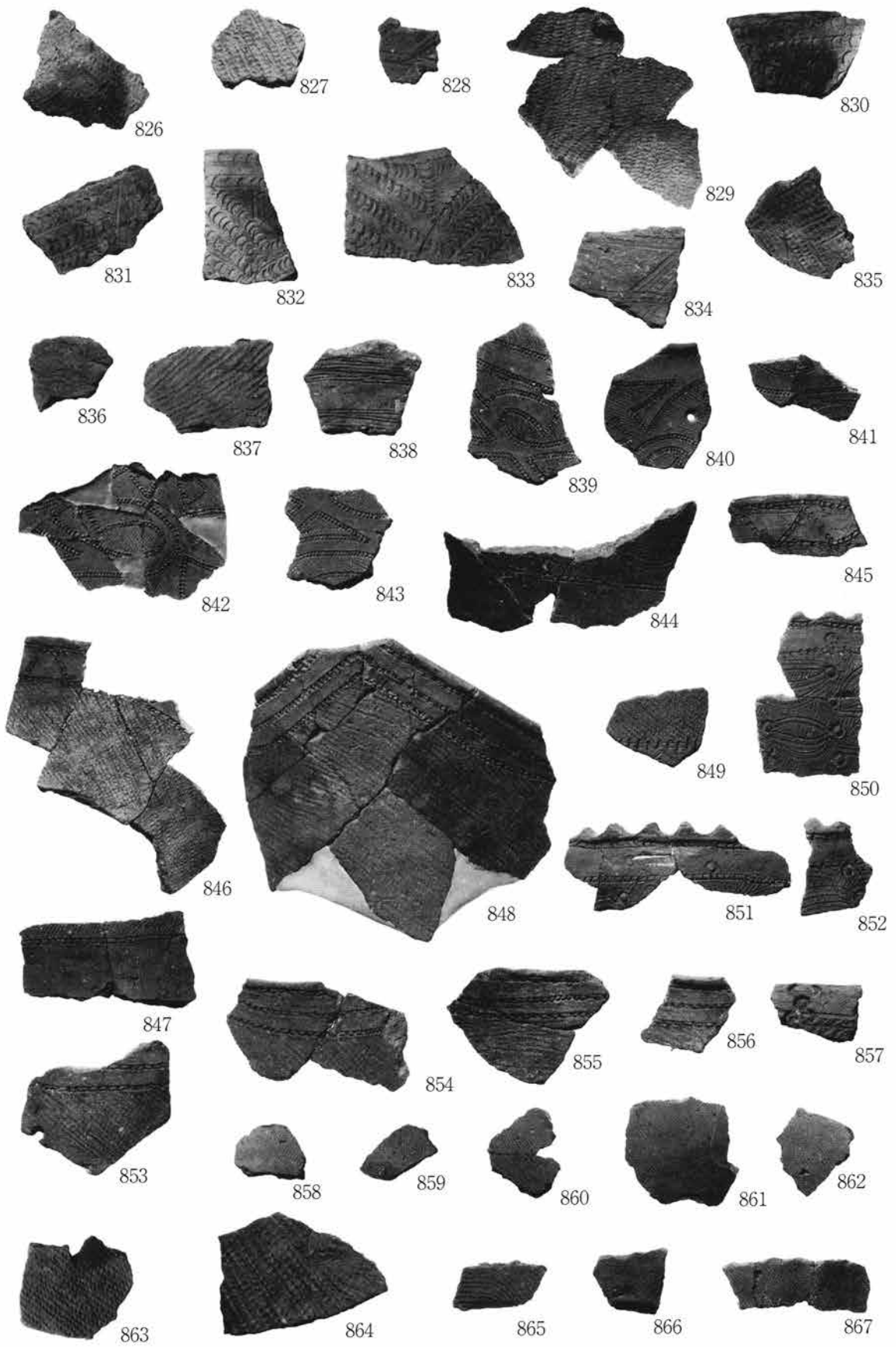


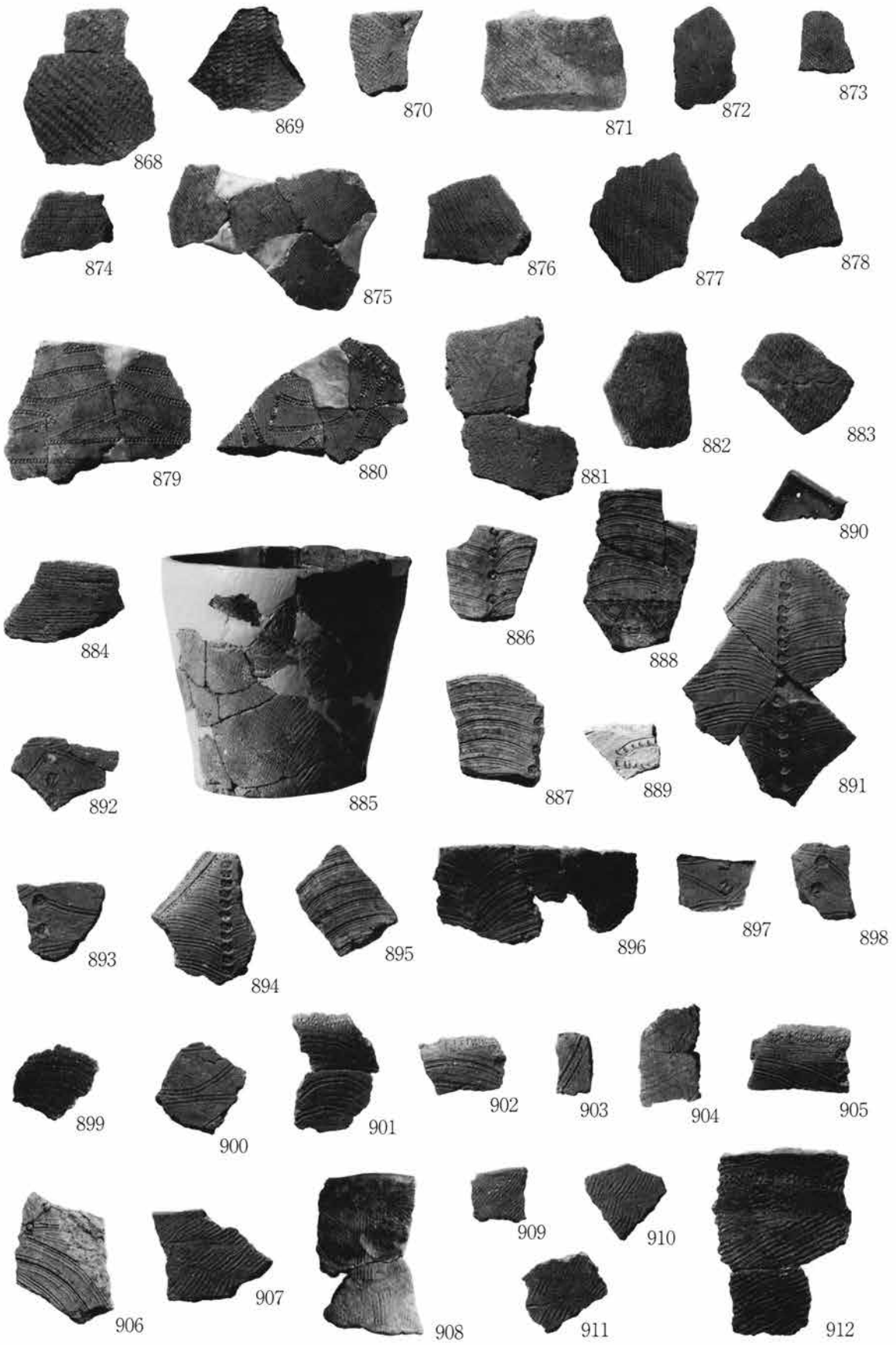


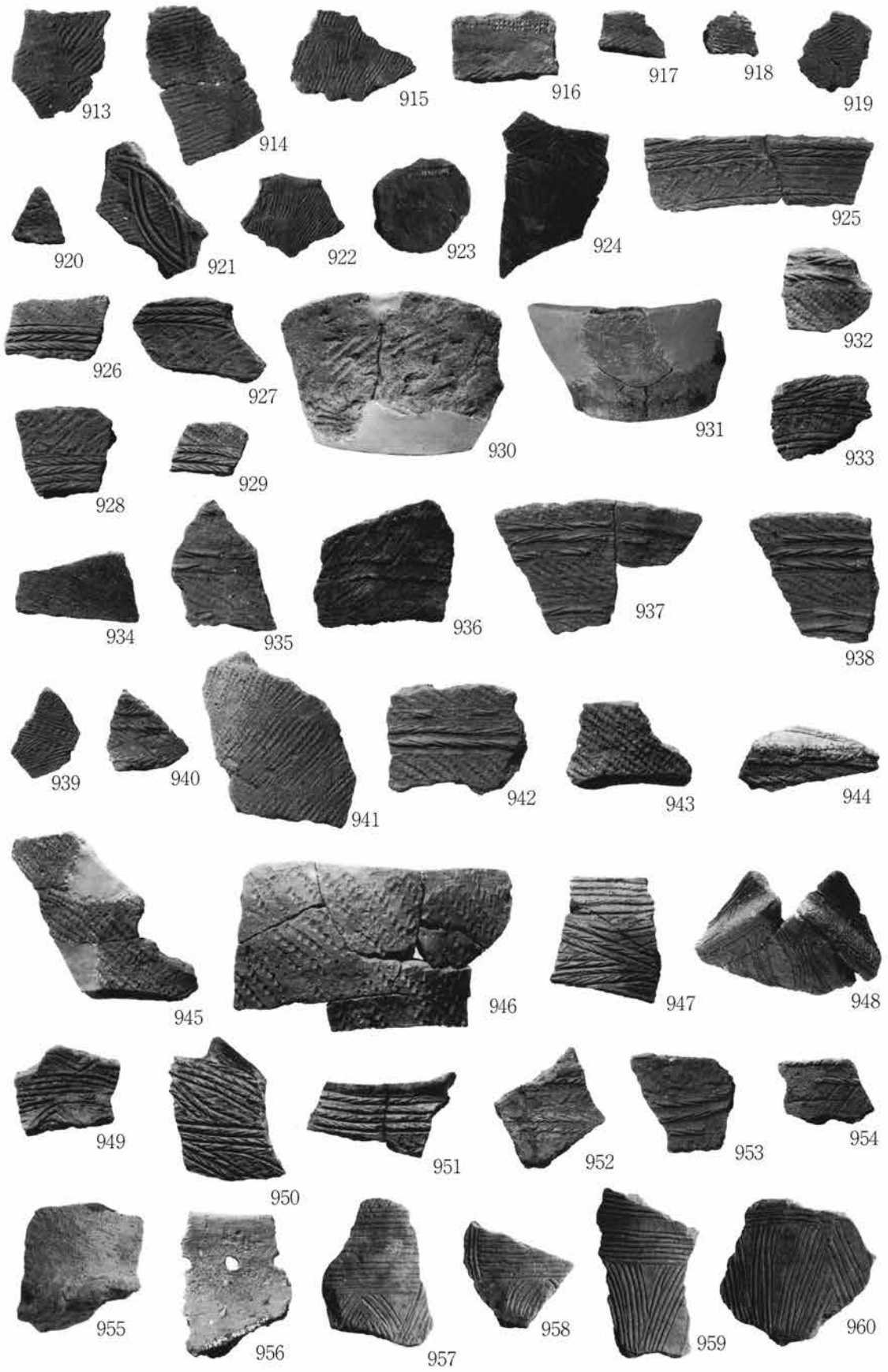


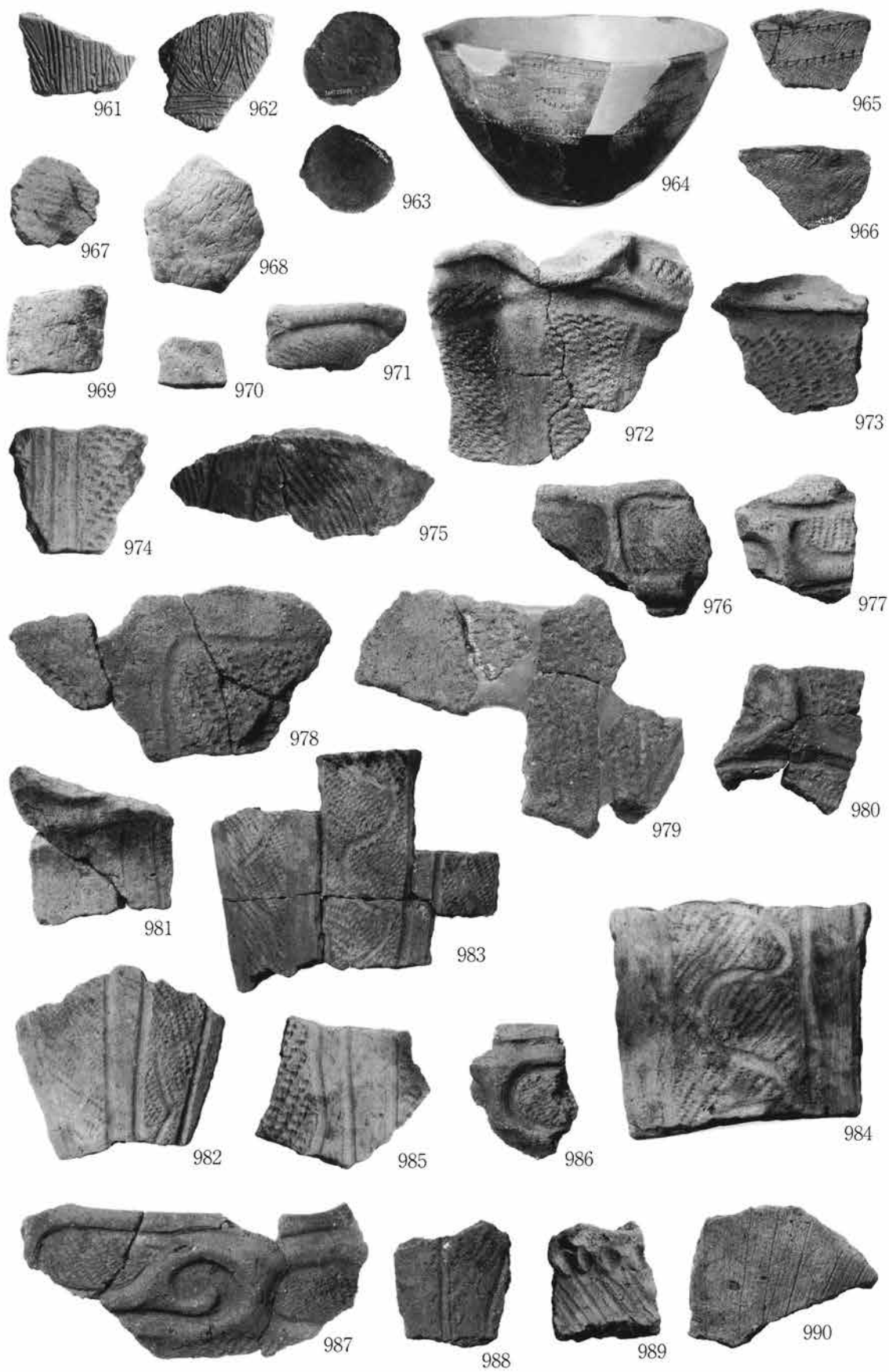


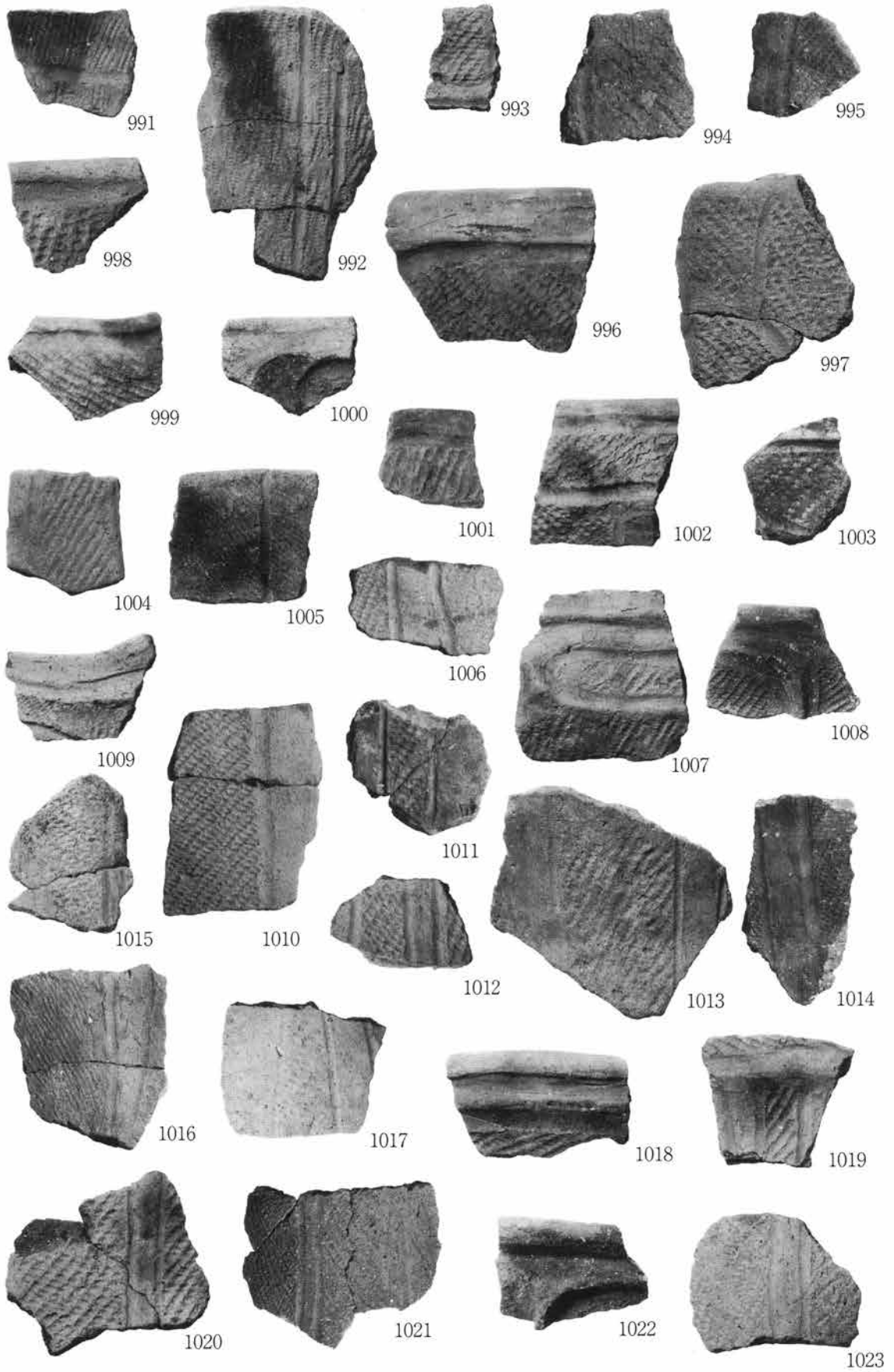


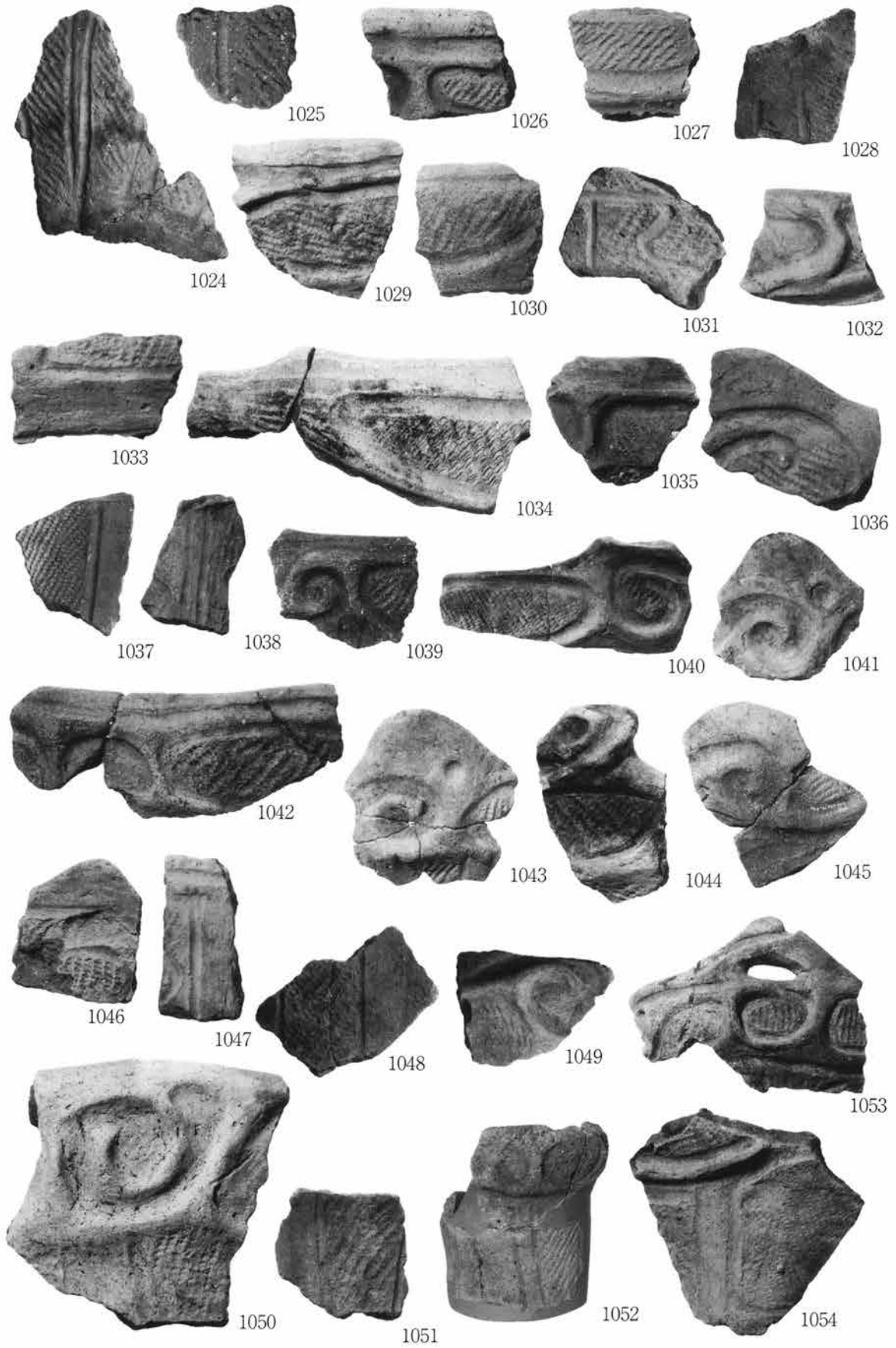


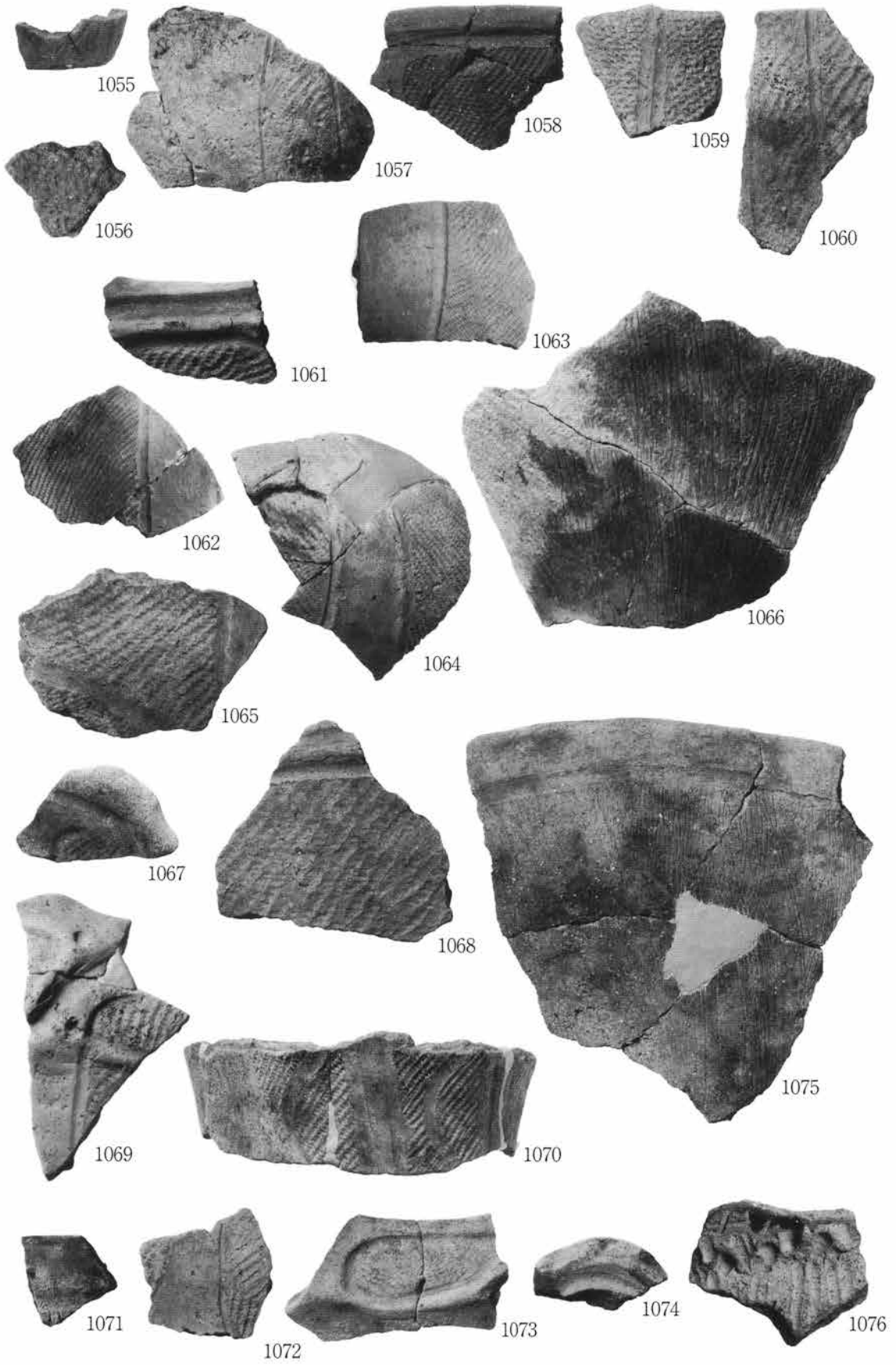


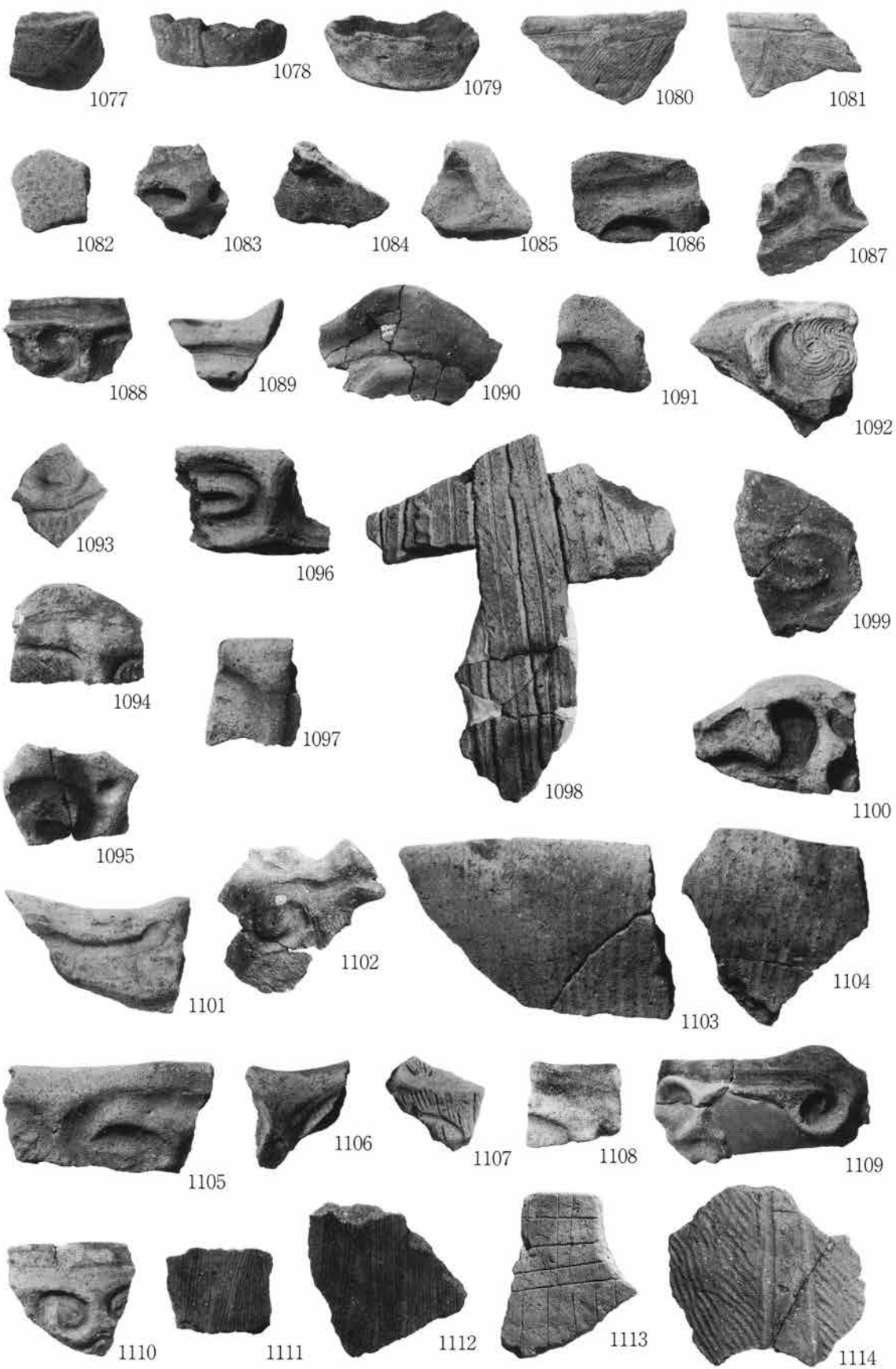














S-193



S-194



S-195



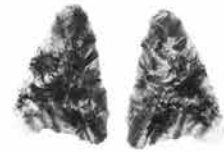
S-196



S-198



S-199



S-197



S-200



S-201



S-202



S-204



S-203



S-205



S-206



S-207



S-208



S-209



S-210



S-211



S-212



S-213



S-214



S-215



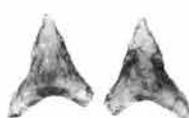
S-216



S-217



S-218



S-219



S-220



S-221



S-222



S-223



S-224



S-225



S-226



S-227



S-228



S-229



S-230



S-231



S-232



S-233



S-234



S-235





S-256



S-258



S-257



S-259



S-260



S-261



S-262



S-263



S-264



S-265



S-266



S-267



S-269



S-270



S-268

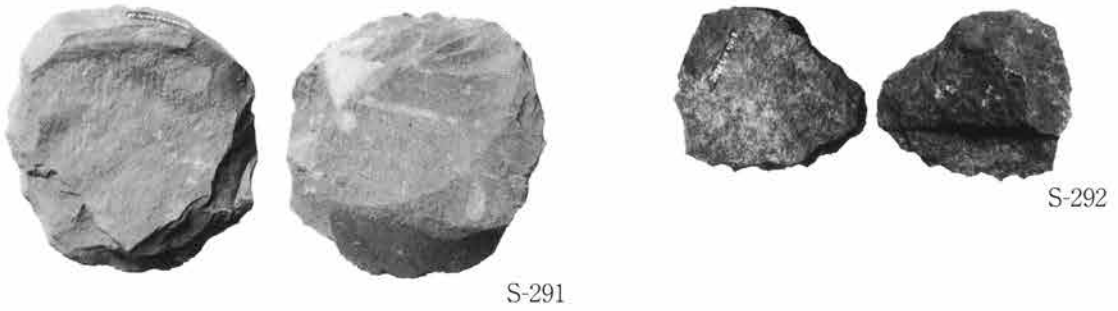


S-271



S-272







S-303



S-304



S-305



S-306



S-307



S-308



S-309



S-310



S-311



S-312



S-313



S-314



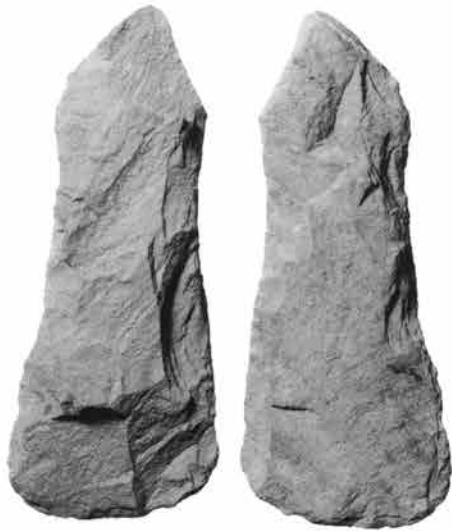
S-315



S-316



S-317



S-318



S-319



S-320



S-321



S-322



S-323



S-324



S-325



S-326



S-327



S-328



S-329



S-330



S-331



S-332



S-333



S-334



S-335



S-336



S-337



S-338



S-339



S-340



S-341



S-342



S-343



S-344



S-345



S-346



S-347



S-348



S-349



S-350



S-351



S-352



S-353



S-354



S-355



S-356



S-357



S-358



S-359



S-360



S-361



S-362



S-363



S-364



S-365



S-366



S-367



S-368



S-369



S-370



S-371



S-372



S-373



S-374



S-375



S-376



S-377



S-378



S-379



S-380



S-381



S-382



S-383



S-384



S-385



S-386



S-388



S-387



S-389



S-390



S-391



S-392



S-393



S-394



S-395



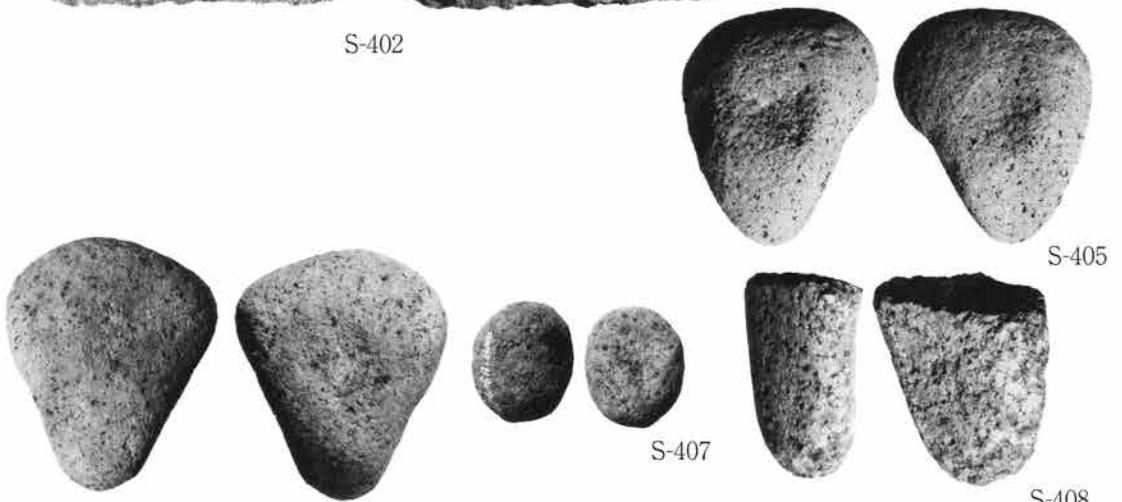
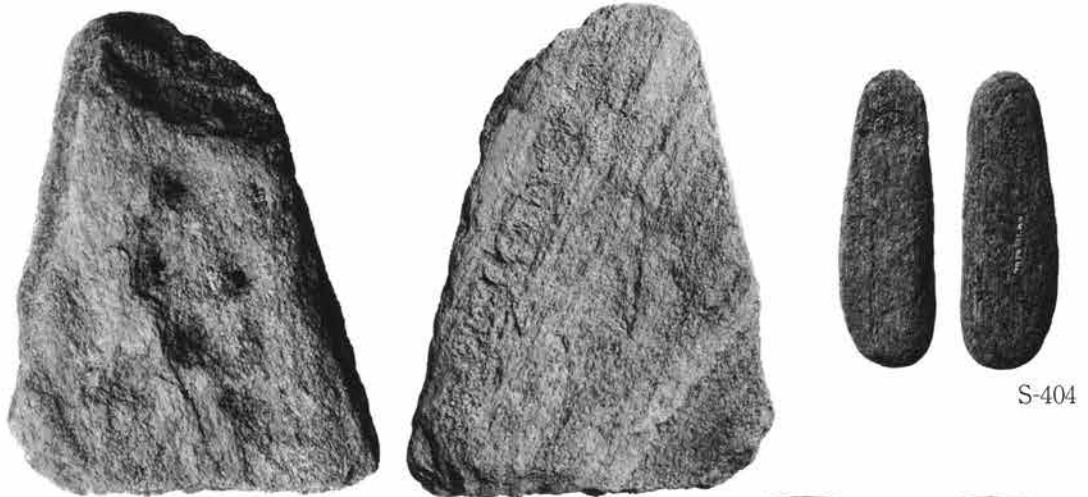
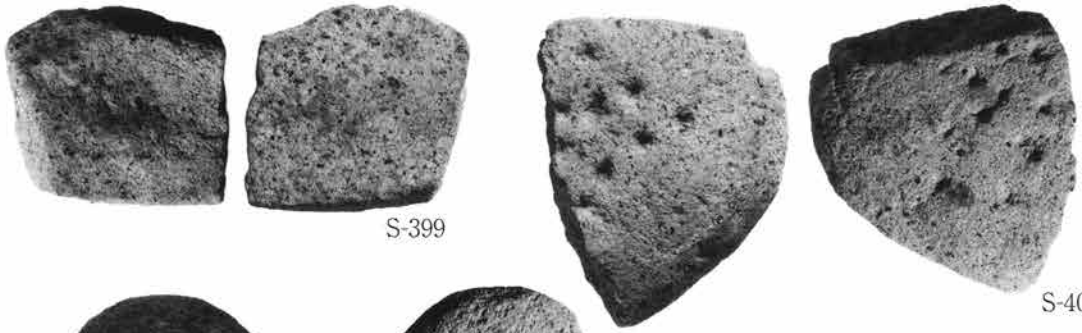
S-396



S-397



S-398





S-409



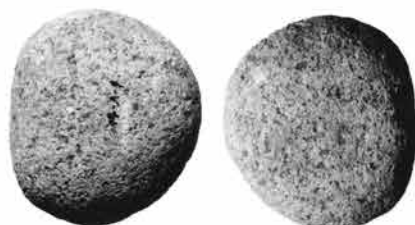
S-410



S-411



S-412



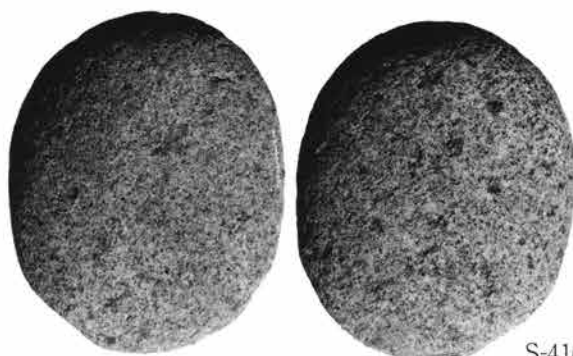
S-413



S-414



S-415



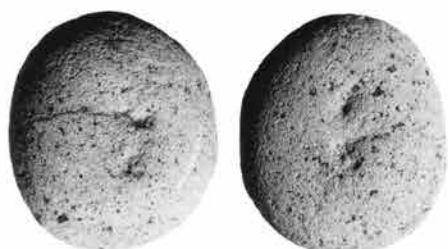
S-416



S-417



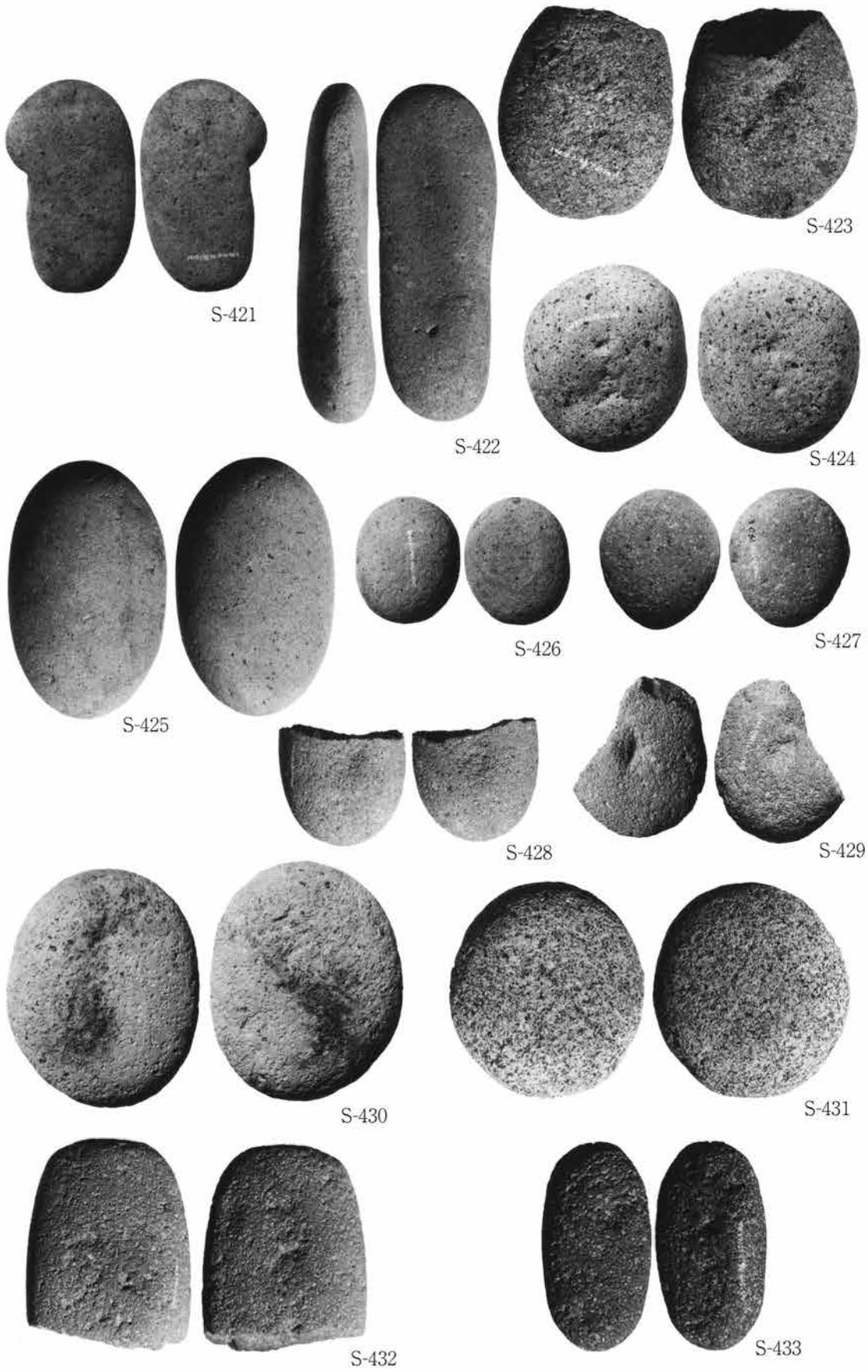
S-418



S-419



S-420





S-434



S-435



S-436



S-437



S-438



S-439



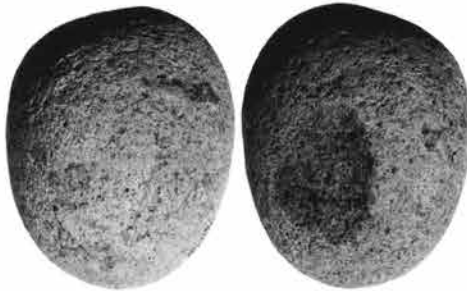
S-440



S-442



S-441



S-444



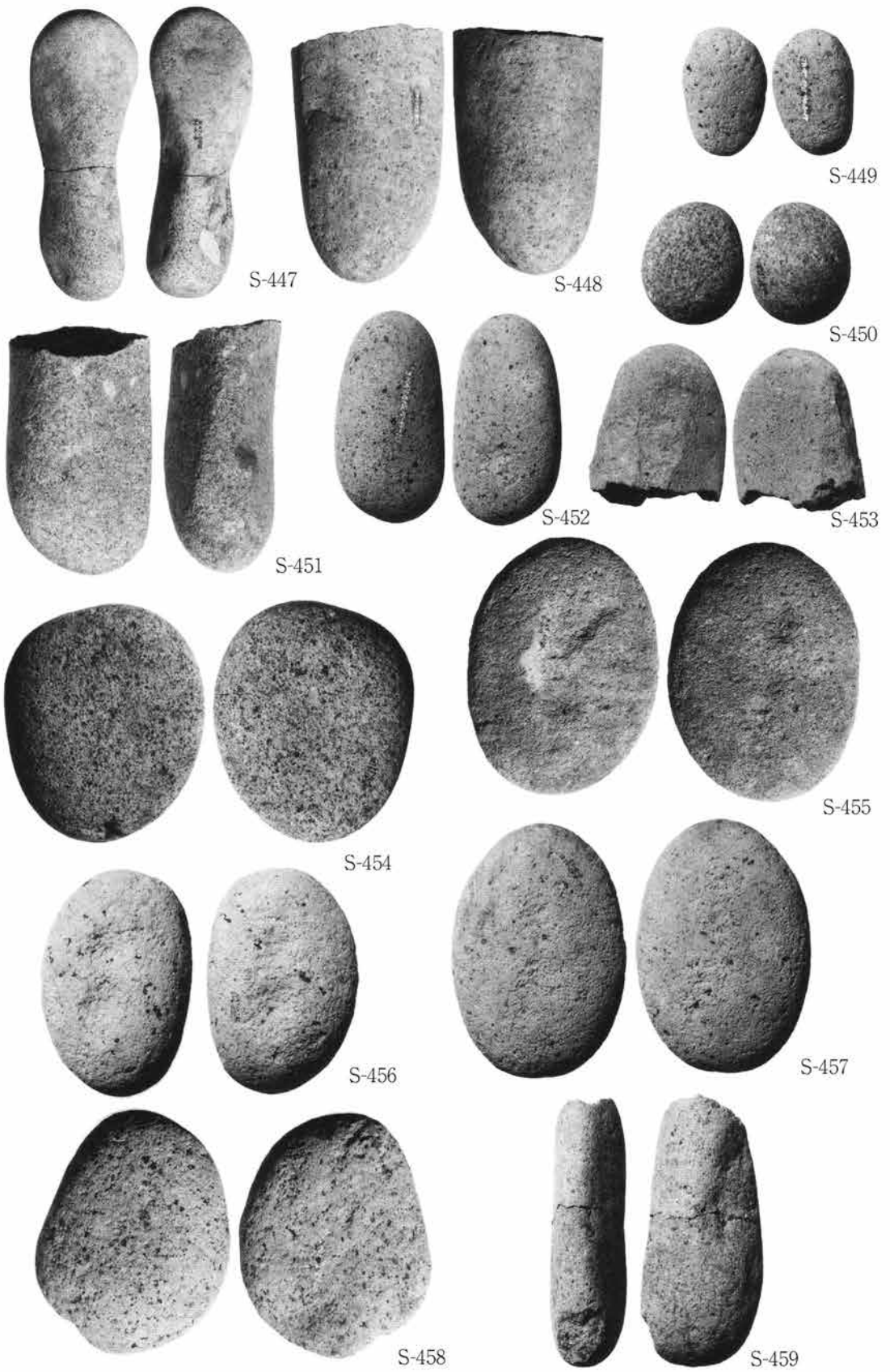
S-443

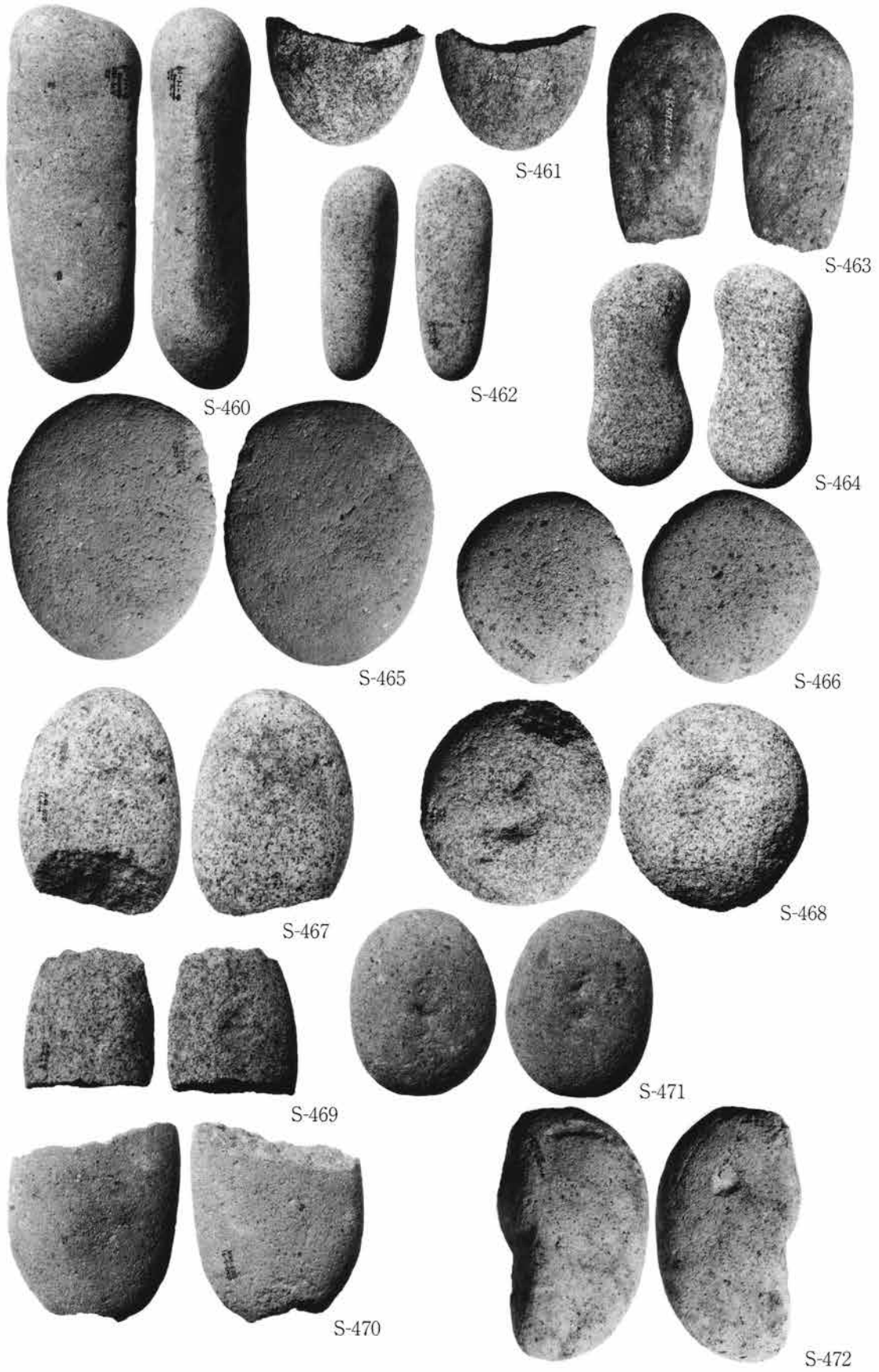


S-445



S-446







S-473



S-474



S-475



S-478



S-476



S-477



S-481



S-479



S-480



S-484



S-482



S-483



S-485



S-486



S-487



S-488



S-489

古墳



1号墳 確認状況



1号墳 確認状況



1号墳 主体部北の攪乱



1号墳 埋められた石室用石



1号墳 埋め込み用石



1号墳 石室用石



1号墳 周掘土層断面Cライン



1号墳 周堀土層断面Dライン



1号墳 周堀土層断面Eライン



1号墳 周堀土層断面Fライン



1号墳 周堀土層断面Gライン



1号墳 周堀土層断面Hライン



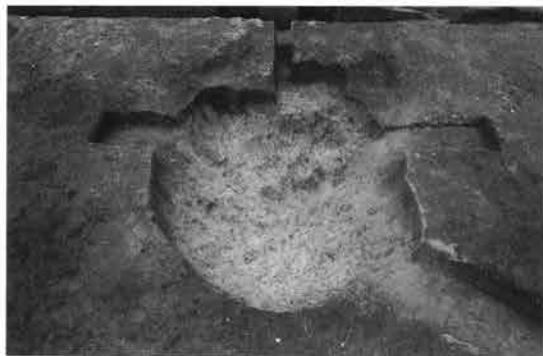
1号墳 前庭部のピット



1号墳 周堀土層断面Jライン



1号墳 周堀土層断面Kライン



1号墳 前庭部付近の土坑



1号墳 石室用石の接合状況



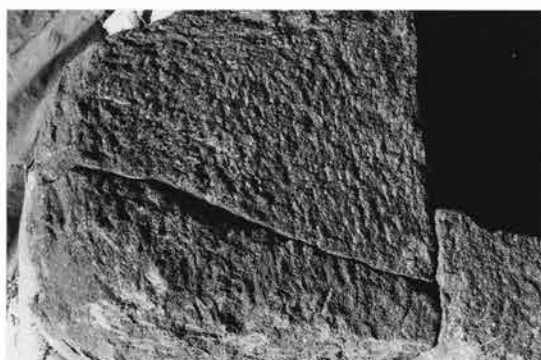
1号墳 石室用石の加工痕



1号墳 石室用石の加工痕



1号墳 石室用石の接合状況

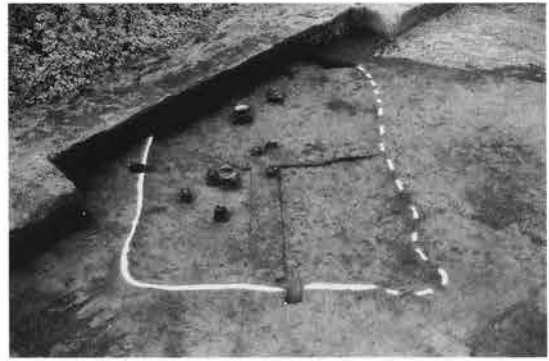


1号墳 石室用石の加工痕



2号墳 全景

古代以後の遺構と建物



11号住居 全景



11号住居 土層断面



1115

11号住居 出土遺物



12号住居 全景



12号住居 東西土層断面



12号住居 土層断面 As-Bの堆積状況



12号住居 掘り方全景



12号住居 竈土層断面



12号住居 竈全景



12号住居 竈掘り方全景

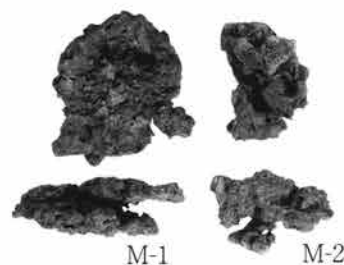


12号住居 出土遺物



1117

1116



M-1

M-2



13号住居 遺物出土状況



13号住居 土層断面



13号住居 竈土層断面



13号住居 竈全景



13号住居 竈掘り方全景



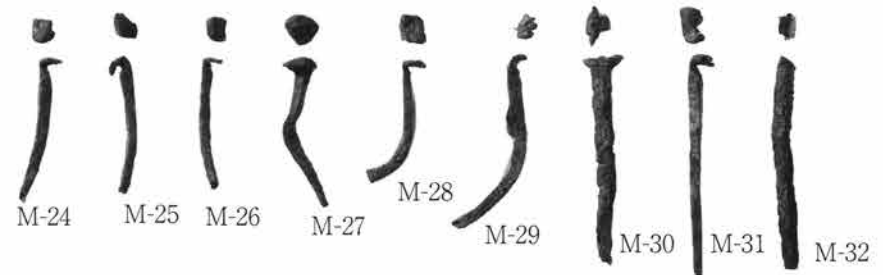
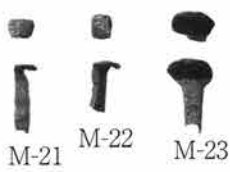
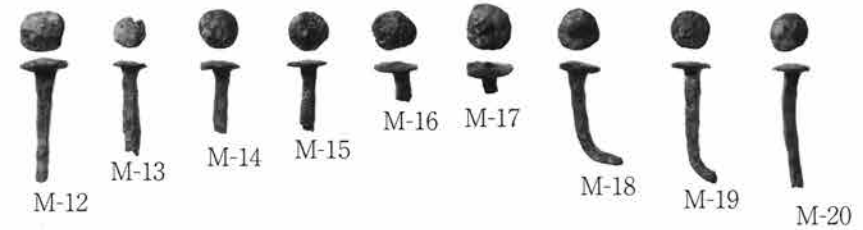
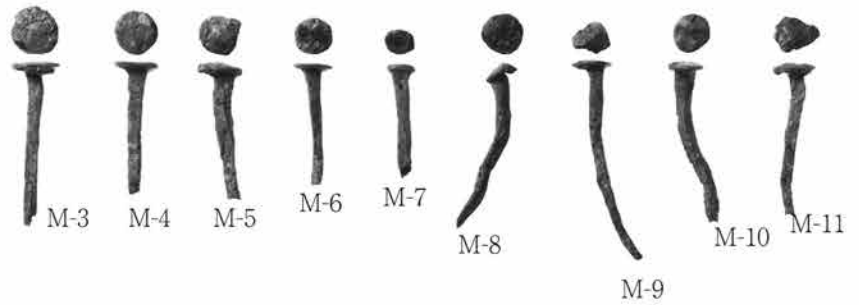
13号住居 貯藏穴全景



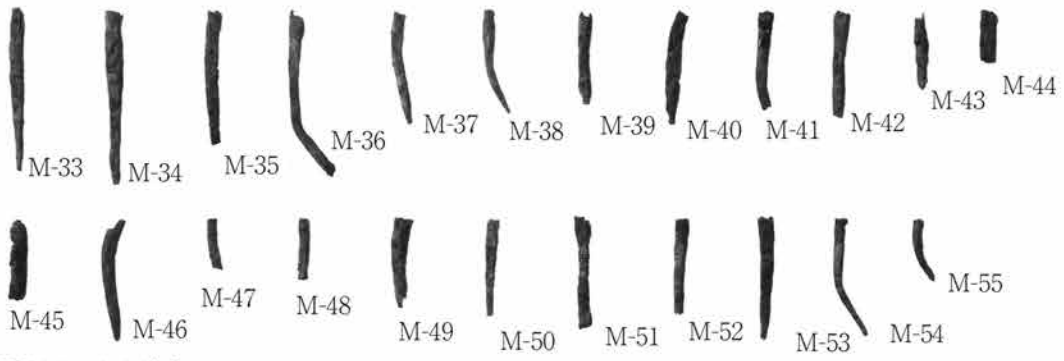
13号住居 床下土坑土層断面



1121



13号住居 出土遺物 1



13号住居 出土遺物2



15号住居 遺物出土状況



15号住居 土層断面Aライン



15号住居 土層断面Bライン



15号住居 全景



15号住居 竈土層断面



15号住居 竈掘り方全景



15号住居 遺物出土状況



15号住居 掘り方全景



1122



1123



M-56

15号住居 出土遺物



16号住居 全景



16号住居 竈土層断面Aライン



16号住居 竈土層断面Bライン



16号住居 竈全景



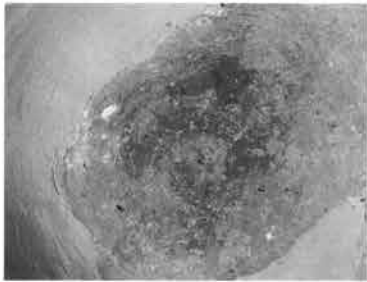
16号住居 貯蔵穴全景



16号住居 掘り方全景



16号住居 出土遺物1



16号住居 墨書「寺」



16号住居 遺物出土状況



17号住居 全景



17号住居 竈煙道部遺物出土状況



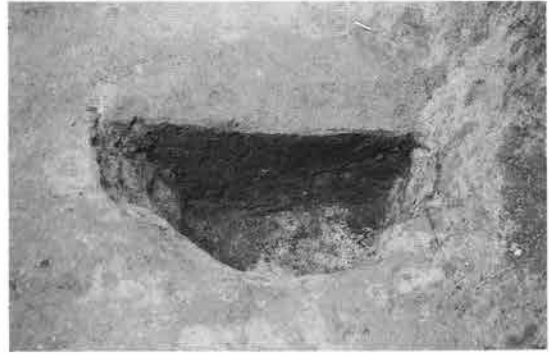
17号住居 竈全景



17号住居 竈構築粘土内の植物痕跡



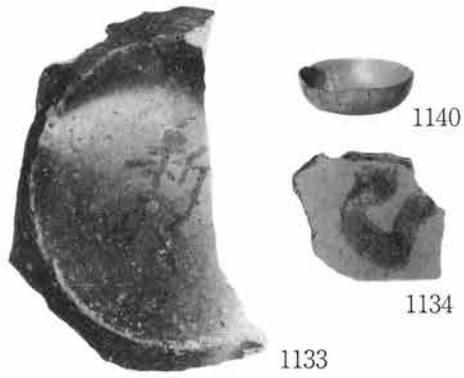
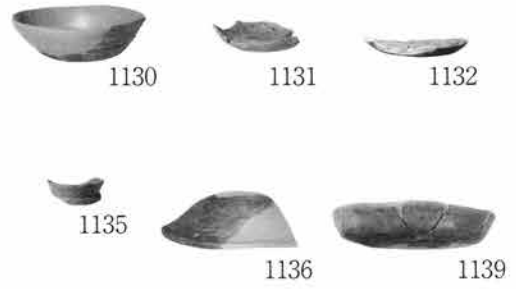
17号住居 竈掘り方全景



17号住居 貯蔵穴土層断面



17号住居 掘り方全景



17号住居 出土遺物



18号住居 全景



18号住居 土層断面



18号住居 竈全景



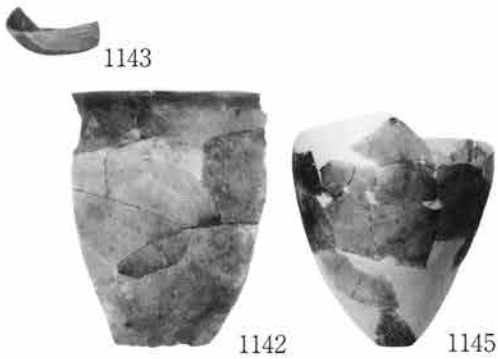
18号住居 竈掘り方全景



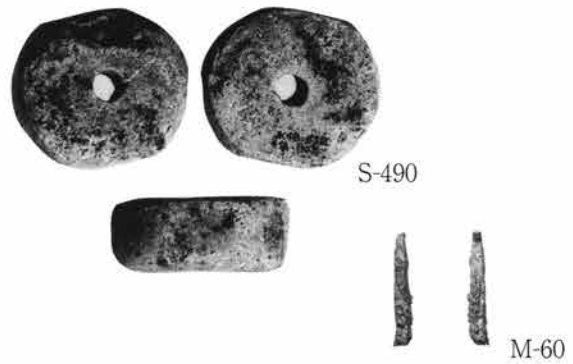
18号住居 貯蔵穴土層断面



18号住居 掘り方全景



18号住居 出土遺物



19号住居 遺物出土状況



19号住居 全景



19号住居 竈遺物出土状況



19号住居 竈全景



19号住居 竈掘り方土層断面



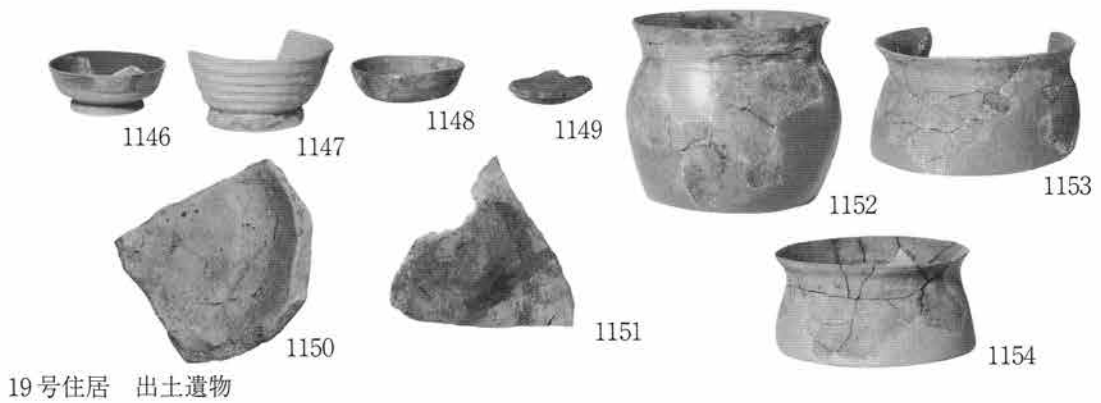
19号住居 竈掘り方全景



19号住居 ピット1土層断面



19号住居 掘り方全景



19号住居 出土遺物



20号住居 遺物出土状況



20号住居 全景



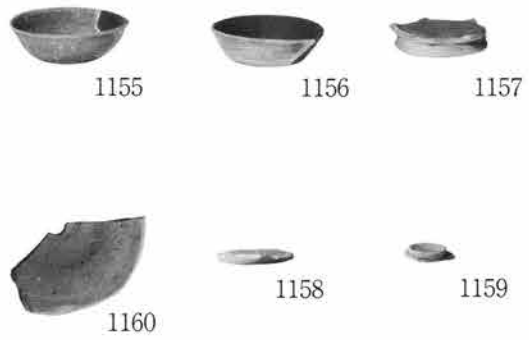
20号住居 竈確認状況



20号住居 竈土層断面



20号住居 竈掘り方全景



20号住居 出土遺物



21号住居 遺物出土状況



21号住居 土層断面



21号住居 全景



21号住居 竈全景



21号住居 竈掘り方



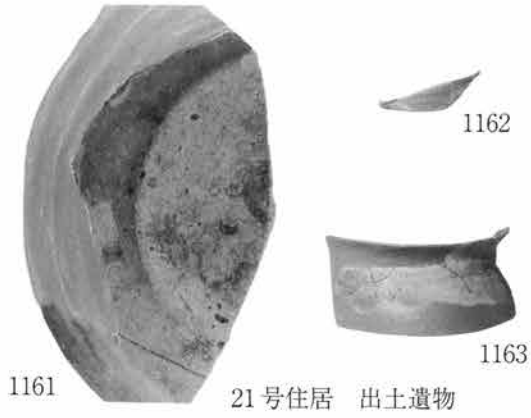
21号住居 貯蔵穴



21号住居 ピット1



21号住居 掘り方全景



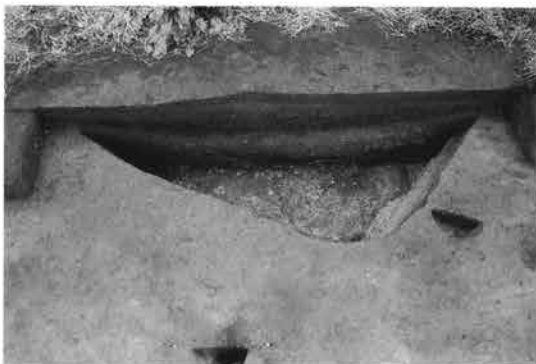
22号住居 全景



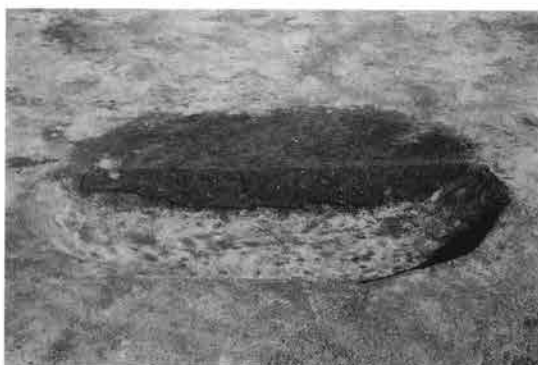
22号住居 土層断面Aライン



22号住居 土層断面Bライン



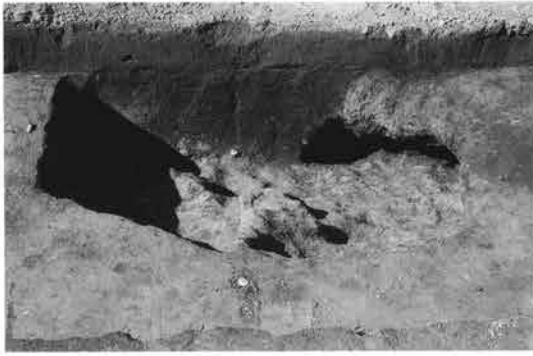
23号住居 全景



1号土坑 土層断面



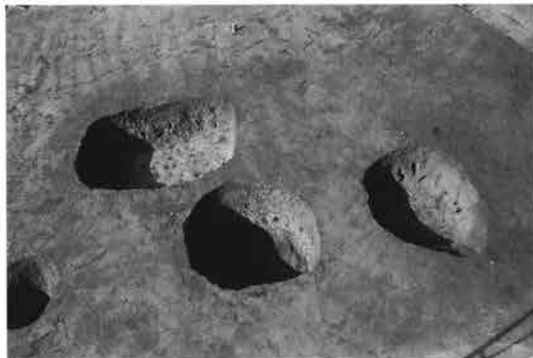
2号土坑 土層断面



3号土坑 全景



3号土坑 土層断面



104・105・106号土坑



104号土坑 遺物出土状況



104号土坑 全景



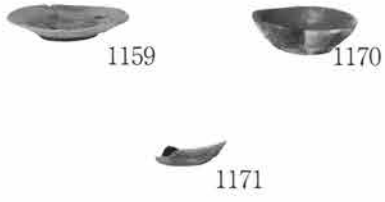
104号土坑 出土遺物



105号土坑 遺物出土状況



105号土坑 全景



105号土坑 出土遺物



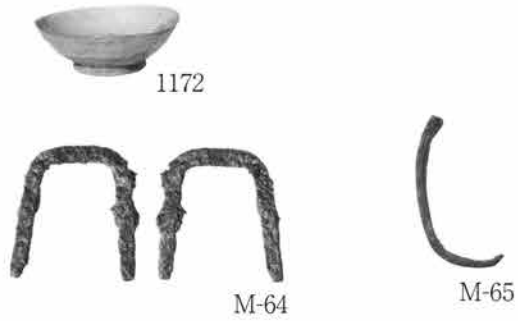
106号土坑 遺物出土状況



106号土坑 全景



107号土坑 全景



106号土坑 出土遺物

107号土坑 出土遺物



108号土坑 全景



109号土坑 全景



120号土坑 全景



11号ピット 全景



12号ピット 全景



13号ピット 全景



14号ピット 全景



15号ピット 全景



16号ピット 全景



17号ピット 全景

谷地部分の調査



土層断面Cライン



谷地部分全景



土層断面AラインのAs-Bと灰黄褐色シルト層



土層断面AラインのAs-Bと灰黄褐色シルト層



シルト層の面的広がり



土層断面BラインのAs-Cと堆積



土層断面EラインのAs-Cと堆積



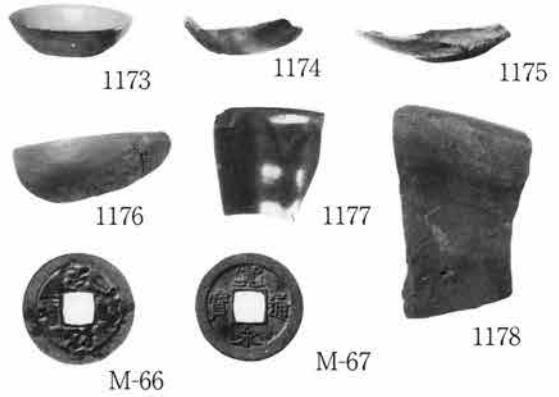
As-C下の溝



As-C下の溝



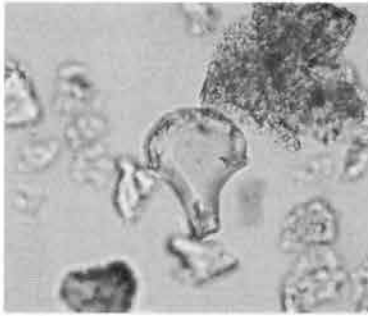
As-C下の溝断面



谷地部分出土遺物



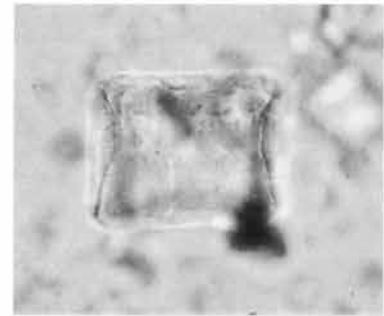
遺構外出土遺物



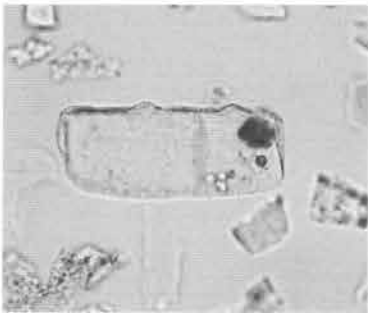
イネ



イネ



キビ属型



キビ属型



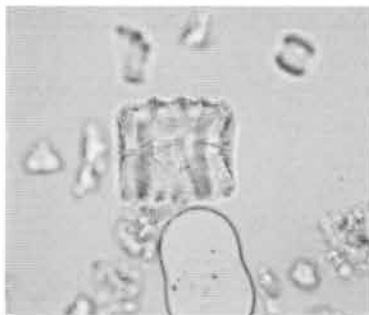
ジュズダマ属型



ススキ属型



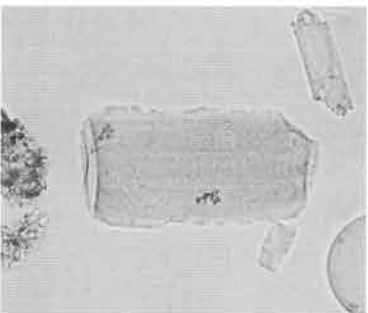
ヨシ属型



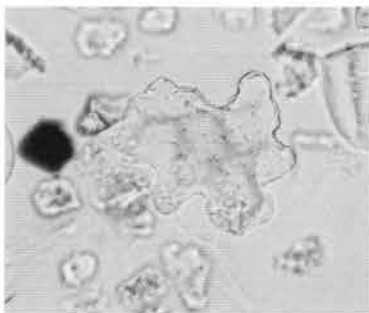
ネザサ属型



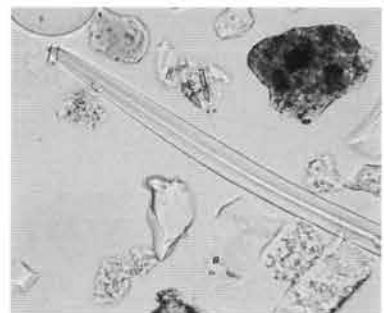
ミヤコザサ属型



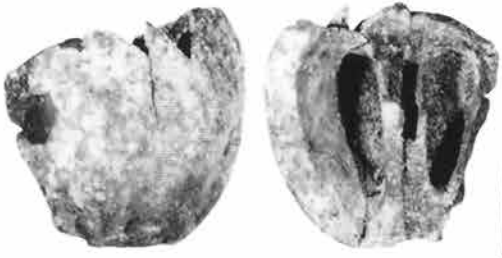
イネ科の茎部起源



はめ絵パズル状 (ブナ属など)



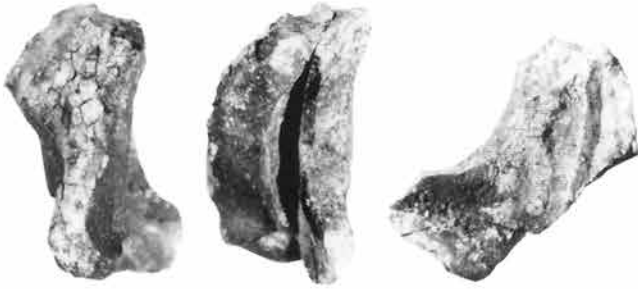
海面骨針



63号土坑 オニグルミ炭化核



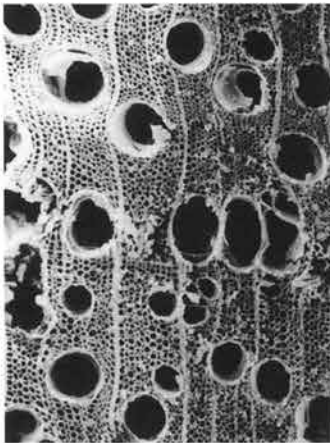
2号住居 コナラ属炭化子葉



1号住居 クリ炭化子葉



種実 bar:10mm



横断面 bar:0.5mm



接線断面 bar:0.1mm



放射断面 bar:0.1mm



桂萱東小学校体験学習風景（土層観察）



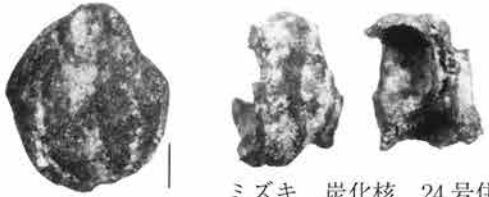
桂萱東小学校体験学習風景（遺構確認）



オニグルミ 炭化核 24号住居



オニグルミ 炭化核 24号住居



ミズキ 炭化核 116号土坑

ミズキ 炭化核 24号住居



イネ 炭化胚乳 105号土坑



イネ 炭化胚乳 104号土坑



イネ 炭化胚乳 17号住居竈



コムギ 炭化胚乳 104号土坑



コムギ 炭化胚乳 104号土坑



オオムギ 炭化胚乳 104号土坑



ホタルイ属 炭化果実 104号土坑



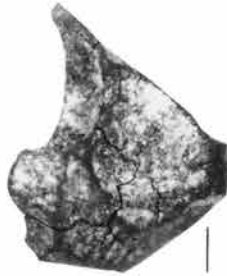
タデ属 炭化果実 114号土坑



ヒコ属 炭化種子 21号住居竈



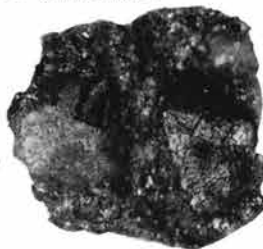
ヒコ属 炭化胚乳 104号土坑



オニグルミ 炭化核 10号住居周辺



タデ属 炭化果実 98号土坑



キハダ 炭化果実 98号土坑



キハダ 炭化種子 98号土坑

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第402集

萱野 II 遺跡

一般国道17号（上武道路）改築工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書
縄文時代以後の調査

平成19年(2007年)3月24日 印刷

平成19年(2007年)3月27日 発行

編集／(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地の2

電話0279-52-2511（代表）

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／上毛新聞社出版局

菅野Ⅱ遺跡全体図

